

福島県立医科大学業績集

令和 5 年

福島県立医科大学

目 次

I 福島県立医科大学業績	1
--------------------	---

論文・書籍等出版物・研究発表等

II 受賞一覧	619
---------------	-----

III 共同研究・競争的資金等の研究課題一覧	635
------------------------------	-----

IV 産業財産権の設定の登録一覧	727
------------------------	-----

令和 5 年掲載内容件数

理事長業績	3 件
医学部業績	4, 574 件
看護学部業績	98 件
保健科学部業績	442 件
別科業績	1 件
附属病院，他業績	1, 559 件
受賞	78 件
共同研究・競争的資金等の研究課題	798 件
産業財産権の設定の登録	18 件
総計	7, 571 件

I 福島県立医科大学業績

論文・書籍等出版物・研究発表等

福島県立医科大学業績 論文・書籍等出版物・研究発表等

理事長 1

医学部

神経解剖・発生学講座.....	1
解剖・組織学講座.....	3
細胞統合生理学講座.....	4
システム神経科学講座.....	5
生化学講座.....	6
免疫学講座.....	7
病態制御基理医学講座.....	8
微生物学講座.....	9
基礎病理学講座.....	9
衛生学・予防医学講座.....	11
公衆衛生学講座.....	15
法医学講座.....	22
放射線生命科学講座.....	24
疫学講座.....	26
放射線物理化学講座.....	36
健康リスクコミュニケーション学講座.....	37
循環器内科学講座.....	38
血液内科学講座.....	63
消化器内科学講座.....	71
リウマチ膠原病内科学講座.....	85
腎臓高血圧内科学講座.....	97
糖尿病内分泌代謝内科学講座.....	105
脳神経内科学講座.....	113
呼吸器内科学講座.....	114
消化管外科学講座.....	126
肝胆膵・移植外科学講座.....	144
呼吸器外科学講座.....	155
乳腺外科学講座.....	171
心臓血管外科学講座.....	182
外科研修支援担当.....	185
脳神経外科学講座.....	195

整形外科科学講座.....	199
形成外科学講座.....	210
産科婦人科学講座.....	213
小児科学講座.....	217
眼科学講座.....	226
皮膚科学講座.....	231
泌尿器科学講座.....	242
耳鼻咽喉科学講座.....	259
神経精神医学講座.....	264
放射線医学講座.....	267
麻酔科学講座.....	274
救急医療学講座.....	282
病理病態診断学講座.....	287
臨床検査医学講座.....	289
感染制御学講座.....	293
輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....	294
地域・家庭医療学講座.....	303
放射線健康管理学講座.....	306
甲状腺内分泌学講座.....	309
災害こころの医学講座.....	311
放射線腫瘍学講座.....	316
腫瘍内科学講座.....	317
放射線災害医療学講座.....	322
リハビリテーション医学講座／ リハビリテーションセンター.....	324
附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門...	325
附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門...	326
附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門...	326
実験動物研究施設.....	328
災害危機管理看護学講座.....	332
国際被ばく保健看護学講座.....	333
周産期・小児地域医療支援講座.....	334
災害医療支援講座.....	335
地域救急医療支援講座.....	338
地域産婦人科支援講座.....	341

白河総合診療アカデミー	343
東白川整形外科アカデミー	344
疼痛医学講座	347
スポーツ医学講座	353
外傷学講座	355
外傷再建学講座	362
生体機能イメージング講座	368
多発性硬化症治療学講座	371
低侵襲腫瘍制御学講座	378
心臓調律制御医学講座	384
運動器骨代謝学・手外科・四肢機能再建学講座	386
ヒト神経生理学講座	388
総合内科・臨床感染症学講座	390
地域包括的癌診療研究講座	392
先端地域生活習慣病治療学講座	393
癌集学的治療地域支援講座	395
エピゲノム分子医学研究講座	399
アスタチン核種治療研究講座	400
甲状腺治療学講座	401
救急・生体侵襲制御学講座	403
地域婦人科腫瘍学講座	404
地域支援視機能再建学講座	404
地域先端循環器病治療学講座	405
こころと脳の医学講座	412
間葉系幹細胞応用研究講座	416

看護学部

生命科学部門	417
基礎看護学部門	419
成人・老年看護学部門	420
小児・精神看護学部門	424
地域・公衆衛生看護学部門	424
母性看護学・助産学部門	425

保健科学部

理学療法学科	428
作業療法学科	440
診療放射線科学科	444
臨床検査学科	453

別科

助産学専攻	466
-------------	-----

附属病院, 他

附属病院長	466
医療安全管理部	482
医療情報部	482
患者サポートセンター	483
ふたば救急総合医療支援センター	486
総合内科	489
小児外科	491
小児腫瘍内科	493
歯科口腔外科	494
検査部	496
放射線部	499
手術部	502
集中治療部	505
総合周産期母子医療センター	509
病理部	511
内視鏡診療部	512
臨床腫瘍センター	521
臨床工学センター	522
人工関節センター	522
臨床研究教育推進部	525
性差医療センター	530
薬剤部	530

大学健康管理センター.....	532
甲状腺検査室.....	534
総合科学教育研究センター	
人文・社会科学領域.....	535
総合科学教育研究センター	
数物・情報・統計科学領域.....	539
総合科学教育研究センター 生物・化学領域.....	542
医療人育成・支援センター.....	544
看護師特定行為研修センター.....	551
医療研究推進センター.....	557
地域医療支援センター.....	558
ふくしま子ども・女性医療支援センター.....	564
放射線医学県民健康管理センター.....	570
健康増進センター.....	582
甲状腺・内分泌センター.....	583
先端臨床研究センター.....	584
医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター..	589
臨床研究イノベーションセンター.....	589

会津医療センター

総合内科学講座.....	591
漢方医学講座.....	593
血液内科学講座.....	596
消化器内科学講座.....	597
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座.....	599
感染症・呼吸器内科学講座.....	600
精神医学講座.....	601
小腸・大腸・肛門科学講座.....	604
外科学講座.....	607
整形外科・脊椎外科学講座.....	611
耳鼻咽喉科学講座.....	616
臨床医学部門.....	617

凡 例

1. 本業績集は、令和5（2023）年に発表された論文、書籍等出版物、研究発表等を収録した。
2. 収録は、所属別とし、業績の種類により、
 - 1) 論文 ①原著 ②総説等 ③症例報告 ④研究報告書 ⑤その他
 - 2) 書籍等出版物
 - 3) 研究発表等 ①研究発表 ②シンポジウム ③特別講演 ④招待講演 ⑤その他
 - 4) その他の業績 の順に記載した。
3. 記載方法
 - (1) 論文については、著者名、標題、掲載誌名、出版年月、巻（号）、頁の順に記載した。
 - (2) 書籍等出版物については、著者名、書名、出版地、出版者名、出版年の順に記載した。ただし、分担執筆の場合は、担当論題、頁を記入した。
 - (3) 研究発表等については、発表者名、発表題名、発表会議名、発表年月日、開催地（または開催形態）、掲載資料名、巻（号）、頁の順に記載した。

理事長

論文

〔原 著〕

Ohkuma R, Miura S, Muto S, Toyomasu Y, Fujimoto Y, Ieguchi K, Onishi N, Shimizu T, Watanabe M, Takayanagi D, Goshima T, Horiike A, Hamada K, Ariizumi H, Shimokawa M, Hirasawa Y, Ishiguro T, Suzuki R, Iriguchi N, Tsurui T, Mura E, Takenoshita S, Numajiri K, Okabe N, Yoshimura K, Tsuji M, Kiuchi Y, Yajima T, Ishida H, Suzuki H, Yamochi T, Kobayashi S, Tsunoda T, Wada S. Novel quantitative immunohistochemical analysis for evaluating PD-L1 expression with phosphor-integrated dots for predicting the efficacy of patients with cancer treated with immune checkpoint inhibitors. *Frontiers in Immunology*. 202309; 14:1260492.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ozaki A, Tachibana K, Wada M, Saito H, Kaneda Y, Nishikawa Y, Murakami M, Hirai K, Ohira H, Sawano T, Kurokawa T, Tsubokura M, Kono K, Ohtake T, Takenoshita S. Long-term uptake rate of a breast cancer screening program in Fukushima, Japan, following the 2011 Triple Disaster: a retrospective observational study. 2023 San Antonio Breast Cancer Symposium: 20231205-09; San Antonio, USA.

藤田正太郎, 星野啓太, 中島隆宏, 八島玲, 野水整, 竹之下誠一. 陰嚢に2次孔を認めた複雑痔瘻の1例. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会: 20231110; 熊本.

神経解剖・発生学講座

論文

〔原 著〕

Watanabe Y, Sakuma C, Yaginuma H. Tangentially migrating cells differentiate into SGC neurons to form tectofugal visual pathway in the developing chick optic tectum. *Developmental Dynamics*. 202308; 252(8):1096-1112.

Homma S, Shimada T, Wada I, Kumaki K, Sato N, Yaginuma H. A three-component model of the spinal nerve ramification: Bringing together the human gross anatomy and modern Embryology. *Frontiers in Neuroscience*. 202301; 16:1009542.

天野修, 佐藤二美, 八木沼洋行, 篤志解剖全国連合会. 献体業務リスク管理アンケート結果について (篤志解剖全国連合会). *解剖学雑誌*. 202303; 98(1):5-10.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

向笠勝貴. Foxp1 プロモーター近傍のレチノイン酸応答配列は脊髄運動神経の発生分化に関与するか. 日本解剖学会若手研究者の会 2022 年度春の学校; 20230317; 仙台.

渡邊裕二, 佐久間千恵, 八木沼洋行. Canonical Wnt signaling is required for layer formation of the developing avian optic tectum. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230319; 仙台.

赤間沙彩, 八木沼洋行. マウス胎仔頸髄上部における早期運動神経細胞死によって特定の運動神経サブグループが排除されるか. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230318-20; 仙台.

橋本光広, 八木沼洋行. 視床下部外側野から小脳へのオレキシン陽性軸索入力. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230318-20; 仙台.

向笠勝貴, 八木沼洋行. Foxp1 プロモーター近傍のレチノイン酸応答配列の機能解析. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230318-20; 仙台.

向笠勝貴, 八木沼洋行. 発生砂時計モデルに合致した脊髄発生の進化. 第 11 回 Tokyo Vertebrate Morphology Meeting; 20230715; 東京.

Mukaigasa K, Sakuma C, Yaginuma H. Functional analysis of the retinoic acid response elements in the Foxp1 promoters. 第 56 回日本発生生物学会大会; 20230722-25; 仙台.

橋本光広, 八木沼洋行. 視床下部外側野から小脳へのオレキシン陽性軸索入力. 第 46 回日本神経科学大会; 20230802; 仙台.

赤間沙彩, 佐久間千恵, 向笠勝貴, 八木沼洋行. マウス胚における頸部運動神経細胞群の早期細胞死. 第 46 回日本神経科学大会; 20230801-04; 仙台.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. Foxp1 プロモーター内に存在するレチノイン酸受容体結合配列の機能解析. 日本解剖学会第 69 回東北・北海道連合支部学術集会; 20230902-03; 仙台.

解剖・組織学講座

論文

〔原著〕

Stacy A, Lange M, Katz CL, Waguri S, Yanagisawa R. "I'd like to let people know what we did:" values of Fukushima medical students following the Great East Japan Earthquake. BMC Medical Education. 202304; 23(1):248.

Ikeda R, Noshiro D, Morishita H, Takada S, Kageyama S, Fujioka Y, Funakoshi T, Komatsu-Hirota S, Arai R, Ryzhii E, Abe M, Koga T, Motohashi H, Nakao M, Sakimura K, Horii A, Waguri S, Ichimura Y, Noda NN, Komatsu M. Phosphorylation of phase-separated p62 bodies by ULK1 activates a redox-independent stress response. EMBO Journal. 202307; 42(14):e113349.

Suzuki M, Funakoshi T, Kumagai K, Komatsu M, Waguri S. ATG9A supports Chlamydia trachomatis infection via autophagy-independent mechanisms. Microbiology Spectrum. 202309; 11(5):e0277423.

Kuchitsu Y, Mukai K, Uematsu R, Takaada Y, Shinojima A, Shindo R, Shoji T, Hamano S, Ogawa E, Sato R, Miyake K, Kato A, Kawaguchi Y, Nishitani-Isa M, Izawa K, Nishikomori R, Yasumi T, Suzuki T, Dohmae N, Uemura T, Barber GN, Arai H, Waguri S, Taguchi T. STING signalling is terminated through ESCRT-dependent microautophagy of vesicles originating from recycling endosomes. Nature Cell Biology. 202303; 25(3):453-466.

Suzushino S, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Waguri S, Marubashi S. Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemented with Adipose-Derived Stem Cells. Tissue Engineering. Part A. 202307; 29(13-14):384-396.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

植村武文, 和栗聡. クラスリンアダプターAP-1 複合体による EGFR 発現調節機構. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230320; 仙台.

鈴木倫毅, 和栗聡. ATG9A はオートファジー非依存的にクラミジア増殖に関与する. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230318-20; 仙台.

Uemura T, Suzuki T, Dohmae N, Waguri S. Clathrin adaptors AP-1 and GGA2 regulate cell surface expression of EGFR for cell growth. 第 82 回日本癌学会学術総会; 20230922; 横浜.

過年業績

鈴木倫毅, 和栗聡. オリゴデンドロサイト特異的 UBXD8 ノックアウトマウスの解析. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

鈴木倫毅, 和栗聡. UBXD8flox/flox・CNP1-Cre マウスの解析. 日本顕微鏡学会第 78 回学術講演会; 20220511-13; 郡山.

田村直輝, 和栗聡. 高浸透圧ストレス下で形成される非膜性オルガネラの微細構造解析. 日本顕微鏡学会第 78 回学術講演会; 20220513; 郡山.

〔シンポジウム〕

田村直輝, 和栗聡. 高浸透圧ストレス下で形成される非膜性オルガネラの解析. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20230318-20; 仙台.

和栗聡. 顕微科学から迫る細胞内分解最先端. 日本顕微鏡学会第 66 回シンポジウム; 20231112; 高崎.

過年業績

和栗聡, 田村直輝. 哺乳類細胞における SQSTM1/p62 液滴の形成と分解. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220328; Web.

細胞統合生理学講座

論 文

〔原 著〕

Yoshie S, Murono S, Hazama A. Approach for Elucidating the Molecular Mechanism of Epithelial to Mesenchymal Transition in Fibrosis of Asthmatic Airway Remodeling Focusing on Cl⁻ Channels. International Journal of Molecular Sciences. 202312; 25(1):289.

Katsuda SI, Hazama A. Estimation of Central Systolic Blood Pressure from Peripheral Pressure Waves using a Novel Second Systolic Pressure-Based Method in Normal and Heritable Hypercholesterolemic Rabbits. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202309; 30(9):1132-1141.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kobayashi D, Nishimura N, Hazama A. Effect of cesium on actin elongation might affect cell migration in NIH/3T3 cells. 日本生理学会第 100 回記念大会; 20230314-16; 京都. Journal of Physiological Sciences. 73(Supplement 1):150.

システム神経科学講座

論 文

〔原 著〕

木村孝行, 藤原寿理, 大塚千恵, 東竜太, 永福智志, 萩野亮, 五十嵐啓二, 増淵祐二. アイシャドウの色の好みに関わる脳活動 fMRI による検討. 顔学. 202312; 23(2):69-78.

〔その他〕

永福智志. 神経科学の素朴な疑問 Q&A オンライン会議で人の気配がわからないのはなぜですか? Clinical Neuroscience. 202308; 41(8):1104.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

高橋和巳, 加藤由美子, 永福智志. 睡眠／覚醒状態および心拍変動に先行する視床下部背内側核ニューロンの活動変化. 第 46 回日本神経科学大会; 20230803; 仙台.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

岡本正博. 実習用誘発筋電図記録アプリ. 2023.

生化学講座

論文

〔原著〕

Kariya Y, Gu J, Kariya Y. Integrin $\alpha 6 \beta 4$ Confers Doxorubicin Resistance in Cancer Cells by Suppressing Caspase-3-Mediated Apoptosis: Involvement of N-Glycans on $\beta 4$ Integrin Subunit. *Biomolecules*. 202312; 13(12):1752.

Hoshi K, Kanno M, Goto A, Ugawa Y, Furukawa K, Arai H, Miyajima M, Takahashi K, Hattori K, Kan K, Saito T, Yamaguchi Y, Mitsufuji T, Araki N, Hashimoto Y. Brain-Derived Major Glycoproteins Are Possible Biomarkers for Altered Metabolism of Cerebrospinal Fluid in Neurological Diseases. *International Journal of Molecular Sciences*. 202303; 24(7):6084.

Nishita M, Kamizaki K, Hoshi K, Aruga K, Nishikaku I, Shibuya H, Matsumoto K, Minami Y. Rho family small GTPase Rif regulates Wnt5a-Ror1-Dvl2 signaling and promotes lung adenocarcinoma progression. *Journal of Biological Chemistry*. 202310; 299(10):105248.

星京香. 【脳脊髄液検査—その基礎と新しい展開】水頭症および脳脊髄液減少症と脳脊髄液検査. 臨床検査. 202305; 67(5):549-554.

〔その他〕

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. Correction: Hoshi et al. High Correlation among Brain-Derived Major Protein Levels in Cerebrospinal Fluid: Implication for Amyloid-Beta and Tau Protein Changes in Alzheimer's Disease. *Metabolites* 2022, 12, 355. *Metabolites*. 202305; 13(6):685.

書籍等出版物

依田成玄, 西田満, 南康博 訳. 30 : DNA の構造, 複製, 修復, 31 : RNA の構造と合成, 32 : タンパク質合成, 33 : 遺伝子発現の制御, 34 : バイオテクノロジーとヒト疾患への応用. In: Emine Ercikan Abali 他 著, 石崎泰樹, 丸山敬 監訳. イラストレイテッド生化学 原著 8 版. 東京: 丸善出版; 202311. p.531-646.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

苅谷慶喜, 苅谷由貴子. $\beta 4$ インテグリンによるゲムシタビン耐性膀胱癌の悪性形質獲得機構. 第 32 回日本がん転移学会学術集会・総会; 20230721; 仙台.

大山翠, 鈴木崇斗, 苅谷由貴子, 苅谷慶喜. $\alpha v \beta 3$ インテグリンによる Partial-EMT 誘導と機構解明. 第 1 回細胞接着研究会; 20231124; 山口.

苅谷慶喜, 鈴木遥翔, 苅谷由貴子. 抗癌薬ゲムシタビンが引き起こす膀胱癌悪性化のメカニズム. 第 1 回細胞接着研究会; 20231124; 山口.

佐事武, 岡田康志, 南康博, 西田満. キネシン KIF1C によるリソソーム細胞内分布の制御. 第 46 回日本分子生物学会年会; 20231207; 神戸.

永井友朗. Cell micropatterning-based study on solitary and collective cell migration. 第 46 回日本分子生物学会年会; 20231207; 神戸.

免疫学講座

論文

〔原著〕

Maehara H, Norikawa K, Tanaka K, Kato Y, Kasai A, Omori T, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Tear fluid and complement activation products in tears after ocular surgery. BMC Ophthalmology. 202307; 23(1):329.

〔総説等〕

Sekine H, Machida T, Fujita T. Factor D. Immunological Reviews. 202301; 313(1):15-24.

町田豪, 関根英治. 重症筋無力症の病態 補体の役割と活性化のメカニズム. 脳神経内科. 202306; 98(6):809-815.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Machida T, Monoe H, Ishida Y, Fujita T, Sekine H. Lack of MASP-1 results in delayed onset of albuminuria and prolonged survival in lupus-prone MRL/lpr mice. 29th International Complement Workshop; 20230901; New Castle, UK. Immunobiology. 228(5):152557.

物江洋人, 町田豪, 石田由美, 藤田禎三, 関根英治. ループス腎炎における補体レクチン経路の関与. 福島県立医科大学医学研究科大学院研究発表会・サマーポスターセッション; 20230719; 福島.

物江洋人, 町田豪, 石田由美, 藤田禎三, 関根英治. MASP-1 欠損 MRL/lpr マウスではループス様腎炎による腎機能障害の発症が遅延し、生存期間が延長する. 第 59 回日本補体学会学術集会; 20230826; 別府.

病態制御薬理医学講座

論文

〔原著〕

Kitamura S, Murao N, Yokota S, Shimizu M, Ono T, Seino Y, Suzuki A, Maejima Y, Shimomura K. Effect of fenofibrate and selective PPAR α modulator (SPPARM α), pemafibrate on KATP channel activity and insulin secretion. BMC Research Notes. 202309; 16(1):202.

Ogata H, Kitamura S, Fujiwara M, Shimizu M, Tan C, Zhao S, Maejima Y, Shimomura K. Dose Dependent Effect of Sulfamethoxazole on Inhibiting KATP Channel of Mouse Pancreatic β Cell. Dose-response. 202309; 21(3):15593258231203611.

Fujiwara M, Shimizu M, Okano T, Maejima Y, Shimomura K. Successful treatment of nivolumab and ipilimumab triggered type 1 diabetes by using sodium-glucose transporter 2 inhibitor: a case report and systematic review. Frontiers in Public Health. 202312; 11:1264056.

Ghosh A, Banik S, Yamada K, Misaka S, Prud'homme RK, Sato H, Onoue S. Stabilized Astaxanthin Nanoparticles Developed Using Flash Nanoprecipitation to Improve Oral Bioavailability and Hepatoprotective Effects. Pharmaceutics. 202310; 15(11):2562.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

日出間志寿, 下村健寿, 前島裕子, 水野景太, 西森克彦. 加味帰脾湯はオキシトシン欠損マウスが示す向社会性行動異常を改善する. 日本農芸化学会 2023 年度大会; 20230314-17; Web.

日出間志寿, 西森克彦, 水野景太, 前島裕子, 下村健寿. ASD 病態モデルマウスを用いた加味帰脾湯の向社会性行動への作用に関する研究. 福島医学会学術研究集会; 20230525; 福島.

微生物学講座

論文

〔原 著〕

Ishioka K, Miyazaki N, Nishiyama K, Suzutani T. Characterization of *Lactococcus lactis* 11/19-B1 Isolated from Kiwi Fruit as a Potential Probiotic and Paraprobiotic. *Microorganisms*. 202312; 11(12):2949.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

宮崎希, 荷山美紅, 尾崎千明, 樋口智子, 伊藤菜美, 鈴木喜貴, 石岡賢, 錫谷達夫. エクオールは免疫老化を軽減することでマウス加齢性難聴の発症を予防する. 第75回日本細菌学会東北支部総会・学術集会; 20230821-22; 山形.

基礎病理学講座

論文

〔原 著〕

Murakami-Nishimagi Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Tachibana K, Kojima M, Okano M, Hashimoto Y, Saji S, Ohtake T, Chiba H. Claudin-4-adhesion signaling drives breast cancer metabolism and progression via liver X receptor β . *Breast Cancer Research*. 202304; 25(1):41.

Ichikawa-Tomikawa N, Sugimoto K, Kashiwagi K, Chiba H. The Src-Family Kinases SRC and BLK Contribute to the CLDN6-Adhesion Signaling. *Cells*. 202306; 12(13):1696.

Nishimagi A, Kobayashi M, Sugimoto K, Kofunato Y, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Marubashi S, Chiba H. Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510 is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence. *Clinical and Experimental Medicine*. 202312; 23(8):4985-4995.

Higashi T, Saito AC, Fukazawa Y, Furuse M, Higashi AY, Ono M, Chiba H. EpCAM proteolysis and release of complexed claudin-7 repair and maintain the tight junction barrier. *Journal of Cell Biology*. 202301; 222(1):e202204079.

Higashi T, Stephenson RE, Schwyer C, Huljev K, Higashi AY, Heisenberg CP, Chiba H, Miller AL. ZnUMBA - a live imaging method to detect local barrier breaches. *Journal of Cell Science*. 202308; 136(15):jcs260668.

Miyakawa R, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Kobayashi Y, Furukawa S, Honda T, Watanabe T, Asano S, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. SPON1 is an independent prognostic biomarker for ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 202305; 16(1):95.

Saito AC, Higashi T, Chiba H. Tight-junction strand networks and tightness of the epithelial barrier. *Microscopy*. 202306; 72(3):213-225.

杉本幸太郎, 千葉英樹. 核内受容体の新規調節機構の発見と病理学への展開. *福島医学雑誌*. 202312; 73(3):65-71.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小林信, 杉本幸太郎, 西間木淳, 小林靖幸, 千葉英樹. 肝受容体ホモログ-1の異常セリンリン酸化は肝臓癌・肝癌の予後不良因子である. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):298.

杉本幸太郎, 西間木（村上）祐子, 小林信, 千葉英樹. CLDN4-LXR 連関による乳癌の悪性形質制御機構. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):302.

川名聡, 五十嵐愛子, 杉本幸太郎, 大橋瑠子, 橋本優子. 新規病的バリエーションが原因と考えられたフマル酸ヒドラーゼ欠損性腎細胞癌の剖検例2例. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):333.

小名木彰史, 杉本幸太郎, 小林信, 小島祥敬, 千葉英樹. 腎細胞癌における Claudin-10 の分子病理学的解析. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):334.

佐久間桃, 杉本幸太郎, 西間木淳, 小林信, 小林靖幸, 千葉英樹. CLDN10は肝細胞癌で異常発現する. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):378.

茂村碧, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 小島学, 千葉英樹. 細胞接着分子クローデインによる卵巣がんの層別化. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):380.

瓜生開, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小島学, 千葉英樹. 卵巣がん患者腹水中に含まれる自己抗体の網羅的同定. 第112回日本病理学会総会; 20230413-15; 下関. 日本病理学会会誌. 112(1):380-381.

西間木淳, 杉本幸太郎, 小林信, 小島康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 千葉英樹, 丸橋繁. 肝癌における核内受容体 LHR1 異常リン酸化の解明. 第 123 回日本外科学会定例会学術集会; 20230429; 東京. 抄録集. SF-56-2.

瓜生開, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 田口歩, 千葉英樹. 卵巣がんの新規抗体医薬品標的タンパク質の網羅的同定. 第 74 回日本電気泳動学会学術大会; 20230518-20; 石垣. 電気泳動. 67(Suppl.):s47.

茂村碧, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 千葉英樹. 細胞接着分子クローディン 16 は卵巣癌の新規バイオマーカーである. 第 74 回日本電気泳動学会学術大会; 20230518-20; 石垣. 電気泳動. 67(Suppl.):s59.

小林信, 杉本幸太郎, 瓜生開, 遠藤雄大, 小島学, 千葉英樹. 二次元電気泳動/ウェスタンブロット法によるがん患者由来自己抗体の新規網羅的同定法. 第 74 回日本電気泳動学会学術大会; 20230518-20; 石垣.

小林信, 杉本幸太郎, 瓜生開, 遠藤雄大, 小島学, 小寺義男, 千葉英樹. 卵巣癌患者腹水中に含まれる自己抗体の網羅的同定. 日本プロテオーム学会 2023 年大会; 20230724-26; 新潟.

小林信, 杉本幸太郎, 宮川諒也, 遠藤雄大, 小林靖幸, 田口歩, 千葉英樹. サーフェソーム解析から得られた Spondin-1 は卵巣癌の新規バイオマーカーである. 第 19 回日本病理学会カンファレンス; 20230804-06; 北海道森町.

佐藤友美, 井上正宏, 長山聡, 朝長毅, 足立淳. リン酸化プロテオミクスによる腫瘍由来スフェロイドの接着機構解析に基づいた創薬標的探索. 2023 年度日本患者由来がんモデル学会学術集会; 20231025; 東京.

佐藤友美, 井上正宏, 朝長毅, 足立淳. リン酸化プロテオミクスを用いた遠隔転移確立メカニズムの解明. 第 46 回日本分子生物学会年会; 20231206-08; 神戸.

衛生学・予防医学講座

論文

〔原著〕

Sato K, Tsuji H, Yorimitsu M, Uehara T, Okazaki Y, Takao S, Hata T, Fukuoka S, Noda T, Kanda H, Ozaki T. Associations among Preoperative Malnutrition, Muscle Loss, and Postoperative Walking Ability in Intertrochanteric Fractures: A Retrospective Study. *Acta Medica Okayama*. 202310; 77(5):511-516.

Yamakuni R, Seino S, Ishii S, Ishikawa H, Kikori K, Ando T, Kakamu T, Fukushima K, Otani K, Ito H. Lumbar intradural space reduction during the Valsalva maneuver observed using cine MRI and MR myelography: a single-case experimental study. *Acta Neurochirurgica*. 202308; 165(8):2111-2120.

Nagahata K. A trial of translation of the perceived affective quality attributes for soundscape research to Japanese. *Applied Acoustics*. 202308; 211:109542.

Nguyen T, Nagahata K, Morinaga M, Ma H. Cross-cultural comparison of soundscape evaluation between Japanese and Vietnamese using standardized attributes. *Applied Acoustics*. 202310; 213:109627.

Morinaga A, Iwanaga K, Maki K, Ueno T, Kawano K, Funakoshi S, Yamanokuchi T, Tsuji M, Abe M, Satoh A, Kawazoe M, Maeda T, Yoshimura C, Takahashi K, Tada K, Ito K, Yasuno T, Kawanami D, Masutani K, Arima H. Association between serum ALT levels and incidence of new-onset diabetes in general population of Japanese: a longitudinal observational study (ISSA-CKD). *BMJ Open*. 202308; 13(8):e074007.

Hidaka T, Suzuki R, Hashimoto K, Inoue M, Terada Y, Endo S, Kakamu T, Gunji M, Abe K, Fukushima T. Perceived Future Outcomes of Unsuccessful Treatment and Their Association with Treatment Persistence Among Type-2 Diabetes Patients: A Cross-Sectional Content Analysis. *Diabetes Therapy*. 202309; 14(9):1437-1449.

Hidaka T, Kakamu T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Fukushima T. Returning to a Once Highly Contaminated Homeland in Fukushima in 2023: Resident Concerns of Agricultural Accident and Public Safety. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202308; 17:e449.

Yoshida K, Kanda H, Hisamatsu T, Kuwabara Y, Kinjo A, Yoshimoto H, Ito T, Kasuga H, Minobe R, Maesato H, Jike M, Matsumoto Y, Otsuka Y, Itani O, Kaneita Y, Higuchi S, Osaki Y. Association and dose-response relationship between exposure to alcohol advertising media and current drinking: a nationwide cross-sectional study of Japanese adolescents. *Environmental Health and Preventive Medicine*. 2023; 28:58.

Sato A, Itagaki S, Matsumoto T, Ise Y, Yokokura S, Wada T, Hayashi K, Kakamu T, Fukushima T, Nikaido T, Konno S, Yabe H. Prediction of the prognosis of somatoform disorders using the Minnesota Multiphasic Personality Inventory. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):105-113.

Kasuga H, Endo S, Masuishi Y, Hidaka T, Kakamu T, Fukushima T. Public opinion in Japanese newspaper readers' posts under the prolonged COVID-19 infection spread 2019-2021: contents analysis using Latent Dirichlet Allocation. *Humanities and Social Sciences Communications*. 2023; 10:504.

Kinuta M, Hisamatsu T, Fukuda M, Taniguchi K, Komukai S, Nakahata N, Kanda H. Associations of indoor and outdoor temperatures and their difference with home blood pressure: The Masuda Study. *Hypertension Research*. 202301; 46(1):200-207.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Post-evacuation return of psychiatric hospital inpatients evacuated to hospitals outside the Fukushima prefecture after the nuclear accident: A Retrospective Cohort Study. *International Journal of Social Psychiatry*. 202306; 69(4):875-884.

Kuwabara Y, Kinjo A, Kim H, Minobe R, Maesato H, Higuchi S, Yoshimoto H, Jike M, Otsuka Y, Itani O,

Kaneita Y, Kanda H, Kasuga H, Ito T, Osaki Y. Secondhand Smoke Exposure and Smoking Prevalence Among Adolescents. *JAMA Network Open*. 202310; 6(10):e2338166.

Yamakuni R, Sekino H, Saito M, Kakamu T, Takahashi K, Hara J, Suenaga H, Ishii S, Fukushima K, Ito H. Prediction of Anemia From Cerebral Venous Sinus Attenuation on Deep-Learning Reconstructed Brain Computed Tomography Images. *Journal of Computer Assisted Tomography*. 202309; 47(5):796-805.

Hara Y, Nakamura K, Tanno D, Toyokawa M, Suzuki H, Ohashi K, Harada R, Hidaka T, Nagano T, Torii K, Kanemitsu K. Detection of *Clostridioides difficile* toxin B gene in clinical stool specimens using rapid diagnostic quenching probe-polymerase chain reaction assay. *Journal of Microbiological Methods*. 202302; 205:106666.

Matsumoto M, Narumi-Hyakutake A, Kakutani Y, Tsuji M, Hatamoto Y, Higaki Y, Sasaki S. Evaluation of protein requirements using the indicator amino acid oxidation method: a scoping review. *Journal of Nutrition*. 202312; 153(12):3472-3489.

Fukuda M, Chowdhury M, Chowdhury TT, Tsumura H, Tsuchie R, Kinuta M, Hisamatsu T, Kanda H. At-risk internet addiction and related factors among senior high school teachers in Japan based on a Nationwide survey. *Neuropsychopharmacology Reports*. 202312; 43(4):553-560.

Otsuka Y, Kinjo A, Kaneita Y, Itani O, Kuwabara Y, Minobe R, Maesato H, Higuchi S, Kanda H, Yoshimoto H, Jike M, Kasuga H, Ito T, Osaki Y. Comparison of the responses of cross-sectional web- and paper-based surveys on lifestyle behaviors of Japanese adolescents. *Preventive Medicine Reports*. 202310; 36:102462.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 202304; 254:40-41.

Tsumura H, Fukuda M, Hisamatsu T, Sato R, Tsuchie R, Kanda H. Relationships of rapid eating with visceral and subcutaneous fat mass and plasma adiponectin concentration. *Scientific Reports*. 202307; 13(1):11491.

Yamakuni R, Ishii S, Kakamu T, Ishikawa H, Sekino H, Seino S, Fukushima K, Otani K, Ito H. Relationship between lumbar spinal stenosis and cauda equina movement during the Valsalva maneuver. *Skeletal Radiology*. 202307; 52(7):1349-1358.

福島哲仁. 産業保健と健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health) . 産業医学ジャーナル. 202303; 46(2):108-109.

日高友郎. 難治性・進行性の病いと「健康」ー筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 者のウェルビーイング. 心理学ワールド. 202310; 103:12-15.

堀越昌和, 亀井克之, 尾久裕紀, 栗岡住子, 金子信也, オリビエ トレス. コロナ禍における中小企業経営者の健康問題と事業継続リスクーバーンアウトを代理変数とした探索研究ー. 日本政策金融公庫論集. 202308; 60:71-

金子信也, 青山眞二. コロナ禍における養護教諭特別別科生 の 精神状態. 北海道教育大学紀要 基礎研究編. 202307; 74(1):103-106.

書籍等出版物

工藤宣子, 荒川雅子, 森慶恵, 福田博美, 山田浩平, 大道乃里江, 金子信也, 津島愛子, 上村弘子. 附属学校園における実践研究の推進. 日本教育大学協会全国養護部門研究委員会. 202303.

伊藤央奈. 健康、疾病、行動に関わる統計資料. In: 武山英麿, 伊藤央奈. サクセス管理栄養士・栄養士養成講座 公衆衛生学健康管理概論 社会・環境と健康. 東京: 第一出版. 202303. p.31-46.

伊藤央奈. 健康状態・疾病の測定と評価. In: 武山英麿, 伊藤央奈. サクセス管理栄養士・栄養士養成講座 公衆衛生学健康管理概論 社会・環境と健康. 東京: 第一出版. 202303. p.47-62.

伊藤央奈. 主要疾患の疾病と予防対策. In: 武山英麿, 伊藤央奈. サクセス管理栄養士・栄養士養成講座 公衆衛生学健康管理概論 社会・環境と健康. 東京: 第一出版. 202303. p.85-116.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ito T, Hoshi C, Zemp M, Yaginuma K, Hashimoto A, Nemoto A, Yoshida A, Kurosawa H, Okabe S. Gender differences in relation to return behavior and subjective health views among Katsurao villagers. 21st ARAHE Biennial International Congress; 20230807-11; Kuala Lumpur, Malaysia.

Nagahata K, Saito M, Funayama T, Ishii T. Can the perceived affective quality scales evaluate the restorativeness of soundscapes? Inter-noise 2023; 20230821; Chiba. proc. inter-noise 2023. 3659-3666.

日高友郎, 遠藤翔太, 増石有佑, 各務竹康, 三浦理恵子, 宗像ゆかり, 多治見公高, 福島哲仁. 座位中心型労働と就寝時刻遅延との関連: 断面研究. 第96回日本産業衛生学会; 20230510-12; 宇都宮.

日高友郎. 指定討論: 当事者の声はどのように尺度に届くか? 日本心理学会第87回大会; 20230916; 神戸.

Nagahata K, Saito M, Funayama T, Ishii T. Can the perceived affective quality scales evaluate the restorativeness of soundscapes? 日本音響学会第150回(2023年秋季)研究発表会; 20230928; 名古屋. 講演論文集. 2023(秋季):3-7-10.

日高友郎, 各務竹康, 小宮ひろみ. 大学医学部における職場ダイバーシティ推進: 労働者ニーズと性・年齢・所属との関連性. 第82回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

〔シンポジウム〕

日高友郎. 福島原発事故による長期避難後の帰還困難区域への帰還に関する懸念：飯舘村長泥地区住民へのインタビューから. 復興の人間科学 2023; 20231118-19; 東京.

〔特別講演〕

永幡幸司. 福島が経験した2つの沈黙の春に私たちは何を聴くのか. 令和5年度福島保健衛生学会（第51回）；20231005; 福島. 抄録集. 13.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

Nagahata K. Twelve after the quake: 20230311. Online (<https://www.60secondradio.com/oeuvres-2023>).

公衆衛生学講座

論 文

〔原 著〕

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Tsuchihashi T, Kanno T, Nemoto H, Takahashi A, Moriyama N, Yasumura S. Association Between Radiation Education and Knowledge on Thyroid Examination Among Medical Students in Fukushima, Japan. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202308; 17:e456.

Abe T, Saito H, Moriyama N, Ito N, Takita M, Kinoshita Y, Ozaki A, Nishikawa Y, Yamamoto C, Zhao T, Sato M, Tsubokura M. Idobata-Nagaya: a community housing solution for socially isolated older adults following the great East Japan earthquake. *Frontiers in Public Health*. 202311; 11:1289552.

Ito N, Amir I, Saito H, Moriyama N, Furuyama A, Singh P, Montesino S, Yamamoto C, Sato M, Abe T, Zhao T, Tsubokura M. Multisite Lifestyle for Older People after the Fukushima Nuclear Disaster. *Geriatrics*. 202309; 8(5):87.

Kawashima M, Sawano T, Murakami M, Moriyama N, Kitazawa K, Uchi Y, Nonaka S, Ito N, Saito H, Abe T,

Sakakibara M, Yagiuchi K, Otsuki M, Hori A, Ozaki A, Yamamoto C, Zhao T, Uchiyama T, Oikawa T, Niwa S, Tsubokura M. Association between the deaths indirectly caused by the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident (disaster-related deaths) and pre-disaster long-term care certificate level: A retrospective observational analysis. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202310; 96:103989.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Nakayama C, Iwasa H, Moriyama N, Yasumura S. Relationship between the Effects of Perceived Damage Caused by Harmful Rumors about Fukushima after the Nuclear Accident and Information Sources and Media. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(3):2077.

Moriyama N, Kuga T, Oshima T, Sato K, Kurita M, Yasumura S. Association between Tai Chi Yuttari Exercise and Longevity and Prevention of Long-Term Care Need: Survival Analysis in Kitakata City, Japan. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202302; 20(4):3472.

Ito N, Moriyama N, Furuyama A, Saito H, Sawano T, Amir I, Sato M, Kobashi Y, Zhao T, Yamamoto C, Abe T, Tsubokura M. Why Do They Not Come Home? Three Cases of Fukushima Nuclear Accident Evacuees. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202302; 20(5):4027.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between Labor Duration in Singleton Spontaneous Vaginal Deliveries and Offspring Neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Go H, Ogasawara K, Maeda H, Ohto H, Nollet KE, Iwasa H, Kawasaki Y, Hosoya M. Predicting neonatal mortality with a disseminated intravascular coagulation scoring system. *International Journal of Hematology*. 202302; 117(2):278-282.

Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Nishigori T, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Congenital Anomalies in Infants in Fukushima from 2011 to 2014: The Japan Environment and Children's Study. *JMA Journal*. 202301; 6(1):36-47.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara

Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyojuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Epidemiology*. 202310; 33(10):489-497.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):577-586.

Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Akahane K, Yasumura S, Kamiya K, Suzuki G. Comparison between external and internal doses to the thyroid after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Journal of Radiation Research*. 202303; 64(2):387-398.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Kyojuka H, Ohhira T, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Yasumura S, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Eight-Year Trends in the Effect of the Great East Japan Earthquake on Obstetrics Outcomes: A Study from the Fukushima Health Management Survey. *Life*. 202308; 13(8):1702.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Idaka T, Iwasa H, Yasumura S. Associations of acute medical care with the transfer and acceptance functions of hospitals in a region in Japan with limited medical resources. *PLOS ONE*. 202301; 18(1):e0280802.

Ma E, Ohira T, Fukasawa M, Yasumura S, Miyazaki M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Hosoya M. Prevalence trends of metabolic syndrome in residents of postdisaster Fukushima: a longitudinal analysis of Fukushima Health Database 2012-2019. *Public Health*. 202304; 217:115.

Kojima N, Kim M, Saito K, Yoshida Y, Hirano H, Obuchi S, Shimada H, Suzuki T, Iwasa H, Kim H. Effects of Daily Consumption of Soy Products on Basic/Instrumental Activities of Daily Living in Community-Dwelling Japanese Women Aged 75 Years and Older: A 4-Year Cohort Study. *Women's Health Reports*. 202305; 4(1):232-

岩佐一, 石井佳世子, 吉田祐子. 性別役割分業観ならびに母親からのソーシャルサポートと父親の育児参加との関連. 日本公衆衛生雑誌. 202302; 70(2):112-113.

廣田誠子, 中山千尋, 吉永信治, 森山信彰, 安村誠司. 放射線による次世代影響不安と知識に関する解析 福島県全域に対する「健康と情報についての調査」回答結果を用いて. 日本公衆衛生雑誌. 202307; 70(7):415-424.

〔その他〕

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202303; 2023 3・4月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202305; 2023 5・6月号:24-27.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202307; 2023 7・8月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202309; 2023 9・10月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202311; 2023 11・12月号:24-27.

安村誠司. 日本の災害と公衆衛生 過去・現在・未来 東日本大震災（福島県）10年間の教訓. 公衆衛生. 202301; 87(1):66-71.

安村誠司. With コロナ時代に求められる公衆衛生人材 Editorial—今月号の特集について. 公衆衛生. 202309; 87(9):857.

安村誠司. With コロナ時代に求められる公衆衛生人材 健康危機管理を通じて考える公衆衛生人材. 公衆衛生. 202309; 87(9):910-917.

安村誠司. 人は家のどの場所で命を落とすのか? 「死の間取り」ここに気をつけろ! 週刊現代. 202311; 2023年12月2・9日号:134-136.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 前田正治, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10年の歩みと今後の方向性. 福島県医師会報. 202302; 85(2):19-25.

書籍等出版物

安村誠司. QOLと障害. In: 三浦克之, 玉腰暁子, 尾島俊之 編集. 疫学の事典. 東京: 朝倉書店; 202301. p.168-169.

安村誠司. ADL・IADLの評価尺度と要介護認定. In: 三浦克之, 玉腰暁子, 尾島俊之 編集. 疫学の事典. 東京: 朝倉書店; 202301. p.170-171.

安村誠司, 他. 報告 感染症パンデミックに対するわが国の平時・緊急時の臨床・疫学・基礎研究の現状と課題. 東京: 日本学術会議; 202306.

安村誠司, 他. 報告 初等中等教育におけるリスク教育の推進. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司, 他. 報告 加熱式タバコの毒性を知り 科学的根拠に基づく施策の実現を. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司, 他. 見解 ウィズコロナを見据えたレジリエントな、かつ安心感ある地域づくりと医療ケア体制の再構築. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司. 高齢者保健. In: 国試対策問題編集委員会. 共用試験 CBT・医師国家試験のためのレビューブック 公衆衛生 2024. 東京: メディックメディア; 202310. p.247-272.

山崎幸子, 安村誠司. IV章 01. 図表の描き方 (グラフ, ヒストグラム, チャート). In: 中村好一. 医療系のためのもっとやさしい統計学入門. 東京: 診断と治療社; 202311. p.128-141.

安村誠司 (監修), 浅川康吉 (編集). Crosslink basic リハビリテーションテキスト 公衆衛生学. 東京: メジカルビュー社; 202312.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

大平哲也, 長尾匡則, 林史和, 志村浩己, 安村誠司, 高橋秀人, 鈴木悟, 鈴木聡, 鈴木眞一, 石川徹夫, 坂井晃, 祖父江友孝, 鈴木元, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二. 福島第一原発事故後の放射線被ばくと甲状腺がんとの関連についての症例対照研究: 福島県県民健康調査. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 89.

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響: 福島県県民健康調査. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 141.

安村誠司, 大平哲也, 石川徹夫, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 藤森敬也, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」の実績と現状. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 153.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連～横断研究～: 福島県県民健康調査. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 172.

森山信彰, 金成由美子, 齋藤裕樹, 安村誠司. 新型コロナウイルス (オミクロン株) の感染に対するワクチン接種回数と感染の関連. 第 93 回日本衛生学会学術総会; 20230303; 東京.

中野裕紀, 林史和, 吉田知克, 梅澤光政, 佐久間潤, 小橋元, 安村誠司, 大平哲也. 福島県における東日本大震災後の脳卒中発症の推移、地域差の検討：福島県脳卒中発症登録. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島. 日本循環器病予防学会誌. 58(2):106.

佐久間裕子, 岩佐一, 安村誠司. 地域における家族計画支援の実態と課題に関するインタビュー調査研究. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:24.

井高貴之, 岩佐一, 安村誠司. 日本の医療資源が限られた地域における急性期医療と病院の転院・受入機能の関連. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:31.

石井なつみ, 江口依里, 前田正治, 安村誠司, 矢部博興, 高橋敦史, 高瀬佳苗, 神谷研二, 林史和, 大平哲也. 東日本大震災後の福島県における食品摂取頻度と糖尿病発症リスクとの関連：県民健康調査. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:36.

岩佐一, 吉田祐子, 石井佳世子. 職場及び家族からのソーシャルサポートと父親のワーク・ファミリー・コンフリクトの関連. 第 87 回日本心理学会学術総会; 20230917; 神戸.

森山信彰, 舟見敬成, 小野田修一, 山田秀彦, 安村誠司. 理学療法士における避難行動要支援者の「個別避難計画」に関する知識の有無とその関連要因. 第 22 回福島県理学療法士会学術集会; 20231022; 会津若松.

森山信彰, 伊東尚美, 古山綾子, 佐藤美佳, 坪倉正治. 福島第一原子力発電所事故後の高齢者における被災自治体への帰還と心身機能の関連. 第 10 回日本予防理学療法学会学術大会; 20231028; 函館.

林史和, 安部恭子, 佐藤美佳, 大平哲也, 高橋敦史, 坂井晃, 島袋允生, 前田正治, 矢部博興, 佐藤志帆, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の避難期間と肝機能障害との関連：福島県県民健康調査. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 290.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10 年の実績、現状と今後の課題. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 305.

木下ゆり, 中山千尋, 伊東尚美, 森山信彰, 岩佐一, 安村誠司. 東日本大震災後の福島県沿岸部の高齢者の食品摂取多様性とその関連要因. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 315.

岡崎可奈子, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 島袋允生, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後のやせの新規発生についての年齢層別解析：福島県「県民健康調査」. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 393.

岩佐一, 吉田祐子, 石井佳世子. 職場の支援的風土と父親の育児参加の関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 541.

森山信彰, 舟見敬成, 小野田修一, 山田秀彦, 安村誠司. 理学療法士養成機関における災害時対応に関する教育の実施状況：避難行動要支援者の個別避難計画作成に着目して. 第 12 回日本理学療法教育学会学術大会; 20231209; さいたま.

〔シンポジウム〕

安村誠司. 被災者にとつての「ありがたい」支援とは. 上智大学多文化共生社会研究所主催 第4回公開シンポジウム; 20230311; 東京/Web.

安村誠司（座長）. ウィズ・ポストコロナ時代における老年学の役割と発揮：新たなステージに向けて. 日本学術会議公開シンポジウム; 20230729; Web.

安村誠司（座長）. 高齢者の健康・生活の視点から新型コロナ感染症対策に求められる老年学の役割と発揮. 日本学術会議公開シンポジウム; 20230730; Web.

〔特別講演〕

仙道富士郎, 安村誠司. 釈迦に説法—COVID-19から学ぶことなど—. 第72回東北公衆衛生学会 プレセミナー; 20230720; 福島.

森山信彰. 大規模災害など有事への備えとしての高齢者の健康づくり対策：理学療法士が貢献できる可能性. 第22回福島県理学療法士会学術集会; 20231022; 会津若松.

〔その他〕

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋允生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty Liver index との関連：福島県県民健康調査. 第59回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島. 日本循環器病予防学会誌. 58(2):99.

安村誠司. 脱フレイル宣言～介護いらずの体をつくる. 福島民友. 20230624.

安村誠司（学会長）. 第72回東北公衆衛生学会. 20230721; 福島.

坂田清美, 辻一郎, 安村誠司. 特別鼎談：東日本大震災からの学び. 第72回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:10.

安村誠司, 坂田清美, 辻一郎. 情報発信の重要性共有 震災の教訓、3県専門家鼎談. 福島民報. 20230722.

安村誠司. 「亀岡よしたみのカメカメトーク」27周年記念特別SP. FM-POCO. 20230827.

安村誠司. 予防で知見生かす／政府の新型インフル等対策推進会議委員. 福島民報. 20230902.

安村誠司. 感染症対策、予防が鍵／政府・新型インフル等対策推進会議メンバー. 福島民友. 20230902.

安村誠司（大会長）. ヘルスコミュニケーションウィーク 2023～福島～. 20230930-1001; 福島.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

安村誠司. 福島県感染症対策アドバイザー. 20200901-.

安村誠司. 広島大学医学部連携教授. 20171001-.

安村誠司. 郡山市健康づくり推進懇談会委員. 20220215-.

法医学講座

論 文

〔原 著〕

Ayata R, Fujita M, Harada K, Esaki Y, Koga Y, Hisamoto Y, Asami-Noyama M, Takeda S, Harada K, Tsuruta R. A case of pulmonary edema due to guanfacine intoxication with measurement of serum guanfacine concentrations. Journal of Toxicological Sciences. 2023; 48(12):641-644.

細谷直, 原田一樹, 松山高明, 金武潤. 新生児にみられた動脈管開存症による肺出血の剖検例. 法医学の実際と研究. 202311; 66:95-98.

〔その他〕

西形里絵, 齊藤道也. 健康コラム 受動喫煙防止による健康作り「イエローグリーンに街を染めましょう」. プラール. 202304; 35:10-11.

西形里絵, 齊藤道也. 健康コラム 愛する人をタバコの煙から守りたい. プラール. 202310; 37:10-11.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

西形里絵, 林王真美, 武田紗希, 白坂由美子, 加藤菜穂. 左心耳損傷後に焼損した一剖検例. 第107次日本法医学会学術全国集会; 20230608; 小田原.

加藤菜穂, 西形里絵, 武田紗希, 林王真美, 白坂由美子, 黒田直人. 死体血HbA1c測定における各種POCT（臨床現場即時検査）機器の誤差要因の比較検討（第2報）. 第107次日本法医学会学術全国集会; 20230608; 小田原.

西形里絵, 加藤菜穂, 林王真美, 武田紗希, 白坂由美子, 平井楓花, 原田一樹, 竹下裕史, 小林正宗, 水上創. 福島県・石川県の法医解剖例における 甲状腺疾患の検討ー特に甲状腺ラテン癌の頻度についてー. 第 10 回日本甲状腺病理学会総会・学会集; 20230708; 福島.

黒田直人, 原田一樹, 西形里絵, 加藤菜穂. 回転性脳損傷が疑われた幼児剖検例. 第 6 回日本法医学病理学会学術全国集; 20230908-09; 久留米. 法医病理. 29(2):53-55.

原田一樹. 硬膜構造に注目した小児頭部外傷の病態解析の試み. 第 40 回日本法医学会学術中・四国地方集; 20231013-14; 岡山.

武田紗希, 上野智史, 全田吏栄, 武藤憲哉, 伊関憲, 原田一樹. LC-MS/MS を用いたアシクロビル及びその代謝物の同時分析方法. 福島医学会学術研究集; 20231026; 福島.

若林孝一, 三木康生, 加藤菜穂, 田中翔子, 阿部亜妃子, 森文秋, 黒田直人, 金井数明. 16 歳発症の筋萎縮性側索硬化症の 1 剖検例. 第 29 回東北神経病理研究会; 20231028; 盛岡.

武田紗希, 渡邊美和子, 武田知也, 杉山茂, 加藤菜穂, 平井楓花, 西形里絵, 黒田直人, 原田一樹. 尿中薬物簡易検査キット シグニファイTMER に用いる代替試料の検討ー尿と心嚢液における性能比較ー. 第 24 回日本法医学学術北日本地方集; 20231110; 秋田.

原田一樹, 武田紗希, 平井楓花. 中間標的によって非典型的射入口が形成された銃創の 2 例. 第 24 回日本法医学学術北日本地方集; 20231110; 秋田.

〔特別講演〕

原田一樹. 救急関係者に役立つ銃創講義. 第 3 回救急フォーラム in 福島; 20231028; 福島.

原田一樹. 銃器損傷ー損傷から何を明らかにすべきか?ー. 岡山県警察協力医会総会特別講演会; 20231104; 岡山.

〔その他〕

西形里絵. 法医学と健康経営ー社員の喫煙率ゼロに向けてー. 東邦銀行福島経営研究会; 20230323; 福島.

原田一樹. 法医の仕事ー死因を追ってマクロの世界からミクロの世界へー. 第 6 回 (2023 年度) 高校生対象法医学・病理学セミナー; 20231216; 福島.

原田一樹. 損傷論および損傷の評価方法. 令和 5 年度児童相談所職員専門性向上研修 (第 12 回); 20231222; 福島.

放射線生命科学講座

論 文

〔原 著〕

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Kato Y, Kudoh S, Sugiyama E, Sakane I, Tsuyama N, Toyo'oka T, Todoroki K, Mizuno H. Influence of matrix effects by inorganic ions in single-cell direct mass spectrometry. *Medical Mass Spectrometry*. 202306; 7(1):43-52.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Hosoya M, Nakano H, Hashimoto K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Influence of post-disaster evacuation on childhood obesity and liver dysfunction: The Fukushima Health Management Survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15663.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Abe Y, Takashima Y, Akiyama M, Tsuyama N, Takebayashi K, Nakayama R, Goh VST, Sugai-Takahashi M,

Alkebsi L, Ishii K, Kudo K, Sakai A, Kurihara O, Miura T, Suto Y, Akashi M. A preliminary report on retrospective dose assessment by FISH translocation assay in FDNPP Nuclear Emergency Worker Study (NEWS). *Radiation Protection Dosimetry*. 202309; 199(14):1565-1571.

Port M, Barquinero JF, Endesfelder D, Moquet J, Oestreicher U, Terzoudi G, Trompier F, Vral A, Abe Y, Ainsbury L, Alkebsi L, Amundson SA, Badie C, Baeyens A, Balajee AS, Balázs K, Barnard S, Bassinet C, Beaton-Green LA, Beinke C, Bobyk L, Brochard P, Brzoska K, Bucher M, Ciesielski B, Cuceu C, Discher M, D Oca MC, Domínguez I, Doucha-Senf S, Dumitrescu A, Duy PN, Finot F, Garty G, Ghandhi SA, Gregoire E, Goh VST, Güçlü I, Hadjiiska L, Hargitai R, Hristova R, Ishii K, Kis E, Juniewicz M, Kriehuber R, Lacombe J, Lee Y, Lopez Riego M, Lumniczky K, Mai TT, Maltar-Strmečki N, Marrale M, Martinez JS, Marciniak A, Maznyk N, McKeever SWS, Meher PK, Milanova M, Miura T, Monteiro Gil O, Montoro A, Moreno Domene M, Mrozik A, Nakayama R, O'Brien G, Oskamp D, Ostheim P, Pajic J, Pastor N, Patrono C, Pujol-Canadell M, Prieto Rodriguez MJ, Repin M, Romanyukha A, Rößler U, Sabatier L, Sakai A, Scherthan H, Schüle S, Seong KM, Sevriukova O, Sholom S, Sommer S, Suto Y, Sypko T, Szatmári T, Takahashi-Sugai M, Takebayashi K, Testa A, Testard I, Tichy A, Triantopoulou S, Tsuyama N, Unverricht-Yeboah M, Valente M, Van Hoey O, Wilkins RC, Wojcik A, Wojewodzka M, Younghyun L, Zafiropoulos D, Abend M. RENEB Inter-Laboratory Comparison 2021: Inter-Assay Comparison of Eight Dosimetry Assays. *Radiation Research*. 202306; 199(6):535-555.

Endesfelder D, Oestreicher U, Bucher M, Beinke C, Siebenwirth C, Ainsbury E, Moquet J, Gruel G, Gregoire E, Martinez JS, Vral A, Baeyens A, Valente M, Montoro A, Terzoudi G, Triantopoulou S, Pantelias A, Gil OM, Prieto MJ, Domene MM, Zafiropoulos D, Barquinero JF, Pujol-Canadell M, Lumniczky K, Hargitai R, Kis E, Testa A, Patrono C, Sommer S, Hristova R, Kostova N, Atanasova M, Sevriukova O, Domínguez I, Pastor N, Güçlü I, Pajic J, Sabatier L, Brochard P, Tichy A, Milanova M, Finot F, Petrenci CC, Wilkins RC, Beaton-Green LA, Seong KM, Lee Y, Lee YH, Balajee AS, Maznyk N, Sypko T, Pham ND, Tran TM, Miura T, Suto Y, Akiyamam M, Tsuyama N, Abe Y, Goh VST, Chua CEL, Abend M, Port M. RENEB Inter-Laboratory Comparison 2021: The Dicentric Chromosome Assay. *Radiation Research*. 202306; 199(6):556-570.

Barquinero JF, Abe Y, Aneva N, Endesfelder D, Georgieva D, Goh V, Gregoire E, Hristova R, Lee Y, Martinez JS, Meher PK, Miura T, Port M, Pujol-Canadell M, Prieto-Rodriguez MJ, Seong KM, Suto Y, Takebayashi K, Tsuyama N, Wojcik A, Yoon HJ, Abend M. RENEB Inter-Laboratory Comparison 2021: The FISH-Based Translocation Assay. *Radiation Research*. 202306; 199(6):583-590.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Manabu I, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):14254.

疫学講座

論文

〔原 著〕

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Hirosaki M, Ohira T, Wu Y, Eguchi E, Shirai K, Imano H, Funakubo N, Nishizawa H, Katakami N, Shimomura I, Iso H. Laughter yoga as an enjoyable therapeutic approach for glycemic control in individuals with type 2 diabetes: A randomized controlled trial. *Frontiers in Endocrinology*. 202303; 14:1148468.

Matsumura Y, Hayasaka K, Ohira T, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y. Long-term follow-up of a consecutive cohort validating an epidermal growth factor receptor mutation as an independent risk factor for postoperative recurrence in lung adenocarcinoma. *Interdisciplinary Cardiovascular and Thoracic Surgery*. 202311; 37(5):ivad174.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Hayashi F, Shirai Y, Ohira T, Shirai K, Kondo N, Kondo K. Subjective Happiness, Frequency of Laughter, and Hypertension: A Cross-Sectional Study Based on the Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES). *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202305; 20(9):5713.

Li J, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Yamagishi K, Tanaka M, Ohira T, Sankai T, Umesawa M, Muraki I, Hayama-Terada M, Cui R, Shimizu Y, Okada T, Sato S, Tanigawa T, Iso H. Trends in the incidence of stroke and its subtypes from 1963 to 2018 in Japanese urban and rural communities: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *International Journal of Stroke*. 202307; 18(6):657-662.

Suzuki S, Mori S, Iwai-Takano M, Arakawa M and Kanai H. Internal pressure dependence on viscoelasticity

of arterial wall by ultrasonic measurement. *Japanese Journal of Applied Physics*. 20230227; 62:SJ1041.

Imano H, Yamagishi K, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Muraki I, Umesawa M, Sankai T, Kiyama M, Iso H. Serum High-Sensitivity Cardiac Troponin T as an Independent Predictor for Incident Coronary Heart Disease in the Japanese General Population: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202303; 30(3):237-246.

Matsumura T, Sankai T, Yamagishi K, Tanaka M, Kubota Y, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H. Trends for the Association between Body Mass Index and Risk of Cardiovascular Disease among the Japanese Population: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202304; 30(4):335-347.

Onuki K, Ikeda A, Muraki I, Tanaka M, Yamagishi K, Kiyama M, Okada T, Kubota Y, Imano H, Kitamura A, Sankai T, Umesawa M, Ohira T, Iso H, Tanigawa T. Nocturnal Intermittent Hypoxia and the Risk of Cardiovascular Disease among Japanese Populations: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202309; 30(9):1276-1287.

Teramura S, Yamagishi K, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Maruyama K, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Takada M, Ohira T, Imano H, Shimizu Y, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Risk Factors for Hyperuricemia or Gout in Men and Women: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202310; 30(10):1483-1491.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Imano H, Okada T, Kiyama M, Iso H. Impact of Perceived Social Support on the Association Between Anger Expression and the Risk of Stroke: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Epidemiology*. 202304; 33(4):159-164.

Sato H, Eguchi E, Funakubo N, Nakano H, Imano H, Ohira T. Association Between Changes in Alcohol Consumption Before and After the Great East Japan Earthquake and Risk of Hypertension: A Study Using the Ministry of Health, Labour and Welfare National Database. *Journal of Epidemiology*. 202312; 33(12):607-617.

Yamagishi K, Sankai T, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Kihara T, Noda H, Ikeda A, Ohira T, Tanigawa T, Kitamura A, Sato S, Kiyama M, Iso H. Trends in stroke, cardiovascular disease, and medical expenditure under a community-based long-term stroke prevention program. *Journal of Hypertension*. 202303; 41(3):429-436.

Shimizu Y, Hayakawa H, Honda E, Sasaki N, Takada M, Okada T, Ohira T, Kiyama M. Association between serum albumin levels and height loss in Japanese workers: a retrospective study. *Journal of Physiological*

Anthropology. 202309; 42(1):21.

Shimura H, Yokoya S, Suzuki S, Iwadata M, Suzuki S, Matsuzuka T, Suzuki S, Hayashi F, Nagao M, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Confounding factors and biases involved in regional differences in the detection rate of thyroid cancer in the second-round Thyroid Ultrasound Examination: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202309; 64(5):761-768.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Kyozuka H, Ohira T, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Yasumura S, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Eight-Year Trends in the Effect of the Great East Japan Earthquake on Obstetrics Outcomes: A Study from the Fukushima Health Management Survey. *Life*. 202308; 13(8):1702.

Teramura S, Sankai T, Yamagishi K, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Tanaka M, Kihara T, Ohira T, Imano H, Cui R, Shimizu Y, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Changes in cardiovascular disease risk factors during menopausal transition in Japanese women: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Menopause*. 202301; 30(1):88-94.

Yamagishi K, Maruyama K, Ikeda A, Nagao M, Noda H, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Okada C, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Ohira T, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Tanigawa T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Dietary fiber intake and risk of incident disabling dementia: the Circulatory Risk in Communities Study. *Nutritional Neuroscience*. 202302; 26(2):148-155.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Hosoya M, Nakano H, Hashimoto K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Influence of post-disaster evacuation on childhood obesity and liver dysfunction: The Fukushima Health Management Survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15663.

Shimizu Y, Hayakawa H, Honda E, Sasaki N, Takada M, Okada T, Ohira T, Kiyama M. Eating speed and height loss in relation to overweight: A retrospective study. *PLOS ONE*. 202304; 18(4):e0284998.

Shimizu Y, Hayakawa H, Honda E, Sasaki N, Takada M, Okada T, Ohira T, Kiyama M. HbA1c and height loss among Japanese workers: A retrospective study. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0291465.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Imano H, Shirai K, Okada T, Kiyama M, Iso H. Modifying Effect of Outdoor Recreational Activity on the Association Between Anger Expression and Cardiovascular Disease Risk: The Circulatory Risk in Communities Study. *Psychosomatic Medicine*. 202302; 85(2):182-187.

Ma E, Ohira T, Fukasawa M, Yasumura S, Miyazaki M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Hosoya M. Prevalence trends of metabolic syndrome in residents of postdisaster Fukushima: a longitudinal analysis of Fukushima Health Database 2012-2019. *Public Health*. 202304; 217:115-124.

Ma E, Fukasawa M, Ohira T, Yasumura S, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Matsuzaki K, Sato M, Hosoya M. Lifestyle behaviour patterns in the prevention of type 2 diabetes mellitus: the Fukushima Health Database 2015-2020. *Public Health*. 202311; 224:98-105.

Nishigori H, Nishigori T, Obara T, Suzuki T, Mori M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202306; 13(1):9541.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Manabu I, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):14254.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 202304; 254:40-41.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Mori M, Sakurai K, Ishikuro M, Hamada H, Saito M, Sugawara J, Arima T, Metoki H, Kuriyama S, Goto A, Yaegashi N, Nishigori H. Factors associated with new onset of father-to-infant bonding failure from 1 to 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan environment and children's study. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*. 202311; 58(11):1603-1624.

Yamane N, Ikeda AI, Tomooka K, Saito I, Maruyama K, Eguchi E, Suyama K, Fujii A, Shiba T, Tanaka K, Kooka A, Nakamura S, Kajita M, Kawamura R, Takata Y, Osawa H, Steptoe A, Tanigawa T. Salivary Alpha-amylase Activity and Mild Cognitive Impairment Among Japanese Older Adults: The Toon Health Study. *順天堂医事雑誌*. 202306; 69(3):194-196.

過年業績

舟久保徳美, 林利恵, 広崎真弓, 磯博康, 大平哲也. 笑いプログラムの体調と精神面 (タマス) への効果 体質別評価. アーユルヴェーダ研究. 202003; 49-50:36-43.

〔総説等〕

神野真帆, 渡辺和広, 中野裕紀, 高階光梨, 伊藤弘人, 大平哲也, 野村恭子, 堤明純. ICT を活用したメンタルヘルスケアサービスのエビデンス構築と社会実装方策. 日本公衆衛生雑誌. 202308; 70(8):465-473.

書籍等出版物

大平哲也. 1 日 1 回! 大笑いの健康医学—血圧・糖尿・うつ・認知症に効く!—. 東京: さくら舎; 202306.

大平哲也. アルコールと健康. In: 日本予防医学会 編. 予防医学テキスト 改訂第 3 版. 東京: 日本予防医学会; 202306. p.131-138.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Obara Y, Mori S, Iwai-Takano M, Arakawa M, Kanai H. Preliminary Study on Ultrasonic Visualization of Myocardial Contraction and Relaxation Based on Local Strain Rate. 2023 IEEE International Ultrasonics Symposium; 20230903-08; Montreal, Canada.

Sato S, Ooka T, Zamami Y, Hamano H, Hayashi F, Eguchi E, Funakubo N, Ohira T. Development of a predictive model for mortality in severe drug eruptions using sparse modeling. 29th Congress of the Federation of Asian Pharmaceutical Associations; 20231025; Taipei, Taiwan.

安村誠司, 大平哲也, 石川徹夫, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 藤森敬也, 大戸齊, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」の実績と現状. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web.

江口依里, 佐藤陽香, 舟久保徳美, 今野弘規, 磯博康, 大平哲也. 東日本大震前後の肥満及び糖尿病割合のトレンド: NDB データの解析より. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230202; 浜松/Web.

佐藤陽香, 江口依里, 舟久保徳美, 大平哲也. 東日本大震前後での肥満者の割合の変化、および肥満と高血圧との関係: NDB データの解析より. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230202; 浜松/Web.

長尾匡則, 細見晃司, 朴鐘旭, 白井こころ, 舟久保徳美, 高田碧, 山岸良匡, 清水悠路, 村木功, 今野弘規, 岡田武夫, 木山昌彦, 村上晴香, 南里妃名子, 水口賢司, 宮地元彦, 國澤純, 磯博康, 大平哲也. 飲酒習慣と腸内細菌叢との関連: CIRCS 研究. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230202; 浜松/Web.

林史和, 吉田知克, 江口依里, 舟久保徳美, 岡崎可奈子, 藤田恭啓, 高橋敦史, 中野裕紀, 長尾匡則, 大平哲也. 福島県避難区域等男性住民の脂肪肝の有病率と心理社会的要因の関連について. 第33回日本疫学会学術総会; 20230202-03; 浜松/Web.

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230202-03; 浜松/Web.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連～横断研究～: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230202-03; 浜松/Web.

大平哲也, 長尾匡則, 林史和, 志村浩己, 安村誠司, 高橋秀人, 鈴木悟, 鈴木聡, 鈴木眞一, 石川徹夫, 坂井晃, 祖父江友孝, 鈴木元, 横谷進, 大戸齊, 神谷研二. 福島第一原発事故後の放射線被ばくと甲状腺がんとの関連についての症例対照研究: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230203; 浜松/Web.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二. 東日本大震災後の高齢者の心的外傷後ストレス障害症状と骨折の頻度との関連性: 福島県「県民健康調査」による前向きコホート研究. 第44回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20230204; 仙台.

江口依里. 放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連. 第4回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ; 20230221; 広島.

清水悠路, 早川英伸, 本田瑛子, 佐々木なぎさ, 高田碧, 岡田武夫, 大平哲也, 木山昌彦. 非過体重労働者における食べる速さと身長低下の関係について. 第93回日本衛生学会学術総会; 20230304; 東京. 日本衛生学雑誌. 78(Suppl):S191.

小原優, 森翔平, 高野真澄, 荒川元孝, 金井浩. 超音波信号の多周波数における位相差の線形性に基づく心筋ストレーンレートの計測精度の推定. 日本超音波医学会第65回東北地方会学術集会; 20230305; 仙台. 超音波医学. 50(Suppl):S710.

松本明紘, 渡部朋幸, 齋藤寛美, 氏家道夫, 大戸ユリ子, 三浦春奈, 高野真澄. Long-term Prognosis in an Adult Case with Congenital Extrahepatic Portosystemic Shunt after Surgical Intervention. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310; 福岡.

Iwai-Takano M, Nakanowatari H, Kanazawa K, Watanabe T, Ohhira T. Smaller Aortic Diameter in Patients with Abdominal Aortic Aneurysm Relates Afterload after Endovascular Aortic Repair. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230311; 福岡.

平井裕之, 長尾匡則, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 高橋敦史, 風間順一郎, 安村誠司, 島袋充生. 心理的負担は男性の糖尿病新規発症の予測因子である 福島県「県民健康調査」. 第120回日本内科学会総会・講演会; 20230415-16; 東京. 日本内科学会雑誌. 112(臨増):178.

高野真澄, 中野渡仁, 金澤晃子, 渡部朋幸, 大平哲也. 腹部大動脈瘤患者における大動脈径はステントグラフト

内挿術後の後負荷に関連する. 日本心エコー図学会第 34 回学術集会; 20230421; 岐阜.

金澤晃子, 高野真澄, 室田定洋, 大橋尚人, 安齋文弥, 脇岡奈保子, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症により右房内肉芽腫を認めた稀な一例. 日本心エコー図学会第 34 回学術集会; 20230422; 岐阜.

渡部朋幸, 高野真澄. 高齢者における心エコー図指標と有効動脈エラスタンスによる運動耐容能の推定. 日本心エコー図学会第 34 回学術集会; 20230422; 岐阜.

浅野眞比呂, 高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 太田寿, 鈴木聡, 古屋文彦, 鈴木悟, 鈴木眞一, 大平哲也, 安村誠司, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島県民健康調査「甲状腺検査」の本格検査における甲状腺のう胞の発見率および最大径の分析. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):132.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 濱谷由香, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査における受診者・家族の不安へのアプローチ. 心理的サポートの有効性に関する検討. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):133.

金澤晃子, 高野真澄, 室田定洋, 大橋尚人, 安齋文弥, 脇岡奈保子, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症により右房内肉芽腫を認めた稀な一例. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230528; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S618.

高野真澄, 中野渡仁, 金澤晃子, 渡部朋幸, 大平哲也. 腹部大動脈瘤患者における大動脈径は, 血管内大動脈修復術後の後負荷に関連する. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230529; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S626.

渡部朋幸, 高野真澄. 高齢者における心エコー図指標と有効動脈エラスタンスによる運動耐容能の推定. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230529; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S629.

小原優, 森翔平, 高野真澄, 荒川元孝, 金井浩. 超音波信号の多周波数における位相差を用いた心筋ストレインレートの計測精度の推定. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230529; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S710.

鈴木沙綺, 森翔平, 高野真澄, 荒川元孝, 金井浩. 超音波による血管粘弾性特性の内圧依存性の in vivo 計測. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230529; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S710.

三浦春奈, 高野真澄, 齋藤寛美, 氏家道夫, 加藤知佳, 大戸ユリ子, 渡部朋幸. 悪性腫瘍との鑑別に苦慮した非典型的な左房粘液腫の一症例. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230528; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S738.

片岡秀真, 渡部朋幸, 高野真澄. 閉塞性肥大型心筋症の経過中に ATTR 型アミロイドーシスが顕在化した 1 症例. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま. 超音波医学. 50(Suppl):S743.

江口依里, 白井こころ, 近藤克則, 井久保聖二, 笠井琢登, 菊池遼, 中井遥, 濱口雄飛, 星野裕希, 大平哲

也。感謝の頻度と生活習慣病との関連。第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島。

鶴田浩惇, 江口依里, 吉田知克, 見目能基, 白井こころ, 玉腰暁子, 磯博康, 大平哲也。高齢男性と非正規労働者の男性では人に頼られていると感じることが循環器疾患死亡の予防に寄与する: JACC Study。第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島。

中野裕紀, 林史和, 吉田知克, 梅澤光政, 佐久間潤, 小橋元, 安村誠司, 大平哲也。福島県における東日本大震災後の脳卒中発症の推移、地域差の検討: 福島県脳卒中発症登録。第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島。

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二。東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty liver index との関連: 福島県県民健康調査。第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島。

舟久保徳美, 藤森友基, 江口依里, 長尾匡則, 木山昌彦, 山岸良匡, 村木功, 今野弘規, 磯博康, 大平哲也。舌清掃習慣と血圧コントロール不良との関連。第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島。

多木陽子, 江口依里, 佐藤志帆, 大平哲也。各都道府県のヘルスケアアプリの実態調査。第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島。東北公衆衛生学会誌。72:35。

石井なつみ, 江口依里, 前田正治, 安村誠司, 矢部博興, 高橋敦史, 高瀬佳苗, 神谷研二, 林史和, 大平哲也。東日本大震災後の福島県における食品接種頻度と糖尿病発症リスクとの関連: 県民健康調査。第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島。東北公衆衛生学会誌。72:36。

佐藤志帆, 中野裕紀, 江口依里, 林史和, 舟久保徳美, 長尾匡則, 大平哲也。機械学習を用いた重症薬疹の生命予後予測のための特徴量抽出—国内有害事象自発報告データベースを用いた解析—。医療薬学フォーラム 2023; 20230722; 山形。

福地雄仁, 渡部朋幸, 高野真澄。剖検にて判明した心外因子による HFpEF の 1 例。第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230910; 東京。

渡部朋幸, 高野真澄。H2FPEF スコア及び CH2PEF スコアによる HFpEF の診断制度運動負荷心エコー図検査による検討。第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230910; 東京。

小川政太郎, 渡部朋幸, 高野真澄。食道裂孔ヘルニアが HFpEF の病態に関与したと考えられた高齢者の一例。日本超音波医学会第 66 回東北地方会学術集会; 20230924; 盛岡。

郷間文湜, 渡部朋幸, 高野真澄。高齢で心不全を発症したペースメーカー挿入後左室緻密化障害の一例。日本超音波医学会第 66 回東北地方会学術集会; 20230924; 盛岡。

古山綾子, 星美尋, 田淵香代子, 関和彦, 伊東尚美, 深澤舞子, 大平哲也, 細矢光亮, 安村誠司。原発事故による被災地域の健康課題解決へ向けた支援からの課題。令和 5 年度福島県保健衛生学会 (第 51 回); 20231005; 福島。福島県保健衛生雑誌。39:41。

佐藤愛咲子, 江口依里, 林史和, 岡田武夫, 木山昌彦, 大平哲也. ライフイベントとうつ発症との関連についての前向き研究. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

濱口雄飛, 林史和, 江口依里, 白井こころ, 近藤克則, 大平哲也. 感謝の頻度と生活習慣病との関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10 年の実績、現状と今後の課題. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

郭帥, 山岸良匡, 丸山広達, 木原朋未, 山海知子, 村木功, 清水悠路, 今野弘規, 大平哲也, 谷川武, 北村明彦, 岡田武夫, 木山昌彦, 磯博康. コーヒー、緑茶、及び紅茶・ウーロン茶摂取と脳卒中発症との関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231101; つくば.

松成結衣, 江口依里, 舟久保徳美, 大平哲也. 東日本大震災前後の食行動の変化 : NDB 特定健診データを用いた検討. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231101; つくば.

岡崎可奈子, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 島袋充生, 安村誠, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後のやせの新規発生についての年齢層別解析 : 福島県「県民健康調査」. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231102; つくば.

長瀬慶信, 舟久保徳美, 上村渉, 渡邊小次郎, 高嶋大河, 田代遼太郎, 内山大雅, 江口依里, 大平哲也. 生活習慣と睡眠の質との関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231102; つくば.

林史和, 安部恭子, 佐藤美佳, 大平哲也, 高橋敦史, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 佐藤志帆, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の避難期間と肝機能障害との関連 : 福島県県民健康調査. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231102; つくば.

舟久保徳美, 八島百花, 江口依里, 大平哲也. 生活習慣や心身状況と月経前症候群との関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231102; つくば.

古川結唯, 丸山広達, 村木功, 山岸良匡, 今野弘規, 山海知子, 清水悠路, 岡田武夫, 大平哲也, 谷川武, 北村明彦, 木山昌彦, 磯博康. 白米摂取量と循環器疾患発症との関連 : CIRCS 研究. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231102; つくば.

坂井晃, 津山尚宏, 大平哲也, 高橋美咲, 大葉隆, 阿左見佑介, 松本佳子, 岩館学, 鈴木聡, 佐藤真紀, 細矢光亮, 石川徹夫, 鈴木真一. 福島県の小児甲状腺がん患者に原発事故による転座型染色体異常の増加はない

(No increase in translocated chromosomal aberrations caused by the nuclear power plant accident in childhood thyroid cancer patients in Fukushima Prefecture). 日本放射線影響学会第 66 回大会; 20231106; 東京.

上田由桂, 志賀哲也, 菅野和子, 星野大, 落合晴香, 堀越翔, 森湧平, 戸田亘, 平山緑香, 羽金裕也, 丹治良, 刑部有祐, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. ベンゾジアゼピン系抗不安薬の服薬量と MMN の関連. 第 53 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231130-1202; 福岡.

河本竜太, 矢部博興, 三浦至, 板垣俊太郎, 志賀哲也, 刑部有祐, 星野大, 錫谷研, 菅野和子, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 野崎途也, 森湧平, 高橋雄一, 千代田高明, 佐藤彩. 強度変化課題における時間的変化位置とミスマッチ陰性電位の発生に関して: 中間報告 第2報. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231130-1202; 福岡.

菅野和子, 星野大, 森湧平, 荒川英香, 河本竜太, 千代田高明, 高橋雄一, 佐藤彩, 錫谷研, 和田知紘, 上田由桂, 松本貴智, 野崎途也, 刑部有祐, 志賀哲也, 各務竹康, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 三浦至, 矢部博興. 無意識的聴覚認知を反映する持続長ミスマッチ陰性電位は夜勤・交代制勤務の影響をうけにくい. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231130-1202; 福岡.

千代田高明, 星野大, 荒川英香, 錫谷研, 刑部有祐, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 疋田雅之, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 森湧平, 高橋雄一, 佐藤彩, 板垣俊太郎, 三浦至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症における開始点遅延の周波数ミスマッチ陰性電位についての中間報告 第2報. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231130-1202; 福岡.

〔シンポジウム〕

板垣俊太郎, 矢部博興, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 学校や地域での子どもたちのこころの状態・支援と連携システム 福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちへの支援 県民健康調査「ここから調査」より. 第119回日本精神神経学会学術総会; 20230624; 横浜. 精神神経学雑誌. 2023 特別号:S677.

〔特別講演〕

江口依里. 音楽と健康～歌って心身リフレッシュ～. 市民公開講座—東日本大震災から12年目を迎えて—心の健康を保つために～こころと音楽～; 20230316; Web(福島).

大平哲也. 特別講座 笑い与健康—笑うカラダに福来る!—. 2023年度まなび舎J ヴィレッジ; 20230908; 檜葉町.

大平哲也. 講演① みんなで延ばそう! 健康寿命～フレイル・認知症を予防する地域づくり～. 第22回福島県医師会健康づくりフェスティバル; 20231008; 福島.

大平哲也. 大会長講演 市民公開講座 「笑いの研究」最前線. 第11回全国笑いヨガ大会 福島; 20231022; 福島.

大平哲也. 特別講演 笑いの健康医学～地域住民の笑いを増やすコツ～. 令和5年度福島県自治体病院学会; 20231111; 白河.

大平哲也. 特別講演 健康教育に役立つ「笑い与健康」について. 第45回神奈川県地域保健師研究発表会; 20231218; 横浜.

放射線物理化学講座

論文

〔原 著〕

Thumwong A, Darachai J, Thamrongsiripak N, Tokonami S, Ishikawa T, Saenboonruang K. Fruit Peel Powder as Natural Antioxidant and Reinforcing Bio-Filler in Natural Rubber Latex Gloves: Cases of Mangosteen, Pomelo and Durian. *Antioxidants*. 202305; 12(5):1119.

Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Akahane K, Yasumura S, Kamiya K, Suzuki G. Comparison between external and internal doses to the thyroid after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Journal of Radiation Research*. 202303; 64(2):387-398.

Omori Y, Sorimachi A, Hosoda M, Sahoo SK, Kavasi N, Kurihara O, Tokonami S, Ishikawa T. Improvement of spectral analysis using a NaI(Tl) scintillation spectrometer to evaluate ambient gamma dose rates from primordial radionuclides. *Radiation Protection Dosimetry*. 202311; 199(18):2233-2237.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Iwadate M, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):14254.

〔総説等〕

石川徹夫. 福島原発事故・県民健康調査 被災者の被ばく線量推計. *公衆衛生*. 202311; 87(11):1094-1102.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

石川徹夫. 放射線防護に関する教育プログラム構築の事例紹介. 日本保健物理学会第 56 回研究発表会; 20231109; 東京.

健康リスクコミュニケーション学講座

論文

〔原 著〕

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202310; 43(10):4691-4700.

Amir I, Eguchi Y, Saotome K, Ogawa S, Kojima Y, Tamaki T, Tsubokura M. The "GU-GU-RU" project to eliminate discrimination related to the health effects of the Fukushima nuclear accident. *BMC Public Health*. 202310; 23(1):2050.

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. *Cancer Reports*. 202307; 6(7):e1832.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Yoneshiro A, Takebayashi Y, Murakami M. The Association Between Music Preferences and Well-Being After the Fukushima Disaster: A Cross-Sectional Study. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202303; 17:e372.

Kawashima M, Murakami M, Kobayashi T, Takebayashi Y, Tsubokura M, Yasutaka T, Tamaki T. Post-traumatic growth caused by the Great East Japan Earthquake and response to coronavirus disease 2019. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202309; 95:103917.

Yokomitsu K, Takashina HN, Takebayashi Y, Muranaka S. Cultural Adaptation of the Actionable Health App Evaluation in Japan: Protocol for a Web-Based Modified Delphi Expert Consensus Study. *JMIR Research Protocols*. 202311; 12(1):e44469.

Ito M, Horikoshi M, Kato N, Oe Y, Fujisato H, Yamaguchi K, Nakajima S, Miyamae M, Toyota A, Okumura Y, Takebayashi Y. Efficacy of the unified protocol for transdiagnostic cognitive-behavioral treatment for depressive and anxiety disorders: a randomized controlled trial. *Psychological Medicine*. 202305; 53(7):3009-3020.

今村扶美, 竹林由武, 伊藤正哉, 出村綾子, 松本俊彦, 平林直次, 鬼頭伸輔, 堀越勝. 医療機関における公認

心理師の雇用と業務の実態 心理支援の拡充と制度の見直しに向けて. 精神神経学雑誌. 202302; 125(2):116-128.

書籍等出版物

竹林由武 訳. プロセスをつぶさに精査する. In: Hofmann S, Hayes SC, Lorscheid DN 著, 菅原大地, 檜原潤, 伊藤正哉 監訳. プロセス・ペースド・セラピーをまなぶ:「心の変化のプロセス」をターゲットとした統合的ビジョン. 東京: 金剛出版; 202310. p.137-157.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔シンポジウム〕

田巻倫明. 福島県「県民健康調査」におけるリスクコミュニケーション活動. 第79回日本放射線技術学会総会学術大会/第56回放射線防護部会; 20230414; 横浜.

循環器内科学講座

論文

〔原 著〕

Ichimura S, Oikawa M, Ikeda A, Endo K, Muto Y, Akama J, Yamaki T, Nakazato K, Sato M, Ishida T, Suzuki O, Takeishi Y. A case of COVID-19-associated fulminant myocarditis due to SARS-CoV-2 omicron BA.2 sub-lineage in an unvaccinated female. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(1):1-3.

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Sakai C, Ueda K, Goda K, Fujita R, Maeda J, Nakayama S, Sotomaru Y, Tashiro S, Yoshizumi M, Ishida T, Ishida M. A possible role for proinflammatory activation via cGAS-STING pathway in atherosclerosis induced by accumulation of DNA double-strand breaks. *Scientific Reports*. 2023; 13(1):16470.

Sakuma Y, Nakazato K, Shimizu T, Ikeda A, Ohara H, Kobayashi A, Yamaki T, Ishida T, Takeishi Y. A rare case of fibromuscular dysplasia with multifocal coronary artery involvement evaluated by intravascular ultrasound. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 27(1):12-15.

Endo K, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acute coronary syndrome with severe coronary calcification in a patient with pseudo-pseudohypoparathyroidism. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(4):172-175.

Shiina K, Tomiyama H, Tanaka A, Imai T, Hisauchi I, Taguchi I, Sezai A, Toyoda S, Dohi K, Kamiya H, Kida K, Anzai T, Chikamori T, Node K; CANDLE Trial Investigators (Investigators : Oikawa M, Takeishi Y, Yoshihisa A). Canagliflozin independently reduced plasma volume from conventional diuretics in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a subanalysis of the CANDLE trial. *Hypertension Research*. 2023; 46(2):495-506.

Nehashi T, Kaneshiro T, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Characteristics of right pulmonary vein with an epicardial connection needing additional carina ablation for isolation. *Journal of Arrhythmia*. 2023; 39(6):884-893.

Ueda K, Sakai C, Ishida T, Morita K, Kobayashi Y, Horikoshi Y, Baba A, Okazaki Y, Yoshizumi M, Tashiro S, Ishida M. Cigarette smoke induces mitochondrial DNA damage and activates cGAS-STING pathway: application to a biomarker for atherosclerosis. *Clinical Science*. 2023; 137(2):163-180.

Misumi K, Matsue Y, Nogi K, Fujimoto Y, Kagiya N, Kasai T, Kitai T, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nogi M, Ishihara S, Ueda T, Kawakami R, Saito Y, Minamino T. Derivation and validation of a machine learning-based risk prediction model in patients with acute heart failure. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(6):531-536.

Yamamoto K, Lemay S, Yokokawa T, Breuils-Bonnet S, Salem M, Potus F, Provencher S, Boucherat O, Bonnet S. DNA-protein kinase catalytic subunit as a potential target for pulmonary arterial hypertension. *American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology*. 2023; 68(1):116-119.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Takeishi Y. Effects of continuous positive airway pressure on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing by pulse transit time-based blood pressure measurements. *Journal of Hypertension*. 2023; 41(5):733-740.

Awada C, Bourgeois A, Lemay S, Grobs Y, Yokokawa T, Breuils-Bonnet S, Martineau S, Krishna V, Potus F, Jeyaseelan J, Provencher S, Bonnet S, Boucherat O. G9a/GLP targeting ameliorates pulmonary vascular remodeling in pulmonary arterial hypertension. *American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology*. 2023; 68(5):537-550.

Ohara H, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. *Journal of the American Heart Association*. 2023; 12(12):e029857.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients

with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(6):460-466.

Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T. Impaired repopulating ability of Uhrf2^{-/-} hematopoietic progenitor cells in mice. *Genes*. 2023; 14(8):1531.

Ohte N, Tanaka A, Kitada S, Yamada T, Eguchi K, Teragawa H, Takeishi Y, Kodama K, Seo Y, Node K; CANDLE Trial Investigators. Influence of left ventricular ejection fraction on the reduction in N-terminal pro-brain natriuretic peptide by canagliflozin in patients with heart failure and type 2 diabetes: a sub analysis of the CANDLE trial. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(6):508-512.

Xanthopoulos A, Bourazana A, Matsue Y, Fujimoto Y, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Giamouzis G, Skoularigis J, Triposkiadis F, Kitai T, Larissa heart failure risk score and mode of death in acute heart failure: Insights from REALITY-AHF. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(11):3722.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Left atrial epicardial adipose tissue exacerbates electrical conduction disturbance in normal-weight patients undergoing pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2023; 34(3):565-574.

Shimizu T, Abe S, Asano T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takanashi S, Isobe M, Takeishi Y. Perioperative immunosuppressive therapy and coronary ostial angioplasty for unstable angina with Takayasu arteritis. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(6):257-260.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(4):1257.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Prognostic role of circulating LTBP-2 in patients with dilated cardiomyopathy: a novel biomarker reflecting extracellular matrix LTBP-2 accumulation. *Canadian Journal of Cardiology*. 2023; 39(10):1436-1445.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis. *Clinical Research in Cardiology*. 2023; 112(7):942-953.

Sato Y, Yoshihisa A, Ide T, Tohyama T, Enzan N, Matsushima S, Tsutsui H, Takeishi Y. Regional variation in the clinical practice and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan - A report from the Japanese Registry of Acute Decompensated Heart Failure (JROADHF). *Circulation Journal*. 2023; 87(10):1380-1391.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of left ventricular mechanical dyssynchrony using integrated ¹³N-ammonia PETMR system: direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking. *Journal of Nuclear*

Cardiology. 2023; 30(5):1947-1958.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Ishida T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation through NMT2 prevents cardiac hypertrophy and heart failure. JACC: Basic to Translational Science. 2023; 8(10):1263-1282.

Isomatsu D, Sato A, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Shimizu T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2023; 64(4):584-589.

Kurashima S, Kitai T, Matsue Y, Nogi K, Kagiya N, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nogi M, Ishihara S, Ueda T, Kawakami R, Furukawa Y, Saito Y, Izumi C. Trajectory of serum chloride levels during decongestive therapy in acute heart failure. International Journal of Cardiology. 2023; 375:36-43.

Khassafi F, Chelladurai P, Valasarajan C, Nayakanti SR, Martineau S, Sommer N, Yokokawa T, Boucherat O, Kamal A, Kiely DG, Swift AJ, Alabed S, Omura J, Breuils-Bonnet S, Kuenne C, Potus F, Günther S, Savai R, Seeger W, Looso M, Lawrie A, Zaugg JB, Tello K, Provencher S, Bonnet S, Pullamsetti SS. Transcriptional profiling unveils molecular subgroups of adaptive and maladaptive right ventricular remodeling in pulmonary hypertension. Nature Cardiovascular Research. 2023; 2(10):917-936.

Kamioka M, Makimoto H, Watanabe T, Watanabe H, Okuyama T, Kaneshiro T, Hijioka N, Yokota A, Komori T, Kabutoya T, Imai Y, Kario K. Unipolar-voltage-based evaluation of left atrial tissue properties and ablation outcome in patients with atrial fibrillation. EP Europace. 2023; 25(9):eua240.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Horikoshi Y, Yamadera Y, Takeishi Y. Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. Journal of Cardiovascular Electrophysiology. 2023; 34(9):1969-1978.

〔総説等〕

Nakazato K, Sugimoto K, Oikawa M, Takeishi Y. Balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: its history and development, and regional medical cooperation in Fukushima. Fukushima Journal of Medical Science. 2023; 69(3):167-176.

Oikawa M, Ishida T, Takeishi Y. Cancer therapeutics-related cardiovascular dysfunction: Basic mechanisms and clinical manifestation. Journal of Cardiology. 2023; 81(3):253-259.

Misaka T, Kimishima Y, Yokokawa T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and cardiovascular diseases: role of JAK2V617F. Journal of Cardiology. 2023; 81(1):3-9.

Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Comprehensive assessment of molecular function, tissue characterization,

and hemodynamic performance by non-invasive hybrid imaging: Potential role of cardiac PETMR. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(4):286-292.

Ishida M, Sakai C, Ishida T. Role of DNA damage in the pathogenesis of atherosclerosis. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(4):331-336.

桐山皓行, 竹石恭知. AHA と連携した Go Red For Women. *循環器内科*. 2023; 94(3):275-278.

義久精臣, 竹石恭知. COPD と合併疾患 : COPD と循環器疾患一心不全を中心に. *Vita*. 2023; 40(2):33-38.

三阪智史. クロウン性造血と動脈硬化、肺高血圧症. *BIO Clinica*. 2023; 38(5):11-15.

三阪智史, 竹石恭知. クロウン性造血と肺高血圧症. *血液内科*. 2023; 86(1):72-77.

佐藤崇匡. 今だからこそ聞きたい心不全診療のこと。病態 「急性増悪イベントが慢性心不全の予後悪化を加速させる」のスキームは本当に正しいか? *循環器ジャーナル*. 2023; 71(2):189-194.

喜古崇豊, 片平正隆, 遠藤圭一郎, 山國遼, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 核医学装置の技術革新がもたらす循環器画像診断の Cutting edge PET/MRI による循環器画像診断の現状と将来展望. *INNERVISION*. 2023; 38(3):54-57.

竹石恭知. 加齢と心血管疾患をつなぐクロウン性造血の新知見. *BIO Clinica*. 2023; 38(5):4-5.

三阪智史, 竹石恭知. 基礎医学 Up-To-Date クロウン性造血と肺高血圧症. *Pulmonary Hypertension Update*. 2023; 9(1):40-44.

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害と心不全. *Medical View Points*. 2023; 44(10):4-5.

〔研究報告書〕

田代聡, 岡田守人, 工藤崇, 竹石恭知, 石田隆史. 医療放射線被ばくの人体影響評価. 2022 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2023; 344-357.

東幸仁, 竹石恭知, 石田隆史, 李桃生. 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 2022 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2023; 295-305.

三阪智史. 心臓-骨髄連関におけるエピジェネティクスを基軸とした心不全の新しい治療戦略. 先進医薬研究振興財団 2022 年度研究成果報告集. 2023; 234-236.

〔その他〕

Takeishi Y. A message from the retiring Editor-in-Chief. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(1):1.

Sugawara Y. Circulation Journal Awards for the Year 2022. *Circulation Journal*. 2023; 87(3):381-393.

Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and cardiovascular disease. 45th Sysmex Scientific Seminar テキスト. 2023; 17-29.

竹石恭知. 126 人医療人へ一歩 福島医大で白衣式. 福島民友. 20231021; 4.

班長：葛西隆敏，班員：安藤真一，長田尚彦，加藤雅彦，苅尾七臣，河野隆志，椎名一紀，塩田智美，清水渉，城宝秀司，鈴木圭輔，高田佳史，田村彰，千葉伸太郎，寺田二郎，外木守雄，福本義弘，山内基雄，義久精臣，協力員：安達太郎，岩崎雄樹，合田あゆみ，佐田誠，須田翔子，得能智武，富田康弘，内藤亮，成瀬代士久，三阪智史，外部評価委員：井手友美，陳和夫，萩原誠久，南野徹，百村伸一. 2023 年改訂版 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン. 2023 年改訂版 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン. 2023; 1-103.

八巻尚洋. 命にかかわる心筋梗塞を知っておこう 胸の痛みが 15 分続いたらすぐに救急車. いごころ. 2023; 29:1-3.

中里和彦. 巻頭言 地域医療支援センターの運営状況について. 福島県立医科大学大学医師会会報. 2023; 169:1.

竹石恭知, 杉本浩一. 肺高血圧症の分子機序の解明と新規治療戦略. 業績記録集（平成 27 年度～平成 31 年度）. 2023; 112-113.

佐藤悠. 福島医学会賞に望月講師選出. 福島民友. 20230127; 7.

佐藤悠. 望月氏を福島医学会賞に選出. 福島民報. 20230127; 3.

義久精臣. 福島医大保健科学のトピラ 心不全の治療 チーム医療必須. 福島民友. 20230501; 6.

竹石恭知. 臨床実習へ心構え新た 福医大の白衣式. 福島民報. 20231021; 3.

書籍等出版物

竹石恭知. 6. 循環器疾患 癌に伴う循環器疾患. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2023 年版. 東京: 医学書院. 2023. p.359-360.

及川雅啓, 石田隆史, 竹石恭知. 8. 生活習慣病・その他 がんと心血管疾患. In: 安斉俊久 編集. 最新ガイドラインに基づく循環器疾患診療指針 2024*25. 東京: 総合医学社. 2023. p.375-380.

及川雅啓, 竹石恭知. VI 心筋疾患 8. Fabry 病. In: 伊藤浩, 山下武志 編集. 循環器疾患最新の治療 2024-2025. 東京: 南江堂. 2023. p.271-273.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kobayashi Y, Ueda K, Sakai C, Ishida T, Ishida M. Cigarette smoke extract induces DNA damage and accelerates cellular senescence in human endothelial cells. 7th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20230220; Hiroshima.

Sakai C, Ishida M, Kobayashi Y, Tashiro S, Ishida T. Roles of DNA damage accumulation in the initiation and progression of atherosclerosis. 7th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20230220; Hiroshima.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Discrepancy of stress-induced left ventricular dilation between positron emission tomography and cardiac magnetic resonance in patients with coronary artery disease -simultaneous assessment using integrated PETMR system-. SNMMI 2023 Annual Meeting; 20230624-27; Chicago, USA/Web. Journal of Nuclear Medicine. 64(supplement 1):236.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kawakubo M, Kiko T, Kikori K, Ukon N, Nagao M, Ishii S, Ito H, Takeishi Y. Novel analysis for endocardial wall strain with N-13 ammonia PET feature tracking - Comparison with CMR-feature tracking using integrated PETMR system-. SNMMI 2023 Annual Meeting; 20230624-27; Chicago, USA/Web. Journal of Nuclear Medicine. 64(supplement 1):61.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. ESC Congress 2023; 20230825-28; Amsterdam, Netherlands/Web. European Heart Journal. 44(Supplement 2):1113.

Lemay S, Montesinos M, Grobs Y, Yokokawa T, Shimauchi T, Breuils-Bonnet S, Martineau S, Bourgeois A, Salem M, Théberge C, El Kabbout R, Romanet C, Lu M, Huang X, E Dowling J, S Ray A, Potus F, Provencher S, Boucherat O, Bonnet S. The fibronectin-binding integrins system as a contributor to PAH pathogenesis. ERS International Congress 2023; 20230909-13; Milan, Italy/Web. European Respiratory Journal. 62(suppl 67):PA453.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Kawakubo M, Yamakuni R, Ukon N, Kiko T, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nagao M, Ito H, Takeishi Y. Clinical usefulness of myocardial wall strain analysis by PET feature tracking: direct comparison with conventional tagging-cine image using PETMR system. ASNC2023 Scientific Session; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Ukon N, Yamakuni R, Kiko T, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary sinus flow and myocardial flow reserve under pharmacological stress using hybrid ¹³N-ammonia PETMR system in patients with ischemic heart disease. ASNC2023 Scientific Session; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Misaka T, Sato Y, Sugawara Y, Ogawara R, Ichimura S, Tomita Y, Anzai F, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Elevated levels of bicarbonate predict adverse

outcomes in patients with chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12042.

Nodera M, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Hasegawa K, Uzui H, Tada H. Epicardial adipose tissue density predicts the presence of atrial fibrillation and its recurrence after catheter ablation: three-dimensional reconstructed image analysis. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A16865.

Shimizu T, Sakuma Y, Muto Y, Sato Y, Kimishima Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of cardio-ankle vascular index on new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12984.

Sato Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Malnutrition stratified by marasmus and kwashiorkor in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A11577.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Myocardial infarction promotes breast cancer growth through the nerve growth factor/tropomyosin receptor pathway. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12858.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in heart tissue drive cardiac dysfunction and adverse outcomes in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12043.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Pexidartinib ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12393.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma LTBP-2 is associated with myocardial LTBP-2 and poor prognosis in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12653.

Tomita Y, Misaka T, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Reduced fetuin-A levels are associated with exercise intolerance in patients with heart failure and predict the risk of adverse outcomes. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13795.

Nodera M, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Hasegawa K, Uzui H, Tada H. Serum brain-derived neurotrophic factor levels predict the recurrences of atrial fibrillation following catheter ablation. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A17674.

Endo K, Katahira M, Kiko T, Yamakuni R, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous analysis of myocardial flow reserve and intra-ventricular 4D flow using hybrid ¹³N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14190.

Tani T, Oikawa M, Ohara H, Yaegashi D, Sato Y, Yokokawa T, Miura S, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Subclinical cardiac dysfunction in the patients treated with anthracycline-containing chemotherapy in the chronic phase. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14091.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takahashi K, Yamakuni R, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. The association between insufficient valve expansion and aortic valve calcification for transcatheter valve implantation with self-expandable valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13177.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yamakuni R, Ishii S, Yoshihisa A, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Usefulness of MR-derived left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13033.

Ogawara R, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Tani T, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Very short-term blood pressure variability by pulse transit time-based measurements during sleep predicts future cardiovascular events in patients with ischemic heart disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13817.

Ueda K, Miura S, Misaka T, Minakawa K, Sato Y, Takeishi Y, Ikeda K. Interaction between JAK2-mutated neutrophils and platelets initiates thrombosis via neutrophil extracellular traps. 65th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition; 20231209-12; San Diego, USA/Web. Blood. 142(Supplement1):740.

渡部瞬, 鈴木喜敬, 上田捷太, 安藤卓也, 鈴木聡. A case of AL amyloidosis with positive in Tc-99m PYP myocardial scintigraphy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nehashi T, Kaneshiro T, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Anatomical predictor of epicardial connections which needs additional ablation in carina region during right pulmonary vein isolation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

山田慎哉, 金城貴士, 野寺稔, 根橋健, 竹石恭知. Atrial epicardial adipose tissue especially exacerbates electrical conduction delay in normal-weight patients with atrial fibrillation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

石田万里, 上田桂太郎, 坂井千恵美, 小林佑輔, 唐崎航平, 吉栖正生, 石田隆史. Cigarette smoke induces mitochondrial DNA damage and activates innate immunity in human endothelial cells -application to a biomarker for atherosclerosis. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐久間真悠, 加藤祐子, 上嶋徳久, 廣田尚美, 有田卓人, 八木直治, 岸幹夫, 嘉納寛人, 松野俊介, 鈴木信也, 大塚崇之, 及川裕二, 堀貴行, 松濱稔, 飯田充, 矢嶋純二, 山下武志. Clinical characteristics and effectiveness of medication according to ejection fraction categories in patients with heart failure and preserved ejection fraction. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma M, Suzuki S, Hirota N, Arita T, Yagi N, Kishi M, Kano H, Matsuno S, Katoh Y, Otsuka T, Uejima T, Oikawa Y, Hori T, Matsuhama M, Iida M, Yajima J, Yamashita T. Clinical significance of temporal change of serum uric acid for cardiovascular events: Shinken Database Analysis. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Distance from right coronary artery to cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

堂垂大志, 前田大智, 末永祐哉, 砂山勉, 木田圭亮, 北井豪, 鍵山暢之, 山口徹雄, 奥村貴裕, 水野篤, 大石醒悟, 犬塚康孝, 秋山英一, 鈴木聡, 山本昌良, 南野徹. Early drop in systolic blood pressure is associated with poor diuretic response and prognosis in patients with acute heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐久間真悠, 加藤祐子, 上嶋徳久, 廣田尚美, 有田卓人, 八木直治, 岸幹夫, 嘉納寛人, 松野俊介, 鈴木信也, 大塚崇之, 及川裕二, 堀貴行, 松濱稔, 飯田充, 矢嶋純二, 山下武志. H₂FPEF score predicts future heart failure events in stable outpatients without underlying heart disease. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects right-sided heart failure and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐久間真悠, 鈴木信也, 廣田尚美, 有田卓人, 八木直治, 岸幹夫, 嘉納寛人, 松野俊介, 加藤祐子, 大塚崇之, 上嶋徳久, 及川裕二, 堀貴行, 松濱稔, 飯田充, 矢嶋純二, 山下武志. Identifying patients with mitral regurgitation using an electrocardiogram with convolutional neural network. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in coronary

artery disease patients with antiplatelet therapy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with coronary artery disease. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

黒沢雄太, 清水竹史, 佐久間裕也, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 佐藤悠, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Misumi K, Matsue Y, Nogi K, Kagiya N, Kasai T, Kitai T, Ohishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nogi M, Ishihara S, Ueda T, Kawakami R, Saito Y, Minamino T. Incorporating hypochloremia provides additive prognostic information in hospitalized patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a signaling pathway plays a vital role in breast cancer progression after myocardial infarction. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue contribute to poor cardiac performance and adverse outcomes in patients with dilated cardiomyopathy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with preserved ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 60%. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with reduced ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 30%. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Endo K, Kiko T, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by ¹³N-ammonia positron

emission tomography/magnetic resonance imaging. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 井手友美, 筒井裕之, 竹石恭知. Regional variation of patients' characteristics and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 磯松大介, 渡邊孝一郎, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Kiko T, Endo K, Katahira M, Fukushima K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular strain during vasodilator stress by ^{13}N -ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation prevents cardiac hypertrophy and heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. The prevalence of immune checkpoint inhibitor-induced subclinical myocardial damage. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yoshihisa A, Fukushima K, Takeishi Y. Usefulness of right ventricular longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 腎臓間静脈波形パターンを用いた右房圧上昇の検出が偽陰性となる心不全患者の特徴. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 50(Suppl):S687.

西浦司人, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. エボプロステノールにより巨大甲状腺腫と気道狭窄を来した一例. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

横川哲朗, Boucherat O, 島内司, Lawrie A, Provencher S, Bonnet S. 肺高血圧症右室オミックス解析によるバイオマーカーの同定. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MR による心筋血流予備能と 4D-Flow 左室内血流解析同時評価の検討. 第 33 回日本心臓核

医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):23.

片平正隆, 喜古崇豊, 福島賢慈, 遠藤圭一郎, 川窪正照, 山國遼, 右近直之, 長尾充展, 伊藤浩, 竹石恭知. Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討. 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):72.

根橋健, 金城貴士, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Anatomical characteristics of right pulmonary vein with epicardial connections which needs additional carina ablation for isolation. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

金城貴士, 根橋健, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Association between bipolar/unipolar voltages and activations of right pulmonary vein carina region in patients with epicardial connection. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The distance from the cavotricuspid isthmus to the right coronary artery is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The duration time of ablation per point is a predictor of pettit pops occurrence in the left pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

唐澤直義, 安齋文弥, 駒田敬則, 三浦裕, 黒須洋, 竹石恭知, 黒尾誠, 高橋将文. CPP が誘発する NLRP3 インフラマソーム依存的・非依存的炎症惹起機構の解析. 第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20230708-09; 宇都宮.

坂井千恵美, 石田隆史, 小林佑輔, 中野由紀子, 石田万里. DNA 二本鎖切断蓄積は cGAS-STING 経路を介して血管平滑筋細胞の炎症を惹起する. 第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20230708-09; 宇都宮.

石田万里, 上田桂太郎, 坂井千恵美, 小林佑輔, 中野由紀子, 石田隆史. タバコ煙によるミトコンドリア DNA 損傷の誘発と cGAS-STING 経路の活性化: 動脈硬化のバイオマーカーへの応用. 第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20230708-09; 宇都宮.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 石田圭一, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. 右冠動脈閉塞を来した TAVI の一例. 第 13 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会; 20230728-29; 東京.

佐久間真悠, 嘉納寛人, 堀光一郎, 岸幹夫, 松野俊介, 及川裕二, 矢嶋純二. PCI 施行患者における血清尿酸値の経時的变化の臨床的意義について. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

阿部諭史, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈 3 枝病変の一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

関根虎之介, 國井浩行, 池田彩乃, 赤間浄, 大木理次, 齋藤修一. 経カテーテル的心房中隔欠損閉鎖術後、4 年後に血性心嚢液貯留を来した 1 例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 佐藤彰彦, 野崎祐司, 横川哲朗, 及川雅啓, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝近位部慢性完全閉塞を合併した左前下行枝近位部が責任病変の NSTEMI に対し 2 期的に完全血行再建を行なった一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

安藤卓也, 渡部瞬, 上田捷太, 鈴木喜敬, 鈴木聡. 順行性 IVUS ガイド下に逆行性に ARCADIA テクニックを用いた一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

加藤裕之, 佐藤美優, 佐藤貴文, 栗田準一郎, 小柴佑介, 皆川貴裕, 渡部洋志, 鈴木聡. 当院における心臓カテーテル手技の線量の最適化と高被ばく線量となった患者に対する取り組み. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 同時期に発症した 2 度の NSTEMI に対する PCI 後、重症大動脈弁狭窄症に対して緊急 TAVI を施行した超高齢患者の 1 例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 野崎祐司, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index は心不全患者の消化管出血を予測する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. HFpEF 症例における心臓 MRI を用いた左室、左房ストレイン複合評価による心イベント予測能の検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. NMT を介した N-ミリスチル化維持が心肥大と心不全を予防する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

上田捷太, 鈴木聡, 渡部瞬, 鈴木喜敬, 安藤卓也, 岡野龍威, 川島大, 前場覚. 急性心筋梗塞後の収縮性心膜炎に対して外科的治療を要した一例. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

大和田光司, 佐藤崇匡, 上田捷太, 根橋健, 八重樫大輝, 佐藤彰彦, 竹石恭知. 左室駆出率の低下した心不全を発症したクッシング病の 2 例. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心臓組織の好中球細胞外トラップは拡張型心筋症における心機能障害と不良な転帰に関連する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

三阪智史, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 菅原由紀子, 佐藤悠, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全における脾臓の超音波エラストグラフィの意義: 心臓-脾臓連関の役割. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 心房細動を有する慢性心不全患者の左室拡張能評価. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

磯松大介, 及川雅啓, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 無症候性irAE心筋炎に対してステロイド治療が有効だった1例. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

小林佑輔, 坂井千恵美, 石田隆史, 中野由紀子, 石田万里. タバコ煙による炎症惹起とミトコンドリアDNAの関係. 第45回日本高血圧学会総会; 20230915-17; 大阪.

坂井千恵美, 石田隆史, 唐崎航平, 石田万里. 動脈硬化発症におけるDNA二本鎖切断の役割. 第45回日本高血圧学会総会; 20230915-17; 大阪.

谷哲矢, 及川雅啓, 大原妃美佳, 八重樫大輝, 佐藤悠, 横川哲朗, 三浦俊輔, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン治療開始24か月後の心機能障害の検討. 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

黒田純子, 及川雅啓, 徳田恵美, 立花和之進, 大竹徹, 竹石恭知, 佐治重衡. 乳がん患者を対象としたアントラサイクリン系抗がん薬による心機能障害発現の後方視的調査. 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

磯松大介, 佐藤崇匡, 西野笙汰, 野寺稜, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. A case of dilated cardiomyopathy dramatically improved by resuming sacubitril/valsartan. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

大河内諭, 佐藤崇匡, 磯松大介, 大原妃美佳, 佐藤悠, 竹石恭知. A case of severe heart failure complicated by Takayasu arteritis with aortic coarctation and pulmonary arterial hypertension. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 富田湧介, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. LTBP-2 is associated with fibrosis and predicts poor prognosis in dilated cardiomyopathy. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue associate with adverse outcomes in patients with heart failure through mitochondrial dysfunction of cardiomyocytes. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. Targeting N-myristoylation through NMT prevents cardiac hypertrophy and heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

佐藤悠, 義久精臣, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. The accuracy of non-monophasic intrarenal venous flow pattern for elevation of right atrial pressure in patients with heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. Usefulness of left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三浦里織, 植田航希, 三阪智史, 佐藤友香, 皆川敬治, 竹石恭知, 池田和彦. JAK2-V617F 変異陽性 MPN において血小板と好中球の相互作用が NETs 関連血栓症を惹起する. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013-15; 東京.

木村哲, 浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 深津真彦, 高野幹, 原田佳代, 福地恒一郎, 森博隆, 林清人, 小山大輔, 高橋裕志, 三浦俊輔, 及川雅啓, 川名聡, 鈴木理, 竹石恭知, 橋本優子, 池添隆之. 心筋に AL 型と ATTR 型のアミロイドの二重沈着が認められた全身性アミロイドーシス. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013-15; 東京.

楠本泰士, 高橋恵里, 倉澤茂樹, 田中善信, 星真行, 柴喜崇, 岡崎可奈子, 義久精臣. 児童における健康関連 QOL と食に関する QOL・睡眠状況の学年別の違いと項目間の関係—福島子どもコホート調査—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021-22; 小樽, 小児理学療法学. 2 (Supplement_1): 89.

大河内諭, 佐藤崇匡, 竹石恭知. 植込み型補助人工心臓装着前の右室線維性置換は術後右心不全を予測する. 第 45 回心筋生検研究会学術集会; 20231117-18; 新潟.

西野生汰, 山田慎哉, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーによる起源同定がアブレーションに有用であった右室後乳頭筋起源心室性期外収縮の 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2023; 20231117-19; 福岡.

関根萌, 岩渕雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 佐藤悠, 伊関憲. 鈍的外傷に伴う無症候性下大静脈解離の一例. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京.

坂井千恵美, 石田万里, 小林佑輔, 田代聡, 石田隆史. DNA 二本鎖切断蓄積による動脈硬化進展メカニズムの探索. 第 46 回日本分子生物学会年会; 20231206-08; 神戸.

Sakai C, Ishida M, Kobayashi Y, Ishida T. DNA damage-induced activation of cGAS-STING mediates inflammation and cellular senescence. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラ

ム (BCVR) ;20231209-10; 神戸.

Yokokawa T, Nishiura K, Miura S, Misaka T, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of endothelial cell signaling on perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary arterial hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第7回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR) ; 20231209-10; 神戸.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Role of perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第7回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR) ;20231209-10; 神戸.

片平正隆, 武藤雄紀, 遠藤圭一郎, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. LAD を責任病変とする非 ST 上昇型心筋梗塞に対して緊急 CAG を行い、LMT に医原性解離を引き起こした一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈3枝病変の一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 石田圭一, 藤宮剛, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄が増悪し重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

清水竹史, 市村祥平, 黒沢雄太, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝に対する方向性冠動脈粥腫切除術により single-stent にし得た主幹部分岐部病変の一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

上田捷太, 渡部瞬, 鈴木喜敬, 安藤卓也, 鈴木聡. 心房細動を伴った心不全に対する β 遮断薬により心原性ショックをきたした1例. 第228回日本内科学会東北地方会; 20230218; 仙台, Web.

松原麻衣, 渡部文彦, 川畑絹代, 皆川敬治, 小野智, 金城貴士, 竹石恭知, 池田和彦. 抗 E 様の特異性を示した mimicking 自己抗体の一例. 第54回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 福島県臨床検査技師会誌. 61:36.

片平正隆, 清水竹史, 小河原峻, 佐久間裕也, 遠藤圭一郎, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 胸腔鏡下胸管結紮術・心膜開窓術を施行した原発性乳癌心膜症の一例. 第176回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP-2 濃度は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP-2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第176回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

渡部瞬, 佐藤崇匡, 上田捷太, 根橋健, 八重樫大輝, 佐藤彰彦, 竹石恭知. 左室駆出率の低下した心不全を合併したクッシング病の1例. 第176回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 左室内仮性腱索の付着端を起源と同定し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石橋伸幸, 佐藤彰彦, 石田圭一, 新城宏治, 山本晃裕, 高瀬信弥, 清水竹史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 上腸間膜動脈 (SMA) 閉塞による腸管虚血を合併した急性 A 型大動脈解離に対して SMA ステント留置を施行した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石井三千花, 及川雅啓, 磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症と左室流出路狭窄を合併し病態判断に苦慮した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

池田彩乃, 國井浩行, 関根虎之介, 赤間浄, 大木理次, 齋藤修一, 若木優, 渡邊佳織, 渡邊健史, 伊関憲, 鈴木剛, 藤森敬也, 安田俊, 福田冬馬, 竹石恭知, 清水竹史. 分娩室で羊水塞栓症を発症し、経皮的肺補助装置で循環を安定させ、救命し得た若年女性の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

大和田卓史, 中里和彦, 廣坂諒, 渡邊俊介, 泉田次郎, 齋藤富善, 前原和平. Corsair Rendezvous が有効であった RCA long CTO の一例. 第 53 回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230722; 秋田.

鈴木聡, 和田健斗, 鈴木喜敬, 上田捷太, 宗像慧太. 急性心筋梗塞発症後、姑息的治療の後に Rotablator を使用した一例. 第 53 回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230722; 秋田.

佐久間真悠, 嘉納寛人, 上関友里絵, 長尾哲朗, 田宮蘭, 村井駿, 堀光一朗, 岸幹夫, 松野俊介, 及川裕二, 矢嶋純二. 側枝確保困難な LMT 分岐部病変に DCA が有効だった一例. 第 62 回日本心臓血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会; 20231014; 東京.

小林佑輔, 坂井千恵美, 石田隆史, 中野由紀子, 石田万里. タバコ煙による炎症惹起とミトコンドリア DNA の関係. 第 129 回日本内科学会中国地方会; 20231021; Web.

佐藤智基, 佐藤彰彦, 関根虎之介, 安齋文弥, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. TAVI 後に溶血性貧血を来した一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

佐藤洋太, 三浦俊輔, 片平正隆, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 及川雅啓, 木村哲, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. トランスサイレチンと λ 型軽鎖が同組織に検出された心アミロイドーシスの症例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

橋本知樹, 池田彩乃, 黒沢雄太, 赤間浄, 大木理次, 國井浩行, 齋藤修一, 稲田裕香, 及川雅啓, 竹石恭知, 横山斉. 右室流出路狭窄合併が肺うっ血や左心不全症状の進行を抑制したと推察される右バルサルバ洞動脈瘤破裂の 1 例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

石井三千花, 佐藤崇匡, 磯松大介, 西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 急性心不全に対しサクビトリル・バルサルタンが著効した拡張型心筋症の一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

西野笙汰, 山田慎哉, 磯松大介, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 高カリウム血症を契機に心室頻拍が頻発した末期腎不全患者の一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

関根虎之介, 清水竹史, 津田尚彦, 飯田あかね, 西浦司人, 片平正隆, 佐藤悠, 横川哲朗, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変に対し薬剤塗布バルーンにて経皮的冠動脈形成術を行った若年女性の 1 例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

大河内諭, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 通常型心房粗動に対するクライオアブレーションにおける、冷凍焼灼効果への右冠動脈血流の影響について. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

宗像慧太, 上田捷太, 鈴木喜敬, 和田健斗, 鈴木聡. 非対称性心室中隔肥大を呈し、恒久的ペースメーカ植え込み術を要した心臓サルコイドーシスの 1 例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 竹石恭知. N-ミリストイル化を標的とした介入が心肥大と心不全を予防する. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ(NETs)は不良な転帰と関連する: 心筋生検検体を用いたアプローチ. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP2 は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心不全における心筋組織の好中球細胞外トラップの意義. 第 11 回 Heart Science Club; 20231014; 東京.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MR を用いた拡張期心室内血流 Energy 効率と心筋血流予備能の同時評価の有用性の検討. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

石井三千花, 福島賢慈, 片平正隆, 西浦司人, 山國遼, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 伊藤浩, 竹石恭知. 冠動脈 CT とアンモニア PETMR で評価し得た重症冠動脈病変を有する若年線維筋性異形成の一例. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

磯松大介, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 阿部諭史, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 関野啓史, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 経カテーテル大動脈弁留置後の弁周囲逆流に対する、術前 CT で測定した大動脈弁石灰化量の予測値について. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

清水竹史, 西浦司人, 遠藤圭一郎, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 若年女性に生じた線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変の血管内画像. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

片平正隆, 遠藤圭一郎, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 福島賢慈, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 心筋シンチグラフィーで判断できず、¹³N-ammonia PET で重症虚血を判断できた多枝病変の 2 症例. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

飯田あかね, 野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 薬剤抵抗性の虚血性 VT storm に対してカテーターアブレーションが奏功した一例. 第 3 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20230930; 仙台.

津田尚彦, 及川雅啓, 笠原慎也, 磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 八巻尚洋, 竹石恭知. Pembrolizumab による急性心筋炎に対してステロイドパルスが著効した 1 例. 第 43 回福島心疾患治療談話会; 20230617; Web.

上田捷太, 鈴木聡, 渡部瞬, 鈴木喜敬, 安藤卓也, 岡野龍威, 川島大. 急性心筋梗塞後の収縮性心膜炎に対して外科的治療を要した一例. 第 43 回福島心疾患治療談話会; 20230617; Web.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 佐藤崇匡, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーガイド下マッピングにより左室内仮性腱索の付着端を起源と同定し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 20 回 福島不整脈懇話会; 20230719; 福島.

及川雅啓. 大動脈弁狭窄症の精査で判明したファブリー病の一例. Fabry Expert Seminar in Fukushima; 20230823; Web.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に CAG、PCI を施行した 2 症例. 第 59 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20231028; 郡山.

【シンポジウム】

Misaka T, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and pulmonary hypertension -A novel target for precision medicine- (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Yamamoto K, Yokokawa T, Lemay S, Shimauchi T, Alice B, Shimauchi K, Mabrouka S, Sandra B, Francois P, Steeve P, Olivier B, Sebastien B. DNA-PKcs -A novel therapeutic target in pulmonary arterial hypertension (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

三阪智史, 竹石恭知. ISHR U45 ジョイントシンポジウム Rising star session Hematopoietic system and pulmonary hypertension: role of JAK2V617F-clonal hematopoiesis (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Yokokawa T, Boucherat O, Potus F, Lawrie A, Provencher S, Bonnet S. Multi-omics analyses identify LTBP2 in the right ventricular pathological images as a biomarker for right ventricular dysfunction in pulmonary hypertension (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

三阪智史. 肺高血圧症の病態形成におけるクローン性造血の役割 (パネルディスカッション). 第 8 回日本肺高血

庄・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

服部正幸, 山崎浩, 芳沢礼佑, 小松隆, 金城貴士, 坂本和生, 中村猛, 白石裕一, 山野哲弘, 山野倫代, 渡邊裕昭, 小松雄樹, 五十嵐都, 野上昭彦, 家田真樹. 成人先天性心疾患に伴う不整脈に対してのアブレーション治療 (シンポジウム). 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

中里和彦. シンポジウム 121 ACS の社会経済 (SDGs を目指す) CVIT 広報委員会「ACS 全国実態調査」の結果について. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

清水竹史, 阿部諭史, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高梨秀一郎, 磯部光章, 木島幹博, 竹石恭知. シンポジウム 22 高安動脈炎の虚血性心疾患にどう立ち向かうか 冠血行再建を行なった高安動脈炎による冠動脈疾患の 2 例. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 福島賢慈, 竹石恭知. シンポジウム 67 冠血行再建による心機能改善を議論する 慢性完全閉塞病変の心筋生存能評価に関する PET/MRI 装置の有用性. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

鈴木聡. スポンサーシップシンポジウム 2 シームレスな心不全治療の実現 地域に合った理想的な連携を目指して～会津における取り組みから～. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 12 「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン 2022 年改訂版」を知る 心不全と睡眠呼吸障害. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 18 ASV のエビデンスを整理して今後の可能性を考える HFrEF-CSA における ASV (SERVE-HF 試験). 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

三阪智史. JAK2V617F クローン性造血と心血管疾患・肺高血圧症 (シンポジウム). 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

及川雅啓. 循環器内科医からみた irAE 心筋炎への対応 (シンポジウム). 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

佐藤崇匡, 清水竹史, 竹石恭知. シンポジウム 10 心不全非薬物補助療法 Update (ECMO, IMPELLA, CRT-D) The importance of hemodynamic management and prevention of complications in patients with mechanical circulatory support. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

Yokokawa T, Boucherat O, Rhodes C, Martin W, Sebastien B, Steeve P. シンポジウム 5 肺高血圧症最前線 Dual plasma proteomics-discovered circulating biomarkers in patients with pulmonary arterial hypertension. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三阪智史, 竹石恭知. 会長特別企画 9 臓器連関シリーズ 心骨髄連関におけるクローン性造血の意義 (シンポジウム). 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

佐藤崇匡, 山本晃裕, 横山齐, 竹石恭知. シンポジウム1 新規DT実施施設の取り組みの紹介 当院における植込み型補助人工心臓治療の現況とDTへの取り組み, 第14回Destination Therapy (DT) 研究会; 20231007; 横浜.

三阪智史. Clonal hematopoiesis : JAK2V617F クローン性造血と心血管疾患・肺高血圧症 (シンポジウム) . CVMW2023 心血管代謝週間 : 第40回国際心臓研究学会日本部会; 20231209-10; 神戸.

〔特別講演〕

義久精臣. 特別講演 : 危険ないびきを見逃さないー循環器領域におけるSAS診療の勧めー. 第15回千葉県循環器睡眠呼吸障害研究会; 20230207; 千葉.

中里和彦. 特別講演 : 肺高血圧診療の進歩と診療連携. PH skill-UP seminar 上毛 2023; 20230302; Web.

佐藤悠. 特別講演 : 心不全患者の再入院の予測因子と予防について. FUKUSHIMA Heart Failure Web Conference; 20230510; Web.

竹石恭知. 特別講演 : Clonal hematopoiesis: A novel link between aging and cardiovascular diseases. 令和5年度北海道大学循環器内科同門会総会・研修会; 20230610; 札幌.

竹石恭知. 特別講演 : 高齢者心不全の治療戦略 : 加齢と心血管疾患を繋ぐ clonal hematopoiesis を含めて. Hamamatsu Meet The Expert Vol.3; 20230630; 浜松.

中里和彦. 特別講演 : 肺高血圧症診療の進歩と課題ー福島県の現場からー. PH Summit 2023; 20230630; 東京.

竹石恭知. 特別講演 : Onco-Cardiology への取り組みーCATの抗凝固療法も含めてー. 第38回大分心電図研究会; 20230720; 大分.

竹石恭知. 特別講演 : 高齢者心不全の治療戦略 : 加齢と心血管疾患をリンクするクローン性造血. Akita Heart Forum 2023; 20230803; 秋田.

竹石恭知. 特別講演 : 超高齢化社会の循環器診療 : 高齢者心不全の治療戦略. 第155回福島県医師会医学大会; 20231119; 郡山.

三阪智史. 特別講演 : クローン性造血と心血管疾患ー新たな個別化医療のターゲットー. 北日本 Cardio-Expert Forum; 20231124; 札幌/Web.

〔招待講演〕

杉本浩一. 講演 : 肺高血圧症の早期発見と治療の実践について. 肺高血圧症スクリーニングWEBセミナーin 会津; 20230120; 会津若松/Web.

佐藤悠. 講演 : 心不全における臓器連関と病態評価. 令和4年度福島医学会受賞記念講演会; 20230126; 福島. 福

島医学雑誌. 73(1):19-20.

中里和彦. レクチャー：福島県における心臓血管病の診療の現状と予防のポイント～検診結果をどう活かすか～. 福島県市町村保健活動推進協議会会津部会 第2回研修会; 20230202; 会津若松.

大原妃美佳. 講演：ダイバーシティセッション 東北地区の女性インターベンショナリストの現状・初調査！ 福島県の現状 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会 東北地方会; 20230204; 福島.

武藤雄紀. 基調講演：これからの TAVI 治療戦略. Fukushima PCI after TAVI Web Seminar; 20230228; Web.

Sugawara Y. 講演：Prognostic effects of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

三阪智史. 講演：循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

鈴木聡. 講演：酸化ストレスを反映する尿酸値と、心不全を中心とした心疾患について. ユリス錠 Web チャンネル～痛風・高尿酸血症へのアプローチを考える 東北の5日間～; 20230313-17; Web.

鈴木聡. 講演：心不全におけるセルフケアと地域連携の重要性ーデジタル化のメリットと期待ー. デジタルヘルスを活かした新しい高血圧診療を考える; 20230322; 会津若松/Web.

石田隆史. 講演：はじめに. 減塩サミット 2023 in 福島; 20230322; 誌上/Web. 福島民友. 12.

小林淳. 講演：一般臨床における心エコーのみかたー大動脈弁狭窄症・僧帽弁閉鎖不全症・左心耳内血栓症など治療可能な疾患を見落とすなー. 福島県医師会生涯教育講習会; 20230331; 相馬.

鈴木聡. 講演：会津に求められる心不全地域連携 Up dateー当院の診療実績も踏まえてー. 会津医学会学術講演会～糖尿病・心不全 Up To Date～; 20230418; 会津若松/Web.

鈴木聡. 講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー理想的な地域連携を目指してー. 只見エリア 心不全地域医療連携講演会; 20230424; 只見町/Web.

鈴木聡. 講演：最先端の心不全診療を地域に活かすにはー会津における取り組みを踏まえてー. 庄内エリア 心不全地域医療連携講演会; 20230524; Web.

竹石恭知. 講演：クローン性造血と心血管疾患. 45th Sysmex Scientific Seminar; 20230527; 神戸, 東京/Web.

武藤雄紀. ミニレクチャー：TAVI と抗血栓療法. ADATARA LIVE Demonstration 2023; 20230531-0602; 郡山 /Web.

鈴木聡. ランチョンセミナー：変わりゆく心不全治療ー理想的な地域連携を目指してー. ADATARA LIVE Demonstration 2023; 20230531-0602; 郡山/Web.

武藤雄紀. 講演：慢性期に PVL が減少した TAVI 症例. 第 7 回ストラクチャークラブ・ジャパン東北支部会; 20230603; 盛岡.

及川雅啓. 講演：心アミロイドーシスを見つけ出すための心肥大診療のポイント. 心不全セミナー～治療可能な心不全・心筋症を見逃さない～; 20230608; 福島/Web.

義久精臣. 講演：危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. 相馬郡医師会生涯教育講座; 20230622; 南相馬.

竹石恭知. イブニングセミナー 2：なぜ腫瘍循環器学が必要か：Oncocardiology への取り組み. 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):27.

義久精臣. 講演：危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. 星総合病院勉強会; 20230629; 郡山.

義久精臣. 講演：危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. いわき市医師会勉強会; 20230710; いわき.

及川雅啓. 講演：心アミロイドーシスを見つけ出すための心肥大診療のポイント. 高齢者循環器疾患セミナー in 郡山; 20230719; 郡山.

鈴木聡. 講演：変わりゆく心不全治療を地域に活かすには～会津に置ける地域連携を踏まえて～. Japan Cardiology Expert Tour 2023 in TOHOKU-Including K Management; 20230721; Web.

中里和彦. 講演：【委員会企画】働き方改革セッション 地方医療の現状、働き方改革をどのように実現するのか？ 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（CVIT2023）; 20230804-06; 福岡.

及川雅啓. 講演：第 16 回 成人先天性カテーテル治療研究会 3 PFO 閉鎖栓による遅発性心侵食を来した一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（CVIT2023）; 20230804-06; 福岡.

及川雅啓. ファブリー病家計調査の重要性. ファブリー病 WEB 講演会; 20230904; Web.

佐藤崇匡. 講演：心不全の病みの軌跡を念頭に置いた重症心不全診療. Fundamental Treatment of CHF; 20230920; Web.

金城貴士. 講演：心房細動による心原性塞栓予防の選択肢. 福島 Brain-Heart Conference; 20230925; Web.

野寺穰. 講演：国外・国内留学経験者から学ぶー東北の不整脈医療を盛り上げていくためのヒントー. 第 3 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20230930; 仙台.

佐藤彰彦. 講演：大動脈弁狭窄症の重症度診断と TAVI 適応のポイント. m3 WEB 講演会 心不全と弁膜症～適切な治療タイミングと選択肢～; 20231016; Web.

武藤雄紀. 講演：当院における TAVI 治療の現状～適応拡大とデバイスの進化で変わったこと～. m3 WEB 講演会 心不全と弁膜症～適切な治療タイミングと選択肢～; 20231016; Web.

金城貴士. AF360 パート : CARTO との比較. Mapping Frontier～EnSite™ X で挑む Simple PVI&Complex Case～; 20231103; Web.

義久精臣. ランチョンセミナー4 SAS 診療の温故創新～PTT 血圧測定の意義～. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

鈴木聡. 講演 : 地域に合った理想的な心不全連携を目指して～会津における取り組みから～. 地域連携 NETWORK; 20231115; Web.

磯松大介. 講演 : 当科における ARNI の使用経験. 第 13 回福島心不全研究会; 20231117; 福島/Web.

金城貴士. 講演 : 心電図から学ぶ、不整脈の病態について. 臨床心電図セミナー 福島; 20231118; 福島.

鈴木聡. 講演 : 心不全治療におけるエリア連携～心不全情報シートの活用～. 会津心筋症セミナー～地域で取り組む心アミロイドーシスの早期診断～; 20231130; Web.

金城貴士. ランチョンセミナー : AF 治療のワークフロー. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

武藤雄紀. ランチョンセミナー : 進化する TAVI 治療～10 年で見えてきた今後の課題～. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

菅原由紀子. 講演 : ダイバーシティセッション 君たちはどう働くか “働き方改革後の私たちのロードマップ” . 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

杉本浩一. 講演 : 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の早期発見と治療の実際について. 浜通り息切れを考える会～CTEPH の早期発見～; 20231207; Web.

鈴木聡. 講演 : 酸化ストレスを反映する尿酸値と、心不全を中心とした心疾患について～病型分類を踏まえて～. 高尿酸血症治療を考える会; 20231218; Web.

〔その他〕

義久精臣. 循環器疾患と睡眠呼吸障害. 日本循環器学会 e-learning; 20230417; Web. 日本循環器学会 HP.

横川哲朗, 西浦司人, 三阪智史, 竹石恭知. 炎症細胞であるマクロファージの制御機構に着目した肺高血圧症の新規病態解明. 第 7 回先進医薬研究報告会; 20231208; 東京.

血液内科学講座

論 文

〔原 著〕

Suzuki K, Wechalekar AD, Kim K, Shimazaki C, Kim JS, Ikezoe T, Min CK, Zhou F, Cai Z, Chen X, Iida S, Katoh N, Fujisaki T, Shin HJ, Tran N, Qin X, Vasey SY, Tromp B, Weiss BM, Comenzo RL, Kastritis E, Lu J. Daratumumab plus bortezomib, cyclophosphamide, and dexamethasone in Asian patients with newly diagnosed AL amyloidosis: subgroup analysis of ANDROMEDA. *Annals of Hematology*. 202304; 102(4):863-876.

Ishiyama K, Yonemura Y, Kawaguchi T, Hosokawa K, Sugimori C, Ueda Y, Takamori H, Obara N, Noji H, Shirasugi Y, Ando K, Shichishima T, Ninomiya H, Chiba S, Nishimura JI, Kanakura Y, Nakao S. A longitudinal analysis of paroxysmal nocturnal haemoglobinuria-type cells in patients with bone marrow failure: Results of a prospective multi-centre study in Japan. *British Journal of Haematology*. 202311; 203(3):468-476.

Hayashi K, Koyama D, Sato Y, Fukatsu M, Ikezoe T. Lymphoplasmacytic lymphoma presenting cold agglutinin syndrome: Clonal expansion of KMT2D and IGHV4-34 mutations after COVID-19. *British Journal of Haematology*. 202312; 203(5):e110-e113.

Ikezoe T, Usuki K, Aida K, Hatayama T, Shirahase T, Yamauchi T. Cusatuzumab plus azacitidine in Japanese patients with newly diagnosed acute myeloid leukemia ineligible for intensive treatment. *Cancer Science*. 202303; 114(3):1037-1044.

Izutsu K, Kumode T, Yuda J, Nagai H, Mishima Y, Suehiro Y, Yamamoto K, Fujisaki T, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ikezoe T, Nishikori M, Akahane D, Fujita J, Dinh M, Soong D, Noguchi H, Buchbjerg JK, Favaro E, Fukuhara N. Subcutaneous epcoritamab monotherapy in Japanese adults with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma. *Cancer Science*. 202312; 114(12):4643-4653.

Mori H, Koyama D, Sato Y, Kataoka Y, Taito S, Ishio T, Teshima T, Yokota I. Prognostic Value of Hematogones in Patients With Hematopoietic Disorders After Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Cureus*. 202310; 15(10):e47184.

Okoshi C, Takahashi T, Fukatsu M, Suganuma R, Ikezoe T, Fujimori K. A case of delayed postoperative bleeding after excision of endometrial polyp using resectoscope in an infertile woman with von Willebrand disease: a case report and literature review. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):197-204.

Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T. Impaired Repopulating Ability of Uhrf2^{-/-} Hematopoietic Progenitor Cells in Mice. *Genes*. 202307; 14(8):1531.

Owari M, Harada-Shirado K, Togawa R, Fukatsu M, Sato Y, Fukuchi K, Endo M, Takahashi H, Kimura S, Osaki T, Souri M, Ichinose A, Shibata Y, Hashimoto Y, Ikezoe T. Acquired von Willebrand Syndrome in a Patient with Multiple Comorbidities, Including MALT Lymphoma with IgA Monoclonal Gammopathy and Hyperviscosity Syndrome. *Internal Medicine*. 202302; 62(4):605-611.

Onishi Y, Furukawa E, Kamata M, Fukatsu M, Kameoka Y, Hatta S, Hamada H, Oyake T, Kai T, Sukegawa M, Nakajima S, Yanagiya R, Yamaguchi K, Takahashi T, Harazaki Y, Izumi T, Murai K, Ito S, Ikezoe T, Ishizawa K, Takahashi N, Harigae H. Outcomes of adult patients with early T-cell precursor (ETP) acute lymphoblastic leukemia/lymphoma (ALL) and non-ETP T-ALL. *International Journal of Hematology*. 202305; 117(5):738-747.

Usuki K, Ikezoe T, Ishiyama K, Kanda Y, Gotoh A, Hayashi H, Shimono A, Kitajima A, Obara N, Nishimura JI. Interim analysis of post-marketing surveillance of ravulizumab for paroxysmal nocturnal hemoglobinuria in Japan. *International Journal of Hematology*. 202309; 118(3):311-322.

Fukatsu M, Hamazaki Y, Sato Y, Koyama D, Ikezoe T. A case of cold agglutinin syndrome associated with chronic lymphocytic leukaemia harbouring mutations in CARD11 and KMT2D. *International Journal of Hematology*. 202310; 118(4):472-476.

Fukuchi K, Koyama D, Takada M, Mori H, Hayashi K, Asano N, Sato Y, Fukatsu M, Takano M, Takahashi H, Shirado-Harada K, Kimura S, Yamamoto T, Ikezoe T. Mutated ZRSR2 and CUL3 accelerate clonal evolution and confer venetoclax resistance via RAS signaling pathway in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm. *International Journal of Hematology*. 202310; 118(4):489-493.

Sato Y, Fukatsu M, Suzuki T, Sasajima T, Gunji N, Yoshida S, Asano N, Fukuchi K, Mori H, Takano M, Hayashi K, Takahashi H, Shirado-Harada K, Kimura S, Koyama D, Migita K, Ikezoe T. Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for myelodysplastic neoplasms complicated with secondary pulmonary alveolar proteinosis and Behçet's disease harboring GATA2 mutation. *International Journal of Hematology*. 202311; 118(5):642-646.

Okuyama S, Sumi M, Ishikawa R, Shishido T, Koyama D, Ueki T, Takahashi D, Kobayashi H, Kobayashi H, Tsuno NH. Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in a patient with type I CD36 deficiency: a case study and literature review. *International Journal of Hematology*. 202311; 118(5):656-660.

Wada H, Kawasaki K, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Madoiwa S, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Iba T, Okamoto K. Sepsis-Associated DIC with Decreased Levels of Antithrombin and Fibrinogen is the Target for Combination Therapy with Thrombomodulin Alfa and Antithrombin. *Thrombosis and Haemostasis*. 202302; 7(1):e65-e75.

Mori H, Harada-Shirado K, Kawano N, Hayakawa M, Seki Y, Uchiyama T, Yamakawa K, Ishikura H, Irie Y, Nishio K, Yada N, Okamoto K, Ikezoe T. Net reclassification index in comparison of prognostic value of disseminated intravascular coagulation diagnostic criteria by Japanese Society on Thrombosis and Hemostasis and International Society on Thrombosis and Haemostasis: a multicenter prospective cohort study. *Thrombosis*

Journal. 202308; 21(1):84.

根木玲子, 池添隆之, 向井幹夫. 2022 Hot Topics 凝固 (血栓) 分野. 日本血栓止血学会誌. 202302; 34(1):72.

小山大輔. 【肥満細胞症】全身性肥満細胞症. 皮膚科. 202311; 4(5):583-590.

松田信, 佐野隆浩, 斎藤由理恵, 座間楨, 鈴木莉可, 服部祐太, 見付祐子, 小田島肇. Picture in Clinical Hematology(No.155) 初診時 CML と CLL を同時に認めた症例. 臨床血液. 202301; 64(1):1.

石山謙, 臼杵憲祐, 池添隆之, 後藤明彦, Myren KJ, Tomazos I, 下野明彦, 二宮治彦, 櫻井政寿, 中尾眞二, 西村純一. 日本人発作性夜間ヘモグロビン尿症患者における ravulizumab および eculizumab の選択. 臨床血液. 202301; 64(1):9-17.

大野沙耶香, 田中宏明, 林清人, 清水亮, 桑野秀規, 鈴木良夫. 特異な画像所見を呈した primary mediastinal large B-cell lymphoma, spindle cell variant. 臨床血液. 202301; 64(1):30-34.

〔総説等〕

池添隆之, 高橋裕志. 第 42 回 Heart Hospital. クロスハート. 2023; 73:5-6.

池添隆之, 林裕美. がん関連血栓症の予防・治療のガイドライン. 血液内科. 202303; 86(3):433.

池添隆之. 【血栓・止血の異常を理解するー広くて深い基礎知識】 Chapter 2 血栓・止血に関連する疾患 B. 血小板が減少する血栓性疾患 播種性血管内凝固症候群. 内科. 202310; 132(4):746-751.

池添隆之. 血栓止血検査の選択と解釈. 日本内科学会雑誌. 202309; 112(9):1746-1755.

池添隆之. 【臨床血液学 2023ー病態理解の深化と今後の展望 (血小板・凝固・線溶疾患) ー】 オーバービュー. 臨床血液. 202305; 64(5):376.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Ureshino H, Ueda Y, Fujisawa S, Usuki K, Tanaka H, Okada M, Kowata S, Murai K, Hirose A, Shindo M, Kumagai T, Nakao T, Takeoka T, Kamachi K, Kidoguchi K, Iyama S, Inamura J, Kobayashi T, Kawata E, Ohkawara H, Ikezoe T, Ikezoe T, Kimura S. ALLELIC POLYMORPHISMS OF KIRS AND HLAS PREDICT FAVORABLE ACHIEVEMENT OF TREATMENT-FREE REMISSION IN CML: RESULTS FROM THE POKSTIC TRIAL, MULTICENTER RETROSPECTIVE OBSERVATIONAL STUDY. EHA 2023 Hybrid Congress / 28th European Hematology Association Congress; 20230608; Web.

Ando K, Griškevičius L, Ikezoe T, Ito Y, Masuko M, Ueda Y, Bagger M, Danekula R, Rozenberg I, Junge G, Mayer J. EFFICACY AND SAFETY OF SWITCHING TO IPTACOPAN (IPTA) MONOTHERAPY IN

PATIENTS WITH PAROXYSMAL NOCTURNAL HEMOGLOBINURIA (PNH) TREATED WITH THE ANTI-C5 MONOCLONAL ANTIBODY (MAB) TESIDOLUMAB (TESD). EHA 2023 Hybrid Congress / 28th European Hematology Association Congress; 20230608; Web.

Hayashi K, Koyama D, Hamazaki Y, Kamiyama T, Yamada S, Tanino Y, Shibata Y, Ikezoe T. Intracellular nuclear proteins histone H3 and HMGB1 are predictive markers of disease severity and prognosis of COVID-19 patients. ISTH 2023 Congress; 20230625; Web.

Hosono N, Yamauchi T, Chi SG, Arai H, Fukushima K, Ikeda D, Iyama S, Gotoh A, Ikezoe T, Yoshida C, Yoshimoto G, Kanda J, Takahashi N, Sakaida E, Usuki K, Minami Y. Practical and Flexible Genome Profiling Study Using the Halo-Shape Annealing and Defer-Ligation Enrichment (HANDLE) System: HM-Screen-JAPAN02. 65th ASH Annual Meeting & Exposition; 20231209; San Diego, USA.

Ureshino H, Takahashi N, Ikezoe T, Takamori A, Kawaguchi A, Ichinohe T, Kimura S. Lower-Initiating Dose of Bosutinib for Resistant or Intolerant to Prior Therapy Chronic Myeloid Leukemia Patients (BOGI trial): A Single-Arm, Multicenter, Phase II Trial. 65th ASH Annual Meeting & Exposition; 20231210; San Diego, USA.

Ikezoe T, Tachibana T, Hata C, Wang C, Koyama D, Oriuchi N, Nishijima K, Ukon N, Shimoyama S, Joho T, Washiyama K, Takahashi K, Zhao S. Delivery of α -Particles By a Human-Rat Chimeric CD82 Monoclonal Antibody Potently Inhibits the Proliferation of CD82-Expressing Acute Myeloid Leukemia Cells in a Murine Xenograft Model. 65th ASH Annual Meeting & Exposition; 20231210; San Diego, USA.

Daver N, Zeidner JF, Yuda J, Watts JM, Levis MJ, Fukushima K, Ikezoe T, Ogawa Y, Brandwein J, Wang ES, Miyazaki Y, Pardee TS, Hosono N, Shima T, Yokoyama H, Asada N, Jurcic J, Cai H, Watanabe A, Hitron M, Brooks E, Xu B, Shah J, Kantarjian HM, Erba HP. Phase 1/2 First-in-Human Study of the Menin-MLL Inhibitor DSP-5336 in Patients with Relapsed or Refractory Acute Leukemia. 65th ASH Annual Meeting & Exposition; 20231210; San Diego, USA.

深津真彦, 松田美津子, 浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 福地恒一郎, 森博隆, 林清人, 高野幹, 高橋裕志, 原田佳代, 小山大輔, 木村哲, 山寺幸雄, 池添隆之. 腹部超音波 shear wave elastography による肝硬度・粘弾性評価の同種造血幹細胞移植における有用性. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会; 20230210; 名古屋.

浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 深津真彦, 高野幹, 原田佳代, 木村哲, 池添隆之, 遠藤麻衣, 郡司直彦. アザンチジンで軽快した trisomy 8 を伴う骨髓異形成症候群(MDS)関連腸炎による消化管出血の 1 例. 日本内科学会第 228 回東北地方会; 20230218; Web.

林清人, 小山大輔, 福地恒一郎, 森博隆, 浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 深津真彦, 高野幹, 高橋裕志, 原田佳代, 木村哲, 池添隆之. 寒冷凝集素症候群患者における急性溶血発作. 第 135 回日本血液学会東北地方会; 20230219; 仙台.

Izutsu K, Kumode T, Yuda J, Nagai H, Mishima Y, Suehiro Y, Yamamoto K, Fujisaki T, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ikezoe T, Nishikori M, Akahane D, Fujita J, Wu J, Broberg P, Buchbjerg J, Favaro E, Fukuhara N. Subcutaneous Epcoritamab in Japanese Patients With Relapsed/Refractory Diffuse Large B-Cell Lymphoma: EPCORE NHL-3 Data. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230318; 福岡.

鈴木沙樹, 皆川敬治, 佐藤友香, 小野智, 渡邊万央, 小田原聖, 川畑絹代, 植田航希, 安斎紀, 佐野秀樹, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. KMR type & track Assay による移植後キメラ解析の評価. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術集会; 20230511; 千葉.

植田航希, 高野希美, 丸丸峻也, 渡部文彦, 佐々木睦美, 松原麻衣, 小野智, 川畑絹代, 森博隆, 佐野秀樹, 池添隆之, 池田和彦. 造血幹細胞移植ドナーの抗 HLA 抗体陽性がレシピエントの抗 HLA 抗体産生および血小板輸血不応性に及ぼす影響の検討. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230511; 千葉.

遠藤武尊, 渡辺洋子, 嶋田有里, 佐々木義和, 山寺幸雄, 木村哲, 池添隆之, 志村浩己. von Willebrand 病の病型鑑別に血小板凝集能検査が有用であった 2 症例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527; 会津若松.

木村哲. 悪性リンパ腫の病態、治療法. 日本病院薬剤師会東北ブロック第 12 回学術大会セミナー; 20230611; 郡山.

池添隆之. 造血器悪性腫瘍に合併する DIC の病態と治療戦略. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230616; 北九州.

池添隆之. 日本血栓止血学会 DIC 診断基準 2017 版の有用性の評価. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230616; 北九州.

林清人, 小山大輔, 濱崎洋一, 神山隆道, 山田晋吾, 谷野功典, 柴田陽光, 池添隆之. Syndecan-1 as a predictor of severity and prognosis in COVID-19 patients. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230616; 北九州.

佐野隆浩, 池添隆之. DLBCL 治療後に PTCL、NOS を発症した高齢者の 1 例. 日本内科学会第 229 回東北地方会; 20230617; Web.

浅野奈緒美, 木村哲, 内田康裕, 鈴木健悟, 鈴木健悟, 遠藤麻美子, 深津真彦, 佐野隆浩, 高野幹, 林清人, 小山大輔, 高橋裕志, 東川隆一, 谷野功典, 柴田陽光, 池添隆之. GATA2 異常症/MonoMAC 症候群に対して非血縁者間骨髓移植が奏功した一例. 第 136 回日本血液学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

Ikezoe T. CARDIAC AMYLOID REACHING FOR EXTENDED SURVIVAL (CARES) TRIALS: 2 PLACEBO-CONTROLLED, DOUBLE-BLIND, RANDOMIZED, PHASE 3 TRIALS ASSESSING CAEL-101 IN PATIENTS WITH MAYO STAGES IIIA/IIIB ALAMYLOIDOSIS. 第 10 回日本アミロイドーシス学会学術集会; 20230923; 高知.

池添隆之. DIC 診断マーカーとしての HMGB1 の有用性. 第 34 回日本急性期血液浄化学会学術集会; 20231001; 名古屋.

池添隆之. 血小板減少と肝脾腫を契機に診断された慢性内臓型 ASMD の成人例. 第 64 回日本先天性代謝異常学会学術集会/第 19 回アジア先天代謝異常症シンポジウム; 20231006; 大阪.

内田康裕, 小山大輔, 眞部和也, 鈴木健悟, 浅野奈緒美, 遠藤麻美子, 深津真彦, 佐野隆浩, 林清人, 高野

幹, 高橋裕志, 木村哲, 池添隆之. 腎移植の既往がある CML 患者における asciminib の高い有効性と安全性について. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013; 東京.

深津真彦, 小山大輔, 池成基, 小林敬宏, 山下鷹也, 高橋直人, 吉本五一, 宇津欣和, 新井宏典, 上田智朗, 福島健太郎, 木口亨, 南陽介, 池添隆之. 急性前骨髄球性白血病に共存するドライバー変異と治療抵抗性との関連性. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013; 東京.

湯田淳一郎, Zeidner J, Erba H, Watts J, 福島健太郎, 小川吉明, Levis M, 池添隆之, Brandwein J, 細野奈穂子, Jurcic J, 宮崎泰司, Wang E, 島隆宏, 横山寿行, Pardee T, 浅田騰, Goubourne A, Cai H, Brooks E, 江口健, Stoudemire J, 桑木崇宏, Hirton M, Lebedinsky C, Daver N. MLLr 又は NPM1m が陽性又は陰性の急性白血病を対象とした DSP-5336 の第 1/2 相試験. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013; 東京.

池添隆之. APL に合併する DIC の病態と治療戦略. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

池添隆之. 造血器悪性腫瘍に合併する血栓症の予防と治療. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

西脇嘉一, 臼杵憲祐, 池添隆之, 石山謙, 神田善伸, 後藤明彦, 林英生, 下野明彦, 北嶋亜基代, 小原直, 西村純一. 発作性夜間ヘモグロビン尿症患者におけるラブリズマブ高濃度製剤の安全性, 有効性に関する検討. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

高橋直人, 高久智生, 西脇嘉一, 木崎昌弘, 張替秀郎, 青墳信之, 高田覚, 堺田恵美子, 岡田昌也, 池添隆之, 影山晶子, 邱士韓, 山口拓洋, 三浦昌朋. 慢性期慢性骨髄性白血病患者におけるポナチニブの血中濃度と治療アウトカムに関する研究. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

勝岡優奈, 瀧澤淳, 森康雄, 竹迫直樹, 長藤宏司, 半田寛, 角南一貴, 上村智彦, 小川亮介, 堤豊, 池添隆之, 近藤恭夫, 五明広志, 大田秀一, 原崎頼子, 高松博幸, 但馬史人, 谷本一樹, 崔日承, 衛藤徹也, 原田実根, 赤司浩一. 未治療多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた ASCT の第 2 相臨床試験 (JSCT-MM16) . 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

山本薫, 徳永良洋, 小林敬宏, 後藤明彦, 山内高弘, 池添隆之, 池成基, 南陽介. 思春期・若年成人の AML における遺伝子異常の解析. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

森下喬允, 池成基, 内藤和希, 後藤辰徳, 小笠原史也, 小島研介, 山本薫, 中邑幸伸, 金谷穰, 近藤健, 堀口拓人, 井山愉, 鴨田吉正, 臼杵憲祐, 細野奈穂子, 山内高弘, 小林敬宏, 山下鷹也, 池田大輔, 吉本五一, 諫田淳也, 新井宏典, 宇津欣和, 上田智朗, 福島健太郎, 小山大輔, 池添隆之, 西田徹也, 南陽介. 初発 AML 症例における初回寛解導入不応と遺伝学的解析との比較: HM-SCREEN-Japan 02. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

井山愉, 池成基, 池添隆之, 福島健太郎, 宇津欣和, 諫田淳也, 吉本五一, 池田大輔, 森下喬允, 小林敬宏, 山内高弘, 臼杵憲祐, 近藤健, 中邑幸伸, 小島研介, 吉田近思, 後藤明彦, 山本一仁, 黒田純也, 石塚賢治, 堺田恵美子, 堀口拓人, 小船雅義, 南陽介. 急性骨髄性白血病における TET2 遺伝子変異: HM-SCREEN-Japan 02. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

鈴木健悟, 小山大輔, 岡佑香, 眞部和也, 内田康裕, 浅野奈緒美, 遠藤麻美子, 深津真彦, 佐野隆浩, 林清

人, 高野幹, 高橋裕志, 木村哲, 橋本優子, 池添隆之. 骨髄肉腫関連MPDCPに対するベネトクラックスとアザシチジンの併用療法について. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

木村哲, 浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 深津真彦, 高野幹, 原田佳代, 福地恒一郎, 森博隆, 林清人, 小山大輔, 高橋裕志, 三浦俊輔, 及川雅啓, 川名聡, 鈴木理, 竹石恭知, 橋本優子, 池添隆之. 心筋にAL型とATTR型のアミロイドの二重沈着が認められた全身性アミロイドーシス. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

内藤和希, 池成基, 森下喬允, 後藤辰徳, 小笠原史也, 小島研介, 山本薫, 中邑幸伸, 金谷穰, 近藤健, 堀口拓人, 井山愉, 鴨田吉正, 臼杵憲祐, 細野奈穂子, 山内高弘, 小林敬宏, 山下鷹也, 池田大輔, 吉本五一, 諫田淳也, 新井宏典, 宇津欣和, 上田智朗, 福島健太郎, 小山大輔, 池添隆之, 西田徹也, 南陽介. 急性骨髄性白血病における骨髄異形成関連遺伝子の臨床的意義: HM-SCREEN-Japan 02. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

細野奈穂子, 山内高弘, 池成基, 新井宏典, 福島健太郎, 井山愉, 後藤明彦, 池添隆之, 吉田近思, 吉本五一, 諫田淳也, 高橋直人, 塚田恵美子, 臼杵憲祐, 南陽介. AML 診療におけるターゲットシーケンス解析の有用性: HM-SCREEN-Japan02 試験. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

植田康敬, 北脇年雄, 森下喬允, 後藤明彦, 石山謙, 池添隆之, ロス アレキサンダー, クラセカララ オースティン, シェインバルク フィリップ, カストロ カルロスエムデ, ポナ エロスディ, グリフィン モラグ, レンジメイヤー サスキアエムシー, シュレツェインメイヤー フバート, パルセリーニ ウィルマ, ムアド ビターエーキュー, バンズ ジェンス, シャーハーセン フィリップ, タビシャン スザンヌ, カルローゲン セシル, レビッチ ラファエル, クマー ラケッシュ, トーバーン クリスティン, マイタラ サモプリオ, ダーケ マリオン, リシターノ アントニオエム, ラトゥール レジスベファルトデ. 抗 C5 療法下で貧血が残存する PNH 患者に対するイブタコバン (補体第二経路 B 因子阻害薬) の第三相試験結果. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

小原直, 臼杵憲祐, 林剛史, 藤井庄人, 池添隆之. 日本における PNH 患者の疾病負荷についての PRO 研究. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231015; 東京.

高野幹. 当院での多発性骨髄腫経験の共有. Fukushima Hematology Seminar; 20231101; 福島.

眞部和也, 佐野隆浩, 遠藤麻美子, 高橋裕志, 阿久津和子, 池添隆之. 成人 T 細胞白血病/リンパ腫への臍帯血移植後 1 次生着不全に対して救援臍帯血移植を実施して生着を得た 1 例. 第 59 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20231216; 福島.

【シンポジウム】

池添隆之. ジョイントシンポジウム 造血器腫瘍の DIC 診断に推奨される検査は何か? 第 24 回日本検査血液学会学術集会; 20230729-30; 名古屋.

【特別講演】

小山大輔. 特別講演 遺伝子変異が寄与する白血病の細胞内代謝制御機構と形態学. 第 12 回日本検査血液学会東北支部総会および学術集会; 20230610; 福島.

〔招待講演〕

池添隆之. 教育講演：血栓止血系検査の選択と解釈. 第120回日本内科学会総会・講演会; 20230415; 東京.

〔その他〕

池添隆之. 様々な基礎疾患に合併したDICに対するrTMの治療効果. CHERIE conference; 20230121; 大阪.

池添隆之. 造血管腫瘍に合併するDICの病態・診断・治療. Hematology Online Meeting; 20230220; Web.

池添隆之. モーニングセミナー 造血管腫瘍に合併するDICの病態・診断・治療. 第18回日本血液学会関東甲信越地方会; 20230311; 東京.

池添隆之. SOS/VOD 2023. SOS/VOD Seminar in KANSAI; 20230324; Web.

小山大輔. 第2世代チロシンキナーゼ阻害剤二剤に対し不耐容のCMLの1例～安全性、有効性と治療薬の変更～. Novartis Hematology Web Seminar; 20230516; Web.

池添隆之. 寒冷凝集素症の病態と治療 2023. 寒冷凝集素症（CAD）東北講演会; 20230522; Web.

池添隆之. 血液内科から見るDICの基礎と各凝固線溶検査項目の解説 治療の最新トピックスについて. シスメックス ヘモスタシスセミナーLIVE～DIC 2023～; 20230605; Web.

池添隆之. 造血管腫瘍に合併するDIC治療におけるrTMの位置付け. Recomodulin 15th Anniversary Asahi DIC Conference～rTMの誕生から、未来に向けて～; 20230611; 東京.

池添隆之. APLに合併するDICの病態と治療 2023. 血液DICオンラインセミナー; 20230707; Web.

池添隆之. ここまで来たCML治療の最前線. いずみの会 CML 福島交流会; 20230708; 福島.

池添隆之. 後天性TTPの新たな治療戦略～TTP診療ガイド改定とカブリビへの期待～. 意外と身近な希少疾患～神経内科Dr編～webセミナー; 20230926; 宇都宮.

深津真彦. TA・TMAの早期診断と治療に関する当院の取り組み. AML WEB Symposium FUKUSHIMA; 20231030; 福島.

消化器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Uraoka T, Uedo N, Oyama T, Saito Y, Yahagi N, Fujimoto A, Kawahara Y, Mabe K, Hikichi T, Yamamoto Y, Tajiri H. Efficacy and safety of a novel hemostatic peptide solution during endoscopic submucosal dissection: a multicenter randomized controlled trial. *American Journal of Gastroenterology*. 202302; 118(2):276-283.

Hayashi M, Matsuda M, Yamadera Y, Nakamura J, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Takagi T, Hikichi T, Ohira H. Isolated Small Bowel Varices Diagnosed by Contrast-Enhanced Ultrasound. *American Journal of Gastroenterology*. 202306; 118(6):931.

Irie H, Suzuki R, Okubo Y, Asama H, Konno N, Noguchi Y, Watanabe K, Shibukawa G, Imamura H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Kato T, Hashimoto M, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Clinical benefit of subsequent chemotherapy after drug-induced interstitial lung disease in pancreatic cancer patients: a multicenter retrospective study from Japan. *BMC Cancer*. 202304; 23(1):316.

Nagaike K, Hayashi S, Yakushijin T, Yamamoto M, Sumiyoshi T, Yamaguchi S, Tamaru Y, Yamada T, Tsumura H, Nakai Y, Doyama H, Maetani I, Takagi T, Asai S, Matsubara K, Takenaka M, Hosono M, Nishida T. Radiation dose and factors related to exceeding the diagnostic reference level in 496 transnasal ileus tube placement procedures from the REX- GI study. *British Journal of Radiology*. 202306; 96(1146):20230086.

Takagi T, Sugimoto M, Imamura H, Takahata Y, Nakajima Y, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Shibukawa G, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A multicenter comparative study of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using a Franseen needle versus conventional endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration to evaluate microsatellite instability in patients with unresectable pancreatic cancer. *Clinical Endoscopy*. 202301; 56(1):107-113.

Suzuki H, Ono H, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Toya Y, Nakagawa M, Toyonaga T, Takemura K, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Tsuji Y, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Yamamoto K, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Koizumi S, Hori S, Tajika M, Hikichi T, Yao K, Yokoi C, Ohnita K, Hisanaga Y, Sumiyoshi T, Kitamura S, Tanaka H, Shimoda R, Shimazu T, Takizawa K, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; J-WEB/EGC group. Long-term survival after endoscopic resection for gastric cancer: real-world evidence from a multicenter prospective cohort. *Clinical Gastroenterology and Hepatology*. 202302; 21(2):307-318.e2.

Hayashi S, Takenaka M, Kogure H, Yakushijin T, Nakai Y, Ikezawa K, Yamaguchi S, Fujisawa T, Tamaru Y, Maetani I, Maruyama H, Asai S, Takagi T, Nagaike K, Hori Y, Sumiyoshi T, Tsumura H, Doyama H, Yoshio

T, Hara K, Abe S, Oda I, Kayo M, Nebiki H, Mikami T, Miyazaki M, Matsunaga K, Hosono M, Nishida T; REX-GI Study Group. A follow-up questionnaire survey 2022 on radiation protection among 464 medical staff from 34 endoscopy-fluoroscopy departments in Japan. *DEN Open*. 202304; 3(1):e227.

Iijima K, Matsushashi T, Shimodaira Y, Mikami T, Yoshimura T, Yanai S, Kudara N, Tsuji T, Matsushita HO, Watanabe H, Koike T, Kato K, Abe Y, Shirahata N, Hikichi T, Katakura K, Kono K, Sakuraba H, Ueno Y, Ohira H, Masamune A, Matsumoto T, Fukuda S; Japan Gastroenterological Endoscopy Society-Tohoku. Impact of the COVID-19 pandemic on the performance of endoscopy in the Tohoku region of Japan. *DEN Open*. 202306; 4(1):e249.

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Gunji N, Watahiki Y, Sakuma C, Mochimaru T, Murakami M, Suzuki O, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Characteristics of positive horizontal margins in patients who underwent colorectal endoscopic submucosal dissection. *DEN Open*. 202310; 4(1):e300.

Takahashi S, Hatta W, Watanabe K, Koike T, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka Ippei, Onozato Yusuke, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroyki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Nakamura T, Nakaya N, Matsumoto T, Fukuda S, Masamune A, Iijima K. Prognostic benefit of additional treatment after endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma. *Digestive Diseases and Sciences*. 202305; 68(5):2050-2060.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202306; 17:e441.

Abe H, Tanaka S, Sato H, Shimamura Y, Okada H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Inoue H. Risk scoring system for the preprocedural prediction of the clinical failure of peroral endoscopic myotomy: a multicenter case-control study. *Endoscopy*. 202305; 55(3):217-224.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Takahashi A, Ohira H. Combination of psoas muscle mass index and neutrophil-to-lymphocyte ratio as a noninvasive prognostic marker in hepatocellular carcinoma patients undergoing radiofrequency ablation. *European Journal of Gastroenterology & Hepatology*. 202305; 35(5):568-574.

Gatselis NK, Zachou K, Loza AJM, Cançado ELR, Arinaga-Hino T, Muratori P, Efe C, Floreani A, Invernizzi P, Takahashi A, Takaki A, Beretta-Piccoli BT, van Hoek B, Lytvyak E, Guedes LV, Purnak T, Cazzagon N, Lygoura V, Arvaniti P, Rigopoulou EI, Muratori L, Dalekos GN; International Autoimmune Hepatitis Group. Prevalence and significance of antimitochondrial antibodies in autoimmune hepatitis (AIH): Results from a large multicentre study of the International AIH Group. *European Journal of Internal Medicine*. 202310; 116:43-50.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Waragai Y, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M,

Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Comparison of time to recurrent biliary obstruction between plastic stents and metallic stents for endoscopic ultrasound guided biliary drainage. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 202305; 25(5):214.

Hata Y, Sato H, Shimamura Y, Abe H, Shiwaku A, Shiota J, Sato C, Ominami M, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Ihara E, Inoue H. Impact of peroral endoscopic myotomy on high-resolution manometry findings and their association with the procedure's outcomes. *Gastrointestinal Endoscopy*. 202304; 97(4):673-683.e2.

Miura Y, Tsuji Y, Yoshio T, Hatta W, Yabuuchi Y, Hoteya S, Kikuchi D, Tsuji S, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Masamune A, Fujishiro M. Association between perioperative management of antiplatelet agents and risk of post-endoscopic submucosal dissection bleeding in early gastric cancer: an analysis of a nationwide multicenter study. *Gastrointestinal Endoscopy*. 202305; 97(5):889-897.

Nakamura R, Arakawa N, Tanaka Y, Uchiyama N, Sekine A, Mashimo Y, Tsuji K, Kagawa T, Sato K, Watanabe M, Aiso M, Hiasa Y, Takei Y, Ohira H, Ayada M, Tsukagoshi E, Maekawa K, Tohkin M, Saito Y, Takikawa H. Significant association between HLA-B*35:01 and onset of drug-induced liver injury caused by Kampo medicines in Japanese patients. *Hepatology Research*. 202305; 53(5):440-449.

Tokura J, Yoshio T, Hayashi S, Yamamoto M, Asai S, Yakushijin T, Ikezawa K, Nagaike K, Takagi T, Fujisawa T, Ysamada T, Tsumura H, Maetani I, Hori Y, Ihara H, Matsunaga K, Kuwai T, Ito Y, Hasatani K, Komeda Y, Kurita A, Yamaguchi S, Maruyama H, Iwashita T, Takenaka M, Hosono M, Nishida T. Medical radiation exposure during gastrointestinal enteral metallic stent placement: Post hoc analysis of the REX-GI study. *JGH Open*. 202312; 7(12):869-874.

Zachou K, Azariadis K, Lytvyak E, Snijders RJALM, Takahashi A, Gatselis NK, Robles M, Andrade RJ, Schramm C, Lohse AW, Tanaka A, Drenth JPH, Montano-Loza AJ, Dalekos GN; International Autoimmune Hepatitis Group (IAIHG). Treatment responses and outcomes in patients with autoimmune hepatitis and concomitant features of non-alcoholic fatty liver disease. *JHEP Reports*. 202304; 5(8):100778.

Hatta W, Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Koike T, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ogata Y, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T, Masamune A; for Tohoku GI Endoscopy Group. Treatment strategy after noncurative endoscopic resection for early gastric cancers in patients aged ≥ 85 years: A multicenter retrospective study in a highly aged area of Japan. *Journal of Gastroenterology*. 202304; 58(4):346-357.

Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Hatta W, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki Takeahru, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T,

Onochi K, Kudara N, Abe K, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Takahashi F, Masamune A, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T; Tohoku GI Endoscopy Group. Prediction model of 3-year survival after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients aged ≥ 85 years: EGC-2 model. *Journal of Cancer Research and Clinical Oncology*. 202304; 149(4):1521-1530.

Takahashi A, Takahata Y, Kokubun M, Anzai Y, Kogure A, Ogata T, Abe N, Sugaya T, Fujita M, Imaizumi H, Hayashi M, Abe K, Ohira H. Association between equol and non-alcoholic fatty liver disease in Japanese women in their 50s and 60s. *Journal of Gastroenterology and Hepatology*. 202311; 38(11):1958-1962.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Novel Photodynamic Therapy for Esophageal Squamous Cell Carcinoma following Radiotherapy. *Life*. 202305; 13(6):1276.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Takahata Y, Takahashi A, Anzai Y, Abe N, Sugaya T, Fujita M, Hayashi M, Abe K, Ohira H. Lifestyle factors affecting new-onset nonalcoholic fatty liver disease. *Preventive Medicine Reports*. 202312; 37:102577.

Ninomiya M, Tsuruoka M, Inoue J, Hiraoka A, Iwata T, Sano A, Sato K, Onuki M, Sawahashi S, Kuroda H, Oikawa T, Fujita M, Abe K, Katsumi T, Sato W, Igarashi G, Iino C, Endo T, Tanabe N, Numao H, Iijima K, Matsumoto T, Ohira H, Ueno Y, Masamune A. A new model to estimate duration of survival in patients with hepatocellular carcinoma with BCLC intermediate stage. *Scientific Reports*. 202311; 13(1):20739.

〔総説等〕

大平弘正, 阿部和道, 高橋敦史. 福島県における肝炎対策の現状. 肝臓クリニカルアップデート. 202310; 9(2):179-181.

引地拓人, 加藤恒孝, 中村純, 渡辺晃, 高木忠之. 胃静脈瘤の内視鏡治療時のトラブルシューティング. 消化器内視鏡. 202302; 35(2):193-195.

引地拓人, 加藤恒孝, 中村純, 橋本陽, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道・胃静脈瘤の内視鏡診断: 治療における RDI の有用性. 消化器内視鏡. 202303; 35(3):322-326.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 佐藤雄紀, 入江大樹, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 異所性静脈瘤

による出血－異所性静脈瘤の診断と治療. 消化器内視鏡. 202304; 35(4):531-537.

柳田拓実, 引地拓人, 川名聡. 食道乳頭腫. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):56-57.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝. 食道静脈瘤. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):58-59.

小橋亮一郎, 引地拓人, 柳田拓実. 類基底細胞扁平上皮癌. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):110-111.

引地拓人, 菊地眸, 中村純. 食道平滑筋肉腫. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):124-125.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. Barrett 食道 (LSBE) . 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):148-149.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純. 食道亜全摘後の GERD. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):158-159.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純. 内視鏡的硬化療法後食道潰瘍. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):190-191.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝. ESD 後食道潰瘍. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):192-193.

引地拓人, 中村純, 橋本陽. ESD 後食道狭窄. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):244-245.

小橋亮一郎, 引地拓人, 柳田拓実. 食道術後の吻合部狭窄. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):248-249.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 食道気管支瘻. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):286-287.

引地拓人. 消化器内視鏡診療における多職種連携の重要性と課題. 日本消化器内視鏡技師会会報. 202303; 70:125-127.

永田浩一, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 大平弘正. 最新臨床大腸癌学 2023－最新の診断・治療と病態－ CT colonography (大腸 CT 検査) . 日本臨床. 202305; 81(増刊 5):101-106.

大平弘正. スコアリングによる自己免疫性肝炎の診断. 臨床検査. 202301; 67(10):1098-1101.

引地拓人, 加藤恒孝, 高木忠之, 中村純, 橋本陽, 小橋亮一郎. 食道・胃静脈瘤治療. 臨床消化器内科. 202301; 38(1):7-16.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 胆汁うっ滞疾患の鑑別診断. 臨床消化器内科. 202306; 38(7):825-830.

引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 高木忠之. 食道・胃静脈瘤出血に対する治療ストラテジー. 臨床消化器内科. 202309; 38(11):1369-1380.

〔症例報告〕

Abe N, Hikichi T, Waragai Y, Takahashi Y, Kobashi R, Yanagita T, Kumakawa H, Watanabe K, Kobayakawa M, Ohira H. Retroperitoneal liposarcoma with pancreatic metastasis and gastric cancer: a case

report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202304; 16(2):164-170.

Yanagita T, Hikichi T, Waragai Y, Shimizu H, Takahashi Y, Abe N, Hashimoto C, Kumakawa H, Kobayakawa M, Ohira H. Mixed high-grade serous and large cell neuroendocrine carcinoma arising from rectal endometriosis 11 years after hysterectomy. Clinical Journal of Gastroenterology. 202306; 16(3):366-371.

Suto K, Hikichi T, Shioya Y, Ishizaki N, Saito S, Nakamura J, Kobayakawa M, Ohira H. A healthy young patient with hepatic portal vein gas due to acute gastric dilatation: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202308; 16(4):593-598.

Sugaya T, Suzuki T, Wada J, Shimizu H, Uchihara D, Yokogawa Y, Ichii O, Tai M, Ejiri Y, Ohira H. Transarterial embolization for ruptured pancreaticoduodenal artery aneurysm due to segmental arterial mediolysis combined with median arcuate ligament syndrome: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202312; 16(6):859-863.

Watahiki Y, Kawashima K, Hikichi T, Takagi T, Onizawa M, Gunji N, Watanabe C, Wada J, Oka Y, Hashimoto Y, Ohira H. A balloon-assisted endoscopic submucosal dissection using long colonoscope and guidewire. DEN Open. 202306; 4(1):e259.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Takahashi A, Ohira H. Combination of psoas muscle mass index and neutrophil-to-lymphocyte ratio as a noninvasive prognostic marker in hepatocellular carcinoma patients undergoing radiofrequency ablation. European Journal of Gastroenterology & Hepatology. 202305; 35(5):568-574.

Sato K, Imamura H, Watahiki Y, Hazama H, Hashimoto T, Mukae S, Ohira H. A Hepatitis B Virus Reactivation Case Potentially Triggered by the Onset of Diffuse Large B Cell Lymphoma. Internal Medicine. 202306; 62(11):1611-1615.

Watahiki Y, Kawashima K, Onizawa M, Ohira H. Cecal Volvulus with Typical Whirlpool Sign. Internal Medicine. 202306; 62(11):1693-1694.

Miyata M, Ishiwata S, Kuroda M, Tasaki K, Migita K, Ohira H. Hepatic failure in a patient with rheumatoid arthritis treated with methotrexate: A case report. Medicine. 202301; 102(4):e32711.

Sato K, Shibukawa G, Ueda K, Nakajima Y, Togashi K, Ohira H. Percutaneous endoscopic necrosectomy for walled-off necrosis in the retroperitoneal space of the elderly: A case report. World Journal of Clinical Cases. 202308; 11(24):5736-5741.

〔その他〕

引地拓人. 最新文献紹介 消化管上皮下病変の診断における超音波内視鏡ガイド下針生検の有効性, 実行可能性, および安全性: システマティックレビューとメタアナリシス. Gastroenterological Endoscopy. 202301; 65(1):93.

引地拓人. 編集あとがき. Gastroenterological Endoscopy. 202308; 65(8):1390.

引地拓人. 最新文献紹介 ESD における新規止血ペプチド溶液の有効性と安全性：多施設ランダム化比較試験. Gastroenterological Endoscopy. 202312; 65(12):2453.

佐竹隼輔. 日経メディクイズ 救急. 日経メディカル. 202302.

近森文夫, 引地拓人. 司会総括 一般演題2 静脈瘤①. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 202303; 29(1):52-53.

書籍等出版物

大平弘正. PBC に対してベザフィブラート投与は推奨されるのか? In: 竹原徹郎. 消化器内科診療 Controversy. 東京: 中外医学社. 202301. p.67-71.

引地拓人. 食道に何が起こった? いったい何が出てきた? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社. 202302. p.140-141.

引地拓人. 胃の潰瘍を呈する粘膜下腫瘍, これ何? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社. 202302. p.144-145.

引地拓人. この食道潰瘍の診断? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社. 202302. p.148-149.

引地拓人, 中村純. インフォームド・コンセントと問診. In: 井上和彦. 実践上、ここがポイント! 人間ドックの上部消化管内視鏡検査. 東京: 金芳堂. 202302. p.25-32.

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 中島淳. 最新ガイドラインに基づく消化器疾患診療指針 2023-'24. 東京: 総合医学社. 202303. p.240-246.

引地拓人. 食道静脈瘤治療 (EVL, EIS) ～血行動態と内視鏡診断と治療の基本. In: 浦岡俊夫. レジデントのための消化器内視鏡ことはじめ. 東京: メジカルビュー社. 202306. p.250-256.

引地拓人. 色素内視鏡検査. In: 日本消化器内視鏡学会, 消化器内視鏡技師制度委員会 監修. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック 改訂第8版. 東京: 医学図書出版. 202310. p.52-60.

引地拓人. TXI と RDI の原理と利点. In: 日本消化器内視鏡学会, 消化器内視鏡技師制度委員会 監修. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック 改訂第8版. 東京: 医学図書出版. 202310. p.65-74.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Yanagita T, Hikichi T, Hatta W, Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushima D, Koike T, Shinkai H, Ito H, Matsushashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y,

Tsuyotoshi T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ogata Y, Ohira T, Horikawa Y, Hashimoto M, Kato T, Ishihata R, Satoh K, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T, Masamune A, Ohira H. Prognostic factors and suitability for gastrectomy after non-curative endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients aged 85 years or older: a multicenter retrospective study. DDW 2023; 20230506; Chicago, USA.

Takahashi A, Takahata Y, Fujita M, Hayashi M, Abe K, Ohira H. Association between equal and nonalcoholic fatty liver disease in Japanese women in their 50s and 60s. 3rd JSH International Liver Conference; 20230907; Tokyo.

Abe k, Hayashi M, Sugaya T, Abe N, Takahata Y, Fujita M, Takahashi A, and Ohira H. Long-Term Outcomes and Incidence of Hepatocellular carcinoma in Primary Biliary Cholangitis Complicated with CREST Syndrome. APASL Oncology 2023; 20231027; Sendai.

Fujita M, Abe K, Kuroda H, Oikawa T, Abe T, Ninomiya M, Katsumi T, Sato W, Ino C, Igarashi G, Tanabe N, Numao H, Matsumoto T, Ueno Y, Ohira H. Role of prognostic nutritional index in predicting survival duringatezolizumab plus bevacizumab treatment in unresectable hepatocellularcarcinoma: A multicenter study in Tohoku, Japan. APASL Oncology 2023; 20231027; Sendai.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 橋本優子, 大平弘正. バレット食道腺癌に対する ESD の治療成績と予後. 第 19 回日本消化管学会総会学術集会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):159.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対する LECS の治療手技困難因子. 第 19 回日本消化管学会総会学術集会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):178.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 治療歴を有する食道アカラシアに対する POEM の有用性と安全性. 第 19 回日本消化管学会総会学術集会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):187.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 大平弘正. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する Underwater EMR. 第 19 回日本消化管学会総会学術集会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):192.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 自己免疫性胃炎の臨床的特徴. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 77.

亀岡英介, 入江大樹, 川名聡, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 大平弘正. 自己免疫性膵炎の治療経過中に画像所見が明瞭化した主膵管型 IPMN の 1 例. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 92.

渡邊早百合, 引地拓人, 小橋亮一郎, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS と APC により同時に治療しえた表在型食道癌の 1 例. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 97.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 重症急性胆管炎を来した巨大総胆管結石に対して ESWL, および EHL 併用により完全切石しえた一例. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 128.

舟木美海, 浅間宏之, 菅野有紀子, 児玉健太, 紺野直紀, 石崎優斗, 塚田学, 遠藤豪一, 黒田聖仁. Billroth II 法再建胃切除術後の Petersen ヘルニアによる輸入脚症候群に対し、内視鏡的腸管減圧術が有効だった 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 214 回例会; 20230211; 仙台. プログラム・抄録集. 48.

大塚充, 藁谷雄一, 亀岡英介, 大友駆, 菊地健太郎, 鈴木宏幸, 熊川宏美. 食道気管支瘻を伴った食道癌に対してニボルマブ+FP 療法を施行した一例. 日本消化器病学会東北支部第 214 回例会; 20230211; 仙台.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. ESD を施行した胎児消化管類似胃癌の検討. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230223-25; 札幌. 日本胃癌学会総会記事. 245.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道・胃静脈瘤出血例に対する内視鏡治療の現状. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230309-10; 宜野湾. 日本腹部救急医学会雑誌. 43(2):352.

阿部和道, 林学, 大平弘正. CREST 症候群を合併した原発性胆汁性胆管炎における GLOBE と UK-PBC スコアを用いた長期予後の検討. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230408; 長崎. 日本消化器病学会雑誌. 120(臨増総会):A226.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小早川雅男, 大平弘正. 後期高齢者の胃管癌に対する ESD. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎. 日本消化器病学会雑誌. 120(臨増総会):A306.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 85 歳以上の超高齢者に対する胃 ESD 後の早期死亡予測. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.1):94.

Nakamura J, Hikichi T, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for patients with Barrett's esophageal adenocarcinoma. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.1):851.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 術後胆管空腸吻合部狭窄に対する一時的なダンベル型金属ステント留置に関する検討. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.1):925.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療の現状と課題. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.1):949.

高木忠之, 杉本充, 鈴木玲, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 当院における十二指腸乳頭部癌における肝門部進展評価に関して. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230527; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.1):972.

猪狩剛. 当院における endocytoscopy(ECS), EndoBRAIN-UC を用いた再燃の有無の検討. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525; 東京.

高橋敦史, 高畑陽介, 大平弘正. 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 発症に関する生活習慣. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230615; 奈良. 肝臓. 64(Suppl.1):A134.

阿部和道, 林学, 大平弘正. 自己免疫性肝炎の病態に関連する新規バイオマーカーの探索. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230616; 奈良. 肝臓. 64(Suppl.1):A86.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍における gel-immersion EMR. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 102.

綿引優, 川島一公, 引地拓人. 挿入困難な深部大腸の ESD における一步進んだ工夫. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 103.

西丸響, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 佐々木良, 引地拓人, 大平弘正. 消化管狭窄を伴った悪性胆管狭窄に retrofl ex position での直視鏡による ERCP が奏功した 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 131.

佐々木良, 引地拓人, 柳田拓実, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 化学療法 of 早期導入のために胃 ESD 後の粘膜を細径把持鉗子の補助下に OTSC で縫縮し得た 5 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 154.

亀岡英介, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 坂本渉, 高木忠之, 橋本優子, 大平弘正. 局所再発との鑑別診断に苦慮した直腸癌術後吻合部の implantation cyst の 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 169.

和田淳, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. ERCP 後感染性膵液瘻に対して超音波内視鏡ガイド下経消化管ドレナージ術を施行した 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 187.

佐藤雄紀. 術後胆管・膵管空腸吻合部狭窄 に対する直視コンベックス型 EUS を用いた EUS 下ドレナージの経験. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230708; 盛岡.

石崎優斗, 綿引優, 川島一公, 鬼澤道夫, 佐久間千陽, 持丸友昭, 村上舞, 佐藤利香, 大平弘正. 禁煙を契機に十二指腸病変が顕在化した大腸全摘後潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 215 回日本消化器病学会東北支部例会; 20230708; 盛岡. 抄録集. 174.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 引地拓人, 白岩朋子, 大平弘正. EUS-FNB が有用であった悪性黒色腫膵転移の 1 例. 第 54 回日本膵臓学会大会; 20230721; 福岡. 膵臓. 38(3):A394.

入江大樹, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. ゲムシタビン使用化学療法における間質性肺疾患の管理に関する後方視的検討. 第 54 回日本膵臓学会大会; 20230721-22; 福岡. 膵臓. 38(3):A415.

林学, 藤田将史, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 血中 Gas6 と肝細胞癌患者の門脈腫瘍栓発症の関連についての検討. 第 59 回日本肝臓研究会; 20230728; 大阪.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大平弘正. 消化管狭窄を伴った悪性胆管狭窄に retroflex position での直視鏡による ERCP が奏功した 2 例. 第 59 回日本胆道学会学術総会; 20230914; 札幌. 胆道. 37(3):541.

佐藤雄紀. 術後胆管空腸吻合部狭窄に対して, 経挙上空腸的に直視コンベックス型 EUS を用いて EUS-BD を行った一例. 第 59 回日本胆道学会学術集會; 20230914; 札幌.

藤田将史. 当院における肝硬変の成因別実態 生活習慣の変化による影響. 第 3 回福島県リフキシマ講演会; 20230919; 福島.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡用視野確保ゲルを用いた EIS. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):91.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):106.

渡邊早百合, 引地拓人, 柳田拓実, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS と APC により同時に治療した表在型食道扁平上皮癌の 1 例. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):114.

阿部和道, 菅谷竜朗, 高畑陽介, 藤田将史, 林学, 高橋敦史, 大平弘正. 細胞外小胞由来 microRNA とシングルセル解析を用いた自己免疫性肝炎の病態解析. 第 51 回日本臨床免疫学会総会; 20231005; 東京.

加藤恒孝. 内視鏡切除を併用し複数回の PDT で L-CR を得た CRT 後局所再発食道癌の 1 例. 第 3 回化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌患者に対する光線力学療法 (PDT) 講演会; 20231007; 東京.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 鈴木宏幸, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法の長期経過と最近の工夫点. 第 6 回東北・北関東門脈圧亢進症研究会; 20231014; Web.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 高木忠之, 大平弘正. ESD 後に追加治療が推奨された高齢食道扁平上皮癌患者の予後. 第 34 回日本老年医学会東北地方会; 20231028; 弘前. 抄録集. 8.

中村純, 引地拓人, 橋本陽. 胃上皮下病変に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の 10 年間の検討. 第 106 回日本消化内

視鏡学会総会; 20231102-05; 神戸. 日本消化器病学会雑誌. 120(Suppl.):A462.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大平弘正. ポリグリコール酸シートと自己フィブリン糊による胃 ESD 後出血予防策. 第 106 回日本消化内視鏡学会総会; 20231102; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.2):1984.

川島一公, 引地拓人, 綿引優, 鬼澤道夫, 郡司直彦, 佐久間千陽, 持丸友昭, 村上舞, 大友駆, 大平弘正. 大腸 ESD 非熟練医における非完遂因子の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231103; 神戸.

加藤恒孝. 放射線療法/化学放射線療法後の局所遺残・再発食道扁平上皮癌に対する内視鏡治療. 第 43 回福島県食道癌胃癌研究会; 20231125; 福島.

加藤恒孝. 薬剤性便秘に対するルビプロストンの使用経験. 慢性便秘症診療 Up to Date; 20231205; 福島/Web.

林学, 阿部和道, 大平弘正. 血中 Growth-arrest specific gene 6 と肝細胞癌患者の病態の関連についての検討. 第 37 回肝臓洞壁細胞研究会学術集会; 20231216; 東京.

〔シンポジウム〕

中村純, 引地拓人, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療の現状と課題. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 63.

加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. TXI 観察下ヨード染色による表在型食道扁平上皮癌の視認性～色差での検討～. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 64.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 大平弘正. 放射線治療後の局所遺残・再発食道扁平上皮癌に対する光線力学療法. 日本消化器病学会東北支部第 214 回例会; 20230211; 仙台. 抄録集. 60.

高橋敦史, 高畑陽介, 大平弘正. 閉経後女性脂肪肝におけるエクオールの影響. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406; 長崎. 日本消化器病学会雑誌. 120(臨時増刊):A80.

藤田将史. 当院における肝硬変の成因別実態と生活習慣の変化による影響. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230615; 奈良. 肝臓. 64(Suppl.1):A245.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 小早川雅男. レーザー内視鏡下の l-menthol 散布による早期胃癌の明瞭効果～linked color imaging を中心とした検討～. 日本消化器病学会東北支部第 215 回例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 72.

柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 5 歳以上の高齢者における食道 ESD 非治癒切除後の予後因子. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 93.

入江大樹, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 大平弘正. 切除不能肺癌患者における間質性肺疾患発症後の化学療法継続の有用性に関する後方視的検討. 日本消化器病学会東北支部第 215 回例会; 20230707-08; 盛岡. 抄録集. 96.

川島一公, 引地拓人, 綿引優. 75 歳以上の大腸 ESD 非治癒切除例の追加治療ならびに予後の検討. 第 170 回日本消化器内視鏡学会 東北支部例会; 20230708; 盛岡.

柳田拓実, 引地拓人, 鳥谷洋右, 八田和久, 嶋田奉広, 濱田晃市, 渡辺晃, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 大平弘正. ESD 非治癒切除であった 85 歳以上の早期胃癌患者の予後. 第 25 回日本高齢消化器病学会総会; 20230728-29; 東京. 日本高齢消化器病学会誌. 26(1):70.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法の長期経過と最近の工夫点. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):59.

藤田将史, 阿部和道, 大平弘正. 当院における原発性胆汁性胆管炎による非代償性肝硬変患者に対する肝移植を含めた治療アプローチ. JDDW 2023 KOBE; 20231102; 神戸. 肝臓 64(Suppl.2):A546.

〔特別講演〕

高橋敦史. 脂肪肝からみた糖尿病治療と脂質管理. 安達医師会学術講演会; 20230124; 二本松.

佐藤雄紀. 膵癌の全身化学療法に関して. 郡山消化器病研究会; 20230216; 郡山.

阿部和道. 当科におけるカボザンチニブの使用経験. HCC 薬物療法の Best Sequence を考える in 南東北; 20230224; 仙台.

入江大樹, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 大平弘正. EUS-HGS 後の re-intervention に難渋した一例. 第 4 回 BD やっていいん会? !; 20230301; Web.

阿部和道. C 型肝炎診療の残された課題と新時代における肝疾患研究. 第 11 回宮城県肝疾患を考える若手の会; 20230303; 仙台.

引地拓人. 上部消化管内視鏡診療における新規画像強調の応用ならびに AI への期待. 相馬市新地町胃癌施設検診研究会; 20230310; 相馬.

高橋敦史. C 型慢性肝炎と自己免疫性肝炎—診療の現状と課題—. 第 31 回奈良肝臓ミーティング; 20230317; 奈良.

引地拓人. 消化管内視鏡診療における Gel immersion endoscopy の実際とコツ. 千葉県内視鏡セミナー2023; 20230317; 船橋.

阿部和道. 当院における切除不能肝細胞癌に対する薬物療法の現状に関して～東北 HCC 研究会データも含めて～. 中外製薬社員向け研修会; 20230331; 福島.

中村純. 胃がん内視鏡検診—見逃しを減らすひと工夫. 安達医師会学術講演会; 20230613; Web.

阿部和道, 藤田将史, 菅谷竜朗, 高畑陽介, 林学, 高橋敦史, 大平弘正. 当院における irAE 肝障害の対策と重症例について. 第 49 回日本急性肝不全研究会; 20230614; 奈良.

川島一公. SB ナイフ Jr2 は眠らない～困った大腸 ESD の使いどころ～. ESD Web seminar; 20230623; Web.

中村純. SB ナイフ Jr2 による上部消化管 ESD：より確実に、よりスムーズに SB ナイフ Jr2 による ESD の基本とコツ. ESD Web seminar; 20230623; Web.

阿部和道. C 型肝炎治療の現状と Post HCV 時代における MASLD 診療. HCV Elimination Seminar in 須賀川; 20230628; 須賀川.

高橋敦史. C 型慢性肝炎と非アルコール性脂肪性肝疾患の治療戦略. 肝疾患 update セミナー; 20230714; Web.

高橋敦史. 脂肪肝から糖尿病治療を考える. Kowa Web Conference; 20230726; Web.

引地拓人. 胃癌診療のこれまでとこれから～胃がん検診を含めて～. 沖縄消化器内視鏡会 60 周年記念講演会; 20230805; 那覇.

引地拓人. 消化器内視鏡診療におけるリスクマネージメントをふまえたチーム医療～タイムアウト・鎮静時の対応・患者急変時シミュレーション～. 第 37 回福島県消化器内視鏡技師研究会; 20230819; 福島.

阿部和道. C 型肝炎は治る！ 肝がん撲滅運動市民公開講座; 20230826; 福島.

高橋敦史. 脂肪肝と言われたら？ 肝がん撲滅運動市民公開講座; 20230826; 福島.

高橋敦史. 脂肪性肝疾患とは. 肝炎医療コーディネーター養成研修会; 20230910; 福島.

阿部和道. 当科における切除不能肝細胞癌に対する薬物療法の現状～東北多施設後ろ向き観察研究の結果も含めて～. HCC Meet the Expert; 20231003; 会津若松.

川島一公. がんについて学ぼう～がんの基礎知識と大腸がんについて. 福島学院大学出前講義; 20231115; 福島.

川島一公. 大腸ポリープに対するコールドスネアポリペクトミーの適応と実際. 第 20 回東北消化器内視鏡懇談会; 20231118; 福島.

中村純. 食道運動障害の診断と内視鏡治療. 第 35 回日本消化器内視鏡学会東北セミナー; 20231119-1203; Web.

川島一公. まだ気づいていない大腸がんの早期発見・早期治療. JA 県民健康セミナー; 20231126; 福島.

高橋敦史. C 型肝炎の治療の現状. パイタルネット福島支店社外講師勉強会; 20231127; 福島.

阿部和道. いま一度考える、複合免疫療法時代の注意点～irAE を中心に～. TOHOKU irAE セミナー; 20231128; 福島.

引地拓人. 高齢者の胃食道逆流症（GERD）に対するガイドラインを踏まえた薬物療法ならびに逆流防止内視鏡治療の話題. 長井市西置賜郡医師会 主治医研究会学術講演; 20231130; 長井.

阿部和道. 多職種チームによる irAE マネージメントから考える複合免疫療法の治療選択. PLUS CHUGAI Web 講演会; 20231206; Web.

中村純. こだわりの消化管 ESD. 第 3 回 Endoscopy Clinical Seminar; 20231214; 郡山.

〔招待講演〕

引地拓人. 特別セミナー 上部消化管腫瘍診療における内視鏡 AI の現状と期待すること. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部; 20230210; 仙台.

引地拓人. 胃癌・食道癌に対する ESD のちょっとした話題～トラブルシューティングも含めて～. Kyorin SEB セミナー 消化器内視鏡手技セミナー; 20230217; Web.

引地拓人. ESD/EMR 後の縫縮のトピックス. 第 2 回 Endoscopy Clinical Seminar; 20230728; 郡山.

引地拓人. PuraStat の有用性～治験の評価委員を経験して～. 第 16 回先進内視鏡治療研究会 (J-CASE); 20231104; 神戸.

引地拓人. 新たな止血法～自己組織化ペプチドの有用性～. 第 3 回 Endoscopy Clinical Seminar; 20231215; 郡山.

〔その他〕

高木忠之. 肝胆脾疾患と運動・栄養療法 (疼痛治療も含む). 第 30 回秋田県スポーツ医学研究会; 20230218; Web.

大平弘正. 臓器相関を考慮した肝硬変合併症のマネジメント. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230616; 奈良. 肝臓 64(Suppl.1):144.

高木忠之. 膵臓癌を学ぼう～早期発見のためのリスク因子と診断法～. 福島医大公開講座; 20231109; Web.

リウマチ膠原病内科学講座

論 文

〔原 著〕

Migita K, Fujita Y, Asano T, Sato S. The Expanding Spectrum of Autoinflammatory Diseases. Internal

Medicine. 2023; 62(1):43-50.

Sato S, Zhang XK, Matsuoka N, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Asano T, Migita K. Transcription factor Fli-1 impacts the expression of CXCL13 and regulates immune cell infiltration into the kidney in MRL/lpr mouse. *Lupus Science & Medicine*. 2023; 10(1):e000870.

Temmoku J, Sasajima T, Kuroda T, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Yamada T, Hashimoto Y, Migita K. Rapid Clinical Improvement of Multicentric Castleman Disease (MCD) with Renal Involvement Following Treatment with Tocilizumab: AA Amyloidosis as a Possible Renal Involvement of MCD. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 2023; 259(4):285-291.

Temmoku J, Miyata M, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K. Drug Retention Rates of Janus Kinase Inhibitors in Rheumatoid Arthritis Patients with Therapy-Induced Lymphopenia. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(14):4827.

Temmoku J, Miyata M, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K. Drug Retention Rates and the Safety of Janus Kinase Inhibitors in Elderly Patients with Rheumatoid Arthritis. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(14):4585.

Yoshida S, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K. Clinical Features and Outcomes of Japanese Patients with Giant Cell Arteritis: A Comparison with Takayasu Arteritis. *Journal of Personalized Medicine*. 2023; 13(3):387.

Yoshida S, Suzuki E, Matsumoto H, Yokose K, Fujita Y, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K. Effectiveness of combination tocilizumab and glucocorticoids as an induction therapy in patients with Takayasu arteritis: An observational study. *Modern Rheumatology*. 2023; 33(2):360-366.

Yoshida S, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K. Effectiveness of Colchicine or Canakinumab in Japanese Patients with Familial Mediterranean Fever: A Single-Center Study. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6272.

Yoshida S, Miyata M, Suzuki E, Kanno T, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K. Safety of JAK and IL-6 inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: a multicenter cohort study. *Frontiers in Immunology*. 2023; 14:1267749.

Sumichika Y, Yoshida S, Suzuki E, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K. Real-World Effectiveness of Belimumab in Patients with Active Lupus. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(24):7627.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S. Association of a *FAM134A* variant with interstitial lung disease in Japanese rheumatoid arthritis. *RMD Open*. 2023; 9(1):e002828.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Fujimori M, Nakamura T, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S. Association of a Single Nucleotide Variant in *TERT* with Airway Disease in Japanese Rheumatoid Arthritis Patients. *Genes*. 2023; 14(11):2084.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S. Antibodies against Serum Anti-Melanoma Differentiation-Associated Gene 5 in Rheumatoid Arthritis Patients with Chronic Lung Diseases. *Medicina*. 2023; 59(2):363.

Yashiro-Furuya M, Sato S, Akanuma M, Sato K, Suzuki E, Kanno T, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Kobayashi H, Watanabe H, Migita K. Outcome of rituximab treatment in Japanese patients with ANCA-associated vasculitis in daily clinical practice: A two-centre study in Fukushima, Japan. *Modern Rheumatology*. 2023; 33(2):352-359.

Takimoto-Ito R, Kambe N, Kogame T, Nomura T, Izawa K, Jo T, Kazuma Y, Yoshifuji H, Tabuchi Y, Abe H, Yamamoto M, Nakajima K, Tomita O, Yagi Y, Katagiri K, Matsuzaka Y, Takeuchi Y, Hatanaka M, Kanekura T, Takeuchi S, Kadono T, Fujita Y, Migita K, Fujino T, Akagi T, Mukai T, Nagano T, Kawano M, Kimura H, Okubo Y, Morita A, Hide M, Satoh T, Asahina A, Kanazawa N, Kabashima K. Summary of the current status of clinically diagnosed cases of Schnitzler syndrome in Japan. *Allergology International*. 2023; 72(2):297-305.

Sato Y, Fukatsu M, Suzuki T, Sasajima T, Gunji N, Yoshida S, Asano N, Fukuchi K, Mori H, Takano M, Hayashi K, Takahashi H, Shirado-Harada K, Kimura S, Koyama D, Migita K, Ikezoe T. Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for myelodysplastic neoplasms complicated with secondary pulmonary alveolar proteinosis and Behçet's disease harboring GATA2 mutation. *International Journal of Hematology*. 2023; 118(5):642-646.

〔総説等〕

佐藤秀三, 松岡直紀, 右田清志. 転写因子 Fli-1 による SLE 病態制御機構の解析. 別冊 Bio Clinica. 2023; 12(2):84-87.

浅野智之. リウマチ性疾患におけるワクチン～肺炎球菌ワクチン～. リウマチクリニック. 2023; 36:11.

藤田雄也, 右田清志. 自己炎症性疾患における pyrin 活性化機構. リウマチ科. 2023; 70(2):229-236.

〔症例報告〕

Matsumoto H, Saito K, Sumichika Y, Yoshida S, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K. Atypical Familial Mediterranean Fever Presenting with Recurrent Upper Back Pain: A Case Report. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 2023; 260(2):165-169.

Matsumoto H, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita

K. Colchicine-resistant Sacroiliitis in a Japanese Patient with Familial Mediterranean Fever. *Modern Rheumatology Case Reports*. 2023; 8(1):215-218.

Yoshida S, Fujita M, Ishigame T, Kobayashi Y, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Yoshida H, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H, Migita K. Case report: Unusual development of hepatocellular carcinoma during immunosuppressive treatments against rheumatoid arthritis overlapping Sjögren's syndrome; cirrhotic steatohepatitis with liver inflammation and fibrosis lurks in autoimmune disorders. *Frontiers in Immunology*. 2023; 14:1089492.

Yoshida S, Matsumoto H, Temmoku J, Shakespear N, Kiko Y, Kikuchi K, Sumichika Y, Saito K, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Suzuki E, Watanabe H, Ohira H, Migita K. Case report: Rapid development of amyloid A amyloidosis in temporal arteritis with SAA1.3 allele; An unusual case of intestinal amyloidosis secondary to temporal arteritis. *Frontiers in Immunology*. 2023; 14:1144397.

Yoshida S, Temmoku J, Asano T, Iwasaki T, Matsumoto H, Fujita Y, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Gunji N, Sato S, Watanabe H, Ohira H, Migita K. Severe Enteritis after Cyclophosphamide Administration in a Patient with Microscopic Polyangiitis: A Case Report and Literature Review. *Internal Medicine*. 2023; 62(9):1279-1285.

Sumichika Y, Yokose K, Sato S, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Ohkawara H, Watanabe H, Migita K. Development of Acute Promyelocytic Leukemia in a Patient with Granulomatosis with Polyangiitis: A Case Report. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 2023; 259(2):107-112.

Saito K, Temmoku J, Sumichika Y, Yoshida S, Takano E, Watanabe S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K. Adult-onset Still's disease with Acute Kidney Injury Requiring Hemodialysis: A Case Report and Literature Review. *Internal Medicine*. 2023; 62(19):2901-2906.

Miyata M, Ishiwata S, Kuroda M, Tasaki K, Migita K, Ohira H. Hepatic failure in a patient with rheumatoid arthritis treated with methotrexate: A case report. *Medicine*. 2023; 102(4):e32711.

〔その他〕

右田清志. 不明熱の鑑別診断としての自己炎症性疾患. *医学教育*. 2023; 54(Suppl):157.

右田清志. リウマチ性疾患に対する個別化医療の試み. *福島医学雑誌*. 2023; 73(3):80-81.

藤田雄也. 関節リウマチの多様性 個別化医療を目指して. *福島医学雑誌*. 2023; 73(1):21.

吉田周平, 藤田将史, 石亀輝英, 小林靖幸, 浅野智之, 佐藤秀三, 吉田浩, 丸橋繁, 大平弘正, 右田清志. 関節リウマチ患者とメトトレキサート 自己免疫疾患に潜む肝硬変性脂肪性肝炎. *福島医学雑誌*. 2023; 73(3):79.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Sato S, Yoshida S, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Migita K. Relapse in Japanese Patients with Newly Diagnosed SLE and Its Clinical Characteristics in Daily Clinical Practice: A Single Center Experience in Recent 10 Years. ACR Convergence 2023; 20231110-15; San Diego, USA.

佐藤秀三, 住近祐哉, 齋藤賢司, 吉田周平, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 鈴木英二, 菅野孝, 右田清志. 高齢発症多発血管炎性肉芽腫症における臨床的特徴と予後についての検討. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 793.

佐藤秀三. リウマチ性疾患・その他 II. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20230930; 盛岡.

佐藤秀三, 松岡直紀, 住近祐哉, 齋藤賢司, 吉田周平, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 浅野智之, 右田清志. 転写因子 Flt-1 はループス様腎炎における CXCL13 発現に影響を与え、腎への炎症細胞浸潤に関与している. 第 51 回日本臨床免疫学会総会; 20231005-07; 東京. プログラム・抄録集. 109.

浅野智之. 遠くても近し: オンラインで実践する双方向性の関節エコーハンズオン. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20230930; 盛岡.

藤田雄也, 松本聖生, 住近祐哉, 齋藤賢司, 吉田周平, 天目純平, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 右田清志. C5a による myeloid 系細胞のインフラマソーム活性化. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 859.

藤田雄也. 急速に拡大する炎症性偽腫瘍で再燃した IgG4 関連疾患の一例. 第 31 回日本シェーグレン症候群学会学術集会; 20230922-23; 浜松.

天目純平, 齋藤賢司, 住近祐哉, 吉田周平, 松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 菅野孝, 渡辺浩志, 宮田昌之, 右田清志. JAK 阻害薬-5 高齢関節リウマチ患者における JAK 阻害剤の継続率および安全性の検討. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 624.

天目純平, 齋藤賢司, 住近祐哉, 吉田周平, 松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 菅野孝, 宮田昌之, 右田清志. 高齢者に対する生物学的製剤 高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤の有効性および安全性の検討. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 687.

天目純平, 齋藤賢司, 住近祐哉, 吉田周平, 松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 菅野孝, 渡辺浩志, 宮田昌之, 右田清志. 高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤の有効性および安全性の検討. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20230930-1001; 盛岡. 抄録集. 48.

松本聖生, 藤田雄也, 齋藤賢司, 住近祐哉, 吉田周平, 天目純平, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 渡辺浩志, 右田清志. 関節リウマチの病因、病態-1 RA 患者における免疫チェックポイント関

連分子の異常. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 676.

松本聖生, 藤田雄也, 浅野智之, 齋藤賢司, 住近祐哉, 吉田周平, 天目純平, 松岡直紀, 佐藤秀三, 佐々島朋美, 前田彩花, 土田奈緒美, 桐野洋平, 右田清志. VEXAS 症候群などの後天性自己炎症症候群 後天性の遺伝学的異常による難治性ベーチェット病 (Trisomy-8, VEXAS 症候群). 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 733.

吉田周平, 鈴木英二, 住近祐哉, 齋藤賢司, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 右田清志. 大型血管炎の診断 日本人巨細胞性動脈炎患者の高安動脈炎との比較における臨床的特徴と転帰. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 522.

吉田周平, 深津真彦, 河俣貴也, 住近裕哉, 齋藤賢司, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木智浩, 佐々島朋美, 池添隆之, 渡辺浩志, 右田清志. 難治性肺胞蛋白症を合併したトリソミー-8 陽性 MDS/ベーチェット病に造血幹細胞移植が著効した一例. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20230930-1001; 盛岡. 抄録集. 45.

吉田周平. 関節リウマチ患者における JAK および IL-6 阻害薬の安全性の比較. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20231001; 盛岡.

吉田周平. JAK 阻害薬の安全性に関する検討〜JAK 阻害薬は重篤な有害事象を増やすのか〜. 福島医学会学術研究集会; 20231026; 福島.

住近祐哉, 齋藤賢司, 吉田周平, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 右田清志. 小脳橋角部腫瘍による多発脳神経障害を契機に診断され, リツキシマブにより寛解導入できた多発血管炎性肉芽腫症の一例. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 790.

住近祐哉, 佐々島朋美, 江尻豊, 鈴木智浩, 和田淳, 齋藤賢司, 吉田周平, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 右田清志. 完全型家族性地中海熱と IgA 血管炎を合併した一例. 第 33 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20230930-1001; 盛岡. 抄録集. 56.

齋藤賢司, 松本聖生, 住近祐哉, 吉田周平, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 佐々島朋美, 右田清志. 多発性筋炎・皮膚筋炎 6 : 病態 COVID-19 感染症を契機に皮膚筋炎を発症した一例. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 726.

樋口貴士, 岡笑美, 古川宏, 島田浩太, 角田慎一郎, 伊藤聡, 片山雅夫, 税所幸一郎, 篠原聡, 松井利浩, 右田 清志, 長岡章平, 當間重人. rs2609255 FAM13A と関節リウマチ関連間質性肺病変との関連. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 815.

岡笑美, 樋口貴士, 古川宏, 島田浩太, 橋本篤, 小宮明子, 税所幸一郎, 吉川教恵, 片山雅夫, 松井利浩, 福井尚志, 右田清志, 當間重人. 関節リウマチ患者の抗 MDA5 抗体. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424-26; 福岡. プログラム・抄録集. 816.

〔シンポジウム〕

右田清志（司会）. 共催シンポジウム. 第6回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会; 20230211; 東京.

右田清志. スポンサーードシンポジウム3 トシリズマブ開発の秘話と温故創新. 第33回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20231001; 盛岡.

〔特別講演〕

右田清志. 診療ガイドラインからみる関節リウマチ治療～高齢者の治療を見据えて～. RA Web セミナーin 東北～各世代の診療課題を考える～; 20230208; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱 Update. 気づく・繋がる家族性地中海熱を検討する会; 20230228; 福島.

右田清志. Difficult to treat (D2T) RA に繋がる肺病変合併関節リウマチの治療戦略～生物学的製剤と抗線維化薬のポジショニングを考える～. 茨城-福島 リウマチ懇談会; 20230322; 福島.

右田清志. 患者背景に応じた関節リウマチ治療～TNF 阻害薬の役割を考える～. RA Biologics Expert Seminar in Fukushima; 20230307; 福島.

右田清志. 人とともに腎臓も老いる～高齢者の薬物動態を考慮した関節リウマチ治療～. 第7回福島県 RA セミナー; 20230310; 福島.

右田清志. オープニングリマークス. SLE Cross Talk Seminar; 20230314; 福島.

右田清志. 不明熱治療 update～家族性地中海熱を中心に～. Autoinflammatory Diseases Online Seminar in Saitama; 20230317; 福島.

右田清志. Cardio Oncology in RA. 第24回東北リウマチ医の会; 20230317; 仙台.

右田清志. Closing Remarks. Taisho RA フォーラム in 東北; 20230318; 仙台.

右田清志. 当院におけるリウマチ診療について～RA 診療ガイドライン Phase I 治療を中心に～. RA Expert Meeting in 南東北; 20230329; 仙台.

右田清志. 関節リウマチの薬物治療の安全性と肺炎予防. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424; 福岡.

右田清志. 家族性地中海熱治療のポイント. 家族性地中海熱を検討する会; 20230512; 宇都宮.

右田清志. 関節リウマチにおける最新のトピックス～ACPA から免疫チェックポイント阻害剤まで～. 第7回 Academy of Clinical Immunology, one step further; 20230519; 福島.

右田清志. 関節リウマチ治療 Up To Date～JAK 阻害薬の活かし方～. リンヴォック発売3周年記念講演会 in 福島; 20230520; 郡山.

右田清志. 当科における SLE 治療の現状：HCQ と免疫抑制薬の併用. Tohoku 膠原病エキスパートセミナー; 20230613; 福島.

右田清志. クローン病診療における内視鏡の役割ーダブルバルーン内視鏡の活用と治療の最適化ー. RheumatologyConference 2023; 20230617; 東京.

右田清志. 家族性地中海熱 Update. 気づく・繋がる家族性地中海熱を検討する会; 20230620; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱の治療のポイント. 自己炎症性疾患セミナー; 20230623; 新潟.

右田清志. RA 患者の個別化医療を目指した免疫チェックポイント関連分子の解析. 関節リウマチセミナー; 20230630; 福島.

右田清志. 構造的特性から考える TNF 阻害薬の治療最適化. シムジア発売 10 周年記念講演会; 20230705; 福島.

右田清志. 周期性発熱から FMF（自己炎症性疾患）を疑い診断するポイント. 診断を極める～自己免疫・自己炎症性疾患 Web Seminar; 20230707; 福島.

右田清志. 実臨床から JAK 阻害薬／生物学的製剤の適正使用を考える. リウマチ性疾患研究会; 20230714; 福島.

右田清志. 成人発症 FMF の診療 update. 成人発症家族性地中海熱の診断と治療を考える会; 20230721; 仙台.

右田清志. 膠原病に伴う間質性肺炎疾患の進歩と課題. Meet The Expert～膠原病に合併する間質性肺炎疾患の治療について～; 20230728; 東京.

右田清志. IgG4 関連疾患における免疫チェックポイント分子の有用性. 難治性疾患研究会 in Fukushima 2023; 20230801; 福島.

右田清志. 自己炎症性疾患の診療・治療の UPDATE. 繰り返す発熱・痛みを考える会; 20230808; 福島.

右田清志. 膠原病における間質性肺炎のマネジメント. Meet The Expert; 20230901; 福島.

右田清志. 高齢関節リウマチ症例のマネジメント. Lilly RA Expert Web Meeting; 20230912; 福島.

右田清志. 関節リウマチにおける IL-6 阻害の重要性. 第 9 回福島県 IL-6 講演会; 20230922; 福島.

右田清志. D2T-RA を生まないための RA 治療についてーTNF α 阻害薬の位置づけは？ー. RA Web セミナーin FUKUSHIMA; 20230927; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱 up-to date. 5th Interactive Meeting in Fukushima; 20231006; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱 Update. 気づく・繋がる 家族性地中海熱を検討する会; 20231010; 福島.

右田清志. エタネルセプトのこれまでのエビデンスと患者嗜好にあわせたデバイス選択. 関節リウマチ web カン

ファレンス from 福島; 20231011; 福島.

右田清志. 症例から学ぶ、自己炎症性疾患診療の実践. 九州大学リウマチ性疾患フォーラム; 20231020; 福島.

右田清志. リウマチの治療とケア教育研修会. 令和5年度北海道・東北地区 リウマチの治療とケア教育研修会; 20231105; 仙台.

右田清志. リウマチ膠原病診療と自己炎症性疾患診療の今後の展望. Novartis Web Seminar for Rheumatologist; 20231120; 熊本.

右田清志. FMF 診断と治療の update. 自己炎症性疾患セミナー in 姫路; 20231219; 福島/Web.

〔その他〕

右田清志（総合座長）. RA・膠原病 Expert Webinar; 20230224; 福島.

右田清志（総合司会）. Tohoku RA Session; 20230324; 仙台.

右田清志（アドバイザー）. Gene Therapies and Rare Diseases International Region Ilaris Medical Advisory Board Meeting; 20230708; 東京.

右田清志（インタビュー対応者・監修者）. 家族性地中海熱疾患啓発サイト 掲載記事インタビュー; 20230718; Web.

右田清志（世話人会出席）. 第22回東北臨床免疫研究会; 20230819; 秋田.

右田清志（一般演題座長）. 福島県リウマチフォーラム; 20230909; 福島.

右田清志（座長）. RA 肝疾患セミナー in 東北; 20231209; 福島.

佐藤秀三. 全身性エリテマトーデスと ANCA 関連血管炎について理解を深めよう. 難病医療講演会・交流会（膠原病）; 20230218; 福島.

佐藤秀三. 高齢者における膠原病：ANCA 関連血管炎の特徴と関節リウマチの個別化医療について. TAISHO リウマチ膠原病 WEB セミナー; 20230301; 福島.

佐藤秀三（ファシリテータ）. 第3回 TOHOKU 若手リウマチ膠原病内科医会; 20230304; 福島.

佐藤秀三. 当科における関節リウマチ合併間質性肺炎（RA-ILD）の現状. 第7回福島県 RA セミナー; 20230310; 福島.

佐藤秀三. 関節リウマチ治療 Up To Date～JAK 阻害薬の活かし方～. リンヴォック発売3周年記念講演会 in 福島; 20230520; 郡山.

佐藤秀三. 転写因子 Fli-1 におけるループス腎炎の病態制御機構の解明と当科における Bio 製剤使用の現状：ペリムラブを中心に. 東北 SLE ネットワーク; 20230526; 福島.

佐藤秀三. 当科における SLE 治療の現状：HCQ と免疫抑制薬の併用. Tohoku 膠原病エキスパートセミナー; 20230613; 福島.

佐藤秀三（世話人会出席）. 第 22 回東北臨床免疫研究会; 20230819; 秋田.

佐藤秀三. リスクベネフィットを踏まえた JAK 阻害薬の有効性・安全性ーJAK 阻害薬って免疫疾患に必要ですか？. リンヴォック適正使用推進インターネットライブセミナー; 20230822; 仙台.

佐藤秀三. 当科における関節リウマチ治療の現状 TNF 阻害薬使用及び高齢 RA 患者における治療を含めて. RA Web セミナー in FUKUSHIMA; 20230927; 福島.

佐藤秀三. 当科における関節リウマチ合併間質性肺炎（RA-ILD）の現状：Bio 製剤を中心に. オレンシア WEB ライブセミナー; 20231018; 福島.

浅野智之. 関節リウマチ診療における JAK 阻害薬の可能性～関節エコーを用いた評価～. RA 関節エコーExpert Meeting; 20230203; 福島.

浅野智之. 関節エコーup-to-date. 茨城・福島 リウマチ懇談会; 202303022; 福島.

浅野智之. リウマチ医から診た IBD 関連疾患. 福島県 IBD 医療連携 WEB 講演会; 20230510; Web.

浅野智之（教育セミナー座長）. 日本内科学会 第 229 回東北地方会; 20230617; Web.

浅野智之. 関節リウマチに関する社内教育講演. 旭化成ファーマ社内教育講演会; 20230621; 福島.

浅野智之. 実臨床から JAK 阻害薬／生物学的製剤の適正使用を考える. リウマチ性疾患研究会; 20230714; 福島.

浅野智之. 本試験での 1 例目の登録症例（J303-105-101）に関する共有. 第 2 回 Investigator Meeting 治験担当医研究会; 20230715; 東京.

浅野智之. コロナ禍における関節リウマチの US の在り方. 第 11 回東北関節エコー研究会; 20230729; 仙台.

浅野智之. 関節エコー撮像手技の解説と実技. AoI ワークショップ 2023+α; 20230819; 東京.

浅野智之. 関節リウマチに関する課題. Lilly RA Expert Web Meeting; 20230912; 福島.

浅野智之. グセルラブの好適症例像を考える. Psoriatic Disease Clinical Web Seminar 2023 in FUKUSHIMA; 20230928; 福島.

浅野智之. リウマチ膠原病疾患における関節エコー評価の有用性. Ultrasound Hands-on Seminar; 20231007; 福島.

浅野智之（パネリスト）. JAK 阻害薬の使いどころ。安全性について. 20231011-UCC in FUKUSHIMA; 20231011; 福島.

浅野智之. 当院における MTX の使用の現状～メトジェクトへの切り替え有効例を踏まえて～. MTX 適正使用講演会 in 郡山; 20231026; 郡山.

浅野智之. リウマチ性 irAE について. リウマチ膠原病診療で困らないために; 20231205; 福島.

藤田雄也. リウマチ領域疾患に対する診断と治療. 旭化成ファーマ「リウマチ領域疾患」に関する社内教育講演会; 20230221; 福島.

藤田雄也. プレシニア世代における RA 治療の診断課題と対策～ゴリムマブ治療含む～. RA Biologics Expert Seminar in Fukushima; 20230307; 福島.

藤田雄也（Web 講演会座長）. Next Rheumatologist Seminar in Fukushima; 20230315; 福島.

藤田雄也. 関節リウマチの多様性～個別化医療を目指して～. シムジア発売 10 周年記念講演会; 20230705; 福島.

藤田雄也. 診断に難渋した肺病変先行型皮膚筋炎の 1 例. 福島県農村医学会学術発表会; 20230728-0810; Web(福島).

藤田雄也. 当科における関節リウマチ治療の取り組み～個別化医療を目指して～. TAISHO リウマチ膠原病 WEB セミナー; 20230809; 福島.

藤田雄也（パネリスト）. SLE におけるバイオ製剤の適正使用推進に向けて. SLE Expert Meeting; 20230927; 福島.

藤田雄也. 高齢化社会における関節リウマチ診療の適正化とサリルマブの立ち位置. TOKAI RA Small Meeting～focus on IL-6～Extend; 20231124; 名古屋.

天目純平. 関節リウマチ領域における診断と治療、JAK 阻害剤の使用経験について. エーザイ MR 研修会; 20230201; 福島.

天目純平. 高齢関節リウマチにおけるトシリズマブとアバタセプトの継続率と有効性の比較. ORENCIA Seminar in FUKUSHIMA; 20230308; 福島.

天目純平. 高齢関節リウマチ患者の治療～Tocilizumab を含めて～. Next Rheumatologist Seminar in Fukushima; 20230315; 福島.

天目純平. 高齢関節リウマチにおけるアバタセプトとトシリズマブの有用性、安全性の検討. 第 7 回 Academy of Clinical Immunology, one step further; 20230519; 福島.

天目純平. 高齢 RA 診療における JAK 阻害薬の有用性. Rheumatology Conference 2023; 20230617; 東京.

松本聖生. 成人でみられる体細胞遺伝子変異による自己炎症性疾患. 自己炎症性疾患セミナー; 20230623; 福島.

松本聖生. RA 患者の個別化医療を目指した免疫チェックポイント関連分子の解析. 関節リウマチセミナー; 20230630; 福島.

松本聖生. IgG4 関連疾患における免疫チェックポイント分子の有用性. 難治性疾患研究会 in Fukushima 2023; 20230801; 福島.

松本聖生. D2TRA の課題と対策～ゴリムマブ治療含む～. RA Web セミナー in 東北 20230922; 福島.

松本聖生 (パネリスト). 自己炎症性疾患の早期診断・治療、地域医療連携. 5th Interactive Meeting in Fukushima; 20231006; 福島.

松本聖生. ハンズオンサポート. Ultra Sound Hands-on Seminar; 20231007; 福島.

松本聖生. 関節リウマチ患者における免疫チェックポイント関連分子の異常一個別化医療を目指して－. 膠原病 Webinar; 20231122; 東京.

松本聖生. 関節リウマチ患者における免疫チェックポイント関連分子の異常一個別化医療を目指して－. 福島県関節リウマチ研究会; 20231215; 福島.

吉田周平. 血小板減少をきたした関節リウマチの 52 歳女性. 第 22 回東北臨床免疫研究会; 20230819; 秋田.

吉田周平. 関節リウマチに対する診断と治療. 旭化成ファーマ 関節リウマチに関する社内教育講演; 20230829; 福島.

吉田周平. 高齢化に対する JAKi の治療成績. 福島県リウマチフォーラム; 20230909; 福島.

吉田周平 (パネリスト). 関節リウマチに関する課題. Lilly RA Web Conference; 20230912; 福島.

吉田周平. ハンズオンサポート. Ultra Sound Hands-on Seminar; 20231007; 福島.

吉田周平. 難治性結節性紅斑の一例. 内科合同カンファレンス; 20231213; 福島.

腎臓高血圧内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kuno H, Fujimaru T, Kadota N, Konishi K, Sekiguchi M, Watanabe K, Ito Y, Nagahama M, Taki F, Hifumi T, Otani N, Nakayama M. Severe lactic acidosis with euglycemic diabetic ketoacidosis due to metformin overdose. CEN Case Reports. 202311; 12(4):408-412.

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kobari E, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Hematological parameters of anemia and prognosis of non-dialysis-dependent chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. Clinical and Experimental Nephrology. 202301; 27(1):55-65.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of polypharmacy with incidence of CKD: a retrospective cohort study. Clinical and Experimental Nephrology. 202303; 27(3):272-278.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202306; 17:e441.

Tanaka A, Taguchi I, Hisauchi I, Yoshida H, Shimabukuro M, Hongo H, Ishikawa T, Kadokami T, Yagi S, Sata M, Node K, Asaka M, Kamishita K, Kaneko T, Kaneta K, Natsuaki M, Shiraki A, Sonoda S, Tago M, Yajima A, Yokoi K, Yoshioka G, Nakamura R, Nishi J, Onizuka K, Ise T, Kadota M, Kawabata Y, Kusunose K, Matsumoto K, Matsuura T, Okushi Y, Seno H, Soeki T, Suto K, Takahashi T, Tobiume T, Wakatsuki T, Yamada H, Yamaguchi K, Hotta Y, Iwasaki M, Kazama J, Saito Y, Sato M, Takiguchi Y, Tanabe H, Watanabe K, Yamaguchi M, Tomita S, Kagiya M, Onodera K. Clinical effects of a selective urate reabsorption inhibitor dotinurad in patients with hyperuricemia and treated hypertension: a multicenter, prospective, exploratory study (DIANA). European Journal of Medical Research. 202306; 28(1):238.

Shiroma K, Tanabe H, Takiguchi Y, Yamaguchi M, Sato M, Saito H, Tanaka K, Masuzaki H, Kazama JJ, Shimabukuro M. A nutritional assessment tool, GNRI, predicts sarcopenia and its components in type 2 diabetes mellitus: A Japanese cross-sectional study. Frontiers in Nutrition. 202302; 10:1087471.

Watanabe K, Sato E, Mishima E, Moriya S, Sakabe T, Sato A, Fujiwara M, Fujimaru T, Ito Y, Taki F, Nagahama M, Tanaka K, Kazama JJ, Nakayama M. Changes in Metabolomic Profiles Induced by Switching from an Erythropoiesis-Stimulating Agent to a Hypoxia-Inducible Factor Prolyl Hydroxylase Inhibitor in

Hemodialysis Patients: A Pilot Study. *International Journal of Molecular Sciences*. 202308; 24(16):12752.

Higashi T, Saito AC, Fukazawa Y, Furuse M, Higashi AY, Ono M, Chiba H. EpCAM proteolysis and release of complexed claudin-7 repair and maintain the tight junction barrier. *Journal of Cell Biology*. 20230102; 222(1):e202204079.

Higashi T, Stephenson RE, Schwyer C, Huljev K, Higashi AY, Heisenberg CP, Chiba H, Miller AL. ZnUMBA - a live imaging method to detect local barrier breaches. *Journal of Cell Science*. 202308; 136(15):jcs260668.

Sato H, Kondo N, Takai C, Kurosawa Y, Hasegawa E, Wakamatsu A, Kobayashi D, Nakatsue T, Abe A, Kazama JJ, Kuroda T, Ito S, Ishikawa H, Endo N, Narita I. Risks of femoral localized periosteal thickening in patients with autoimmune inflammatory rheumatic diseases. *Modern Rheumatology*. 202307; 33(4):803-810.

Imasawa T, Saito C, Kai H, Iseki K, Kazama JJ, Shibagaki Y, Sugiyama H, Nagata D, Narita I, Nishino T, Hasegawa H, Honda H, Maruyama S, Miyazaki M, Mukoyama M, Yasuda H, Wada T, Ishikawa Y, Tsunoda R, Nagai K, Okubo R, Kondo M, Hoshino J, Yamagata K. Long-term effectiveness of a primary care practice facilitation program for chronic kidney disease management: an extended follow-up of a cluster-randomized FROM-J study. *Nephrology, Dialysis, Transplantation*. 202301; 38(1):158-166.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Iwasaki T, Kimura H, Tanaka K, Asahi K, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Watanabe T, Kazama JJ. Association between height loss and mortality in the general population. *Scientific Reports*. 202303; 13(1):3593.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Impact of red blood cell distribution width-albumin ratio on prognosis of patients with CKD. *Scientific Reports*. 202309; 13(1):15774.

Kawashima M, Saito H, Nishiuchi T, Yoshimura H, Wakui M, Tani Y, Nishikawa Y, Omata F, Takita M, Zhao T, Yamamoto C, Kobashi Y, Kawamura T, Sugiyama A, Nakayama A, Kaneko Y, Sawano T, Shibuya K, Kazama J, Shineha R, Tsubokura M. Antibody and T-Cell Responses against SARS-CoV-2 after Booster Vaccination in Patients on Dialysis: A Prospective Observational Study. *Vaccines*. 202301; 11(2):260.

渡邊公雄, 岡本好司, 佐々木俊一, 小松亜紀, 柴田浩明, 小林淳, 宮崎真理子. 重度の高トリグリセリド血症に対して血漿交換を施行した重症急性性肺炎の1例. 日本アフェレンス学会雑誌. 202305; 42(2):93.

風間順一郎. 「腎疾患と骨疾患」 腎臓が機能を失うと骨はどうか? 日本骨形態計測学会雑誌. 202311; 33(2):18-21.

佐藤敦也, 中田敬, 守屋怜香フローラ, 高野栄亮, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 田中健一, 風間順一郎. 急速進行性糸球体腎炎を呈した顕微鏡的多発血管炎に対して補体 C5a 受容体阻害薬アパコバンによる治療を行った3例. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):29-35.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Watanabe G, Horita S, Satoh M, Shigetomi S, Shimomura K, Kazama JJ. Exploring the Potential of Renal Dopaminergic System-Mediated Enhancement in Sodium Excretion by Canagliflozin. American Society of Nephrology Kidney Week 2023; 20231104; Philadelphia, USA.

風間順一郎. CKD 病診連携のこれから～Ganbarou Sousou Korekara～. 相双地区 CKD 連携講演会; 20230117; 南相馬.

風間順一郎. MPMBP は腎障害ラットにおいて骨量を変化させずに骨強度を改善する. 第 44 回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20230204; 仙台/Web.

江尻博紀, 吉田直人, 小内友紀子, 新村浩明, 尾崎章彦, 坪倉正治, 風間順一郎. 常磐病院における経皮的血管拡張術と透析用シャントの開存率についての検討. 第 105 回福島腎不全研究会; 20230521; 福島.

大槻勇斗, 岩崎剛史, 佐藤孝紀, 佐藤敦也, 渡邊凱, 秦慧, 齋藤浩孝, 渡辺秀平, 木村浩, 田中健一, 風間順一郎. ANCA 関連血管炎に血栓性微小血管症を併発した一例. 第 105 回福島腎不全研究会; 20230521; 福島.

渡邊凱, 木村浩, 田中健一, 風間咲美, 風間順一郎. 新システムを利用した遠隔透析実証実験. 第 105 回福島腎不全研究会; 20230521; 福島.

渡邊凱. 糖尿病性腎臓病の分子機構から考える SGLT2 阻害薬の作用機序. DKD 研究会; 20230523; 福島.

東淳子, 東智仁, 千葉英樹, 風間順一郎. 未分化ポドサイトにおける Angulin-3 の局在の解析. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230609; 横浜.

田中健一, 木村浩, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 2 型糖尿病患者における赤血球分布幅 (RDW) と腎予後の関連. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230610; 横浜.

風間順一郎, 風間咲美, 佐藤孝紀, 坂部琢磨, 木村浩, 田中健一, 及川友好. プログラムを工夫することで地

域の慢性腎臓病診療連携はより機能する. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230610-11; 横浜.

齋藤浩孝, 吉村弘記, 田中健一, 木村浩, 坪倉正治, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 階層クラスター分析と Light GBM を用いた機械学習による CKD の進行予測. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230610-11; 横浜.

渡邊凱, 木村浩, 田中健一, 風間咲美, 風間順一郎. 「Taladoc HEALTH Lite 4」を用いた遠隔透析管理. 第 68 回日本透析医学会学術集会; 20230618; 神戸.

大槻勇斗, 岩崎剛史, 佐藤敦也, 渡邊凱, 齋藤浩孝, 渡辺秀平, 木村浩, 田中健一, 風間順一郎. IgA 腎症に併発した原発性 FSGS の一例. 第 53 回日本腎臓学会東部学術大会; 20230916; 仙台.

佐藤敦也, 中田敬, 守屋伶香フローラ, 高野栄亮, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 田中健一, 風間順一郎. 急速進行性糸球体腎炎を呈した顕微鏡的多発血管炎に対して補体 C5a 受容体阻害薬アバコパンを併用した 6 例. 第 53 回日本腎臓学会東部学術大会; 20230917; 仙台.

風間順一郎. ロコモティブ症候群予防及び骨粗鬆症検診啓発のための動画作成と配信. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20231001; 名古屋.

佐藤孝紀, 齋藤浩孝, 大槻勇斗, 坂部琢磨, 佐藤敦也, 渡邊凱, 江尻博紀, 木村浩, 田中健一, 風間順一郎. サイトメガロウイルス腸炎による血便を繰り返した ANCA 関連血管炎の一例. 第 106 回福島腎不全研究会; 20231210; 福島.

守屋伶香フローラ, 櫻井薫. 大腸菌を起因菌とする化膿性脊椎炎、硬膜外膿瘍、腸腰筋膿瘍を発症した透析患者の一例. 第 106 回福島腎不全研究会; 20231210; 福島.

渡邊凱, 田中健一, 木村浩, 谷良宏, 浅井淳, 鈴木穂孝, 佐藤啓二, 風間順一郎. 慢性透析患者における疲労感と死亡リスクの関連について. 第 106 回福島腎不全研究会; 20231210; 福島.

〔特別講演〕

風間順一郎. 慢性腎臓病診療が迎えた新局面. TOHOKU CKD Lunch Seminar; 20230108; Web.

田中健一. CKD 早期診断の意義～ダパグリフロジンへの期待～. 上十三慢性腎臓病研究会 2023; 20230112; Web.

風間順一郎. うば侍、参上. 明日の SHPH を考える会; 20230118; Web.

風間順一郎. 腎が障害されると骨はどうなるか? それに対してどうするか? 第 43 回 ROD-21 研究会; 20230128; 神戸/Web.

風間順一郎. 病診連携で挑むこれからの慢性腎臓病診療. 総力戦! みんなで立ち向かう CKD 診療; 20230131; 福島/Web.

田中健一. 就労者における糖尿病合併 CKD 治療について. 相双地区 CKD 講演会－産業医研修会－; 20230204;

南相馬.

風間順一郎. うば侍、参上. 第4回川崎北部 CKD-MBD 医療連携の会; 20230209; Web.

田中健一. CKD 診療のこれから～トータルケアの重要性～. FUKUSHIMA CKD Care Team Conference; 20230210; 福島/Web.

風間順一郎. 透析アミロイドシスの病態とリクセルの新展開. 透析アミロイド症 WEB 講演会 in Tochigi; 20230221; Web.

風間順一郎. 腎臓における PPAR α の役割. 脂質異常症から腎臓病を考える会; 20230222; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病診療が新局面を迎える. Diabetes×CKD Symposium in FUKUSHIMA; 20230227; 福島/Web.

田中健一. CKD リスク管理における現状と課題～Polypharmacy と Clinical Inertia～. 福島県病院薬剤師会福島支部・福島薬剤師会 3 月合同研修会; 20230315; 福島/Web.

田中健一. CKD 重症化予防における貧血治療意義～早期介入とダプロデュスタットの可能性～. ダブロック WEB セミナー; 20230411; Web.

田中健一. CKD 診療における 2 つの Key drugs と早期診断の意義. 八戸 CKD Expert Seminar 2023; 20230413; 八戸/Web.

風間順一郎. CKD-MBD じゃねーよ. Reno-Skeletal Syddrome だぜ! CKD-MBD カンファレンス; 20230420; Web.

佐藤敦也. ANCA 関連血管炎の実態と最新治療. FUKUSHIMA CKD Team Conference; 20230427; Web.

風間順一郎. 透析患者の骨. 第 39 回南予透析研究会; 20230511; Web.

田中健一. CKD 診療の変遷～福島 CKD コホートからみえた課題と新たな key drug～. CKD TOTAL CARE SEMINAR; 20230523; Web.

田中健一. CKD 重症化予防と腎性貧血治療の意義～福島 CKD コホート研究より～. 島原市医師会学術講演会; 20230526; 島原.

田中健一. CKD 早期診断の意義～ダパグリフロジンへの期待～. 腎疾患治療戦略カンファレンス; 20230530; 福島/Web.

風間順一郎. 透析アミロイドシスの病態とリクセルの新展開. 第 33 回埼玉臨床工学会; 20230604; 大宮.

田中健一. 透析導入患者減少へ向けた CKD 重症化予防～早期連携から早期介入～. ケレンディア錠 1 周年記念講演会; 20230605; Web.

田中健一. CKD 重症化予防の今後～心腎連関対策の意義～. 郡山心腎連関対策セミナー; 20230608; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病に対する SGLT2 阻害剤の適正使用～Recommendation を参考に～. Appropriate treatment for chronic kidney disease; 20230613; Web.

田中健一. 何故いま CKD 重症化予防が対策が重要か～透析導入患者減少に向けて～. 慢性腎臓病と糖尿病の多職種連携 WEB セミナー; 20230615; Web.

風間順一郎. 透析患者のへの骨粗鬆症治療. 第 68 回日本透析医学会学術集会・総会; 20230616; 神戸.

風間順一郎. スイーツセミナー リクセルは何をしているのか? ～長期使用患者の臨床データから解き明かす～. 第 68 回日本透析医学会学術集会・総会; 20230617; 神戸.

風間順一郎. 慢性腎臓病診療が迎えた新局面. CKD 病診療セミナー in 二戸 2023; 20230620; Web.

田中健一. CKD 患者の健康寿命延伸とカリウム管理～key drug と栄養管理の重要性～. Renal HK Symposium; 20230622; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病の診断とこれからの治療 カリウム管理の話題を含めて. 慢性腎臓病 up to Date 勉強会; 20230627; Web.

田中健一. 何故いま DKD/CKD 対策が重要か～早期介入で透析導入患者減少へ～. 知って・活かす～DKD/CKD 診療の現在と未来; 20230629; Web.

風間順一郎. 腎臓が機能を失うと骨はどうなるか? 第 43 回骨形態計測学会; 20230701; 札幌.

田中健一. 透析導入患者減少の実現に向けて～福島 CKD コホート研究より～. Meet the Specialist Renal disease; 20230705; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病の診療が新しい時代を迎える. FUKUSHIMA CKD Symposium for Cardiologists; 20230706; Web.

大槻勇斗. IgA 腎症に併発した原発性 FSGS の一例. 第 33 回東北腎フォーラム; 20230722; 仙台.

風間順一郎. 透析導入患者減少へ向けた糖尿病重症化予防～早期診断から早期介入へ～. Conference on CKD With Diabetes; 20230725; Web.

風間順一郎. 地域医療に AI って役立つのかなあ? Hanshin Kidney Forum; 20230727; 尼崎/Web.

田中健一. 腎性貧血治療における課題と今後～CKD 診療ガイドライン改定のポイント～. CKD 診療ガイドライン WEB セミナー; 20230810; Web.

田中健一. 共済シンポジウム 8 腎性貧血治療の意義と今後～患者報告アウトカム (PRO) と QOL の問題も含め

て～. 第 49 回東北腎不全研究会学術集会; 20230820; 仙台.

風間順一郎. みんな CKD-MBD のこと誤解してない? 慢性腎臓病患者の骨折リスクを考える会; 20230830; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える. CKD 多職種連携講演会; 20230906; Web.

田中健一. CKD 重症化予防と腎性貧血治療の意義～福島 CKD コホート研究より～. 第 208 回新庄最上臨床懇話会; 20230911; 新庄/Web.

風間順一郎. もしかしたら僕らって CKD-MBD をすげえ勘違いしてたんじゃない? 第 13 回副甲状腺機能亢進症に対する PTx 研究会学術集会; 20230915; 豊橋.

田中健一. ランチョンセミナー2 CKD 重症化予防における医療連携と早期介入の意義～腎性貧血治療の意義も含めて～. 第 53 回日本腎臓学会東部学術大会; 20230916; 仙台.

風間順一郎. 慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える. Gardio-Renal-Syndrome Seminar in MIYAGI; 20230921; Web.

風間順一郎. みんな CKD-MBD のこと誤解してね? 第 29 回春日井透析セミナー; 20230921; 春日井/Web.

風間順一郎. CKD 病診連携のこれから～Ganbarou Sousou Korekara～. 相双地区 CKD 連携講演会; 20230928; 南相馬.

田中健一. 何故いま CKD 重症化予防が重要か～早期介入で透析導入患者減少か～. Cardio Renal Online Seminar; 20231003; Web.

田中健一. CKD 重症化予防対策の意義と課題～早期連携とトータルケア～. いわき CKD 連携セミナー; 20231005; いわき/Web.

風間順一郎. 腎臓を守って健康な生活を. 健康づくりフェスティバル; 20231008; 福島.

田中健一. CKD 早期診断の意義～ダパグリフロジンへの期待～. CKD 治療セミナー in Sagami-hara; 20231016; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える. 県南 CKD 病診連携セミナー; 20231019; 白石/Web.

風間順一郎. リクセルは何をしているのか? 第 44 回アフェレンス学会学術大会; 20231021; 盛岡.

田中健一. スポンサーセミナー CKD 合併糖尿病の治療戦略～福島 CKD コホートから見る早期介入の重要性～. 第 56 回岩手腎不全研究会; 20231112; 盛岡.

風間順一郎. ランチョンセミナー どうしてリンを下げなくちゃいけないの? 第 71 回長野県透析研究会学術集会; 20231112; 松本.

風間順一郎. 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. 透析アミロイド症 WEB 講演会 in 宇部; 20231116; Web.

田中健一. 生活習慣病重症化予防の意義と課題～みんなで防ごう CKD～. 福島市生活習慣病重症化予防プログラム講演会; 20231121; 福島/Web.

風間順一郎. ランチョンセミナー6 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. 第 55 回九州人工透析研究会総会; 20231126; 別府.

田中健一. CKD 合併糖尿病の治療戦略～福島 CKD コホートから見る早期介入の重要性～. 会津医学会学術講演会; 20231127; 会津若松/Web.

風間順一郎. 高カリウム血症の治療が変わる. ふくしま透析診療オンラインセミナー; 20231128; Web.

風間順一郎. CKD 病診連携のこれから. 白河医師会学術講演会; 20231129; Web.

風間順一郎. どうしてリンを下げなくちゃいけないの? CKD-MBD 治療 新時代へ; 20231130; 新潟/Web.

田中健一. CKD 診療における高カリウム血症治療の意義を再考する～福島 CKD コホートから見えた課題～. Hyperkalemia & CKD Management Seminar; 20231130; Web.

田中健一. CKD 診療ガイドライン 2023 改定ポイント. 須賀川医師会学術講演会; 20231205; Web.

田中健一. 透析導入患者減少に向けて～MR 拮抗薬への期待～. ケレンディア錠 Web Conference; 20231208; Web.

風間順一郎. スポンサーセミナー どうしてリンを下げなくちゃいけないの? 第 13 回腎不全研究会; 20231209; 東京.

田中健一. 糖尿病重症化予防対策の現状と課題～透析導入患者減少に向けて～. 第 26 回県中・県南地区糖尿病療養指導看護を考える会 WEB セミナー; 20231209; Web.

田中健一. CKD 重症化予防の現状と課題～腎性貧血治療の意義～. 柴田郡医師会学術講演会; 20231211; 大河原町/Web.

田中健一. 慢性腎臓病治療が新局面を迎える. 慢性腎臓病診療; 20231214; Web.

風間順一郎. どうしてリンを下げなくちゃいけないの? 第 465 回富山県病院薬剤師会学術講演会; 20231216; Web.

〔招待講演〕

風間順一郎. 福島県の CKD 対策とそれから. 福島県腎臓病協会医療講演会; 20231015; 郡山.

風間順一郎. 慢性腎臓病の予防と関係機関の連携について. 令和5年度県中圏域慢性腎臓病予防研修会; 20231129; Web.

〔その他〕

風間順一郎. みんなで腎臓を守って豊かな生活を. 第14回アグリサイエンスカフェ; 20231007; 南相馬.

田中健一. CKDの病態. 福島県医師会シリーズNo.87 知っていますか?CKD(慢性腎臓病)～大切な腎臓と長く付き合っていくために～; 20231103; 福島中央テレビ(テレビ放送).

風間順一郎. 腎臓について. 福島県医師会シリーズNo.87 知っていますか?CKD(慢性腎臓病)～大切な腎臓と長く付き合っていくために～; 20231103; 福島中央テレビ(テレビ放送).

糖尿病内分泌代謝内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kudo Akihiro, Machii Noritaka, Ono T, Saito Haruka, Oshiro Y, Takahashi R, Oshiro K, Taneda Y, Higa M, Nakachi K, Yagi S, Masuzaki H, Sata M, Shimabukuro Michio. Effect of dapagliflozin on 24-hour glycemic variables in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus receiving basal insulin supported oral therapy (DBOT): a multicenter, randomized, open-label, parallel-group study. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202304; 11(2):e003302.

Tanaka A, Shibata H, Imai T, Yoshida H, Miyazono M, Takahashi N, Fukuda D, Okada Y, Teragawa H, Suwa S, Kida K, Moroi M, Taguchi I, Toyoda S, Shimabukuro Michio, Tanabe K, Tanaka K, Nangaku M, Node K; FIVE-STAR trial investigators. Rationale and design of an investigator-initiated, multicenter, prospective, placebo-controlled, double-blind, randomized trial to evaluate the effects of finerenone on vascular stiffness and cardiorenal biomarkers in type 2 diabetes and chronic kidney disease (FIVE-STAR). *Cardiovascular Diabetology*. 202307; 22(1):194.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kazama S, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of polypharmacy with incidence of CKD: a retrospective cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202303; 27(3):272-278.

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kobari E, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Hematological parameters of anemia and prognosis of non-dialysis-

dependent chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202301; 27(1):55-65.

Fujiki S, Tanaka A, Imai T, Shimabukuro Michio, Uehara H, Nakamura I, Matsunaga K, Suzuki M, Kashimura T, Minamino T, Inomata T, Node K; CANDLE Trial Investigators. Body fluid regulation via chronic inhibition of sodium-glucose cotransporter-2 in patients with heart failure: a post hoc analysis of the CANDLE trial. *Clinical Research in Cardiology*. 202301; 112(1):87-97.

Yamaguchi Satoshi, Nadoyama N, Kinjo K, Yagi N, Ishimori H, Shimabukuro Michio. The Usefulness of Prioritization of Ivabradine Before Beta-Blockers in a Heart Failure Patient Suffering From Intra-hemodialysis Hypotension. *Cureus*. 202306; 15(6):e40609.

Tanaka A, Okada Y, Torimoto K, Kamei N, Hirai H, Kono T, Sugimoto K, Teragawa H, Taguchi I, Maruhashi T, Sonoda S, Kurozumi A, Inagaki S, Oshita C, Hisauchi I, Takahashi K, Higashi Y, Shimabukuro Michio, Node K; PROCEED Trial Investigators. Effect of ipragliflozin on endothelial dysfunction in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease: A randomized clinical trial (PROCEED). *Diabetes & Metabolism*. 202307; 49(4):101447.

Yamaguchi Satoshi, Shimabukuro Michio, Tanaka A, Imai T, Hiramitsu S, Takahashi N, Kadokami T, Ajioka M, Suzuki M, Node K; CANDLE Trial Investigators. Canagliflozin reduces proteinuria by targeting hyperinsulinaemia in diabetes patients with heart failure: A post hoc analysis of the CANDLE trial. *Diabetes, Obesity & Metabolism*. 202302; 25(2):354-364.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro Michio, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Tanaka A, Sata M, Okada Y, Teragawa H, Eguchi K, Shimabukuro Michio, Taguchi I, Matsunaga K, Kanzaki Y, Yoshida H, Ishizu T, Ueda S, Kitakaze M, Murohara T, Node K; PROTECT study investigators. Effect of ipragliflozin on carotid intima-media thickness in patients with type 2 diabetes: a multicenter, randomized, controlled trial. *European Heart Journal. Cardiovascular Pharmacotherapy*. 202302; 9(2):165-172.

Tanaka A, Taguchi I, Hisauchi I, Yoshida H, Shimabukuro Michio, Hongo H, Ishikawa T, Kadokami T, Yagi S, Sata M, Node K; DIANA study investigators. Clinical effects of a selective urate reabsorption inhibitor dotinurad in patients with hyperuricemia and treated hypertension: a multicenter, prospective, exploratory study (DIANA). *European Journal of Medical Research*. 202307; 28(1):238.

Shiroma Kaori, Tanabe Hayato, Takiguchi Yshinori, Yamaguchi Mizuki, Sato Masahiro, Saito Haruka, Tanaka K, Masuzaki H, Kazama JJ, Shimabukuro Michio. A nutritional assessment tool, GNRI, predicts sarcopenia and its components in type 2 diabetes mellitus: A Japanese cross-sectional study. *Frontiers in Nutrition*. 202302; 10:1087471.

Shiina K, Tomiyama H, Tanaka A, Imai T, Hisauchi I, Taguchi I, Sezai A, Toyoda S, Dohi K, Kamiya H, Kida K, Anzai T, Chikamori T, Node K, Ajioka M, Ako J, Amano R, Asai M, Eguchi K, Eshima K, Fujiki S, Fujita M, Hikoso S, Hiramitsu S, Hoshide S, Hoshino A, Ikeda Y, Ikehara Y, Inomata T, Inoue T, Ishii K, Ishizaka N, Ito M, Iwahashi N, Iwakura K, Kadokami T, Kanbara T, Kanzaki Y, Kashimura K, Kimura K, Kishi S, Kitada S, Kitakaze M, Kiyosue A, Kodama K, Kojima T, Kondo T, Kubota Y, Kusunose K, Machii N, Matsunaga K, Matsuo Y, Matsuzawa Y, Mikami T, Minamino T, Murohara T, Nagai T, Nagano Y, Nagumo M, Nakamura I, Nakamura K, Nakatani D, Nanasato M, Naruse H, Nishino M, Niwano S, Oguri M, Ohte N, Oikawa M, Okumura T, Okumura M, Onishi K, Oyama Ji, Ozaki Y, Saito K, Sakamoto T, Sakata Y, Sakuma M, Sata M, Sekino H, Shimabukuro M, Shimizu W, Suzuki M, Suzuki K, Takahama H, Takahashi N, Takeishi Y, Tamaki S, Tanaka A, Tanimoto S, Teragawa H, Tobushi T, Toita T, Tokuda K, Tsutsui H, Ueda S, Uehara H, Uematsu M, Watada H, Yahagi K. Canagliflozin independently reduced plasma volume from conventional diuretics in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a subanalysis of the CANDLE trial. *Hypertension Research*. 202302; 46(2):495-506.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro Michio, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Shimabukuro Michio. Nonsteroidal Mineralocorticoid Receptor Antagonists and Protection Against Cardiovascular Disease in Patients with Diabetes Mellitus. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202304; 30(4):321-322.

Shimabukuro Michio. MAFLD and ASCVD: Plasma Heparin Cofactor II Activity as an Anti-liver Fibrosis Biomarker. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202308; 30(8):853-854.

Shimabukuro Michio. L-Arginine, Nitric Oxide, and Endothelial Dysfunction Underlying Atherosclerotic Cardiovascular Disease (ASCVD). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202310; 30(10):1311-1312.

Pham PT, Bavuu O, Kim-Kaneyama JR, Lei XF, Yamamoto T, Otsuka K, Suto K, Kusunose K, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Shimabukuro Michio, Barber GN, Sata M, Fukuda D. Innate Immune System Regulated by Stimulator of Interferon Genes, a Cytosolic DNA Sensor, Regulates Endothelial Function. *Journal of the American Heart Association*. 202311; 12(22):e030084.

Kikuta H, Jinguji S, Sato T, Bakhit M, Hiruta R, Sato Y, Sekine R, Tanabe H, Okada M, Saito K, Fujii M. A Collision Tumor of Pit-1/SF-1-positive Double Pituitary Adenoma and a Craniopharyngioma Coexisting with Graves' Disease. *NMC Case Report Journal*. 202306; 10:169-175.

Hosoya M, Nakano H, Hashimoto K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro Michio, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Influence of post-disaster evacuation on childhood obesity and liver dysfunction: The Fukushima Health Management Survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15663.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-

disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro Michio, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Kazama S, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Impact of red blood cell distribution width-albumin ratio on prognosis of patients with CKD. *Scientific Reports*. 202309; 13(1):15774.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 齋藤悠, 大江敬太郎, 伊與田友和, 島袋充生, 黒田純子, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害薬投与における内分泌障害の検討. *癌と化学療法*. 202302; 50(2):177-182.

〔総説等〕

田辺隼人, 島袋充生. 【異所性脂肪と心血管病】腎周囲脂肪の臨床的意義 メタボリックシンドロームや慢性腎臓病との関連性. *医学のあゆみ*. 202310; 287(3):214-218.

益崎裕章, 岡本土毅, 島袋充生, 阿部啓子, 小塚智沙代. 【健康と疾患を制御する 精密栄養学「何を、いつ、どう食べるか？」に、食品機能の解析と個人差を生む分子メカニズムの解明から迫る】(第3章) 精密栄養学の基盤となる食・栄養の分子作用メカニズム 玄米機能成分をめぐる脳科学と分子栄養学. *実験医学*. 202306; 41(10):1637-1643.

比嘉盛文, 島袋充生. 【外来通院患者に行う検査, 計画的にきちんと実施できていますか?】個別疾患・生活習慣編 糖尿病. *診断と治療*. 202302; 111(2):181-186.

島袋充生. 【糖尿病診療における診療機器の活用】FMDの解釈と活用. *糖尿病・内分泌代謝科*. 202307; 57(1):35-39.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響 福島県県民健

康調査. 第 33 回日本疫学会学術集会; 20230201-03; 浜松. Journal of Epidemiology. 33(Suppl.1):141.

風間咲美, 風間順一郎, 田中健一, 島袋充生. 全医療施設訪問に基づく慢性腎臓病診療における病診連携の試み. 第 120 回日本内科学会総会・講演会; 20230414-16; 東京. 日本内科学会雑誌. 112(臨増):155.

平井裕之, 長尾匡則, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 高橋敦史, 風間順一郎, 安村誠司, 島袋充生. 心理的負担は男性の糖尿病新規発症の予測因子である 福島県「県民健康調査」. 第 120 回日本内科学会総会・講演会; 20230414-16; 東京. 日本内科学会雑誌. 112(臨増):178.

比嘉盛文, 澤紙亜希子, 益崎裕章, 島袋充生. インスリン分泌抑制薬の少量投与は高血糖を伴うことなく高インスリン血症を軽減し内臓脂肪型肥満を改善する. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20230511-13; 鹿児島. 糖尿病. 66(Suppl.1):S-173.

山口瑞希, 田辺隼人, 佐藤雅紘, 滝口善規, 堀田悠貴, 齋藤悠, 鴻野央征, 島袋充生. 糖尿病クラスター分類における心エコー指標の検討 福島 DEM コホート研究. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20230511-13; 鹿児島. 糖尿病. 66(Suppl.1):S-274.

岡本土毅, 島袋省吾, 島袋康貴, 照屋太輝, 根本雄飛, 玉城啓太, 上間次己, 本間健一郎, 島袋充生, 益崎裕章. マウス脂肪肝形成に対する玄米由来機能成分 γ -オリザノールの抑制メカニズム. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20230511-13; 鹿児島. 糖尿病. 66(Suppl.1):S-301.

岡本土毅, 島袋省吾, 島袋康貴, 照屋太輝, 根本雄飛, 玉城啓太, 上間次己, 本間健一郎, 島袋充生, 益崎裕章. マウス脂肪肝形成に対する玄米由来機能成分 γ -オリザノールの抑制メカニズム解析. 第 96 回日本内分泌学会学術総会; 20230601-03; 名古屋. 日本内分泌学会雑誌. 99(1):333.

齋藤悠, 猪狩翔吾, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 山口瑞希, 滝口善規, 渡邊桐子, 堀田悠貴, 田辺隼人, 鴻野央征, 平井裕之, 山口怜, 比嘉盛文, 田中健一, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 若年発症 2 型糖尿病における糖尿病性腎臓病の予測因子. 第 96 回日本内分泌学会学術総会; 20230601-03; 名古屋. 日本内分泌学会雑誌. 99(1):375.

田辺隼人, 島尻佳典, 佐藤雅紘, 山口瑞希, 滝口善規, 堀田悠貴, 齋藤悠, 鴻野央征, 平井裕之, 比嘉盛文, 田中健一, 益崎裕章, 風間順一郎, 島袋充生. クラスター分析による糖尿病新分類とグルカゴンの関連性. 第 96 回日本内分泌学会学術総会; 20230601-03; 名古屋. 日本内分泌学会雑誌. 99(1):376.

眞境名豊文, 眞眞武, 座覇明子, 澤紙亜希子, 比嘉盛文, 新崎修, 野出孝一, 野見山崇, 森本剛, 植田慎一郎, 島袋充生. アナグリプチンとシタグリプチンの 2 型糖尿病患者アポリポ蛋白に及ぼす影響 REASON Trial サブ解析. 第 96 回日本内分泌学会学術総会; 20230601-03; 名古屋. 日本内分泌学会雑誌. 99(1):406.

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty liver index との関連 福島県県民健康調査. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603-04; 鹿児島. 日本循環器病予防学会誌. 58(2):147.

齋藤浩孝, 吉村弘記, 田中健一, 木村浩, 坪倉正治, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 階層クラスター分析と Light GBM を用いた機械学習による CKD の進行予測. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230609-11; 横浜. 日本腎臓学会誌. 65(3):278.

木村浩, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 非 CKD 患者における赤血球分布幅(RDW)と CKD 発症の関連. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230609-11; 横浜. 日本腎臓学会誌. 65(3):309.

田中健一, 木村浩, 齋藤浩孝, 岩崎剛, 小田朗, 渡辺秀平, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 2 型糖尿病患者における赤血球分布幅(RDW)と腎予後の関連. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230609-11; 横浜. 日本腎臓学会誌. 65(3):319.

猪狩翔吾. 済生会福島病院における心不全を合併した糖尿病症例の実態. 第 8 回東北糖尿病合併症を学ぶ会; 20230830; 福島.

山口瑞希. 糖尿病クラスター分類における心エコー指標の比較 福島 DEM コホート研究. 第 8 回東北糖尿病合併症を学ぶ会; 20230830; 福島.

加藤瞳, 齋藤悠, 鴻野央征, 堀田悠貴, 滝口善規, 山口瑞希, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 取出俊平, 島袋充生. COVID-19 感染を契機に副腎皮質機能低下症と診断した 1 例. 第 230 回日本内科学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 島袋充生, 山田仁, 森下慎一郎, 岡崎加奈子. ロコモティブ症候群予防および骨粗鬆症検診啓発のための動画作成と配信. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929-1001; 名古屋. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 9(Suppl.1):393.

岡崎可奈子, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 島袋充生, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後のやせの新規発生についての年齢層別解析 福島県「県民健康調査」. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 290.

林史和, 安部恭子, 佐藤美佳, 大平哲也, 高橋敦史, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 佐藤志帆, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の避難期間と肝機能障害との関連 福島県県民健康調査. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 290.

猪狩翔吾, 仲野淳子, 滝口舞, 佐藤雅之, 山口修, 島袋充生. 一般市中病院における心不全を合併した糖尿病症例の実態. 第 61 回日本糖尿病学会東北地方会; 20231111; 仙台.

小笠原啓, 長谷川浩司, 山口瑞希, 島袋充生, 橋本重厚. 糖尿病ケトアシド治療後も腹部症状の再発を繰り返した 1 型糖尿病の 1 例. 第 61 回日本糖尿病学会東北地方会; 20231111; 仙台.

滝口善規, 齋藤悠, 鴻野央征, 堀田悠貴, 山口瑞希, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 加藤瞳, 取出俊平, 島袋充生. SAP 導入と非導入例の比較: 福島県立医大糖尿病内分泌代謝内科通院中の 1 型糖尿病 82 例の検討. 第 61 回日本糖尿病学会東北地方会; 20231111; 仙台.

岡本土毅, 島袋充生, 箕越靖彦, 益崎裕章. 臓器連関の観点から肥満を考える 肥満が腸・脳連関に与える影響と機能的食品による改善の可能性. 第 44 回肥満学会・第 41 回日本肥満症治療学会学術集会; 20231125-26; 仙台. 肥満研究. 29(合同学術集会抄録集):182.

佐藤雅紘, 田辺隼人, 齋藤悠, 益崎裕章, 島袋充生. 糖尿病クラスター分類と食事要因 福島 DEM コホート研究. 第 44 回肥満学会・第 41 回日本肥満症治療学会学術集会; 20231125-26; 仙台. 肥満研究. 29(合同学術集会抄録集):321.

〔シンポジウム〕

島袋充生. 【高血圧で一番の悪は誰だ?】令和トークバトル in 北九州 肥満とインスリン抵抗性は高血圧の主犯か? 第 52 回日本心臓血管作動物質学会; 20230210-11; 北九州. 血管. 46(1):34.

〔特別講演〕

島袋充生. 脳・心血管病の予防と治療 福島でできる取り組み. 第 4 回ふくしま健康づくり Web セミナー; 20230327; 福島/Web.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症みかた 福島県立医大とかかりつけ医の連携. 家族性高コレステロール血症セミナー in 福島～動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 改訂をどう活かすか～; 20230404; 福島.

島袋充生. 糖尿病診療のキーワード「心腎連関」を知ろう. 福島県糖尿病療養指導士会総会セミナー; 20230423; 福島.

島袋充生. 糖尿病治療薬のニューパラダイム持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬の可能性を探る. 進化する糖尿病治療戦略～インクレチンの進歩～; 20230424; 福島.

島袋充生. 糖尿病クラスター (群) 分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. 猿島郡医師会学術講演会～Medical Up To Date～; 20230703; 猿島郡境町/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター (群) 分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. Kowa Web Conference; 20230922; 那覇/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスターから考える高齢者糖尿病の治療アルゴリズム. Diabetes Online Seminar～超高齢社会における 2 型糖尿病マネジメント～; 20230927; 福島/Web.

島袋充生. 糖尿病治療のアルゴリズムを考える 日米欧ガイドラインの比較. 個別化インスリンセミナー2023; 20231003; 福島.

島袋充生. 糖尿病クラスター (群) 分類から考える新しい糖尿病診療の考え方. 福島医学会第 500 回学術研究集会; 20231027; 福島. 福島医学雑誌. 73(2):52-53.

島袋充生. 糖尿病治療のアルゴリズムを考える 日米欧ガイドラインの比較. Incretin Online Seminar; 20231107; 静岡/Web.

島袋充生. 糖尿病治療のアルゴリズムを考える 日米欧ガイドラインの比較. 高齢社会の慢性疾患を考える会; 20231115; 藤枝/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療の考え方. DiaMond Seminar in 田村－田村医師会
学術講演会－; 20231117; 田村.

島袋充生. 実例で考える保健指導の目標とこつ. 弘前市保健指導従事者向けセミナー; 20231222; 弘前/Web.

〔招待講演〕

田辺隼人, 齋藤悠, 鴻野央征, Maimaituxun G, 田中健一, 益崎裕章, 風間順一郎, 島袋充生. YMOJ セッ
ション 糖尿病クラスター分類とアディポサイエンス：腎臓脂肪との関わり. 第 26 回アディポサイエンス・シンポ
ジウム; 20230127-28; 豊中.

島袋充生. 日常診療でみる原発性脂質異常症 福島県立医科大学 44 例からの考察. 第 5 回難治性 FH Web
Seminar; 20230128; Web.

田辺隼人. クラスター分類から考える糖尿病治療戦略－病態に適した精密医療へ－. DiaMond Seminar in
Tohoku; 20230207; 福島.

鴻野央征. 合併症の発症・進展予防から考える糖尿病治療. 多職種連携による糖尿病と腎症を考える; 20230216;
福島.

島袋充生. 2 型糖尿病の薬物療法アルゴリズム～ツイミグの位置づけ～. DUAL Seminar in 二本松; 20230308;
二本松.

島袋充生. 【ランチョンセミナー】糖尿病クラスター分類でみる糖尿病早期治療の意義 心臓血管病予防のエビデ
ンス. 第 87 日本循環器学会学術集会; 20230311; 福岡.

島袋充生. 糖尿病&循環器病合併例のマネージメント 最適薬物療法とポリファーマシー. 糖尿病と循環器疾患を
考える会; 20230315; 福島.

田辺隼人. 糖尿病精密医療へのステップ：人工知能を活用した糖尿病細分類の試み. DUAL Seminar in 東北
20230329; 福島/Web.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. Expert Meeting for Cardiologist; 20230512; 山口
/Web.

田辺隼人. クラスター分類から考える糖尿病性腎臓病－糖尿病精密医療を目指して－. DKD 研究会 2023;
20230523; 福島.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療のアルゴリズム. 糖尿病プライマリーケア WEB セ
ミナー; 20230531; 富山/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. Tirzepatide Insight Meeting in Kyushu;
20230603; 福岡/Web.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. WEB conference〜糖尿病と慢性腎臓病 UP TO DATE〜; 20230627; 那覇/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. DiaMond Seminar in Mikawa AI から再考する糖尿病アルゴリズム・早期治療強化; 20230706; 名古屋/Web.

島袋充生. 【ランチョンセミナー7 FH 診療ガイドライン 2022 をふまえた FH 診療】原発性脂質異常症 臨床現場でのみかた、考え方. 第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20230709; 宇都宮. プログラム・抄録集. 208.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. 尿病と心血管セミナー; 20230711; 山口/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. DiaMond Seminar in Fukushima〜クラスター分類から考える個別化医療〜; 20230719; 福島.

島袋充生. 糖尿病クラスター（群）分類から考える糖尿病治療アルゴリズム. デベルザ WEB カンファレンス; 20230802; 東京/Web.

滝口善規. 当院へ入院した高血糖緊急症の報告 2023 年 4 月から現在まで. 個別化インスリンセミナー2023; 20231003; 福島.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. Nephrology & Metabolism Seminar in TOHOKU; 20231116; 仙台.

脳神経内科学講座

論文

〔原 著〕

Iida S, Kanouchi T, Hattori T, Kanai K, Nakazato T, Hattori N, Yokota T. Verification of propagation hypothesis in patients with sporadic hand onset amyotrophic lateral sclerosis. Acta Neurologica Belgica. 202308; 123(4):1511-1517.

Eiro T, Miyazaki T, Hatano M, Nakajima W, Arisawa T, Takada Y, Kimura K, Sano A, Nakano K, Mihara T, Takayama Y, Ikegaya N, Iwasaki M, Hishimoto A, Noda Y, Miyazaki T, Uchida H, Tani H, Nagai N, Koizumi T, Nakajima S, Mimura M, Matsuda N, Kanai K, Takahashi K, Ito H, Hirano Y, Kimura Y, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi T. Dynamics of AMPA receptors regulate epileptogenesis in patients with epilepsy. Cell

Reports Medicine. 202305; 4(5):101020.

Shimizu H, Nishimura Y, Shiide Y, Akimoto M, Yashiro M, Ueda M, Hirai M, Yoshino H, Mizutani T, Kanai K, Kano O, Kimura H, Sekino H, Ito K. Pharmacokinetics of Edaravone Oral Suspension in Patients With Amyotrophic Lateral Sclerosis. *Clinical Therapeutics*. 202312; 45(12):1251-1258.

Takahashi K, Kanekiyo K, Sakuda K, Muto Y, Iguchi M, Matsuda N, Hashimoto Y, Kanai K, Ogawa H, Hirase H, Kakita A, Bizen N, Takebayashi H, Kawaguchi Y, Uzuki M, Kitazume S. Brain-specific glycosylation of protein tyrosine phosphatase receptor type Z (PTPRZ) marks a demyelination-associated astrocyte subtype. *Journal of Neurochemistry*. 202308; 166(3):547-559.

Nakamura R, Tohnai G, Nakatochi M, Atsuta N, Watanabe H, Ito D, Katsuno M, Hirakawa A, Izumi Y, Morita M, Hirayama T, Kano O, Kanai K, Hattori N, Taniguchi A, Suzuki N, Aoki M, Iwata I, Yabe I, Shibuya K, Kuwabara S, Oda M, Hashimoto R, Aiba I, Ishihara T, Onodera O, Yamashita T, Abe K, Mizoguchi K, Shimizu T, Ikeda Y, Yokota T, Hasegawa K, Tanaka F, Nakashima K, Kaji R, Niwa JI, Doyu M, Terao C, Ikegawa S, Fujimori K, Nakamura S, Ozawa F, Morimoto S, Onodera K, Ito T, Okada Y, Okano H, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research (JaCALS) study group. Genetic factors affecting survival in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis: a genome-wide association study and verification in iPSC-derived motor neurons from patients. *Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry*. 202310; 94(10):816-824.

Yuan JH, Cheng X, Matsuura E, Higuchi Y, Ando M, Hashiguchi A, Yoshimura A, Nakachi R, Mine J, Taketani T, Maeda K, Kawakami S, Kira R, Tanaka S, Kanai K, Dib-Hajj F, Dib-Hajj SD, Waxman SG, Takashima H. Genetic, electrophysiological, and pathological studies on patients with SCN9A-related pain disorders. *Journal of the Peripheral Nervous System*. 202312; 28(4):597-607.

呼吸器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kume H, Yamada R, Sato Y, Togawa R. Airway Smooth Muscle Regulated by Oxidative Stress in COPD. *Antioxidants*. 202301; 12(1):142.

Nakagawara K, Kamata H, Chubachi S, Namkoong H, Tanaka H, Lee H, Otake S, Fukushima T, Kusumoto T, Morita A, Azekawa S, Watase M, Asakura T, Masaki K, Ishii M, Endo A, Koike R, Ishikura H, Takata T, Matsushita Y, Harada N, Kokutou H, Yoshiyama T, Kataoka K, Mutoh Y, Miyawaki M, Ueda S, Ono H, Ono T, Shoko T, Muranaka H, Kawamura K, Mori N, Mochimaru T, Fukui M, Chihara Y, Nagasaki

Y, Okamoto M, Amishima M, Odani T, Tani M, Nishi K, Shirai Y, Edahiro R, Ando A, Hashimoto N, Ogura S, Kitagawa Y, Kita T, Kagaya T, Kimura Y, Miyazawa N, Tsuchida T, Fujitani S, Murakami K, Sano H, Sato Y, Tanino Y, Otsuki R, Mashimo S, Kuramochi M, Hosoda Y, Hasegawa Y, Ueda T, Takaku Y, Ishiguro T, Fujiwara A, Kuwahara N, Kitamura H, Hagiwara E, Nakamori Y, Saito F, Kono Y, Abe S, Ishii T, Ohba T, Kusaka Y, Watanabe H, Masuda M, Watanabe H, Kimizuka Y, Kawana A, Kasamatsu Y, Hashimoto S, Okada Y, Takano T, Katayama K, Ai M, Kumanogoh A, Sato T, Tokunaga K, Imoto S, Kitagawa Y, Kimura A, Miyano S, Hasegawa N, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Impact of respiratory bacterial infections on mortality in Japanese patients with COVID-19: a retrospective cohort study. *BMC Pulmonary Medicine*. 202304; 23(1):146.

Shibata Y, Omae K, Minemura H, Suzuki Y, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Inage M, Hirama N, Furuyama K, Fukushima S, Saito H, Machiya JI, Machida H, Abe K, Iwabuchi K, Katagiri Y, Aida Y, Abe Y, Ota T, Ishizawa Y, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Kurita N, Iseki K. Development and external validation of the DOAT and DOATS scores: simple decision support tools to identify disease progression among nonelderly patients with mild/moderate COVID-19. *BMC Pulmonary Medicine*. 202308; 23(1):312.

Azekawa S, Chubachi S, Asakura T, Namkoong H, Sato Y, Edahiro R, Lee H, Tanaka H, Otake S, Nakagawara K, Fukushima T, Watase M, Sakurai K, Kusumoto T, Masaki K, Kamata H, Ishii M, Hasegawa N, Okada Y, Koike R, Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Serum KL-6 levels predict clinical outcomes and are associated with MUC1 polymorphism in Japanese patients with COVID-19. *BMJ Open Respiratory Research*. 202305; 10(1):e001625.

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Iizuka T, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Waragai Y, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Okamoto H, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Abe W, Tsukada Y, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Hamaguchi S, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with molnupiravir for patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Omicron variant pandemic. *Clinical and Experimental Medicine*. 202310; 23(6):2715-2723.

Fukushima T, Chubachi S, Namkoong H, Asakura T, Tanaka H, Lee H, Azekawa S, Okada Y, Koike R, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Clinical significance of pre-diabetes, undiagnosed diabetes, and diagnosed diabetes on clinical outcomes in COVID-19: Integrative analysis from the Japan COVID-19 Task force. *Diabetes, Obesity & Metabolism*. 202301; 25(1):144-155.

Kume H, Watanabe N, Suzuki Y. Airway disorder as predictive factors of exacerbations in asthma and COPD.

Owari M, Harada-Shirado K, Togawa R, Fukatsu M, Sato Y, Fukuchi K, Endo M, Takahashi H, Kimura S, Osaki T, Soury M, Ichinose A, Shibata Y, Hashimoto Y, Ikezoe T. Acquired von Willebrand Syndrome in a Patient with Multiple Comorbidities, Including MALT Lymphoma with IgA Monoclonal Gammopathy and Hyperviscosity Syndrome. *Internal Medicine*. 202302; 62(4):605-611.

Kurotani R, Ono S, Miyano Y, Nakayama S, Liu H, Aibara D, Sakahara S, Sato M, Sato K, Inoue S, Shibata Y, Lee MP, Abe H, Kimura S. Secretoglobin 3A2 protects lung from developing cigarette smoke-induced pulmonary emphysema. *International Journal of Biochemistry and Cell Biology*. 202304; 157:106390.

Watase M, Masaki K, Chubachi S, Namkoong H, Tanaka H, Lee H, Fukushima T, Otake S, Nakagawara K, Kusumoto T, Asakura T, Kamata H, Ishii M, Hasegawa N, Oyamada Y, Harada N, Ueda T, Ueda S, Ishiguro T, Arimura K, Saito F, Yoshiyama T, Nakano Y, Mutoh Y, Suzuki Y, Edahiro R, Sano H, Sato Y, Okada Y, Koike R, Kitagawa Y, Tokunaga K, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Impact of accumulative smoking exposure and chronic obstructive pulmonary disease on COVID-19 outcomes: report based on findings from the Japan COVID-19 task force. *International Journal of Infectious Diseases*. 202303; 128:121-127.

Tanaka H, Namkoong H, Chubachi S, Irie S, Uwamino Y, Lee H, Azekawa S, Otake S, Nakagawara K, Fukushima T, Watase M, Kusumoto T, Masaki K, Kamata H, Ishii M, Okada Y, Takano T, Imoto S, Koike R, Kimura A, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Sato TA, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Clinical characteristics of patients with COVID-19 harboring detectable intracellular SARS-CoV-2 RNA in peripheral blood cells. *International Journal of Infectious Diseases*. 202310; 135:41-44.

Sato S, Suzuki Y, Kikuchi M, Rikimaru M, Saito J, Shibata Y. Sputum Neurturin Levels in Adult Asthmatic Subjects. *Journal of Asthma and Allergy*. 202308; 16:889-901.

Nakagawara K, Kamata H, Chubachi S, Namkoong H, Tanaka H, Lee H, Otake S, Fukushima T, Kusumoto T, Morita A, Azekawa S, Watase M, Asakura T, Masaki K, Ishii M, Endo A, Koike R, Ishikura H, Takata T, Matsushita Y, Harada N, Kokutou H, Yoshiyama T, Kataoka K, Mutoh Y, Miyawaki M, Ueda S, Ono H, Ono T, Shoko T, Muranaka H, Kawamura K, Mori N, Mochimaru T, Fukui M, Chihara Y, Nagasaki Y, Okamoto M, Amishima M, Odani T, Tani M, Nishi K, Shirai Y, Edahiro R, Ando A, Hashimoto N, Ogura S, Kitagawa Y, Kita T, Kagaya T, Kimura Y, Miyazawa N, Tsuchida T, Fujitani S, Murakami K, Sano H, Sato Y, Tanino Y, Otsuki R, Mashimo S, Kuramochi M, Hosoda Y, Hasegawa Y, Ueda T, Takaku Y, Ishiguro T, Fujiwara A, Kuwahara N, Kitamura H, Hagiwara E, Nakamori Y, Saito F, Kono Y, Abe S, Ishii T, Ohba T, Kusaka Y, Watanabe H, Masuda M, Watanabe H, Kimizuka Y, Kawana A, Kasamatsu Y, Hashimoto S, Okada Y, Takano T, Katayama K, Ai M, Kumanogoh A, Sato T, Tokunaga K, Imoto S, Kitagawa Y, Kimura A, Miyano S, Hasegawa N, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Diagnostic significance of secondary bacteremia in patients with COVID-19. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 202304; 29(4):422-426.

Ma M, Gao Y, Qiu X, Gui X, Tian Y, Tian M, Albertson TE, Kishaba T, Tanino Y, Sakairi Y, Chen J, Dai J, Cai H. ZLN005 improves the protective effect of mitochondrial function on alveolar epithelial cell aging by

upregulating PGC-1 α . *Journal of Thoracic Disease*. 202311; 15(11):6160-6177.

Shibata Y, Tanino Y, Sato Y; COVID-19 Host Genetics Initiative. A second update on mapping the human genetic architecture of COVID-19. *Nature*. 202309; 621(7977):E7-E26.

Edahiro R, Shirai Y, Takeshima Y, Sakakibara S, Yamaguchi Y, Murakami T, Morita T, Kato Y, Liu YC, Motoooka D, Naito Y, Takuwa A, Sugihara F, Tanaka K, Wing JB, Sonehara K, Tomofuji Y; Japan COVID-19 Task Force; Namkoong H, Tanaka H, Lee H, Fukunaga K, Hirata H, Takeda Y, Okuzaki D, Kumanogoh A, Okada Y. Single-cell analyses and host genetics highlight the role of innate immune cells in COVID-19 severity. *Nature Genetics*. 202305; 55(5):753-767.

Tanaka H, Chubachi S, Namkoong H, Sato Y, Asakura T, Lee H, Azekawa S, Otake S, Nakagawara K, Fukushima T, Watase M, Sakurai K, Kusumoto T, Kondo Y, Masaki K, Kamata H, Ishii M, Kaneko Y, Hasegawa N, Ueda S, Sasaki M, Izumo T, Inomata M, Miyazawa N, Kimura Y, Suzuki Y, Harada N, Ichikawa M, Takata T, Ishikura H, Yoshiyama T, Kokuto H, Murakami K, Sano H, Ueda T, Kuwahara N, Fujiwara A, Ogura T, Inoue T, Asami T, Mutoh Y, Nakachi I, Baba R, Nishi K, Tani M, Kagyo J, Hashiguchi M, Oguma T, Asano K, Nishikawa M, Watanabe H, Okada Y, Koike R, Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K. Propensity-Score Matched Analysis of the Effectiveness of Baricitinib in Patients With Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Using Nationwide Real-World Data: An Observational Matched Cohort Study From the Japan COVID-19 Task Force. *Open Forum Infectious Diseases*. 202306; 10(7):ofad311.

Shirai T, Tanino Y, Nikaido T, Takaku Y, Hashimoto S, Taguchi Y, Baba T, Ogura T, Kataoka K, Nakayama M, Yamada Y, Matsushima S, Minami K, Miyazaki Y. Utility of budgerigar/pigeon/parrot-specific IgG antibody with ImmunoCAP® in bird-related hypersensitivity pneumonitis caused by other bird species and duvet. *Respiratory Investigation*. 202307; 61(4):520-526.

Shibata Y, Kawayama T, Muro S, Sugiura H. Management goals and stable phase management of patients with chronic obstructive pulmonary disease in the Japanese respiratory society guideline for the management of chronic obstructive pulmonary disease 2022 (6th edition). *Respiratory Investigation*. 202311; 61(6):773-780.

Kataoka K, Oda K, Takizawa H, Ogura T, Miyamoto A, Inoue Y, Akagawa S, Hashimoto S, Kishaba T, Sakamoto K, Hamada N, Kuwano K, Nakayama M, Ebina M, Enomoto N, Miyazaki Y, Atsumi K, Izumi S, Tanino Y, Ishii H, Ohnishi H, Suda T, Kondoh Y. Cohort study to evaluate prognostic factors in idiopathic pulmonary fibrosis patients starting oxygen therapy. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):13664.

Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Kawaguchi A, Mukae H, Sakamoto N, Ogura T, Ikeda S, Kondoh Y, Yamano Y, Komiya K, Umeki K, Nishikiori H, Tanino Y, Tsuda T, Arai N, Komatsu M, Sakamoto S, Yatera K, Inoue Y, Miyazaki Y, Hashimoto S, Shimizu Y, Hozumi H, Ohnishi H, Handa T, Hattori N, Kishaba T, Kato M, Inomata M, Ishii H, Hamada N, Konno S, Zaizen Y, Azuma A, Suda T, Izuhara K, Hoshino T. A Prospective Cohort Study of Periostin as a Serum Biomarker in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis Treated with Nintedanib Therapy. *Scientific Reports*. 202312; 13(1):22977.

山内敏正, 柴田陽光, 室繁郎, 川山智隆. 【COPD common disease に対する一般内科医の役割とは】 COPD

患者の健康寿命延長はどうすれば達成されるのか？ 一般内科医の役割も含めて. Medical Practice. 202303; 40(3):346-356.

柴田陽光, 森谷浩史. この症例から何を学ぶか 禁煙を達成できず重症化が進んだ COPD 症例. Medical Practice. 202303; 40(3):462-466.

柴田陽光. 【COPD と合併疾患】総論 COPD と併存症・肺合併症. Vita. 202304; 40(2):22-27.

萩原弘一, 柴田陽光, 中込一之. 【喘息・COPD・喘息・COPD オーバーラップ症候群の病態生理】気道疾患の現状と将来展望. カレントセラピー. 202310; 41(10):960-965.

結核療法研究協議会内科会. 結核治療中の皮疹対策に関する調査. 結核. 202303; 98(2):59-63.

柴田陽光. 【COPD・実地診療にガイドラインをどう活かすか】COPD 実地診療にガイドラインをどう活かすか COPD 診断と治療のためのガイドライン 2022 の概要. 呼吸器ジャーナル. 202305; 71(2):144-150.

柴田陽光. 【慢性咳嗽 2023】呼吸器疾患における咳嗽のメカニズムと対応 慢性閉塞性肺疾患. 呼吸器内科. 202307; 44(1):78-82.

柴田陽光. 解説【COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 2022】. 日本薬剤師会雑誌. 202308; 75(8):809-813.

〔総説等〕

斎藤純平. 難治性慢性咳嗽の病態、診断、治療 (P2X3 受容体拮抗薬を中心に). Allos Ergon. 202303; 3(1):987-996.

鈴木康仁, 斎藤純平. NGAL (好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン). アレルギー. 202302; 72(1):49-50.

斎藤純平. 【日常臨床で用いる最新バイオマーカー】呼気 NO 濃度 (FeNO). アレルギーの臨床. 202302; 43(2):83-87.

斎藤純平. 慢性咳嗽のモニタリング. 呼吸器内科. 202307; 44(1):100-105.

斎藤純平. 非 II 型炎症の病態と期待されるバイオマーカー. 日本喘息学会誌. 2023; 2(1):1-12.

〔症例報告〕

Suzuki Y, Saito J, Fukuhara A, Rikimaru M, Morimoto J, Lee T, Sato R, Yamada R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Umeda T, Kawamata T, Togawa R, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Effect of Colchicine on Recurrent Serositis in Familial Mediterranean Fever. American Journal of Medicine. 202306; 136(6):e117-e118.

〔その他〕

谷野功典. ANCA 関連血管炎にみられる症状と早期発見の重要性. Thermo Fisher Scientific EliA info vol.11; 202306.

書籍等出版物

Nikaido T, Tanino Y, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Shibata Y. The Role of Extracellular Matrix in the Pathogenesis of Bacterial Pneumonia. In: Charles D. Grant. Advances in Biology. Volume 3. USA: Nova Science Publishers, Inc; 202305. p.149-163.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Hayashi K, Koyama D, Hamazaki Y, Kamiyama T, Yamada S, Tanino Y, Shibata Y, Ikezoe T. Intracellular nuclear proteins histone H3 and HMGB1 are predictive markers of disease severity and prognosis of COVID-19 patients. International Society on Thrombosis and Haemostasis 2023 Congress; 20230624-28; Web.

Suzuki Y, Saito J, Rikimaru M, Fukuhara A, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Kawamata T, Togawa R, Morimoto J, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Fukuhara N, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Serum YKL-40 as a biomarker for predicting loss of lung function and neutrophilic airway inflammation in asthma, COPD and asthma-COPD overlap. ERS International Congress 2023; 20230910; Milan, Italy.

Ishii H, Tazawa R, Handa T, Tanino Y, Kitamura N, Inoue Y, Nakata K. Exploring the prognosis and pathogenesis of secondary pulmonary alveolar proteinosis. ERS International Conference 2023; 20230911; Milano, Italy.

Suzuki Y, Saito J, Rikimaru M, Fukuhara A, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Kawamata T, Togawa R, Morimoto J, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Fukuhara N, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y, Togawa R, Sato Y, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Serum YKL-40 as a biomarker for predicting loss of lung function and neutrophilic airway inflammation in asthma. ERS International Conference 2023; 20230911; Milano, Italy.

Rikimaru M, Saito J, Suzuki Y, Fukuhara A, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Watanabe N, Kawamata T, Morimoto J, Togawa R, Minemura H, Nikaido T, Fukuhara N, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Clinical usefulness of exhaled breath temperature in asthma management. ERS International Conference 2023; 20230912; Milano, Italy.

Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Kawamata T, Watanabe N, Wang X, Saito K, Kazama K, Harigane R, Yamada R, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Role of Serum Decoy Receptor 3 as a Predictor of Prognosis in Patients with Acute Exacerbation of Interstitial

Pneumonia. 27th Congress of the APSR; 20231117; Singapore.

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Wang X, Saito K, Kazama K, Harigane R, Yamada R, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Serum syndecan-4 is a possible prognostic biomarker in pulmonary tuberculosis. 27th Congress of the APSR; 20231118; Singapore.

Watanabe N, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Wang X, Saito K, Kazama K, Harigane R, Yamada R, Saito R, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical significance of IFN- λ 3 and TARC in severe COVID-19. 27th Congress of the APSR; 20231118; Singapore.

Kawamata T, Tanino Y, Wang X, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Watanabe N, Saito K, Kazama K, Harigane R, Yamada R, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical significance of IL-6 in severe and critical COVID-19 patients. 27th Congress of the APSR; 20231119; Singapore.

Nikaido T, Tanino Y, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Minemura H, Wang X, Tomita H, Rikimaru M, Suzuki Y, Saitou J, Kanazawa K, Shibata Y. Evaluation of diaphragmatic motions in patients with interstitial pneumonia in a supine position on resting by dynamic digital radiography with flat panel detector system. 27th Congress of the APSR; 20231119; Singapore.

鈴木康仁. 福島県 COVID-19 コホート研究 重症化予測スコアの確立とリアルワールドにおける新規薬剤の有効性の検討. COVID-19 生活習慣病ハイブリッドセミナー; 20230303; 山形.

李智祥, 鈴木康仁, 東川隆一, 森本樹里亜, 渡邊菜摘, 佐藤理子, 山田龍輝, 大沼巧, 富田ひかる, 齋藤美加子, 河俣貴也, 力丸真美, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 二階堂雄文, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. Burkholderia cepacia complex による細菌性肺炎に対してトブラマイシン吸入療法が有効であった気管支拡張症の 1 例. 第 116 回日本呼吸器学会東北地方会; 20230304; 仙台.

鈴木康仁. 福島県 COVID-19 コホート研究 重症化予測スコアの確立とリアルワールドにおける新規薬剤の有効性の検討. 福島感染症セミナー; 20230331; 福島.

石井晴之, 谷野功典, 中田光. 骨髄異形成症候群に合併した続発性肺胞蛋白症におけるドライバー遺伝子. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230428; 東京.

谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 福原奈緒子, 中田光, 柴田陽光. 東日本大震災後の自己免疫性肺胞蛋白症患者の臨床経過. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230428; 東京.

二階堂雄文, 谷野功典, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 福原奈緒子, 李智祥, 佐藤理子, 大沼巧, 齋藤美加子, 富田ひかる, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 間質性肺炎患者における胸部 X 線動態撮影による臥位安静時の横隔膜運動の評価. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230428; 東京.

河俣貴也, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 渡邊菜摘, 李智祥, 佐藤理子, 山田龍輝, 大沼巧,

富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. COVID-19 中等症 II 患者における血清 IL-6 と CRP の臨床的役割. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230429; 東京.

佐藤佑樹, 谷野功典, 二階堂雄文, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 福原奈緒子, 李智祥, 佐藤理子, 大沼巧, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 肺結核において血清 Syndecan-4 は予後予測因子である可能性がある. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230429; 東京.

渡邊菜摘, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 李智祥, 山田龍輝, 佐藤理子, 大沼巧, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. COVID-19 中等症 II 患者における IFN- λ と TARC の検討. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230429; 東京.

東川隆一, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 福原奈緒子, 李智祥, 佐藤理子, 大沼巧, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 間質性肺炎急性増悪における血清 Decoy Receptor 3 の予後予測因子としての役割. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230430; 東京.

峯村浩之, 鈴木康仁, 佐藤佑樹, 富田ひかる, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光, 高木玄教, 峯勇人. EWS 気管支充填術・胸膜癒着療法により改善した難治性気胸の 1 例. 第 229 回日本内科学会東北地方会; 20230617; Web.

力丸真美, 齋藤純平, 菊地正美, 福原敦朗, 鈴木康仁, 風間健太郎, 齋藤弘志, 針金莉奈, 李智洋, 山田龍輝, 佐藤理子, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 梅田隆志, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 王新濤, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 二階堂雄文, 福原奈緒子, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 生物学的製剤を投与した難治性喘息患者の臨床的寛解率についての検討. 第 4 回日本喘息学会総会学術大会; 20230722; 東京.

豊福智美, 渡邊菜摘, 鈴木康仁, 久米裕昭. 日本酒醸造の作業者に生じた麹菌による喘息の 1 例の経過・味噌・醤油醸造関連喘息との比較. 第 117 回日本呼吸器学会東北地方会; 20230902; 盛岡市.

鈴木康仁, 齋藤純平, 伊東慶介, 植木重治, 力丸真美, 福原敦朗, 佐藤俊, 谷野功典, 柴田陽光. 好酸球性肺炎における血清・BALF 中のガレクチン 10 濃度と臨床所見との検討. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会; 20231020; 東京.

力丸真美, 齋藤純平, 福原敦朗, 鈴木康仁, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 咳モニター (LCM) による客観的咳嗽頻度に基づいた咳 VAS の最少重要差 (MID) の検討. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会; 20231020; 東京.

〔シンポジウム〕

鈴木康仁, 齋藤純平. ACO への応用が期待されるバイオマーカー. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会; 20231021; 東京.

〔特別講演〕

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の患者像を探る～. 第 663 回八戸胸部疾患懇話会; 20230525; 八戸.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の患者像を探る～. 盛岡医師会内科医会講演会; 20230620; 盛岡.

斎藤純平. 長引く咳の診断と治療アップデート～原因療法からリフヌア®投与まで～. 第 59 回いわきアレルギー懇話会学術講演会; 20231120; いわき.

斎藤純平. 長引く咳の診断と治療アップデート～原因療法からリフヌア®投与まで～. 第 7 回東京下町呼吸器プライマリケアフォーラム; 20231129; 東京.

〔招待講演〕

Tanino Y. Anti-transcriptional intermediary factor 1- γ antibody in cancer-associated myositis. 8th World Congress on Cancer Research and Therapy; 20230720; Frankfurt, Germany.

Saito J. Clinical application of biomarkers for asthma diagnosis and management. World Allergy Congress 2023; 20231202; Bangkok, Thailand.

斎藤純平. 喘息の吸入療法. 第 4 回アレルギー学会東北地方会; 20230121; 仙台.

斎藤純平. 残存する咳嗽症状に着目した喘息吸入療法の選択肢を探る～3 剤配合剤吸入薬の位置づけ～. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230429; 東京.

斎藤純平. 咳嗽治療の新たな選択肢～P2X3 受容体拮抗薬の適応となる患者像を探る～. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会; 20230430; 東京.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の適応となる患者像を探る～. 第 1 回東海咳嗽フォーラム; 20231012; 名古屋.

〔その他〕

富田ひかる, 斎藤純平, 力丸真美, 鈴木康仁, 李智祥, 佐藤理子, 大沼巧, 渡邊菜摘, 斉藤美加子, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 峯村仁之, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. COVID-19 mRNA ワクチン接種後に発症した急性好酸球性肺炎の一例. 第 4 回日本アレルギー学会東北地方会; 20230121; 仙台.

二階堂雄文, 谷野功典, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 鈴木康仁, 峯村浩之, 王新涛, 柴田陽光. 間質性肺炎患者における胸部 X 線動態撮影による臥位安静時の呼吸運動の評価. 第 14 回呼吸機能イメージング研究会学術集会; 20230127; 札幌.

李智祥, 峯村浩之, 佐藤理子, 森本樹里亜, 東川隆一, 鈴木康仁, 斎藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. ペムブロリズマブによる治療を行った縦隔リンパ節転移を伴う原発不明癌の 1 例. 第 228 回日本内科学会東北

地方会; 20230218; 仙台.

斎藤純平. 咳嗽という観点から見た喘息治療～咳モニターの結果から SITT の位置づけを考える. Trelegy200 Anniversary National Conference; 20230219; 東京.

斎藤純平. 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの? / どんな治療をするの? ～. 福島県アレルギー市民公開講座; 20230228-0531; Web.

斎藤純平. 重症喘息の実態と治療の現状. GSK Severe Asthma Expert Seminar in 東北; 20230310; 仙台.

斎藤純平. 重症喘息治療において生物学的製剤が目指すもの～Dupilumab の長期効果と Clinical remission の観点から～. AIR way WEB; 20230315; Web.

斎藤純平. 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの? / どんな治療をするの? ～. 福島県立医科大学市民公開講座; 20230410; 福島.

斎藤純平. 難治性慢性咳嗽の治療に対する新たなアプローチ～リフヌアの患者像を探る～. 鹿児島呼吸器疾患研究会; 20230512; 鹿児島.

鈴木康仁. 病態から考える喘息・ACO の治療～臨床の場で活躍するために～. 第 4 回山形若手医師のための呼吸器セミナー; 20230524; 山形.

林清人, 小山大輔, 濱崎洋一, 神山隆道, 山田晋吾, 谷野功典, 柴田陽光, 池添隆之. Syndecan-1 as a predictor of severity and prognosis in COVID-19 patients. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230616; 北九州.

斎藤純平. 慢性咳嗽治療におけるリフヌアの位置づけ～喘息/咳喘息～. リフヌア®発売 1 周年記念講演会; 20230617; 東京.

鈴木康仁. 好酸球性炎症から考える重症喘息に対する Mepolizumab の有効性～自験例および REALITI-A 試験を踏まえて～. GSK Severe Asthma Seminar in Fukushima; 20230621; 福島.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の患者像を探る～. 第 15 回相模原アレルギー性疾患研究会; 20230622; 相模原.

渡邊菜摘, 金沢賢也, 李智祥, 山田龍輝, 佐藤理子, 大沼巧, 富田ひかる, 斉藤美加子, 力丸真美, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 鈴木康仁, 峯村浩之, 二階堂雄文, 斎藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 高齢男性に発症した気管型平滑筋腫の 1 例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230629; 横浜.

斉藤美加子, 金沢賢也, 佐藤佑樹, 力丸真美, 河俣貴也, 李智祥, 鈴木康仁, 峯村浩之, 二階堂雄文, 斎藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 外科手術前の急速進行で短期的に 2 度の気管支内視鏡インターベンションを要した肺癌肉腫の一例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230629; 横浜.

斎藤純平. 重症喘息治療において生物学的製剤が目指すもの～Dupilumab の長期効果と Clinical remission の観

点から～. TOHOKU Severe Asthma Seminar; 20230705; 仙台.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の適応となる患者像を探る～. リフヌア錠 45 mg発売 1 周年記念講演会 in 群馬; 20230707; 前橋.

斎藤純平. 重症喘息治療において生物学的製剤が目指すもの～Dupilumab の長期効果と Clinical remission の観点から～. Asthma Expert Seminar in Hiroshima; 20230726; 広島.

斎藤純平. 長引く「せき」で困っていませんか?～「せき」の原因から治療まで. 第 24 回「肺の日」「呼吸の日」記念市民講座; 20230819; 静岡.

斉藤弘志, 峯村浩之, 王新涛, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 斎藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. メトトレキサート投与中に気管腫瘍を認めた関節リウマチの 1 例. 第 230 回日本内科学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

風間健太郎, 二階堂雄文, 佐野隆浩, 高橋裕志, 池添隆之, 斉藤弘志, 針金莉奈, 山田龍輝, 王新涛, 富田ひかる, 河俣貴也, 力丸真美, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 胸水貯留を契機に診断された MALT リンパ腫の一例. 第 117 回日本呼吸器学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

力丸真美. 当院における生物学的製剤の使用経験と臨床的寛解率の検討. Scientific Exchange Meeting in Fukushima 2023; 20230929; 福島.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の適応となる患者像を探る～. 新潟呼吸器疾患研究会; 20231004; 新潟.

佐藤佑樹, 谷野功典, 針金莉奈, 力丸真美, 富田ひかる, 二階堂雄文, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 王新涛, 斉藤弘志, 風間健太郎, 山田龍輝, 森本樹里亜, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 蛇澤晶, 柴田陽光. クライオバイオプシーが有用であった線維性過敏性肺炎の 1 例. 第 43 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20231006; 浜松.

針金莉奈, 谷野功典, 力丸真美, 富田ひかる, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 渡邊菜摘, 王新涛, 斉藤弘志, 風間健太郎, 山田龍輝, 森本樹里亜, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 蛇澤晶, 柴田陽光. クライオバイオプシー直後の胸部 CT 画像で嚢胞の出現を確認できた過敏性肺炎の 1 例. 第 43 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20231006; 浜松.

二階堂雄文, 谷野功典, 佐藤理子, 東川隆一, 渡邊菜摘, 森本樹里亜, 佐藤佑樹, 河俣貴也, 王新涛, 風間健太郎, 斉藤弘志, 針金莉奈, 富田ひかる, 力丸真美, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 不均等換気一致した陰影分布を示した Hot tub lung の一例. 第 43 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20231006; 浜松.

渡邊菜摘, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 王新涛, 斉藤弘志, 風間健太郎, 針金莉奈, 山田龍輝, 佐藤理子, 富田ひかる, 力丸真美, 森本樹里亜, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 低用量ステロイド治療で肺病変が改善したサルコイドーシスの 1 例. 第 43 回日本サルコイドーシス/肉芽腫

性疾患学会総会; 20231007; 浜松.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～リフヌア®の適応となる患者像を探る～. LYFNUA Cough Web Seminar in KANSAI; 20231011; Web.

斎藤純平. Dupilumab の最適患者像. Airway WEB; 20231024; 東京.

鈴木康仁. 気管支喘息と慢性好酸球性肺炎の合併例に対してベンラリズマブを導入した自験例. 福島 Asthma Meeting; 20231026; 福島.

斎藤純平. 残存する咳嗽症状に着目した喘息吸入療法の選択肢を探る～3 剤配合剤吸入薬の位置づけ～. テリルジ一講演会 in つくば; 20231109; Web.

斎藤純平. Experience と Evidence から考える Treatment Strategy. Sanofi Severe Asthma Forum; 20231112; 東京.

鈴木康仁. 喘息の日常診療におけるトリプル製剤の使いどころ. GSK Asthma Web Seminar; 20231115; 福島.

針金莉奈, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 王新涛, 齋藤弘志, 風間健太郎, 山田龍輝, 佐藤理子, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 力丸真美, 森本樹里亜, 峯村浩之, 斎藤純平, 金沢賢也, 蛇澤晶, 柴田陽光. 7 年の経過で進行を認めクライオバイオプシーを行った間質性肺炎の一例. 第 22 回東北びまん性肺疾患研究会; 20231125; 福島.

斎藤純平. 『重症喘息に対する生物学的製剤の目指す方向は?』～テゼスパイアの使用経験から～. TEZSPIRE Severe Asthma Meeting; 20231127; 郡山.

斎藤純平. 長引く咳の診断と治療アップデート～原因療法からリフヌア®投与まで～. リフヌア錠発売 1 周年記念講演会 in 山形; 20231130; 山形.

斎藤純平. 長引く咳の診断と治療アップデート～原因療法からリフヌア®投与まで～. 静岡胸部疾患研究会; 20231208; 静岡.

斎藤純平. 好酸球をターゲットにした重症喘息治療を再考する～ヌーカラ®のリアルワールドエビデンスから～. GSK Severe Asthma WEB seminar in Fukushima; 20231214; 福島.

斎藤純平. 慢性咳嗽治療におけるリフヌアの位置づけ～喘息／咳喘息～. LYFNUA Cough Seminar in 福島; 20231222; 福島.

消化管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202310; 43(10):4691-4700.

Matsumoto T, Ohki S, Kaneta A, Matsuishi A, Maruyama Y, Yamada L, Tada T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Sakamoto W, Momma T, Saze Z, Kono K. Systemic inflammation score as a preoperative prognostic factor for patients with pT2-T4 resectable gastric cancer: a retrospective study. *BMC Surgery*. 202301; 23(1):8.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Nakajima T, Kikuchi T, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202307; 72(7):2233-2244.

Shirota H, Komine K, Takahashi M, Takahashi S, Miyauchi E, Niizuma H, Tada H, Shimada M, Niihori T, Aoki Y, Sugiyama I, Kawamura M, Yasuda J, Suzuki S, Iwaya T, Saito M, Saito T, Shibata H, Furukawa T, Ishioka C. Clinical decisions by the molecular tumor board on comprehensive genomic profiling tests in Japan: A retrospective observational study. *Cancer Medicine*. 202303; 12(5):6170-6181.

Nakajima S, Kaneta A, Okayama H, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Matsumoto T, Fukai S, Sakuma M, Sato T, Mimura K, Saito M, Saze Z, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Kono K. The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8⁺ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer. *Cancers*. 202305; 15(10):2826.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA⁺CD27⁺CD127⁺ Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Cancers*. 202307; 15(14):3641.

Katagata M, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Sato T, Sakuma M, Fukai S, Endo E, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGFβ-Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer. *Cancers*. 202310; 15(20):4943.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y,

Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Iijima K, Matsuhashi T, Shimodaira Y, Mikami T, Yoshimura T, Yanai S, Kudara N, Tsuji T, Matsushita HO, Watanabe H, Koike T, Kato K, Abe Y, Shirahata N, Hikichi T, Katakura K, Kono K, Sakuraba H, Ueno Y, Ohira H, Masamune A, Matsumoto T, Fukuda S; Japan Gastroenterological Endoscopy Society-Tohoku. Impact of the COVID-19 pandemic on the performance of endoscopy in the Tohoku region of Japan. *DEN Open*. 202306; 4(1):e249.

Watanabe M, Toh Y, Ishihara R, Kono K, Matsubara H, Miyazaki T, Morita M, Murakami K, Muro K, Numasaki H, Oyama T, Saeki H, Tanaka K, Tsushima T, Ueno M, Uno T, Yoshio T, Usune S, Takahashi A, Miyata H; Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society. Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2015. *Esophagus*. 202301; 20(1):1-28.

Matsuda S, Kitagawa Y, Okui J, Okamura A, Kawakubo H, Takemura R, Kono K, Muto M, Kakeji Y, Takeuchi H, Watanabe M, Doki Y. Prognostic impact of endoscopic response evaluation after neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma: a nationwide validation study. *Esophagus*. 202307; 20(3):455-464.

Sato T, Saito M, Nakajima S, Saito K, Katagata M, Fukai S, Okayama H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2-negative gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202305; 26(3):379-392.

Fukai S, Nakajima S, Saito M, Saito K, Kase K, Nakano H, Sato T, Sakuma M, Kaneta A, Okayama H, Mimura K, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8⁺ Tcell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202311; 26(6):878-890.

Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, Saito K, Katagata M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Tada T, Sakamoto W, Momma T, Ohira H, Kono K. Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment Through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics*. 202303; 115(4):957-971.

Yamamoto R, Honda M, Kawamura H, Kobayashi H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Hori S, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. Clinical Features and Survival of Young Adults with Stage IV Gastric Cancer: a Japanese Population-Based Study. *Journal of Gastrointest Cancer*. 202303; 54(1):56-61.

Shi J, Shiraishi K, Choi J, Matsuo K, Chen TY, Dai J, Hung RJ, Chen K, Shu XO, Kim YT, Landi MT, Lin D, Zheng W, Yin Z, Zhou B, Song B, Wang J, Seow WJ, Song L, Chang IS, Hu W, Chien LH, Cai Q, Hong YC, Kim HN, Wu YL, Wong MP, Richardson BD, Funderburk KM, Li S, Zhang T, Breeze C, Wang Z, Blechter B, Bassig BA, Kim JH, Albanes D, Wong JYY, Shin MH, Chung LP, Yang Y, An SJ, Zheng H, Yatabe Y, Zhang XC, Kim YC, Caporaso NE, Chang J, Ho JCM, Kubo M, Daigo Y, Song M, Momozawa Y,

Kamatani Y, Kobayashi M, Okubo K, Honda T, Hosgood DH, Kunitoh H, Patel H, Watanabe SI, Miyagi Y, Nakayama H, Matsumoto S, Horinouchi H, Tsuboi M, Hamamoto R, Goto K, Ohe Y, Takahashi A, Goto A, Minamiya Y, Hara M, Nishida Y, Takeuchi K, Wakai K, Matsuda K, Murakami Y, Shimizu K, Suzuki H, Saito M, Ohtaki Y, Tanaka K, Wu T, Wei F, Dai H, Machiela MJ, Su J, Kim YH, Oh IJ, Lee VHF, Chang GC, Tsai YH, Chen KY, Huang MS, Su WC, Chen YM, Seow A, Park JY, Kweon SS, Chen KC, Gao YT, Qian B, Wu C, Lu D, Liu J, Schwartz AG, Houlston R, Spitz MR, Gorlov IP, Wu X, Yang P, Lam S, Tardon A, Chen C, Bojesen SE, Johansson M, Risch A, Bickeböllner H, Ji BT, Wichmann HE, Christiani DC, Rennert G, Arnold S, Brennan P, McKay J, Field JK, Shete SS, Le Marchand L, Liu G, Andrew A, Kiemeny LA, Zienoldindyn-Narui S, Grankvist K, Johansson M, Cox A, Taylor F, Yuan JM, Lazarus P, Schabath MB, Aldrich MC, Jeon HS, Jiang SS, Sung JS, Chen CH, Hsiao CF, Jung YJ, Guo H, Hu Z, Burdett L, Yeager M, Hutchinson A, Hicks B, Liu J, Zhu B, Berndt SI, Wu W, Wang J, Li Y, Choi JE, Park KH, Sung SW, Liu L, Kang CH, Wang WC, Xu J, Guan P, Tan W, Yu CJ, Yang G, Siho ADL, Chen Y, Choi YY, Kim JS, Yoon HI, Park IK, Xu P, He Q, Wang CL, Hung HH, Vermeulen RCH, Cheng I, Wu J, Lim WY, Tsai FY, Chan JKC, Li J, Chen H, Lin HC, Jin L, Liu J, Sawada N, Yamaji T, Wyatt K, Li SA, Ma H, Zhu M, Wang Z, Cheng S, Li X, Ren Y, Chao A, Iwasaki M, Zhu J, Jiang G, Fei K, Wu G, Chen CY, Chen CJ, Yang PC, Yu J, Stevens VL, Fraumeni JF Jr, Chatterjee N, Gorlova OY, Hsiung CA, Amos CI, Shen H, Chanock SJ, Rothman N, Kohno T, Lan Q. Genome-wide association study of lung adenocarcinoma in East Asia and comparison with a European population. *Nature Communications*. 202305; 14(1):3043.

〔総説等〕

Kitagawa Y, Ishihara R, Ishikawa H, Ito Y, Oyama T, Oyama T, Kato K, Kato H, Kawakubo H, Kawachi H, Kuribayashi S, Kono K, Kojima T, Takeuchi H, Tsushima T, Toh Y, Nemoto K, Booka E, Makino T, Matsuda S, Matsubara H, Mano M, Minashi K, Miyazaki T, Muto M, Yamaji T, Yamatsuji T, Yoshida M. Esophageal cancer practice guidelines 2022 edited by the Japan esophageal society: part 1. *Esophagus*. 202307; 20(3):343-372.

Kitagawa Y, Ishihara R, Ishikawa H, Ito Y, Oyama T, Oyama T, Kato K, Kato H, Kawakubo H, Kawachi H, Kuribayashi S, Kono K, Kojima T, Takeuchi H, Tsushima T, Toh Y, Nemoto K, Booka E, Makino T, Matsuda S, Matsubara H, Mano M, Minashi K, Miyazaki T, Muto M, Yamaji T, Yamatsuji T, Yoshida M. Esophageal cancer practice guidelines 2022 edited by the Japan Esophageal Society: part 2. *Esophagus*. 202307; 20(3):373-389.

Nonaka T, Kawashiro S, Ishikawa H, Ito Y, Nemoto K, Ishihara R, Oyama T, Oyama T, Kato K, Kato H, Kawakubo H, Kawachi H, Kuribayashi S, Kono K, Kojima T, Takeuchi H, Tsushima T, Toh Y, Booka E, Makino T, Matsuda S, Matsubara H, Mano M, Minashi K, Miyazaki T, Muto M, Yamaji T, Yamatsuji T, Yoshida M, Kitagawa Y; Esophageal Cancer Practice Guidelines Preparation Committee. Concurrent chemoradiotherapy using proton beams can reduce cardiopulmonary morbidity in esophageal cancer patients: a systematic review. *Esophagus*. 202310; 20(4):605-616.

Committee for Scientific Affairs, The Japanese Association for Thoracic Surgery; Minatoya K, Sato Y, Toh Y, Abe T, Endo S, Hirata Y, Ishida M, Iwata H, Kamei T, Kawaharada N, Kawamoto S, Kohno T, Kumamaru H, Matsumiya G, Motomura N, Nakahara R, Okada M, Saji H, Saito A, Shimizu H, Suzuki K, Takemura H, Taketani T, Takeuchi H, Tatsuishi W, Yamamoto H, Yasuda T, Watanabe M, Yoshimura N,

Tsuchida M, Sawa Y. Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2019 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery. General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202310; 71(10):595-628.

河野浩二. 【世界各国における外科医の教育と地位】 シンガポールにおける外科医について. 外科. 202306; 85(7):828-833.

中嶋正太郎, 金田晃尚, 河野浩二. cGAS-STING 経路を標的とした大腸癌の新規治療戦力の可能性. 癌と化学療法. 202309; 50(9):950-954.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 癌と化学療法. 202310; 50(10):1099-1101.

〔症例報告〕

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. Cancer Reports. 202307; 6(7):e1832.

Yazawa R, Yazawa H, Fukuda K, Ohara M, Osuka F. Four cases of pseudomyxoma peritonei with ovarian tumors at our hospital. Fukushima Journal of Medical Science. 202304; 69(1):57-65.

Ishiyama Y, Ito M, Akuta S, Yoshizawa M, Yamato M, Tanaka H, Fujii T, Okazaki N, Hiranuma C, Deguchi K, Hirano Y. Small bowel fistula with colorectal cancer and mesenteric lymph node metastasis: a report of two cases. Journal of Surgical Case Reports. 202312; 2023(12):rjad675.

中島隆宏, 桑原公亀, 島貫公義, 井上典夫, 河野浩二. アブスコパル効果を示唆する腫瘍縮小を示した再発胃癌症例の検討. 癌と化学療法. 202303; 50(3):399-400.

宮本康太郎, 藤井あゆみ, 多田武志, 中山浩一, 浦住幸治郎. 胃浸潤からの出血のため手術を施行した多発性骨髄腫の1例. 癌と化学療法. 202310; 50(10):1120-1122.

花山寛之, 鈴木博也, 望月翔太郎, 林下宗平, 松石彬, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行胃癌に対するラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法中に十二指腸穿孔を生じた1例. 癌と化学療法. 202312; 50(13):1636-1637.

圓谷秀哲, 金田晃尚, 藤田正太郎, 林下宗平, 望月翔太郎, 鈴木博也, 滝口千晶, 松石彬, 丸山裕也, 叶多諒, 佐久間芽衣, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 化学療法に抵抗性を示した再発病変に対して Pembrolizumab が奏効し長期生存を得た MSI-High S 状結腸癌の1例. 癌と化学療法. 202312; 50(13):1742-1744.

佐藤孝洋, 佐瀬善一郎, 滝口千晶, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 片方雅紀, 深井智司, 三村耕作, 河野浩二. 食道癌術後に左総頸動脈食道胃管吻合部瘻を発症し心肺停止に至ったが救命しえた1例. 日本消化器外科学会雑誌. 202309; 56(9):471-478.

望月翔太郎, 青砥慶太, 塚田学, 大須賀文彦, 遠藤豪一. 小腸穿孔をきたした成人T細胞性白血病リンパ腫の1例. 日本臨床外科学会雑誌. 202308; 84(8):1262-1266.

丸山裕也, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 高野祥直, 寺西寧. 術前診断が困難であった終末回腸に狭窄症状を呈した回腸憩室炎の1例. 日本臨床外科学会雑誌. 202312; 84(12):1868-1873.

深井智司, 早瀬傑, 大関篤, 丸山裕也, 遠藤久仁, 伊藤泰輔, 石井芳正, 河野浩二. 腸管切除を行わずに救命し得た消化管アミロイドーシスに非閉塞性腸管虚血を併発した1例. 福島医学雑誌. 202304; 73(1):7-11.

菅家康之, 伊藤泰輔, 菅原良太, 東條華子, 藤田正太郎, 八島玲, 勝部暢介, 田畑憲一, 野水整. Vater乳頭部癌を合併したLynch症候群の1例. 福島医学雑誌. 202304; 73(1):13-18.

仲野宏, 齋藤桂悦, 阿部香居, 叶多諒, 金澤匡司. Pembrolizumab投与中に急性発症1型糖尿病を発症したMSI-High直腸癌の1例. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):45-49.

〔その他〕

河野浩二. 胃がんにおける原発巣に近接する三次リンパ組織の免疫学的役割. GI Cancer Cutting Edge. 202305; 4(3-7):7.

書籍等出版物

河野浩二. 第17章 移植免疫. In: Abbas AK, Lichtman AH, Pillai S 著, 中尾篤人 監訳. 分子細胞免疫学: アバズ・リックマン・ピレ 原著第10版. 東京: エルゼビア・ジャパン; 202301. p.411-435.

佐瀬善一郎, 河野浩二. 第2章 消化器腫瘍外科の立場から 1. 上部・下部消化管. In: 小豆畑丈夫 編集. Oncologic Emergency A to Z: 腫瘍緊急を知る. 東京: へるす出版; 202309. p.12-17.

河野浩二, 三村耕作. 本ガイドブックの使い方. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんご家族のために—」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック 患者さんご家族のために 第2版. 東京: 金原出版; 202309. p.1-2.

河野浩二. 序文. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんご家族のために—」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック 患者さんご家族のために 第2版. 東京: 金原出版; 202309. p.3.

柴田昌彦, 河野浩二. はじめに. In: 柴田昌彦, 河野浩二 編. 消化器がん免疫療法の現在—がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.4-5.

中島隆宏. 4. 免疫チェックポイント阻害薬の歴史と現状. In: 柴田昌彦, 河野浩二 編. 消化器がん免疫療法の現在—がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.24-27.

河野浩二. 5. 免疫チェックポイント阻害薬の将来. In: 柴田昌彦, 河野浩二 編. 消化器がん免疫療法の現在 がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.28-34.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kono K. Gastric Cancer Treatment from a Surgeon's Perspective. 15th International Gastric Cancer Congress (IGCC 2023); 20230617; Yokohama.

Matsuishi A, Nakajima S, Sakuma M, Okayama H, Mimura K, Kono K. The impact of CLDN18 expression and natural killer cell infiltration on clinical outcomes in patients with gastric cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Okayama H. Targeting the Tumor Immune Microenvironment in Colorectal Cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Saito M. Development of Targeted Therapy for ARID1A-Deficient Gastric Cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Fukai S, Nakajima S, Katagata M, Sakuma M, Sato T, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Mimura K, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8+ T-cell infiltration in HER2-positive gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Involvement of several inhibitory immune checkpoint ligands in anti-PD-1 antibody therapy-resistant cases with malignant melanoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Kaneta A, Hayashita S, Mochizuki S, Kanoda R, Maruyama Y, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Saze S, Nakajima S, Mimura K, Kono K. Short-term outcomes of esophagectomy for elderly patients. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Nakajima S, Mimura K, Fukai S, Sakuma M, Ito M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Kono K. The effect of IL-34 triggered by neoadjuvant chemotherapy on the tumor-microenvironment and clinical outcomes in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Mimura K, Ogata T, Nakajima S, Hanayama H, Saze Z, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for patients with advanced gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231021; Yokohama.

Ozaki A, Tachibana K, Wada M, Saito H, Kaneda Y, Nishikawa Y, Murakami M, Hirai K, Ohira H, Sawano T, Kurokawa T, Tsubokura M, Kono K, Ohtake T, Takenoshita S. Long-term uptake rate of a breast cancer screening program in Fukushima, Japan, following the 2011 Triple Disaster: a retrospective observational study. 2023 San Antonio Breast Cancer Symposium; 20231205-09; San Antonio, USA.

金田晃尚, 叶多諒, 圓谷秀哲, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌術後補助化学療法の現状. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230224; 札幌.

佐瀬善一郎, 叶多諒, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 門馬智之, 河野浩二. ひとり立ちを目標とした内視鏡外科技術認定医取得に向けた手技指導. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230224; 札幌.

多田武志, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌単発肝転移に対して Nivolumab+SOX 療法後に肝切除を行った 1 例. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230224; 札幌.

花山寛之, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当院における 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対するリンパ節郭清の現状. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230224; 札幌.

岩田亜弓, 畑岡努, 鈴木博也, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 絹田俊爾. 当院における腸管気腫症に対する治療戦略. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230309; 宜野湾.

産本陽平, 絹田俊爾, 佐藤弘隆, 岩田亜弓, 畑岡努, 鈴木博也, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 荒川典之, 萩尾浩太郎. 内視鏡下摘出術が困難であった巨大な胃内異物に対し、外科的摘出術を行った幼児の 1 例. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230309; 宜野湾.

林嗣博, 絹田俊爾, 佐藤弘隆, 岩田亜弓, 畑岡努, 鈴木博也, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 萩尾浩太郎. 絞扼性腸閉塞に対する低侵襲手術の取り組み. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230309; 宜野湾.

鈴木博也, 佐藤弘隆, 岩田亜弓, 畑岡努, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 産本陽平, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾. 脾仮性嚢胞内に発生した脾仮性動脈瘤に対して、大動脈遮断を併用した外科手術が有用であった 1 例. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230310; 宜野湾.

畑岡努, 絹田俊爾, 佐藤弘隆, 岩田亜弓, 鈴木博也, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎. 胆嚢捻転症に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 2 例. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230310; 宜野湾.

松石彬, 仲野宏, 金澤匡司. 超高齢者の胆嚢捻転症に対し早期手術を施行し救命した 1 例. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230310; 宜野湾.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 芦澤舞, 川又崇弘, 根本鉄太郎, 富樫一智, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法を検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

岡山洋和, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 深井智司, 佐久間芽衣, 松本拓朗, 遠藤英成, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 中嶋正太郎, 三村耕作, 河野浩二. Molecular subtypes of colorectal cancer. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 深井智司, 佐藤孝洋, 金田晃尚, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

齋藤元伸, 仲野宏, 岡山洋和, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現の機序の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

佐藤孝洋, 齋藤元伸, 叶多諒, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

多田武志, 佐久間芽衣, 叶多諒, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 根治切除不能な進行・再発の食道癌に対する Pembrolizumab + FP 療法 13 症例の短期成績. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

西野一輝, 中尾詠一, 丸山裕也, 山本竜也, 俊山聖史, 鈴木優也, 宮川哲平, 阿左見亜矢佳, 外館幸敏, 藁谷暢, 本多通孝, 鈴木伸康, 高野祥直, 阿部幹, 寺西寧. 超高齢者の急性胆嚢炎に対する胆嚢摘出術の成績. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

花山寛之, 叶多諒, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対する開腹手術は高侵襲となりうるか. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

三村耕作, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 抗 PD-1 療法不応性病変のメカニズムと治療戦略について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

坂本渉, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 低位直腸癌に対するロボット支援側方リンパ節郭清のドレーン排液量減少効果と術後在院日数短縮効果—腹腔鏡下手術との比較—. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230428; 東京.

門馬智之, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. ガイドラインに基づく診療と教育: 現状と課題. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230428; 東京.

芦澤舞, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 富樫一智, 川又崇弘, 鈴木野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当院における腹会陰式直腸切斷術症例の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 腹腔鏡下またはロボット支援下低位前方切除術後の縫合不全症例の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

小野澤寿志, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy (TNT) の治療成績とその問題点. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

金田晃尚, 叶多諒, 圓谷秀哲, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃切除後胆石症の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

木村隆, 横山斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明, 古谷文彦. 外科学部門全体で取り組む外科専門医, サブスペ専門医のシームレスな研修体制の構築 NCD データに基づく明確なキャリアパスの提示とリクルート. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

佐久間芽衣, 坂本渉, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科における後方アプローチ手術5例の経験. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

楡井東, 叶多諒, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 食道術後乳糜胸に対するリポドールリンパ管造影の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

大石彩友美, 小山善久, 阿美弘文, 齋藤勝, 遠藤英成. 右卵管癌原発の転移性大腸癌の一例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

大関篤, 宮澤正紹, 松井田元, 石井恒, 又吉一仁, 武藤淳. 副腎外骨髄脂肪腫の一切除例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

長谷川誠, 阿美弘文, 齋藤勝, 早瀬傑, 中島隆宏, 北堀有希, 川名聡, 内海康文, 小山善久. 肉腫様未分化癌の組織像を呈し診断に難渋した胃癌骨格筋転移の1例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

森岡誠史, 川又崇弘, 山内直人, 塚田学, 大須賀文彦, 遠藤豪一. 増大傾向を示し手術施行した脾 SANT (sclerosing angiomatoid nodular transformation) の1例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

山口大輝, 鈴木眞一, 大関篤, 上野智史, 松井田元, 平井文子, 石井恒, 宮澤正紹, 又吉一仁, 武藤淳. 自律性機能性甲状腺結節に微小浸潤型濾胞癌を合併した1例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

菊池智宏, 渡辺洋平, 山田玲央, 金田晃尚, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. トラスツ
ズマブ・デルクステカンが著効した SMV 腫瘍栓を伴う高度進行胃癌の 1 例. 第 45 回日本癌局所療法研究会;
20230602; 東京.

圓谷秀哲, 藤田正太郎, 氏家大輔, 金田晃尚, 佐久間芽衣, 深井智司, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂
本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 化学療法に抵抗性を生じた S 状結腸癌術後再発に対し pembrolizumab
で長期生存を得た 1 例. 第 45 回日本癌局所療法研究会; 20230602; 東京.

花山寛之, 鈴木博也, 松石彬, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二.
進行胃癌に対する Ramucirumab+Nab-Paclitaxel 療法中に十二指腸断端ろうを生じた 1 例. 第 45 回日本癌局所療
法研究会; 20230602; 東京.

鈴木博也, 門馬智之, 外館幸敏, 河野浩二. 遺伝性腫瘍の医療連携について考えさせられた家族性大腸腺腫症の
1 例. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

竹村真生子, 岡崎護, 林嗣博, 井ノ上鴻太郎, 肥田樹, 芦澤舞, 産本洋平, 萩尾浩太郎, 水谷知央, 絹田俊
爾. 当院で経験したリ・フラウメニ症候群の一例. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

河野浩二. 治療介入に伴う腫瘍免疫微小環境の変化. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230622; 千葉.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門
馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 第
44 回癌免疫外科研究会; 20230622; 千葉.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二.
HER2 陽性胃がんにおいて HER2 経路が STING や CD8+T 細胞に及ぼす影響. 第 44 回癌免疫外科研究会;
20230623; 千葉.

宮本康太郎, 藤井あゆみ, 多田武志, 中山浩一, 浦住幸治郎, 岡本正俊. 胃浸潤からの出血のため手術を施行
した多発性骨髄腫の 1 例. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230623; 千葉.

金田晃尚, 鈴木博也, 松石彬, 丸山裕也, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二.
食道癌手術における鎖骨上リンパ節(104)郭清の意義. 第 77 回日本食道学会学術集会; 20230629; 大阪.

花山寛之, 鈴木博也, 松石彬, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二.
術前補助療法を施行した Stage II/III 食道癌患者における術前経管栄養の意義. 第 77 回日本食道学会学術集会;
20230629; 大阪.

深井智司, 門馬智之, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎,
河野浩二. 若年発症の虫垂 NET に対する 1 切除例. 第 99 回大腸癌研究会学術集会; 20230707; 尼崎.

岡山洋和, 片方雅紀, 遠藤英成, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 深井智司, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野
浩二. 大腸鋸歯状病変における間質プロファイリングの試み. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 佐藤孝洋, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

金田晃尚, 鈴木博也, 松石彬, 丸山裕也, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌に対する鎖骨上リンパ節(104)郭清の意義. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

叶多諒, 仲野宏, 金澤匡司. Pembrolizumab 投与により病理学的完全奏功が得られた局所進行上行結腸癌の 1 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

神賀貴大, 河村英恭, 本多通孝, 滝口光一, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 河野浩二. 転移性大腸癌患者の予後予測因子として CONUT 変法スコアの有用性の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

齋藤元伸, 佐藤孝洋, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 胃癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

坂本渉, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当院における進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant Therapy とロボット支援下側方郭清へ安全に共存可能か? ～. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

鈴木博也, 金田晃尚, 松石彬, 丸山裕也, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行胃癌に対する術後補助化学療法の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

中島隆宏, 長谷川誠, 北堀有希, 早瀬傑, 齋藤勝, 阿美弘文, Wickström S, Kiessling R, 小山善久, 河野浩二. KEAP1-Nrf2-ARE 経路の活性化によるエフェクター細胞の酸化ストレスへの抵抗性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

萩尾浩太郎, 絹田俊爾, 栗原悠太郎, 新田大地, 岩田亜弓, 肥田樹, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 芦澤舞. 当院における閉塞性大腸癌に対する BTS 症例の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

林嗣博, 絹田俊爾, 岩田亜弓, 肥田樹, 井ノ上鴻太郎, 芦澤舞, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 進行胃癌に対する術前化学療法の有効性の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

松井田元, 大関篤, 山口大輝, 上野智史, 石井恒, 宮澤正紹, 又吉一仁, 武藤淳. 糞石を伴う壊疽性虫垂炎症例の予測因子の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

山内直人, 望月翔太郎, 塚田学, 大須賀文彦, 遠藤豪一. ステージ I ～III 胃癌患者の術後補助化学療法の完遂・未完遂が全生存期間へ与える影響の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

小野澤寿志, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 肛門管扁平上皮癌に対する治療戦略. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

要知輝, 絹田俊爾, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 産本陽平, 芦澤舞, 萩尾浩太郎, 水谷知央, 岩田亜弓. 当院にお

ける腹腔鏡下胃癌手術とロボット支援下胃癌手術の短期成績の比較. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

菊池智宏, 佐藤孝洋, 金田晃尚, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 有茎空腸を用いた食道再建術の工夫と 14 例の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 河野浩二. 進行・再発食道扁平上皮癌症例における nivolumab 奏功群の免疫学的特徴. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

佐瀬善一郎, 松石彬, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 門馬智之, 河野浩二. 狭窄を予防する Gambee 縫合を用いた噴門側胃切除術上川法再建とその運針手技. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

佐藤孝洋, 深井智司, 遠藤英成, 高田信, 河野浩二. 腹腔鏡下手術を施行した坐骨ヘルニア嵌頓の 1 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

松石彬, 金田晃尚, 河野浩二. 高齢者に対する食道癌手術の短期成績. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

門馬智之, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. ロボット支援手術における腹膜外経路ストーマ造設術の工夫. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

井ノ上鴻太郎, 絹田俊爾, 岩田亜弓, 林嗣博, 芦澤舞, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 当院における進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の長期成績. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

岩田亜弓, 絹田俊爾, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 産本陽平, 芦澤舞, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 当院での超高齢者胃癌に対する適応と術式選択. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

氏家大輔, 圓谷秀哲, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸全摘術後における stoma outlet obstruction の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

大須賀文彦, 塚田学, 望月翔太郎, 山内直人, 遠藤豪一. 非還納性巨大臍径ヘルニアの手術待機中に門脈血栓症を発症した 1 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

栗原悠太郎, 絹田俊爾, 岩田亜弓, 肥田樹, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 産本陽平, 芦澤舞, 水谷知央. Wound retractor の二重装着が有用であった胃乳頭型腺癌に対する胃内手術の一例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

佐藤可奈子, 藤田正太郎, 菅家康之, 八島玲, 片方直人, 野水整. 1 年目初期研修医が da Vinci のシミュレーターを経験して. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

千田峻, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腸管陰嚢に対して腸間膜 flap による修復術を施行した 2 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

高野祥直, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 鈴木優也, 益子隆太郎, 西野一輝, 片方雅紀, 本多通孝, 鈴木伸康. 術前化学放射線治療後の進行直腸癌に対するロボット支援下手術の工夫. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

月岡純, 菅家康之, 藤田正太郎, 八島玲, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 家族性大腸腺腫症に合併し脾温存全十二指腸切除術を施行した多発十二指腸腺腫の 1 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

圓谷秀哲, 岡山洋和, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. S 状結腸癌に対する S 状結腸切除および子宮頸がんに対する子宮全摘術後に左尿管狭窄を生じた一例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

新田大地, 絹田俊爾, 岩田亜弓, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 産本陽平, 芦澤舞. 十二指腸一腹腔鏡内視鏡合同手術(D-LECS)を施行した 2 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

花山寛之, 鈴木博也, 松石彬, 丸山裕也, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 85 歳以上の高齢者に対する胃切除術の安全性に関する検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

深井智司, 坂本渉, 遠藤英成, 多田武志, 花山寛之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 地方大学における外科教育・働き方改革のためのオンライン活用術. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

丸山裕也, 花山寛之, 鈴木博也, 松石彬, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 多田武志, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃 GIST に対する腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS)の適応と治療戦略. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

水谷知央, 絹田俊爾, 芦澤舞, 萩尾浩太郎, 林嗣博, 産本陽平, 井ノ上鴻太郎, 肥田樹, 岩田亜弓, 木嶋泰興. 胆管内発育型遠位胆管癌を疑い SSPD を施行した, 胆管混合性神経内分泌非神経内分泌腫瘍 (MiNEN) の 1 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

中尾詠一, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 俊山聖史, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 鈴木伸康, 高野祥直. 切除不能遠隔転移を伴う局所進行大腸癌に対する原発巣切除先行の意義. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

中嶋正太郎, 金田晃尚, 岡山洋和, 菊池智宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 佐久間芽衣, 三村耕作, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 小野澤寿志, 門馬智之, 河野浩二. 腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路が pMMR/MSS 大腸癌の CD8+T 細胞浸潤や予後に及ぼす影響. 第 82 回日本癌学会学術総会; 20230921; 横浜/Web.

小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. BRAF 変異陽性大腸癌に対する 3 剤もしくは 2 剤併用化学療法の評価. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

金田晃尚, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 菊池智宏, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌高リスク症例に対する二期分割手術の短期成績. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

叶多諒, 菊池智宏, 林下宗平, 望月翔太郎, 丸山裕也, 金田晃尚, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道 GIST に対して胸腔鏡内視鏡合同手術を施行した 1 例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

木口託見, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 憩室内に発生した S 状結腸早期癌の 1 例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

佐瀬善一郎, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 花山寛之, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ロボット支援食道癌根治術導入期における安全性評価. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

千田峻, 圓谷秀哲, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌および子宮頸癌術後に生じた尿管虚血により尿管閉塞を来した症例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

楡井東, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における十二指腸腫瘍に対する外科治療戦略. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

橋本万理, 菊池智宏, 金田晃尚, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. Nivolumab・SOX 療法が奏功した肝転移を伴う十二指腸癌の一例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

林下宗平, 楡井東, 望月翔太郎, 丸山裕也, 叶多諒, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. アカラシアを合併した進行食道癌に対して術前化学療法後に切除し得た一例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

花山寛之, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行食道癌の術後合併症における栄養状態が与える影響. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

深井智司, 片方雅紀, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

松石彬, 金田晃尚, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 楡井東, 菊池智宏, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当院における高齢者食道癌に対する手術成績. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

望月翔太郎, 林下宗平, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 花山寛之, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 咽喉頭食道摘出術に対する遊離空腸再建術 34 例の検討. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

伊藤美郷, 三村耕作, 中嶋正太郎, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌 TME における HO-1 発現を介する M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加について. 第 61

回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

岡山洋和, 圓谷秀哲, 松石彬, 片方雅紀, 深井智司, 中嶋正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β -activated tumor microenvironment in serrated colorectal neoplasia. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

齋藤元伸, 河野浩二. がん遺伝子パネル検査前後の諸問題について. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 伊藤美郷, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントリガンドの発現. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

末永佳奈子, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌の耳下腺転移を来し、急激な転帰を辿った1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

圓谷秀哲, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 骨盤部の巨大腫瘍に対して後方アプローチ併用下に骨盤内臓全摘術を施行した1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

芦澤舞, 深井智司, 伊藤美郷, 遠藤英成, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 齋藤勝治, 佐藤孝洋, 佐久間芽衣, 深井智司, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β 活性を有する腫瘍微小環境のTIM-3とM2マクロファージへの影響について. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

菊池智宏, 佐瀬善一郎, 金田晃尚, 楡井東, 花山寛之, 河野浩二. 胃噴門部GISTに対するロボット支援完全腹腔鏡下神経温存噴門側胃切除術観音開き法再建. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

小針大輝, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌術後5年で“DSTの耳”の部分が閉塞をきたし、粘膜下腫瘍との鑑別を要した1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸悪性腫瘍に対する側方リンパ節郭清におけるロボット支援手術の有用性. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

丸山裕也, 花山寛之, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃GISTに対するLECS手技のcrown法の有用性について. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

三村耕作, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における複数の免疫チェックポイント経路を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌術後ストーマ周囲壊疽性膿皮症の検討. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

芦澤舞, 小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 氏家大輔, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する術前治療症例の検討. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 肛門管扁平上皮癌に対する治療戦略. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

叶多諒, 仲野宏, 金澤匡司. 骨盤死腔炎治療中に発症したメトロニダゾール脳症の 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

藤田正太郎, 星野啓太, 中島隆宏, 八島玲, 野水整, 竹之下誠一. 陰囊に 2 次孔を認めた複雑痔瘻の 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

萩尾浩太郎, 小林弘幸, 杉本明生, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 肥田樹, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 絹田俊爾, 水谷知央, 興石直樹. 腸回転異常症を背景とした傍ストーマヘルニアを併発しストーマ脱出による人工肛門壊死を来した 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

河野浩二. 食道癌における治療介入による腫瘍微小環境リモデリング. 第 74 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20231114; 福岡.

大関篤, 宮澤正紹, 森友輔, 松井田元, 石井恒, 又吉一仁, 武藤淳. 肝内胆管癌術後脳転移再発の一例. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

片方雅紀, 阿部幹, 鈴木伸康, 西野一輝, 對馬泰行, 鈴木優也, 中尾詠一, 宮川哲平, 川村英恭, 阿左見亜矢佳, 外館幸敏, 藁谷暢, 本多通孝, 高野祥直, 寺西寧. 胆管原発膵内分泌細胞癌の一例. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

鈴木優也, 本多通孝, 西野一輝, 對馬泰行, 柿沼寛人, 益子隆太郎, 片方雅紀, 中尾詠一, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 水酸化カリウム水溶液服用による腐食性食道炎に対して、胸腔鏡下食道亜全摘術を施行した 1 例. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

高野祥直, 中尾詠一, 宮川哲平, 川村英恭, 外館幸敏, 西野一輝, 片方雅紀, 阿部幹, 本多通孝, 寺西寧. ロボット支援下 DST 吻合における縫合不全回避の工夫. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

土山光陽, 鈴木伸康, 片方雅紀, 阿部幹, 西野一輝, 鈴木優也, 中尾詠一, 宮川哲平, 川村英恭, 阿左見亜矢佳, 外館幸敏, 藁谷暢, 本多通孝, 高野祥直, 寺西寧. 腹膜播種を有する切除不能膵癌に対して conversion surgery を施行した一例. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

松井田元, 武藤淳, 小林美苑, 大関篤, 森友輔, 石井恒, 平井文子, 宮澤正紹, 又吉一仁. 減量・減薬化学療法が著効した幽門側胃切除後の十二指腸に発生した高齢者腺癌の1例. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231117; 岡山.

黒川真範, 藤田正太郎, 星野啓太, 中島隆宏, 八島玲, 野水整. 動脈瘤破裂止血後の正中弓状靱帯圧迫症候群に対し正中弓状靱帯切開術を施行した1例. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231118; 岡山.

鈴木智大, 藤田正太郎, 星野啓太, 中島隆宏, 八島玲, 野水整. こんなにやくによる高齢者の食餌性腸閉塞の1例. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231118; 岡山.

星野啓太, 藤田正太郎, 中島隆宏, 八島玲, 野水整. 術中の蛍光尿管ステント使用が尿管の同定に有用であった上行結腸癌の1切除例. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231118; 岡山.

宮川哲平, 西野一輝, 柿沼寛人, 益子隆太郎, 山本竜也, 俊山聖史, 鈴木優也, 片方雅紀, 中尾詠一, 河村英恭, 外館幸敏, 高野祥直, 本多通孝. 下部直腸癌術前 CRT の奏功と FDG 集積に関する臨床病理学的検討. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231118; 岡山.

長谷川誠, 東倉賢治郎, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 絹田俊爾. 当院における LCA/SRA 温存腹腔鏡下 S 状結腸切除術の手術手技の工夫. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231207; 横浜.

井ノ上鴻太郎, 絹田俊爾, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 産本陽平, 林嗣博. 当院における進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の長期成績. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

岩田亜弓, 伊藤泰輔, 北堀有希, 菅家康之, 遠藤久仁. 嵌頓後用手整復し、TAPP 法にて修復した巨大鼠径部膀胱ヘルニアの一例. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

遠藤久仁, 要知輝, 北堀有希, 岩田亜弓, 林下宗平, 菅家康之, 石井芳正. 骨盤臓器脱術後症例へロボット支援下直腸切断術を施行した1例. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

片方雅紀, 鈴木伸康, 柿沼寛人, 益子隆太郎, 鈴木優也, 中尾詠一, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 藁谷暢, 本多通孝, 高野祥直, 阿部幹. 受傷機転から2年後に横隔膜ヘルニアを生じ腹腔鏡下手術を施行した1例. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

小林弘幸, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央, 絹田俊爾. 体外結紮を併用することで腹腔鏡下に簡便にヘルニア門を閉鎖し得た Morgagni hernia の1例. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

佐瀬善一郎, 林下宗平, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 門馬智之, 河野浩二. Gambee 縫合を用いた鏡視下噴門側胃切除術上川法再建とその運針手技. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

佐藤雄哉, 永嶋一貴, 貫井聖人, 米澤博貴, 赤須雅文, 菅家康之, 赤繁徹, 巖康仁, 佐藤公太, 遠藤久仁, 伊藤泰輔, 石井芳正. 当院におけるロボット支援下胃切除術の導入と手術手技について. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

東倉賢治郎, 絹田俊爾, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 腹腔鏡下に切除した食道癌 ESD 後腹腔内リンパ節再発の一例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

林嗣博, 絹田俊爾, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 産本陽平, 萩尾浩太郎, 水谷知央, 井ノ上鴻太郎. 絞扼性腸閉塞の低侵襲手術と治療成績. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

本多正樹, 絹田俊爾, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央. ロボット支援下結腸右半切除術における頭側先行アプローチ～真の 223 郭清お見せします～. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

水谷知央, 絹田俊爾, 萩尾浩太郎, 産本陽平, 井ノ上鴻太郎, 肥田樹, 本多正樹, 長谷川誠, 東倉賢治郎, 小林弘幸. 当科における腹腔鏡下 RAMPS の症例検討. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

山下直行, 萩原信敏, 氏家大輔, 河野浩二, 吉田寛. 胸腔鏡下に縦郭リンパ節孤立性再発を切除しえた食道胃接合部癌の 1 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

加藤茉莉, 山浦匠, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾. 肺腺癌術後の胃小弯リンパ節転移に対して腹腔鏡下リンパ節摘出術を施行した 1 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

熊谷康平, 産本陽平, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾. 胆嚢捻転症に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 3 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

産本陽平, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾. LPEC 施行中に内性器異常を認め、Turner 症候群と診断した 1 歳女児例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

新田大地, 絹田俊爾, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 胃異所性腺癌に対して腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除術を施行した 1 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

丸谷将泰, 絹田俊爾, 東倉賢治郎, 長谷川誠, 本多正樹, 井ノ上鴻太郎, 産本陽平, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 消化器外科と泌尿器科で同時ロボット支援下手術を施行した 2 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. HER2 不均一発現を呈する胃癌症例から検討する HER2 シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

圓谷秀哲, 三村耕作, 松石彬, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における VEGF 経路を標的とした regulatory T 細胞の制御方法の開発について. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

松石彬, 中嶋正太郎, 圓谷秀哲, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. CLDN18 発現と腫瘍浸潤 NK 細胞が胃癌患者の臨床転機に及ぼす影響. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

〔シンポジウム〕

Mimura K, Nakajima S, Ogata T, Saze Z, Oshima T, Kono K. Potential of liquid biopsy using flow cytometry and repertoire analysis for advanced gastric cancer. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

絹田俊爾, 市川大輔, 長谷川誠, 本多正樹, 産本陽平, 井ノ上鴻太郎, 林嗣博, 萩尾浩太郎, 水谷知央. 当院における局所進行胃癌に対するオーダーメイドサージェリー〜Robot により可能となった option〜. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

三村耕作, 鈴木義行, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行・再発胃癌に対する複合がん免疫療法の開発. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

〔招待講演〕

佐瀬善一郎. 鏡視下噴門側胃切除術 上川法再建一連針の工夫を中心に. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

肝胆膵・移植外科学講座

論 文

〔原 著〕

Kajiwara Y, Takahashi A, Ueno H, Kakeji Y, Hasegawa H, Eguchi S, Goi T, Saiura A, Sasaki A, Takiguchi S, Takeuchi H, Tanaka C, Hashimoto M, Hiki N, Horiguchi A, Matsuda S, Mizushima T, Marubashi S, Gotoh M, Konno H, Yamamoto H, Miyata H, Seto Y, Kitagawa Y; National Clinical Database. Annual report on National Clinical Database 2020 for gastroenterological surgery in Japan. *Annals of Gastroenterological Surgery*. 202302; 7(3):367-406.

Takagi T, Sugimoto M, Imamura H, Takahata Y, Nakajima Y, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Shibukawa G, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A multicenter comparative study of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using a Franseen needle versus conventional endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration to evaluate microsatellite instability in patients with unresectable pancreatic cancer. *Clinical Endoscopy*. 202301; 56(1):107-113.

Nishimagi A, Kobayashi M, Sugimoto K, Kofunato Y, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Marubashi S, Chiba H. Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510

is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence. *Clinical and Experimental Medicine*. 202312; 23(8):4985-4995.

Yoshida S, Fujita M, Ishigame T, Kobayashi Y, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Yoshida H, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H, Migita K. Case report: Unusual development of hepatocellular carcinoma during immunosuppressive treatments against rheumatoid arthritis overlapping Sjögren's syndrome; cirrhotic steatohepatitis with liver inflammation and fibrosis lurks in autoimmune disorders. *Frontiers in Immunology*. 202302; 14:1089492.

Ichihara N, Sato N, Marubashi S, Miyata H, Eguchi S, Ohdan H, Umeshita K, Gotoh M. Achieving clinically optimal balance between accuracy and simplicity of a formula for manual use: Development of a simple formula for estimating liver graft weight with donor anthropometrics. *PLOS ONE*. 202301; 18(1):e0280569.

Sato N, Marubashi S. Reply to the Letter to the Editor: Oncological benefit of anatomic resection for patients with hepatocellular carcinoma. *Surgery Today*. 202310; 53(10):1217.

Suzushino S, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Waguri S, Marubashi S. Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemented with Adipose-Derived Stem Cells. *Tissue Engineering. Part A*. 202307; 29(13-14):384-396.

Kubo M, Tomimaru Y, Gotoh K, Kobayashi S, Marukawa D, Sasaki K, Iwagami Y, Yamada D, Akita H, Noda T, Takahashi H, Asaoka T, Tanemura M, Marubashi S, Nagano H, Dono K, Doki Y, Eguchi H. Long-Term Feasibility of Rescue Reconstruction for Isolated Bile Ducts With Using Cystic Duct in Living Donor Liver Transplantation. *Transplantation Proceedings*. 202309; 55(7):1611-1617.

二見徹, 土屋貴男, 草間大輔, 小鹿山陽介, 齋藤敬弘, 岡田良, 大谷聡, 伊東藤男. 大腸癌患者における術前免疫, 栄養状態と予後および病理学的因子との関連. *福島医学雑誌*. 202312; 73(3):73-78.

〔総説等〕

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【胆管再建を見直す】成人総胆管拡張症に対する胆管空腸吻合. *手術*. 202303; 77(3):329-333.

芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【IPMN 診療の新知見】膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の手術適応と術式. *消化器外科*. 202312; 46(12):1315-1320.

石亀輝英, 丸橋繁. 【肝胆膵外科 高度技能専門医をめざせ!】総論 手術記事の書き方 肝臓編. *臨床外科*. 202310; 78(10):1184-1189.

〔症例報告〕

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏効 (pCR) を得た後, 腹膜播種再発を生じた膵癌の1例. *癌と化学療法*. 202312; 50(12):1311-1313.

小野広夢, 東孝泰, 岡田良, 木暮道彦. 胆嚢管低位合流の胆嚢結石症に対し術中胆嚢管造影を用いて腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌. 202303; 43(3):683-686.

二見徹, 岡田良, 草間大輔, 齋藤敬弘, 伊東藤男, 土屋貴男. 25 歳女性の脳性麻痺患者に発症した右側結腸軸捻の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 202306; 84(6):904-910.

〔その他〕

小船戸康英, 丸橋繁. 消化器外科 Special Lectures(第 14 回) 高齢者に対する消化器外科手術. 消化器外科. 202310; 46(10):1129-1135.

書籍等出版物

丸橋繁. 厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業「高齢者消化器がん手術における診療指針策定と、指針普及・人材育成を目指した協働型意思決定支援システムおよび病院評価プログラムの開発」 令和 3 年度～令和 4 年度 総合研究報告書. 福島: 2023.

丸橋繁. 高齢者に対する消化器外科手術診療指針 2023. 東京: へるす出版; 202303.

佐藤直哉. CQ4-6 抗体陽性で治療非介入は予後不良か【臍 解説】. In: 日本移植学会臓器移植抗体陽性診療ガイドライン策定委員会 編集. 臓器移植抗体陽性診療ガイドライン 2023. 東京: ぱーそん書房; 202307. p.141-142.

岡田良. 第 2 章 消化器腫瘍外科の立場から 2. 肝・胆・膵. In: 小豆畑丈夫 編集. Oncologic Emergency A to Z: 腫瘍緊急を知る. 東京: へるす出版; 202309. p.18-24.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐藤直哉. 肝移植の成績向上に向けた取り組みー肝臓内科医と移植医の連携ー. 福島県肝疾患 Web セミナー; 20230130; Web.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. GEM+nab-PTX 療法により長期生存が得られている膵癌術後再発の 1 症例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏功 (pCR) を得た後、術後 20 ヶ月の時点で腹膜播種再発を生じた膵癌の 1 例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田

良, 木村隆, 丸橋繁. 当施設における膵腎同時移植の治療経験. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

佐藤直哉, 鈴志野聖子, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と膵島細胞の複合細胞シートにおける細胞間微細構造の観察. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

東孝泰, 木暮道彦, 鈴木健悟, 取出俊平. セフトリアキソン長期投与患者における偽胆石出現のリスク因子の検討. 第 59 回日本腹部救急医学会総会; 20230309-10; 宜野湾.

清水裕史, 滝口和暁, 石亀輝英, 丸橋繁, 田中秀明. ロボット支援下脾温存尾側膵切除術を行った solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例. 第 44 回東北小児がん研究会; 20230318; 仙台.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆嚢腫瘍の術前診断における MRI 拡散強調画像の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-29-4.

西間木淳, 杉本幸太郎, 小林信, 小船戸康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 千葉英樹, 丸橋繁. 肝臓における核内受容体 LXR1 異常リン酸化の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-56-2.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除における術中胆汁細菌培養の有用性の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-5.

見城明, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 岡田良, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 胆道癌に対する肝切除術の術後肝不全予測因子に関する検討—術中 ICG クリアランス測定の有用性に関する検討—. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-7.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前治療・外科手術における膵癌の生物学的悪性度の意義. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-160-2.

武藤亮, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌手術後の残膵体積と糖尿病・栄養・体組成の関係. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-163-5.

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌手術症例における GLIM 基準による術前栄養評価の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-167-8.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵良性/境界悪性疾患に対する自動縫合器による尾側膵切除時の切離時間短縮化への試み. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

木村隆, 横山斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明, 古谷文彦. 外科学部門全体で取り組む外科専門医、サブスペ専門医のシームレスな研修体制の構築 NCD データに基づく明確なキャリアパスの提示とリクルート. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

石亀輝英, 丸橋繁. 当講座における肝胆膵・移植外科領域の分子細胞治療研究. 第 25 回外科分子細胞治療研究会; 20230428; 東京/Web.

東孝泰, 木暮道彦. 前立腺摘除後鼠径ヘルニア発生のリスク因子の検討. 第 9 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

菅野由佳, 岡田良, 山口大輝, 齋藤敬弘, 伊東藤男, 土屋貴男. 十二指腸下行部 Vater 乳頭対側に位置する十二指腸 GIST に対して十二指腸楔状切除術を施行した二例. 第 9 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

菅原良太, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当院における高齢者膵癌に対する膵頭十二指腸切除術の忍容性に関する検討. 第 9 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

緑川雄亮, 武藤亮, 東孝泰, 月田茂之, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 急速な増大で Oncology Emergency を呈した血球増多を伴う胆嚢癌の 1 例. 第 9 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

東孝泰, 佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術後に判明したクロスマッチ陽性および DSA 陽性 (高 MFI 値) 症例に対する脳死肝移植の経験. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

佐藤直哉, 見城明, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 丸橋繁. 巨大脾腎シャントを伴う末期肝硬変症例に対する門脈再建の工夫. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

武藤亮, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脳死肝移植における肝静脈再建法とその短期成績. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

阪内麻里子, 滝口和暁, 清水裕史, 石亀輝英, 丸橋繁, 田中秀明. ロボット支援下脾温存脾体尾部切除術を行った solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例. 第 98 回日本小児外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

山口大輝, 岡田良, 菅野由佳, 草間大輔, 二見徹, 齋藤敬弘, 伊東藤男, 土屋貴男. 前庭部胃癌のリンパ節転移を疑った小網原発 GIST の 1 例. 第 183 回東北外科集談会; 20230610; 仙台.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化シートの血管誘導効果. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230615-16; 奈良.

菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 見城明. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究. 第 25

回日本医療マネジメント学会学術総会; 20230623-24; 横浜.

Haga J, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Experience with six cases of hepatic cysts in our department and changes in surgical technique. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Risk factors for nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD) after pancreaticoduodenectomy. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. The effect of surgical margin status on survival for perihilar cholangiocarcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A retrospective study of recurrence site of Gallbladder Cancer after Surgery. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Muto M, Yoshida H, Abe T, Saito T, Miyazawa M, Tsuchiya T, Koyama Y, Yahima R, Marubashi S. The effect of preoperative biliary drainage on the perioperative outcomes of pancreatoduodenectomy for biliary tract cancer. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Nishimagi A, Ishigame T, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of long-term survival treated with surgical resection for VP4 hepatocellular carcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Sato N, Ishigame T. Prediction of postoperative liver failure with intraoperative direct measurement of ICG clearance in the future remnant liver. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Tsukida S, Sato N, Nishimagi A, Muto M, Kofunato Y, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of intractable lymphatic leakage after pancreaticoduodenectomy for pancreatic adenocarcinoma, successfully treated with lymphangiography using Lipiodol. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の導入に向けた準備と初期成績. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. O30-3.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 見城明, 丸橋繁. 術中MRIを用いた肝切除術の適応と有用性. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P025-4.

木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 見城明, 丸橋繁. 手術訓練、外科医学教育のための外科医自身が編集可能な3Dデジタルコンテンツの開発. 第78回日本消化器外

科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P090-7.

西間木淳, 小船戸康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
転移性胆脾腫瘍に対する外科的切除の有用性. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集.
P147-1.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
切除可能脾癌に対する術前治療の個別化への挑戦. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄
録集. P251-5.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
脾臓十二指腸切除術後脾液瘻に対する再建法の比較検討～柿田変法 vs Blumgart 法～. 第78回日本消化器外科学
会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P267-6.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁.
肝移植レシピエントに発症した消化器 de novo malignancy に対する治療上の課題. 第78回日本消化器外科学会総
会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. RS1-4.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
脾臓十二指腸切除術を施行した高齢者脾癌においてサルコペニアが予後に与える影響. 第78回日本消化器外科学
会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. RS17-2.

上野未来, 石亀輝英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
胆脾領域癌における終末期出血性イベントに対する IVR の有用性. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-
14; 函館/Web.

小鹿山陽介, 大森健, 原尚志, 新野直樹, 山本昌明, 菅生貴志, 武岡奉均, 金村剛志, 安井昌義, 宮田博志.
切除不能進行胃癌に対し化学療法+Nivo または Tmab 投与後に conversion 手術を施行した症例の臨床病理学的検
討. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

管野由佳, 佐藤直哉, 丸橋繁. 完全内臓逆位に伴う脾尾部神経内分泌腫瘍に対するロボット支援下脾体尾部切除
術の1例. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

藤井あゆみ, 佐藤佳宏, 渡邊淳一郎. 胃穹窿部の GIST に対する腹腔鏡下胃局所切除において Artisential 多関
節持針器を用いて体腔内縫合をした1例. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

星野啓太, 佐藤直哉, 丸橋繁. 腫瘍硬度測定が HCC との鑑別に有効と考えられた肝血管筋脂肪腫の1切除例.
第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

渡邊淳一郎, 佐藤佳宏, 藤井あゆみ, 橋本敏夫, 菅野博隆. V-P シヤント機能不全を来した腹腔内髄液仮性嚢胞
に対し、腹腔鏡下に開窓したシヤントチューブを移動した1例. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14;
函館/Web.

東孝泰. 急性出血性胃潰瘍患者のショックの発症予測因子の検討. 福島消化器疾患セミナー; 20230908; 福島/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 集学的治療が奏功しているオリゴ転移陽性肝内胆管癌の1切除例. 第59回日本胆道学会学術集会; 20230914-15; 札幌. 胆道. 37(3):718.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植に関する福島県民の意識調査. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):251.

東孝泰, 佐藤直哉, 見城明, 西間木淳, 武藤亮, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 当科における肝移植後 de novo 発癌症例の検討と対策. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):324.

荒井奈津希, 國分希美, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学附属病院におけるレシピエント移植コーディネーターの活動へ体制整備から今日の取り組みまで. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植の普及啓発における市民公開講座の効果. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

千葉裕仁. 米国での外傷外科フェローの経験. 福島肝胆膵外科 Acute Care Surgery セミナー; 20231003; 福島 /Web.

大関篤. 膵癌術前治療の現状と課題. うつくしま消化器外科学術フォーラム 2023; 20231014; 郡山/Web.

東孝泰. 消化器外科領域における漢方薬の使用経験. 第14回福島県立医大東洋医学研究会; 20231026; 福島.

尾形誠弥, 清水裕史, 二見徹, 町野翔, 石亀輝英, 丸橋繁, 田中秀明. ロボット支援下脾温存尾側膵切除術を行った solid-pseudopapillary neoplasm の1例. 第42回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20231026-27; 福岡.

見城明, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究～研修修了者のインタビュー調査より～. 日本医療マネジメント学会第11回福島支部学術集会; 20231028; 須賀川.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. IPMN における浸潤癌と術前因子の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):369.

菅原良太, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 75歳以上の高齢者膵癌に対する膵頭十二指腸切除術の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):376.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 菅原良太, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における Intracystic Papillary Neoplasm 4例の経験. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本

消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):541.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 血清 Albumin 値を用いた栄養指標による膵癌の予後予測. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):544.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌切除後の CA19-9 異常高値の予後に与えるインパクト. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):548.

東孝泰, 木暮道彦. COVID-19 流行下での胃癌／大腸癌ステージ推移の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

東孝泰, 木暮道彦. 高齢患者でのセフトリアキソン長期投与における偽胆石出現のリスク因子の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 引地拓人, 丸橋繁, 大平弘正. 肝内胆管からの術後胆汁漏における内視鏡的経乳頭胆道ドレナージ術の治療成績. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

武藤亮, 吉田寛, 阿部幹, 斎藤拓朗, 宮澤正紹, 土屋貴男, 小山善久, 八島玲, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術における膵空腸再建法の比較 (Blumgart 変法 vs 柿田式). JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 千葉裕仁, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における腹腔鏡下再肝切除の短期成績. 第 17 回肝臓内視鏡外科研究会; 20231115; 岡山.

武藤亮, 東孝泰, 月田茂之, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の短期成績と低侵襲性の評価. 第 15 回膵臓内視鏡外科研究会; 20231115; 岡山.

大関篤, 宮澤正紹, 森友輔, 松井田元, 石井恒, 又吉一仁, 武藤淳. 肝内胆管癌術後胆管移行再発の一例. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の短期成績. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 見城明, 木村隆, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除における手技の工夫. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

月田茂之, 小船戸康英, 東孝泰, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における低侵襲脾切除術の取り組み. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

渡邊淳一郎, 佐藤佳宏, 藤井あゆみ. 脳室-腹腔シャントの造設や機能不全に対する処置を腹腔鏡下に実施した 3 例. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

〔シンポジウム〕

Marubashi S, Kofunato Y, Kumamaru H, Kakeji Y, Kitagawa Y, Seto Y, Rakugi H, Akishita M, Nakajima K, Miyata H, Gotoh M. Establishment of a Geriatric Risk Model and Future Considerations in Gastroenterological Surgery for the Aging Population. 12th IAGG Asia/Oceania Regional Congress; 20230612-15; Yokohama.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁, 鈴木玲, 高木忠之, 大平弘正. 当院における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion Surgery の経験. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

小船戸康英, 見城明, 丸橋繁. 膵癌、肝臓における高齢者の手術適応と高齢者リスクカリキュレーターを検証. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎.

丸橋繁. 高齢者に対する膵管内乳頭粘液性腫瘍の治療法と外科手術. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎.

石亀輝英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学における肝胆膵領域ロボット支援下手術に対する取り組みと短期成績. 第 34 回内視鏡外科フォーラム in 盛岡; 20230520; 盛岡.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 成人生体肝移植における術後胆管狭窄のリスク因子解析と胆道再建法変更による効果. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ICG 蛍光法を用いた術中ナビゲーション. 第 48 回日本外科系連合学会学術集会; 20230607-09; 横浜. 日本外科系連合学会誌. 48(3):295.

Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Kenjo A, Marubashi S. Development of 3D Simulation Technology in Pancreatic Surgery. Combining knowledge based on hepatobiliary and pancreatic surgeon's experience with state-of-the-art 3D modeling technology. 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 非心臓手術における合併症疾患の評価～外科医の立場から～. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916-17; 奈良.

穴澤貴行, 丸橋繁, 小玉正太, 後藤昌文, 江口英利, 丸山通弘, 霜田雅之, 野口洋文, 伊藤泰平, 剣持敬, 波多野悦朗, 後藤満一. 膵臓移植臨床試験: CIT-J003 の結果と今後の発展への課題. 第 59 回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

見城明, 佐藤直哉, 東孝泰, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴木野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 膵臓移植における腸管ドレナージ: 回腸十二指腸側々吻合について. 第 59 回

日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):199.

鈴木弘行, 見城明, 丸橋繁. 当院における働き方改革へ向けた取り組み～タスクシェアと外科研修～. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231019-21; 仙台.

見城明, 木村隆, 丸橋繁. 肝門部領域胆管癌に対する血管合併切除再建例の検討と成績向上のための課題. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

〔特別講演〕

丸橋繁. 各領域における高齢がん患者治療の現状 総合討論「実臨床における高齢がん患者の治療の進め方について」. 第1回高齢者がん診療向上のための国際セミナー; 20230805; 東京/Web.

石亀輝英. 胆道癌診療トピックス手術～薬物療法まで TOPAZ1 レジメンを中心に. 第1回うつくしま消化器外科学術セミナー; 20230908; 郡山.

丸橋繁. 地方大学の挑戦: 進化する外科医療と移植医療イノベーション. 第3回肝臓外科手術フォーラム; 20230925; 東京.

岡田良. 膵臓がん(膵腫瘍)に対する外科治療. 日本消化器病学会東北支部第92回市民公開講座; 20230930; 須賀川.

〔招待講演〕

丸橋繁. 外科(消化器外科)ってどんなところ?: 限界を見てみたいと思って飛び出した。その、行き着いたところは… 福島赤十字病院研修医レクチャー; 20231109; 福島.

〔その他〕

小船戸康英. 術前に知っておくべき血行走行～肝胆膵領域の動脈走行を中心に～. 消化器外科専門医をめざすセミナー; 20230127; Web.

石亀輝英. 膵疾患に対する Minimally Invasive Surgery. 第378回福島消化器病研究会; 20230324; 福島/Web.

東孝泰. 外科専門医の過ごし方. 消化器外科専門医をめざすセミナー; 20230519; 福島/Web.

小船戸康英. 消化管吻合の基本. 消化器外科専門医をめざすセミナー; 20230519; 福島/Web.

呼吸器外科学講座

論文

〔原 著〕

Kubota Y, Han Q, Reynoso J, Aoki Y, Masaki N, Obara K, Hamada K, Bouvet M, Tsunoda T, Hoffman RM. Old-age-induced obesity reversed by a methionine-deficient diet or oral administration of recombinant methioninase-producing *Escherichia coli* in C57BL/6 mice. *Aging*. 202306; 15(11):4642-4648.

Usuzaki T, Takahashi K, Takagi H, Ishikuro M, Obara T, Yamaura T, Kamimoto M, Majima K. Efficacy of exponentiation method with a convolutional neural network for classifying lung nodules on CT images by malignancy level. *European Radiology*. 202312; 33(12):9309-9319.

Hamada K, Isobe J, Hattori K, Hosonuma M, Baba Y, Murayama M, Narikawa Y, Toyoda H, Funayama E, Tajima K, Shida M, Hirasawa Y, Tsurui T, Ariizumi H, Ishiguro T, Suzuki R, Ohkuma R, Kubota Y, Sambe T, Tsuji M, Wada S, Kiuchi Y, Kobayashi S, Kuramasu A, Horiike A, Kim YG, Tsunoda T, Yoshimura K. *Turicibacter* and *Acidaminococcus* predict immune-related adverse events and efficacy of immune checkpoint inhibitor. *Frontiers in Immunology*. 202305; 14:1164724.

Ohkuma R, Miura S, Muto S, Toyomasu Y, Fujimoto Y, Ieguchi K, Onishi N, Shimizu T, Watanabe M, Takayanagi D, Goshima T, Horiike A, Hamada K, Ariizumi H, Shimokawa M, Hirasawa Y, Ishiguro T, Suzuki R, Iriguchi N, Tsurui T, Mura E, Takenoshita S, Numajiri K, Okabe N, Yoshimura K, Tsuji M, Kiuchi Y, Yajima T, Ishida H, Suzuki H, Yamochi T, Kobayashi S, Tsunoda T, Wada S. Novel quantitative immunohistochemical analysis for evaluating PD-L1 expression with phosphor-integrated dots for predicting the efficacy of patients with cancer treated with immune checkpoint inhibitors. *Frontiers in Immunology*. 202309; 14:1260492.

Higuchi M, Nagata T, Iwabuchi K, Sano A, Maekawa H, Idaka T, Yamasaki M, Seko C, Sato A, Suzuki J, Anzai Y, Yabuki T, Saito T, Suzuki H. Development of a novel artificial intelligence algorithm to detect pulmonary nodules on chest radiography. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):177-183.

Matsumura Y, Hayasaka K, Ohira T, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y. Long-term follow-up of a consecutive cohort validating an epidermal growth factor receptor mutation as an independent risk factor for postoperative recurrence in lung adenocarcinoma. *Interdisciplinary CardioVascular and Thoracic Surgery*. 202311; 37(5):ivad174.

Higuchi M, Inomata S, Yamaguchi H, Saito T, Suzuki H. Salvage surgery for advanced non-small cell lung cancer following previous immunotherapy: a retrospective study. *Journal of Cardiothoracic Surgery*. 202307; 18(1):235.

Onodera K, Yokota I, Matsumura Y, Hayasaka K, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y. Efficacy of platinum-based adjuvant chemotherapy for epidermal growth factor receptor-mutant lung adenocarcinoma. *Journal of Thoracic Disease*. 202312; 15(12):6534-6543.

Shi J, Shiraishi K, Choi J, Matsuo K, Chen TY, Suzuki H, Saito M, Shen H, Chanock SJ, Rothman N, Kohno T, Lan Q, et al. Genome-wide association study of lung adenocarcinoma in East Asia and comparison with a European population. *Nature Communications*. 202305; 14(1):3043.

Ohkuma R, Fujimoto Y, Ieguchi K, Onishi N, Watanabe M, Takayanagi D, Goshima T, Horiike A, Hamada K, Ariizumi H, Hirasawa Y, Ishiguro T, Suzuki R, Iriguchi N, Tsurui T, Sasaki Y, Homma M, Yamochi T, Yoshimura K, Tsuji M, Kiuchi Y, Kobayashi S, Tsunoda T, Wada S. Monocyte subsets associated with the efficacy of anti-PD-1 antibody monotherapy. *Oncology Letters*. 202307; 26(3):381.

Yamamoto H, Soh J, Okumura N, Suzuki H, Nakata M, Fujiwara T, Gemba K, Sano I, Fujinaga T, Kataoka M, Terazaki Y, Fujimoto N, Kataoka K, Kosaka S, Yamashita M, Inokawa H, Inoue M, Nakamura H, Yamashita Y, Hotta K, Yoshioka H, Morita S, Matsuo K, Sakamoto J, Date H, Toyooka S. Randomized phase II study of daily versus alternate-day administrations of S-1 for the elderly patients with completely resected pathological stage IA (tumor diameter > 2 cm)–IIIA of non-small cell lung cancer: Setouchi Lung Cancer Group Study 1201. *PLOS ONE*. 202305; 18(5):e0285273.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 齋藤悠, 大江敬太郎, 伊與田友和, 島袋充生, 黒田純子, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害薬投与における内分泌障害の検討. *癌と化学療法*. 202302; 50(2):177-182.

大浦光章, 山浦匠, 峯勇人, 穴沢予識, 塩豊. 小細胞肺癌に対する化学療法成績と長期無増悪生存の三例の報告. *竹田綜合病院医学雑誌*. 202312; 49:1-8.

〔総説等〕

Muto S, Enta A, Maruya Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Hamada K, Suzuki H. Wnt/ β -Catenin Signaling and Resistance to Immune Checkpoint Inhibitors: From Non-Small-Cell Lung Cancer to Other Cancers. *Biomedicines*. 202301; 11(1):190.

Kubota Y, Han Q, Aoki Y, Masaki N, Obara K, Hamada K, Hozumi C, Wong ACW, Bouvet M, Tsunoda T, Hoffman RM. Synergy of Combining Methionine Restriction and Chemotherapy: The Disruptive Next Generation of Cancer Treatment. *Cancer Diagnosis & Prognosis*. 202305; 3(3):272-281.

鈴木弘行. Current Organ Topics: Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌 肺癌診療における最新のトピックス 2023—肺癌領域での緩和医療における最新の話題— 総括. *癌と化学療法*. 202308; 50(8):867.

岡部直行, 鈴木弘行. ロボット支援下肺区域切除術の導入. *胸部外科*. 202301; 76(1):73-77.

岡部直行, 鈴木弘行. ロボット支援下縦隔腫瘍手術の試み—術式の変遷. *胸部外科*. 202307; 76(7):500-505.

岡部直行, 鈴木弘行. まい・てくにつく ロボット支援下肺切除術におけるポート挿入位置の工夫. 胸部外科. 202308; 76(8):603.

鈴木弘行. 肺癌免疫療法の現状と今後の展望. 胸部外科. 202312; 76(13):1145-1153.

〔症例報告〕

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Tsukada Y, Suzuki H. Traumatic Hemomediastinum and Hemothorax in a Patient With Totally Corrected Tetralogy of Fallot. Annals of Thoracic Surgery Short Reports. 202303; 1(1):91-93.

Suzuki R, Hamada K, Ohkuma R, Homma M, Tsurui T, Iriguchi N, Ishiguro T, Hirasawa Y, Ariizumi H, Kubota Y, Horiike A, Yoshimura K, Wada S, Yamochi T, Tsunoda T. Case Report: Combined pembrolizumab, 5-fluorouracil, and cisplatin therapy were remarkably effective in p16-positive squamous cell carcinoma of unknown primary. Frontiers in Oncology. 202307; 13:1231986.

Maruya Y, Yamaura T, Mine H, Suzuki H. Successful pericardial repair and coverage for late pacemaker lead-related atrial perforation and pneumothorax: a case report. General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases. 202311; 2(1):102.

Takagi H, Muto S, Enta A, Fukuhara M, Asano S, Shio Y, Suzuki H. A case of discordant histology and expression of programmed death ligand 1 between primary tumor and brain metastases in adenosquamous carcinoma of the lung. Thoracic Cancer. 202309; 14(26):2707-2711.

山浦匠, 峯勇人, 佐藤弘隆, 山口佳子, 塩豊, 鈴木弘行. 縦隔原発胚細胞腫瘍と小細胞肺癌が併存した1例. 竹田総合病院医学雑誌. 202312; 49:23-28.

佐藤宏樹, 岡部直行, 高木玄教, 星野実加, 鈴木弘行. 化学療法中に上咽頭転移を来した肺腺癌の1例. 肺癌. 202304; 63(2):111-114.

山口大輝, 武藤哲史, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌術後の FDG-PET/CT において頸部リンパ節転移と考えられたが神経鞘腫であった1例. 臨床放射線. 202301; 68(1):81-85.

〔その他〕

Usuzaki T, Takahashi K, Ishikuro M, Obara T, Yamaura T, Kamimoto M, Majima K. Letter to the Editor: Comment on "Radiomics with Artificial Intelligence for the Prediction of Early Recurrence in Patients with Clinical Stage IA Lung Cancer". Annals of Surgical Oncology. 202302; 30(2):912-913.

鈴木弘行. 編集後記. 日本免疫治療学会誌. 202312; 11:39.

書籍等出版物

濱田和幸, 角田卓也. 癌治療関連薬 66. 植物アルカロイド. In: 福井次矢 監修. Pocket Drugs 2023. 東京: 医学書院; 202301. p.533-540.

松村勇輝, 鈴木弘行. 第3章 呼吸器腫瘍外科の立場から. In: 柴田昌彦 監修. Oncologic Emergency A to Z : 腫瘍緊急を知る. 東京: へるす出版; 202309. p.25-32.

武藤哲史, 鈴木弘行. 第2章 各がんの免疫療法 7. 肺がん. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんとご家族のために—」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック : 患者さんとご家族のために 第2版. 東京: 金原出版; 202309. p.91-101.

尾崎有紀, 鈴木弘行. 6. 肺がんから学ぶこと : ガイドラインの変更. In: 柴田昌彦, 河野浩二 編. 消化器がん免疫療法の現在 : がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.35-40.

鈴木弘行. 18. がん免疫療法の未来に向けて : Beyond The Guideline. In: 柴田昌彦, 河野浩二 編. 消化器がん免疫療法の現在 : がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.112-117.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Higuchi M, Nagata T, Suzuki J, Yabuki T, Inomata S, Suzuki H. Development and assessment of artificial intelligence detection of lung nodules on chest roentgenograms. European Lung Cancer Congress 2023; 20230331; Copenhagen, Denmark. Journal of Thoracic Oncology. 18(4 Supplement):S101.

Matsumura Y, Enta A, Maruya Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Hamada K, Suzuki H. What Are Favorable Clinicopathological Factors and Types of Therapy for Postoperatively Recurrent NSCLC Patients? IASLC 2023 World Conference on Lung Cancer; 20230909-12; Singapore. Journal of Thoracic Oncology. 18(11 Supplement):S633.

渡部晶之, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. ロボット支援下に摘出したシェーグレン症候群合併胸腺 MALT リンパ腫の1例. 第42回日本胸腺研究会; 20230204; Web.

岡部直行, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 鈴木弘行. ロボット支援下縦隔腫瘍で切除した縦隔副甲状腺嚢胞の1例. 第42回日本胸腺研究会; 20230204; Web.

尾崎有紀. Driver 遺伝子陽性肺癌の最新の治療方針. Fukushima Pathology Seminar on Lung Cancer; 20230302; 福島/Web.

遠田晶生, 渡部晶之, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. 異所性副甲状腺腫瘍を疑いロボット支援下に摘出した嚢胞性前縦隔腫瘍の一例. 第39回東北肺癌研究談話会; 20230311; 仙台/Web.

丸谷慶将, 峯勇人, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. COVID-19 感染後の肺癌に対し肺切除を施行した 3 例の検討. 第 39 回東北肺癌研究談話会; 20230311; 仙台/Web.

峯勇人, 山口光, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. 当院の肺癌術後再発 30 症例におけるオシメルチニブの有効性の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京. 抄録集. DP-059-2.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 鈴木弘行. がん免疫療法を施行した肺大細胞神経内分泌癌の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京. 抄録集. DP-059-3.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 鈴木弘行. 大学病院呼吸器外科領域におけるロボット支援下手術の普及における課題. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230428; 東京. 抄録集. DP-101-4.

木村隆, 横山斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明, 古谷文彦. 外科学部門全体で取り組む外科専門医, サブスペ専門医のシームレスな研修体制の構築 NCD データに基づく明確なキャリアパスの提示とリクルート. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京. 抄録集. SP-7-5.

渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. 生検検体と手術検体における PD-L1 発現率の相違がもたらす術後補助療法への影響. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京. 抄録集. SF-64-4.

樋口光徳, 猪俣頌, 山口光, 鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対してサルベージ手術を施行した症例の治療成績. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京. 抄録集. DP-175-4.

林仁美, 岡部直行, 木之内裕子, 木村静華, 一ノ瀬仁美, 高橋諒, 田口遼, 小林英二, 鈴木弘行. 呼吸器外科における、蛋白質を含む製剤を用いた経口補水療法の試み. 第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会; 20230509; 神戸. 学会誌 JSPEN. 5(Suppl.1):394.

松村勇輝, 遠田晶生, 丸谷慶将, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 濱田和幸, 鈴木弘行. 術後再発非小細胞肺癌の再発後生存における予後良好因子及び治療法の検討. 第 32 回日本癌病態治療研究会; 20230601; さいたま.

榮田佳那子, 黒瀬浩史, 松村勇輝, 阪井裕美子, 新勇介, 入野康宏, 柳田匡俊, 鈴木弘行, 小賀徹, 岡三喜男. 全自動免疫測定装置 HISCL™ による肺がん免疫チェックポイント療法の効果を予測する血清バイオマーカーの開発. 第 20 回日本免疫治療学会学術集会; 20230610; 東京.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 尾崎有紀, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 濱田和幸, 鈴木弘行. がん免疫療法導入後の EGFR/ALK 陰性, 非小細胞肺癌に対する治療成績の変化. 第 20 回日本免疫治療学会学術集会; 20230610; 東京.

多胡行揮, 武藤哲史, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 肺癌における三次リンパ様構造と、腫瘍浸潤リンパ球・末梢血における Tfh 細胞との関係解析. 第 20 回日本免疫治療学会学術集会; 20230610; 東京.

内門美紀, 渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 原発性乳癌心膜症に対して胸腔鏡下に胸管結紮術を行った一例. 第 183 回東北外科集談会・第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

丸谷慶将, 岡部直行, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 当科の剣状突起下縦隔腫瘍手術の検討. 第 183 回東北外科集談会・第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

島田晃太郎, 川西瑞樹, 山口光, 丸谷慶将, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 咯血を繰り返す肺アスペルギルス症に対して待機的な肺葉切除術で咯血を制御できた 1 例. 第 183 回東北外科集談会・第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

山口光. 宗教的理由から輸血できない MG 合併胸腺腫の無名静脈からの出血の 1 例. 第 5 回温熱化学療法研究会; 20230617; 札幌.

渡部晶之, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 気管支縦切開により摘出した気管支異物の 1 例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230629; 横浜. 気管支学. 45(Suppl):S297.

松村勇輝, 遠田晶生, 丸谷慶将, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 鈴木弘行. 免疫療法後に嚢胞化した肺扁平上皮癌が, 嚢胞壁肥厚により局所再発が疑われた一切除例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230630; 横浜. 気管支学. 45(Suppl):S258.

森谷浩史, 平井健一郎, 星野実加. 肺癌切除後の患側肺肺機能一超高精細 CT の吸気・呼気撮影による肺葉と気管支の描出. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230630; 横浜. 気管支学. 45(Suppl):S338.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 鈴木弘行. 新型コロナウイルスワクチン接種後のリンパ腫大により肺癌転移との鑑別に難渋した一例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20230630; 横浜. 気管支学. 45(Suppl):S345.

遠藤誠, 高持一矢, 春木朋広, 王志明, 船井和仁, 北村嘉隆, 坪井正博, 月岡卓馬, 鈴木弘行, 伊藤宏之, 奥村典仁, 上野剛, 池田徳彦, 岩田尚, 岡田守人, 市川智博, 岡本龍郎, 野尻宗子, 鈴木健司. 解剖学的肺切除後の胸水排水量によらない胸腔ドレーン抜去の有用性・安全性: 多施設共同無作為化比較試験. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):PO10.

峯勇人, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 小林信, 杉本幸太郎, 濱田和幸, 千葉英樹, 鈴木弘行. 肺癌における核内受容体 LHR1 異常リン酸化の解明と意義. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O7-5.

尾崎有紀, 峯勇人, 遠田晶生, 丸谷慶将, 山口光, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌の術後再発におけるオシメルチニブの有効性. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O13-3.

叢岳, 藤嶋康祐, 大杉純, 藤生浩一. 気管分岐部リンパ節に局限した扁平上皮癌に対して気管分岐部・両側主気管支内側切除形成を行った 1 例. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O21-4.

新田大地, 山浦匠, 加藤茉莉, 塩豊, 鈴木弘行. 両側縦隔リンパ節郭清後の迷走神経麻痺により胃排出遅延を生じた一例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P7-2.

丸谷慶将, 峯勇人, 遠田晶生, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. COVID-19感染後の肺癌に対して肺切除を施行した3例の検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P7-3.

遠田晶生, 渡部晶之, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 外科的切除を行った縦隔内異所性副甲状腺腫瘍の3例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P13-7.

藤嶋康祐, 大杉純, 藤生浩一. 胸腔鏡と頸部切開により完全切除し得た巨大頸部縦隔脂肪肉腫の1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P16-8.

樋口光徳, 山口光, 猪俣頌, 鈴木弘行. 胸腔鏡補助下左横隔膜部分切除によって呼吸機能の改善を認めた左横隔膜弛緩症の1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P27-1.

叢岳, 藤嶋康祐, 大杉純, 藤生浩一. 前胸壁軟部腫瘍放射線治療後に皮膚胸骨縦隔瘻を生じた症例の排膿・壊死組織除去と両側乳房大胸筋皮弁再建. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P28-2.

猪俣頌, 山口光, 樋口光徳, 鈴木弘行. 右中間幹内腔を閉塞する炎症性偽腫瘍に対して肺を温存して腫瘍を摘出した1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P37-3.

岡部直行, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 鈴木弘行. 当施設におけるロボット支援下縦隔腫瘍の変遷と現在. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P42-2.

渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. ICG気管支内注入マーキング法による肺楔状切除の検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O42-1.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 鈴木弘行. 感染性脊椎炎から波及した胸膜炎の2例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O46-7.

叢岳, 藤嶋康祐, 大杉純, 藤生浩一. 単孔式胸腔鏡手術周術期の硬膜外麻酔と肋間神経ブロックの鎮痛効果と合併症を比較した過去起点コホート研究. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):O60-7.

長谷川剛生, 大杉純. 免疫関連有害事象による甲状腺機能低下症を来すも肺癌寛解に至った2切除例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P55-8.

山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 樋口光徳, 鈴木弘行.

免疫チェックポイント阻害薬投与後にサルベージ手術を施行した非小細胞肺癌8症例の検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P56-2.

松村勇輝, 遠田晶生, 丸谷慶将, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 濱田和幸, 鈴木弘行. EGFR/ALK 陰性, 術後再発非小細胞肺癌における免疫療法の効果. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P57-5.

山浦匠, 塩豊, 鈴木弘行. 小細胞肺癌に対する外科的介入についての検討. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P60-9.

加藤茉莉, 山浦匠, 新田大地, 塩豊, 鈴木弘行. 子宮内膜症に対するジェノゲスト療法中に異所性子宮内膜症関連連気胸を新規発症した一例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P74-7.

大杉純, 藤生浩一, 藤嶋康祐. 右肺動脈原発孤立性線維性腫瘍に対し右肺全摘及び右肺動脈切除後, 局所再発・遠隔再発に対する治療経験. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230714; 新潟. 日本呼吸器外科学会雑誌. 37(3):P83-6.

武藤哲史, 多胡行揮, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 肺癌における TLS と腫瘍局所・末梢血の Tfh 細胞との関係. 第27回日本がん免疫学会総会; 20230721; 津. プログラム・抄録集. 136.

吉村清, 倉増敦朗, 細沼雅弘, 磯部順哉, 馬場勇太, 田島康平, 船山英治, 豊田仁志, 志田みどり, 鶴井敏光, 平澤優弥, 石黒智之, 大熊遼太郎, 有泉裕嗣, 久保田祐太郎, 濱田和幸, 堀池篤, 角田卓也. 便移植に向けた抗 PD-1 抗体療法下の効果を修飾する腸内細菌の探索. 第27回日本がん免疫学会総会; 20230721; 津. プログラム・抄録集. 150.

渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 生検検体と手術検体における PD-L1 発現率の相違がもたらす術後補助療法への影響. 第62回日本肺癌学会東北支部会・第49回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20230722; 山形.

樋口光徳, 山口光, 猪俣頌, 鈴木弘行. 交感神経幹が肋間静脈の外側を走行する症例での処理について. 第27回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会; 20230916; 新潟.

丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 気管支縦切開により摘出した気管支異物の1例. 第184回東北外科集談会・第110回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

吉村清, 濱田和幸, 磯部順哉, 細沼雅弘, 馬場勇太, 田島康平, 船山英治, 豊田仁志, 鶴井敏光, 平澤優弥, 有泉裕嗣, 石黒智之, 堀池篤, 和田聡, 倉増敦朗, 角田卓也. 免疫チェックポイント阻害剤と併用による便移植のための腸内細菌の探索. 第82回日本癌学会学術総会; 20230921; 横浜. 日本癌学会総会記事. 34.

本間美和子, 武藤哲史, 山元想, 橋本優子, 本間好, 野水整, 鈴木弘行. 核内局在と関連する新規予後マーカーCK2 分子機能の解析. 第82回日本癌学会学術総会; 20230923; 横浜. 日本癌学会総会記事. 1827.

山浦匠. 当院における非小細胞肺癌の1次治療. MSD NSCLC Web Seminar; 20231013; Web.

渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. AIRSEAL System が有用であった原発性乳糜心膜症に対する胸腔鏡下胸管結紮術. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231019; 仙台. 抄録集. LOP7-1.

岡部直行, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 鈴木弘行. ICG・バリウム気管支内注入マーキング法を用いたロボット支援下肺区域切除術の実際. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231019; 仙台. 抄録集. LP3-2.

大杉純, 佐藤俊輔, 村田美佳, 岩上泰崇, 渡邊絵里子, 高野祥直. 髄内化学療法にて長期制御が得られた肺大細胞癌髄膜癌腫症の1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

山浦匠. irAE 対策について考える. 第5回irAEを考える会 in 福島; 20231027; Web.

岩本真由子, 渡部晶之, 丸谷慶将, 峯勇人, 山口光, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 肺原発血管肉腫の1例. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):602.

遠田晶生, 高木玄教, 浅野重之, 福原光朗, 鈴木弘行. Osimertinib 耐性獲得として肺腺癌から大細胞神経内分泌癌 (LCNEC) への形質転換と考えられた1例. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):608.

山口光, 丸谷慶将, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 当科における非小細胞肺癌症例を用いたオンコマイン Dx Target Test マルチ研究用 46 遺伝子の解析. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):616.

坂入祐一, 吉野一郎, 鈴木秀海, 岡田守人, 佐藤幸夫, 坪井正博, 中川拓, 岩田剛和, 岡見次郎, 武井秀史, 鈴木弘行, 池田徳彦, 佐藤之俊, 小林国彦. 特発性間質性肺炎合併肺癌に対する周術期ピルフェニドン療法の第3相試験 (NEJ034 試験). 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):350.

吉野一郎, 加藤達哉, 鈴木弘行, 堀之内秀仁, 浦本秀隆, 釦持広知, 伊藤健太郎, 津谷康大, 豊岡伸一, 岡本龍郎, 岩澤俊一郎, 中川史津香, 三角俊裕, 滝口裕一, 池田徳彦. J-CURE : 切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究 進捗報告. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):355.

峯勇人, 丸谷慶将, 山口光, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 肺癌における核内受容体 LRH1 異常リン酸化の解明と意義. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):493.

黒瀬浩史, 渡辺安奈, 福田実, 菅崎七枝, 木下明敏, 北崎健, 福田正明, 益田武, 竹本真之輔, 松村勇輝, 武藤哲史, 柴田佳那子, 新勇介, 佐藤利幸, 服部登, 迎寛, 鈴木弘行, 小賀徹, 岡三喜男. 肺がん免疫チェックポイント療法の効果を予測する血清バイオマーカーの全自動測定法の開発. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):495.

猪俣頌, 山口光, 樋口光徳, 鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対する免疫療法後のサルベージ手術の検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):502.

比佐奨, 渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. 胸腔鏡下生検によりメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患と診断した 1 例. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):630.

丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. PD-1 抗体, CTLA-4 抗体併用療法の実臨床における有用性の検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):636.

早坂一希, 野津田泰嗣, 桜田晃, 松村勇輝, 阿部二郎, 塩野知志, 鈴木弘行, 遠藤誠, 武田遥奈, 本橋ほづみ, 岡田克典. uncommon EGFR 遺伝子変異を有する肺腺癌の術後予後と共存遺伝子変異や遺伝子発現に関する検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):560.

松村勇輝, 遠田晶生, 丸谷慶将, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 濱田和幸, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌術後再発例におけるがん免疫療法による再発後生存の変化. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):665.

洪浩都, 高木玄教, 遠田晶生, 福原光朗, 鈴木弘行. 新型コロナワクチン接種に伴うリンパ節腫大から肺癌転移との鑑別に難渋した一例. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):666.

山浦匠, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬療法終了後の病勢に関する検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):678.

大杉純, 藤嶋康祐, 村田美佳, 渡邊絵里子, 岩上泰崇, 藤生浩一. 初回 CDx 検査後の CGP 検査で EGFR 遺伝子変異が検出され RELAY レジメンが著効した 1 例. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):688.

岡部直行, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 松村勇輝, 鈴木弘行. 前縦隔腫瘍に対する剣状突起下アプローチによるロボット支援下縦隔腫瘍摘出の検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):696.

藤嶋康祐, 大杉純, 藤生浩一. 大腿筋膜による胸壁再建と非吸収糸による格子状の骨性胸郭固定を行った腎細胞癌胸骨転移の 1 切除例. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):700.

尾崎有紀, 猪腰弥生, 関根聡子, 勝浦豊, 鈴木弘行. 積極的な治療を行わなかった非小細胞肺癌症例の臨床的検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):704.

尾崎有紀, 鈴木喜貴, 西山恭子, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 錫谷達夫, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカーとしての腸内細菌叢の可能性. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

山口光, 丸谷慶将, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 樋口光徳,

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬投与後にサルベージ手術を施行した非小細胞肺癌 8 症例の検討. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

武藤哲史, 丸谷慶将, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. ICI の効果増強を目指した老化細胞除去薬併用療法の開発に向けた, その効果予測体外プラットフォーム作成の試み. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

〔シンポジウム〕

大杉純 (ディスカッサー) . Discussion 肺がんの CGP 検査に関するご相談症例. 肺がん遺伝子パネルセミナー in 福島; 20230323; Web.

山浦匠 (ディスカッサー) . Discussion 肺がんの CGP 検査に関するご相談症例. 肺がん遺伝子パネルセミナー in 福島; 20230323; Web.

高木玄教 (ディスカッサー) . Discussion 肺がんの CGP 検査に関するご相談症例. 肺がん遺伝子パネルセミナー in 福島; 20230323; Web.

武藤哲史 (パネリスト) . 肺癌診療におけるアンメットニーズと Real World Data 創出の工夫点. Scientific Exchange Meeting 2023; 20230418; Web.

大杉純 (ディスカッサント) . Discussion. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20230511; Web.

山浦匠 (ディスカッサント) . Discussion. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20230511; Web.

高木玄教 (ディスカッサント) . Discussion. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20230511; Web.

大杉純 (パネリスト) . Discussion 患者背景に基づいた肺がん術後補助療法の検討. Lung Cancer Meeting in Tohoku; 20230622; Web.

大杉純. Discussion 「検査成功率向上のための創意工夫」—臨床医, 検査技師, 病理医それぞれの立場から—. 肺がん診療連携セミナー; 20230728; Web.

尾崎有紀 (パネリスト) . 特別企画 東北地方の外科医不足を考える. 第 184 回東北外科集談会・第 110 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

鈴木弘行 (パネリスト) . Panel Discussion〜徹底討論〜『術前 I-O を使いこなすために』. I-O Next Steps Seminar 2023; 20230930; Web.

岡部直行 (パネリスト) . Discussin 実臨床でのエドルミズ適正使用を考える. がん悪液質治療セミナー2023 in 福島; 20231004; Web.

大杉純 (ディスカッサント) . ディスカッション 肺癌における CGP 検査をどう活用し, 患者さんの個別化医療につなげるか? 肺がん遺伝子パネル検査セミナー in 秋田&福島; 20231012; Web.

山浦匠（ディスカッサント）. ディスカッション 肺癌における CGP 検査をどう活用し、患者さんの個別化医療につなげるか？ 肺がん遺伝子パネル検査セミナー in 秋田&福島; 20231012; Web.

山浦匠（パネリスト）. Discussion IV期 NSCLC に対する ICI 治療戦略～POSEIDON レジメンの使いどころ～. 肺がん薬物療法セミナー～POSEIDON レジメンの位置づけを考える～; 20231017; Web.

鈴木弘行, 見城明, 丸橋繁. 当院における働き方改革へ向けた取り組み～タスクシェアと外科研修～. 第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会・第 48 回日本体外循環技術医学会大会; 20231020; 仙台. 体外循環技術. 50(3):286.

武藤哲史, 本間美和子, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 渡部晶之, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 喜古雄一郎, 橋本優子, 鈴木弘行. 核内局在と関連する新規予後マーカーCK2. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):395.

鈴木弘行, 丸谷慶将, 遠田晶生, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊, 濱田和幸. 免疫チェックポイント阻害薬時代にあらためて腫瘍の微小環境を考える. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):400.

福原光朗, 武藤哲史, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. TLS に着目した腫瘍微小環境と宿主免疫の評価. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231102; 千葉. 肺癌. 63(5):400.

鈴木弘行, 丸谷慶将, 遠田晶生, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊, 濱田和幸. 外科検体を用いた, 腫瘍微小環境の解析～免疫環境に TLS/HEV が果たす役割～. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231103; 千葉. 肺癌. 63(5):404.

渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行. バリウム/ICG 気管支内注入マーキング法による末梢小型肺病変の同定. 第 64 回日本肺癌学会学術集会; 20231104; 千葉. 肺癌. 63(5):417.

鈴木弘行（オブザーバー）. ディスカッション. 非小細胞肺癌 Web セミナー～周術期治療を考える～; 20231117; Web.

鈴木弘行, 丸谷慶将, 遠田晶生, 藤嶋康祐, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊, 濱田和幸. 非小細胞肺癌に対する周術期免疫治療の進歩. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

〔特別講演〕

鈴木弘行. 肺がん治療の新たな展開～免疫療法とロボット手術の時代へ～. いわき市医療センター地域がん診療連携拠点病院 第 11 回市民公開講座; 20230211; いわき.

鈴木弘行. 肺癌外科治療の新たな展開. 第 18 回長崎呼吸器外科研究会; 20230407; 長崎.

武藤哲史. Cure を目指した周術期薬物療法への期待. Chugai Lung Cancer Conference～肺癌周術期治療を考える～; 20230413; Web.

鈴木弘行. Rationale から考える NSCLC 周術期薬物療法と AE マネジメント. Scientific Exchange Meeting for Surgeon 2023; 20230415; Web.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新たな幕開け～IMpower010 試験を中心に～. CHUGAI Lung Cancer Symposium for Thoracic in NAGAHAMA; 20230417; Web.

鈴木弘行. POSEIDON 試験を紐解く～外科医の立場から～. 呼吸器外科医のための肺がん治療セミナー; 20230523; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する免疫療法を再考する. Lung Cancer Seminar in Mie 2023; 20230704; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. オブジーボ非小細胞肺癌術前補助療法 Area Web Live Seminar; 20230823; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌オブジーボ WEB セミナー in 宮城; 20230824; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 第 11 回岩手腫瘍免疫研究会; 20230825; 盛岡/Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. オブジーボ承認記念非小細胞肺癌術前補助療法セミナー in 栃木; 20230831; 宇都宮/Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. LC 周術期 WEB セミナー; 20230908; Web.

武藤哲史. 呼吸器外科におけるがん遺伝子パネル検査. 湘南呼吸器セミナー; 20230914; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌周術期 オブジーボ WEB ライブセミナー in 山梨; 20230914; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. LC Neoadjuvant Immunotherapy Web Live Seminar; 20230915; Web.

鈴木弘行. 最新の肺癌治療～免疫療法とロボット手術の時代へ～. がん免疫療法セミナー in Iwaki; 20230922; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 岐阜県オブジーボ+化学療法

術前補助療法適応拡大記念講演会; 20230929; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌術前補助療法承認記念講演会 in 宮崎; 20231003; Web.

武藤哲史. 呼吸器外科におけるがん遺伝子パネル検査. 肺がん遺伝子パネル検査セミナー in 秋田&福島; 20231012; Web.

鈴木弘行. がん免疫療法～Between the idea and the reality～. 福島医学会学術研究集会; 20231026; 福島/Web. 福島医学雑誌. 74(1):23-24.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新たな幕開け～IMpower010 試験を中心に～. KIS 呼吸器腫瘍研究会; 20231026; Web.

濱田和幸. 非小細胞肺癌薬物療法における殺細胞抗がん剤の使い分け～アブラキサンを中心に～. 第 26 回弘前臨床腫瘍セミナー; 20231110; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 第 9 回がん免疫道場; 20231111; さいたま.

鈴木弘行. 周術期治療の新たな展開. Lung Cancer Perioperative Seminar; 20231113; 大阪/Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌 Web セミナー～周術期治療を考える～; 20231117; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 広島肺がん周術期治療 WEB セミナー; 20231205; Web.

武藤哲史. 呼吸器外科におけるがん遺伝子パネル検査. 肺がんゲノム医療カンファレンス; 20231220; 東京/Web.

〔招待講演〕

福原光朗. 肺に影があると言われたら. いわき市医療センター地域がん診療連携拠点病院 第 11 回市民公開講座; 20230211; いわき.

鈴木弘行. 肺癌に対する免疫療法を再考する～複合がん免疫療法の有効性を踏まえて～. Thoracic Cancer Web Seminar; 20230222; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療の最新の Topics～さらなる低侵襲手術と IMpower010 を考える～. 置賜肺癌セミナー2023; 20230310; Web.

武藤哲史. 福島県立医科大学の肺がん遺伝子パネル検査の現状. 肺がん遺伝子パネルセミナー in 福島; 20230323; Web.

武藤哲史. Cure を目指した最適な周術期治療を考える. 中外肺がんセミナー; 20230328; Web.

長谷川剛生. 免疫チェックポイント阻害剤による肺癌診療～福島県南の実情～. 肺がん治療 Seminar in Fukushima; 20230329; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の進歩. 第 112 回日本病理学会総会; 20230414; 下関.

武藤哲史. 肺がん周術期療法における免疫療法への期待. 肺がんチーム医療セミナー; 20230420; Web.

大杉純. 肺切除時の気漏閉鎖における私のこだわり. 福島県呼吸器外科研究会; 20230519; 福島/Web.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新たな幕開け～IMpower010 試験を中心に～. 第 123 回日本臨床外科学会北海道支部総会; 20230520; 釧路.

山浦匠. 進行再発非扁平上皮癌における TTF-1 発現と予後についての検討. Meet the expert in Aizu; 20230526; 会津若松/Web.

高木玄教. 周術期 ICI 治療で改めて考えたい irAE—症例経験を踏まえて—. 第 1 回 NEXT 北海道東北支部セミナー; 20230527; 仙台/Web.

濱田和幸. バイオマーカーに基づく肺がん薬物療法の選択～ゲノム検査と免疫染色の役割～. 第 1 回秋田県めんけセミナー; 20230608; 秋田.

武藤哲史. Cure を目指した Best な周術期治療を考える. 中外周術期治療セミナー; 20230614; Web.

濱田和幸. 腸内細菌叢からみた NSCLC における ICI 治療. MSD NSCLC Web Seminar 2023; 20230615; Web.

鈴木弘行. 複雑化する周術期治療を読み解く. CSL LIVE 呼吸器外科 WEB セミナー; 20230616; Web.

大杉純. 最新の COPD 治療戦略—呼吸器外科の観点から—. Respiratory Expert in Meeting in Fukushima; 20230621; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌オブジーボ WEB ライブセミナー; 20230622; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. NSCLC 周術期がん免疫療法 WEB Seminar; 20230623; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. 非小細胞肺癌周術期薬物療法 オブジーボ適正使用セミナー; 20230629; Web.

岡部直行. 肺癌周術期薬物療法の Up To Date～薬物療法と低侵襲手術～. 第 59 回東北臨床細胞学会学術集会; 20230701; 福島.

大杉純. 明日から始める高齢者機能評価. PLUS CHUGAI Web 講演会; 20230709; Web.

山浦匠. 免疫介在有害事象マネジメントに関する取り組み. Lung Cancer Meeting; 20230726; 会津若松.

長谷川剛生. 救急対応・呼吸器疾患編. 救急医療マニュアル研修会; 20230802; 白河.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. NSCLC NAC Web Seminar; 20230803; Web.

武藤哲史. 患者背景を考慮した進行再発肺癌における治療戦略. 福島県肺癌チーム医療ワークショップ; 20230805; Web.

濱田和幸. 進行再発肺癌治療の治療戦略. Fukushima Pathology Seminar on Lung Cancer; 20230906; 福島/Web.

武藤哲史. 肺がん遺伝子パネル検査の使いどころ. Fukushima Pathology Seminar on Lung Cancer; 20230906; 福島/Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. NSCLC Web Live Seminar; 20230928; Web.

岡部直行. 当科の最近の手術と切除検体処理の現状. PLUS CHUGAI Web 講演会; 20231002; Web.

濱田和幸. 腸内細菌叢とがん免疫栄養療法. 第34回全国公立大学病院栄養士連絡協議会全体会議; 20231020; 福島.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対するICI治療の進歩～進行癌から周術期治療への展開. Lung Cancer Seminar in 東北; 20231108; Web.

鈴木弘行. 術前補助療法の新時代～オブジーボ+化学療法レジメンがもたらす変化～. Lung Cancer Seminar ～周術期治療のupdate～; 20231116; Web.

武藤哲史. 変わるIV期非小細胞肺癌治療. Lung Cancer Meeting in Fukushima; 20231122; Web.

大杉純. IV期非小細胞肺癌におけるICI治療～当院の事例を含めて～. Lung Cancer Meeting in Fukushima; 20231122; Web.

鈴木弘行. 保険診療の理解のために. 福島県立医科大学会津医療センター附属病院令和5年度第1回診療報酬研修会; 20231124; 会津若松.

岡部直行. 胸腺癌に対するレンビマによる治療～当施設のレンビマ使用経験からの考察～. Lenvatinib 胸腺癌 Web Seminar in 東北; 20231128; Web.

武藤哲史. Cureを目指した周術期薬物療法への期待. 中外肺がんセミナー; 20231129; Web.

大杉純. アイス・ブレイキング. 令和5年度がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 総合南東北病院; 20231209; 郡山.

鈴木弘行. IV期非小細胞肺癌治療の最前線ー新たな抗CTLA-4抗体イジユドの役割ー. 第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

大杉純. 外科的観点から診る肺がん合併 COPD の治療戦略. Respiratory Expert Meetingー肺がん・COPD 診療の今を考えるー; 20231221; Web.

〔その他〕

尾崎有紀. 呼吸器外科の魅力とやりがいー子育てと仕事の両立ー. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20230608; 福島/Web.

渡部晶之. 呼吸器外科の魅力とやりがい. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20230608; 福島/Web.

鈴木弘行. 早期がんから進行がんまで、手術×免疫×AI時代の肺がん治療. PULMOMICS 2023 No.2 (第7号). 20230609.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

岡部直行. ロボット支援下右上葉切除術. 株式会社フェーズワンWEB サイト「14live(医師ライブ) Points of Surgery series」出演. 202303.

鈴木弘行. 福島医大広報サークルPR-Lab YouTube「教授に突撃インタビュー#1 呼吸器外科の魅力を教えてください！」出演. 202309.

乳腺外科学講座

論文

〔原 著〕

Murakami-Nishimagi Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Tachibana K, Kojima M, Okano M, Hashimoto Y, Saji S, Ohtake T, Chiba H. Claudin-4-adhesion signaling drives breast cancer metabolism and progression via liver X receptor β . Breast Cancer Research. 202304; 25(1):41.

Natori Y, Suga J, Tokuda E, Tachibana K, Imai J, Honma R, Azami Y, Noda M, Sasaki E, Watanabe S,

Ohtake T, Saji S. E3 Ubiquitin Ligase NEDD4 Affects Estrogen Receptor α Expression and the Prognosis of Patients with Hormone Receptor-Positive Breast Cancer. *Cancers*. 202301; 15(2):539.

Kaneda Y, Ozaki A, Namba M, Sawano T, Wada M, Saito H, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Tachibana K, Tanimoto T, Ohtake T, Ejiri T, Shimmura H, Kanzaki N. The necessity of proactive measures from healthcare providers highlighted by delayed breast cancer diagnosis due to COVID-19: A case report. *Clinical Case Reports*. 202309; 11(9):e7919.

Kawakami H, Ozaki A, Kaneda Y, Asano S, Inai K, Hirooka S, Katoono A, Takagi R, Kosaka M, Murayama A, Sawano T, Shimamura Y, Tsubokura M, Kurokawa T, Tachibana K, Wada M, Tanimoto T, Ohtake T, Kitamura N, Ejiri T, Magome H, Shimmura H, Kanzaki N. Telepathology in intraoperative frozen section consultation of breast cancer sentinel node biopsy in Fukushima, Japan following the 2011 triple disaster: diagnostic accuracy and required time during the early implementation phase. *Rural and Remote Health*. 202311; 23(4):8496.

〔症例報告〕

勝部暢介, 佐治重衡, 岡野舞子, 石野淳, 高橋昌一, 後藤政広, 牛尼美年子, 菅野康吉, 吉田輝彦, 野水整. 血管肉腫の同胞発症がみられた1家系. *遺伝性腫瘍*. 202303; 22(4):106-111.

加瀬晃志, 長塚美樹, 岡野舞子, 松壽正實, 片方直人, 野水整. 乳癌を発症した Cowden 症候群の1例. *日本臨床外科学会雑誌*. 202301; 84(1):24-28.

菅家康之, 伊藤泰輔, 菅原良太, 東條華子, 藤田正太郎, 八島玲, 勝部暢介, 田畑憲一, 野水整. Vater 乳頭部癌を合併した Lynch 症候群の1例. *福島医学雑誌*. 202304; 73(1):13-18.

〔その他〕

立花和之進. 乳がん・乳がん検診について. *CJ Monmo*. 202309; 2023 年 10 月号 :2.

書籍等出版物

宮本康敬, 佐治重衡, 野田勝. 悪性腫瘍 53 初期乳癌 54 転移・再発乳癌. In: 日本アブライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会 編. 2 ページで理解する標準薬物治療ファイル 改訂4版. 東京: 南山堂; 202303. p.106-109.

大竹徹. C. 腋窩の手術, 腋窩リンパ節郭清. In: 戸井雅和. 乳腺外科の要点と盲点 第3版. 東京: 文光堂; 202306. p.214-217.

大竹徹, 立花和之進. 8 乳がん. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブックー患者さんご家族のためにー」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック : 患者さんご家族のために 第2版. 東京: 金原出版; 202309. p.102-108.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Nakamura R, Minami S, Wada N, Aihara T, Yoneyama K, Yasoshima H, Kashiwagi S, Yoshida M, Nakayama T, Kawada M, Ogawa T, Toh U, Kuba S, Kitada M, Yamada A, Ohtake T, Matsumoto H, Saito-Oba M, Sakamoto J, Imoto S. Phase II study on feasibility of sentinel lymph node biopsy for ycN0 patients treated with primary chemotherapy in cT1-3N1M0 breast cancer (SHARE study). ASCO 2023; 20230604; Chicago, USA.

平栗あかり, 長塚美樹, 東條華子, 手塚康二, 大河内千代, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. Multi gene panel 検査において ATM 遺伝子病的バリエーションが判明した乳癌症例. 第 26 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20230218; Web.

大竹廉正, 野田勝, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. 若手セッション「乳癌脳転移に対するトラスツズマブデルクステカンの治療効果」. 第 20 回日本乳癌学会東北地方会; 20230304; 仙台/Web.

勝部暢介, 東條華子, 後藤かおり, 手塚康二, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 江口英孝, 石田秀行, 野水整. 乳癌の診断を契機に Multi-gene panel testing (MGPT) を施行しリンチ症候群の診断に至った 1 例. 第 20 回日本乳癌学会東北地方会; 20230304; 仙台/Web.

立花和之進, 東條華子, 阿部貞彦, 尾崎章彦, 西間木祐子, 星信大, 野田勝, 赤間孝典, 伊與田友和, 岡野舞子, 竹村真生子, 徳田恵美, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹徹. 「東北地方の地域連携・多職種連携を促す」当施設における乳癌診療の均てん化の試みと課題. 第 20 回日本乳癌学会東北地方会; 20230304; 仙台/Web.

西間木祐子. 症例提示. 第 37 回北福島乳癌カンファレンス; 20230311; Web.

Karayama M, Naoki K, Shimomura A, Ohtake T, Shio Y, Hosokawa A, Komatsu Y, Kumagai Y. Cardiovascular Safety of Pimipib in Patients with Solid Tumors: A Phase 1 Study. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230316; 福岡/Web.

徳田恵美, 立花和之進, 岡野舞子, 木村礼子, 野田勝, 村上祐子, 星信大, 名取穰, 阿部貞彦, 伊與田友和, 佐々木栄作, 黒田純子, 大竹徹, 佐治重衡. 当院における乳癌症例に対する免疫チェックポイント阻害薬投与に関連した内分泌障害についての検討. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230318; 福岡/Web.

立花和之進, 徳田恵美, 東條華子, 阿部貞彦, 西間木祐子, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹徹. 当施設における DCIS の長期治療成績. 第 14 回 DCIS 研究会; 20230318; Web.

東條華子, 長塚美樹, 大河内千代, 手塚康二, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 田畑憲一, 野水整. 家族性乳癌における DCIS の検討. 第 14 回 DCIS 研究会; 20230318; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹.

非浸潤性乳管癌の診断で手術を施行し腋窩リンパ節転移陽性であった症例の検討. 第 14 回 DCIS 研究会; 20230318; Web.

松寄正實, 東條華子, 手塚康二, 長塚美樹, 片方直人, 野水整, 二瓶光博. 【テーマ別シンポジウム「DCIS の長期治療成績」】VNPI から見た当院非浸潤性乳癌症例の長期治療成績. 第 14 回 DCIS 研究会; 20230318; Web.

杉本幸太郎, 西間木祐子, 小林信, 千葉英樹. CLDN4-LXR 連関による乳癌の悪性形質制御機構. 第 112 回日本病理学会総会; 20230413; 下関.

立花和之進. 複雑化する転移再発 TNBC の治療戦略. Yamagata Breast Cancer Seminar on the Web; 20230414; Web.

岡野舞子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 立花和之進, 大竹徹. 当科における BRCA1/2 遺伝子変異保持者に対するリスク低減手術とサーベイランスの実施状況についての報告. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京/Web.

木村隆, 横山斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明, 古屋文彦. 外科学部門全体で取り組む外科専門医、サブスペ専門医のシームレスな研修体制の構築 NCD データに基づく明確なキャリアパスの提示とリクルート. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京/Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. LIGHTVISION を用いた ICG 蛍光法および RI 法併用による乳癌センチネルリンパ節生検の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京/Web.

立花和之進. HR 陽性 HER2 陰性進行・再発乳癌の治療戦略. 環仙台湾乳腺疾患勉強会; 20230602; 名取/Web.

立花和之進. 複雑化する転移再発 TNBC の治療戦略. Chugai Breast Cancer Seminar in 郡山; 20230609; 郡山/Web.

岡野舞子, 勝部暢介, 立花和之進, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 大竹徹, 野水整. 種々の原発癌・肺癌術後再発治療後、完全奏効を維持している Li-fraumeni 症候群の 1 例. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

東條華子, 長塚美樹, 勝部暢介, 後藤かおり, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 田畑憲一, 野水整. 当院における HBOC 以外の遺伝性乳癌について. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

徳田恵美, 木村礼子, 岡野舞子, 赤間孝典, 門馬智之, 渡邊尚文. 当院におけるがん遺伝子パネル検査にて PVPG を認めた症例への対応の現状とその課題. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

長塚美樹, 東條華子, 松寄正實, 片方直人, 菅家康之, 藤田正太郎, 八島玲, 勝部暢介, 野水整, 田畑憲一. Lynch 症候群が疑われた HBOC の一例. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 鈴木伸康, 佐藤直, 大竹徹. HER2 陽性乳癌の術前評価と治療方針について. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

阿左見祐介, 阿左見亜矢佳, 鈴木伸康, 佐藤直, 大竹徹. 同側鎖骨上リンパ節転移 N3c 症例への PMRT. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

大竹廉正, 阿部貞彦, 多田羅妙佳, 橋本万理, 東條華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 吉田清香, 立花和之進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 当院における CRRM 症例に対する病理学的検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

尾崎章彦, 澤野豊明, 和田真弘, 立花和之進, 大竹徹. 東日本大震災後沿岸部における乳癌センチネルリンパ節生検の術中迅速病理診断におけるテレパソロジーの応用. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

白井祝子, 渡邊絵里子, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 大竹徹. 当院における皮膚潰瘍を伴う進行乳がん患者の集学的治療のための多職種の間わり. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

多田羅妙佳, 野田勝, 橋本万理, 大竹廉正, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 術前組織診で非浸潤性乳管癌と診断されるも術後病理診断が浸潤癌であった症例における臨床病理学的特徴. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

立花和之進, 多田羅妙佳, 橋本万理, 大竹廉正, 東條華子, 阿部貞彦, 西間木祐子, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. 転移再発乳癌に対するオラパリブの使用経験について. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

西間木祐子, 安田満彦. 当院における BRCA 遺伝学的検査についての検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

野田勝, 立花和之進, 多田羅妙佳, 橋本万理, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するトラスツズマブ デルクステカン投与症例の検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

橋本万理, 野田勝, 多田羅妙佳, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. 腫瘍随伴皮膚筋炎を合併した再発乳癌の 2 例. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

星信大, 立花和之進, 植村武文, 阿部貞彦, 東條華子, 西間木祐子, 野田勝, 岡野舞子, 松本清香, 和栗聡, 大竹徹. 乳癌データベースを用いた、乳癌腫瘍増殖に関連する可能性がある adaptor protein complex (AP-1) の解析. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

安田満彦, 西間木祐子. 高齢者再発乳癌に対する抗がん剤治療、シクロホスファミドの内服を中心に. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

渡邊絵里子, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 大竹徹, 白井祝子. 乳癌周術期化学療法を受けける患者の予約外受診内容と対応の検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

大竹徹 (座長). ポスター116 「バイオマーカー (予後因子) 3」. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230630; 横浜.

東條華子, 長塚美樹, 大河内千代, 手塚康二, 松崎正實, 片方直人, 勝部暢介, 田畑憲一, 二瓶光博, 野水整. HBOC から見た DCIS の検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230630; 横浜.

長塚美樹, 東條華子, 後藤かおり, 手塚康二, 大河内千代, 松崎正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. HBOC に対する BRCA 遺伝子学的検査の有病・病診連携運用のためのチーム医療. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230630; 横浜.

阿部貞彦, 橋本万理, 多田羅妙佳, 大竹廉正, 東條華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 吉田清香, 立花和之進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 当院における腋窩部腫瘍に関する臨床学的検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

石澤真奈美, 舟見敬成, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 大竹徹. タモキシフェン内服中の脂肪肝に対し運動療法が有用であった症例の検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

勝部暢介, 東條華子, 後藤かおり, 手塚康二, 長塚美樹, 岡野舞子, 松崎正實, 片方直人, 野水整. 遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) における家族歴の特徴に関する検討. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

舟見敬成, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 石澤真奈美, 大竹徹. 化学療法前後における乳癌患者に対する運動療法の効果～心機能と運動耐容能の変化～. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

立花和之進. 患者さんの QOL を踏まえて考える HER2 陽性転移再発乳癌の治療戦略. 乳がん Web セミナー in Shizuoka; 20230720; 静岡/Web.

遠藤麻衣, 山本俊幸, 阿部貞彦. 左乳頭部に発生した粘液癌 (mucinous carcinoma) の 1 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230805; 名古屋.

立花和之進. 福島医大における進行再発乳癌患者に対する頭皮冷却装置の運用について. MBC Web Forum～乳癌診療における多職種連携について考える～; 20230825; 福島/Web.

阿部貞彦. 症例提示. 第 38 回北福島乳腺カンファレンス; 20230909; Web.

立花和之進. エンハーツの臨床成績を実臨床にどう活かすか? HER2 陽性転移・再発乳癌. Breast Cancer Agora; 20230928; Web.

黒田純子, 及川雅啓, 徳田恵美, 立花和之進, 大竹徹, 竹石恭知, 佐治重衡. 乳がん患者を対象としたアンシラサイクリン系抗がん薬による心機能障害発現の後方視的調査. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20231001; 神戸.

立花和之進. MBC 治療の側面から SDM の謎に迫る. 東北乳がんセミナー 専門的多職種連携 (MDT) 促進のためのコツ; 20231016; Web.

立花和之進. Residual disease guided approach を踏まえた HER2 陽性乳がんに対する周術期治療～患者さんに納得して治療を受けてもらうために私が大切にする IC のコツとコミュニケーションスキル～. 第 7 回 BReast

IDEAL Generations; 20231027; 名古屋/Web.

末永佳奈子, 野田勝, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. センチネルリンパ節に ITC を有し診断が困難であった乳管腺腫の 1 例. 第 25 回 SNNS 研究会学術集会; 20231028; 東京.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. 近赤外光カメラシステム LIGHTVISION を用いた ICG 蛍光法および RI 法併用による乳癌センチネルリンパ節生検. 第 25 回 SNNS 研究会学術集会; 20231028; 東京.

石澤真奈美, 舟見敬成, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 大竹徹. 内分泌療法中の脂肪肝に対し運動療法が有用であった症例の検討. 第 20 回福島県乳癌研究会; 20231028; 郡山/Web.

尾崎章彦, 権田憲士, 澤野豊明, 金本義明, 黒川友博, 神崎憲雄, 和田真弘, 立花和之進, 大竹徹. 予防薬投与にも関わらずニューモシスティス肺炎を再発したステロイド長期投与中の乳がんの 1 例. 第 20 回福島県乳癌研究会; 20231028; 郡山/Web.

東條華子. 当科における OncotypeDX 検査について. 第 20 回福島県乳癌研究会; 20231028; 郡山/Web.

安田満彦, 西間木祐子. 乳癌術後内分泌療法中の肝障害に対する高脂血症治療薬の使用経験. 第 20 回福島県乳癌研究会; 20231028; 郡山/Web.

立花和之進. 乳がん薬物療法の最新情報について. いわき乳癌講演会; 20231201; いわき.

立花和之進. ER+HER2-転移再発乳癌の治療戦略を再考する. Breast Cancer Web Symposium; 20231214; Web.

立花和之進. TNBC の周術期治療における ICI の使用経験と irAE への取り組みについて. MSD Breast Cancer Symposium2023～1 年の使用経験を踏まえた課題と展望～; 20231218; 仙台.

立花和之進. ER+HER2-転移再発乳癌の治療戦略を再考する. Breast Cancer Web Symposium; 20231221; Web.

〔シンポジウム〕

西間木祐子, 安田満彦. 【テーマ別シンポジウム「DCIS の長期治療成績」】当院における初回手術時 DCIS 症例の温存乳房内再発症例の検討. 第 14 回 DCIS 研究会; 20230318; Web.

西間木祐子 (ディスカッサント). Discussion～周術期放射線治療を考える～. Fukushima Radiation Seminar on Breast Cancer; 20230425; Web.

阿部貞彦, 西間木祐子 (ディスカッサント). HR 陽性 HER2 陰性早期乳癌の薬物療法についての工夫点. 県北地域で学ぶ乳がん治療カンファレンス; 20230519; 福島.

立花和之進 (パネリスト). パネルディスカッション～腋窩リンパ節転移陰性に対する S-1 の役割を考える～. Breast Cancer Online Seminar 2023; 20230615; Web.

立花和之進（パネリスト）．これからの東北の乳がん治療を考える．山形県の乳がん治療を考える会; 20230616; 山形.

岡野舞子, **勝部暢介**, **赤間孝典**, **東條華子**, **阿部貞彦**, **星信大**, **西間木祐子**, **野田勝**, **立花和之進**, **長塚美樹**, **徳田恵美**, **松寄正實**, **片方直人**, **佐治重衡**, **野水整**, **大竹徹**. 福島県における HBOC 診療の現状報告と今後の課題. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

立花和之進（パネリスト）．委員会企画 会員サービス検討小委員会(総務委員会)、(教育研修委員会を含む)「あなたの声が乳癌学会の MIRAY を作る～Legacy から MIRAY1 まで～」．第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

立花和之進. エンハーツ AE マネジメントのピットフォール. Breast Cancer Web Seminar in Fukushima; 20230710; Web.

大竹徹, **立花和之進**（コメンテーター）．施設の強みを生かした ACP 介入について. MBC Web Forum～乳がん診療における多職種連携について考える～; 20230825; 福島/Web.

立花和之進（ディスカッサント）．東北の乳癌治療における薬剤師との連携を考える．東北乳がんセミナー 専門的多職種連携（MDT）促進のためのコソ; 20231016; Web.

阿部貞彦（ディスカッサント）．Discussion～転移・再発乳癌に対する放射線治療を考える～. Fukushima Radiation Seminar on Breast Cancer; 20231017; Web.

立花和之進（ディスカッサント）．誰が！どこで！どのように投与する！？気になるフェスゴの運用方法！ 北日本フェスゴ配合皮下注 Web 講演会; 20231127; Web.

立花和之進（ディスカッサント）．メディカルスタッフにも知ってほしい！エキスパートが考える適正使用について．いわき乳癌講演会; 20231201; いわき.

〔特別講演〕

立花和之進. 乳癌治療における FN マネジメントにジーラスタボディーボッドをどう活用するか？ 病院薬剤師セミナー; 20230130; 札幌/Web.

大竹徹. HER2 陽性転移再発乳癌の新たな治療戦略. Breast Cancer Seminar in 福島 2023; 20230214; Web.

大竹徹. HER2 陽性転移再発乳癌の新たな治療戦略. Yamagata Breast Cancer Seminar on the Web; 20230414; Web.

大竹徹. ホルモン受容体陽性乳癌の周術期薬物療法ーベージニオの最適な使い方ー. 県北地域で学ぶ乳がん治療力ンファレンス; 20230519; 福島.

立花和之進. HER2 陽性転移再発乳癌の治療戦略の組み立て方～患者さんの QOL を踏まえた最適解を考える～.

京都南部 Breast Cancer Meeting 2023; 20230523; Web.

立花和之進. エンハーツによって大きく変化した乳癌治療戦略について. Breast Cancer Web Seminar; 20230525; Web.

大竹徹. 乳がんを学ぼう. Live Symposium 地域で見守る乳がん; 20230529; Web.

大竹徹. 令和3年度福島市乳がん検診成績について. 令和5年福島市乳がん検診精度管理研修会; 20230606; Web.

立花和之進. 乳腺診療の魅力に取りつかれた医師のお話. 山形県の乳がん治療を考える会; 20230616; 山形.

大竹徹. トリプルネガティブ乳がんの治療戦略. 会津乳がん治療セミナー; 20230620; 会津若松.

大竹徹. 乳がん治療の進歩. 星総合病院第101回集談会; 20230622; 郡山.

立花和之進. Residual disease guided approach を踏まえた HER2 陽性乳がんに対する周術期治療. 第2回 Kawasaki Breast Cancer Seminar; 20230705; Web.

大竹徹. 進化する乳癌個別治療～PARP 阻害薬への期待. Breast Cancer workshop in いわき 2023; 20230711; いわき.

大竹徹. 乳がんを学ぼう. 大切な人を守る学生「がん予防」メイト養成事業出前講義; 20230726; 郡山.

大竹徹. 早期乳癌の画像診断と病理. 第22回福島県乳腺画像研究会; 20230902; Web.

大竹徹. 福島県のがん対策の現状. 第6回福島県がんシンポジウム; 20230909; 福島.

大竹徹. 乳がんを学ぼう. 福島県立医科大学公開講座; 20231011; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がん薬物治療～最近の話題～. Ehime Breast Cancer Conference 2023; 20231030; 松山/Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がん患者さんへ適切な周術期治療を届けるための SDM を考える. 乳がん多職種連携を考える会; 20231031; 長野/Web.

大竹徹. QOL を重視した乳癌内分泌療法ーエクオールの可能性についてー. 第33回日本医療薬学会年会; 20231105; 仙台.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療戦略の組み立て方～PHESGO の登場でみえてくるものとは～. Chugai Breast Cancer Symposium in OKAYAMA; 20231110; 岡山/Web.

大竹徹. HER2 陽性乳癌に対する分子標的治療の新展開. 令和5年度いわき乳腺疾患研究会; 20231110; いわき.

立花和之進. 社内研修会. 大鵬薬品工業社内研修会; 20231114; 郡山.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌の治療の奥深さに気付いてしまった医師の話. 第 5 回東北・新潟若手乳癌セミナー; 20231118; 仙台.

立花和之進. HER2 陽性乳がん患者さんへ適切な周術期治療を届けるための SDM を考える. 乳がん多職種連携を考える会; 20231120; Web.

立花和之進. RI 法と蛍光色素法を併用したセンチネルリンパ節生検の現状と乳癌術後のインテンシブフォローについて. 乳がん WEB イメージングセミナー2023; 20231128; Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療の組み立て方～PHESGO の登場でみえてくるものとは～. CHUGAI BREAST CANCER SYMPOSIUM in SHIGA; 20231130; Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療戦略の組み立て方～PHESGO の登場でみえてくるもの～. CHUGAI BREAST CANCER SEMINAR in 北陸; 20231206; Web.

立花和之進. Residual disease guided approach を踏まえた HER2 陽性乳がんに対する周術期治療. 乳癌 Expert Meeting ～オンライン開催～; 20231208; Web.

立花和之進. 乳がん患者さんへ適切な周術期治療を届けるための SDM を考える～PHESGO の登場で変わるもの、変わらないもの～. 第 16 回南東北乳がん看護ネットワーク看護セミナー; 20231209; Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療戦略の組み立てかた～PHESGO の登場で見えてくるものとは～. 福島県フェスゴ発売記念講演会; 20231213; Web.

立花和之進. 乳癌患者さんを取りまく治療環境の変化に対する様々な取り組みについて. MBC Expert Web Forum in 青森市; 20231215; Web.

〔招待講演〕

岡野舞子. 乳腺外科領域疾患に対する診断と治療. 旭化成ファーマ社内教育講演会; 20230120; 郡山/Web.

立花和之進. 知ってください「乳がん」のこと. 桜の聖母学院高等学校保健指導; 20230202; 福島.

立花和之進. 乳がんとその予防について. 大切な人を守る学生「がん予防」メイト養成事業出前講義; 20230724; 福島.

立花和之進. 乳癌診療における画像検査の活用～外科切除から転移治療まで～「Shared Decision Making からみえてきた乳癌術後のインテンシブフォローについて」. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

岡野舞子. 乳癌における BRCA コンパニオン検査体制をどうするか. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20231104; 郡山.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療戦略の組み立て方～PHESGO の登場でみえてくるものとは

～. 第 33 回日本乳癌検診学会学術総会; 20231124; 福岡.

【その他】

大竹徹, 立花和之進. ワールドキャンサーデー・がん検診の受診率が低調 啓発に取り組む女性. ゴジてれ Chu ! ; 20230206; 福島中央テレビ.

立花和之進. なんでかんで答えます! 「早期発見が大切! “乳がん”」. なんでかんで見っせ! ; 20230304; テレビユー福島.

星信大 (パネリスト). 教育セミナー【治療編】「腋窩・領域リンパ節のマネージメント」. 第 20 回日本乳癌学会東北地方会; 20230305; 仙台/Web.

李里花, 立花和之進, 伏見淳, 寺田満雄, 渡邊諭美, 高尾優子, Eun Young Kim, Min Hwan Kim, Sung-Bae Kim, Jeong Eon Kim, 川井沙織, 山下奈真. 会長特別企画 1 次世代の乳がん医療を拓く「アジアの未来 (GBCC/JBCS 共同企画) Future of Breast Cancer Medicine in Asia」. 第 31 回日本乳癌学会学術総会; 20230630; 横浜.

立花和之進. ゲストドクター. 坂本梨紗のヘルシーメルシー! ; 20231001; ニッポン放送.

立花和之進. HER2 陽性乳がん周術期治療の治療方針. 中外製薬社内研修会; 20231012; 福島.

立花和之進. 化学療法誘発脱の軽減目的に開発した日本製頭皮冷却システムの有効性と課題. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

野田勝 (ディスカッサント). 乳がんパネル検査の実際と Q&A. おしえて! 乳がんゲノム検査 in 東北; 20231117; Web.

その他の業績 (作品、フィールドワーク等)

過年業績

立花和之進. 乳腺外科監修. 映画「Dr.コトー診療所」(東宝). 20221216.

心臓血管外科学講座

論文

〔原 著〕

Soeta N, Kawamata T, Tosa T, Suzushino S, Higuchi M, Saito T. Laparoscopic repair of an incarcerated inguinal hernia containing the sigmoid colon with a colonoscope. Asian Journal of Endoscopic Surgery. 202307; 16(3):627-630.

Yamakuni R, Ishii S, Yamada S, Hara J, Suenaga H, Sugawara S, Sekino H, Yamaki T, Ishida K, Hashimoto Y, Ito H. Different prognostic outcomes in two cases of FDG-PET/CT-Positive and -negative cardiac angiosarcoma. Fukushima Journal of Medical Science. 202304; 69(1):45-49.

Seto Y, Yokoyama H, Takase S, Fujimiya T, Shinjo H, Ishida K. Staged hybrid repair for a patient with chronic type B aortic dissection. Fukushima Journal of Medical Science. 202308; 69(2):151-155.

横山 齊. 【大動脈緊急症に備えよ!医療体制の現状と課題】 治す 大動脈緊急症と循環器病対策推進計画. Heart View. 202312; 27(13):1192-1196.

高瀬 信弥. 【臨床医からみた POCT】 日常診療と POCT 実践 災害医療における超音波検査による POCT の実践 DVT ハイリスク避難者に対する対応. Medicina. 202304; 60(5):748-752.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 國井浩行, 石田圭一, 新城宏治, 藤宮剛, 高瀬 信弥, 横山 齊, 竹石恭知. 福島県立医科大学附属病院における Transcatheter Aortic Valve Implantation の検討. 大原記念財団年報. 202309; 59:26-32.

碓氷章彦, 志水秀行, 湊谷謙司, 岡田健次, 椎谷紀彦, 本村昇, 横山 齊, 心臓血管外科フィブリノゲン製剤適正使用協議会. 心臓血管外科手術におけるフィブリノゲン製剤の使用実態調査. 日本心臓血管外科学会雑誌. 202309; 52(5):353-360.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

近内政美, 高瀬 信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 永田恵実, 横山 齊. 心拍動下僧帽弁置換術が有効であった Mitra clip 脱落后 MR に対する一手術例. 第 40 回福島心臓血管外科研究会; 20230128; 福島.

永田恵実, 若松大樹, 佐戸川弘之, 高瀬 信弥, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 近内政美, 横山

齊. 心外導管型 Fontan 手術後の新たな遠隔機合併症：導管狭窄の治療経験. 第 40 回福島心臓血管外科研究会; 20230128; 福島.

永田恵実. 心外導管型 Fontan 手術後の新たな遠隔期合併症：導管狭窄 4 例の治療経験. 第 53 回日本心臓血管外科学会学術総会 ; 20230323; 旭川.

川又諒, 永田恵実, 近内政美, 石田圭一, 新城宏治, 山本晃裕, 瀬戸夕輝, 若松大樹, 高瀬信弥, 横山斉. 救命に至った腸管虚血を伴う Stanford A 型大動脈解離の一例. 第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

近内政美, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 永田恵実, 横山斉. 心拍動下僧帽弁置換術が有効であった Mitra clip 脱落后 MR に対する一手術例. 第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

永田恵実, 若松大樹, 高瀬信弥, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 近内政美, 横山斉. 左室脱血併用 central ECMO による乳児劇症型心筋炎の 1 治療例. 第 109 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

近内政美. 下肢虚血および腸管虚血を合併した若年発症の急性 B 型大動脈解離の 1 治療例. 第 43 回福島心疾患治療談話会; 20230617; 福島.

若松大樹. 鎖骨下動脈フラップ法による大動脈再建後の弓部形態変化 弓部低形成を有する症例について. 第 59 回日本小児循環器学会総会・学術集会; 20230707; 横浜.

狩野安里, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 永田恵実, 近内政美, 横山斉. 当院における大動脈弁人工弁機能不全に対する外科的介入の検討. 第 110 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

近内政美, 石田圭一, 永田恵実, 新城宏治, 山本晃裕, 瀬戸夕輝, 若松大樹, 高瀬信弥, 横山斉. 下肢虚血および腸管虚血を合併した若年発症の急性 B 型大動脈解離の 1 治療例. 第 110 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

永田恵実, 若松大樹, 高瀬信弥, 瀬戸夕輝, 山本晃裕, 新城宏治, 石田圭一, 近内政美, 横山斉. ファロー四徴症、肺動脈閉鎖術後 2 心室循環における、massive TR による重度右心不全に対し、学童期に 1.5 心室修復を行った 1 例. 第 110 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

高瀬信弥. 静脈血栓塞栓症に対する当院の現況. がん関連血栓症を考える会; 20231101; Web.

若松大樹. 心臓外科セッション セッション 3 成人先天性心疾患の診療. 第 14 回会津心臓病心血管疾患研究会; 20231117; 会津若松.

高瀬信弥. 多枝病変に関する動脈グラフトを多用した冠動脈バイパス術の遠隔期における優位性. 第 36 回日本冠疾患学会学術集会; 20231124; 金沢.

〔シンポジウム〕

横山 齊. 日本心臓血管外科学会が目指す働き方改革後の医療体制. 第 21 回全国病院事業管理者・事務責任者会議; 20230825; 富山.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又諒, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 狭窄を伴う大腸癌症例の口側結腸の評価のための大腸 CT 検査の有効性. 第 41 回日本大腸検査学会総会; 20231117; 東京.

〔特別講演〕

横山 齊. 未来予想図～10 年後の胸部外科は～. 第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231020; 仙台.

〔招待講演〕

Yokoyama H. Indication and Safe Strategy for OPCAB. 2nd OPCAB and MICS seminars at Lampang Hospital; 20231030; Lampang, Thailand.

〔その他〕

Yokoyama H. TACAS and International coronary Session. 2nd OPCAB and MICS seminars at Lampang Hospital; 20231030; Lampang, Thailand.

Yokoyama H. Competition of Coronary anastomosis and Mammary artery Harvesting Workshop. 2nd OPCAB and MICS seminars at Lampang Hospital; 20231030; Lampang, Thailand.

横山 齊. 理事長講演. 第 53 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20230324; 旭川.

若松大樹. 教育講演 肺静脈環流異常の外科治療. 第 11 回東北小児循環器懇話会; 20230513; 福島.

横山 齊. 日本心臓血管外科学会の取組. 第 48 回日本外科系連合学会学術集会; 20230608; 横浜.

高瀬信弥. 災害における静脈血栓症. 坂出市医師会学術講演会; 20230629; Web.

高瀬信弥. 大動脈瘤に対するステントグラフトについて. 第 20 回血管外科アカデミー; 20230902; 花巻.

新城宏治. EVAR の治療戦略. 第 4 回伊達の会 in JLL sendai; 20230902; 仙台.

横山 齊. Development of Future Cardiovascular Experts in Japan. 徳洲会国際心臓血管セミナー IN 葉山; 20230916; 葉山.

若松大樹. パネルディスカッション 6 当院における小児 Cardiac ECMO 治療. 第 48 回日本体外循環技術医学会大会; 20231020; 仙台.

若松大樹. 当院における小児 Cardiac ECMO 治療. 第 48 回日本体外循環技術医学会大会; 20231021; 仙台.

若松大樹. 当院における成人先天性心疾患の外科治療. 第32回東北心臓血管外科手術手技研究会; 20231028; 仙台.

若松大樹, 永田恵実, 横山斉. 先天性心疾患術後の肺高血圧治療. 第26回福島県小児循環器研究会; 20231209; 福島.

外科研修支援担当

論文

〔原著〕

Matsumoto T, Ohki S, Kaneta A, Matsuishi A, Maruyama Y, Yamada L, Tada T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Sakamoto W, Momma T, Saze Z, Kono K. Systemic inflammation score as a preoperative prognostic factor for patients with pT2-T4 resectable gastric cancer: a retrospective study. *BMC Surgery*. 202301; 23(1):8.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Nakajima T, Kikuchi T, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202307; 72(7):2233-2244.

Nakajima S, Kaneta A, Okayama H, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Matsumoto T, Fukai S, Sakuma M, Sato T, Mimura K, Saito M, Saze Z, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Kono K. The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8+ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer. *Cancers*. 202305; 15(10):2826.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA-CD27+CD127+Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Cancers*. 202307; 15(14):3641.

Katagata M, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Sato T, Sakuma M, Fukai S, Endo E, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGFβ-Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer. *Cancers*. 202310; 15(20):4943.

Nishimagi A, Kobayashi M, Sugimoto K, Kofunato Y, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Marubashi S, Chiba H. Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510

is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence. Clinical and Experimental Medicine. 202312; 23(8):4985-4995.

Sato T, Saito M, Nakajima S, Saito K, Katagata M, Fukai S, Okayama H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2-negative gastric cancer. Gastric Cancer. 202305; 26(3):379-392.

Fukai S, Nakajima S, Saito M, Saito K, Kase K, Nakano H, Sato T, Sakuma M, Kaneta A, Okayama H, Mimura K, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8+T-cell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer. Gastric Cancer. 202311; 26(6):878-890.

Suzushino S, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Waguri S, Marubashi S. Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemented with Adipose-Derived Stem Cells. Tissue Engineering. Part A. 202307; 29(13-14):384-396.

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏効 (pCR) を得た後, 腹膜播種再発を生じた膵癌の1例. 癌と化学療法. 202312; 50(12):1311-1313.

〔総説等〕

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 癌と化学療法. 202310; 50(10):1099-1101.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【胆管再建を見直す】成人総胆管拡張症に対する胆管空腸吻合. 手術. 202303; 77(3):329-333.

芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【IPMN 診療の新知見】膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の手術適応と術式. 消化器外科. 202312; 46(12):1315-1320.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Matsuishi A, Nakajima S, Sakuma M, Okayama H, Mimura K, Kono K. The impact of CLDN18 expression and natural killer cell infiltration on clinical outcomes in patients with gastric cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719-20; Singapore.

Okayama H. Targeting the Tumor Immune Microenvironment in Colorectal Cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719-20; Singapore.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719-20; Singapore.

鈴木野聖子, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. GEM+nab-PTX 療法により長期生存が得られている膵癌術後再発の 1 症例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏功 (pCR) を得た後、術後 20 ヶ月の時点で腹膜播種再発を生じた膵癌の 1 例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 当施設における膵腎同時移植の治療経験. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

佐藤直哉, 鈴木野聖子, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と膵島細胞の複合細胞シートにおける細胞間微細構造の観察. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆嚢腫瘍の術前診断における MRI 拡散強調画像の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-29-4.

西間木淳, 杉本幸太郎, 小林信, 小船戸康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 千葉英樹, 丸橋繁. 肝癌における核内受容体 LXR1 異常リン酸化の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-56-2.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除における術中胆汁細菌培養の有用性の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-5.

見城明, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 岡田良, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 胆道癌に対する肝切除術の術後肝不全予測因子に関する検討—術中 ICG クリアランス測定の有用性に関する検討—. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-7.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前治療・外科手術における膵癌の生物学的悪性度の意義. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-160-2.

武藤亮, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌手術後の残膵体積と糖尿病・栄養・体組成の関係. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29. 抄録集. DP-163-5.

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膝癌手術症例における GLIM 基準による術前栄養評価の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-167-8.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膝良性/境界悪性疾患に対する自動縫合器による尾側膝切除時の切離時間短縮化への試み. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 腹腔鏡下またはロボット支援下低位前方切除術後の縫合不全症例の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

岡山洋和, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 深井智司, 佐久間芽衣, 松本拓朗, 遠藤英成, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 中嶋正太郎, 三村耕作, 河野浩二. Molecular subtypes of colorectal cancer. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

小野澤寿志, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy (TNT) の治療成績とその問題点. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 深井智司, 佐藤孝洋, 金田晃尚, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における $TGF-\beta$ と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

齋藤元伸, 仲野宏, 岡山洋和, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現の機序の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

坂本渉, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 低位直腸癌に対するロボット支援側方リンパ節郭清のドレーン排液量減少効果と術後在院日数短縮効果—腹腔鏡下手術との比較—. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

佐久間芽衣, 坂本渉, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科における後方アプローチ手術 5 例の経験. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

佐藤孝洋, 齋藤元伸, 叶多諒, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

三村耕作, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 抗PD-1療法不応性病変のメカニズムと治療戦略について. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

門馬智之, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. ガイドラインに基づく診療と教育: 現状と課題. 第123回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

緑川雄亮, 武藤亮, 東孝泰, 月田茂之, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 急速な増大でOncology Emergencyを呈した血球増多を伴う胆嚢癌の1例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

佐藤直哉, 見城明, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 丸橋繁. 巨大脾腎シャントを伴う末期肝硬変症例に対する門脈再建の工夫. 第41回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

圓谷秀哲, 藤田正太郎, 氏家大輔, 金田晃尚, 佐久間芽衣, 深井智司, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 化学療法に抵抗性を生じたS状結腸癌術後再発に対しpembrolizumabで長期生存を得た1例. 第45回日本癌局所療法研究会; 20230602; 東京.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化シートの血管誘導効果. 第59回日本肝臓学会総会; 20230615-16; 奈良.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 第44回癌免疫外科研究会; 20230622-23; 千葉.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2陽性胃がんにおいてHER2経路がSTINGやCD8+T細胞に及ぼす影響. 第44回癌免疫外科研究会; 20230622-23; 千葉.

Haga J, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Experience with six cases of hepatic cysts in our department and changes in surgical technique. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Risk factors for nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD) after pancreaticoduodenectomy. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. The effect of surgical margin status on survival for perihilar cholangiocarcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A retrospective study of recurrence site of Gallbladder Cancer after Surgery. 第35回日本肝胆膵外科学会学術

集会; 20230630-0701; 東京.

Tsukida S, Sato N, Nishimagi A, Muto M, Kofunato Y, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of intractable lymphatic leakage after pancreaticoduodenectomy for pancreatic adenocarcinoma, successfully treated with lymphangiography using Lipiodol. 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

深井智司, 門馬智之, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 深井智司, 門馬智之, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 若年発症の虫垂 NET に対する 1 切除例. 第 99 回大腸癌研究会学術集会; 20230706-07; 尼崎.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 見城明, 丸橋繁. 術中 MRI を用いた肝切除術の適応と有用性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

上野未来, 石亀輝英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆膵領域癌における終末期出血性イベントに対する IVR の有用性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

氏家大輔, 圓谷秀哲, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸全摘術後における stoma outlet obstruction の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

岡山洋和, 片方雅紀, 遠藤英成, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 深井智司, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 大腸鋸歯状病変における間質プロファイリングの試み. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

小野澤寿志, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 肛門管扁平上皮癌に対する治療戦略. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 佐藤孝洋, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 見城明, 丸橋繁. 手術訓練、外科医学教育のための外科医自身が編集可能な 3D デジタルコンテンツの開発. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 肝移植レシピエントに発症した消化器 de novo malignancy に対する治療上の課題. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の導入に向けた準備と初期成績. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

坂本涉, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当院における進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant Therapy とロボット支援下側方郭清～安全に共存可能か?～. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 河野浩二. 進行・再発食道扁平上皮癌症例における nivolumab 奏功群の免疫学的特徴. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 切除可能膵癌に対する術前治療の個別化への挑戦. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

千田峻, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本涉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腸管腔瘻に対して腸間膜 flap による修復術を施行した 2 例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術を施行した高齢者膵癌においてサルコペニアが予後に与える影響. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

圓谷秀哲, 岡山洋和, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 坂本涉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. S 状結腸癌に対する S 状結腸切除および子宮頸がんに対する子宮全摘術後に左尿管狭窄を生じた一例. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻に対する再建法の比較検討～柿田変法 vs Blumgart 法～. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

深井智司, 坂本涉, 遠藤英成, 多田武志, 花山寛之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 地方大学における外科教育・働き方改革のためのオンライン活用術. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

門馬智之, 圓谷秀哲, 氏家大輔, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本涉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. ロボット支援手術における腹膜外経路ストーマ造設術の工夫. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 集学的治療が奏功しているオリゴ転移陽性肝内胆管癌の 1 切除例. 第 59 回日本胆道学会学術集会; 20230914-15; 札幌.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植の普及啓発における市民公開講座の効果. 第 59 回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):250.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植に関する福島県民の意識調査. 第 59 回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):251.

荒井奈津希, 國分希美, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学附属病院におけるレシピエント移植コーディネーターの活動～体制整備から今日の取り組みまで～. 第 59 回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

中嶋正太郎, 金田晃尚, 岡山洋和, 菊池智宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 佐久間芽衣, 三村耕作, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 小野澤寿志, 門馬智之, 河野浩二. 瘍細胞内 cGAS-STING 経路が pMMR/MSS 大腸癌の CD8+ T 細胞浸潤や予後に及ぼす影響. 第 82 回日本癌学会学術総会; 20230921-23; 横浜/Web.

芦澤舞, 深井智司, 伊藤美郷, 遠藤英成, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

伊藤美郷, 三村耕作, 中嶋正太郎, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌 TME における HO-1 発現を介する M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加について. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

岡山洋和, 圓谷秀哲, 松石彬, 片方雅紀, 深井智 司, 中嶋正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β -activated tumor microenvironment in serrated colorectal neoplasia. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. BRAF 変異陽性大腸癌に対する 3 剤もしくは 2 剤併用化学療法 of 検討. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 齋藤勝治, 佐藤孝洋, 佐久間芽衣, 深井智司, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β 活性を有する腫瘍微小環境の TIM-3 と M2 マクロファージへの影響について. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

木口託見, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 憩室内に発生した S 状結腸早期癌の 1 例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

小針大輝, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌術後 5 年で“DST の耳”の部分閉塞をきたし、粘膜下腫瘍との鑑別を要した 1 例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸悪性腫瘍に対する側方リンパ節郭清におけるロボット支援手術の有用性. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 伊藤美郷, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントリガンドの発現. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

末永佳奈子, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌の耳下腺転移を来し、急激な転帰を辿った1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

千田峻, 圓谷秀哲, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腸癌および子宮頸癌術後に生じた尿管虚血により尿管閉塞を来した症例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

圓谷秀哲, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 骨盤部の巨大腫瘍に対して後方アプローチ併用下に骨盤内臓全摘術を施行した1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

深井智司, 片方雅紀, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

三村耕作, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における複数の免疫チェックポイント経路を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌術後ストーマ周囲壊疽性膿皮症の検討. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌切除後のCA19-9異常高値の予後に与えるインパクト. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. IPMNにおける浸潤癌と術前因子の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 血清Albumin値を用いた栄養指標による膵癌の予後予測. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 菅原良太, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科におけるIntracystic Papillary Neoplasm 4例の経験. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

芦澤舞, 小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 氏家大輔, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する術前治療症例の検討. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110-11; 熊本.

小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 肛門管扁平上皮癌に対する治療戦略. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110-11; 熊本.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 千葉裕仁, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.

当科における腹腔鏡下再肝切除の短期成績. 第 17 回肝臓内視鏡外科研究会; 20231115; 岡山.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の短期成績. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 見城明, 木村隆, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除における手技の工夫. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

月田茂之, 小船戸康英, 東孝泰, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における低侵襲脾切除術の取り組み. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

松石彬, 中嶋正太郎, 圓谷秀哲, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. CLDN18 発現と腫瘍浸潤 NK 細胞が胃癌患者の臨床転機に及ぼす影響. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231212-14; 東京.

圓谷秀哲, 三村耕作, 松石彬, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における VEGF 経路を標的とした regulatory T 細胞の制御方法の開発について. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231212-14; 東京.

中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. HER2 不均一発現を呈する胃癌症例から検討する HER2 シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231212-14; 東京.

【シンポジウム】

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁, 鈴木玲, 高木忠之, 大平弘正. 当院における局所進行切除不能脾癌に対する Conversion Surgery の経験. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

木村隆, 横山斉, 河野浩二, 鈴木弘行, 大竹徹, 丸橋繁, 田中秀明, 古谷文彦. 外科学部門全体で取り組む外科専門医, サブスペ専門医のシームレスな研修体制の構築 NCD データに基づく明確なキャリアパスの提示とリクルート. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

石亀輝英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学における肝胆膵領域ロボット支援下手術に対する取り組みと短期成績. 第 34 回内視鏡外科フォーラム in 盛岡; 20230520; 盛岡.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 成人生体肝移植における術後胆管狭窄のリスク因子解析と胆道再建法変更による効果. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

木村隆. フリーソフトでできる 3D コンテンツ作成方法. 第 21 回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会; 20230603; 弘前.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.

ICG 蛍光法を用いた術中ナビゲーション. 第 48 回日本外科系連合学会学術集会; 20230607-09; 横浜.

Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Kenjo A, Marubashi S. Development of 3D Simulation Technology in Pancreatic Surgery. Combining knowledge based on hepatobiliary and pancreatic surgeon's experience with state-of-the-art 3D modeling technology. 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 非心臓手術における合併心疾患の評価～外科医の立場から～. 第 28 回日本心臓血管麻酔学会; 20230916-17; 奈良.

見城明, 木村隆, 丸橋繁. 肝門部領域胆管癌に対する血管合併切除再建例の検討と成績向上のための課題. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

脳神経外科学講座

論 文

〔原 著〕

Hiruta R, Saito K, Bakhit M, Fujii M. Current progress in genomics and targeted therapies for neurofibromatosis type 2. Fukushima Journal of Medical Science. 202308; 69(2):95-103.

Hoshi K, Kanno M, Goto A, Ugawa Y, Furukawa K, Arai H, Miyajima M, Takahashi K, Hattori K, Kan K, Saito T, Yamaguchi Y, Mitsufuji T, Araki N, Hashimoto Y. Brain-derived major glycoproteins are possible biomarkers for altered metabolism of cerebrospinal fluid in neurological diseases. International Journal of Molecular Sciences. 202303; 24(7):6084.

Nagai K, Muto Y, Miura S, Takahashi K, Naruse Y, Hiruta R, Hashimoto Y, Uzuki M, Haga Y, Fujii R, Ueda K, Kawaguchi Y, Fujii M, Kitazume S. Brain-specific glycosylation enzyme GnT-IX maintains levels of protein tyrosine phosphatase receptor PTPRZ, thereby mediating glioma growth. Journal of Biological Chemistry. 202309; 299(9):105128.

Ito Y, Kojima T, Kobayashi T, Sato N, Konno Y, Oda K, Fujii M. Mechanical Thrombectomy for Patients with Occlusions in Both the Anterior Cerebral Artery and Middle Cerebral Artery: Case Series and Review of the Literature. Journal of Neuroendovascular Therapy. 2023; 17(6):114-119.

Shirakawa M, Yamada K, Watase H, Chu B, Enomoto Y, Kojima T, Wakabayashi K, Sun J, Hippe DS, Ferguson MS, Balu N, Yoshimura S, Hatsukami TS, Yuan C. Atherosclerotic carotid plaque characteristics vary with time from ischemic event: A multicenter, prospective magnetic resonance vessel wall imaging

registry study. Journal of the Neurological Sciences. 202303; 446:120582.

Kikuta H, Jinguiji S, Sato T, Bakhit M, Hiruta R, Sato Y, Sekine R, Tanabe H, Okada M, Saito K, Fujii M. A Collision Tumor of Pit-1/SF-1-positive Double Pituitary Adenoma and a Craniopharyngioma Coexisting with Graves' Disease. NMC Case Report Journal. 202306; 10:169-175.

Ito Y, Kojima T, Maeda T, Fujii M. Iatrogenic Arteriovenous Fistula between the Middle Meningeal Artery and Pterygoid Venous Plexus Secondary to a Le Fort I Osteotomy: A Case Report. NMC Case Report Journal. 202310; 10:299-302.

橋本康弘, 山口芳樹, 宇川義一. アルツハイマー病の診断マーカーとしての脳脊髄液中トランスフェリン糖鎖異性体の測定. Clinical Neuroscience. 202312; 41(12):1647-1649.

蛭田亮, 二村美也子, 藤井正純. 【The モニタリングー基本から応用まで】術式別 覚醒下手術 高次脳機能温存を目指して. Neurological Surgery. 202305; 51(3):540-550.

長井健一郎, 藤井正純. 【臨床脳神経外科医にとっての WHO 脳腫瘍分類第 5 版】成人良性脳腫瘍 神経鞘腫, 神経線維腫症 2 型, 神経鞘腫症. Neurological Surgery. 202309; 51(5):845-857.

藤井正純, Bakhit M. 【大脳白質解剖と脳内ネットワーク 2024 脳機能と脳科学がみえる】大脳白質解剖の最新情報 前頭・頭頂葉外側面をつなぐネットワーク. 脳神経外科速報. 202311; 33(6):718-725.

Bakhit M, 蛭田亮, 藤井正純. 【大脳白質解剖と脳内ネットワーク 2024 脳機能と脳科学がみえる】最新の脳区分地図. 脳神経外科速報. 202311; 33(6):726-734.

藤井正純, Bakhit M. 【大脳白質解剖と脳内ネットワーク 2024 脳機能と脳科学がみえる】言語理解を支える神経基盤と覚醒下手術への応用. 脳神経外科速報. 202311; 33(6):754-761.

〔総説等〕

橋本康弘, 齋藤貴志, 山口芳樹, 本多たかし. 神経細胞により生合成されるトランスフェリン糖鎖異性体はアルツハイマー病の診断マーカーとなる：糖鎖マーカーの中樞神経疾患への応用として. Dementia Japan. 202309; 37(3):466-480.

蛭田亮, 藤井正純. 【臨床脳腫瘍学ー最新の診断・治療と病態ー】脳腫瘍の病理学 NF2 関連神経鞘腫症（神経線維腫症 2 型）. 日本臨床. 202312; 81(増刊 9):119-125.

書籍等出版物

Fujii M, Bakhit M. Neural Basis of Language, a Comprehensive Update for Neurosurgeons. In: Shah A, Goel A, Kato Y. Functional Anatomy of the Brain: A View from the Surgeon's Eye. Singapore: Springer; 202310. p.135-173.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Bakhit M. The superior frontal longitudinal tract: a connection between the dorsal premotor and the dorsolateral prefrontal cortices. 46th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society; 20230804; Sendai.

蛭田亮, 二村美也子, 嶋原和昭, 大井直住, Bakhit M, 藤井正純. 頭頂葉が関わる高次運動機能の覚醒下マッピング. 第25回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20230224-25; 名古屋.

高橋浩一, 三浦真弘, 橋本康弘. 特発性正常圧水頭症 (iNPH) と特発性低髄液圧症 (SIH) との相違性からみた髄液動態の考察. 第24回日本正常圧水頭症学会; 20230218; 北見.

Bakhit M. Where do the cortical differences in language between the handedness groups happen An analysis at the Human Connectome Project multimodal parcellation level. 第25回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20230224; 名古屋.

高橋浩一, 三浦真弘, 橋本康弘. 脳脊髄液減少症から髄液の機能と動態を考える. 第2回日本脳脊髄液漏出症学会; 20230311-12; 川越.

伊藤裕平, 小島隆生, 前田卓哉, 藤井正純. Le Fort I 型骨切り術後に生じた中硬膜動静脈瘻の1例. 第47回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20230312; 仙台.

伊藤裕平, 小島隆生, 前田卓哉, 山ノ井優, 金森翔太, 藤井正純. 80歳以上の高齢脳主幹動脈閉塞症に対する血栓回収療法と内科的治療の比較. 第48回日本脳卒中学会学術集会; 20230316-18; 横浜.

小島隆生, 前田卓哉, 伊藤裕平, 山ノ井優, 金森翔太, 藤井正純. 福島県における脳主幹動脈急性閉塞症に対する前向き観察研究: Fukushima LVO Registry. 第52回日本脳卒中の外科学会学術集会; 20230317; 横浜.

伊藤裕平, 小島隆生, 遠藤未緒, 齋藤清, 前田卓哉, 藤井正純. 神経線維腫症1型患者の開頭手術後に生じた破裂後頭動脈瘤に対する血管内治療. 第48回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

鎌村美歩, 蛭田亮, 黒見洋介, 藤井正純. 診断及びてんかん発作コントロールに難渋したラスムッセン脳炎の一例. 第65回日本脳神経外科学会東北支部会; 20230902; 盛岡.

蛭田亮, 神宮宇伸哉, 長井健一郎, 岩楯兼尚, 市川優寛, 藤井正純. 視床グリオーマに対する積極的摘出術のためのアプローチと局所解剖. 第28回日本脳腫瘍の外科学会; 20230929-30; 長崎.

小島隆生, 前田卓哉, 伊藤裕平, 藤井正純. アテローム血栓を起因とした脳主幹動脈急性閉塞に対する機械的血栓回収療法. 日本脳神経外科学会第82回学術総会; 20231025; 横浜.

伊藤裕平, 小島隆生, 前田卓哉, 藤井正純. JSNET 専門医非在籍施設における血栓回収療法の治療成績. 日本脳神経外科学会第82回学術総会; 20231025-27; 横浜.

バキット ムダシル. 脳溝の歴史：ヒト上頭頂小葉外側面の脳溝 の命名法と形態に関する検討. 日本脳神経外科学会第 82 回学術総会; 20231025-27; 横浜.

蛭田亮, 長井健一郎, 二村美也子, 鳴原和昭, 岩楯兼尚, 神宮字伸哉, 市川優寛, Bakhit M, 藤井正純. 頭頂葉が関わる高次な運動機能一覚醒下手術における評価の実際と有効性一. 日本脳神経外科学会第 82 回学術総会; 20231025-27; 横浜.

蛭田亮, 二村美也子, Bakhit M, 藤井正純. 脳腫瘍術後に文字言語障害を呈した患者における病巣局在の検討. 第 47 回日本高次脳機能障害学会学術総会; 20231028-29; 仙台.

高橋浩一, 橋本康弘, 宮嶋雅一. 脳脊髄液異常症から髄液の産生機序を考える. 第 15 回日本水頭症脳脊髄液学会; 20231111; 富山.

小島隆生, 前田卓哉, 伊藤裕平, 小林亨, 佐藤昌宏, 佐藤直樹, 織田恵子, 市川剛, 藤井正純. 福島県における脳主幹動脈急性閉塞症に対する前向き観察研究：Fukushima LVO Registry. 第 39 回日本脳神経血管内治療学会学術集会; 20231124; 京都.

佐々木寛人, 板倉毅, 佐藤拓, 神宮字伸哉, 岩楯兼尚, 蛭田亮, 藤井正純. 当院での脳神経外科手術における眼球運動神経マッピングの現状. 第 53 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231130-1202; 福岡.

橋本康弘, 菅野真由美, 本多たかし, 宇川義一, 高橋浩一, 山口芳樹, 宮嶋雅一, 光藤尚, 荒木信夫. 脳脊髄液の産生変化のマーカーとしての脳型トランスフェリン. 第 51 回日本頭痛学会総会; 20231201; 横浜.

〔シンポジウム〕

蛭田亮, 長井健一郎, 菊田春彦, 岩楯兼尚, 神宮字伸哉, 市川優寛, 藤井正純. 術中 3T-MRI で脳腫瘍手術中の超急性期虚血性変化は検出できるか. 第 23 回日本術中画像情報学会; 20230624; 福島.

蛭田亮, 二村美也子, 長井健一郎, 市川優寛, Bakhit M, 藤井正純. 優位半球上側頭回の語音認知・把持と復唱課題の重要性. 第 21 回日本 Awake Surgery 学会; 20230715; 金沢.

〔特別講演〕

蛭田亮, 菊田春彦, 大槻澄枝, 二村美也子, 遠山侑依, 佐久間佳世, 藤井正純. 限られた社会福祉資源の中で終末期を迎える 30 歳代の膠芽腫患者. 第 21 回日本臨床医療福祉学会; 20231013-14; 福島.

〔招待講演〕

小島隆生. 福島県における脳卒中診療の現状：福島県脳卒中登録調査を踏まえて. ストップ！NO 卒中プロジェクト支部講演会 in 福島; 20231107; 福島.

整形外科科学講座

論文

〔原 著〕

Watanabe M, Tomiyama C, Nikaido T, Takeda T, Mandai N. Mental status is significantly associated with low back pain: a survey-based cross-sectional study among Japanese women. *BMC Research Notes*. 202301; 16(1):8.

Kurisunkal V, Morris G, Kaneuchi Y, Bleibleh S, James S, Botchu R, Jeys L, Parry MC. Accuracy of MRI scans in predicting intra-articular joint involvement in high-grade sarcomas around the knee. *Bone and Joint Journal*. 202306; 105-B(6):696-701.

Hirose T, Ikegami M, Kojima S, Yoshida A, Endo M, Shimada E, Kanahori M, Oyama R, Matsumoto Y, Nakashima Y, Kawai A, Mano H, Kohsaka S. 肉腫関連融合遺伝子 59 種の広範な解析によって COL1A1-PDGFB 融合遺伝子の阻害剤候補として同定されたパゾパニブ(Extensive analysis of 59 sarcoma-related fusion genes identified pazopanib as a potential inhibitor to COL1A1-PDGFB fusion gene). *Cancer Science*. 202310; 114(10):4089-4100.

Kawai A, Ishihara M, Nakamura T, Kitano S, Iwata S, Takada K, Emori M, Kato K, Endo M, Matsumoto Y, Kakunaga S, Sato E, Miyahara Y, Morino K, Tanaka S, Takahashi S, Matsuo F, Matsumine A, Kageyama S, Ueda T. Safety and Efficacy of NY-ESO-1 Antigen-Specific T-Cell Receptor Gene-Transduced T Lymphocytes in Patients with Synovial Sarcoma: A Phase I/II Clinical Trial. *Clinical Cancer Research*. 202312; 29(24):5069-5078.

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Konno SI. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: locomotive syndrome and health outcomes in the Aizu cohort study. *European Spine Journal*. 202302; 32(2):488-494.

Sonobe T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 202301; 25(1):23.

Kijima K, Ono G, Kobayakawa K, Saiwai H, Hara M, Yoshizaki S, Yokota K, Saito T, Tamaru T, Iura H, Haruta Y, Kitade K, Utsunomiya T, Konno D, Edgerton VR, Liu CY, Sakai H, Maeda T, Kawaguchi K, Matsumoto Y, Okada S, Nakashima Y. Zinc deficiency impairs axonal regeneration and functional recovery after spinal cord injury by modulating macrophage polarization via NF- κ B pathway. *Frontiers in Immunology*. 202311; 14:1290100.

Sato A, Itagaki S, Matsumoto T, Ise Y, Yokokura S, Wada T, Hayashi K, Kakamu T, Fukushima T, Nikaido T,

Konno S, Yabe H. Prediction of the prognosis of somatoform disorders using the Minnesota Multiphasic Personality Inventory. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202305; 69(2):105-113.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi K, Watanabe K, Kobayashi H, Konno SI. A muscle-preserving, spinous process-splitting approach for ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine in professional athletes: a report of three cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(2):143-150.

Kaneko Y, Minehara H, Sonobe T, Kameda T, Sekiguchi M, Matsushita T, Konno SI, Matsumoto Y. Differences in macrophage expression in induced membranes by fixation method - Masquelet technique using a mouse's femur critical-sized bone defect model. *Injury*. 202310; 55(6):111135.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Otani K, Ono R, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno SI, Matsumoto Y. Assessment of Lumbar Spinal Stenosis as a Risk Factor for Development of Sleep Disorder: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *International Journal of General Medicine*. 202311; 16:5417-5424.

Tarukado K, Matsumoto Y, Yokota K, Kobayakawa K, Saiwai H, Kawaguchi K, Nakashima Y. Dural reconstruction following resection of ventral and lateral spinal cord meningiomas: Fenestrated Durotomy with Oversized Graft technique. *Journal of Clinical Neuroscience*. 202310; 116:120-124.

Otoshi K, Kikuchi S, Otani K, Sonobe T, Sekiguchi M, Konno S. Potential influencing factor on health-related quality of life in Japanese with knee osteoarthritis: The Locomotive syndrome and Health outcome in Aizu cohort Study (LOHAS). *Journal of Experimental Orthopaedics*. 202308; 10(1):88.

Nikaido T, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI, DISTO-Project Working Group. Generalization of a clinical diagnosis support tool for lumbar spinal stenosis: Can the ankle brachial pressure index be replaced by palpation of the posterior tibial artery in the lumbar spinal stenosis diagnostic support tool? (DISTO project). *Journal of Orthopaedic Science*. 202305; 28(3):543-546.

Otoshi K, Kikuchi S, Igari T, Ejiri S, Konno S. Voluntary reducible recurrent anterior dislocation of radial head in juvenile baseball player A case report and review of the literatures. *JSES Reviews, Reports, and Techniques*. 202308; 3(3):436-442.

Oyama R, Iida K, Saiwai H, Matsumoto Y, Nakashima Y. Destructive cervical spondylitis due to *Cutibacterium acnes* with synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, and osteitis (SAPHO) syndrome: A case report (滑膜炎・ざ瘡・膿疱症・異常骨化・骨炎(SAPHO)症候群を伴ったアクネ菌による破壊性頸椎炎 1 症例報告). *Modern Rheumatology Case Reports*. 202301; 7(1):267-270.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Bekki H, Matsumoto Y, Yoshimoto M, Ishihara S, Kawaguchi K, Yamamoto H, Oda Y, Nakashima Y, Harimaya K. The Expression of Insulin-Like Growth Factor II Messenger RNA-Binding Protein 3 Upregulated in Intradural Extramedullary Schwannomas (硬膜内髄外神経鞘腫におけるインスリン様成長因子 II メッセンジャーRNA 結合蛋白 3 の発現増加). Spine Surgery and Related Research. 202301; 7(1):36-41.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Kaneko Y, Konno SI. Age-Related Differences in the Limited Range of Motion of the Lower Extremity and Their Relation to Low Back Pain in Young Baseball Players: A Cross-Sectional Study of 1215 Players. Sports Medicine - Open. 202305; 9(1):26.

Sonobe T, Hakozaiki M, Matsuo Y, Takahashi Y, Yoshida K, Konno S. Knee locking caused by osteochondroma of the proximal tibia adjacent to the pes anserinus: A case report. World Journal of Clinical Cases. 202308; 11(23):5595-5601.

山本雅俊, 飯田圭一郎, 小早川和, 鍋島央, 藤原稔史, 幸博和, 遠藤誠, 川口謙一, 松本嘉寛, 中島康晴. 転移性脊椎腫瘍による脊髄症状リスク患者検出に対する Spinal Instability Neoplastic Score の有効性についての検討. Journal of Spine Research. 202302; 14(2):82-87.

小林洋, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林良浩, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患における院内転倒 睡眠薬と夜間転倒に着目した当院のインシデント分析. Journal of Spine Research. 202306; 14(6):953-958.

矢吹省司, 二階堂琢也, 伊達久. 「慢性疼痛診療ガイドライン」を使いこなすコツ. Loco Cure. 202305; 9(2):97-105.

二階堂琢也. 【「慢性疼痛診療ガイドライン」を使いこなす】クリニカルクエスト 「慢性疼痛診療ガイドライン」にもとづいた慢性腰痛治療について. Loco Cure. 202305; 9(2):154-156.

龍啓之助. 【変わりゆく TKA のトレンド】TKA における ACL 機能. 関節外科. 202309; 42(9):1000-1007.

佐藤俊介, 畑下智, 伊藤雅之, 紺野慎一. 遠位骨幹部骨片が過度に後方に転位する大腿骨転子部骨折の形態学的特徴. 骨折. 202308; 45(4):1133-1139.

渡邊和之. 【腰痛診療の深化“標準”と“こだわり”を知り診療に生かす】腰部脊柱管狭窄（症）と腰痛. 整形・災害外科. 202307; 66(8):877-882.

加藤欽志. 【腰痛診療の深化“標準”と“こだわり”を知り診療に生かす】腰椎分離症と腰痛. 整形・災害外科. 202307; 66(8):891-901.

岸川準, 幸博和, 久保田健介, 小早川和, 飯田圭一郎, 川口謙一, 松本嘉寛, 坂井宏旭, 河野修, 中島康晴, 前田健. 総合せき損センターにて施行されたコンドリアーゼ椎間板内投与の治療効果についての報告. 整形外科と災害外科. 202303; 72(2):295-298.

山本瑛裕, 幸博和, 小早川和, 飯田圭一郎, 川口謙一, 松本嘉寛, 中島康晴. 脊椎転移後方固定術後のアライメント変化はスクリーンのゆるみの原因となる. 整形外科と災害外科. 202309; 72(3):579-581.

笹栗慎太郎, 松下昌史, 小早川和, 飯田圭一郎, 幸博和, 川口謙一, 松本嘉寛, 中島康晴. 腰椎手術におけるトラネキサム酸投与の周術期出血量における影響. 整形外科と災害外科. 202309; 72(4):825-828.

木戸麻理子, 山口亮介, 遠藤誠, 松本嘉寛, 石田彩乃, 中島康晴. 大腿骨に浸潤性の血管腫を生じた Klippel-Trenaunay-Weber 症候群の 1 例. 整形外科と災害外科. 202309; 72(4):841-844.

龍啓之助. 【特徴を知ってケアにいかす！肩・肘・股・膝 イチからわかる人工関節置換術】総論 人工関節置換術とは. 整形外科看護. 202309; 28(9):810-814.

渡邊和之, 紺野慎一. 【周術期対応ハンドブック 術前準備から術後管理・社会的対応まで】(第 2 章) 術前準備と周術期管理 慢性腰痛患者に対する術前説明と術後対応. 脊椎脊髄ジャーナル. 202303; 35(12):941-944.

二階堂琢也. 【STOP！脊椎脊髄外科における放射線被曝】自分自身の経験から職業被曝について考える. 脊椎脊髄ジャーナル. 202309; 36(8):575-580.

清水学, 後藤太聖, 龍啓之助, 李賢鎬, 藤井亮太, 中西一義. Medial Congruent 型 CR TKA における伸展 Gap の検討. 日本人工関節学会誌. 202312; 53:501-502.

二階堂琢也, 日本整形外科学会脊椎脊髄病委員会. 脊椎内視鏡下手術の現状 2021 年 1 月～12 月手術施行状況調査・インシデント報告集計結果. 日本整形外科学会雑誌. 202301; 97(1):65-73.

加藤欽志. 野球選手の脊椎疾患に対するマネジメント 腰椎分離症から黄色靱帯骨化症まで. 日本臨床スポーツ医学会誌. 202304; 31(2):275-278.

Suzuki H, Tsushima E, Ono Y, Shinden Y, Aota S, Oi N. Association Between Transversus Abdominis Activity and Pain, Muscle Strength, and Walking Ability After Total Hip Arthroplasty for Osteoarthritis of The Hip. 弘前医学. 202303; 73(1-4):67-78.

龍啓之助, 張英士, 小田修平, 小林甫, 中西一義. 【人工関節における進歩】各種人工関節置換術の各種アプローチ 人工膝関節置換術 膝関節前後安定性の獲得をめざした人工膝関節インプラントと手術手技. 別冊整形外科. 202304; 83:85-89.

二階堂琢也. 【アスリートの痛みを可視化する 画像で診る, 鏡で見る】fMRI で痛みの可視化. 臨床スポーツ医学. 202310; 40(10):986-991.

二階堂琢也. 【脊椎内視鏡下手術の進化・深化】総論 日本における脊椎内視鏡下手術の現状. 臨床整形外科. 202309; 58(9):1077-1083.

〔症例報告〕

佐藤俊介, 伊藤雅之, 畑下智. Hoffa 骨折の関節鏡視下関節内骨折治療の 1 例 放射線被曝の低減を意識して行う. 骨折. 202305; 45(3):1046-1050.

書籍等出版物

二階堂琢也, 紺野慎一. 間欠性跛行. In: 園生雅弘 編. 脊椎脊髄・神経筋の神経症候学の基本. 東京: 三輪書店; 202311. p.189-198.

二階堂琢也. PART I 非特異的腰痛の診かた 1. 非特異的腰痛の新しい画像診断 fMRI. In: 西良浩一 編. 非特異的腰痛の解体新書. 東京: 文光堂; 202311. p.17-22.

加藤欽志. PART V 椎間関節痛 1. アスリートの対策. In: 西良浩一 編. 非特異的腰痛の解体新書. 東京: 文光堂; 202311. p.132-136.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Mild Cognitive Impairment in Elderly Patients with Lumbar Spine Stenosis. ISSLS2023(第 49 回国際腰椎研究会議); 20230502; Melbourne, Australia.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Does daily exercise prevent future care needs related to spinal sagittal imbalance? Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). ISSLS2023(第 49 回国際腰椎研究会議); 20230502; Melbourne, Australia.

Yokota T, Otani K, Endo Y, Watanabe T, Kobayashi K, Kameda T, Sekiguchi M, Konno S. Efficacy of VBQ Scores in Predicting the Incidence of New Vertebral Fractures in Japanese Female 50 Years of Age and Older. ISSLS2023(第 49 回国際腰椎研究会議); 20230501-04; Melbourne, Australia.

Shinden Y, Aota S, Kusano K, Konno S. Release of Gluteus Medius Muscle and Capsule Reduces Fractures at The Greater Trochanter Via Direct Superior Approach for Total Hip Arthroplasty. 24th EFORT Vienna; 20230524-26; Vienna, Austria.

Kameda T, Ejiri S, Yokota T, Sasaki N, Konno S. Correction of Dorsal Intercalated Segment Instability with Combined Iliac Bone Graft and Vascularized Second Metacarpal-base Bone Graft for Scaphoid Nonunion with an Avascular Proximal Fragment. 13th Congress of the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Sasaki N, Kameda T, Fushimi Y, Sato S, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Osteoid osteoma of the hand and digit: a report of two cases. 13th Congress of the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531; Singapore.

Fushimi Y, Sasaki N, Kameda T, Utsumi A, Konno S. Upper limb duplication: a case report. 13th Congress of

the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Ogawa I, Suzuki T, Matsumoto Y. Sporadic Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor of the Adrenal Gland: A Case Report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Ogawa I, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Yamada H. Atypical lipomatous tumor of the thigh in a four-year-old girl: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Sato H, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Yamada S, Matsumoto Y. Abscopal effect following proton beam radiotherapy for recurrent dedifferentiated chondrosarcoma a case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Shinden Y, Hakozaiki M, Aota S, Ohashi H, Yamagishi E, Kaneuchi Y, Yamada H. Extra-articular hip joint resection with the spherical periacetabular osteotomy technique and reconstruction with total hip arthroplasty for osteosarcoma of the proximal femur: a case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

Suzuki T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Ogawa I, Yamada H, Matsumoto Y. Pleomorphic rhabdomyosarcoma in an elderly patient with neurofibromatosis type 1: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Tajino T, Yamada H, Hakozaiki M. The change of the regional incidence rate of the high-grade bone and soft tissue sarcomas after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Disaster in Fukushima Prefecture, Japan. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Tajino T, Konno S, Matsumoto Y. Severe oropharyngeal mucosal injury caused by high-dose methotrexate therapy for osteosarcoma. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231006; Taipei, Taiwan.

Kameda T, Yokota T, Sasaki N, Sekiguchi M, Konno S. Transient Receptor Potential Ankyrin 1 (TRPA1) agonist treatment alters extracellular matrix related genes in tenocytes under inflammatory conditions. 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

Sasaki N, Kawakami R, Ejiri S, Hatashita S, Kameda T, Sato S, Fushimi Y, Konno S. The Efficacy of the Continuous Intra-Arterial Infusion of Heparin for the Lower Leg Free Flap in the Reconstruction of Gustilo 3B and 3C Open Fractures. 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Spino-pelvic parameters and need for future care in elderly adults: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

猪股洋平, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 複数回の手術を要した頸椎砂時計腫の治療経験 3 例報告. 第 33 回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台.

鈴木駿介, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 段階的に手術を施行した筋性斜頸遺残-1 例報告. 第 33 回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台.

二階堂琢也, 山屋誠司, 富田卓, 千葉克司, 中川智刀, 木村竜太, 勝見敬一, 沼田徳生, 成田渉. 脊椎内視鏡下手術の一般化を目指して とうほく脊椎内視鏡研究会・JOA 認定ウェットモデルトレーニング報告. 第 33 回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 心臓血管外科に紹介され経過観察を指示された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317; 沖縄.

磯部瑞. 経過中に COVID-19 感染症を合併した、高齢者重症多発外傷の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230318; 那覇.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 高齢者腰椎疾患における軽度認知機能障害. 第 52 回日本脊椎脊髄病学会; 20230413; 札幌.

横田武尊, 大谷晃司, 遠藤裕司, 亀田拓哉, 小林賢司, 渡邊剛宏, 関口美穂, 紺野慎一. 福島県南会津地区の地域住民における腰椎骨折の既往と Vertebral Bone Quality Score との関係についての検討. 第 52 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

亀田拓哉, 横田武尊, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. 炎症下の腱細胞における Transient Receptor Potential Ankyrin 1 (TRPA1) アゴニスト投与による細胞外基質関連遺伝子の変化. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京.

伏見友希, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 内海滉人, 紺野慎一. 上肢重複肢の一例. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京.

横田武尊, 江尻荘一, 利木成広, 亀田拓哉, 佐々木信幸, 紺野慎一. キーンバック病の治療～原点と挑戦～ Kienboeck 病(Lichtman 分類 stageIII)に対する橈骨楔状骨切り術の有効性の検討 年齢が術後成績に与える影響. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京.

横田武尊, 亀田拓哉, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. ヒト腱細胞上の Transient Receptor Potential(TRP) channels と炎症との関連について. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 受傷 11 時間経過して紹介された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 12 回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

園部樹. 変形性膝関節症と身体機能の関連性 LOHAS study. 第 96 回日本整形外科学会; 20230511; 横浜.

渡邊和之, 大谷晃司, 関口美穂, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 富永亮司, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎

一. 運動習慣は脊柱矢状面バランス不良に関連する要介護状態を予防できるか (LOHAS). 第 96 回日本整形外科学会総会; 20230511; 横浜.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒文博, 山岸栄紀, 佐藤法義, 草野敬悟, 紺野慎一. Direct superior approach と従来法後方アプローチ THA における CT を用いたインプラント設置精度の比較検討. 日本整形外科学会; 20230511-14; 横浜.

横田武尊, 大谷晃司, 亀田拓哉, 遠藤裕司, 小林賢司, 渡邊剛広, 関口美穂, 紺野慎一. 椎体骨折発生予測に対する vertebral bone quality score の有効性に関する縦断研究. 第 96 回日本整形外科学会学術集会; 20230511-14; 横浜.

磯部瑞, 箱崎道之, 金内洋一, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 紺野慎一. 坐骨神経を合併切除して患肢を温存した大腿軟部肉腫の 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

亀田拓哉, 佐々木信幸, 伏見友希, 小林一貴, 利木成広, 紺野慎一, 松本嘉寛. 母指 CM 関節症に対する Yao 変法による関節形成術の治療成績の検討. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

新田夢鷹, 青田恵郎, 山岸栄紀, 紺野慎一. Direct Superior Approach の術後早期の歩行回復についての検討. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 佐々木信幸, 新田夢鷹, 草野敬悟, 紺野慎一, 松本嘉寛. 長期留置された大腿骨インプラントの抜釘困難による医原性骨折. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

菅原崇寛, 新田夢鷹, 佐藤俊介, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 線維性骨異形成症による大腿骨転子下病的骨折に対して上腕骨近位用ロッキングプレートを用いて骨接合術を行った 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

伏見友希, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 佐藤俊介, 紺野慎一, 松本嘉寛. 全身性強皮症に合併し治療に難渋した手指の皮膚潰瘍と化膿性近位指節関節炎の一例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

増子遼介, 箱崎道之. 肩甲棘部に生じた非定型骨折の 1 例. 第 49 回日本骨折治療学会; 20230629-30; 静岡. 骨折. 45(Supplement):S377.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の 1 例. 第 49 回日本骨折治療学会; 20230629-30; 静岡. 骨折. 45(Supplement):S476.

園部樹, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 長谷川靖, 山田匠希, 紺野慎一. 膝関節に発生した滑膜血管腫の画像および病理所見の特徴. 日本スポーツ整形外科学会 2023; 20230629; 広島.

園部樹, 箱崎道之, 松尾洋平, 高橋洋二郎, 吉田勝浩, 紺野慎一. 膝関節にロッキングを生じた鷲足部骨軟骨腫の一例. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1338.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞

腫による大腿骨遠位端病的骨折の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1366.

山田仁, 高橋信久, 大原喜裕, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 菊田敦, 佐野秀樹, 紺野慎一. 小児がん後の二次性骨肉腫の治療経験. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1387.

小川到, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 4歳女兒に発症した異型脂肪腫様腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1503.

鈴木丈夫, 山田仁, 小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 神経線維腫1型に合併した脱分化型脂肪肉腫の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1495.

金内洋一, 箱崎道之, 山田匠希, 山田仁, 小川到, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 副腎原発孤立性悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1498.

新田夢鷹, 青田恵郎, 草野敬悟, 菅原崇寛, 松本嘉寛. Direct Superior Approach の術後早期の歩行回復についての検討. 第72回東日本整形災害外科学会; 20230922; 旭川.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の1例. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230929; 静岡.

亀田拓哉, 伏見友希, 佐藤俊介, 佐々木信幸. 特発性後骨間神経麻痺と特発性前骨間神経麻痺を同時に発症した1例. 第36回福島手外科研究会; 20231014; 郡山.

横田武尊, 亀田拓哉, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. ヒト腱細胞における transient receptor potential(TRP) channels と炎症の関連. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば.

園部樹. 変形性膝関節症における健康関連 QOL 低下は、画像所見上の重症度と必ずしも関連しない—運動器検診のデータを用いた横断研究: LOHAS study. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231020; つくば.

園部樹. マウス大腿骨巨大骨欠損モデルを用いた Masquelet 法—固定法の違いと塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF2)付加による誘導膜への影響. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231020; つくば.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術における腰痛改善の予測—BS-POPの有用性. 第16回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山.

渡邊和之, 松本嘉寛. バスケットボール選手における腰痛の特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会; 20231111; 横浜.

関敬大. 下肢の高度血流障害を契機に早期発見された大動脈解離・脊髄梗塞の一例. 総合南東北病院第5回 STR 医学会; 20231111; 郡山.

佐藤宏樹, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 鈴木丈夫, 長谷川靖, 山田匠希, 山田仁, 松本嘉寛. 局所再発に対する陽子線治療後に縮小した肉腫肺転移の1例. 第30回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20231111; 湯沢町.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 高齢者腰椎疾患における軽度認知機能障害 術後短期成績との関連. 第31回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 関口美穂, 矢吹省司, 松本嘉寛. 脊椎手術後疼痛症候群に対する薬物療法と手術満足度との関係 横断研究. 第45回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也. 中枢性神経障害性疼痛の治療 脊髄損傷後疼痛へのアプローチ. 第7回脊髄損傷再生治療研究会; 20230123; Web.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. アスリートにおける脊椎周囲の筋腱付着部障害. 日本整形外科学会学術総会; 20230512; 横浜.

加藤欽志, 大歳憲一, 小林賢司, 兼子陽太, 紺野慎一, 松本嘉寛. 発育期野球選手における腰椎疲労骨折の早期診断. 第120回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 紺野慎一. 福島県における次世代の骨軟部腫瘍医の育成について. 第120回東北整形災害外科学会; 20230610; 福島.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一, 松本嘉寛. 腰痛診療におけるエコーの活用. MIST学会(第13回最小侵襲脊椎治療学会); 20230624; 仙台.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一, 松本嘉寛. 野球選手の腰椎分離症. 日本スポーツ整形外科学会(JSOA)2023; 20230629; 広島.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一, 松本嘉寛. 筋・筋膜性腰痛に対するエコーの活用. 日本スポーツ整形外科学会(JSOA)2023; 20230701; 広島.

加藤欽志, 大歳憲一, 松本嘉寛. 野球選手から腰椎分離症を科学する. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019; つくば.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 運動器慢性疼痛の診療にガイドラインをどう活かすか EBMとNBMを意識したアプローチの重要性. 第16回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S24.

加藤欽志, 松本嘉寛. アスリートの胸椎・胸髄障害 黄色靱帯骨化症の診断・治療・リハビリテーション. 第34回日本臨床スポーツ医学会; 20231112; 横浜.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 痛みに対する侵襲的治療 適応とエビデンス、そして限界:手術. 第45回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

〔特別講演〕

二階堂琢也. 慢性疼痛診療における“標準”と“こだわり” ガイドライン作成に携わって見えたこと. 厚生労働省令和4年度 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業四国ブロック 慢性疼痛講演会; 20230118; Web.

二階堂琢也. ガイドラインからみた腰痛に対する薬物療法の現状と未来. 第24回土佐運動器&生活期リハビリテーション研究会; 20230207; Web.

加藤欽志. 発育期と運動 整形外科系. 第29回日整会認定スポーツ医 研修会; 20230910; Web(オンデマンド配信).

〔その他〕

二階堂琢也. 腰痛に対する薬物療法の現状と未来 “益”と“害”からみた薬剤選択のポイント. 第52回日本脊椎脊髄病学会; 20230414; 横浜. Journal of Spine Research. 14(3):419.

二階堂琢也. 腰痛に対する薬物療法の現状と未来 “益”と“害”のバランスに基づいた薬剤選択の重要性. 第96回日本整形外科学会学術総会; 20230513; 福岡. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S600.

Kameda T. English Award Session (座長). 第120回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

二階堂琢也. 胸腰椎外傷に対するSagittal Adjusting Screw(SAS)とNForce Trauma Instrumentによる3D correction. 第120回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

二階堂琢也. MISTは手術だけじゃない! 痛みのメカニズムを意識した“最小侵襲”の薬物療法を考える. 第13回最小侵襲脊椎治療学会; 20230624; 仙台.

二階堂琢也. 腰痛に対する薬物療法の現状と未来 “益”と“害”のバランスに基づいた薬剤選択を意識する. 第38回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019; 筑波. 日本整形外科学会雑誌. 97(8):S1645.

二階堂琢也. 運動器慢性疼痛の診療では睡眠障害にも注意する! 有効性・安全性に配慮した薬物療法を考える. 第16回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S42.

二階堂琢也. Usefulness of autologous fibrin glue in scoliosis surgery. 第57回日本側彎症学会学術集会; 20231111; 大阪.

二階堂琢也. 脊椎疾患の“痛み”へのアプローチ 新たなエビデンス:MiroTAS試験も含めて. 第58回日本脊髄障害医学会; 20231117; 大宮.

二階堂琢也. 頸部脊髄症の手術成績向上のために 術前診断へのこだわりと術式選択. 第32回日本脊椎インストゥルメンテーション学会; 20231125; 鳥取.

形成外科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamasaki H, Abe Y, Mima S, Bando M, Nagasaka S, Yamashita Y, Minoda K, Kuroda A, Matsuhisa M, Takaiwa M, Hashimoto I. Effect of joint limitation and balance control on gait changes in diabetic peripheral neuropathy. *Diabetology International*. 202307; 14(4):390-396.

Ogino S, Kawanabe H, Fukui K, Sone R, Oyama A. Effect of Pre-Surgical Orthopedic Treatment on Hard and Soft Tissue Morphology in Infants with Cleft Lip and Palate. *Diagnostics*. 202304; 13(8):1444.

Nemoto N, Kawanabe H, Fukui K, Oyama A, Okamoto T, Shimamura K. Research on Sleep Dynamics in Cleft Lip and Palate Patients Using Simple Sleep Testing. *Journal of Clinical Medicine*. 202311; 12(23):7254.

Mochizuki Y, Oyama A, Kajikawa A. Two-staged Correction for Pouter Pigeon Chest: A Less Invasive Procedure. *Journal of Plastic and Reconstructive Surgery*. 202301; 2(1):17-19.

Murao N, Oyama A, Yamamoto Y, Funayama E, Ishikawa K, Maeda T. Efficacy of hyperbaric oxygen after microtia reconstruction using costal cartilage: A retrospective case-control study. *Undersea & Hyperbaric Medicine*. 202310; 50(4):413-419.

加藤美野里, 齋藤昌美, 木村眞之介, 北村成紀, 永峰恵介, 小山明彦. 慢性移植片対宿主病に生じた慢性皮膚潰瘍に対して皮膚移植術とプロントザンの併用により治療した1例. *創傷*. 202301; 14(1):40-42.

生島健太, 山下雄太郎, 安倍吉郎, 長坂信司, 山崎裕行, 美馬俊介, 板東真由, 橋本一郎. Retronychia: Proximal ingrowing nail の6例. *日本形成外科学会会誌*. 202302; 43(2):78-83.

安倍吉郎, 峯田一秀, 山下雄太郎, 長坂信司, 山崎裕行, 板東真由, 美馬俊介, 橋本一郎. 当科で治療した悪性軟部腫瘍の内容と予後および術後機能に関する分析. *日本形成外科学会会誌*. 202303; 43(3):116-126.

小山明彦. 形成外科の今 頭蓋顎顔面外科の革新. *福島県農村医学会雑誌*. 202303; 61(1):1-3.

〔その他〕

荻野早紀, 川鍋仁, 福井和徳, 小山明彦. 片側性口唇口蓋裂患児に顎裂部骨移植術を行った口唇外鼻形態の比較をした2症例. *日本口蓋裂学会雑誌*. 202304; 48(2):174.

根本奈央子, 川鍋仁, 福井和徳, 小山明彦, 岡本享. 片側性および両側性唇顎口蓋裂の睡眠呼吸障害に関する研究. *日本口蓋裂学会雑誌*. 202304; 48(2):202.

小山明彦. 唇裂・口蓋裂の集学的治療とその革新. 福島医学雑誌. 202312; 73(3):82-83.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kitamura S. Effectiveness of double cross face nerve graft with hypoglossal facial nerve interpositional-jump graft for the facial. 12th congress of the world society for reconstructive microsurgery; 20230818; Singapore.

北村成紀, 齋藤昌美, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千尋, 小山明彦. 二重顔面交差神経移植と舌下神経移行の併用術、二重顔面交差神経移植と舌下神経移行の併用した術式の有用性. 第 66 回日本形成外科学会総会・学術集会; 20230428; 長崎.

永峰恵介, 齋藤昌美, 佐藤順紀, 北村成紀, 小山明彦. 誘因なく発症した腹直筋膿瘍の一例. 第 66 回日本形成外科学会総会学術集会; 20230428; 長崎.

浅尾一輝, 北原正樹, 福田有里, 吉本信也. 腰背部に局限して多発した神経線維腫症の 1 例. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

北村成紀, 齋藤昌美, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千紘, 小山明彦. 顔面神経麻痺に対する二重顔面交差神経移植術・舌下神経移行術、遊離薄筋移植術による一期的複合再建の経験. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

北村成紀, 齋藤昌美, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千紘, 小山明彦. 二重顔面交差神経移植術と舌下神経移行術の併用の有用性. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

北村成紀, 齋藤昌美, 白戸有子, 満山紗佑里, 尾股千里, 山田昌幸, 黒見洋介, 森瑠志亜, 本間真里, 小山明彦. 福島県立医科大学形成外科での顔面神経麻痺に対する集学的治療の取り組み～自然な表情の獲得を目指して～. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

佐藤順紀, 北村成紀, 半田千紘, 永峰恵介, 齋藤昌美, 小山明彦. 複雑な神経切断をきたした外傷性顔面神経麻痺の即時再建の経験. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

半田千紘, 北村成紀, 佐藤順紀, 永峰恵介, 齋藤昌美, 小山明彦. 良好な「笑顔」の再建が得られた島状側頭筋移行術の 1 例. 第 38 回北日本形成外科学会学術集会; 20230610; 福島.

佐藤順紀, 北村成紀, 永峰恵介, 齋藤昌美, 小山明彦. Sorbact®の急性創傷・感染創に対する使用. 第 5 回 WOUND BED PREPARATION 研究会; 20230722; 札幌.

曾根良子, 齋藤昌美, 佐藤順紀, 小山明彦. 頭蓋形状誘導療法の治療効果に及ぼす要因の検討. 第 41 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会; 20231109-10; 淡路.

永峰恵介, 佐藤順紀, 堀内美恵, 西田翔平, 半田千紘, 加藤美野里, 北村成紀, 齋藤昌美, 小山明彦. 火炎熱傷の治療経過中にガス壊疽を発症した一例. 第28回日本熱傷学会東北地方会; 20231118; 秋田.

浅尾一輝, 北原正樹, 渡部昂輝, 吉本信也. 脂肪吸引を施行した良性対称性脂肪腫症の1例. 第19回福島県形成外科研究会; 20231202; 郡山.

堀内美恵, 北村成紀, 齋藤昌美, 永峰恵介, 佐藤順紀, 加藤美野里, 半田千紘, 西田翔平, 小山明彦. 足背部欠損に対して背側中足骨動脈穿通枝皮弁を用いて再建した一例. 第19回福島県形成外科研究会; 20231202; 郡山.

北村成紀, 齋藤昌美, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千紘, 小山明彦. 二重顔面交差神経移植術と舌下神経移行術、二重神経支配遊離薄筋移植術を一期的に行った顔面神経麻痺の1例. 第50回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231208; 名古屋.

永峰恵介, 齋藤昌美, 望月靖史, 北村成紀, 佐藤順紀, 小山明彦. 当科における乳糜胸、腹水に対するリポオードルリンパ管造影法による治療症例の検討. 第50回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231207-08; 名古屋.

堀内美恵, 齋藤昌美, 木村直弘, 蔵持大介, 北村成紀, 永峰恵介, 小山明彦. 頭頸部再建における recipient としての外頸動脈の有用性について. 第50回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231207-08; 名古屋.

〔シンポジウム〕

Oyama A. Refined concepts to improve aesthetic outcomes in microtia ear reconstruction. 15th Japan-Korea International Congress of Plastic and Reconstructive Surgery; 20230529-31; Kitakyushu.

北村成紀, 齋藤昌美, 木村直弘, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千紘, 小山明彦. われわれが行っている穿通枝皮弁挙上時の工夫. 第28回日本形成外科手術手技学会; 20230304; 川崎.

北村成紀, 齋藤昌美, 木村直弘, 永峰恵介, 佐藤順紀, 半田千紘, 小山明彦. 我々の行なっている二重顔面交差神経移植術と舌下神経移行術の併用. 第28回日本形成外科手術手技学会; 20230304; 川崎.

〔特別講演〕

小山明彦. 頭部の整容と QOL に寄与する形成外科の役割. 第16回日本整容脳神経外科学会; 20230422; 富山.

産科婦人科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakao M, Ross MG, Magawa S, Toyokawa S, Ichizuka K, Kanayama N, Satoh S, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Oka A, Suzuki H, Iwashita M, Ikeda T. Prevention of fetal brain injury in category II tracings. *Acta Obstetrica et Gynecologica Scandinavica*. 202312; 102(12):1730-1740.

Nakao M, Nanba Y, Okumura A, Hasegawa J, Toyokawa S, Ichizuka K, Kanayama N, Satoh S, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Suzuki H, Iwashita M, Oka A, Ikeda T. Fetal heart rate evolution and brain imaging findings in preterm infants with severe cerebral palsy. *American Journal of Obstetrics and Gynecology*. 202305; 228(5):583.e1-583.e14.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal magnesium intake and childhood wheezing in offspring at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. *British Journal of Nutrition*. 202312; 130(11):1973-1981.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kume Y, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Ikeda-Araki A, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Cord blood triglyceride and total cholesterol in preterm and term neonates: reference values and associated factors from the Japan Environment and Children's Study. *European Journal of Pediatrics*. 202310; 182(10):4547-4556.

Isogami H, Sugeno M, Imaizumi K, Fukuda T, Kamo N, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Maternal septic shock due to *Acinetobacter lwoffii* infection: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):191-196.

Okoshi C, Takahashi T, Fukatsu M, Suganuma R, Ikezoe T, Fujimori K. A case of delayed postoperative bleeding after excision of endometrial polyp using resectoscope in an infertile woman with von Willebrand disease: a case report and literature review. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):197-204.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between labor duration in singleton spontaneous vaginal deliveries and offspring neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Nishigori T, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K,

Yasumura S, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Congenital Anomalies in Infants in Fukushima from 2011 to 2014: The Japan Environment and Children's Study. *JMA Journal*. 202301; 6(1):36-47.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kyojuka H, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M. Maternal triglyceride levels and neonatal outcomes: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Clinical Lipidology*. 202305; 17(3):356-366.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Nishigori H, Nishigori T, Suzuki T, Mori M, Yamada M, Isogami H, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Metoki H, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal and postnatal psychological distress trajectories and impact on cognitive development in 4-year-old children: the Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202312; 14(6):781-794.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyojuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Epidemiology*. 202310; 33(9-10):489-497.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Furukawa S, Fujimori K. Changes in fetal baroreceptor sensitivity during intrauterine inflammation in preterm fetal sheep. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 202312; 36(1):2150392.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Sugeno M, Fukuda T, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Prophylactic resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta use during cesarean hysterectomy for placenta accreta spectrum: a retrospective cohort study. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 202312; 36(2):2232073.

Akaishi T, Tarasawa K, Matsumoto Y, Sandhya P, Misu T, Fushimi K, Takahashi T, Fujimori J, Ishii T, Fujimori K, Yaegashi N, Nakashima I, Fujihara K, Aoki M. Associations between neuromyelitis optica spectrum disorder, Sjögren's syndrome, and conditions with electrolyte disturbances. *Journal of the Neurological Sciences*. 202309; 452:120742.

Nakamura R, Tohnai G, Nakatochi M, Atsuta N, Watanabe H, Ito D, Katsuno M, Hirakawa A, Izumi Y, Morita M, Hirayama T, Kano O, Kanai K, Hattori N, Taniguchi A, Suzuki N, Aoki M, Iwata I, Yabe I, Shibuya K, Kuwabara S, Oda M, Hashimoto R, Aiba I, Ishihara T, Onodera O, Yamashita T, Abe K, Mizoguchi K, Shimizu T, Ikeda Y, Yokota T, Hasegawa K, Tanaka F, Nakashima K, Kaji R, Niwa JI, Doyu M, Terao C, Ikegawa S, Fujimori K, Nakamura S, Ozawa F, Morimoto S, Onodera K, Ito T, Okada Y, Okano H, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research (JaCALS) study group. Genetic factors affecting survival in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis: a genome-wide association study and verification in iPSC-derived motor neurons from patients. *Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry*. 202310; 94(10):816-824.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):577-586.

Kamo N, Takahashi T, Soeda S, Jimbo M, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Hydrosalpinx in a premenarcheal 14-year-old girl with the proliferation of smooth muscle cells in the isthmus of the fallopian tube: A case report. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):769-774.

Inoue Y, Ohno Y, Sobue T, Fujimaki T, Zha L, Nomura Y, Kyojuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Kurasawa K, Fujimori K. Impact of the Great East Japan Earthquake on spontaneous abortion and induced abortion: A population-based cross-sectional and longitudinal study in the Fukushima Prefecture based on the census survey of the Fukushima maternity care facility and vital statistics. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202303; 49(3):812-827.

Watanabe T, Soeda S, Okoshi C, Fukuda T, Yasuda S, Fujimori K. Landscape of somatic mutated genes and inherited susceptibility genes in gynecological cancer. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202311; 49(11):2629-2643.

Miyakawa R, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Kobayashi Y, Furukawa S, Honda T, Watanabe T, Asano S, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. SPON1 is an independent prognostic biomarker for ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 202305; 16(1):95.

Kyojuka H, Ohhira T, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Yasumura S, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Eight-Year Trends in the Effect of the Great East Japan Earthquake on Obstetrics Outcomes: A Study from the Fukushima Health Management Survey. *Life*. 202308; 13(8):1702.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of Maternal Asthma and Total Serum Immunoglobulin E levels with Obstetric Complications: The Japan Environment and Children's Study. *Maternal and Child Health Journal*. 202307; 27(7):1229-1237.

Ito M, Kyojuka H, Yamaguchi T, Sugeno M, Murata T, Hiraiwa T, Ito F, Suzuki D, Fukuda T, Yasuda S, Fujimori K, Nomura Y. Association between Gestational Weight Gain and Risk of Hypertensive Disorders of Pregnancy among Women with Obesity: A Multicenter Retrospective Cohort Study in Japan. *Nutrients*. 202305; 15(11):2428.

Nakao M, Nanba Y, Okumura A, Hasegawa J, Toyokawa S, Ichizuka K, Kanayama N, Satoh S, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Suzuki H, Iwashita M, Oka A, Ikeda T. Correlation Between Fetal Heart Rate Evolution Patterns and Magnetic Resonance Imaging Findings in Severe Cerebral Palsy: A Longitudinal Study. *Obstetrical and Gynecological Survey*. 202302; 78(2):88-90.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid and offspring allergies: The Japan Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202305; 34(5):e13956.

Okabe H, Hashimoto K, Yamada M, Ono T, Yaginuma K, Kume Y, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Shinoki K, Yasumura S, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Associations between fetal or infancy pet exposure and food allergies: The Japan Environment and Children's Study. *PLOS ONE*. 202303; 18(3):e0282725.

Nishigori H, Nishigori T, Obara T, Suzuki T, Mori M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202306; 13(1):9541.

Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Kyojuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association between gestational age at threatened preterm birth diagnosis and incidence of preterm birth: the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):12839.

藤森敬也, 安田俊. 【原発事故と健康影響—福島県民健康調査と風評対策】福島原発事故・県民健康調査 妊娠・出産への影響、次世代影響. *公衆衛生*. 202311; 87(11):1128-1134.

福田冬馬, 安田俊, 藤森敬也. 【図表・チャートでパッと理解！ここまでわかった産婦人科の病態生理】(第1章) 周産期 A.妊娠中の産科異常 胎児機能不全. *産科と婦人科*. 202303; 90(Suppl.):86-90.

安田俊, 福田冬馬. 【各種診療ガイドラインにみる挙児希望女性の合併症・併存疾患の取り扱い—プレコンセプションから妊娠・出産まで—】脳血管障害・てんかん. *産婦人科の実践*. 202304; 72(4):333-340.

藤森敬也, 福田冬馬, 安田俊. 【周産期医療のヒヤリ・ハット—医療事故・医療紛争を防ぐために 産科編】胎児心拍数モニタリングの異常所見における注意点. *周産期医学*. 202306; 53(6):908-914.

Fukuda T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fujimori K. Three-dimensional computed tomography complements ultrasonography in prenatal diagnosis of Pfeiffer type 2 syndrome: a case report. 超音波医学. 202307; 50(4):291-294.

帆保翼, 遠藤雄大, 古川茂宜, 加藤麻美, 岡部慈子, 磯上弘貴, 加茂矩士, 植田牧子, 川名聡, 小島学, 添田周, 渡邊尚文, 橋本優子, 藤森敬也. 手術により診断し得た, 卵巣腫大を伴わないライディッヒ細胞腫の一例. 福島医学雑誌. 202304; 73(1):1-6.

小児科学講座

論 文

〔原 著〕

Imaizumi M, Suyama K, Goto A, Hosoya M, Muro S. Flowchart for selecting an appropriate surgical airway in neurologically impaired pediatric intubated patients: a case series. Brazilian Journal of Otorhinolaryngology. 202309; 89(5):101290.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal magnesium intake and childhood wheezing in offspring at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202312; 130(11):1973-1981.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202307; 17:e441.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kume Y, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Ikeda-Araki A, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Cord blood triglyceride and total cholesterol in preterm and term neonates: reference values and associated factors from the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202310; 182(10):4547-4556.

Kawasaki Y, Kume Y, Ono A, Maeda R, Go H. Differences in response to treatment in children with severe IgA nephropathy according to patient age. Fukushima Journal of Medical Science. 202308; 69(2):125-132.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y,

Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between labor duration in singleton spontaneous vaginal deliveries and offspring neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Go H, Ogasawara K, Maeda H, Ohto H, Nollet KE, Iwasa H, Kawasaki Y, Hosoya M. Predicting neonatal mortality with a disseminated intravascular coagulation scoring system. *International Journal of Hematology*. 202302; 117(2):278-282.

Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Nishigori T, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Congenital Anomalies in Infants in Fukushima from 2011 to 2014: The Japan Environment and Children's Study. *JMA Journal*. 202301; 6(1):36-47.

Ma E, Ohira T, Miyazaki M, Fukasawa M, Yoshimoto M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Yasumura S, Hosoya M. Prediction of the 4-Year Incidence Risk of Ischemic Stroke in Healthy Japanese Adults: The Fukushima Health Database. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202403; 31(3):259-272.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kyojuka H, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M. Maternal triglyceride levels and neonatal outcomes: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Clinical Lipidology*. 202305; 17(3):356-366.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Nishigori H, Nishigori T, Suzuki T, Mori M, Yamada M, Isogami H, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Metoki H, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal and postnatal psychological distress trajectories and impact on cognitive development in 4-year-old children: the Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202312; 14(6):781-794.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyojuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Epidemiology*. 202310; 53(10):489-497.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):577-586.

Sugimoto S, Kawase M, Suwa R, Kakizaki M, Kume Y, Chishiki M, Ono T, Okabe H, Norito S, Hosoya M, Hashimoto K, Shirato K. Development of a duplex real-time RT-PCR assay for the detection and identification of two subgroups of human metapneumovirus in a single tube. *Journal of Virological Methods*. 202312; 322:114812.

Wilkins D, Langedijk AC, Lebbink RJ, Morehouse C, Abram ME, Ahani B, Aksyuk AA, Baraldi E, Brady T, Chen AT, Chi H, Choi EH, Cohen R, Danilenko DM, Gopalakrishnan V, Greenough A, Heikkinen T, Hosoya M, Keller C, Kelly EJ, Kragten-Tabatabaie L, Martín-Torres F, de Los Santos AHM, Nunes MC, Palomino MA, Papenburg J, Pernica JM, Richmond P, Stein RT, Tuffey KM, Verwey C, Esser MT, Tabor DE, Bont LJ; INFORM-RSV Study Group. Nirsevimab binding-site conservation in respiratory syncytial virus fusion glycoprotein worldwide between 1956 and 2021: an analysis of observational study sequencing data. *Lancet Infectious Diseases*. 202307; 23(7):856-866.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of Maternal Asthma and Total Serum Immunoglobulin E levels with Obstetric Complications: The Japan Environment and Children's Study. *Maternal and Child Health Journal*. 202307; 27(7):1229-1237.

Ono T, Hashimoto K, Kume Y, Chishiki M, Okabe H, Sato M, Norito S, Aso J, Sada M, Mochizuki I, Mashiyama F, Ishibashi N, Suzuki S, Sakuma H, Suwa R, Kawase M, Takeda M, Shirato K, Kimura H, Hosoya M. Molecular Diversity of Human Respiratory Syncytial Virus before and during the COVID-19 Pandemic in Two Neighboring Japanese Cities. *Microbiology Spectrum*. 202308; 11(4):e0260622.

Ono T, Watanabe M, Hashimoto K, Kume Y, Chishiki M, Okabe H, Sato M, Norito S, Chang B, Hosoya M. Serotypes and Antibiotic Resistance of *Streptococcus pneumoniae* before and after the Introduction of the 13-Valent Pneumococcal Conjugate Vaccine for Adults and Children in a Rural Area in Japan. *Pathogens*. 202303; 12(3):493.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid and offspring allergies: The Japan Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202305; 34(5):e13956.

Kato T, Adachi Y, Tsuchida A, Matsumura K, Murakami S, Shimizu M, Wada T, Okabe H, Hashimoto K, Hosoya M, Inadera H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of soap use when bathing 18-month-old infants with the prevalence of allergic diseases at age 3 years: The Japan

Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202304; 34(4):e13949.

Katsuta T, Aizawa Y, Shoji K, Shimizu N, Okada K, Nakano T, Kamiya H, Amo K, Ishiwada N, Iwata S, Oshiro M, Okabe N, Korematsu S, Suga S, Tsugawa T, Nishimura N, Hishiki H, Fujioka M, Hosoya M, Mizuno Y, Miyairi I, Miyazaki C, Morishima T, Yoshikawa T, Wada T, Ouchi K, Moriuchi H, Tanaka-Taya K, Saitoh A. Acute and Postacute Clinical Characteristics of Coronavirus Disease 2019 in Children in Japan. *Pediatric Infectious Disease Journal*. 202303; 42(3):240-246.

Sato M, Takashita E, Katayose M, Nemoto K, Sakai N, Fujisaki S, Hashimoto K, Hosoya M. Clinical and virologic impacts of respiratory viral co-infections in children with influenza. *Pediatric Infectious Disease Journal*. 202308; 42(8):e268-e273.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Chishiki M, Nishiyama K, Suzutani T, Hiruta S, Ichikawa H, Haneda K, Maeda H, Shimizu H, Kanai Y, Ogasawara K, Go H, Sato M, Momoi N, Nollet KE, Ohto H, Hosoya M. Sterilization efficacy of a new water-free breast milk pasteurizer. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15574.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Hosoya M, Nakano H, Hashimoto K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Influence of post-disaster evacuation on childhood obesity and liver dysfunction: The Fukushima Health Management Survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15663.

Okabe H, Hashimoto K, Yamada M, Ono T, Yaginuma K, Kume Y, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Imaizumi K, Murata T, Kyozuka H, Shinoki K, Yasumura S, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS). Associations between fetal or infancy pet exposure and food allergies: The Japan Environment and Children's Study. *PLOS ONE*. 202303; 18(3):e0282725.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Ma E, Ohira T, Fukasawa M, Yasumura S, Miyazaki M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Hosoya M. Prevalence trends of metabolic syndrome in residents of postdisaster Fukushima: a longitudinal analysis of Fukushima Health Database 2012-2019. *Public Health*. 202304; 217:115-124.

Ma E, Fukasawa M, Ohira T, Yasumura S, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Matsuzaki K, Sato M, Hosoya M. Lifestyle behaviour patterns in the prevention of type 2 diabetes mellitus: the Fukushima Health Database 2015-2020. Public Health. 202311; 224:98-105.

Nishigori H, Nishigori T, Obara T, Suzuki T, Mori M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202306; 13(1):9541.

Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Kyojuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association between gestational age at threatened preterm birth diagnosis and incidence of preterm birth: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202308; 13(1):12839.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Manabu I, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. Scientific Reports. 202308; 13(1):14254.

橋本浩一. 小児感染症 Q&A RS ウイルスに対する新たな抗体薬とワクチン開発について教えてください. Up-to-date 子どもの感染症. 202312; 11(1):10-12.

武山彩, 伊藤正樹, 鈴木真嘉, 細矢光亮. 食物アレルギーにおいて食物除去解除が困難となる因子の検討. 小児科診療. 202305; 86(5):585-589.

橋本浩一, 細矢光亮. 【ポストコロナ, 少子化時代: 30年後の小児医療と人材育成】30年後の小児医療の姿と小児医療者教育 福島から30年後の小児医療を語る. 小児科診療. 202307; 86(7):747-752.

橋本浩一. 【小児の治療方針】感染症 RS ウイルス感染症, ヒトメタニューモウイルス感染症, ヒトボカウイルス感染症. 小児科診療. 202304; 86(春増刊):204-207.

細矢光亮. 【小児の治療方針】神経・筋 亜急性硬化性全脳炎. 小児科診療. 202304; 86(春増刊):780-783.

佐久間世菜, 鈴木重雄, 石橋直尚, 保科めぐみ, 望月いづみ, 市川弘隆, 齋藤淳哉, 三島博, 細矢光亮. 急性腹症で発症し, 腎膿瘍へ進展した急性巣状細菌性腎炎の幼児例. 小児科臨床. 202302; 76(1):87-91.

宗像未来, 小田慎一, 齋藤淳也, 星野正人, 清水裕史, 南洋輔, 滝口和暁, 田中秀明, 細矢光亮. 11ヵ月時に診断された先天性十二指腸狭窄症のダウン症候群児例. 小児科臨床. 202302; 76(1):105-109.

細矢光亮. 【小児科学レビュー-最新主要文献とガイドライン-】感染症 ウイルス感染症. 小児科臨床. 202306; 76(3):315-320.

細矢光亮. 【新しい時代の小児感染症】原因微生物別 ウイルス エンテロウイルス・パレコウイルスを含めて.

小児内科. 202304; 55(4):633-636.

細矢光亮. 【エキスパートが教える 小児の薬物治療】疾患別 B.感染症 ヘルパンギーナ・手足口病. 小児内科. 202311; 55(増刊):297-299.

橋本浩一. 【地域で小児の感染症を診る】RS ウイルス感染症. 地域医学. 202301; 37(1):22-27.

勝田友博, 清水直樹, 神谷元, 天羽清子, 大城誠, 菅秀, 津川毅, 西村直子, 菱木はるか, 藤岡雅司, 細矢光亮, 水野由美, 吉川哲史, 和田泰三, 石和田稔彦, 是松聖悟, 中野貴司, 宮入烈, 尾内一信, 齋藤昭彦, 森内浩幸, 多屋馨子, 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会. データベースを用いた国内小児新型コロナウイルス感染症の臨床症状に関する評価. 日本小児科学会雑誌. 202301; 127(1):79-83.

中村幸嗣, 勝田友博, 清水直樹, 神谷元, 天羽清子, 大城誠, 菅秀, 津川毅, 西村直子, 菱木はるか, 藤岡雅司, 細矢光亮, 水野由美, 吉川哲史, 和田泰三, 石和田稔彦, 是松聖悟, 中野貴司, 宮入烈, 尾内一信, 相澤悠太, 庄司健介, 齋藤昭彦, 森内浩幸, 多屋馨子, 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会. コロナウイルス感染症 2019 流行下における国内小児医療の現状に関する調査. 日本小児科学会雑誌. 202301; 127(1):84-89.

勝田友博, 天羽清子, 荒木かほる, 石和田稔彦, 大宜見力, 神谷元, 越田理恵, 高野智子, 津川毅, 富樫篤生, 中野貴司, 西村直子, 野崎昌俊, 菱木はるか, 保科隆之, 細矢光亮, 前田明彦, 水野由美, 宮入烈, 宮崎雅仁, 吉川哲史, 和田泰三, 岩田敏, 尾内一信, 岡田賢司, 岡部信彦, 是松聖悟, 清水直樹, 菅秀, 宮崎千明, 森内浩幸, 大城誠, 藤岡雅司, 森岡一郎, 塚原宏一, 齋藤昭彦, 多屋馨子, 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会. 小児科医に潜在するワクチン忌避 (Vaccine Hesitancy) に対する教育プログラム. 日本小児科学会雑誌. 202305; 127(5):787-794.

伊藤健太, 橋本浩一. RS ウイルス感染症の疫学や予防方法の変化と将来の展望. 日本小児科学会雑誌. 202307; 127(7):931-943.

近藤宏樹, 多屋馨子, 天羽清子, 乾あやの, 笠原群生, 鈴木光幸, 田中孝明, 津川毅, 別所一彦, 保科隆之, 宮入烈, 虫明聡太郎, 吉川哲史, 齋藤昭彦, 塚原宏一, 森岡一郎, 須磨崎亮, 細矢光亮, 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会原因不明の小児の急性肝炎対策ワーキンググループ. 原因不明の小児急性肝炎に関する実態調査 (一次調査) 報告書. 日本小児科学会雑誌. 202307; 127(7):1033-1038.

細矢光亮. 原因不明の小児急性肝炎に関する最近の知見. 日本小児科学会雑誌. 202309; 127(9):1163-1174.

小野敦史, 前田亮, 陶山和秀, 細矢光亮, 藤丸拓也, 森崇寧, 蘇原映誠, 内田信一. 若年で腎機能低下を認めた TSC2 遺伝子および PKD1, PKD2 遺伝子異常のない多発性嚢胞腎合併の結節性硬化症. 日本小児腎臓病学会雑誌. 2023; 36:61-66.

菅秀, 石黒信久, 細矢光亮, 石和田稔彦, 齋藤昭彦, 小田慈, 藤枝幹也, 岡田賢司, 西順一郎, 張慶哲, 常彬. 小児侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の発生動向および起炎菌血清型変化の解析. 病原微生物検出情報月報. 202301; 44(1):11-13.

橋本浩一. 【アップデート, RS ウイルスと RS ウイルス感染症】開発中の RS ウイルスワクチン, および RS ウ

ウイルス抗体製剤. 臨床とウイルス. 202305; 51(2):121-126.

〔総説等〕

佐藤晶論. 抗インフルエンザ薬の基礎と使い方. 小児科. 202308; 64(8):813-823.

佐藤晶論. 感染症検査 ウイルス感染症. 小児科. 202312; 64(13):1555-1561.

佐藤晶論. インフルエンザ流行時の感染対策 乳幼児施設. 臨床と研究. 202312; 100(12):1473-1477.

書籍等出版物

佐藤晶論. 治療薬. In: 菅谷憲夫. インフルエンザ診療ガイド 2023-24. 東京: 日本医事新報社; 202310. p.103-113.

佐藤晶論. エンテロウイルス感染症. In: 加藤元博, 高橋尚人. 小児臨床検査ガイド 第3版. 東京: 文光堂; 202312. p.404-409.

佐藤晶論. インフルエンザウイルス. In: 日本小児感染症学会. 日常診療に役立つ小児感染症マニュアル 第5版. 東京: 東京医学社; 202312. p.338-348.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

細矢光亮. 原因不明の小児急性肝炎に関する最近の知見. 第126回日本小児科学会学術集会; 20230414; 東京. 日本小児科学会雑誌. 127(2):130.

小野貴志, 橋本浩一, 則藤桜子, 久米庸平, 知識美奈, 岡部永生, 佐藤晶論, 鈴木重雄, 佐久間弘子, 細矢光亮. 隣接した医療圏における COVID-19 流行前後の RS ウイルスの分子進化. 第126回日本小児科学会学術集会; 20230414; 東京. 日本小児科学会雑誌. 127(2):231.

岡部永生, 橋本浩一, 浅野裕一郎, 佐藤晶論, 細矢光亮. 小児における COVID-19 ワクチン接種後の有害事象に関するアンケート調査. 第126回日本小児科学会学術集会; 20230414; 東京. 日本小児科学会雑誌. 127(2):254.

橋本浩一, 前田創, 久米庸平, 小野貴志, 知識美奈, 岡部永生, 細矢光亮. 妊婦中タバコへの曝露と小児の1歳までの感染症罹患との関連: エコチル調査より. 第126回日本小児科学会学術集会; 20230414; 東京. 日本小児科学会雑誌. 127(2):292.

赤間太郎, 鈴木雄一, 佐久間一理, 浅野裕一郎, 野寺真樹, 山田美香, 久米庸平, 小野敦史, 佐藤晶論, 細矢光亮, 山田洋輔, 宇都宮朱里. 急激な肥満を伴った中枢性低換気から ROHHAD 症候群と考えられた1例. 第137回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1349.

植村加穂, 渡邊涼介, 桑名健太, 渡部真裕, 細矢光亮, 尾形誠弥, 清水裕史, 田中秀明. 吐血により代償性ショックを呈した食道静脈瘤破裂の1例. 第137回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1350.

照井広大, 大原喜裕, 佐々木唯, 細矢光亮, 工藤新吾, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 佐野秀樹, 山田仁. 両眼性網膜芽細胞治療後に二次性骨肉腫を合併した1例. 第137回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1351.

旗野史帆, 郷勇人, 佐久間一理, 蛭田俊, 市川弘隆, 柏原祥曜, 前田創, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒, 細矢光亮. HLA-A11, HLA-B3901, HLA-Cw7 抗体によって血小板減少が遷延した. 第137回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1351.

湯田優衣, 浅野裕一郎, 佐藤晶論, 細矢光亮. 当院で経験した小児多系統炎症性症候群の2症例. 第137回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1352.

前田創, 郷勇人, 佐久間一理, 蛭田俊, 市川弘隆, 柏原祥曜, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 在胎30週未満の早産児の赤血球パラメーターと未熟児網膜症の関連についての検討. 第59回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20230709; 名古屋.

佐川有理子, 市川弘隆, 細矢薫子, 柏原祥曜, 羽田謙太郎, 前田創, 小笠原啓, 郷勇人, 細矢光亮. 先天性乳び胸を合併した Klippel-Feil 症候群の一女児例. 第74回北日本小児科学会; 20230908; 新潟.

照井広大, 大原喜裕, 佐々木唯, 工藤新吾, 高橋信久, 小林正悟, 望月一弘, 山田仁, 細矢光亮, 佐野秀樹. 両眼性網膜芽細胞腫治療後. 第74回北日本小児科学会; 20230908; 新潟.

鈴木雄一. アリピプラゾールが奏効した空気嚥下症の3例. 第41回日本小児心身医学会学術集会; 20230915; 田辺.

鈴木雄一, 野寺真樹, 細矢光亮. 小児科病棟で治療した広汎性拒絶症群2例の回復過程の検討. 第41回日本小児心身医学会学術集会; 20230915; 田辺.

野寺真樹, 鈴木雄一, 細矢光亮. 不登校の要因に分離不安と自閉スペクトラム症が関与した1例. 第41回日本小児心身医学会学術集会; 20230915; 田辺.

小野貴志, 橋本浩一, 知識美奈, 久米庸平, 佐藤晶論, 佐久間弘子, 白戸憲也, 細矢光亮. COVID-19 流行前後でのRSウイルス感染症の分子疫学と臨床的特徴の比較. 第27回ワクチン学会・第64回日本臨床ウイルス学会合同学術集会; 20231021; 静岡.

橋本浩一. RSウイルス感染症予防の新たな展開. 第27回ワクチン学会・第64回日本臨床ウイルス学会合同学術集会; 20231021; 静岡.

細矢光亮. 小児の原因不明の急性肝炎. 第27回ワクチン学会・第64回日本臨床ウイルス学会合同学術集会; 20231021; 静岡.

橋本浩一. RS ウイルス感染症予防の新たな展開. 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20231025; 東京.

細矢光亮. 小児の原因不明の急性肝炎. 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20231025; 東京.

細矢光亮. 小児領域の感染症の最前線. 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20231025; 東京.

前田創. 細胞老化とメカニカルストレスに着目した新生児慢性肺疾患の病態解明. 第 67 回日本新生児成育医学会学術集会; 20231102; 横浜.

湯田優衣, 高野峻也, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 桃井伸緒, 細矢光亮, 永田恵実, 若松大樹. 胎児期から先天性 QT 延長症候群が疑われ、出生後の治療に難渋した同症候群 2 型の 1 例. 第 58 回東北発達心臓病研究会; 20231118; 仙台.

浅野裕一郎, 佐藤晶論, 細矢光亮. 福島県立医科大学附属病院小児病棟におけるエタノールロック療法の検討. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20231125; 名古屋.

岡部永生, 橋本浩一, 小野貴志, 久米庸平, 知識美奈, 佐藤晶論. 麻疹排除後の日本における亜急性硬化性全脳患者の実態調査. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20231125; 名古屋.

久米庸平, 佐藤晶論, 橋本浩一, 細矢光亮. SARS-CoV-2 流行前後の熱性痙攣重積患児の特徴変化. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20231125; 名古屋.

橋本浩一. RSV 診療の進歩と新たな展開. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20231125; 名古屋.

湯田優衣, 浅野裕一郎, 佐藤晶論, 細矢光亮. 痙攣重積型（二相性）急性脳症を来した小児多系統炎症性症候群. 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20231125; 名古屋.

過年業績

上田茉佑, 桃井伸緒, 井口桃美, 川島綾子, 前田亮, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 細矢光亮. 治療抵抗性で経過中に関節症状が出現し JIA との識別を要した川崎病の 1 例. 第 136 回日本小児科学会福島地方会; 20221002; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(4):657-658.

眼科学講座

論 文

〔原 著〕

Maehara H, Norikawa K, Tanaka K, Kato Y, Kasai A, Omori T, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Tear fluid and complement activation products in tears after ocular surgery. *BMC Ophthalmology*. 2023; 23(1):329.

Mukai R, Itagaki K, Honjo J, Matsumoto H, Sekiryu T. Relationship between pulsation of posterior vortex vein, choroidal thickness, and choroidal vascular hyperpermeability in polypoidal choroidal vasculopathy. *Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology*. 2023; 261(12):3475-3480.

limori H, Nishina S, Hieda O, Goseki T, Nishikawa N, Suzuki S, Hikoya A, Komori M, Suzuki H, Yoshida T, Hayashi S, Mori T, Kimura A, Morimoto T, Shimizu Y, Negishi T, Shimizu T, Yokoyama Y, Sugiyama Y, Azuma N, Sato M. Clinical presentations of acquired comitant esotropia in 5-35 years old Japanese and digital device usage: a multicenter registry data analysis study. *Japanese Journal of Ophthalmology*. 2023; 67(6):629-636.

Ojima A, Kato Y, Tomita R, Kasai A, Sugano Y, Sekiryu T. Macular sensitivity change after complementary laser therapy following ranibizumab intravitreal injection in branch retinal vein occlusion. *Retina*. 2023; 43(6):999-1004.

Mukai R, Kataoka K, Tanaka K, Miyara Y, Maruko I, Nakayama M, Watanabe Y, Yamamoto A, Wakatsuki Y, Onoe H, Wakugawa S, Terao N, Hasegawa T, Hashiya N, Kawai M, Maruko R, Itagaki K, Honjo J, Okada AA, Mori R, Koizumi H, Iida T, Sekiryu T. Three-month outcomes of faricimab loading therapy for wet age-related macular degeneration in Japan. *Scientific Reports*. 2023; 13(1):8747.

Oshika T, Endo T, Kurosaka D, Matsuki N, Miyagi M, Mori T, Nagamoto T, Negishi K, Nishina S, Nomura K, Unoki N, Yoshida S. Long-term surgical outcomes of pediatric cataract-multivariate analysis of prognostic factors. *Scientific Reports*. 2023; 13(1):21645.

松野希望, 赤井田あかね, 森隆史, 笠井彩香, 石龍鉄樹. 福島県立医科大学附属病院における小児ロービジョンケア. *眼科臨床紀要*. 2023; 16(6):443-449.

佐藤大介, 古田実, 石龍鉄樹. 転移性虹彩腫瘍にレーザー治療を施行した2症例. *眼科臨床紀要*. 2023; 16(8):566-570.

加藤裕花, 成田真帆, 森隆史, 松野希望, 則川晃希, 笠井彩香, 新田美和, 齋藤章子, 橋本禎子, 石龍鉄樹. 自然瞳孔での眼球生体計測値による調節麻痺下等価球面屈折値の推測. *臨床眼科*. 2023; 77(7):923-928.

菊地有希久, 前原紘基, 菅野俊雄, 森隆史, 向井亮, 石龍鉄樹. 低加入度数分節型眼内レンズ5 症例と単焦点眼内レンズ5 症例の満足度比較. 臨床眼科. 2023; 77(8):1001-1006.

〔総説等〕

古田実. 眼腫瘍診断テクニクー臨床所見と画像診断ー 網膜腫瘍. OCULISTA. 2023; 122:52-61.

前原紘基. ドライアイに利用可能な医療機器 ドライアイ診療の新時代. OCULISTA. 2023; 128:35-43.

森隆史. 小児の眼科健診と学校保健 就学時健診における発達障害児の視力検査. あたらしい眼科. 2023; 40(4):453-458.

赤井田あかね. 機器・薬剤紹介 70.ビジョンスクリーナーS12R. 眼科. 2023; 65(13):1433-1437.

前原紘基. ピカピカ新人スタッフの眼科疾患・ケア入門 ドライアイ. 眼科ケア. 2023; 25(5):417-423.

向井亮. ピカピカ新人スタッフの眼科疾患・ケア入門 加齢黄斑変性. 眼科ケア. 2023; 25(5):434-442.

石龍鉄樹. 【眼科の処置・小手術・最新の治療ー基本手技から緊急時の対応まで】網膜硝子体 網膜裂孔へのレーザー光凝固. 臨床眼科. 2023; 77(11):250-253.

書籍等出版物

森隆史. 視能訓練学総論 脳の可塑性と視能訓練. In: 日本視能訓練士協会 シリーズ監修. 視能訓練学 第2版 (視能学エキスパート). 東京: 医学書院. 202302. p.15-17.

森隆史. 視覚発達 両眼視の成立条件. In: 日本視能訓練士協会 シリーズ監修. 視能訓練学 第2版 (視能学エキスパート). 東京: 医学書院. 202302. p.28-29.

森隆史. 知っておきたい小児の眼の診かた・考えかた 健診. In: 日本小児眼科学会. 子どもを診る医師・メディカルスタッフのためのやさしい小児の眼科: 知っておきたい診かた・考えかた・眼の疾患. 東京: 診断と治療社. 202304. p.97-108.

森隆史. 小児眼科. In: 大鹿哲郎. 眼科学レビュー: 最新主要文献でみる 2023-'24. 東京: 総合医学社. 202309. p.222-226.

森隆史. 動眼神経麻痺. In: 木村亜紀子, 大鹿哲郎. 神経眼科はじめての一步 (新篇眼科プラクティス10). 東京: 文光堂. 202310. p.146-148.

森隆史. 疾患各論 眼窩疾患. In: 野村耕治. 小児眼科診療実践マニュアル: 外来で困らない子どもの眼の診かた. 東京: 日本医事新報社. 202311. p.191-197.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

前原紘基. 角膜穿孔を生じ、眼類天疱瘡を疑った1例. 角膜カンファランス 2023; 20230209-11; 横浜.

板垣可奈子. 長期経過観察例における片眼性滲出型加齢黄斑変性の傍眼の発症リスク. 第127回日本眼科学会総会; 20230406-09; 東京.

笠井暁仁. 後部ぶどう腫に伴う漿液性網膜剥離への硝子体手術併用強膜短縮術の検討. 第127回日本眼科学会総会; 20230406-09; 東京.

前原紘基. レバミピド点眼液によるドライアイとマイボーム腺機能不全の涙液中補体活性化産物変化. 第127回日本眼科学会総会; 20230406-09; 東京.

向井亮. 治療歴のない滲出型加齢黄斑変性に対するファリシマブ硝子体内投与の短期成績. 第127回日本眼科学会総会; 20230406-09; 東京.

加藤裕花. 自然瞳孔での眼球生体計測値と月齢による調節麻痺下等価球面屈折値の推測. 第79回日本弱視斜視学会総会; 20230616-17; 仙台.

松野希望. 小児のロービジョンにおける低コントラスト視力と遮光眼鏡. 第48回日本小児眼科学会総会; 20230616-17; 仙台.

則川晃希. 高度な網膜血管閉塞を伴った眼トキシプラズマ症の1例. 第39回日本眼循環学会; 20230722-23; 奈良.

本庄純一郎. 滲出型加齢黄斑変性症に対するアフリベルセプトおよびファリシマブ導入前後の眼圧変動. 第39回日本眼循環学会; 20230722-23; 奈良.

向井亮. ポリープ状脈絡膜血管症における腕-脈絡膜描出時間と滲出の再燃との関連. 第39回日本眼循環学会; 20230722-23; 奈良.

田中啓一郎. T・NK細胞性眼内悪性リンパ腫の2例. 第40回日本眼腫瘍学会; 20230922-23; 大阪.

笠井暁仁. 後部ぶどう腫に伴う漿液性網膜剥離に対する閾値下レーザー治療. 第77回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

加藤寛. 続発性黄斑円孔に対する硝子体手術後の治療成績と視力予後因子. 第77回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

錫谷学. スマートフォンで撮影した前眼部カラー写真の有効性の検討. 第77回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

田中啓一郎. 滲出型加齢黄斑変性に対するファリシマブ投与後の眼内補体因子の検討. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

前原紘基. スマホ及び細隙灯顕微鏡写真を用いた AI による前眼部疾患診断支援効果の検討. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

本庄純一郎. 光干渉血管断層撮影を用いた滲出型加齢黄斑変性症の脈絡膜循環障害の評価. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

向井亮. 加齢黄斑変性の網膜色素上皮剥離へのアフリベルセプトとファリシマブの効果の比較. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231006-09; 東京.

加藤寛. OCT 血管撮影と Navilas®を併用した難治性網膜静脈閉塞症黄斑浮腫に対する血管形成療法. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会; 20231124-26; 横浜.

田中啓一郎. パキコロイド関連疾患での抗 VEGF 薬治療前後での補体活性化産物の変化の相違. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会; 20231124-26; 横浜.

本庄純一郎. 滲出型加齢黄斑変性症に対する抗 VEGF 薬導入前後の黄斑部新生血管面積の変化. 第 62 回日本網膜硝子体学会; 20231124-26; 横浜.

向井亮. Treatment-naïve Neovascular Age-related Macular Degeneration. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会; 20231124-26; 横浜.

本庄純一郎. 全身型重症筋無力症の寛解維持療法中に抗 AQP4 抗体陽性視神経炎を発症した 1 例. 第 61 回日本神経眼科学会総会; 20231201-02; 東京.

過年業績

松野希望. 福島県立医科大学附属病院における小児ロービジョンケア. 第 47 回日本小児眼科学会総会; 20220319-20; 東京/Web.

〔特別講演〕

向井亮. 獲得免疫系が関与する視神経障害、網膜障害. 福島眼科集談会; 20230114; 郡山.

森隆史. 3 歳児健診と小児の弱視治療. 第 87 回東京女子医科大学眼科臨床談話会; 20230128; Web.

石龍鉄樹. 黄斑疾患アップデート. 第 89 回東京女子医科大学眼科臨床談話会; 20230203; 東京/Web.

森隆史. 3 歳児健診と小児の弱視治療. 筑波 TOC; 20230304; つくば.

森隆史. つながる情報が拓く未来を見つめる目. 第 14 回臨床医のための小児眼科・斜視診療; 20230417; Web.

石龍鉄樹. 加齢と網脈絡膜疾患について. 第39回ふくしま視能訓練士の会講演会; 20230625; Web.

向井亮. 獲得免疫系が関与する視神経障害、網膜障害. 第33回群馬眼科フォーラム; 20230929; 前橋.

〔招待講演〕

向井亮. Treatment outcomes of brodalumab for polypoidal choroidal vasculopathy. PCV forum in Korea; 20230307; Seoul, Korea.

〔その他〕

笠井曉仁. 実臨床におけるベオビュ〜臨床経験から見えてきたこと〜. Beovu DME Update; 20230122; Web.

笠井曉仁. 糖尿病黄斑浮腫と抗 VEGF 薬. 薬剤師向け眼疾患セミナー; 20230428; Web.

板垣可奈子. 加齢黄斑変性における抗 VEGF 薬治療. 薬剤師向け眼疾患セミナー; 20230428; Web.

向井亮. AMD 治療の問題点と Faricimab の nAMD への有効性について. 北信地区バビースモ発売 1 周年記念講演会; 20230520; Web.

石龍鉄樹. nAMD 治療における VABYSMO のポジションと可能性. VABYSMO Birthday Seminar in Fukushima; 20230525; Web.

向井亮. AMD 治療の問題点と Faricimab の nAMD への有効性について. バビースモ発売 1 周年記念講演会 in 北信; 20230525; Web.

本庄純一郎. 眼科における NMOSD 診療. 眼科医による NMOSD Meeting; 20230608; Web.

向井亮. AMD 治療の問題点と Faricimab の nAMD への有効性について. 東信地区バビースモ発売 1 周年記念講演会; 20230614; Web.

赤井田あかね. 3 歳児健診と眼科外来でのビジョンスクリーナの活用. 第 79 回日本弱視斜視学会総会／第 48 回日本小児眼科学会総会合同学会; 20230617; 仙台.

前原紘基. 目からウロコ? 困った小児前眼部疾患. 第 79 回日本弱視斜視学会総会／第 48 回日本小児眼科学会総会合同学会; 20230617; 仙台.

向井亮. AMD 治療の問題点と Faricimab の nAMD への有効性について. バビースモ発売 1 周年記念講演会; 20230622; 甲府.

前原紘基. 白内障手術と眼瞼疾患〜眼瞼疾患を知っておこう〜. 第 38 回 JSCRS 学術総会; 20230624; 札幌.

向井亮. バビースモによる薬剤特性を活かした nAMD 治療戦略. 第 39 回日本眼循環学会; 20230722; 奈良.

関向秀樹. 眼底写真・眼底自発蛍光. 眼科スタッフ WEB セミナー; 20230820; Web.

森隆史. 弱視と乳児健診. 令和 5 年度日本医師会生涯教育講座; 20230826; 名古屋.

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性の前房水補体因子と遺伝子多型. Japan Macula Club 第 23 回学術講演会; 20230826-27; 蒲郡.

笠井暁仁. 私がベオビュを選択する理由. DME Update Seminar; 20230923; 盛岡.

前原紘基. 病院勤務医の視点からージクアス LX 点眼薬 3%の更なる可能性ー. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231007; 東京.

向井亮. 患者さんの満足向上に繋がる AMD 治療を目指して. 第 77 回日本臨床眼科学会; 20231007; 東京.

石龍鉄樹. nAMD でのバビースモの標準治療薬としてのポジションと可能性. バビースモ発売 1 周年講演会 in 鹿児島; 20231012; Web.

飯高佑介. 点眼コンプライアンスの改善により良好な降圧が得られた症例. SENJU LIVE WEB セミナー; 20231019; Web.

前田駿介. 硝子体手術後の眼圧上昇. SENJU LIVE WEB セミナー; 20231019; Web.

前原紘基. 緑内障とドライアイ. SENJU LIVE WEB セミナー; 20231019; Web.

森隆史. 小児眼科診療・アップデート. 日本眼科医会北海道ブロック講習会; 20231021; 札幌.

石龍鉄樹. nAMD でのバビースモの標準治療薬としてのポジションと可能性. 横浜西部 IVT セミナー; 20231024; Web.

皮膚科学講座

論文

〔原 著〕

Yamamoto T. Recurrence of psoriasis on the resolution sites left with lentiginous pigmented patches after TNF inhibitor therapy. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202311; 98(6):866-867.

Yamamoto M, Yamamoto T. Keratotic papules on the thigh: underrecognized skin manifestations of

dermatomyositis or Wong-type dermatomyositis? *Anais Brasileiros de Dermatologia*. 202303; 98(2):255-257.

Hiraiwa T, Matsumura N, Mori T, Kikuchi N, Yamamoto T. Bullous pemphigoid developed after dramatic improvement of severe prurigo nodularis. *Anais Brasileiros de Dermatologia*. 202306; 98(5):689-691.

Matsumura N, Yamamoto T. Multiple nodules on the scrotum. *Anais Brasileiros de Dermatologia*. 202311; 98(6):845-847.

Rick J, Gould LJ, Marzano AV, Garg A, Chen D, Oakes DL, Dissemond J, Herfarth H, Friedman MA, Alavi A, Yamamoto T, Gerbens LAA, Thomas KS, Ortega-Loayza AG. The "Understanding Pyoderma Gangrenosum, Review and Assessment of Disease Effects (UPGRADE)" Project: a protocol for the development of the core outcome domain set for trials in pyoderma gangrenosum. *Archives of Dermatological Research*. 202305; 315(4):983-988.

Honda A, Yamamoto T. Intravascular histiocytosis in orofacial granulomatosa: report of two cases. *Clinical and Experimental Dermatology*. 202303; 48(4):398-400.

Ishikawa M, Yamamoto T. Neutrophil extracellular traps formation in the lesional skin of various types of pyoderma gangrenosum. *Experimental Dermatology*. 202311; 32(11):2029-2033.

Mori T, Namikawa K, Yamazaki N, Kaniwa Y, Yamasaki O, Yoshikawa S, Inozume T, Kato H, Nakai Y, Fukushima S, Takenouchi T, Maekawa T, Matsushita S, Otsuka A, Nomura M, Maba N, Isei T, Saito S, Fujimoto N, Tanaka R, Kaneko T, Kuwatsuka Y, Matsuya T, Nagase K, Onishi M, Onuma T, Nakamura Y. Efficacy of salvage therapies for advanced acral melanoma after anti-PD-1 monotherapy failure: a multicenter retrospective study of 108 Japanese patients. *Frontiers in Medicine*. 202308; 10:1229937.

Hanami Y, Mori T, Yamamoto T. Ulceration in lupus erythematosus profundus unassociated with vasculitis: report of three cases. *Indian Journal of Dermatology*. 202303; 68(2):235.

Yamamoto T, Miura K, Eishi Y. Detection of *Propionibacterium acnes* in cutaneous lichenoid sarcoidosis in a patient with Blau syndrome. *International Journal of Dermatology*. 202306; 62(6):e353-e355.

Igari S, Yamamoto T. Acrodermatitis continua of Hallopeau with psoriatic arthritis treated with biologics and apremilast. *JEADV Clinical Practice*. 202309; 2(3):601.

Hiraiwa T, Chen KR, Yamamoto T. Cutaneous arteritis: clinicopathological study of 21 cases. *Journal of Cutaneous Immunology and Allergy*. 202310; 6(5):146-151.

Yamamoto M, Saito M, Yamamoto T. Unilateral periorbital lupus erythematosus tumidus mimicking heliotrope rash. *Journal of Dermatology*. 202303; 50(3):e100-e101.

Ishikawa M, Yamamoto T. Interstitial granulomatous dermatitis in a patient with systemic lupus erythematosus presenting with rope sign. *Journal of Dermatology*. 202305; 50(5):e153-e154.

Hiraiwa T, Yamamoto T. Successful treatment with phototherapy for acquired reactive perforating collagenosis subsequently exacerbated following improvement of diffuse erythema induced by immune checkpoint inhibitors. *Journal of Dermatology*. 202305; 50(5):e164-e165.

石川真郷, 山本俊幸. 【皮膚を診る／皮膚で診る 皮膚科医から救急医へのメッセージ】皮膚の症状で診る 紅斑. *救急医学*. 202301; 47(1):27-32.

遠藤麻衣, 陳科榮, 山本俊幸. MPO-ANCA 陽性の高齢発症多発血管炎性肉芽腫症と考えた 1 例～皮膚病理組織像と ANCA からの考察. *日本皮膚科学会雑誌*. 202301; 133(1):37-43.

石川真郷, 山本俊幸. 【肥満細胞症】好酸球浸潤を伴う皮膚肥満細胞症. *皮膚科*. 202311; 4(5):550-554.

松村奈津子, 石川真郷, 平岩朋子, 菊池信之, 花見由華, 山本俊幸. 【紅皮症の考え方と捉え方】紅皮症を呈した thymoma-associated multiorgan autoimmunity. *皮膚病診療*. 202302; 45(2):175-179.

石川真郷, 猪狩翔平, 大塚幹夫, 山本俊幸. 【環状肉芽腫とその類症】小児皮下型環状肉芽腫の 2 例. *皮膚病診療*. 202306; 45(6):498-502.

〔総説等〕

Mori T, Izumi T, Doi R, Kamimura A, Takai S, Teramoto Y, Nakamura Y. Immune checkpoint inhibitor-based therapy for advanced acral and mucosal melanoma. *Experimental Dermatology*. 202303; 32(3):276-289.

Yamamoto T, Yamasaki K, Yamanaka K, Komine M, Kawakami T, Yamamoto O, Kanekura T, Higuchi T, Takahashi T, Matsushima Y, Kikuchi N; Japanese Dermatological Association Pyoderma Gangrenosum Treatment Guidelines Drafting Committee. Clinical guidance of pyoderma gangrenosum 2022. *Journal of Dermatology*. 202309; 50(9):e253-e257.

平岩朋子, 山本俊幸. 皮膚血管炎におけるステロイドの使い方と注意点. *Derma*. 202308; 338:33-40.

山本俊幸. 全身性強皮症におけるトシリズマブの使い方と注意点. *リウマチ科*. 202301; 69(1):41-46.

山本俊幸. PAPA 症候群：皮膚科から見た PAPA 症候群とその類症について. *リウマチ科*. 202311; 70(5):486-492.

山本俊幸. ミノサイクリンを含めた、皮膚サルコイドーシスの最新の治療. *日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌*. 202310; 43(1-2):53-57.

山本俊幸. 滴状乾癬. *日本臨床*. 202312; 81(12):1824-1828.

山本俊幸. 皮膚肥満細胞症における、表皮ケラチノサイト、血管内皮細胞と肥満細胞とのクロストーク. *皮膚科*. 202311; 4(5):575-578.

本多皓, 山本俊幸. 当科における肥満細胞症患者の集計. *皮膚科*. 202311; 4(5):607-613.

山本俊幸. 高齢者の紅皮症. 皮膚病診療. 202302; 45(2):112-118.

山本俊幸. 多発血管炎性肉芽腫症の皮膚症状における病理組織像と、診断に際してのいくつかの問題点. 皮膚病診療. 202304; 45(4):374-375.

山本俊幸. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症・EGPAの好酸球性血管炎について. 皮膚病診療. 202305; 45(5):462-463.

山本俊幸. 顔面播種状粟粒性狼瘡の最近の考え方. 皮膚病診療. 202306; 45(6):486-493.

山本俊幸. ゴ瘡と関節炎. 皮膚病診療. 202307; 45(7):582-588.

吉田雅幸, 山本俊幸. 乾癬と心血管疾患. 皮膚病診療. 202310; 45(10):864-867.

山本俊幸. 全身性炎症性疾患としての汎発性膿疱性乾癬. 皮膚病診療. 202310; 45(10):868-875.

山本俊幸. VEXAS 症候群～好中球性皮膚症を呈する新しい自己炎症症候群～. 皮膚病診療. 202311; 45(11):1040-1041.

山本俊幸. 強皮症と肥満細胞. 臨床免疫・アレルギー科. 202305; 79(5):529-535.

〔症例報告〕

Yamamoto T, Chen KR. Development of ANCA-negative eosinophilic granulomatosis with polyangiitis 19 years after onset of eosinophilic pustular folliculitis. American Journal of Dermatopathology. 202306; 45(6):435-436.

Takada M, Mori T, Hanami Y, Yamamoto T. A case of basal cell carcinoma arising in the umbilicus. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202303; 98(2):243-244.

Takada M, Ishikawa M, Hanami Y, Yamamoto T. A case of Bowen's disease possibly attributed to chronic stimulation by a metal wristwatch. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202303; 98(2):245-246.

Miura T, Kikuchi N, Yamada H, Hakozaki M, Tajino T, Ohtsuka M, Yamamoto T. Proximal type vulvar epithelioid sarcoma masquerading as cellulitis in a young female. Australasian Journal of Dermatology. 202305; 64(2):295-297.

Matsumura N, Yamamoto T. CD123 and MxA expression in a case of annular erythema associated with primary Sjögren's syndrome successfully treated with hydroxychloroquine. Australasian Journal of Dermatology. 202308; 64(3):e280-e282.

Norikawa N, Irie K, Ishikawa M, Hiraiwa T, Izumi K, Yamamoto T. Pemphigoid nodularis induced by long-term use of dipeptidyl peptidase-4 inhibitors. Indian Journal of Dermatology. 202301; 68(1):104-105.

Honda A, Yamamoto T. A case of disseminated erythematous drug eruption caused by favipiravir in a patient with COVID-19. *Journal of Cutaneous Immunology and Allergy*. 202310; 6(5):201-202.

Yamamoto T, Orikasa R, Chen KR. A case of idiopathic granulomatous vasculitis with phlebitis and underlying subcutaneous necrotizing venulitis. *Our Dermatology Online*. 202301; 14(1):105-106.

Igari S, Miura T, Yamamoto O, Yamamoto T. Basosquamous cell carcinoma: A specific finding of basaloid-squamous cell transition. *Our Dermatology Online*. 202301; 14(1):111-113.

Endo M, Irie K, Yamamoto T. Palmoplantar and plaque psoriasis developed during pembrolizumab therapy in a patient with lung cancer. *Our Dermatology Online*. 202304; 14(2):209-210.

Norikawa N, Yamamoto T. Successful treatment with apremilast for palmar, but not plantar, psoriasis in a pediatric patient. *Our Dermatology Online*. 202304; 14(2):219-220.

Yamamoto T. Sulfasalazine-induced lichen planus in a patient with ulcerative colitis. *Our Dermatology Online*. 202307; 14(3):325-326.

Mori T, Yamamoto T. Annular and ulcerative lichen planus induced by nivolumab therapy. *Our Dermatology Online*. 202307; 14(3):335-336.

Kusano M, Sato M, Yamamoto T. Peculiar cutaneous manifestation in a Japanese patient with COVID-19 infection. *Our Dermatology Online*. 202310; 14(4):451-452.

入江絹子, 菊池信之, 石川真郷, 伊藤崇, 遠藤麻衣, 佐藤真由, 石井文人, 古賀浩嗣, 名嘉眞武國, 山本俊幸. 抗 PD-1 抗体投与後に発症した水疱性類天疱瘡の 6 例. *日本皮膚科学会雑誌*. 202309; 133(10):2373-2384.

入江絹子, 高田満喜, 遠藤麻衣, 伊藤崇, 石川真郷, 本多皓, 大塚幹夫, 山本俊幸. 免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた皮膚症状と抗腫瘍効果との関連性 当科において経験した 110 名の臨床的検討. *日本皮膚科学会雑誌*. 202311; 113(12):2825-2836.

高田満喜, 鈴木重行, 角田三郎, 鈴木エリ奈. 再発した原発性皮膚濾胞中心リンパ腫の 1 例. *皮膚科の臨床*. 202311; 65(12):1827-1830.

入江絹子, 森龍彦, 石井文人, 古賀浩嗣, 名嘉眞武國, 山本俊幸. 多型慢性痒疹から長期間を経て水疱症に移行し, 後天性表皮水疱症を生じた例. *皮膚病診療*. 202302; 45(2):160-164.

入江絹子, 山本俊幸. 当科における汗孔角化症 28 例の集計. *皮膚病診療*. 202303; 45(3):220-225.

松村奈津子, 山本俊幸. Interstitial type granuloma annulare の多発例. *皮膚病診療*. 202306; 45(6):504-507.

本多皓, 遠藤麻衣, 吉田和恵, 小崎里華, 山本俊幸. 無汗性外胚葉形成不全症汎発性脱毛症を合併した例. *皮膚病診療*. 202308; 45(8):696-699.

齊藤まるみ, 山本俊幸. 融合性細網状乳頭腫症. 皮膚病診療. 202309; 45(9):790-793.

本多皓, 入江絹子, 山本俊幸. デュピルマブ投与後にぶどう膜炎を発症したアトピー性皮膚炎. 皮膚病診療. 202311; 45(11):993-997.

山本美友貴, 入江絹子, 山本俊幸. 顔面神経麻痺を合併した皮膚サルコイドーシス Heerfordt 症候群. 皮膚病診療. 202312; 45(12):1070-1073.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ishikawa M, Yamamoto T. The relationship between clinical subtypes of pyoderma gangrenosum and neutrophil extracellular traps formation. 5th International Conference on Cutaneous Lupus Erythematosus; 20230510; Tokyo.

Ito T, Hanami Y, Yamamoto T. Multiple peculiar mucinous nodules on the during over corticosteroid treatment in a patient with SLE. 5th International Conference on Cutaneous Lupus Erythematosus; 20230509-10; Tokyo.

Ito T, Yamamoto T. A new murine model of human eosinophilic fasciitis: Role of IL-5 and IL-17. 5th International Conference on Cutaneous Lupus Erythematosus; 20230509-10; Tokyo.

Kusano M, Mori T, Yamamoto T. Clinicopathological analysis of 40 cases of mechanic's hand associated with dermatomyositis. 5th International Conference on Cutaneous Lupus Erythematosus; 20230509-10; Tokyo.

Igari S, Akama K, Yamamoto T. Anti-inflammation effects of decanoic acid in a mouse model of contact hypersensitivity ～a possible new drug for inflammatory skin disease～. 1st International Societies for Investigative Dermatology Meeting; 20230510-13; Tokyo.

Irie K, Igari S, Yamamoto T. Effects of decanoic acid on imiquimod-induced psoriasis-like dermatitis in mice. 1st International Societies for Investigative Dermatology Meeting; 20230510-13; Tokyo.

Yamamoto T. Pyoderma gangrenosum (Expert Forum) Introduction and pathophysiology-Epidemiology and comorbidities. 25th World Congress of Dermatology; 20230706; Singapore.

Yamamoto T. Clinical spectrum of autoinflammatory syndrome with skin involvement. 25th World Congress of Dermatology; 20230707; Singapore.

Yamamoto T. Morbus Behçet and Cogan syndrome. 25th World Congress of Dermatology; 20230708; Singapore.

入江絹子, 高田満喜, 遠藤麻衣, 伊藤崇, 石川真郷, 本多皓, 山本俊幸. 当科で経験した免疫チェックポイント阻害薬. 第44回水疱症研究会; 20230113-14; 東京.

入江絹子, 高田満喜, 遠藤麻衣, 伊藤崇, 石川真郷, 本多皓, 山本俊幸. 投与後に出現した水疱性類天疱瘡のまとめ. 第 44 回水疱症研究会; 20230113-14; 東京.

山本美友貴, 向山竜人, 草野美沙希, 伊藤崇, 石川真郷, 菊池信之, 山本俊幸. シェーグレン症候群患者に生じた腫瘍随伴性天疱瘡の 1 例. 第 44 回水疱症研究会; 20230113-14; 東京.

伊藤崇, 遠藤麻衣, 石川真郷, 山本俊幸. 当院脱毛症外来におけるバリシチニブ投与症例のまとめ. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

入江絹子, 向山竜人, 石崎莉子, 高田満喜, 草野美沙希, 則川菜摘, 佐藤真由, 渡邊幸奈, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 猪狩翔平, 伊藤崇, 石川真郷, 菊池信之, 山本俊幸. 当科における特発性後天性全身性無汗症の集計. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

遠藤麻衣, 猪狩翔平, 菊池信之, 山本俊幸, 氏家大輔, 本多皓. 肛門周囲に生じた巨大尖圭コンジローマ (Buschke-Lowenstein tumor) の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

菊池信之, 山本俊幸. 下腿に生じた stucco keratosis の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

草野美沙希, 向山竜人, 山本美友貴, 伊藤崇, 松村奈津子, 菊池信之, 山田仁, 山本俊幸. 腹部に生じた Malignant proliferating trichilemmal tumor と考えた 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

山本美友貴, 草野美沙希, 伊藤崇, 菊池信之, 山本俊幸. 紅皮症を呈し角化を伴った疥癬の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

渡邊幸奈, 佐藤正隆, 野沢佳弘. 乳房部に生じた悪性リンパ腫の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 401 回例会; 20230416; 福島.

猪狩翔平, 菊池信之, 大塚幹夫, 山本俊幸. 福島県立医科大学皮膚科で経験した扁平苔癬 65 例の臨床亜型ならびに要因について. 第 122 回日本皮膚学会総会; 20230601-04; 横浜.

石川真郷, 山本俊幸. 皮膚サルコイドーシスの病型別にみた治療とその反応性—当教室 72 例の集計—. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601; 横浜.

菊池信之, 草野美沙希, 佐藤真由, 渡邊幸奈, 松村奈津子, 平岩朋子, 山本俊幸. 無疹部を生検した全身性アミロイドーシスの 4 例の検討. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜.

草野美沙希, 山本俊幸. 当科において経験した結節性紅斑 84 症例における、原因疾患の変遷を含めた検討. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜.

高田満喜, 山本俊幸. 過去 14 年間に当科を受診したサルコイドーシス患者にみられた瘢痕浸潤の M1, M2 マクロファージ解析. 第 122 回 日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜.

平岩朋子, 山本俊幸. 当科で経験したベーチェット病に伴う皮膚血管炎における NETs の関与. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜. 日本皮膚科学会誌. 133(5):1363.

山本美友貴, 山本俊幸. 当科で経験した環状肉芽腫 15 例における Matrix metalloproteinase の発現とその意義. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜.

山本俊幸. 乾癬治療の進歩～ソーティクツへの期待～. 日本病院薬剤師会東北ブロック第 12 回学術大会; 20230610; 郡山.

入江絹子, 山本俊幸. irAE 皮膚障害 薬剤師にみてほしいポイント. 日本病院薬剤師会東北ブロック第 12 回学術大会; 20230611; 郡山.

草野美沙希, 向山竜人, 三浦貴子, 山本俊幸. COVID - 19 ワクチン接種後に生じた汎発性膿疱性乾癬の 1 例. 第 39 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20230617-18; 札幌.

山本俊幸. 眼瞼浮腫をきたす疾患. 第 39 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20230618; 札幌.

山本俊幸. 乾癬性関節炎を早期に疑う皮膚科医の役割と、他科との連携の重要性. 第 39 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20230618; 札幌.

菊池信之, 山本俊幸. ホスラブコナゾールを投与した透析患者の爪白癬 15 例の検討. 第 35 回東北真菌懇話会. 20230625; 仙台.

猪狩翔平, 草野美沙希, 石川真郷, 菊池信之, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 福島県立医科大学皮膚科で経験した腋窩 Paget 病の 5 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230804-05; 名古屋.

石川真郷, 草野美沙希, 渡邊幸奈, 山本俊幸. Solitary fibrous tumor の 1 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230804; 名古屋.

入江絹子, 遠藤麻衣, 向山竜人, 大塚幹夫, 山本俊幸, 増澤幹男, 橋本優子, 箱崎道之. 若年男性の手指先端に多発した Pseudomyogenic hemangioendothelioma の 1 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230804-05; 名古屋.

佐藤真由. Clear cell sarcoma の 1 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230804-05; 名古屋.

Yamamoto T. Palmoplantar pustulosis of Japanese patients: should palmoplantar pustulosis be regarded as an acral variant of pustular psoriasis or a distinct entity? 第 38 回日本乾癬学会学術大会; 20230825; 東京.

石川真郷, 向山竜人, 遠藤麻衣, 猪狩翔平, 山本俊幸. 尋常性乾癬の悪化に伴い扁平苔癬の出現がみられた 1 例. 第 38 回日本乾癬学会学術大会; 20230825; 東京.

入江絹子, 山本俊幸. 関節症性乾癬患者の血清中 CXCL10、CXCL13 の検討. 第 38 回日本乾癬学会学術大会; 20230825-26; 東京.

入江絹子, 山本俊幸. 血清 Leucine-rich α 2-glycoprotein (LRG) は汎発性膿疱性乾癬の新たなバイオマーカーである. 第 38 回日本乾癬学会学術大会; 20230825-26; 東京.

高田満喜, 菊池信之, 山本俊幸. 乾癬患者における臍病変の検討. 第 38 回日本乾癬学会学術大会; 20230825-26; 東京.

遠藤麻衣, 山本俊幸. 乾癬の既往がない超高齢者に初発した汎発性膿疱性乾癬の 1 例. 第 19 回加齢皮膚医学研究会; 20230909; 東京.

入江絹子, 高田満喜, 則川菜摘, 石川真郷, 山本俊幸. 若年男性の腰部に認められた粘液脂肪腫の 1 例. 日本皮膚科学会山形・宮城・福島 3 県合同地方会第 395 回例会; 20230910; 山形.

伊藤崇, 山本俊幸, 陳科栄. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の皮膚病変における、好酸球性血管炎、肉芽腫性動脈炎と ANCA および臓器病変との関連性の検討. 第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会; 20230916; 宜野湾.

石川真郷, 山本俊幸. 壊疽性膿皮症の皮膚病変部における好中球細胞外トラップ形成～臨床型別の比較検討～. 第 87 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20230930; 盛岡.

中村剛大, 武川秀基, 高田満喜, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 石川真郷, 山本俊幸. COVID-19 罹患後に生じた Symmetrical drug-related intertriginous and flexural exanthema(SDRIFE)様皮疹の 1 例. 第 87 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20230930-1001; 盛岡.

山本美友貴, 大塚幹夫, 山本俊幸. 左第 3 指に局限した爪扁平苔癬の 1 例. 第 87 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20230930-1001; 盛岡.

山本俊幸. 顔面の高度な浮腫性硬化を呈し、臓器障害を伴う男性例. 第 28 回日本血管病理研究会; 20231021; 仙台.

猪狩翔平, 平岩朋子, 大塚幹夫, 山本俊幸. 甲状腺乳頭癌の皮膚転移と考えた高齢男性の 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 402 回例会; 20231104-05; Web.

菊池信之, 山本俊幸. 過去 2 回の帝王切開術後の経過で壊疽性膿皮症を疑われ、3 回目の再燃を認めた post-cesarean section pyoderma gangrenosum. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 402 回例会; 20231104; Web.

高田満喜, 山本俊幸, 浅野智之. 四肢のリベドを呈した顕微鏡的多発血管炎の 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 402 回例会; 20231104-05; Web.

山本美友貴, 平岩朋子, 山本俊幸. 生検後一時的に縮小した後に急速に増大した High grade B-cell lymphoma の 1 例. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 402 回例会; 20231104-05; Web.

伊藤崇. 虫と皮膚炎. 日本臨床皮膚科医会福島県皮膚の日市民公開講座; 20231112; 福島.

石川真郷, 菊池信之, 山本俊幸. 悪性らせん腺腫の1例. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20231118; 東京.

草野美沙希, 入江絹子, 山本俊幸. Superficial granulomatous pyoderma にサルコイド反応を伴った1例. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20231118-19; 東京.

高田満喜, 草野美沙希, 山本俊幸. 掌跖角化症を合併した尋常性天疱瘡の1例. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20231118-19; 東京.

山本美友貴, 山本俊幸. 基底細胞癌を伴った Multiple familial trichoepithelioma の1例. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20231118-19; 東京.

伊藤崇. 当科における乾癬治療とアブレミラストの使用経験. 乾癬治療シーケンスを考える会; 20231123; 福島.

伊藤崇, 山本俊幸. 石灰化を伴った eccrine poroma の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第404回例会; 20231123; 郡山.

入江絹子, 渡邊幸奈, 伊藤崇, 山本美友貴, 猪狩翔平, 森龍彦, 花見由華, 山本俊幸. 民間療法の「よもぎ蒸し」で紅皮症を呈したアトピー性皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第404回例会; 20231123; 郡山.

草野美沙希, 佐藤純一, 松見文晶, 本多皓. Pott's puffy tumor の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第404回例会; 20231123; 郡山.

中村剛大, 石崎莉子, 則川菜摘, 猪狩翔平, 伊藤崇, 菊池信之, 山本俊幸. 右下腿潰瘍より発症した Toxic shock syndrome (TSS) の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第404回例会; 20231123; 郡山.

伊藤崇. 乾癬の治療と進歩の現状 県内の医療連携体制. 福島乾癬市民公開講座; 20231202; 福島.

石川真郷, 平岩朋子, 山本俊幸. ベーチェット病に伴う皮膚血管炎における neutrophil extracellular traps の関与. 第53回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20231208-10; 浦安.

入江絹子, 平岩朋子, 飯高佑介, 山本俊幸. 重度の緑内障を伴い、手指の凍瘡様紅斑から診断に至った Aicardi-Goutières syndrome の1例. 第53回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20231208-10; 浦安.

草野美沙希, 森龍彦, 山本俊幸. 皮膚筋炎のメカニックスハンド40症例におけるアラミンの発現. 第53回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20231208-10; 浦安.

〔特別講演〕

山本俊幸. Barber-type PPP～私はこう考える～. SCOPE; 20230121; 東京.

山本俊幸. 扁平苔癬の臨床 ～乾癬との比較を交えて～. 第53回皮膚疾患を考える会; 20230204; 大阪.

山本俊幸. 皮膚エリテマトーデスの考え方と対処法～非定型例を含めて～. ブラケニルWEB 講演会; 20230327; Web.

山本俊幸. 教育講演 壊疽性膿皮症の基礎. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜. 日本皮膚科学会誌. 133(5):1181.

山本俊幸. 教育講演 結節性紅斑、バザン硬結性紅斑、サルコイドーシス. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜. 日本皮膚科学会誌. 133(5):1185.

山本俊幸. 教育講演 癬痕浸潤の考え方を巡って. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230603; 横浜. 日本皮膚科学会誌. 133(5):1201.

山本俊幸. 教育講演 壊疽性膿皮症の治療～現状と展望～. 第 122 回日本皮膚科学会総会; 20230601-04; 横浜. 日本皮膚科学会誌. 133(5):1249.

山本俊幸. 脂腺の増殖について. 第 12 回日本痤瘡研究会学術大会; 20230820; 東京.

山本俊幸. 新規治療を取り入れた乾癬診療の実際. ORCH 乾癬・乾癬性関節炎セミナー; 20230921; 東京.

山本俊幸. シンポジウム サルコイドーシス診断の手引き Up-to-Date. 第 43 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20231006; 浜松.

山本俊幸. 炎症性腸疾患に合併する皮膚病変. 福島県 IBD 医療連携 WEB 講演会; 20231023; 福島.

山本俊幸. 乾癬診療から学んだ症例や、トレムフィアの最近の話題. 東海道 Psoriasis Seminar; 20231101; 静岡.

山本俊幸. 乾癬治療におけるビンゼレックスへの期待と注意点. ビンゼレックス発売 1 周年記念セミナー in 栃木; 20231102; 栃木.

山本俊幸. 膠原病・血管炎の皮膚症状 ～症例を通じて考えること～. 第 30 回埼玉難治性皮膚疾患臨床研究会; 20231125; 浦和.

山本俊幸. 小児リウマチ性疾患の皮膚病変へのアプローチ. 第 11 回東北小児膠原病研究会; 20231202; 仙台.

山本俊幸. 専門部会報告 膠原病・血管炎. 第 53 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20231208; 浦安.

山本俊幸. シンポジウム 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症～好酸球性血管炎の意義と臓器症状との関連性. 第 53 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20231209; 浦安.

山本俊幸. 皮膚症状からわかる膠原病診断へのアプローチ. 福島県ステップアップセミナー; 20231218; 福島.

〔招待講演〕

山本俊幸. 早期全身療法導入の意義とアブレミラストの役割について. 南東北オテズラ錠発売 6 周年記念講演会;

20230303; 山形.

山本俊幸. 壊疽性膿皮症を集中的に勉強しよう. 第 12 回大阪炎症性皮膚疾患フォーラム; 20230309; 大阪.

山本俊幸. 意外と難しい膠原病・血管炎の皮膚症. SAGA Dermatology Expert Webseminar; 20230426; 佐賀.

山本俊幸. 掌跖膿疱症診療におけるアンメットニーズ. 第 351 回日本皮膚科学会長崎地方会; 20230730; 長崎.

山本俊幸. スイーツセミナー Psoriatic disease と尋常性／関節症性／膿疱性乾癬. 第 141 回日本皮膚科学会山陰地方会; 20230902; 米子.

山本俊幸. 膠原病・血管炎～最近経験した症例から考えること～. Sun Expert Seminar; 20230922; 東京.

山本俊幸. 掌跖膿疱症の診療と最新治療. 浦和医師会学術講演会; 20231019; 浦和.

山本俊幸. ランチョンセミナー 乾癬の外用療法とドボベットフォームの使い方. 日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 402 回例会; 20231105; 仙台.

〔その他〕

猪狩翔平. 福島県立医科大学での乾癬外用療法について. 乾癬の外用療法を考える; 20230725; 福島.

泌尿器科学講座

論 文

〔原 著〕

Amir Isamu, Eguchi Yuichiro, Saotome Kousaku, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki, Tamaki Tomoaki, Tsubokura Masaharu. The “GU-GU-RU” project to eliminate discrimination related to the health effects of the Fukushima nuclear accident. BMC Public Health. 202310; 23(1):2050.

Meguro Satoru, Koguchi Tomoyuki, Hakozaki Yusuke, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata, Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Concurrent reduced expression of contiguous PKD1, TSC2 and NTHL1 leading to kidney diseases and multiple diverse renal cancers. Cancer Genomics & Proteomics. 202301; 20(1):40-50.

Sobu Ryuta, Numakura Kazuyuki, Naito Sei, Hatakeyama Shingo, Kato Renpei, Koguchi Tomoyuki, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Kandori Syuya, Kawamura Sadafumi, Arai Yoichi, Ito Akihiro,

Nishiyama Hiroyuki, Kojima Yoshiyuki, Obara Wataru, Ohyama Chikara, Tsuchiya Norihiko, Habuchi Tomonori. Clinical impact of early response to first-line VEGFR-TKI in patients with metastatic renal cell carcinoma on survival: A multi-institutional retrospective study. *Cancer Medicine*. 202302; 12(4):4100-4109.

Koguchi Tomoyuki, Naito Sei, Hatakeyama Shingo, Numakura Kazuyuki, Muto Yumina, Kato Renpei, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Morozumi Kento, Kandori Shuya, Kawamura Sadafumi, Nishiyama Hiroyuki, Ito Akihiro, Habuchi Tomonori, Obara Wataru, Ohyama Chikara, Tsuchiya Norihiko, Kojima Yoshiyuki. The efficacy of molecular targeted therapy and nivolumab therapy for metastatic non-clear cell renal cell carcinoma: A retrospective analysis using the Michinoku Japan urological cancer study group database. *Cancer Medicine*. 202311; 12(22):20677-20689.

Horie Shigemitsu, Naito Sei, Hatakeyama Shingo, Kandori Shuya, Numakura Kazuyuki, Kato Renpei, Koguchi Tomoyuki, Myoen Shingo, Kawasaki Yoshihide, Ito Akihiro, Adachi Hisanobu, Kojima Yoshiyuki, Obara Wataru, Habuchi Tomonori, Nishiyama Hiroyuki, Ohyama Chikara, Tsuchiya Norihiko. Preoperative prognostic model for localized and locally advanced renal cell carcinoma: Michinoku Japan Urological Cancer Study Group. *International Journal of Clinical Oncology*. 202311; 28(11):1538-1544.

Akaiata Hidenori, Matsuoka Kanako, Hata Junya, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Uemura Motohide, Igawa Yasuhiko, Kojima Yoshiyuki. Involvement of Mast-Cell-Tryptase- and Protease-Activated Receptor 2-Mediated Signaling and Urothelial Barrier Dysfunction with Reduced Uroplakin II Expression in Bladder Hyperactivity Induced by Chronic Bladder Ischemia in the Rat. *International Journal of Molecular Sciences*. 202302; 24(4):3982.

Kataoka Masao, Meguro Satoru, Tanji Ryo, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Honda-Takinami Ruriko, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaiata Hidenori, Ogawa Soichiro, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. Role of puboperinealis and rectourethralis muscles as a urethral support system to maintain urinary continence after robot-assisted radical prostatectomy. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):14126.

Iinuma Koji, Nishino Yoshinori, Matsuoka Kanako, Ihara Tatsuya, Makabe Syunta, Tanji Ryo, Harigane Yuki, Ishida Kenichiro, Tamaki Masayoshi, Yokoi Shigeaki, Hoshino Hiroki, Yuhara Kazuya, Yamada Toru, Kubota Yasuaki, Miwa Kousei, Kikuchi Mina, Kojima Yoshiyuki, Mitsui Takahiko, Koie Takuya. The prevalence and predictive factors of nocturnal polyuria in Japanese patients with nocturia: a multicenter retrospective cohort study. *Scientific Reports*. 202310; 13(1):18128.

Masunaga Yohei, Fujisawa Yasuko, Francesco Massart, Claudio Spinelli, Kojima Yoshiyuki, Mizuno Kentaro, Hayashi Yutaro, Sasagawa Isoji, Yoshida Rie, Kato Fumiko, Fukami Maki, Kamatani Naoyuki, Saito Hiroto, Ogata Tsutomu. Microdeletion at ESR1 Intron 6 (DEL_6_75504) Is a Susceptibility Factor for Cryptorchidism and Hypospadias. *Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism*. 202309; 108(10):2550-2560.

〔総説等〕

Hoshi Seiji, Yaginuma Kei, Meguro Satoru, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hata Junya, Sato Yuichi,

Akaiata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. PSMA Targeted Molecular Imaging and Radioligand Therapy for Prostate Cancer: Optimal Patient and Treatment Issues. Current Oncology. 202308; 30(8):7286-7302.

Hata Junya, Harigane Yuki, Matsuoka Kanako, Akaiata Hidenori, Yaginuma Kei, Meguro Satoru, Hoshi Seiji, Sato Yuichi, Ogawa Soichiro, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. Mechanism of Androgen-Independent Stromal Proliferation in Benign Prostatic Hyperplasia. International Journal of Molecular Sciences. 202307; 24(14):11634.

Uemura Motohide, Watabe Tadashi, Hoshi Seiji, Tanji Ryo, Yaginuma Kei, Kojima Yoshiyuki. The current status of prostate cancer treatment and PSMA theranostics. Therapeutic Advances in Medical Oncology. 202307; 15:17588359231182293.

秦淳也, 遠藤侑, 針金佑樹, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 松岡香奈子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 特集 前立腺肥大症研究の進歩 8. 前立腺肥大症の免疫学的増殖機構—自己免疫反応を介した補体経路の関与—. Prostate Journal. 202304; 10(1):42-47.

松岡香奈子, 秦淳也, 小島祥敬. 頻尿に潜む病態を見破る 前立腺肥大症による男性下部尿路症状. 医学のあゆみ. 202304; 285(3):188-192.

小川総一郎. 原発事故と健康影響—福島県民健康調査と風評対策 環境省が取り組む健康影響に関する情報発信. 公衆衛生. 202311; 87(11):1079-1085.

佐藤雄一, 桐花悠介, 長谷川暁久, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡香奈子, 星誠二, 小島祥敬. 特集 ロボット支援手術 腎盂形成術. 小児外科. 202305; 55(5):562-565.

秦淳也, 針金佑樹, 松岡香奈子, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 5. 水腎症・腎後性腎不全. 腎と透析. 202312; 95(増刊):469-472.

秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 【臨床前立腺癌—基礎・臨床の最新知見—】IV 治療手術療法術後合併症とその対策 尿禁制改善の工夫. 日本臨床. 202306; 81(増刊 6):198-203.

秦淳也, 今井仁美, 松岡香奈子, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 特集 過活動膀胱診療ガイドライン第3版を読み解く 前立腺肥大症に伴う過活動膀胱の治療. 排尿障害プラクティス. 202306; 31(1):34-40.

赤井畑秀則, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 特集 排尿障害をきたす病態と治療 下部尿路機能障害の検査・鑑別診断. 臨床と研究. 202310; 100(10):1203-1210.

秦淳也, 松岡香奈子, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 【徹底解説! 過活動膀胱 (OAB) の診療ストラテジー】過活動膀胱の標準的治療 前立腺肥大症に合併する過活動膀胱患者に対する治療. 臨床泌尿器科. 202302; 77(2):154-159.

片岡政雄, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 泌尿器内視鏡最新手術 尿管・膀胱の手術 ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘

除術（女性患者）. 臨床泌尿器科. 202304; 77(4):100-103.

佐藤雄一, 桐花悠介, 小島祥敬. 泌尿器内視鏡最新手術 小児・女性泌尿器関連の手術 腹腔鏡下逆流防止術：膀胱外アプローチ. 臨床泌尿器科. 202304; 77(4):210-213.

赤井畑秀則, 佐藤雄一, 小島祥敬. 即, 実践！ 小児の下部尿路機能障害の診療 小児下部尿路機能の評価. 臨床泌尿器科. 202311; 77(12):950-954.

〔症例報告〕

Hoshi Seiji, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Unilateral adrenalectomy for a drug-resistant bilateral primary aldosteronism with heart failure: pathophysiology and surgical indication. BMC Endocrine Disorders. 202311; 23(1):243.

Makabe Syunta, Koguchi Tomoyuki, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. SMARCB1-deficient basal cell carcinoma of the prostate controlled using radiation therapy. IJU Case Reports. 202306; 6(4):248-252.

Kirihana Yusuke, Sato Yuichi, Hata Junya, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Coincidental occurrence of bilateral neonatal testicular torsion, with an extravaginal and a contralateral intravaginal testicular torsion. IJU Case Reports. 202309; 6(6):465-467.

Hasegawa Akihisa, Sato Yuichi, Hata Junya, Akaihata Hidenori, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Cavernous hemangioma in the bladder of an 8-year-old boy. Urology Case Reports. 202308; 51:102546.

Harigane Yuki, Morimoto Issei, Suzuki Osamu, Temmoku Jumpei, Sakamoto Takayuki, Nakamura Kohichiro, Machii Kazuo, Miyata Masayuki. Enzyme replacement therapy in two patients with classic Fabry disease from the same family tree: Two case reports. World Journal of Clinical Cases. 202305; 11(15):3542-3551.

〔その他〕

松岡香菜子. コメント「過活動膀胱を有する女性におけるバイオフィードバックによる骨盤底筋トレーニングと骨盤電気刺激：無作為化比較試験のシステマティックレビューとメタアナリシス」. Broad View of Urology Topics. 202302; 5(5):2-3.

松岡香菜子. コメント「アルツハイマー病におけるアミロイド形成は下部尿路の生理学的変化と関連する」. Broad View of Urology Topics. 202302; 5(5):4-5.

秦淳也. コメント「過活動膀胱患者の排尿回数は尿意切迫感によって決まるか？」. Broad View of Urology Topics. 202302; 5(5):6-7.

秦淳也. コメント「前立腺が小さい患者における下部尿路症状：平滑筋の増殖と石灰化が原因因子と考えられる」. Broad View of Urology Topics. 202302; 5(5):8-9.

小島祥敬. 編集後記. Broad View of Urology Topics. 202302; 5(5):18.

秦淳也. コメント「IR780 の膀胱内注入は尿路上皮細胞の整合性を保護することにより放射線性膀胱炎を予防する」. Broad View of Urology Topics. 202308; 6(2):2-3.

秦淳也. コメント「再発性尿路感染症を有する女性における膀胱三角部電気凝固の長期有効性」. Broad View of Urology Topics. 202308; 6(2):4-5.

赤井畑秀則. コメント「女性尿閉患者における試験的カテーテル抜去成功の予測因子」. Broad View of Urology Topics. 202308; 6(2):6-7.

赤井畑秀則. コメント「股関節機能障害に伴う尿失禁と側方アプローチによる人口股関節全置換術」. Broad View of Urology Topics. 202308; 6(2):8-9.

松岡香菜子. 第 16 回ヤングリサーチグラント研究結果報告 7：過活動膀胱における利尿適応性の中樞神経制御機構の解明と新規治療開発に向けた基礎的研究. 日本泌尿器科学会雑誌. 202307; 114(3):18.

小島祥敬. 山口脩先生のご逝去を悼む. 日本泌尿器科学会雑誌. 202307; 114(3):1-2.

小島祥敬. 広報委員会のつぶやきコーナー. 福島県医師会報. 202302; 85(2):204.

小島祥敬. 広報委員会のつぶやきコーナー. 福島県医師会報. 202309; 85(9):879.

小島祥敬. 編集後記. 福島県医師会報. 202310; 85(10):968.

小島祥敬. 視点「ロボット支援手術」. 福島県医師会報. 202312; 85(12):1066-1070.

小島祥敬. 福島県立医科大学医学部教育ファクトブック 2023 発行にあたって. 福島県立医科大学医学部教育ファクトブック 2023. 202312; 巻頭.

松岡香菜子. トピックス 2 本学発信—学術研究成果・新発見等紹介— 習慣的な緑茶成分の摂取が頻尿予防に効果. 光が丘. 202302; 52:[ページ].

小島祥敬. 徹底解説！過活動膀胱（OAB）の診療ストラテジー 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 202302; 77(2):123.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202303; 77(3):294.

小島祥敬. 特集 ここだけは押さえておきたい 間質性膀胱炎・膀胱痛症候群診療のポイント 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 202305; 77(6):403.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202306; 77(7):574.

松岡香菜子. 学会印象記 「AUA2023」 印象記. 臨床泌尿器科. 202309; 77(10):836-837.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202309; 77(10):842.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202312; 77(13):1134.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Akaihashi Hidenori, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Yoshida Yuki, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onogi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. The humoral immunity activation causes the bladder outlet obstruction related with prostate through the different mechanism from the prostate volume. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230428; Chicago, USA.

Hoshi Seiji, Natsuya Hiroki, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Makabe Syunta, Yoshida Yuki, Meguro Satoru, Onogi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. Immunosuppressive mechanisms of integrin beta8 for immune response induced by BCG therapy. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230428; Chicago, USA.

Matsuoka Kanako, Yaginuma Kei, Endo Yu, Harigane Yuki, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Imai Hitomi, Onogi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The clinical feature and significance of vesical adaptation response to diuresis in male LUTS patients. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230428; Chicago, USA.

Meguro Satoru, Koguchi Tomoyuki, Endo Yu, Yaginuma Kei, Harigane Yuki, Matsuoka Yuta, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Onogi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kataoka Masao, Uemura Motohide, Kojima Yoshiyuki. Novel contiguous gene disorder of PKD1, TSC2 and NTHL1 leading to corresponding kidney diseases and multiple and pathologically diverse renal cell carcinomas. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230428; Chicago, USA.

Matsuoka Kanako, Yaginuma Kei, Endo Yu, Harigane Yuki, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Imai Hitomi, Onogi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. L-γ-glutamylethylamide prevents lower urinary tract dysfunction induced by chronic sympathetic hyperactivity. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230428; Chicago, USA.

Kayama Emina, Uemura Motohide, Yaginuma Kei, Meguro Satoru, Onogi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Ogawa Soichiro, Kiriha Yusuke, Yanagida Tomohiko, Murakami Fusao, Kojima Yoshiyuki.

Development of a Novel Gene Expression Scoring System for Recurrence in Non-muscle-invasive Bladder Cancer after Transurethral Resection of Bladder Tumor. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230429; Chicago, USA.

Hasegawa Akihisa, Hata Junya, Yoshioka Shunsuke, Natsuya Hiroki, Kirihaana Yusuke, Hakozaiki Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Endo Yu, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Matsuoka Yuta, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaiha Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Cross sectional area of psoas major muscle predicts urinary incontinence after robot-assisted radical prostatectomy. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230430; Chicago, USA.

Natsuya Hiroki, Katakoka Masao, Kirihaana Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Hakozaiki Yusuke, Yoshioka Shunsuke, Endo Yu, Harigane Yuki, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Imai Hitomi, Kojima Yoshiyuki. Placement of appropriate surgical position by measuring lower leg pressure prevents the development of creatine kinase elevation and leg compartment syndrome after robot-assisted radical prostatectomy. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230430; Chicago, USA.

Imai Hitomi, Akaiha Hidenori, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Yoshida Yuki, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The preoperative dyslipidemia and high overactive bladder symptom score predict de novo overactive bladder after robot-assisted radical prostatectomy. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230501; Chicago, USA.

Matsuoka Kanako, Yaginuma Kei, Endo Yu, Harigane Yuki, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaiha Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The effect of nocturnal diuresis on bladder storage dysfunction for male LUTS patients. 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230501; Chicago, USA.

Tanji Ryo, Iwamatsu Hiroki, Tsumori Takahiro, Hiraguri Akari, Endo Yu, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaiha Hidenori, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Predictive factors of prolonged severe and progressively deteriorated overactive bladder after robotic-assisted radical prostatectomy (RARP). 17th Pan-Pacific Continence Society Meeting; 20231014; Kaohsiung, Taiwan.

Honda-Takinami Ruriko, Kataoka Masao, Hata Junya, Akaiha Hidenori, Kojima Yoshiyuki. Impact of nocturnal enuresis on QOL after robot-assisted radical prostatectomy. 17th Pan-Pacific Continence Society Meeting; 20231015; Kaohsiung, Taiwan.

胡口智之, 小名木彰史, 八木沼恵, 針金佑樹, 松岡優太, 星誠二, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 腎癌のミオインシトル欠乏と増殖制御に及ぼす影響. 第32回泌尿器科分子・細胞研究会; 20230225; 秋田.

片岡政雄, 滝浪瑠璃子, 今井仁美, 松岡香菜子, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 膀胱腔内における保存的カテーテル留置療法による尿所見及び周術期・術後経過への影響. 第16回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会; 20230326; 大

阪.

小名木彰史, 杉本幸太郎, 小林信, 小島祥敬, 千葉秀樹. 腎細胞癌における Claudin-10 の分子病理学的解析. 第 112 回日本病理学会総会; 20230414; 下関.

Akaihashi Hidenori, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Manome Masahiko, Kojima Yoshiyuki. The microscopic structural changes of prostate reflected by the apparent diffusion coefficient value affect lower urinary tract function. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Akaihashi Hidenori, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Manome Masahiko, Kojima Yoshiyuki. The significance of humoral immunity on the bladder outlet obstruction related with prostate indicated by comprehensive gene expression analysis. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Fujita Kazutoshi, Matsushita Makoto, Hatano Koji, Hata Junya, Yoshiyama Azusa, Kanehira Mitsugu, Nishimoto Mitsuhisa, Fukuhara Shinichiro, Minami Takafumi, Nakamura Shota, Yoshimura Kazuhiro, Nonomura Norio, Uemura Hirotsugu. Gut Microbiome correlated with Blood Testosterone Levels in Elderly Men. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Hata Junya, Kumekawa Tomoyuki, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Shift change of the activated complement pathway in the fibrotic process associated with progression of benign prostatic hyperplasia. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Hatano Koji, Watabe Tadashi, Hirata Takero, Yamamoto Akinaru, Yamamichi Gaku, Tomiyama Eisuke, Ishizuya Yu, Yamamoto Yoshiyuki, Kato Taigo, Kawashima Atsunari, Fujita Kazutoshi, Uemura Motohide, Nonomura Norio. Patterns of disease progression revealed by PSMA-PET in men with biochemical recurrence after prostate cancer radiotherapy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Kataoka Masao, Yaginuma Kei, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihashi Hidenori, Kojima Yoshiyuki. A phantom study for a fluid dynamical evaluation of lower urinary tract function using high-speed videocamera: What is the difference from flow rate? 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Kato Yoichiro, Akaihashi Hidenori, Takezawa Kentaro, Fukuhara Shinichiro, Maekawa Shigekatsu, Kojima Yoshiyuki, Nonomura Norio, Obara Wataru. The association between nocturnal polyuria and 24-hour blood pressure fluctuations in male with lower urinary tract symptoms: A multicenter prospective study. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Kayama Emina, Uemura Motohide, Yaginuma Kei, Meguro Satoru, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Yanagida Tomohiko, Murakami Fusao, Kojima Yoshiyuki. Development of a novel gene expression scoring system for recurrence in non-muscle-invasive bladder cancer after transurethral resection of bladder tumor. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Koguchi Tomoyuki, Kumekawa Tomoyuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Disruption of the myo-inositol providing system affected the acquisition of malignant potential for renal cancer. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Koguchi Tomoyuki, Kumekawa Tomoyuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Sarcopenia as a novel indicator of nivolumab response for advanced renal cancer. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Yaginuma Kei, Hoshi Seiji, Harigane Yuki, Endo Yu, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Diagnostic potential of FDG-PET/MRI for detection of index tumor in prostate cancer with PSMA low - expression and without multiparametric MRI detection. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Yamamichi Gaku, Kato Taigo, Motoyama Yuichi, Otani Hidetatsu, Myoba Syohei, Tomiyama Eisuke, Ishizuya Yu, Yamamoto Yoshiyuki. GDPP is a novel blood biomarker in bone metastasis of prostate cancer by fueling the vicious cycle. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Yoshida Yuki, Hata Junya, Hashimoto Tatsuru, Watanabe Kazuhiro, Kakinuma Hideaki, Kojima Yoshiyuki. Diagnostic tool combined with nomogram and AI deep learning to select indication for pelvic lymph node dissection in robot-assisted radical prostatectomy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Uemura Motohide, Matthew R. Smith, Bertrand Tombal, Maha Hussain, Fred Saad, Karim Fizazi, Cora N. Sternberg, E. David Crawford, Shivani Kapur, Rui Li, Iris Kuss, Heikki Joensuu, Suzuki Hiroyoshi. New option of darolutamide in addition to ADT and docetaxel in patients with metastatic hormone-sensitive prostate cancer: Japanese subgroup analysis of ARASENS. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

Hasegawa Akihisa, Hata Junya, Watanabe Kazuhiro, Kakinuma Hideaki, Hashimoto Tatsuru, Fukaya Yasuo, Kojima Yoshiyuki. Cross sectional area of psoas major muscle predicts urinary incontinence after robot-assisted radical prostatectomy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Kumekawa Tomoyuki, Kataoka Masao, Yaginuma Kei, Endo Yu, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kojima Yoshiyuki. Frequency of lymphocele in the early postoperative period after robot-assisted radical prostatectomy and its association with perioperative complications. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Matsuoka Yuta, Hata Junya, Imai Hitomi, Sato Yuichiro, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Effects of severe obesity on Transplanted renal function. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Matsuoka Yuta, Hata Junya, Imai Hitomi, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Long-term prognosis of lower urinary tract function after robot-assisted radical prostatectomy in patients with preoperative low bladder contractility. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Nakata Wataru, Hatano Koji, Nagahara Akira, Sato Mototaka, Takao Tetsuya, Matsumura Soichi, Nishimura Kensaku, Takada Shingo, Iwanishi Toshichika, Kobayashi Yasuyuki, Tsujihata Masao, Uemura Motohide, Nonomura Norio. Enzalutamide efficacy and safety for castration-resistant prostate cancer patients: a real-world multi-institutional prospective study. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Yoshioka Shunsuke, Hata Junya, Hasegawa Akihisa, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Hosoi Takayuki, Kojima Yoshiyuki. Predictive factor of urinary drainage indication for malignant ureteral obstruction caused by malignant diseases. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Imai Hitomi, Akaihata Hidenori, Hrigane Yuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The preoperative dyslipidemia and high overactive bladder symptom score predict de novo overactive bladder after robot-assisted radical prostatectomy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230422; 神戸.

Natsuya Hiroki, Kataoka Masao, Kirihaana Yusuke, Yoshioka Shunsuke, Kumekawa Tomoyuki, Hakozaiki Yusuke, Kushida Nobuhiro, Yoshida Junya, Yokoyama Jun, Kojima Yoshiyuki. Placement of appropriate surgical position by measuring leg pressure prevents leg compartment syndrome after robot-assisted radical prostatectomy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230422; 神戸.

片岡政雄, 桑川知之, 針金佑樹, 遠藤侑, 今井仁美, 松岡優太, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術時の電気メス使用頻度は早期の術後尿失禁量と相関する. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230422; 神戸.

秦淳也, 針金佑樹, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 細井隆之, 小島祥敬. 膀胱頸部筋・神経密度解析によるロボット支援前立腺全摘除術における膀胱頸部温存の意義. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230422; 神戸.

松下慎, 藤田和利, 波多野浩士, 富山栄輔, 加藤大悟, 河嶋厚成, 植村元秀, 今村亮一, 辻川和文, 中村昇太, 竹田潔, 森井英一, 野々村祝夫. 高脂肪食による腸内細菌叢のディスバイオーシスが前立腺癌の増殖に与える影響の解明. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230422; 神戸.

遠藤侑, 星誠二, 八木沼恵, 針金佑樹, 吉田祐樹, 松岡優太, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. ハイリスク転移性前立腺癌の膀胱内再発に対し経尿道的腫瘍切除術により病変を制御しえた 1 例. 第 266 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230513; 仙台.

桐花悠介, 柳田知彦, 加山恵美奈, 内田久志, 村上房夫. 尿管管嚢胞に合併した尿管管癌の 1 例. 第 266 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230513; 仙台.

針金佑樹, 赤井畑秀則, 遠藤侑, 今井仁美, 丹治亮, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 高齢者におけるロボット支援前立腺全摘除術後 1 年の排尿効率悪化の危険因子. 第 36 回日本老年泌尿器科学会; 20230527; 大津.

遠藤侑, 星誠二, 八木沼恵, 針金佑樹, 吉田祐樹, 松岡優太, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. ハイリスク転移性前立腺癌の膀胱内再発に対し経尿道的腫瘍切除術により病変を制御しえた1例. 第90回福島泌尿器科研究会; 20230610; 福島.

箱崎佑輔, 横山純, 櫛田信博, 吉田純也. 異時性両側尿管腫瘍の1例. 第90回福島泌尿器科研究会; 20230610; 福島.

長谷川暁久, 橋本樹, 柿沼秀秋, 渡辺一弘, 深谷保男. 両側の膀胱尿管逆流を呈した鰓耳腎症候群の一例. 第90回福島泌尿器科研究会; 20230610; 福島.

針金佑樹, 星誠二, 桑川知之, 遠藤侑, 八木沼恵, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡正雄, 小島祥敬. BRCA2 生殖細胞変異に FANCA 体細胞変異を合併した去勢抵抗性前立腺癌の一例. 第90回福島泌尿器科研究会; 20230610; 福島.

秦淳也, 針金祐樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 小名木彰史, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 補体経路を介した NLRP3 インフラマソームによる前立腺肥大症発症機序の解明. 日本アンドロロジー学会第42回学術大会; 20230623; 名古屋.

星誠二, 佐藤雄一, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 植村元秀, 小島祥敬. 去勢抵抗性前立腺癌における 223Ra 治療中の予後予測ツールとしての 18F-FDG PET/MRI の有用性. 日本アンドロロジー学会第42回学術大会; 20230624; 名古屋.

加山恵美奈. 筋層非浸潤性膀胱癌の術後再発を予測する新規遺伝子発現スコアリングモデルの構築. IFO Urology Forum 2023; 20230701; 仙台.

針金祐樹. 利尿適応性に関与する中枢神経領域の探索. IFO Urology Forum 2023; 20230701; 仙台.

桐花悠介, 佐藤雄一, 吉田祐樹, 長谷川暁久, 今井仁美, 滝浪瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 小島祥敬. 下部尿路機能障害を伴う脊髄手術後の脊髄係留症候群に対する係留解除術の有効性. 第32回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20230720; 神戸.

長谷川暁久, 桐花悠介, 吉田祐樹, 滝浪瑠璃子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 小川総一郎, 小島祥敬. 精巣腫瘍と鑑別が困難であった新生児精巣捻転の1例. 第32回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20230721; 神戸.

星誠二, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 18F-FDG PET/MRI による去勢抵抗性前立腺癌における 223Ra 治療予後予測. 第10回 JSURT (泌尿器画像診断・治療技術研究会); 20230805; 京都.

片岡政雄, 滝浪瑠璃子, 今井仁美, 松岡香菜子, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 尿道脱の診断にて加療目的に紹介となった cecoureterocele の一例. 日本女性骨盤底医学会第25回学術集会; 20230806; 東京.

今井仁美, 赤井畑秀則, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後における腹圧性尿失禁・切迫性尿失禁の発症関連因子同定とその鑑別への応用. 第30回日本排尿機能学会; 20230907; 千葉.

滝浪瑠璃子, 秦淳也, 夏谷広樹, 箱崎佑輔, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 今井仁美, 吉田祐樹, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 前立腺増殖初期段階における前立腺組織内細菌の同定と前立腺肥大症発症機序の解明. 第30回日本排尿機能学会; 20230907; 千葉.

橋本土, 松岡香菜子, 清水信貴, 平山暁秀, 植村天受, 吉村直樹. 脊髄損傷マウスを用いた下部尿路機能障害における脊髄神経回路の変化と性差の検討. 第30回日本排尿機能学会; 20230907; 千葉.

片岡政雄, 滝浪瑠璃子, 遠藤侑, 松岡優太, 吉田祐樹, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術時の高周波電流による術後尿失禁発症メカニズムの解明—模様部尿道の静的・動的変化に着目した解析—. 第30回日本排尿機能学会; 20230908; 千葉.

針金佑樹, 秦淳也, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 遠藤侑, 八木沼恵, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 小名木彰史, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 膀胱頸部周囲神経局在からみたロボット支援前立腺全摘除術における膀胱頸部温存の意義と尿禁制への寄与. 第30回日本排尿機能学会; 20230908; 千葉.

眞壁俊太, 秦淳也, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 長谷川暁久, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の下部尿路機能障害における前立腺前面脂肪の組織学的変化の意義. 第30回日本排尿機能学会; 20230908; 千葉.

吉田祐樹, 秦淳也, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 人工知能 (AI) モデルを用いた前立腺肥大症における $\alpha 1$ 遮断薬の治療効果予測システムの開発. 第30回日本排尿機能学会; 20230908; 千葉.

赤井畑秀則, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 慢性虚血に伴う下部尿路機能障害発症への尿路上皮バリア機構障害の関与. 第30回日本排尿機能学会; 20230909; 千葉.

箱崎佑輔, 横山純, 櫛田信博, 吉田純也. 精巣セルトリ細胞腫の一例. 第267回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230930; 山形.

加藤義朋, 胡口智之, 吉岡駿祐, 桑川知之, 細井隆之, 星誠二. 体外衝撃波結石破砕術 (ESWL) による腎損傷の1例. 第267回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230930; 山形.

津守貴広, 星誠二, 遠藤侑, 岩松大貴, 八木沼恵, 針金佑樹, 吉田祐樹, 今井仁美, 小名木彰史, 丹治亮,

秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 腎結核を来した BCG 感受性膀胱癌に対して抗結核療法・術前化学療法併用後に根治的膀胱全摘除術を施工した 1 例. 第 267 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230930; 山形.

平栗あかり, 佐藤雄一, 吉田祐樹, 岩松大貴, 遠藤侑, 針金佑樹, 八木沼恵, 今井仁美, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 秦淳也, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 多期的 F-S 法を施工し精巣機能の温存に成功した両側高位腹腔内精巣の一例. 第 267 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20230930; 山形.

星誠二, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 去勢抵抗性前立腺癌における ^{223}Ra 治療後予測ツールとしての ^{18}F -FDG PET/MRI の可能性. 第 88 回日本泌尿器科学会東部総会; 20231006; 札幌.

亀岡浩, 夏谷広樹, 小林正人, 片岡政雄, 箱崎祐輔, 小島祥敬. 内骨盤筋膜を温存し TAR (Total Anatomical Reconstruction) 法による尿路再建を行ったロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RARP) の初期成績. 第 88 回日本泌尿器科学会東部総会; 20231007; 札幌.

星誠二, 眞壁俊太, 八木沼恵, 目黒了, 小名木彰史, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 前立腺癌に対する Theranostics の現状と未来展望. 第 88 回日本泌尿器科学会東部総会; 20231007; 札幌.

胡口智之, 箱崎祐輔, 岩松大貴, 平栗あかり, 津守貴広, 八木沼恵, 小名木彰史, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 植村元秀, 細井隆之, 小島祥敬. CT 画像を用いた進行性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果予測方法の探索. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

八木沼恵, 星誠二, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 針金佑樹, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 丹治亮, 胡口智之, 小川総一郎, 小島祥敬. PSMA 低発現かつ MRI で検出できない前立腺癌 index tumor に対する FDG-PET の有用性. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

胡口智之, 小名木彰史, 八木沼恵, 星誠二, 小島祥敬. 腎癌のがん化能獲得とミオイノシトール供給異常の意義. 日本泌尿器腫瘍学会第 9 回学術集会; 20231021; 横浜.

八木沼恵, 星誠二, 胡口智之, 小島祥敬. PSMA 低発現かつ MRI で検出できない前立腺癌 index tumor に対する FDG-PET の有用性. 日本泌尿器腫瘍学会第 9 回学術集会; 20231021; 横浜.

小早川雅男, 志賀哲, 八木沼恵, 星誠二, 小島祥敬. At-211 MABG の褐色細胞腫/パラガングリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第 I 相試験. 日本泌尿器腫瘍学会第 9 回学術集会; 20231022; 横浜.

片岡政雄, 滝浪瑠璃子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術時の高周波電流による術後尿失禁発症メカニズムの解明. 第 37 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231109; 米子.

針金佑樹, 赤井畑秀則, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 遠藤侑, 秦淳也, 佐藤雄一, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後 1 年の排尿効率悪化の危険因子. 第 37 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231109; 米子.

吉田祐樹, 秦淳也, 岩松大貴, 平栗あかり, 津守貴広, 松岡優太, 丹治亮, 星誠二, 胡口智之, 小島祥敬. AIの活用によるロボット支援前立腺全摘除術における拡大リンパ節郭清の適応選定. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231109; 米子.

夏谷広樹, 桑川知之, 針金佑樹, 遠藤侑, 今井仁美, 吉田祐樹, 秦淳也, 亀岡浩, 片岡政雄, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘術後の下肢コンパートメント症候群予防を目的とした体位作成法. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231110; 米子.

秦淳也, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 膀胱頸部神経局在からみたロボット支援前立腺全摘除術における膀胱頸部温存. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231111; 米子.

松岡香菜子. 蓄尿機能に対する新しい指標「利尿適応性」の有用性と頻尿治療における意義. 第155回福島県医師会医学大会; 20231119; 郡山.

小川総一郎, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 丹治亮, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 留精巣を原因とする男性不妊症患者の妊孕性. 第26回福島リプロダクション研究会; 20231125; 福島.

秦淳也, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 遠藤侑, 針金佑樹, 八木沼恵, 眞壁俊太, 今井仁美, 丹治亮, 星誠二, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 植村元秀, 小島祥敬. 三次リンパ組織に着目した前立腺肥大症における自己免疫性増殖機序の解明. 第38回前立腺シンポジウム; 20231209; 東京.

秦淳也. ロボット支援前立腺全摘除術における術前膀胱収縮力低下が下部尿路機能に及ぼす影響. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231209; 横浜.

星誠二, 津守貴広, 平栗あかり, 岩松大貴, 桑川知之, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 目黒了, 小名木彰史, 丹治亮, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 植村元秀, 小島祥敬. 去勢抵抗性前立腺癌の局所再発診断における¹⁸F-FDG PET/MRIの有用性. 第38回前立腺シンポジウム; 20231210; 東京.

〔シンポジウム〕

Kojima Yoshiyuki. Session6 JSER-KSERaJoint Symposium Section I Education & training in endourology Proctor Quantification System for Urological Robotic surgery in japan. 30th Annual Meeting of the Korean Society of Endourology and Robotics; 20230629; Seoul, Korea.

植村元秀. セッション4 前立腺癌に対するPSMA治療の現状と課題. 放射線治療薬開発に関する国際シンポジウム in 福島; 20230129; 南相馬.

Kojima Yoshiyuki, Sato Yuichi. Symposium 6 Pyeloplasty in robotic era Current Status and Future Prospects of Robot-Assisted Surgery in Pediatric Urology. 第110回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

小島祥敬, 平栗あかり, 津守貴広, 岩松大貴, 針金佑樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優

太, 目黒了, 小名木彰史, 丹治亮, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎. 領域別セッション3【小児外科・泌尿器科: 患者・施設にとって最適な手術・創部の工夫】腹腔鏡下/ロボット支援下腎盂形成術: 経腹膜アプローチ. 第35回日本小切開・鏡視外科学会; 20230602; 東京.

小川総一郎, 八木沼恵, 針金祐樹, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 小名木彰史, 丹治亮, 松岡優太, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 植村元秀, 小島祥敬. 超少子・超高齢化を診る 臨牀編 環境保健の面からみた男性の妊孕性に影響し得る因子. 日本アンドロロジー学会第42回学術大会; 20230624; 名古屋.

佐藤雄一, 桐花悠介, 吉田祐樹, 長谷川暁久, 滝浪瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 小川総一郎, 小島祥敬. <感興>シンポジウム1「"この子のおちんちん、小さいんです"-Inconspicuous penis-」 Inconspicuous penis の分類. 第32回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20230720; 神戸.

秦淳也, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 遠藤侑, 八木沼恵, 針金祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 吉田祐樹, 小名木彰史, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術における尿失禁防止のための工夫ー骨盤内構造の温存・再建・補強ー. 第30回日本排尿機能学会; 20230908; 千葉.

片岡政雄, 滝浪瑠璃子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 尿禁制改善を目指した再建方法. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231110; 米子.

佐藤雄一, 吉田祐樹, 小名木彰史, 丹治亮, 星誠二, 秦淳也, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援バイパス腎盂形成術. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20231110; 米子.

〔特別講演〕

小島祥敬. 過活動膀胱の病態と治療ー基礎研究と臨床研究から深掘りするー. 第4回広島排尿障害セミナー; 20230126; 広島.

小島祥敬. 小児泌尿器科疾患における基礎研究と臨床研究. 第27回滋賀県泌尿器疾患懇話会; 20230302; 大津.

小島祥敬. 過活動膀胱と前立腺肥大症の病態解明に向けた基礎・臨床研究. 排尿障害治療の最前線 in Fukushima; 20230314; いわき.

小島祥敬, 平栗あかり, 津守貴広, 岩松大貴, 針金祐樹, 八木沼恵, 遠藤侑, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 目黒了, 小名木彰史, 丹治亮, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎. 待ったなしのアンドロロジー 性分化疾患の病態解明ー過去・現在・未来ー. 日本アンドロロジー学会第42回学術大会; 20230623; 名古屋.

小島祥敬. まじめな性のお話ー生殖腺と外性器の分化と疾患ー. 第134回 TEUS Tokyo Expert Urology Seminar; 20230731; Web.

植村元秀. 泌尿器癌における免疫療法の現状. 第35回ふくしま免疫フォーラム; 20231002; 福島.

植村元秀. 前立腺がん最近の話題～ARASENS 試験と PSMAPET 研究～. Prostate Cancer Seminar in いわき; 20231024; Web.

小島祥敬. 男性下部尿路症状に対する治療戦略. 第 9 回アカシア泌尿器科講演会; 20231102; 金沢.

小島祥敬. 男性下部尿路症状に対する治療戦略. 性機能と排尿障害について考える会; 20231122; 岐阜.

小島祥敬. 過活動膀胱の病態と治療－基礎研究と臨床研究から深掘する－. 第 4 回日本泌尿器科学会千葉地方会; 20231125; 千葉.

〔招待講演〕

Kojima Yoshiyuki. Introduction to lifetime achievements of professor Yamaguchi. 17th Pan-Pacific Continence Society Meeting; 20231014; Kaohsiung, Taiwan.

Hata Junya. Molecular and cellular pathogenesis of benign prostatic hyperplasia. Asian Pacific Prostate Society. Asian Pacific Prostate Society 2023; 20231125; Kaohsiung, Taiwan.

小島祥敬. 前立腺肥大症と過活動膀胱. 過活動膀胱【OAB】診療 アップデートセミナーinいわき; 20230316; いわき.

植村元秀. ランチョンセミナー30 前立腺癌診療における画像評価～現在と未来～ 前立腺がんの画像評価における最近の話題. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

松岡香菜子. 過活動膀胱における利尿適応性の中枢神経制御機構の解明と新規治療開発に向けた基礎的研究. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

桑川知之. 過活動膀胱の実際. 第 101 回うつくしま泌尿器科研究会; 20230511; 福島.

小島祥敬. 「正しい尿道カテーテル留置法」～泌尿器科の基本手技～. 南相馬市立総合病院 月例医学勉強会; 20230609; 南相馬.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20230714; 福島.

箱崎佑輔. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20230714; 福島.

柳田知彦. ネオアジュバント後の手術手技（リンパ節郭清等）及び経過. 第 102 回うつくしま泌尿器科研究会／第 15 回福島県泌尿器手術手技研究会; 20230715; 郡山.

三井貴彦, 小島祥敬, 矢内俊裕, 池田裕一. JSPU 理事会からの報告「専門医委員会レポート」 わが国の専門医制度の変化により JSPU はどう変わるか? 第 32 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20230721; 神戸.

小島祥敬. 前立腺がん検診と最新治療. アオウゼ公開講座; 20230912; 福島.

星誠二. MRI 画像形態による非筋層浸潤性膀胱癌の再発予測. 第 105 回うつくしま泌尿器科研究会; 20231026; 福島.

小島祥敬. 男性下部尿路症状に対する治療戦略. Expert Lecture in Kanagawa; 20231027; Web.

小島祥敬. 福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査. 令和 5 年度放射線の健康影響に係る研究調査事業成果発表会; 20231205; 東京.

〔その他〕

Hata Junya. Panel Discussion on Clinical Cases: How to Approach this Situation? 2023 Annual Meeting of the American Urological Association; 20230430; Chicago, USA.

小島祥敬, 小川総一郎. みんなで知ろう! ラジエーションたいむず. 福島中央テレビ (TV 放送); 20230218.

Hata Junya, Endo Yu, Harigane Yuki, Imai Hitomi, Matsuoka Kanako, Yoshida Yuki, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Urinary continence and cancer control in robot-assisted radical prostatectomy: preservation, reconstruction and reinforcement of pelvic structures. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Uemura Motohide. Financial toxicity of testicular tumor treatment. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

小島祥敬. 暮らしの健康相談 前立腺がん検診. 福島民友 民友ゆうゆう倶楽部会報・ゆうゆう通信夏号; 20230720; 3.

赤井畑秀則. 腹腔鏡シミュレーターの体験実習. ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業「メディカルセミナー」; 20230817; 福島.

小島祥敬. 前立腺がんを考える. 毎日新聞; 20230905; 19.

小川総一郎, 岩松大貴, 津守貴広, 平栗あかり, 針金佑樹, 八木沼恵, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 植村元秀, 小島祥敬. 停留精巣に対する精巣固定術後の不妊症とその治療. 第 88 回日本泌尿器科学会東部総会; 20231006; 札幌.

小島祥敬. Academic physician の育成のあり方. 第 88 回日本泌尿器科学会東部総会; 20231006; 札幌.

高橋和弘, 城寶大輝, 西嶋剣一, 鷲山幸信, 右近直之, 趙松吉, 下山彩希, 志賀哲, 織内昇, 東達也, 上原知也, 小島祥敬, 鈴木義行, 伊藤浩, 山下俊一. 特別企画ワークショップ Theranostics への期待—日本国内での普及を目指して— 薬剤合成から見た Theranostics の魅力. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

小島祥敬. Q&A Session. ベオーバ発売 5 周年講演会 in 大阪; 20231209; 大阪.

耳鼻咽喉科学講座

論文

〔原著〕

Imaizumi M, Suyama K, Goto A, Hosoya M, Murono S. Flowchart for selecting an appropriate surgical airway in neurologically impaired pediatric intubated patients: a case series. *Brazilian Journal of Otorhinolaryngology*. 202309; 89(5): 101290.

Imaizumi M, Murono S. Will levels of experience of examiners affect the diet provided for patients with swallowing impairment? *Auris Nasus Larynx*. 202310; 50(5): 765-769.

斎藤友紀子, 松見文晶, 三ッ井瑞季, 室野重之. 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に起因した眼窩内腫瘍の1例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202310; 95(11): 949-954.

池田雅一, 菅野千敬, 早川貴司, 林仁美, 室野重之. 耳鼻咽喉科疾患における経腸栄養プロトコル導入の経験. 頭頸部外科. 202310; 33(2): 169-175.

〔総説等〕

Yoshie S, Murono S, Hazama A. Approach for elucidating the molecular mechanism of epithelial to mesenchymal transition in fibrosis of asthmatic airway remodeling focusing on Cl⁻channels. *International Journal of Molecular Sciences*. 202312; 25(1): 289.

室野重之. <喉頭乳頭腫>喉頭乳頭腫の薬物治療. 喉頭. 202306; 35(1): 15-18.

今泉光雅. <高齢者の疑問にどう答えるか>喉頭・気管・嚥下領域 家庭でできる嚥下機能の評価方法がありますか? *JOHNS*. 202309; 39(9): 1139-1143.

室野重之. <Clinical Academic Topics>地域におけるスギ花粉飛散予測モデル: 福島市の例. アレルギーの臨床. 202312; 43(14): 1117-1120.

〔症例報告〕

Yamakuni R, Sekino H, Ikeda Masakazu, Endo Y, Ikeda M, Ishii S, Fukushima K, Murono S, Suzuki Y, Ito H. Complete response of glottic cancer to intra-arterial infusion chemotherapy combined with radiotherapy: A report of 4 cases. *Radiology Case Reports*. 202310; 18(12): 4514-4521.

鈴木聡崇, 室野重之. 両側扁桃周囲膿瘍を合併した伝染性単核球症の1例. 口腔・咽頭科. 202306; 36(2): 218-221.

〔その他〕

室野重之. 【研修ノート】 ウイルス抗体価検査を活用する Utilize Viral Antibody Test. 耳鼻咽喉科臨床. 202301; 116(1): 94-95.

今泉光雅. 誤嚥診断、AI が支援. 福島民友（新聞）. 20230622.

今泉光雅. 嚥下障害診断 AI が補助. 福島民報（新聞）. 20230622.

室野重之. 頭頸部がん早期発見を. 福島民報（新聞）. 20230622.

鈴木雪恵. 【病院の実力〜福島編 186】 難聴・耳鳴り. 読売新聞. 20231123.

書籍等出版物

室野重之. 4 抗ウイルス薬 <Advice> ヒトパピローマウイルスに対するワクチンと治療薬. In: 大森孝一 総編集, 藤枝重治 専門編集. 耳鼻咽喉科薬物治療ベッドサイドガイド（プラクティス耳鼻咽喉科の臨床 3）. 東京: 中山書店; 202302. p.71-74.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Imaizumi M, Weng W, Zhu X, Murono S. Effectiveness of flexible endoscopic evaluation of swallowing with artificial intelligence-assisted computer-aided diagnosis or analysis and evaluation of fiberoptic endoscopic images during swallowing using artificial intelligence. American Broncho-Esophagological Association-COSM Combined Otolaryngology Spring Meetings 2023; 20230504-06; Boston, USA.

斎藤杏, 池田雅一, 川瀬友貴, 橋本千織, 室野重之. 喉頭原発 neuroendocrine carcinoma の一例. 第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20230119-20; 金沢. プログラム・予稿集. 185.

池田雅一, 室野重之. 耳鼻咽喉科疾患におけるフローチャートを用いた経腸栄養プロトコル導入の経験と有効性の検証. 第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20230119-20; 金沢. プログラム・予稿集. 190.

鈴木政博, 池田雅一, 川瀬友貴, 室野重之. 顎下腺腫瘍の良悪性鑑別における術中迅速診断の有用性について. 第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20230119-20; 金沢. プログラム・予稿集. 211.

佐藤純一, 池田雅一, 川瀬友貴, 橋本千織, 室野重之. 当科における経口腔的咽喉頭癌切除術の検討. 第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20230119-20; 金沢. プログラム・予稿集. 237.

橋本千織, 川瀬友貴, 池田雅一, 仲江川雄太, 室野重之. 化学放射線療法を行った下咽頭癌症例に生じた腸管

気腫症. 第 32 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会; 20230119-20; 金沢. プログラム・予稿集. 248.

今泉光雅, 大森孝一, 室野重之. 嚥下スクリーニング質問紙の最適化の試み: 福島で実施された誤嚥検診で得られた結果より. 第 46 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会; 20230303-04; 名古屋. プログラム・抄録集. 108.

鹿野真人. 輪状軟骨鉗除を併用する声門閉鎖術の術式の変遷. 第 46 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会; 20230303-04; 名古屋. プログラム・抄録集. 123.

今泉光雅, 室野重之. 嚥下内視鏡検査における AI を用いたコンピュータ支援検出/診断システム (AI-CAD) の開発. 第 35 回日本喉頭科学会総会・学術講演会; 20230309-10; 京都. プログラム・予稿集. 101.

坂本理恵, 垣野内景, 川瀬友貴, 室野重之. 当科における過去 15 年間の義歯異物症例についての検討. 第 143 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20230326; 福島. 抄録. 2.

佐藤和則, 佐藤聡, 國井美羽, 鈴木政博. 喉頭気管分離と TE シャントを併用した ALS 症例. 第 143 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20230326; 福島. 抄録. 2.

角田結衣, 佐藤廣仁, 佐藤純一, 橋本千織, 尾股千里, 垣野内景, 野本美香, 室野重之. 篩骨洞神経鞘腫の 1 症例. 第 143 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20230326; 福島. 抄録. 3.

三ッ井瑞季, 佐藤聡, 佐久間琴子, 國井美羽, 鈴木政博. 下咽頭 Spindle cell carcinoma の 1 例. 第 143 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20230326; 福島. 抄録. 3.

室野重之, 垣野内景. 福島市におけるスギ花粉飛散予測モデルの改良. 第 3 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会総会・学術講演会; 20230413-15; 和歌山. プログラム・抄録集. 211.

垣野内景, 室野重之. 当院における最近 10 年の耳鼻咽喉科頭頸部外科領域における異物症の臨床的検討. 第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会; 20230517-20; 福岡. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 126(4):595.

室野重之, 鈴木聡崇, 橋本穂奈美, 工藤美菜, 斎藤杏, 坂本理恵, 佐藤純一, 角田結衣, 尾股千里, 佐藤廣仁. シェーグレン症候群における口唇腺組織障害所見と血清学的検査. 第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会; 20230517-20; 福岡. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 126(4):603.

川瀬友貴, 池田雅一, 角田結衣, 工藤美菜, 橋本穂奈美, 斎藤友紀子, 室野重之. 当科における上咽頭癌症例の治療成績. 第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会; 20230517-20; 福岡. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 126(4):631.

今泉光雅 (代理発表: 藤井正純). 聴神経腫瘍が原因の重度難聴に対する人工聴覚器を用いた聴覚再建の妥当性. 第 32 回日本聴神経腫瘍研究会; 20230603; 豊中.

菊地大介, 今泉光雅, 尾股千里, 室野重之. 人工内耳埋込術を施行した脳表ヘモジデリン沈着症の 1 例. 第 85 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会; 20230624-25; 東京.

工藤美菜, 橋本千織, 垣野内景, 尾股千里, 佐藤廣仁, 野本美香, 室野重之. 鼻性眼窩内合併症を両側に来した MRONJ に対し内視鏡下鼻副鼻腔手術を行った一例. 第 71 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20230715-16; 仙台.

山田達也, 尾股千里, 池田雅一, 室野重之. CT が診断・治療に有用であると考えられた小児喉頭異物の一例. 第 71 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20230715-16; 仙台.

今泉光雅. 【福島県の耳鼻咽喉科医療最前線】福島医大での耳科診療・研究に関する取り組み. 第 30 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20230902; 郡山.

坂本理恵, 垣野内景, 室野重之. 当科における過去 15 年間の義歯異物症例についての検討. 第 36 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会; 20230914-15; 高知. 口腔・咽頭科. 36(3):309.

室野重之. 口腔癌のセンチネルリンパ節における FOXP3 陽性細胞の検討. 第 36 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会; 20230914-15; 高知. 口腔・咽頭科. 36(3):336.

垣野内景, 室野重之. 下咽頭梨状陥凹瘻に対して経口腔的焼灼術を行った 3 例. 第 36 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会; 20230914-15; 高知. 口腔・咽頭科. 36(3):345.

橋本千織, 野本美香, 尾股千里, 垣野内景, 佐藤廣仁, 室野重之. 鼻性眼窩内合併症を両側にきたした MRONJ に対し内視鏡下鼻副鼻腔手術を行った一例. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20230928-30; 津. 抄録集. 37.

中村陽祐, 竹内裕美, 大木幹文, 野本美香, 竹野幸夫, 片田彰博, 内藤健晴, 竹内万彦, 加瀬康弘, 松根彰志, 福島慶, 原浩貴, 中田誠一, 中島逸男, 千葉伸太郎, 鈴木久美子, 飯村慈朗, 岡野光博, 中森基貴, 藤原和典. 音響鼻腔計測検査の日本人基準値を策定するための多施設共同研究—第 2 報—. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20230928-30; 津. 抄録集. 115.

佐藤廣仁, 野本美香, 尾股千里, 橋本千織, 室野重之. 鼻副鼻腔神経鞘腫の 3 症例. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20230928-30; 津. 抄録集. 117.

野本美香, 佐藤廣仁, 尾股千里, 橋本千織, 室野重之. 当科におけるオスラー病患者の検討. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20230928-30; 津. 抄録集. 137.

今泉光雅, 室野重之. 聴神経腫瘍が原因の重度難聴に対する人工聴覚器を用いた聴覚再建の妥当性. 第 68 回日本音声言語医学会総会・学術講演会; 20231005-06; 倉敷. プログラム・予稿集. 72.

菊地大介, 今泉光雅, 室野重之. 脳表へモジゲリン沈着症に対して人工内耳埋込術を施行した 1 例. 第 68 回日本聴覚医学会総会・学術講演会; 20231011-13; 千葉. Audiology Japan. 66(5):336.

鈴木雪恵, 今泉光雅, 鈴木輝久, 馬場陽子, 菊地大介, 山田奈保子, 原田綾, 小川洋. 福島県総合療育センターにおいて、補聴器の装用指導を行った一側難聴 61 例の検討. 第 68 回日本聴覚医学会総会・学術講演会; 20231011-13; 千葉. Audiology Japan. 66(5):397.

久保田 叡, 池田雅一, 川瀬友貴, 斎藤友紀子, 室野重之. 北日本 13 施設における多形腺腫由来癌 82 症例の検討. 第 27 回北日本頭頸部癌治療研究会; 20231014; 仙台. 抄録集. 13.

今泉光雅, 菊地大介, 尾股千里, 室野重之, 大石直樹, 武田英彦, 南修司郎, 山内大輔. 多施設共同研究による聴神経腫瘍が原因の重度難聴に対する人工聴覚器を用いた聴覚再建の有効性調査. 第 33 回日本耳科学会総会・学術講演会; 20231101-04; 高崎. 抄録集. 144.

尾股千里, 今泉光雅, 鈴木聡崇, 菊地大介, 室野重之. 脳神経外科と共同して決定する, 頭蓋底骨破壊を伴う中耳病変への治療方針. 第 33 回日本耳科学会総会・学術講演会; 20231101-04; 高崎. 抄録集. 180.

鈴木聡崇, 今泉光雅, 菊地大介, 尾股千里, 室野重之. 人工内耳埋め込み術における蝸牛長測定を用いた個別化医療の試み. 第 33 回日本耳科学会総会・学術講演会; 20231101-04; 高崎. 抄録集. 372.

室野重之. 福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み. 第 5 回日本アレルギー学会東北地方会; 20231125; 仙台.

川瀬友貴, 斎藤友紀子, 久保田 叡, 佐久間琴子, 山田達也, 室野重之. 当科で経験した喉頭外傷の一例. 第 145 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20231126; 福島. 抄録. 2-3.

佐久間琴子, 池田雅一, 川瀬友貴, 斎藤友紀子, ミツ井瑞季, 室野重之. 左鼻腔原発の NUT carcinoma の一例. 第 145 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20231126; 福島. 抄録. 2-3.

角田結衣, 橋本穂奈美, 佐藤聡, 國井美羽, 鈴木政博. 転移病変の皮膚浸潤に対して紫雲膏・亜鉛華デンプン・メトロニダゾール療法を行った 1 症例. 第 145 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20231126; 福島. 抄録. 3.

〔シンポジウム〕

池田雅一. シンポジウム 2 局所進行口腔癌に対する新規治療戦略 舌癌に対する術前超選択的動注化学療法の治療効果. 第 47 回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会; 20230615-16; 大阪. 頭頸部癌. 49(2):54.

室野重之. パネルディスカッション 1 どうする！音声外科手術. 第 68 回日本音声言語医学会総会・学術講演会; 20231005-06; 倉敷.

〔招待講演〕

池田雅一, 菅野千敬, 早川貴司, 林仁美, 室野重之. 耳鼻咽喉科疾患におけるフローチャートを用いた経腸栄養プロトコル導入の経験と有効性の検証. 経腸栄養に関する勉強会; 20230417; 福島.

室野重之. 講演 「とうけいぶがん」って？ 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会頭頸部外科月間市民公開講座; 20230702; 福島.

池田雅一. 講演 「のど」にできるがん. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会頭頸部外科月間市民講座; 20230702; 福島.

菊地大介, 室野重之. リサーチフォーラム 喉頭乳頭腫におけるうがい液での HPV DNA 検出. 第 71 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20230715-16; 仙台.

室野重之. 講演 耳鼻咽喉科 診察のピットフォールとこれから. 福島赤十字病院研修医レクチャー; 20230828; 福島.

今泉光雅, 室野重之. 主要関連セッション 4 嚥下内視鏡検査における AI を用いたコンピュータ支援検出システム (AI-CAD) の有効性. 第 74 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20231114-15; 福岡.

多田靖宏. 領域講習 6 気管・食道の異物～診断から摘出まで～ (1)診断ならびに摘出の基本. 第 37 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会; 20231118-19; 横浜. テキスト. 40-44.

鹿野真人. 実技講習 14 嚥下障害の診断とリハビリテーション. 第 37 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会; 20231118-19; 横浜. テキスト. 158-160.

今泉光雅. 専攻医実技講習 2/4 嚥下機能検査(1)(2). 第 37 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会; 20231118-19; 横浜. テキスト. 247-249.

池田雅一. ランチョンセミナー 急性期の栄養管理. 第 7 回東北 NP 研究会学術集会; 20231202; 仙台.

今泉光雅. 意外と知らない嚥下障害について. 県立医大公開講座; 20231215; 福島.

〔その他〕

佐藤廣仁. 花粉症について. ラジオ福島 お母さん教室～ラジオドクター～; 20230317; 福島.

鈴木聡明. ヒトおよびモルモット側頭骨組織病理供覧ならびにインタラクティブ・レクチャー. 第 33 回日本耳科学会総会・学術講演会; 20231102; 高崎.

神経精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Hoshino H, Shiga T, Mori Y, Nozaki M, Kanno K, Osakabe Y, Ochiai H, Wada T, Hikita M, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Effect of the Temporal Window of Integration of Speech Sound on Mismatch Negativity. Clinical EEG and Neuroscience. 202311; 54(6):620-627.

Nakatani-Enomoto S, Hanajima R, Hamada M, Matsumoto H, Terao Y, Jun Groiss S, Murakami T, Abe M, Enomoto H, Kawai K, Kan R, Niwa SI, Yabe H, Ugawa Y. Quadripulse transcranial magnetic stimulation inducing long-term depression in healthy subjects may increase seizure risk in some patients with intractable epilepsy. *Clinical Neurophysiology Practice*. 202307; 8:137-142.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Miura I, Horikoshi S, Ichinose M, Suzuki Y, Watanabe K. Lurasidone for the Treatment of Schizophrenia: Design, Development, and Place in Therapy. *Drug Design, Development and Therapy*. 202309; 17: 3023-3031.

Ohnishi T, Toda W, Itagaki S, Sato A, Matsumoto J, Ito H, Ishii S, Miura I, Yabe H. Disrupted structural connectivity and less efficient network system in patients with the treatment-naïve adult attention-deficit/hyperactivity disorder. *Frontiers in Psychiatry*. 202305; 14:1093522.

Miyahara K, Hino M, Yu Z, Ono C, Nagaoka A, Hatano M, Shishido R, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. The influence of tissue pH and RNA integrity number on gene expression of human postmortem brain. *Frontiers in Psychiatry*. 202307; 14:1156524.

Shishido R, Kunii Y, Hino M, Izumi R, Nagaoka A, Hayashi H, Kakita A, Tomita H, Yabe H. Evidence for increased DNA damage repair in the postmortem brain of the high stress-response group of schizophrenia. *Frontiers in Psychiatry*. 202308; 14:1183696.

Sato A, Itagaki S, Matsumoto T, Ise Y, Yokokura S, Wada T, Hayashi K, Kakamu T, Fukushima T, Nikaido T, Konno S, Yabe H. Prediction of the prognosis of somatoform disorders using the Minnesota Multiphasic Personality Inventory. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):105-113.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Post-evacuation return of psychiatric hospital inpatients evacuated to hospitals outside the Fukushima prefecture after the nuclear accident: A Retrospective Cohort Study. *International Journal of Social Psychiatry*. 202306; 69(4):875-884.

Horikoshi S, Miura I, Suzuki Y, Kobayashi Y, Hirata Y, Goto M, Ichinose M, Yamamoto S, Kanno-Nozaki K, Watanabe K, Yabe H. Switching to lemborexant for the management of insomnia in mental disorders: the SLIM study. *Journal of Clinical Sleep Medicine*. 202310; 19(10):1753-1758.

Hirai S, Sakuma A, Kunii Y, Shimbo H, Hino M, Izumi R, Nagaoka A, Yabe H, Kojima R, Seki E, Arai N, Komori T, Okado H. Disease specific brain capillary angiopathy in schizophrenia, bipolar disorder, and Alzheimer's disease. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:74-79.

Fukasawa M, Nishi D, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Effects of disaster-related traumatic events on worry about radiation and COVID-19: A decade after the Fukushima nuclear power plant accident. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:135-141.

Miyahara K, Hino M, Shishido R, Izumi R, Nagaoka A, Hayashi H, Kakita A, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. Ethnicity-dependent effect of rs1799971 polymorphism on OPRM1 expression in the postmortem brain and responsiveness to antipsychotics. *Journal of Psychiatric Research*. 202310; 166:10-16.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Arihisa W, Kondo T, Yamaguchi K, Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Akatsu H, Hino M, Hashizume Y, Sato S, Sato S, Niwa SI, Yabe H, Sasaki T, Shigenobu S, Setou M. Lipid-correlated alterations in the transcriptome are enriched in several specific pathways in the postmortem prefrontal cortex of Japanese patients with schizophrenia. *Neuropsychopharmacology Reports*. 202309; 43(3):403-413.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Mori Y. Adverse effects of cytochrome P450 induction by amenamevir in an elderly man with herpes zoster. *Psychogeriatrics*. 202301; 23(1):206-207.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 202304; 254:40-41.

Fujii S, Kunii Y, Nonaka S, Hamaie Y, Hino M, Egawa S, Kuriyama S, Tomita H. Real-Time Prediction of Medical Demand and Mental Health Status in Ukraine under Russian Invasion Using Tweet Analysis. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202302; 259(3):177-188.

Miyahara K, Hino M, Shishido R, Nagaoka A, Izumi R, Hayashi H, Kakita A, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. Identification of schizophrenia symptom-related gene modules by postmortem brain transcriptome analysis. *Translational Psychiatry*. 202305; 13(1):144.

星野大, 荒川英香, 錫谷研, 板垣俊太郎, 矢部博興. 【MMN】ミスマッチ陰性電位における周波数変化の検出について. 臨床神経生理学. 202306; 51(3):135-137.

志賀哲也, 三浦至, 矢部博興. 【MMN】ミスマッチ陰性電位によるシナプス可塑性の定量的観察と臨床治療評価. 臨床神経生理学. 202306; 51(3):138-142.

〔その他〕

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響 福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202302; 33(Suppl.1):141.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連 横断研究 福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202302; 33(Suppl.1):172.

放射線医学講座

論 文

〔原 著〕

Yamakuni R, Seino S, Ishii S, Ishikawa H, Kikori K, Ando T, Kakamu T, Fukushima K, Otani K, Ito H. Lumbar intradural space reduction during the Valsalva maneuver observed using cine MRI and MR myelography: a single-case experimental study. Acta Neurochirurgica. 202308; 165(8):2111-2120.

Hotsumi H, Ishii S, Suenaga H, Sugawara S, Fukushima K, Ito H. Investigation of tumor assessment between two PET systems using various indices: comparison between PET/CT and PET/MRI systems. American Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging. 202308; 13(4):156-163.

Nagao M, Kawakubo M, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Fukushima K, Sakai A, Momose M, Sakai S. Myocardial Strain Derived from ^{13}N -ammonia Positron Emission Tomography: Detection of Ischemia-Related Wall Motion Abnormality. Annals of Nuclear Cardiology. 2023; 9(1):26-32.

Kaimoto Y, Fukushima K, Kanaya K, Asanuma M, Aoba K, Yamamoto A, Nakao R, Kaneko K, Nagao M, Chida K. Optimization of Intraventricular Radioactive Concentration for ^{13}N ammonia PET with Time-of-Flight Scanner: Simplified Phantom Study with Noise Equivalent Count Rate Analysis. Annals of Nuclear Cardiology. 2023; 9(1):33-39.

Yamane T, Matsusaka Y, Fukushima K, Seto A, Matsunari I, Kuji I. Quantification of bone metabolic activity

in the natural course of fractural lesions measured by quantitative SPECT/CT. *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine & Biology*. 2023; 11(1):30-36.

Eiro T, Miyazaki T, Hatano M, Nakajima W, Arisawa T, Takada Y, Kimura K, Sano A, Nakano K, Mihara T, Takayama Y, Ikegaya N, Iwasaki M, Hishimoto A, Noda Y, Miyazaki T, Uchida H, Tani H, Nagai N, Koizumi T, Nakajima S, Mimura M, Matsuda N, Kanai K, Takahashi K, Ito H, Hirano Y, Kimura Y, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi T. Dynamics of AMPA receptors regulate epileptogenesis in patients with epilepsy. *Cell Reports. Medicine*. 202305; 4(5):101020.

Matsuo K, Fukushima K, Abe T, Saito S, Kato S, Arai T, Nakano S. Progression of coronary artery calcification after radiation therapy for esophageal cancer. *Coronary Artery Disease*. 202309; 34(6):453-461.

Sekino H, Ishii S, Yamakuni R, Suenaga H, Kuroiwa D, Fukushima K, Ito H. Conventional versus aspiration-type needles in CT-guided biopsy for chest pathologies/lesions: A comparative study. *Current Medical Imaging*. 20230518; doi: 10.2174/1573405620666230518143323.

Ohnishi T, Toda W, Itagaki S, Sato A, Matsumoto J, Ito H, Ishii S, Miura I, Yabe H. Disrupted structural connectivity and less efficient network system in patients with the treatment-naïve adult attention-deficit/hyperactivity disorder. *Frontiers in Psychiatry*. 202303; 14:1093522.

Matsuoka T, Narumoto J, Morii-Kitani F, Niwa F, Mizuno T, Abe M, Takano H, Wakasugi N, Shima A, Sawamoto N, Ito H, Toda W, Hanakawa T; Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative. Contribution of amyloid and putative Lewy body pathologies in neuropsychiatric symptoms. *International Journal of Geriatric Psychiatry*. 202309; 38(9):e5993.

Kohsaka S, Ejiri K, Takagi H, Watanabe I, Gatate Y, Fukushima K, Nakano S, Hirai T. Diagnostic and Therapeutic Strategies for Stable Coronary Artery Disease Following the ISCHEMIA Trial. *JACC. Asia*. 202302; 3(1):15-30.

Yamakuni R, Sekino H, Saito M, Kakamu T, Takahashi K, Hara J, Suenaga H, Ishii S, Fukushima K, Ito H. Prediction of Anemia From Cerebral Venous Sinus Attenuation on Deep-Learning Reconstructed Brain Computed Tomography Images. *Journal of Computer Assisted Tomography*. 202309; 47(5):796-805.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of left ventricular mechanical dyssynchrony using integrated (13)N-ammonia PETMR system: direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking. *Journal of Nuclear Cardiology*. 202310; 30(5):1947-1958.

Ito H, Ibaraki M, Yamakuni R, Hakozaki M, Ukon N, Ishii S, Fukushima K, Kubo H, Takahashi K. Oxygen extraction fraction is not uniform in human brain: a positron emission tomography study. *Journal of Physiological Sciences*. 202310; 73(1):25.

Yamakuni R, Ishii S, Kakamu T, Ishikawa H, Sekino H, Seino S, Fukushima K, Otani K, Ito H. Relationship between lumbar spinal stenosis and cauda equina movement during the Valsalva maneuver. *Skeletal*

Radiology. 202307; 52(7):1349-1358.

過年業績

Sonobe T, Hakozaki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. Experimental and Therapeutic Medicine. 2022211; 25(1):23.

〔総説等〕

Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Comprehensive assessment of molecular function, tissue characterization, and hemodynamic performance by non-invasive hybrid imaging: Potential role of cardiac PETMR. Journal of Cardiology. 202310; 82(4):286-292.

〔症例報告〕

Yamakuni R, Ishii S, Yamada S, Hara J, Suenaga H, Sugawara S, Sekino H, Yamaki T, Ishida K, Hashimoto Y, Ito H. Different prognostic outcomes in two cases of FDG-PET/CT-Positive and -negative cardiac angiosarcoma. Fukushima Journal of Medical Science. 202304; 69(1):45-49.

Yamakuni R, Sekino H, Ikeda M, Endo Y, Ikeda M, Ishii S, Fukushima K, Murono S, Suzuki Y, Ito H. Complete response of glottic cancer to intra-arterial infusion chemotherapy combined with radiotherapy: A report of 4 cases. Radiology Case Reports. 202310; 18(12):4514-4521.

〔その他〕

喜古崇豊, 片平正隆, 遠藤圭一郎, 山國遼, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 【Precision Medicine 時代の Cardiac Imaging 2023 前編: CTXA,核医学】核医学 循環器画像診断における技術と臨床の Cutting edge 核医学装置の技術革新がもたらす循環器画像診断の Cutting edge PET/MRI による循環器画像診断の現状と将来展望. INNERVISION. 202302; 38(3):54-57.

片平正隆, 喜古崇豊, 福島賢慈, 遠藤圭一郎, 河窪正照, 山國遼, 右近直之, 長尾充展, 伊藤浩, 竹石恭知. Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討. 日本心臓核医学会ニュースレター. 202305; 25(2):72.

福島賢慈. 第14回 何としても読んでもらいたい あの論文、この論文 「心筋 SPECT で同定困難なバランス型虚血の実臨床での頻度と特徴とは?」. 臨床画像. 202309; 39(9):1090-1091.

書籍等出版物

Fukushima K, Nagao M. Software-based analysis for computed tomography coronary angiography: current status and future aspects. In: Ayman S. El-Baz, Jasjit S. Suri. Cardiovascular and Coronary Artery Imaging Volume 2. London: Academic Press; 2023. p.81-100.

中埜信太郎, 香坂俊, 福島賢慈, 南野徹, 他. 急性・慢性冠動脈疾患の診療ガイドラインを実臨床で使いこなすための一冊: 公式ガイドブック. 東京: ライフサイエンス出版; 202306.

池野祐介, 森下勝, 福島賢慈, 馬場康貴. 先天性心疾患 CT (小児). In: 栗井和夫 監修. CT 縦横無尽. 東京: メジカルビュー社; 202310. p.150-156.

書上誠, 森下勝, 福島賢慈, 馬場康貴. 先天性心疾患 CT (成人). In: 栗井和夫 監修. CT 縦横無尽. 東京: メジカルビュー社; 202310. p.157-162.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Discrepancy of Stress-Induced Left Ventricular Dilation Between Positron Emission Tomography and Cardiac Magnetic Resonance in Patients with Coronary Artery Disease -Simultaneous assessment using integrated PETMR system-. Annual Meeting 2023: Society of Nuclear Medicine; 20230624-27; Chicago, USA.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Novel analysis for endocardial wall strain with N-13 ammonia PET feature tracking -Comparison with CMR-feature tracking using integrated PETMR system-. Annual Meeting 2023: Society of Nuclear Medicine; 20230624-27; Chicago, USA.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Clinical Usefulness of Myocardial Wall Strain Analysis by PET Feature Tracking: Direct Comparison With Conventional Tagging-Cine Image Using PETMR System. American Society of Nuclear Cardiology 2023 Annual Meeting; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous Assessment of Coronary Sinus Flow and Myocardial Flow Reserve Under Pharmacological Stress Using Hybrid 13N-ammonia PETMR System in Patients with Ischemic Heart Disease. American Society of Nuclear Cardiology 2023 Annual Meeting; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Endo K, Katahira M, Kiko T, Yamakuni R, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous Analysis of Myocardial Flow Reserve and Intra-Ventricular 4D Flow Using Hybrid 13N-ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging in Patients With Coronary Artery Disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. The Association Between Insufficient Valve Expansion and Aortic Valve Calcification for Transcatheter Valve Implantation With Self-Expandable Valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia,

USA.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yamakuni R, Ishii S, Yoshihisa A, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Usefulness of MR-Derived Left Ventricular Global Longitudinal Strain and Left Atrial Strain to Predict Cardiovascular Events in Patients With HFpEF. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA.

関野啓史, 黒岩大地, 石井士郎, 伊藤浩, 井上政則. wide neck の総肝動脈瘤に対してカバードステントで治療した1例. 第31回福島県IVR研究会; 20230121; 福島.

山國遼, 清野真也, 関野啓史, 佐藤佑樹, 石川寛延, 樵勝幸, 原純子, 末永博紀, 石井士郎, 福島賢慈, 伊藤浩. FIESTA Cine MRI によるバルサルバ負荷時の腰椎椎骨静脈叢拡張の観察. 第52回日本神経放射線学会; 20230216-18; 東京.

Endo K, Katahira M, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic Value of Simultaneous Analysis with Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain by ^{13}N -ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Fukushima K, Takeishi Y. Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Katahira M, Fukushima K, Takeishi Y. Usefulness of Right Ventricular Longitudinal Strain and Left Atrial Strain to predict Cardiovascular Events in Patients With Heart Failure. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12 福岡.

山本篤志, 長尾充展, 河窪正照, 安藤聖恵, 中尾梨沙子, 坂井晶子, 百瀬満, 福島賢慈. Risk Stratification in Coronary Artery Disease Using Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain Derived from Semiconductor NH_3 -PET. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 清水竹史, 右近直之, 石井士郎, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MRI を用いた心筋血流予備能と 4D flow による左室内血流解析の検討. 第33回日本心臓核医学会総会・学術集会; 20230623-24; 長崎.

片平正隆, 喜古崇豊, 福島賢慈, 遠藤圭一郎, 河窪正照, 山國遼, 清水竹史, 右近直之, 長尾充展, 伊藤浩, 竹石恭知. Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討. 第33回日本心臓核医学会総会・学術集会; 20230623-24; 長崎.

末永博紀, 菅原茂耕, 大戸実, 右近直之, 石井士郎, 織内昇, 伊藤浩, 鈴木義行. 査定、及びPET検査数減少に対する当院の取り組みについて. PET サマーセミナー2023; 20230825-27; 成田.

妹尾大樹, 福島賢慈. 健常ボランティアにおける右室機能と右室内血流動態正常値の検討. 第51回日本磁気共鳴医学会大会; 20230922; 軽井沢町.

末永博紀, 石井士朗, 渡邊宏剛, 山國遼, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 福島賢慈, 志賀哲, 織内昇, 伊藤浩. GI-BONE を用いた SPECT 単体機における正常骨・転移骨集積の定量評価. 第 51 回断層映像研究会; 20231006-07; 名古屋.

石井三千花, 福島賢慈, 片平正隆, 西浦司人, 山國遼, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 伊藤浩, 竹石恭知. 冠動脈 CT とアンモニア PETMR で評価し得た重症冠動脈病変を有する若年線維筋性異形成の一例. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MR を用いた拡張期心室内血流 Energy 効率と心筋血流予備能の同時評価の有用性の検討. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

福島賢慈, 末永博紀, 石井士朗, 原純子, 山國遼, 長谷川靖, 菅原茂耕, 関野啓史, 伊藤浩. トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対する 3 検出器型 SPECT 単体機を用いた心筋ピロリン酸 SPECT 集積定量化の試み. 第 94 回日本核医学会北日本地方会; 20231021; 仙台.

福島賢慈, 末永博紀, 石井士朗, 原純子, 山國遼, 長谷川靖, 菅原茂耕, 関野啓史, 伊藤浩. トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対するピロリン酸シンチグラフィにおける心対側胸郭集積比基準の偽陽性に関する検討. 第 94 回日本核医学会北日本地方会; 20231021; 仙台.

伊藤浩, 茨木正信, 山國遼, 右近直之, 石井士朗, 福島賢慈, 久保均, 高橋和弘. O-15 標識ガス PET 検査における脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発. 第 66 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20231110-11; 福岡.

石井士朗. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA 腎摂取率測定法による GFR 値にヨード造影剤が与える影響と Cr を利用した推定 GFR 値との比較. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

伊藤浩, 茨木正信, 山國遼, 右近直之, 石井士朗, 福島賢慈, 久保均, 高橋和弘. O-15 標識ガス定常吸入法を用いた脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発—実測データによる検討—. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116-18; 大阪.

〔シンポジウム〕

福島賢慈. 2022 年 JCS ガイドライン フォーカスアップデート版 安定冠動脈疾患の診断と治療を考える. 第 33 回日本心血管画像動態学会; 20230113; 岡山.

福島賢慈. 「基礎心疾患と予後予測に迫る心筋イメージングの最前線」 SPECT 編. 第 33 回日本心血管画像動態学会; 20230113; 岡山.

福島賢慈. 核医学・分子イメージングを心筋症の診断・治療に活かす. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

〔特別講演〕

福島賢慈. 心臓核医学のイロハ. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; Web.

福島賢慈. 胸痛の画像診断—マルチモダリティ評価—. 第5回福島救急画像診断研究会; 20230421; 福島.

福島賢慈. 心筋血流 PET 新展開：新たな虚血指標の模索. 第34回福島県臨床画像研究会; 20230602; Web.

福島賢慈. 心アミロイドーシスの核医学診断：Tips & Pitfalls. 東北イメージングフォーラム; 20230703; Web.

伊藤浩. アミロイド PET の臨床と撮像施設認証. 第59回ライラックカンファレンス; 20230707; Web.

福島賢慈. post ISCHEMIA / post focus update の心臓核医学とは？ 浜松心臓核医学セミナー; 20230905; Web.

福島賢慈. 虚血性心疾患の新たな指標の模索 心筋血流 PETMR. 第64回北日本核医学懇話会; 20231019; Web.

福島賢慈. 心臓 PETMR による解剖&機能画像診断の tips. 第70回北日本診断カンファレンス; 20231020; 仙台.

福島賢慈. 心アミロイドーシスの画像診断のピットフォール：核医学を中心に. 茨城県央・県北 心アミロイドーシス連携の会; 20231128; Web.

福島賢慈. post ISCHEMIA：心臓核医学の読影と解釈を見直す. 第61回名古屋心臓核医学研究会; 20231202; Web.

伊藤浩. アミロイド PET 検査—疾患修飾薬による治療に向けて—. 第12回鴨川 PET セミナー; 20231206; Web.

福島賢慈. ガイドライン・エビデンスに基づく心筋 SPECT のアセスメント：どうみるか？どう解釈するか？ 第30回郡山核医学研究会; 20231223; 郡山.

〔招待講演〕

福島賢慈. 心臓 PET à la carte. 九州・山口循環器画像研究会; 20230204; 福岡.

福島賢慈. (先入観・カテ所見にとらわれない、縛られない) Evidence Based の心筋シンチ読影. FRIENDS Live 2023; 20230303; Web.

福島賢慈. Nuclear Imaging for Cardiomyopathy. 第82回日本医学放射線学会総会; 20230413; 横浜.

福島賢慈. 循環器領域における近年の画像診断技術の進歩を診療に活かす PET/SPECT. 第82回日本医学放射線学会総会; 20230414; 横浜.

伊藤浩. PET 研修セミナー 指針と考え方2 PET 臨床研究の注意点. 第23回日本核医学会春季大会; 20230426-0601; Web.

福島賢慈. 心臓アミロイドーシスの画像診断：最新知見とピットフォール. 第33回日本心臓核医学会総会・学術集会; 20230623-24; 長崎.

福島賢慈. CardioREPO を real-world evidence で使うために. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116-18; 大

阪.

福島賢慈. 循環器診断における FDG-PET : 心サルコイドーシス. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116-18; 大阪.

〔その他〕

福島賢慈 (司会・症例読影). 日本心臓核医学会東北地域研修会; 20230128; Web.

石井士朗. 呼吸器核医学の基礎と臨床. 第 23 回日本核医学会春季大会; 20230426-0601; Web.

福島賢慈. 核医学指導者コースー心臓核医学における最近のトピック. 第 23 回日本核医学会春季大会; 20230426-0601; Web.

福島賢慈. 核医学専門医受講者コース シンチグラム読影の実際とコツ. 第 23 回日本核医学会春季大会; 20230426-0601; Web.

麻酔科学講座

論 文

〔原 著〕

Suzuki K, Yoshida K, Hakozaki T, Tanaka S, Inoue S. Successful management by employing situational extracorporeal membrane oxygenation strategies in a patient with acute type A aortic dissection: a case report. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 202308; 15:64.

Honda J, Tanaka S, Yoshida K, Inoue S. Abnormally low regional cerebral oxygen saturation after induction of anesthesia without neurological abnormality: A case report. Annals of Cardiac Anaesthesia. 202310; 26(4):442-445.

Honda J, Tanaka S, Hakozaki T, Inoue S. Airway distortion in mucopolysaccharidosis. Canadian Journal of Anaesthesia. 202312; 70(12):2004-2005.

Yoshida K, Hareyama I, Noji Y, Tanaka S, Watanabe K, Inoue S. The relationship between the orientation of the lateral decubitus position for spinal anesthesia and positioning pain in patients with a femoral neck fracture: randomized non-inferiority trial. JA Clinical Reports. 202301; 9(1):3.

Noji Y, Inoue S, Watanabe K. Bilateral clavipectoral fascial plane block in single-stage surgery for bilateral

midshaft clavicle fractures. *JA Clinical Reports*. 202304; 9(1):19.

Yoshizawa S, Nomoto Y, Nemoto C, Inoue S. A case of facial palsy after spinal surgery with prone positioning in a patient with achondroplasia. *JA Clinical Reports*. 202306; 9(1):35.

Yoshizawa S, Nemoto C, Inoue S. Cardiopulmonary arrest caused by airway obstruction due to acute transient thyroid swelling after fine-needle aspiration biopsy. *JA Clinical Reports*. 202307; 9(1):43.

Yoshida K, Sasaki R, Tanaka S, Inoue S. A case of markedly enlarged blood vessels in the intercostal and paravertebral spaces in a patient with severe liver failure. *JA Clinical Reports*. 202308; 9(1):51.

Araki H, Inoue S. Switching to remimazolam followed by flumazenil may be a promising combination for deep extubation. *JA Clinical Reports*. 202308; 9(1):52.

Hasegawa T, Iseki Y, Hosono A, Inoue S. The effect of unilateral chest drainage for transpulmonary pressure during mechanical ventilation. *JA Clinical Reports*. 202310; 9(1):72.

Kotani T, Inoue S, Ida M, Naito Y, Kawaguchi M. Association between delirium and grip strength in ICU patients for cardiac surgery (D-GRIP study). *JA Clinical Reports*. 202311; 9(1):81.

Hasegawa T, Yoshida K, Hakozaiki T, Inoue S. Severe pressure ulcer caused by an electrode belt for monitoring electrical impedance tomography in two patients in the prone position. *JA Clinical Reports*. 202311; 9(1):82.

Itakura Y, Hakozaiki T, Inoue S. Cardiac tamponade developing during Trousseau's syndrome with pulmonary embolism. *JA Clinical Reports*. 202312; 9(1):84.

Yoshida K, Nakano Y, Inoue S. Pitfalls of continuous drug administration methods in pediatric anesthesia to reduce medication errors. *JA Clinical Reports*. 202312; 9(1):90.

Yoshida K, Obara S, Inoue S. Analgesia nociception index and high frequency variability index: promising indicators of relative parasympathetic tone. *Journal of Anesthesia*. 202302; 37(1):130-137.

Kotani T, Ida M, Inoue S, Naito Y, Kawaguchi M. Association between Preoperative Hand Grip Strength and Postoperative Delirium after Cardiovascular Surgery: A Retrospective Study. *Journal of Clinical Medicine*. 202304; 12(7):2705.

Yoshida K, Tokimura S. To prevent accidental administration of disinfectants used for skin disinfection in epidural anesthesia. *Regional Anesthesia and Pain Medicine*. 202310; 48(10):533.

Sonobe S, Kitabatake M, Hara A, Konda M, Ouji-Sageshima N, Terada-Ikeda C, Furukawa R, Imakita N, Oda A, Takeda M, Takamura S, Inoue S, Kunkel SL, Kawaguchi M, Ito T. The critical role of the histone modification enzyme Setdb2 in the pathogenesis of acute respiratory distress syndrome. *Shock*. 202307; 60(1):137-145.

小原伸樹. 今日もほろ酔い悪魔の赤ワイン. Anet. 2023; 27(3):19.

高木麻美, 大石理江子, 多胡行揮, 堀本龍生, 小原伸樹, 村川雅洋, 井上聡己. 受動喫煙と術後合併症. 麻酔. 202310; 72(10):988-992.

小原伸樹. TIVA 実践の基礎知識. 臨床麻酔. 202301; 47(1):35-42.

黒澤伸. 【臨床麻酔誌上セミナー'23】周術期ストレスと免疫抑制の関係. 臨床麻酔. 202303; 47(臨増):243-254.

小原伸樹. レミマゾラムとプロポフォール併用の併用. 臨床麻酔. 202308; 47(8):963-967.

〔総説等〕

Obara S, Yoshida K, Inoue S. How obesity affects the disposition of intravenous anesthetics. Current Opinion in Anaesthesiology. 202308; 36(4):414-421.

〔症例報告〕

Kakinouchi K, Yoshida K, Hasegawa T, Yakushiji T, Inoue S. Bending the endotracheal tube into a U-shape for tracheal intubation. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 2023; 15:59.

Honda J, Hakozaiki T, Hasegawa T, Obara S, Inoue S. Use of intraoperative transesophageal echocardiography and epiaortic ultrasound to diagnose false lumen enlargement of chronic aortic dissection. Annals of Cardiac Anaesthesia. 202307; 26(3):333-335.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Kurosawa S, Inoue S. Marked improvement in severe postherpetic itching following an epidural block: a case report. JA Clinical Reports. 202305; 9(1):24.

Honda J, Itakura Y, Tanaka S, Inoue S. Successful use of an antithrombin for heparin resistance with andexanet alfa. JA Clinical Reports. 202305; 9(1):26.

Honda J, Murakawa M, Inoue S. Effect of averaging time and respiratory pause time on the measurement of acoustic respiration rate monitoring. JA Clinical Reports. 202309; 9(1):61.

Kuwana K, Kobayashi M, Inoue S. Failed ventilation via i-gel due to air leakage of the drainage port. JA Clinical Reports. 202309; 9(1):62.

Watanabe Y, Obara S, Inoue S. Total intravenous anesthesia management with simultaneous use of remimazolam and propofol: A case series of three patients. SAGE Open Medical Case Reports. 202310; 11:2050313X231204574.

本田潤, 箱崎貴大, 小原伸樹. 症例ライブラリー 術中の頻脈 気腹後の2症例. LiSA. 202305; 30(5):564-566.

野地善恵. 症例ライブラリー 術後の覚醒遅延 頸椎術後、血液検査で異常が見当たらないのになぜか覚醒しない. LiSA. 202306; 30(6):643-645.

桑名圭祐. 人工心肺離脱時に起きた低血圧. LiSA. 202310; 30(10):1037-1039.

小原伸樹. まとめ：事項心配離脱困難における病態のとらえ方. LiSA. 202310; 30(10):1048-1049.

Honda J, Hakozaki T, Obara S, Inoue S. Remimazolam anesthesia for off pump coronary artery bypass grafting and transfemoral transcatheter aortic valve implantation combined surgery in patients with angina pectoris with low flow, low gradient aortic stenosis. 日本臨床麻酔学会誌. 202309; 43(5):400-405.

小野直人, 本田潤, 井上聡己. 心拍動下冠動脈バイパス手術中にブローアからの二酸化炭素が原因の冠動脈塞栓が疑われた1症例. 臨床麻酔. 202304; 47(4):598-599.

〔研究報告書〕

Hakozaki T, Hasegawa T, Inoue S. Integrated Assessment of Discrepancy Between Tracheal Tube and Tube Exchanger as Advancement: A Manikin Simulation Study. Asian Journal of Anesthesiology. 202312; 61(4):169-175.

〔その他〕

Inoue S. Family reunion activity may be used as an alternative item for sexual activity in the Duke Activity Status Index. JA Clinical Reports. 202312; 9(1):87.

Yoshida K, Tanaka S, Watanabe K. Hanging-Drop Technique Is More Suitable for Epidural Space Confirmation in Patients With Subcutaneous Emphysema After Traumatic Multiple Rib Fractures. Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia. 202312; 37(12):2689-2690.

Honda J, Obara S, Inoue S. Obstacles to ultrasound-guided internal jugular vein central venous catheter insertion. Saudi Journal of Anaesthesia. 202307; 17(3):455-456.

井上聡己. PRAT2 透析患者の麻酔管理 19 透析患者の心臓手術. LiSA. 202309; 30(別冊'23 秋):149-154.

書籍等出版物

Kim TK, Obara S, Johnson KB. 4. Basic Pharmacologic Principles. In: Manuel C. Pardo. Miller's basics of anesthesia, 8th ed. Philadelphia: Elsevier; 2023. p.31-50.

井上聡己, 吉田圭佑. 第2章 高齢者消化器外科手術：各論 スタンダード 2.9 周術期の疼痛コントロール. In: 丸橋繁. 高齢者に対する消化器外科手術診療指針 2023. 東京：へるす出版; 202303. p.60-62.

小原伸樹. 28. 全静脈麻酔（TIVA）、鎮静（MAC）. In: 山蔭道明, 廣田和美. 麻酔科学レビュー：最新主要文献

とガイドラインでみる 2023. 東京: 総合医学社; 202305. p.164-168.

黒澤伸. 29. 手術室危機管理・安全対策. In: 山蔭道明, 廣田和美. 麻酔科学レビュー: 最新主要文献とガイドラインでみる 2023. 東京: 総合医学社; 202305. p.169-173.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

大石理江子, 小原伸樹, 中野裕子, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 臀部のトリガーポイント注射後に下肢の腫脹を認めた一例. 日本ペインクリニック学会第3回東北支部学術集会; 20230211; Web(福島). プログラム・抄録集. 19.

長谷川貴之, 吉田圭佑, 本田潤, 井石雄三, 箱崎貴大, 井上聡己. 輪状甲状間膜穿刺キットのスリップジョイントが気道抵抗に与える影響. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都/Web. プログラム・抄録集. 259.

本田潤, 長谷川貴之, 吉田圭佑, 井石雄三, 細野敦之, 箱崎貴大, 五十洲剛, 井上聡己. アルコール多飲による低カリウム・低マグネシウム血症から Torsade de pointes をきたした症例. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都/Web. プログラム・抄録集. 590.

細野敦之, 赤間優衣, 板倉佑弥, 遠藤秀時, 吉田圭佑, 井石雄三, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. 脳脊髄液漏出症に合併した慢性硬膜下血腫と脳ヘルニアにより集中治療を要した1例. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都/Web. プログラム・抄録集. 637.

大石理江子, 小原伸樹, 吉田圭佑, 黒澤伸, 井上聡己. 斜角筋間には高確率で動脈が存在する. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 107.

小原伸樹, 大石理江子, 黒澤伸, 井上聡己. 帯状疱疹に伴う強い痒みが硬膜外ブロックで著明に改善した一例. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 117.

鈴木郁華, 野地善恵. 硬膜外カテーテルからの局所麻酔薬投与後に痙攣を起こし、局所麻酔薬中毒が疑われた1例. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 119.

野地善恵. 両側鎖骨幹部骨折の左右同時手術における両側 clavipectoral fascial plane block の経験. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 130.

松本木綿子, 鈴木俊成, 小幡英章. 重症大動脈弁狭窄症と間質性肺炎合併患者の人工膝関節置換術を少量脊髄くも膜下硬膜外併用で管理した1例. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 148.

植村景子, 井上聡己, 山中浩太郎, 川口昌彦. superoxide rich 環境が superoxide dismutase 活性に与える影響.

日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

小野直人, 小原伸樹, 井上聡己. 気道管理時の個人用防護衣装および 10 分間の手術室密閉が、抜管直後の治療介入頻度や手術室在室時間に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

中野裕子, 笠原諭, 大石理江子, 小幡英章, 大谷晃司, 井上聡己. 整形外科慢性痛患者における ADHD スクリーニング陽性率は 40% と非常に高く、ADHD 陽性者では不安やうつ、破局的思考が有意に強かった. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

野地善恵, 村川雅洋, 吉田圭佑, 細野敦之, 小原伸樹, 井上聡己. ラットにおける局所麻酔薬同時投与の痙攣誘発閾値に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

長谷川貴之, 赤間優衣, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔科医の身長体重予測の検証: 経験豊富な麻酔科医は一目ただけ身長体重を的中できるのか. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

花山千恵, 大石理江子, 石堂瑛美, 小原伸樹, 井上聡己. 人工知能による超音波ガイド下末梢神経ブロックナビゲーションシステムの開発. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

晴山到, 吉田圭佑, 野地善恵, 田中詩織, 渡部和弘. 大腿骨頸部骨折患者における脊髄くも膜下麻酔時の側臥位の向きと痛みの関係ーランダム化非劣性試験ー. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

山崎由貴, 石堂瑛美, 大石理江子, 井上聡己. サージカルマスク、N95 マスク着用時における日本語音声聞き取り能力の比較. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

長谷川貴之, 吉田圭佑, 細野敦之, 箱崎貴大, 井上聡己. 肝移植後に脳出血を生じた症例. 日本集中治療医学会第 7 回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 32.

小原伸樹, 大石理江子, 中野裕子, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 超音波ガイド下坐骨神経ブロックが診断に有用であった坐骨神経近傍の嚢胞性病変の一例. 日本ペインクリニック学会第 57 回学術集会; 20230715; 佐賀. 日本ペインクリニック学会誌. 30(プログラム):328.

小林誠, 桑名圭祐, 黒澤伸, 井上聡己. インターサージカル i-gel® を使用した全身麻酔中に胃管孔から空気漏れが生じて換気不良となった 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 40.

齋藤宏樹, 土田英昭, 三部徳恵. i-gel は進行リウマチ性頸椎病変患者の気道確保に適していない. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 40.

最上翠, 根本千秋, 武藤茉莉子, 田中洋一. ダブルルーメンチューブでの挿管後、フィブリンによる声門下狭窄を来した一症例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 40.

郡司瑞樹, 吉田圭佑, 佐々木遼介, 田中詩織, 井上聡己. 重症肝不全患者において傍脊椎腔に著明な血管の拡大を認めた 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 42.

野地善恵, 白石太一, 渡部和弘. 脊髄くも膜下麻酔不成功後の腰神経叢ブロックによる局所麻酔中毒を疑った一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 42.

武藤茉莉子, 最上翠, 田中洋一, 根本千秋. ロクロニウムアレルギーとして紹介され、ブリックテストで判明したフェンタニルアレルギー: 症例報告. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 43.

秋山夏穂, 高木麻美, 長谷川貴之, 黒澤伸, 井上聡己. 全身麻酔後の経膈分娩再評価が有用と考えられた子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離症の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 44.

太田葵, 長谷川貴之, 黒澤伸, 井上聡己. 人工呼吸中の片側胸腔ドレナージが経肺圧に与える効果. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 45.

小野愛, 田中詩織, 吉田圭佑, 花山千恵, 井上聡己. 腰椎術後に Intramuscular quadratus lumborum block を施行し、疼痛コントロール良好であった一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 47.

安永天音, 小野内汐美, 大山清実広, 吉田圭佑, 岩淵雅洋, 伊関憲. 手術室の聴診器は本当にきれいな? 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 48.

廣澤茜, 高月沙織, 薬師寺たつみ, 吉田圭佑, 黒澤伸, 井上聡己. 上腸間膜動脈、腹腔動脈の malperfusion を伴う A 型大動脈解離に対して、上腸間膜動脈の血行再建を優先し、その後 Central repair を施行した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 49.

本田潤, 田中詩織, 長谷川貴之, 吉田圭佑, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔導入後に異常な cerebral oximetry の低下があったが、神経学的異常が認められなかった症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916; 奈良 /Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):235.

白石太一, 野地善恵, 井上聡己. 急性大動脈解離患者の心肺停止における胸骨圧迫の是非について. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230917; 奈良 /Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):192.

本田潤, 薬師寺たつみ, 小川美穂, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. アンデキサネットアルファによるヘパリン耐性に対し、ATⅢ製剤を使用することで ACT の延長が得られた症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230917; 奈良 /Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):268.

小原伸樹, 大石理江子, 黒澤伸, 井上聡己. Excel Visual Basic Editor で作成したプログラムによる手術室運用状況の可視化. 第 41 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会; 20231125; 奈良 /Web. プログラム・抄録集. 30.

西田美優子, 小原伸樹, 高月沙織, 中野裕子, 井上聡己. 皮膚デブリードマン施行後の体動時痛に対し、IV-PCA 装置による鎮痛薬の先行投与が離床に寄与した 1 例. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会; 20231208; 宮崎. 日本臨床麻酔学会誌. 43(6):S263.

佐藤薫, 花山千恵, 高木麻美, 石堂瑛美, 小原伸樹, 井上聡己. アメリカで活躍する野球選手に会うことが強

オピオイドの中止のきっかけになった 70 歳代乳がん患者の一例. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会; 20231208; 宮崎. 日本臨床麻酔学会誌. 43(6):S265.

中野裕子, 笠原諭, 大石理江子, 小幡英章, 大谷晃司, 井上聡己. 整形外科慢性痛患者における ADHD スクリーニング陽性率と、不安やうつ、破局的思考への関与. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島. プログラム・抄録集. S44.

中野裕子, 大石理江子, 小原伸樹, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 失神発作を伴う舌咽神経痛に対し内服薬とキシロカインビスカス® 自己塗布で症状をコントロールし得た 1 症例. 日本ペインクリニック学会第 4 回東北支部学術集会; 20231216; 盛岡. プログラム・抄録集. 20.

〔シンポジウム〕

小原伸樹. シンポジウム 深鎮静の全身管理を安全に行う 深鎮静に用いる薬物の薬物動態・薬力学. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

吉田圭佑. 学術委員会シンポジウム 第 18 回 JA シンポジウム 呼吸モニタリング. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

井上聡己. 地域医療における心臓血管麻酔専門医制度の現状と問題点. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916; 奈良/Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):137.

〔特別講演〕

小原伸樹. 特別講演 麻酔薬の薬物動態・薬力学について 最近の話題. 第 94 回新潟麻酔懇話会／第 73 回新潟シヨックと蘇生・集中治療研究会; 20230617; 新潟.

〔招待講演〕

Obara S. Basic concepts of pharmacokinetics of intravenous anesthetics. 台湾麻酔医学会第 67 回国際学術検討会; 20231104; 台湾. プログラム集. 16.

〔その他〕

井上聡己. 教育セミナー ICU における鎮痛：レミフェンタニルの役割. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都/Web. プログラム・抄録集. 657.

箱崎貴大, 島田二郎. パネルディスカッション 8 東日本大震災 被災地からの発信～福島県～. 第 28 回日本災害医学会総会・学術集会; 20230310; 盛岡.

小原伸樹. 共催セミナー SedLine®を用いた最新の麻酔管理～レミマゾラム編～ SedLine と薬物動態シミュレーションを活かしたレミマゾラム麻酔. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

佐藤薫. 麻酔科領域講習（リフレッシュ）・ベーシック がんサバイバーの周術期管理を考察する. 日本麻酔科

学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

小原伸樹. 2023 年度北海道・東北支部周術期管理チームセミナー 1. 危機的状況で知っておきたい輸血の基礎知識. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台.

吉田圭佑. 2023 年度北海道・東北支部周術期管理チームセミナー 5. 手術部位感染 (SSI) を防ぐ. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台.

井上聡己. 専門医コースレクチャー 2022 年改訂版非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン主に PartI. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916; 奈良/Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):39.

井上聡己. 専門医共通講習(1) 臨床研究の進め方. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会; 20231208; 宮崎. 日本臨床麻酔学会誌. 43(6):S121.

救急医療学講座

論 文

〔原 著〕

Shibata Y, Omae K, Minemura H, Suzuki Y, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Inage M, Hirama N, Furuyama K, Fukushima S, Saito H, Machiya JI, Machida H, Abe K, Iwabuchi K, Katagiri Y, Aida Y, Abe Y, Ota T, Ishizawa Y, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Kurita N, Iseki K. Development and external validation of the DOAT and DOATS scores: simple decision support tools to identify disease progression among nonelderly patients with mild/moderate COVID-19. BMC Pulmonary Medicine. 202308; 23(1):312.

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Iizuka T, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Waragai Y, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Okamoto H, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Abe W, Tsukada Y, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Hamaguchi S, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with molnupiravir for patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Omicron variant

pandemic. Clinical and Experimental Medicine. 202310; 23(6):2715-2723.

Sugaya K, Iseki K. Traumatic pneumorrhachis associated with cerebral fluid leakage evaluated with magnetic resonance myelography. Clinical Case Reports. 202305; 11(6):e7200.

Sorimachi K, Moriyama N, Hatashita S, Miyajima H, Shigemoto S, Takagi K, Hirano H, Ito M, Iseki K, Yasumura S. Association of the Number of Teeth With Physical Function and Length of Hospital Stay After Hip Fracture Surgery: A Prospective Observational Study at a Tertiary Hospital in Japan. Cureus. 202310; 15(10):e47297.

Takauji S, Hayakawa M, Yamada D, Tian T, Minowa K, Inoue A, Fujimoto Y, Isokawa S, Miura N, Endo T, Irie J, Otomo G, Sato H, Bando K, Suzuki T, Toyohara T, Tomita A, Iwahara M, Murata S, Shimazaki J, Matsuyoshi T, Yoshizawa J, Nitta K, Sato Y. Outcome of extracorporeal membrane oxygenation use in severe accidental hypothermia with cardiac arrest and circulatory instability: A multicentre, prospective, observational study in Japan (ICE-CRASH study). Resuscitation. 202301; 182:109663.

菅谷一樹, 関根萌, 武藤憲哉, 三澤友誉, 岩渕雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. レジオネラ肺炎を契機に発症した Acute-on-chronic liver failure の救命例. 日本救急医学会雑誌. 202304; 34(4):141-147.

鈴木剛, 上野智史, 矢野徹宏, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 喜古雄一郎, 伊関憲. ARDS に対する腹臥位療法中に小腸憩室穿通を発症し死亡した 1 例. 日本救急医学会雑誌. 202311; 34(11):477-481.

鈴木沙樹, 力丸峻也, 皆川睦美, 渡邊万央, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 渡部文彦, 小野智, 川畑綱代, 三村耕作, 鈴木剛, 池田和彦. 救命救急センター初療室への超緊急輸血製剤常備配置の運用について. 日本輸血細胞治療学会誌. 202302; 69(1):32-37.

小野寺誠, 後藤沙由里, 関根萌, 鈴木光子, 菅谷一樹, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 福島市におけるコロナ禍発生前後での救急搬送困難事案の検討. 日本臨床救急医学会雑誌. 202310; 26(5):633-640.

後藤沙由里, 関根萌, 鈴木光子, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的に致死量のパラコートを用いし短時間で死亡した 1 例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202312; 26(6):743-746.

菅谷一樹, 鈴木光子, 全田吏栄, 鈴木剛, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 家族と積極的治療の合意形成にいたらず, 治療撤退とせざるをえなかった顔面・四肢熱傷の 1 例. 熱傷. 202306; 49(2):67-71.

星野風沙, 鈴木光子, 後藤沙由里, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. スイセン中毒の 1 症例. 臨床麻酔. 202309; 47(8):991-992.

書籍等出版物

伊関憲. 解毒薬・中毒治療薬. In: 北原光夫, 上野文昭, 越前宏俊. 治療薬マニュアル 2023. 東京: 医学書院. 202301. p.1309-1310.

伊関憲, 他 (翻訳・編集). エマルゴトレインシステムマニュアル 改訂第2版. 東京: へるす出版. 202302.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 小野寺誠, 伊関憲. ピルシカイニドの大量服薬に対して VA-ECMO により救命し得た 1 例. 第 36 回日本中毒学会東日本地方会; 20230128; 東京. 中毒研究. 36(3):320.

後藤沙由里, 伊関憲, 小野寺誠, 鈴木光子, 関根萌. 自殺目的に致死量のパラコートを用いし短時間で死亡した 1 例. 第 36 回日本中毒学会東日本地方会; 20230128; 東京. 中毒研究. 36(3):322-323.

大山亜紗美, 伊関憲. 毒性アルコール中毒の診断と治療. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230303; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S262.

山崎武瑠, 関根萌, 後藤沙由里, 菅谷一樹, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. 多彩な症状を認めたくも膜下出血の一例. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S481.

関根萌, 田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 小野寺誠, 伊関憲. 高度るいそを認めた神経性食欲不振症の死亡例の検討. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S548.

菅谷一樹, 関根萌, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. 脊髄 MR ミエログラフィーで髄液漏を評価した外傷性脊柱管内気腫の 1 例. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S559.

後藤沙由里, 小野寺誠, 鈴木剛, 全田吏栄, 大山亜紗美, 鈴木光子, 伊関憲. 外傷性気胸における遅発性増悪のリスク因子予測. 第 50 回日本集中治療医学会学術集会; 20230304; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S821.

三澤友誉, 鈴木剛. 刺創による総頸動脈損傷をカテーテル血流遮断と心膜パッチの動脈修復で救命した一例. 第 37 回日本外傷学会総会・学術集会; 20230601; 名古屋. 日本外傷学会雑誌. 37(2):195.

鈴木剛, 三澤友誉, 伊関憲. 重症外傷に対する超緊急輸血にかかる時間の検討 単施設後ろ向き観察研究. 第 37 回日本外傷学会総会・学術集会; 20230602; 名古屋. 日本外傷学会雑誌. 37(2):230.

大山亜紗美, 小野寺誠, 後藤沙由里, 伊関憲. パルプロ酸の過量内服により高アンモニア血症を生じた一例. 第 37 回東北救急医学会総会・学術集会; 20230624; Web. 抄録集. 50.

後藤沙由里, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 視床出血後に体動困難となり広範囲な灯油皮膚炎をきたした一例. 第 37 回東北救急医学会総会・学術集会; 20230624; Web. 抄録集. 59.

大山亜紗美, 小野寺誠, 鈴木剛, 全田吏栄, 鈴木光子, 後藤沙由里, 伊関憲. バイケイソウ誤食により徐脈と低血圧を来した一例. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 27.

三澤友誉, 伊関憲, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 菅谷一樹, 武藤憲哉. 術後に血栓性微小血管障害症から多臓器不全を来し輸血や血漿交換により改善を得られた1例. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 58.

安永天音, 大山清実広, 小野内汐美, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 医学生に対する蘇生教育にCPR アシストは有用か. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 68.

小野内汐美, 大山清実広, 安永天音, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 病棟の聴診器は本当にきれいですか. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 71.

大山清実広, 小野内汐美, 安永天音, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 外来の聴診器は使って大丈夫. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 72.

星野凧沙, 安永天音, 大山清実広, 小野内汐美, 後藤沙由里, 大山亜紗美, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的に服用した福寿草中毒の一例. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 75.

全田吏栄, 後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 意識障害のためドクターヘリ出動要請があった一酸化炭素中毒の2例. 第45回日本中毒学会総会・学術集会; 20230715; さいたま. 中毒研究. 36(2):214.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 小野寺誠, 伊関憲. 炭酸リチウムの内服調整中にリチウム中毒をきたし、完全房室ブロック様の心電図変化を呈したが経過観察で改善し得た一例. 第45回日本中毒学会総会・学術集会; 20230715; さいたま. 中毒研究. 36(2):219.

小野寺誠, 鈴木光子, 後藤沙由里, 関根萌, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 福島県消防学校における急性中毒疾患教育の効果 講義前後での変化. 第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20230729; 東京. 日本臨床救急医学会雑誌. 26(3):360.

安永天音, 小野内汐美, 大山清実広, 吉田圭佑, 岩淵雅洋, 伊関憲. 手術室の聴診器は本当にきれいなもの. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第13回学術集会; 20230909; 仙台. Abstracts. 55.

鈴木剛, 後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 全田吏栄, 小野寺誠, 伊関憲. アルコール関連低カリウム血症補正中に発生した致死性不整脈の一例. 第38回日本救命医療学会総会・学術集会; 20230923; 東京. プログラム・抄録集. 33.

上野智史, 鈴木剛, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 重症鈍的胸部外傷による出血性ショックに対して病院前蘇生的開胸術で救命した1例. 第15回日本Acute Care Surgery学会学術集会; 20231006; 浦安. Japanese Journal of Acute Care Surgery. 13(Suppl):137.

全田吏栄, 大山亜紗美, 川倉健治, 今井茂樹. 食道癌術後に生じた前縦隔血腫に対して動脈塞栓術を施行した1

例. 第36回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会; 20231014; 仙台. プログラム・抄録集. 34.

鈴木剛, 山本秀輝, 金光敬二, 山本夏男. 腹膜炎急性期の自然免疫応答で生じる臓器障害に関わる IL-13 と C タイプレクチンの役割. 第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会; 20231026; 東京. プログラム・抄録集. 36.

山本夏男, 鈴木剛, 山本秀輝, 原靖果, 仲村究, 金光敬二. 血流感染で莢膜保有肺炎球菌を中和する IgM 抗体の量と質を IL-13 が調整する 臓器内 type-1 型自然炎症との比較. 第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会; 20231026; 東京. プログラム・抄録集. 37.

後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 下肢脱力を主訴に来院し診断に難渋した若年性急性大動脈解離の一例. 第51日本救急医学会総会・学術集会; 20231128; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):764.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 佐藤悠, 伊関憲. 鈍的外傷に伴う無症候性下大静脈解離の一例. 第51日本救急医学会総会・学術集会; 20231128; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):789.

鈴木剛, 後藤沙由里, 関根萌, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 小野寺誠. 悪性腫瘍由来の気管食道瘻に対する人工呼吸管理の経験. 第51日本救急医学会総会・学術集会; 20231129; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):818.

菅谷一樹, 鈴木剛, 全田吏栄, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. TAE に後腹膜パッキングを加えて循環安定化し高齢者の安定型骨盤骨折症例. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231129; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):833.

菅谷一樹, 関根萌, 武藤憲哉, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. デジタル瞳孔記録計の NPi を指標にシプロヘプタジンを投与した、セロトニン症候群の1例. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231129; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):843.

菅谷一樹, 鈴木光子, 武藤憲哉, 大山亜紗美, 全田吏栄, 三澤友誉, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. サーキット場で生じた車両事故による外傷の特徴. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231130; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):878.

岩淵雅洋, 関根萌, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 三澤友誉, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 当院におけるマムシ咬傷に対する抗血清療法を検討. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231130; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):881.

病理病態診断学講座

論 文

〔原 著〕

Takagi T, Sugimoto M, Imamura H, Takahata Y, Nakajima Y, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Shibukawa G, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A multicenter comparative study of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using a Franseen needle versus conventional endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration to evaluate microsatellite instability in patients with unresectable pancreatic cancer. *Clinical Endoscopy*. 202301; 56(1):107-113.

Nishimagi A, Kobayashi M, Sugimoto K, Kofunato Y, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Marubashi S, Chiba H. Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510 is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence. *Clinical and Experimental Medicine*. 202312; 23(8):4985-4995.

Sonobe T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 202311; 25(1):23.

Yoshida S, Fujita M, Ishigame T, Kobayashi Y, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Yoshida H, Marubashi S, Hashimoto Y, Ohira H, Migita K. Case report: Unusual development of hepatocellular carcinoma during immunosuppressive treatments against rheumatoid arthritis overlapping Sjögren's syndrome; cirrhotic steatohepatitis with liver inflammation and fibrosis lurks in autoimmune disorders. *Frontiers in Immunology*. 202302; 14:1089492.

Yoshida S, Matsumoto H, Temmoku J, Shakespear N, Kiko Y, Kikuchi K, Sumichika Y, Saito K, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Suzuki E, Watanabe H, Ohira H, Migita K. Case report: Rapid development of amyloid A amyloidosis in temporal arteritis with SAA1.3 allele; An unusual case of intestinal amyloidosis secondary to temporal arteritis. *Frontiers in Immunology*. 202303; 14:1144397.

Yamakuni R, Ishii S, Yamada S, Hara J, Suenaga H, Sugawara S, Sekino H, Yamaki T, Ishida K, Hashimoto Y, Ito H. Different prognostic outcomes in two cases of FDG-PET/CT-Positive and -negative cardiac angiosarcoma. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(1):45-49.

Owari M, Harada-Shirado K, Togawa R, Fukatsu M, Sato Y, Fukuchi K, Endo M, Takahashi H, Kimura S, Osaki T, Soury M, Ichinose A, Shibata Y, Hashimoto Y, Ikezoe T. Acquired von Willebrand Syndrome in a Patient with Multiple Comorbidities, Including MALT Lymphoma with IgA Monoclonal Gammopathy and Hyperviscosity Syndrome. *Internal Medicine*. 202302; 62(4):605-611.

Yamada S, Oka Y, Muramatsu M, Hashimoto Y. High-grade B-cell lymphoma with 11q aberrations: A single-center study. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology*. 2023; 63(2):121-131.

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A Case of Giant Goiter Associated with Airway Stenosis Caused by Long-Term Intravenous Epoprostenol Therapy for Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Miyakawa R, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Kobayashi Y, Furukawa S, Honda T, Watanabe T, Asano S, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. SPON1 is an independent prognostic biomarker for ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 2023; 16(1):95.

若木優, 渡邊佳織, 鈴木りか, 野村泰久, 喜古雄一郎. 胎児サイトメガロウイルス感染症の1例. *周産期医学*. 2023; 53(7):1129-1135.

鈴木剛, 上野智史, 矢野徹宏, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 喜古雄一郎, 伊関憲. ARDSに対する腹臥位療法中に小腸憩室穿通を発症し死亡した1例. *日本救急医学会雑誌*. 2023; 34(11):477-481.

〔その他〕

瓜生開, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 田口歩, 千葉英樹. 卵巣がんの新規抗体医薬品標的タンパク質の網羅的同定. *電気泳動*. 2023; 67(Suppl):s47.

茂村碧, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 千葉英樹. 細胞接着分子クローディン 16 は卵巣癌の新規バイオマーカーである. *電気泳動*. 2023; 67(Suppl):s59.

小林信, 杉本幸太郎, 西間木淳, 小林靖幸, 千葉英樹. 肝受容体ホモログ-1 の異常セリンリン酸化は肝癌・肝癌の予後不良因子である. *日本病理学会会誌*. 2023; 112(1):298.

佐久間桃, 杉本幸太郎, 西間木淳, 小林信, 小林靖幸, 千葉英樹. CLDN10 は肝細胞癌で異常発現する. *日本病理学会会誌*. 2023; 112(1):378.

茂村碧, 小林信, 杉本幸太郎, 遠藤雄大, 小林靖幸, 小島学, 千葉英樹. 細胞接着分子クローディンによる卵巣がんの層別化. *日本病理学会会誌*. 2023; 112(1):380.

臨床検査医学講座

論文

〔原著〕

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Hamada M, Enomoto N, Yamashita T, Shimojima M, Tanno D, Ohana N, Toyokawa M, Takahashi H, Yaguchi T. *Nocardia sputorum* sp. nov., an actinobacterium isolated from clinical specimens in Japan. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*. 202306; 73(6):doi: 10.1099/ijsem.0.005935.

Shimura H, Yokoya S, Suzuki S, Iwadata M, Suzuki S, Matsuzuka T, Suzuki S, Hayashi F, Nagao M, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Confounding factors and biases involved in regional differences in the detection rate of thyroid cancer in the second-round Thyroid Ultrasound Examination: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202309; 64(5):761-768.

〔総説等〕

志村浩己. 福島県原子力発電所事故後における小児・若年者甲状腺癌. *医学と薬学*. 202302; 80(3):275-280.

志村浩己. FOCUS 福島県「県民健康調査」甲状腺検査における甲状腺超音波検査の役割. *検査と技術*. 202305; 51(5):570-572.

志村浩己. 福島原発事故・県民健康調査② 福島県原子力発電所事故後における小児・若年者甲状腺がん. *公衆衛生*. 202311; 87(11):1103-1112.

志村浩己. 検診発見での甲状腺癌の扱い—超音波所見評価による甲状腺結節細胞診適応判断—. *超音波 TECHNO*. 202306; 35(3):46-50.

志村浩己. 甲状腺腫瘍【専門家による私の治療】. *日本医事新報*. 202301; (5152):43-44.

書籍等出版物

志村浩己. Chapter2 甲状腺 CQ37 放射線被ばくと甲状腺疾患の関連についての説明方法は? In: 成瀬光栄, 田辺晶代, 方波見卓行, 高橋裕, 田上哲也, 竹内博. 内分泌代謝疾患 Clinical question 100 改定第2版. 東京: 診断と治療社; 202306. p.82-83.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大平哲也, 長尾匡則, 林史和, 志村浩己, 安村誠司, 高橋秀人, 鈴木悟, 鈴木聡, 鈴木眞一, 石川徹夫, 坂井晃, 祖父江友季, 鈴木元, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二. 福島第一原発事故後の放射線被ばくと甲状腺がんとの関連についての症例対象研究: 福島県県民健康調査. 第 33 回日本疫学会学術集会; 20230201-03; 浜松/Web. Journal of Epidemiology. 33(Suppl.1): 89.

安村誠司, 大平哲也, 石川徹夫, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 藤森敬也, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」の実績と現状. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松. Journal of Epidemiology. 33(Suppl.1):153.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 濱谷由香, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査における受診者・家族の不安へのアプローチ: 心理的サポートの有効性に関する検討. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):133.

浅野眞比呂, 高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 太田寿, 鈴木聡, 古屋文彦, 鈴木悟, 鈴木眞一, 大平哲也, 安村誠司, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の本格検査における甲状腺のう胞の発見率および最大径の分析. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):132.

今井美菜子, 高野由喜子, 原田莉衣, 坂本有子, 本田睦子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. 培養に苦慮した *Burkholderia cepacia* complex の 1 症例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:42.

庄司龍弥, 原田莉衣, 坂本有子, 本田睦子, 高野由喜子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. ISO15189 QMS 活動における血液培養検査の業務内容の見直し. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:40.

遠藤武尊, 渡部洋子, 嶋田有里, 佐々木義和, 山寺幸雄, 木村哲, 池添隆之, 志村浩己. von Willebrand 病の病型鑑別に血小板凝集能検査が有用であった 2 症例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:35.

只野光彦, 渡部洋子, 嶋田有里, 菅野喜久子, 佐々木義和, 山寺幸雄, 原田佳代, 志村浩己. 当院で経験した急性巨核芽球形白血病(AML-M7)を疑った一症例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:33.

高橋智里, 中畑那奈, 江尻遥香, 浅野眞比呂, 長嶺夏希, 佐藤綾子, 太田寿, 志村浩己. 超音波診断装置評価用ファントムを用いた超音波診断装置の経時変化の評価. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:24.

齋藤柚香, 大沼秀知, 引地美由紀, 堀越由紀子, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 非典型的な心電図を認めた右胸心の1例. 第54回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:19.

金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一, 志村浩己. Digital PCR法を用いた甲状腺腫瘍術前遺伝子検査法の開発. 第55回日本臨床検査医学会東北支部総会・第34回日本臨床化学会東北支部総会; 20230902; 弘前. 抄録集. 17.

鈴木英明, 小菅優子, 黒崎祥史, 井本明美, 石井直仁, 小川一英, 北爪しのぶ, 志村浩己. 播種性血管内凝固症候群においてAPP770は血栓形成に関与する. 第63回日本臨床化学会年次学術集会; 20231027-29; 東京. 臨床化学. 52(Supp.1):193.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 大戸齊, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10年の実績、現状と今後の課題. 第82回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 305.

嶋田有里, 渡辺洋子, 遠藤武尊, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 小山大輔, 池添隆之, 志村浩己. 術前検査を契機に有毛細胞白血病亜型と診断された1症例. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

小川斗夢, 大沼秀知, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 右脚ブロック出現が心臓浸潤の可能性を示唆したサルコイドーシスの一例. 本症例を契機とした報告体制の構築. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

鈴木崇斗, 金子亜矢, 大橋直人, 佐藤ゆかり, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. MEP導出不良例に対して複数神経への同時テタヌス刺激が波形導出に有用であった一例. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

堀越由紀子, 松田美津子, 佐藤ゆかり, 山寺幸雄, 志村浩己. 脳波検査にて Extreme delta brush を認めた自己免疫性脳炎の2例. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

大沼秀知, 小川斗夢, 半沢ゆみ, 高橋智世, 金子亜矢, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 中高年期に達した未治療単心室症の一例. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

幕田倫子, 松田美津子, 石橋伸治, 山寺幸雄, 志村浩己. 超音波検査が有用であったメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

本多敦美, 大沼秀知, 引地美由紀, 佐藤ゆかり, 堀越由紀子, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 当院におけるTAVIに合併する伝導障害について. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島.

鈴木英明, 小菅優子, 小林浩二, 菅野光俊, 黒崎祥史, 井本明美, 石井直仁, 山寺幸雄, 小川一英, 北爪しのぶ, 志村浩己. 播種性血管内凝固症候群患者の血漿APP770値は上昇する. 第70回日本臨床検査医学会学術集会; 20231116-19; 長崎.

鈴木聡, 岩舘学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体・甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査二次検査における受診者家族の不安の差異に関する検討—親子の性別に着目して—. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207-09; 金沢. 日本内分泌学会雑誌. 99(5):1301.

中畑那奈, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 高橋智里, 岩舘学, 鈴木聡, 鈴木悟, 鈴木眞一, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 小児および青少年における甲状腺びまん性甲状腺腫の有病率と BMI、嚢胞および結節の存在との関連: 福島県健康管理調査. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207-09; 金沢. 日本内分泌学会雑誌. 99(5):1302.

高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 浅野眞比呂, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 佐藤綾子, 太田寿, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 鈴木悟, 古屋文彦, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺超音波ガイド下穿刺技術習得用のファントム試作と使用感の評価. 第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20231217; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(4):144.

〔シンポジウム〕

志村浩己. 甲状腺検査において明らかになっている甲状腺がん発症に関連している因子. 2023 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20230304; 福島.

松田美津子, 山寺幸雄, 幕田倫子, 大沼秀知, 志村浩己. TIPIC 症候群 (Carotidynia). 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

志村浩己. JABTS 超音波ガイド下穿刺診断専門医との関係性. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩舘学, 古屋文彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 細胞診検体を用いた遺伝子検索. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

太田寿, 長嶺夏希, 高橋智里, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 鈴木聡, 鈴木眞一, 鈴木悟, 古屋文彦, 志村浩己. 福島県「県民健康調査」における甲状腺超音波検査の迅速化および標準化のための方策. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

志村浩己. 福島県「県民健康調査」甲状腺検査のこれまでの結果と小児・若年者における甲状腺に関する知見. 第 11 回日本 DOHaD 学会学術集会; 20230804-05; 福島.

志村浩己. 日本の研究をいかに世界に広げるか〜福島県県民健康調査の場合〜. 全国検査部長・技師長会議 2023; 20231116; 長崎.

志村浩己. 福島県「県民健康調査」甲状腺検査の現状と将来展望. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207-09; 金沢.

〔特別講演〕

佐々木栄司, 志村浩己, 福成信博. 甲状腺超音波ガイド下穿刺コーディネーター資格取得について. 第64回日本臨床細胞学会総会春期大会; 20230609-11; 名古屋. 日本臨床細胞学会雑誌. 62(Suppl.1):115.

志村浩己. 日本乳腺甲状腺超音波医学会による甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の概要と甲状腺穿刺の医療安全. 第19回神奈川臨床甲状腺研究会学術講演会; 20230628; 東京/Web.

志村浩己. 臨床検査専門医からの提言～福島から発信する臨床検査技師の未来像～. 令和5年度日臨技北日本支部医学検査学会(第11回); 20231104-05; 福島. プログラム. 47.

〔招待講演〕

志村浩己. 福島県民健康調査(甲状腺診断)の概要. 令和4年度高度専門被ばく医療研修; 20230307; Web.

志村浩己. 小児甲状腺検査の概要. 福島災害医療セミナー2023; 20230630-0701; Web.

志村浩己. 甲状腺超音波検査のポイントとピットフォールおよび福島県「県民健康調査」甲状腺検査の現況. 第70回日本臨床検査医学会学術集会; 20231116-19; 長崎.

志村浩己. 小児甲状腺検査の概要. 福島災害医療セミナー2023; 20231117-18; Web.

志村浩己. 甲状腺診療と超音波検査・血液検査の基礎～甲状腺内科専門医の立場から～. 第1回岩手県ロシュセミナー; 20231129; 盛岡/Web.

感染制御学講座

論 文

〔原 著〕

Nakamura K, Sugiyama M, Ishizuka H, Sasajima T, Minakawa Y, Sato H, Miyazawa M, Kitakawa K, Fujita S, Saito N, Kashiwabara N, Kohata H, Hara Y, Kanari Y, Shinka T, Kanemitsu K. Prolonged infective SARS-CoV-2 omicron variant shedding in a patient with diffuse large B cell lymphoma successfully cleared after three courses of remdesivir. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 202308; 29(8):820-824.

Hara Y, Nakamura K, Tanno D, Toyokawa M, Suzuki H, Ohashi K, Harada R, Hidaka T, Nagano T, Torii K, Kanemitsu K. Detection of *Clostridioides difficile* toxin B gene in clinical stool specimens using rapid diagnostic quenching probe-polymerase chain reaction assay. *Journal of Microbiological Methods*. 202302; 205:106666.

仲村 究, 松見 文晶, 小針 健大. 【ポストコロナ時代の感染症診療】(第 II 章) 感染症診療各論 頭頸部感染症
Lemierre 症候群. 診断と治療. 202303; 111(Suppl):93-96.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

仲村 究. 真菌感染症について. 真菌感染症勉強会; 20230131; 福島.

金光 敬二. 教育現場における感染対策の考え方. 令和 4 年度学校保健講習会; 20230312; 会津若松.

金光 敬二. 新型コロナウイルス感染症の総括、今後の対応について. 相馬郡医師会定時総会; 20230624; 南相馬.

金光 敬二. 米国医療機器振興協会 (AAMI) 軟性内視鏡再生処理ガイドライン ST91 改訂版について. 第 423 回
ICD 講習会; 20230723; 横浜.

金光 敬二. COVID19 に対する最新知見～抗ウイルス薬の使用意義について～. COVID-19 の治療を考える会 in
郡山; 20230823; 郡山.

金光 敬二. COVID-19 の反省と新興病原体の消毒. 感染管理セミナー in 長崎; 20231004; 長崎.

金光 敬二. これからのインフルエンザ／COVID-19 診療について. 米沢市学術講演会; 20231205; 米沢.

仲村 究. 抗菌薬適正使用の働きかけ. 第 11 回福島県薬剤師感染制御・抗菌化学療法研究会研修会; 20231209; 郡
山.

金光 敬二. これからのインフルエンザ／COVID-19 診療について. 米沢市学術講演会; 20231214; 米沢.

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

論 文

〔原 著〕

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto
Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor
Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Anticancer Research. 202310; 43(10):4691-4700.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Nakajima T, Kikuchi T, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202307; 72(7):2233-2244.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Cancer Medicine*. 202308; 3(1):111.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA-CD27⁺CD127⁺ Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Cancers*. 202307; 15(14):3641.

Nakajima S, Kaneta A, Okayama H, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Matsumoto T, Fukai S, Sakuma M, Sato T, Mimura K, Saito M, Saze Z, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Kono K. The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8⁺ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer. *Cancers*. 202305; 15(10):2826.

Katagata M, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Sato T, Sakuma M, Fukai S, Endo E, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGFβ-Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer. *Cancers*. 202310; 15(20):4943.

Ueda K. Murine double minute X plays a central role in leukemic transformation and may be a promising target for leukemia prevention strategies. *Experimental Hematology*. 202306; 122:10-18.

Fukai S, Nakajima S, Saito M, Saito K, Kase K, Nakano H, Sato T, Sakuma M, Kaneta A, Okayama H, Mimura K, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8⁺ T-cell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202311; 26(6):878-890.

Sato T, Saito M, Nakajima S, Saito K, Katagata M, Fukai S, Okayama H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2-negative gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202302; 26(3):379-392.

Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T. Impaired Repopulating Ability of Uhrf2^{-/-} Hematopoietic Progenitor Cells in Mice. *Genes*. 202307; 14(8):1531.

Go H, Ogasawara K, Maeda H, Ohto H, Nollet KE, Iwasa H, Kawasaki Y, Hosoya M. Predicting neonatal mortality with a disseminated intravascular coagulation scoring system. *International Journal of Hematology*. 202302; 117(2):278-282.

Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, Saito K, Katagata M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Tada T, Sakamoto W, Momma T, Ohira H, Kono K. Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment Through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics*. 202303; 115(4):957-971.

Chishiki M, Nishiyama K, Suzutani T, Hiruta S, Ichikawa H, Haneda K, Maeda H, Shimizu H, Kanai Y, Ogasawara K, Go H, Sato M, Momoi N, Nollet KE, Ohto H, Hosoya M. Sterilization efficacy of a new water-free breast milk pasteurizer. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15574.

Ohto H, Ito S, Srivastava K, Ogiyama Y, Uchikawa M, Nollet KE, Flegel WA. Asian-type DEL (RHD*DEL1) with an allo-anti-D: A paradoxical observation in a healthy multiparous woman. *Transfusion*. 202308; 63(8):1601-1611.

鈴木沙樹, 力丸峻也, 皆川睦美, 渡邊万央, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 渡部文彦, 小野智, 川畑絹代, 三村耕作, 鈴木剛, 池田和彦. 救命救急センター初療室への超緊急輸血製剤常備配置の運用について. *日本輸血細胞治療学会誌*. 202302; 69(1):32-37.

薬師神公和, 吉原哲, 池本純子, 池田和彦, 石田明, 大戸斉, 小原明, 梶原道子, 菊田敦, 原口京子, 藤原慎一郎, 藤原実名美, 山崎理絵, 長村登紀子, 田野崎隆二, 奥山美樹, 藤盛好啓, 上田恭典. 本邦における造血幹細胞採取等のアフェレーシスの実態調査. *日本輸血細胞治療学会誌*. 202312; 69(6):641-647.

〔総説等〕

Misaka T, Kimishima Y, Yokokawa T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and cardiovascular diseases: role of JAK2V617F. *Journal of Cardiology*. 202301; 81(1):3-9.

Ikeda K, Ueda K. Gaining MOMENTUM against anaemic myelofibrosis. *Lancet*. 202301; 401(10373):248-249.

Ikeda K, Nollet KE. FIT for surgery: fractures, iron, and tranexamic acid. *Lancet Haematology*. 202307; 10(9):e699-e700.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 癌と化学療法. 202310; 50(10):1099-1101.

池田和彦. 同種造血幹細胞移植後キメリズム解析の意義と解析法. *日本造血・免疫細胞療法学会雑誌*. 202301; 12(1):1-11.

大戸斉, 秋野公造, 牧野真太郎, 碓氷章彦. 乾燥人フィブリノゲン製剤の「歴史的経緯」と患者と連携した適応拡大について. *日本輸血細胞治療学会誌*. 202310; 69(5):563-569.

大戸斉, 内川誠, 伊藤正一, 和田郁夫, 川畑絹代, 徳永勝士. Kanno 血液型(ISBT037): 抗原と抗体の特性と残された課題. *日本輸血細胞治療学会誌*. 202310; 69(5):570-579.

〔症例報告〕

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. *Cancer Reports*. 202307; 6(7):e1832.

Takahashi N, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kudo S, Saito Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A, Sano H. T-Cell-Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for a Patient With TCF3-HLF-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Extramedullary Relapse After Unrelated Bone Marrow Transplantation. *Journal of Pediatric Hematology/Oncology*. 202304; 45(3):e419-e422.

佐藤孝洋, 佐瀬善一郎, 滝口千晶, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 片方雅紀, 深井智司, 三村耕作, 河野浩二. 食道癌術後に左総頸動脈食道胃管吻合部瘻を発症し心肺停止に至ったが救命しえた 1 例. *日本消化器外科学会雑誌*. 202309; 56(9):471-478.

〔その他〕

池田和彦. クローン性造血—血液腫瘍と心血管疾患を結ぶ新たな治療標的. *BIO Clinica*. 202305; 38(5):373.

書籍等出版物

川畑絹代, 安田広康. 3 章 輸血前検査 3.4 不規則抗体同定検査. In: 日本臨床衛生検査技師会 監修. 輸血・移植検査技術教本 第 2 版 (JAMT 技術教本シリーズ). 東京: 丸善出版; 202301. p.40-48.

川畑絹代. 10 章 症例や状況に応じた輸血検査の進め方と対応 10.5 新生児・乳児. In: 日本臨床衛生検査技師会 監修. 輸血・移植検査技術教本 第 2 版 (JAMT 技術教本シリーズ). 東京: 丸善出版; 202301. p.177-180.

河野浩二, 三村耕作. 本ガイドブックの使い方. In: 日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック—患者さんご家族のために—」作成ワーキンググループ 編集. よくわかるがん免疫療法ガイドブック: 患者さんご家族のために 第 2 版. 東京: 金原出版; 202309. p.1-2.

池田和彦. 第 VI 章 輸血. In: 日本血液学会 編集. 血液専門医テキスト 改訂第 4 版. 東京: 南江堂; 202310. p.145-148.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Matsuishi A, Nakajima S, Sakuma M, Okayama H, Mimura K, Kono K. The impact of CLDN18 expression and natural killer cell infiltration on clinical outcomes in patients with gastric cancer. *SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar*; 20230719; Singapore.

Mimura K. Development of Combination Immunotherapy with Irradiation and Nivolumab for Patients with Advanced Gastric Cancer. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar; 20230719; Singapore.

Fukai S, Nakajima S, Katagata M, Sakuma M, Sato T, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Mimura K, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8+ T-cell infiltration in HER2-positive gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Involvement of several inhibitory immune checkpoint ligands in anti-PD-1 antibody therapy-resistant cases with malignant melanoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Kaneta A, Hayashita S, Mochizuki S, Kanoda R, Maruyama Y, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Saze S, Nakajima S, Mimura K, Kono K. Short-term outcomes of esophagectomy for elderly patients. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Nakajima S, Mimura K, Fukai S, Sakuma M, Ito M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Kono K. The effect of IL-34 triggered by neoadjuvant chemotherapy on the tumor-microenvironment and clinical outcomes in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Mimura K, Ogata T, Nakajima S, Hanayama H, Saze Z, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for patients with advanced gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231021; Yokohama.

Ueda K, Miura S, Misaka T, Minakawa K, Sato Y, Takeishi Y, Ikeda K. Interaction between JAK2-Mutated Neutrophils and Platelets Initiates Thrombosis Via Neutrophil Extracellular Traps. 65th American Society of Hematology (ASH) Annual meeting and Exposition; 20231211; San Diego, USA.

佐野秀樹, 望月一弘, 大原喜裕, 小林正悟, 高橋信久, 工藤新吾, 佐々木唯, 池田和彦, 大戸斉, 菊田敦. 骨軟部肉腫に対する KIR ligand 不適合ハプロ移植. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会; 20230211; 名古屋.

長谷川修, 山口美保, 渡邊範彦, 荒川崇, 五十嵐満, 齋藤麻衣, 伊藤純子, 風間秀元, 神林裕行, 池田和彦. 福島県内における血液製剤廃棄状況を血液センターの視点から考察する. 合同輸血療法委員会アンケート結果より. 第 122 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20230225; 郡山. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(3):494.

Nollet KE, Ngoma A, 池田和彦, 大戸斉. 輸血関連高カリウム血症(TAH) Cases, Caution, and Countermeasures. 第 122 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20230225; 郡山. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(3):495.

渡邊万央, 奥津美穂, 松原麻衣, 川畑絹代, 福田冬馬, 安田俊, 池田和彦. 胎児貧血の発症時期推定に輸血前検体を用いた検計が有用であった症例. 第 122 回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会; 20230225; 郡山. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(3):495.

大戸斉. 乾燥人フィブリノゲン製剤の適応拡大と課題の克服. 第 53 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20230325; 旭川. 日本心臓血管外科学会雑誌. 52(Supplement):S44.

岡山洋和, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 深井智司, 佐久間芽衣, 松本拓朗, 遠藤英成, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 中嶋正太郎, 三村耕作, 河野浩二. Molecular subtypes of colorectal cancer. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 深井智司, 佐藤孝洋, 金田晃尚, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

齋藤元伸, 仲野宏, 岡山洋和, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現の機序の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

佐藤孝洋, 齋藤元伸, 叶多諒, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 氏家大輔, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

三村耕作, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 抗 PD-1 療法不応性病変のメカニズムと治療戦略について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

横濱章彦, 藤田浩, 長井一浩, 藤原慎一郎, 谷本一樹, 平安山知子, 八田善弘, 柳沢龍, 渡邊和亮, 村上純, 三川紫緒, 松本真弓, 藤野恵三, 田中朝志, 長谷川雄一, 紀野修一, 牧野茂義, 池田和彦, 竹下明裕, 室井一男, 日本輸血細胞治療学会臨床研究推進委員会. 妊婦貯血式自己血輸血における輸血副反応の症状とその頻度. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230511; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):289.

渡部文彦, 川畑絹代, 皆川睦美, 松原麻衣, 鈴木沙樹, 力丸峻也, 小田原聖, 渡邊万央, 皆川敬治, 高野希美, 小野智, 高橋信久, 池田和彦. 寒冷凝集素により輸血諸検査が判定保留となった自己免疫性溶血性貧血.

(AIHA) を合併した全身性エリテマトーデス (SLE) の一症例. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230511; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):358.

鈴木沙樹, 皆川敬治, 佐藤友香, 小野智, 渡邊万央, 小田原聖, 川畑絹代, 植田航希, 安斎紀, 佐野秀樹, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. KMR type & track Assay による移植後キメリズム解析の評価. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):322.

植田航希, 高野希美, 力丸峻也, 渡部文彦, 佐々木睦美, 松原麻衣, 小野智, 川畑絹代, 森博隆, 佐野秀樹, 池添隆之, 池田和彦. 造血幹細胞移植ドナーの抗 HLA 抗体陽性が, レシピエントの抗 HLA 抗体産生および血小板輸血不応性に及ぼす影響の検討. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):325.

Nollet KE, Ngoma A, 池田和彦, 大戸斉. 輸血関連高カリウム血症 (TAH) Cases, Caution, and Countermeasures. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):355.

奥津美穂, 高野希美, 渡邊万央, 松原麻衣, 鈴木沙樹, 力丸峻也, 皆川敬治, 渡部文彦, 小野智, 植田航希, 三村耕作, 池田和彦. 造血幹細胞凍結産物に対する解凍作業効率化の検討 (第 2 報). 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):381.

松原麻衣, 渡部文彦, 川畑絹代, 皆川敬治, 小野智, 金城貴士, 竹石恭知, 池田和彦. 抗 E 様の特異性を示した mimicking 自己抗体の一例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:36.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230622; 千葉.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃がんにおいて HER2 経路が STING や CD8⁺T 細胞に及ぼす影響. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230623; 千葉.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 佐藤孝洋, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 河野浩二. 進行・再発食道扁平上皮癌症例における nivolumab 奏功群の免疫学的特徴. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

横沢佑弥, 山本希, 藤原千恵, 大西允禧, 中島文明, 杉本達哉, 藤澤真一, 岩崎澄央, 郷野辰幸, 関修, 小野智, 皆川敬治, 丸岡隼人, 大山幸永, 宮本京子, 清島久美, 亀井美沙, 絵葉ジャーディ, 池田和彦. キメリズム検査の外部精度管理手法の確立を目的とした限定的コントロールサーベイの実施報告. 第 31 回日本組織適合性学会大会; 20230916; 東京.

小田原聖, 皆川敬治, 川畑絹代, 鈴木沙樹, 力丸峻也, 松原麻衣, 只野光彦, 渡邊万央, 山田舞衣子, 高野希美, 小野智, 高瀬信弥, 横山斉, 池田和彦. 当院における同種クリオプレシピテートの導入について. 第123回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20230916; 盛岡.

中嶋正太郎, 金田晃尚, 岡山洋和, 菊池智宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 佐久間芽衣, 三村耕作, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 小野澤寿志, 門馬智之, 河野浩二. 腫瘍細胞内cGAS-STING経路がpMMR/MSS大腸癌のCD8+T細胞浸潤や予後に及ぼす影響. 第82回日本癌学会学術総会; 20230921; 横浜/Web.

Shimoda K, Komatsu N, Matsumura I, Ikeda K, Hino M, Hidaka M, Maeda Y, Kondo T, Fujisaki T, Shoshi K, Azuma K, Fukushima R, Kawashima J, Kosugi H. Phase 3 study of momelotinib vs ruxolitinib in JAK inhibitor naive myelofibrosis patients in Japan. 第85回日本血液学会学術集会; 20231013; 東京.

佐瀬善一郎, 林下宗平, 望月翔太郎, 叶多諒, 丸山裕也, 金田晃尚, 楡井東, 菊池智宏, 花山寛之, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ロボット支援食道癌根治術導入期における安全性評価. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

橋本万理, 菊池智宏, 金田晃尚, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. Nivolumab-SOX療法が奏功した肝転移を伴う十二指腸癌の一例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

林下宗平, 楡井東, 望月翔太郎, 丸山裕也, 叶多諒, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. アカラシアを合併した進行食道癌に対して術前化学療法後に切除し得た一例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

伊藤美郷, 三村耕作, 中嶋正太郎, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌TMEにおけるHO-1発現を介するM2腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加について. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

岡山洋和, 圓谷秀哲, 松石彬, 片方雅紀, 深井智司, 中嶋正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β -activated tumor microenvironment in serrated colorectal neoplasia. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 伊藤美郷, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントリガンドの発現. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 齋藤勝治, 佐藤孝洋, 佐久間芽衣, 深井智司, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β 活性を有する腫瘍微小環境のTIM-3とM2マクロファージへの影響について. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

三村耕作, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における複数の免疫チェックポイント経路を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. HER2 不均一発現を呈する胃癌症例から検討する HER2 シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

圓谷秀哲, 三村耕作, 松石彬, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における VEGF 経路を標的とした regulatory T 細胞の制御方法の開発について. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

松石彬, 中嶋正太郎, 圓谷秀哲, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. CLDN18 発現と腫瘍浸潤 NK 細胞が胃癌患者の臨床転機に及ぼす影響. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

工藤新吾, 大原喜裕, 植田航希, 三村耕作, 佐藤友香, 高野希美, 山田舞衣子, 力丸峻也, 松原麻衣, 川畑絹代, 佐野秀樹, 池田和彦. 末梢血幹細胞採取時のイオン化カルシウムと総カルシウムの濃度の検討. 第 59 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20231216; 福島.

【シンポジウム】

池田和彦. アフェレーシスナースたちの実経験に基づく看護 アフェレーシスナース制度の概要と今後の展望. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230511; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):218.

Mimura K, Nakajima S, Ogata T, Saze Z, Oshima T, Kono K. Potential of liquid biopsy using flow cytometry and repertoire analysis for advanced gastric cancer. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

三村耕作, 中嶋正太郎, 尾形高士, 佐瀬善一郎, 大島貴, 河野浩二. 進行・再発胃癌症例における flow cytometry と repertoire analysis を用いたリキッドバイオプシーの可能性について. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

池田和彦. 「DOHaD 獲得体質の改善戦略～基礎研究から～」クローン性造血の起点から疾患への関与まで. 第 11 回日本 DOHaD 学会学術集会; 20230804-05; 福島.

三村耕作, 鈴木義行, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行・再発胃癌に対する複合がん免疫療法の開発. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

【特別講演】

池田和彦. 造血幹細胞移植時の有害事象と凍害防止剤. 第 5 回 KYOKUTO Cell Culture セミナー; 20230808-0922; Web.

池田和彦. MPN におけるクローンの拡大と合併症. Hematology Seminar～知れば知るほど奥深い MPN 診療～; 20231028; 東京.

池田和彦. 変革期にある貧血治療. 福島県産婦人科医会 県北地区講演会; 20231109; 福島.

池田和彦. CHIP と MPN. アグリリン全国 Web 講演会; 20231129; Web.

〔招待講演〕

Ikeda K. Prospective survey of hematopoietic cell infusion-related adverse events in Japan. BEST; 20230327; Tokyo.

Ikeda K. Myeloproliferativand neoplasms and vascular diseases. MPN Asia 2023; 20230408; Taipei, Taiwan.

Ikeda K. Suggestive findings for transfusion care from the prospective survey of hematopoietic cell infusion-related adverse events. Annual Meeting of the Taiwan Society of Blood Transfusion 2023; 20231202; Taoyuan, Taiwan.

池田和彦. 貧血と輸血について. 第 36 回福島県輸血懇話会; 20230930; 二本松.

〔その他〕

皆川敬治. 造血幹細胞移植における検査技師の関わり：輸血・移植関連検査について. 第 59 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20231216; 福島.

地域・家庭医療学講座

論 文

〔原 著〕

Nakamura K, Kanke S, Ishii A, Mori F, Hoshi G, Kanto K, Toyoda Y, Kassai R. Impact of general practice / family medicine training on Japanese junior residents: a descriptive study. Fukushima Journal of Medical Science. 202308; 69(2):133-141.

Nawata K, li M, Kassai R. Over- and under-provision of diabetes screening: Making more efficient use of healthcare resources. Public Policy Review. 2023; 19(1):1-36.

Kassai R, li M. Reducing the tendency for over- and under-provision of health services at the point of care: The roles of evidence-based medical education and the patient-centered clinical method. Public Policy Review. 2023; 19(1):1-26.

Ito Y, Kassai R. Quality indicators for treatment outcomes of regional medical institutions. Public Policy Review. 2023; 19(1):1-25.

Ito Y, Ikeda T, Kanke S, Kassai R, Murakami M. Comparison of treatment outcomes of acute care hospitals in Okitama secondary medical-care area of Yamagata prefecture. Public Policy Review. 2023; 19(1):1-40.

Rouyard T, Endo M, Nakamura R, Moriyama M, Stanyon M, Kanke S, Nakamura K, Chen C, Hara Y, li M, Kassai R. Fukushima study for Engaging people with type 2 Diabetes in Behaviour Associated Change (FEEDBACK): study protocol for a cluster randomized controlled trial. Trials. 202305; 24(1):317.

豊田喜弘, 梶有貴, 原大知. なるほどわかった! 日常診療のズバリ基本講座 2100年の救急当直(?)から学ぶ「気候変動×医療」. レジデントノート. 202312; 25(13):2352-2358.

寺本敬一, 豊田喜弘, 和田吉生. 気候変動とプライマリ・ケア(第2回) 診療所でどんな気候変動対策ができるでしょう? プライマリ・ケア. 202307; 8(3):69-71.

豊田喜弘. 【慢性疾患診療のお悩みポイントまとめましたー高血圧からヘルスマネジメントまで】COPD 患者に禁煙してもらうにはどうしたらいいですか? Medicina. 202302; 60(2):303-306.

書籍等出版物

van Weel C, Kassai R. Chapter 5: Academic primary care: The importance of family medicine leaders and role models. In: Wass Val, Ng Victor. Family Medicine in the Undergraduate Curriculum: Preparing Medical Students to Work in Evolving Health Care Systems. Boca Raton, USA: CRC Press; 202310. p.35-42.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔シンポジウム〕

豊田喜弘. 私たちの気候変動対策～プライマリ・ケアはどう向き合い、何ができるか～. 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20230514; 名古屋.

菅家智史. 総合診療／プライマリ・ケアと緩和ケアの融合. 第18回福島県緩和医療研究会; 20230805; 郡山.

菅家智史. プログラム責任者超サバイバル会議. 第20回秋季生涯教育セミナー; 20230923; Web.

〔特別講演〕

葛西龍樹. 患者中心の医療の方法: 家庭医・総合診療医の専門性. 日本記者クラブ会見 「かかりつけ医を考える」(7); 20230213; 東京.

〔招待講演〕

Kassai R. Family Medicine in Japan: 三十年友誼的故事. National Taiwan University Hospital Family Medicine Lecture; 20230222; Taipei, Taiwan.

葛西龍樹. 家庭医・総合診療専門医の育成. 南相馬市立総合病院講演会; 20230124; 南相馬.

菅家智史. ACP（人生会議）のすすめ方～地域でACPを実践する体制づくり～. 令和4年度医療と介護の連携に関する研修会; 20230202; Web.

豊田喜弘. はじめての臨床プラネタリーヘルス！～人も地球もケアする医師を目指そう～. 第18回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー; 20230205; Web.

豊田喜弘. 総合診療医の多彩なキャリアの魅力～診断をテーマに『Genelink』と語る Generalist としての軌跡と未来～. 第26回日本病院総合診療医学会学術総会; 20230219; 宇都宮.

菅家智史. 人生100年時代の医療の使い方. 会津若松市民向け公開講座; 20230328; 会津若松.

豊田喜弘. Youは何しに学会へ？With Genelink. 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20230513; 名古屋.

豊田喜弘. 臨床指導ブートキャンプ～若手指導医のスキルアップ、まずはここから！～. 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20230514; 名古屋.

菅家智史. 忙しい現場でACPを実践するヒント. 鶴岡地区医師会勉強会; 20230714; 鶴岡.

菅家智史. 事例を通して考える 地域の医療機関の役割. ふくしまの地域医療を学ぶオータムセミナー2023; 20230902; 喜多方.

豊田喜弘. 熱中症・豪雨災害が増えている今こそ取り組みたい、診療所・病院・薬局での持続可能な気候変動対策. 第20回秋季生涯教育セミナー; 20230923; Web.

菅家智史. 本人の意向に沿った意思決定のための研修会. 令和5年度厚生労働省委託事業人生の最終段階における医療体制整備事業; 20231029; Web.

菅家智史. 本人の意向に沿った意思決定のための研修会. 令和5年度厚生労働省委託事業人生の最終段階における医療体制整備事業; 20231105; Web.

〔その他〕

葛西龍樹. 家庭医・総合診療医の育成：地域で支えていただいた方々への感謝～「前例のないこと」をしてくれた人たちの物語～. 福島県立医科大学医学部 最終講義; 20230301; 福島.

菅家智史. 行動変容を引き出すコミュニケーション. 新潟県看護協会研修会; 20230914; 新潟.

豊田喜弘. 医療連携、チーム医療. 福島医療専門学校鍼灸科 臨床実習II; 20231106; 郡山.

放射線健康管理学講座

論 文

〔原 著〕

Saito H, Igarashi K, Murakami F, Tanaka I, Nawata Y, Tanaka Y, Okuzono T, Tsubokura M, Hirasawa D, Nakahori M, Matsuda T. Impact of COVID-19 on the endoscopy department since the early phase of the pandemic in 2020: A questionnaire study among patients with canceled examinations at a single Japanese institution. *Asian Journal of Endoscopic Surgery*. 202301; 16(1):58-67.

Amir I, Eguchi Y, Saotome K, Ogawa S, Kojima Y, Tamaki T, Tsubokura M. The "GU-GU-RU" project to eliminate discrimination related to the health effects of the Fukushima nuclear accident. *BMC Public Health*. 202310; 23(1):2050.

Yoshimura H, Yamamoto C, Sawano T, Nishikawa Y, Saito H, Nonaka S, Zhao T, Ito N, Tashiro S, Ozaki A, Oikawa T, Tsubokura M. Impact of lifting the mandatory evacuation order after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on the emergency medical system: a retrospective observational study at Minamisoma City with machine learning analysis. *BMJ Open*. 202304; 13(4):e067536.

Kaneda Y, Ozaki A, Namba M, Sawano T, Wada M, Saito H, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Tachibana K, Tanimoto T, Ohtake T, Ejiri T, Shimmura H, Kanzaki N. The necessity of proactive measures from healthcare providers highlighted by delayed breast cancer diagnosis due to COVID-19: A case report. *Clinical Case Reports*. 202309; 11(9):e7919.

Hori A, Sawano T, Nonaka S, Tsubokura M. How to Deal With the Risk of Evacuation of Psychiatric Hospital in Nuclear Disaster: A Case Study. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202302; 17(3):e332.

Yoshida M, Kobashi Y, Shimazu Y, Saito H, Yamamoto C, Kawamura T, Wakui M, Takahashi K, Ito N, Nishikawa Y, Zhao T, Tsubokura M. Time course of adverse reactions following BNT162b2 vaccination in healthy and allergic disease individuals aged 5-11 years and comparison with individuals aged 12-15 years: an observational and historical cohort study. *European Journal of Pediatrics*. 202301; 182(1):123-133.

Tani Y, Takita M, Wakui M, Saito H, Nishiuchi T, Zhao T, Yamamoto C, Kawamura T, Sugiyama A, Nakayama A, Kaneko Y, Kodama T, Shinaha R, Tsubokura M. Five doses of the mRNA vaccination potentially suppress ancestral-strain stimulated SARS-CoV2-specific cellular immunity: a cohort study from the Fukushima vaccination community survey, Japan. *Frontiers in Immunology*. 202308; 14:1240425.

Abe T, Saito H, Moriyama N, Ito N, Takita M, Kinoshita Y, Ozaki A, Nishikawa Y, Yamamoto C, Zhao T, Sato M, Tsubokura M. Idobata-Nagaya: a community housing solution for socially isolated older adults following the great East Japan earthquake. *Frontiers in Public Health*. 202311; 11:1289552.

Ito N, Amir I, Saito H, Moriyama N, Furuyama A, Singh P, Montesino S, Yamamoto C, Sato M, Abe T, Zhao T, Tsubokura M. Multisite Lifestyle for Older People after the Fukushima Nuclear Disaster. *Geriatrics*. 202309; 8(5):87.

Kobashi Y, Haque SE, Amir I, Sakisaka K, Mubassara S, Tsubokura M. Examination of Cluster Groups of Risk Behaviors and Beliefs Associated with Non-Communicable Diseases with Latent Class Analysis: A Cross-Sectional Study in Rural Bangladesh. *Healthcare*. 202308; 11(16):2279.

Hashimoto T, Ozaki A, Nonaka S, Kotera Y, Sawano T, Tsubokura M, Ito K, Oikawa T. Assessment of drug needs and contributions of pharmacists in the aftermath of the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan: A combined analysis. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202311; 98:104102.

Kawashima M, Murakami M, Kobayashi T, Takebayashi Y, Tsubokura M, Yasutaka T, Tamaki T. Post-traumatic growth caused by the Great East Japan Earthquake and response to coronavirus disease 2019. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202309; 95:103917.

Kawashima M, Sawano T, Murakami M, Moriyama N, Kitazawa K, Uchi Y, Nonaka S, Ito N, Saito H, Abe T, Sakakibara M, Yagiuchi K, Otsuki M, Hori A, Ozaki A, Yamamoto C, Zhao T, Uchiyama T, Oikawa T, Niwa S, Tsubokura M. Association between the deaths indirectly caused by the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident (disaster-related deaths) and pre-disaster long-term care certificate level: A retrospective observational analysis. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202310; 96:103989.

Hori A, Murakami M, Tsubokura M. Against an insufficient intervention for patients with alcoholism or PTSD: An activity report on a psychiatric clinic after the 2011 complex disaster in Fukushima, Japan. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202310; 96:103990.

Sawano T, Senoo Y, Nonaka S, Ozaki A, Nishikawa Y, Hori A, Kotera Y, Murakami M, Zhao T, Tsubokura M. Mortality risk associated with nuclear disasters depends on the time during and following evacuation of hospitals near nuclear power plants: An observational and qualitative study. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202302; 85:103514.

Ito N, Moriyama N, Furuyama A, Saito H, Sawano T, Amir I, Sato M, Kobashi Y, Zhao T, Yamamoto C, Abe T, Tsubokura M. Why Do They Not Come Home? Three Cases of Fukushima Nuclear Accident Evacuees. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202302; 20(5):4027.

Kaneda Y, Ozaki A, Saito H, Sawano T, Tsubokura M. Long-term Health Risks of Cancer in Ukraine: Insights from the 2011 Fukushima Triple Disaster Experience. *JMA Journal*. 202301; 6(1):81-82.

Sampada G, Bhandari D, Yamamoto C, Zhao T, Tsubokura M. A scoping review of maternal and neonatal health services impacted during COVID-19 in Nepal. *Journal of Global Health Reports*. 202308; 7:e2023048.

Yoshida M, Sawano T, Kobashi Y, Hori A, Nishikawa Y, Ozaki A, Nonaka S, Tsuboi M, Tsubokura M. Importance of continuing health care before emergency hospital evacuation: a fatal case of a hospitalized

patient in a hospital within 5 km radius of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 202302; 17(1):37.

Sanada Y, Yoshimura K, Sato R, Nakayama M, Tsubokura M. External exposure assessment in the Fukushima accident area for governmental policy planning in Japan: part 1: Methodologies for personal dosimetry applied after the accident. *Journal of Radiation Research*. 202301; 64(1):2-10.

Yoshimura K, Sanada Y, Sato R, Nakayama M, Tsubokura M. External exposure assessment in the Fukushima accident area for governmental policy planning in Japan: Part 2. Matters to be attended for assessments of external exposure. *Journal of Radiation Research*. 202303; 64(2):203-209.

Marui H, Sawano T, Yamamoto C, Zhao T, Nonaka S, Nishikawa Y, Ozaki A, Tsubokura M. Insights and viewpoints from a small-scale survey on current nuclear disaster preparedness measures in Japan after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. *Journal of Radiological Protection*. 202312; 43(4):043502.

Kobashi Y, Oguni M, Tsubokura M, Kanda N, Ito N, Ito S. The disparity of utilization rate among specific groups for a rapid spreading telehealth application called LEBER during the COVID-19 state of emergency in Japan. *Journal of Rural Medicine*. 202310; 18(4):233-240.

Kaneda Y, Tsubokura M, Ozaki A, Saito H, Tanimoto T. Are the issues pointed out by ChatGPT can be applied to Japan? - Examining the reasons behind high COVID-19 excess deaths in Japan. *New Microbes and New Infections*. 202306; 53:101116.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Uchiyama T, Takita M, Yonemura H, Tsubokura M, Shibuya K. Community-based sharing of vaccine adverse event information for public trust: a case of Soma city in Fukushima, Japan. *Public Health*. 202311; 224:e6-e7.

Amir I, Ito N, Tsubokura M. No need to panic over the release of "treated water" containing tritium from Fukushima Daiichi Nuclear Power Station. *QJM*. 202311; 116(11):957.

Kawakami H, Ozaki A, Kaneda Y, Asano S, Inai K, Hirooka S, Katoono A, Takagi R, Kosaka M, Murayama A, Sawano T, Shimamura Y, Tsubokura M, Kurokawa T, Tachibana K, Wada M, Tanimoto T, Ohtake T, Kitamura N, Ejiri T, Magome H, Shimmura H, Kanzaki N. Telepathology in intraoperative frozen section consultation of breast cancer sentinel node biopsy in Fukushima, Japan following the 2011 triple disaster: diagnostic accuracy and required time during the early implementation phase. *Rural and Remote Health*. 202311; 23(4):8496.

Yoshida M, Kobashi Y, Kawamura T, Shimazu Y, Nishikawa Y, Omata F, Saito H, Yamamoto C, Zhao T, Takita M, Ito N, Tatsuno K, Kaneko Y, Nakayama A, Kodama T, Wakui M, Takahashi K, Tsubokura M. Association of systemic adverse reaction patterns with long-term dynamics of humoral and cellular immunity

after coronavirus disease 2019 third vaccination. *Scientific Reports*. 202306; 13(1):9264.

Ozaki A, Saito H, Kaneda Y, Sawano T, Nishikawa Y, Murakami M, Tsubokura M, Hirai K, Ohira H. Long-term uptake rate of a breast cancer screening program in Fukushima, Japan, following the 2011 Triple Disaster: a retrospective observational study. *Scientific Reports*. 202304; 13(1):6654.

Saito H, Yoshimura H, Yoshida M, Tani Y, Kawashima M, Uchiyama T, Zhao T, Yamamoto C, Kobashi Y, Sawano T, Imoto S, Park H, Nakamura N, Iwami S, Kaneko Y, Nakayama A, Kodama T, Wakui M, Kawamura T, Tsubokura M. Antibody Profiling of Microbial Antigens in the Blood of COVID-19 mRNA Vaccine Recipients Using Microbial Protein Microarrays. *Vaccines*. 202311; 11(11):1694.

Tani Y, Takita M, Kobashi Y, Wakui M, Zhao T, Yamamoto C, Saito H, Kawashima M, Sugiura S, Nishikawa Y, Omata F, Shimazu Y, Kawamura T, Sugiyama A, Nakayama A, Kaneko Y, Kodama T, Kami M, Tsubokura M. Varying Cellular Immune Response against SARS-CoV-2 after the Booster Vaccination: A Cohort Study from Fukushima Vaccination Community Survey, Japan. *Vaccines*. 202304; 11(5):920.

Kawashima M, Saito H, Nishiuchi T, Yoshimura H, Wakui M, Tani Y, Nishikawa Y, Omata F, Takita M, Zhao T, Yamamoto C, Kobashi Y, Kawamura T, Sugiyama A, Nakayama A, Kaneko Y, Sawano T, Shibuya K, Kazama J, Shineha R, Tsubokura M. Antibody and T-Cell Responses against SARS-CoV-2 after Booster Vaccination in Patients on Dialysis: A Prospective Observational Study. *Vaccines*. 202301; 11(2):260.

〔その他〕

Suzuki T, Murayama A, Kotera Y, Bhandari D, Senoo Y, Tani Y, Harada K, Kawamoto A, Sato S, Sawano T, Miyata Y, Tsubokura M, Tanimoto T, Ozaki A. Correction: Suzuki et al. Cross-Country Student Perceptions about Online Medical Education during the COVID-19 Pandemic. *Int. J. Environ. Res. Public Health* 2022, 19, 2840. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202303; 20(7):5330.

甲状腺内分泌学講座

論 文

〔原 著〕

Sekino M, Iwadata M, Yamaya Y, Matsumoto Y, Suzuki S, Mizunuma H, Nakano K, Nakamura I, Suzuki S. Analysis of Expression of Programmed Cell Death Ligand 1 (PD-L1) and BRAF(V600E) Mutation in Thyroid Cancer. *Cancers*. 202306; 15(13):3449.

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M,

Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Ishii T, Miyasato Y, Ichijo M, Uchimura K, Furuya F. Membrane protease prostaticin promotes insulin secretion by regulating the epidermal growth factor receptor pathway. *Scientific Reports*. 2023; 13(1):9086.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Manabu I, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. *Scientific Reports*. 2023; 13(1):14254.

〔研究報告書〕

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 古屋文彦, 鈴木眞一. 独自の進歩を見せる日本の甲状腺癌治療学 6. 小児甲状腺癌の治療方針. *日本外科学会雑誌*. 2023; 124(1):38-43.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shio K, Yamaya Y, Suzuki S, Matsumoto Y, Suzuki S, Furuya F. Phosphorylated TERT contributes to the progression of papillary thyroid carcinomas. *American Thyroid Association Annual Meeting 2023*; 20230927; Washington, USA.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 頸部に発生した未分化多型肉腫の1例. 第50回日本乳癌甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京.

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 古屋文彦, 鈴木眞一. 機能性甲状腺結節の超音波診断. 第50回日本乳癌甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京.

山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 古屋文彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 細胞診検体を用いた遺伝子検索. 日本超音波医学会第96回学術集会; 20230527; さいたま.

金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一, 志村浩己. Digital PCR法を用いた甲状腺腫瘍術前遺伝子検査法の開発. 第55回日本臨床検査医学会東北支部総会・第34回日本臨床化学会東北支部総会; 20230902; 弘前.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. リン酸化 TERT は甲状腺乳頭がんの予後不良因子となる. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

多田羅妙佳, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 甲状腺扁平上皮癌4例の治療経験. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

鈴木聡, 岩館学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体・甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 頸部に発生した成熟奇形種の 1 例. 第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20231216; 東京.

〔シンポジウム〕

塩功貴. TERT、リン酸化 TERT の発現増加は甲状腺乳頭がんの予後不良因子となる. 第 24 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20230224; 福島.

塩功貴, 鈴木眞一, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 古屋文彦. SMI による甲状腺癌の血流評価. 第 34 回東北甲状腺談話会; 20230325; 盛岡.

〔その他〕

松本佳子 (座長). 一般演題 2 甲状腺 2. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京.

松本佳子 (座長). 一般演題 7 甲状腺 4. 第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20231217; 東京.

災害こころの医学講座

論 文

〔原 著〕

Nakao T, Murayama K, Fukuda H, Eto N, Fujita K, Igata R, Ishikawa K, Isomura S, Kawaguchi T, Maeda M, Mitsuyasu H, Murata F, Nakamura T, Nishihara T, Ohashi A, Sato M, Yoshida Y, Kawasaki H, Ozone M, Yoshimura R, Tatebayashi H. Survey of psychiatric symptoms among inpatients with COVID-19 using the Diagnosis Procedure Combination data and medical records in Japan. *Brain, Behavior, & Immunity - Health*. 202305; 29:100615.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Kawashima M, Murakami M, Kobayashi T, Takebayashi Y, Tsubokura M, Yasutaka T, Tamaki T. Post-traumatic growth caused by the Great East Japan Earthquake and response to coronavirus disease 2019. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202309; 95:103917.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Sato H, Maeda M, Takebayashi Y, Setou N, Shimada J, Kanari Y. Impact of Unexpected In-House Major COVID-19 Outbreaks on Depressive Symptoms among Healthcare Workers: A Retrospective Multi-Institutional Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202303; 20(6):4718.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

佐藤秀樹, 伊藤理紗, 小野はるか, 畑琴音, 鈴木伸一. 強化感受性, 反芻, 抑うつと労働遂行能力の低下の関連 地方公共団体の職員を対象とした検討. *Journal of Health Psychology Research*. 202302; 35(1-2):101-109.

佐藤秀樹, 前田正治, 小林智之, 竹林唯. COVID-19 禍における勤労者の心理社会的負担 テキストマイニングを用いた探索的検討. *Journal of Health Psychology Research*. 202302; 35(1-2):111-120.

佐藤秀樹, 前田正治. [レクチャーシリーズ]用語集 反すう(rumination). *トラウマティック・ストレス*. 202306; 21(1):79.

佐藤秀樹, 前田正治. 【原発事故と健康影響—福島県民健康調査と風評対策】福島原発事故・県民健康調査 福島県被災者のこころの健康度と生活習慣の特徴と推移. *公衆衛生*. 202311; 87(11):1120-1127.

前田正治. 【さまざまな場面におけるトラウマ, その影響, そして対応】原子力災害とメンタルヘルス その影響とケア. *精神科*. 202308; 43(2):151-156.

前田正治. 【複合的困難を抱える人達のための精神科医療】福島被災者の心の問題を考える あいまいな喪失と marginality. *精神科治療学*. 202308; 38(8):957-962.

前田正治. 【コロナパンデミック後の病院スタッフのメンタルヘルスケア】医療スタッフを襲うコロナ・トラウマとそのケア クラスタ発生に焦点を当てて. *病院*. 202302; 82(2):109-113.

大江美佐里, 前田正治. 【エキスパートの知識と技に学ぶ】ICD-11 における複雑性 PTSD の理解と対応. 福岡行動医学雑誌. 202309; 29(1):29-32.

〔その他〕

Ando R, Koyama Y, Kobayashi T, Sasaki D, Akimoto N, Schneider T, Lochard J, Kanai Y. Report on the 24th Fukushima Dialogue “Creating the Future of Fukushima Together With The Next Generation”. Radioprotection. 202307; 58(3):161-167.

加藤寛, 前田正治, 矢田部裕介, 松本和紀. こころのケアセンターと災害後中長期の支援. ト라우マティック・ストレス. 202312; 21(2):167-176.

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響 福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202302; 33(Suppl.1):141.

安村誠司, 大平哲也, 石川徹夫, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 藤森敬也, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」の実績と現状. Journal of Epidemiology. 202302; 33(Suppl.1):153.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連 横断研究 福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202302; 33(Suppl.1):172.

黒川雅代子, 瀬藤乃理子, 石井千賀子. 行方不明者家族のあいまいな喪失. 家族療法研究. 202304; 40(1):35-36.

板垣俊太郎, 矢部博興, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 学校や地域での子どもたちのこころの状態、支援と連携システム 福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちへの支援 県民健康調査「ここから調査」より. 精神神経学雑誌. 202306; 2023(特別):S677.

石井なつみ, 江口依里, 前田正治, 安村誠司, 矢部博興, 高橋敦史, 高瀬佳苗, 神谷研二, 林史和, 大平哲也. 東日本大震災後の福島県における食品摂取頻度と糖尿病発症リスクとの関連 県民健康調査. 東北公衆衛生学会誌. 202307; (72):36.

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty liver index との関連: 福島県県民健康調査. 日本循環器病予防学会誌. 202305; 58(2):147.

平井裕之, 長尾匡則, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 高橋敦史, 風間順一郎, 安村誠司, 島袋充生. 心理的負担は男性の糖尿病新規発症の予測因子である 福島県「県民健康調査」. 日本内分泌学会雑誌. 202302; 112(臨増):178.

書籍等出版物

瀬藤乃理子, 広瀬寛子. グリーフケアとグリーフカウンセリング: 死別と悲嘆へのサポート実践ガイド. 東京: 日本評論社; 202312.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小林智之, 小林明美, 日高友郎, 水木理恵, 前田正治. 福島第一原発事故後の被災地自治体で健康的に働き続けるための阻害要因. 第 96 回日本産業衛生学会; 20230510; 宇都宮.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 濱谷由香, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査における受診者・家族への不安へのアプローチ: 心理的サポートに関する有効性の検討. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):133.

瀬藤乃理子. 災害時の「支援者支援」を考える. 東北大学医療コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム; 20230610; 仙台.

瀬藤乃理子. コミュニケーションの奥深さを考えよう. 気仙薬剤師会・大船渡市 令和 5 年度第 2 回研修会; 20230623; 大船渡.

瀬藤乃理子. 自死遺族支援の基礎. 愛知県精神保健福祉センター自死遺族対応研修; 20230718; 名古屋.

小林智之, 前田正治. 黒い雨降雨地域におけるトラウマ体験の語りの分類. 第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20230805; 東京.

瀬藤乃理子. 遺族対応の基本～遺族支援の考え方と基本的介入～. 悲嘆の理解と遺族への支援 専門・課題研修; 20230810; 神戸.

瀬藤乃理子. ケアする人のケアバーンアウトや共感疲労を防ぐために個人や組織ができること. 第 43 回阪神緩和医療研究会; 20230908; Web.

小林智之, 日高友郎, 水木理恵, 小林明美, 前田正治. 原発事故後の福島県への移住者に対するインタビュー調査: 移住プロセスの実態と移行ニーズの探索. 日本心理学会第 87 回大会; 20230916; 神戸.

瀬藤乃理子. 遺族ケアの基本的な考え方と実践の留意点～遺族ケアガイドラインを現場に生かす～. 日本サイコロジ学会多職種支援セミナー; 20230923; Web.

瀬藤乃理子. コロナ・パンデミックの支援から学ぶ～心理職が貢献できること～. 令和 5 年度福島県臨床心理士会医療保健委員会・被害者支援委員会合同研修会; 20231015; 福島県 ※都市名.

瀬藤乃理子. 災害と保健師のメンタルヘルス～コロナの経験を次に繋ぐ～. 神奈川県保健師協議会; 20231111; Web.

小林智之, 吉田和樹, 津田菜摘. 新型コロナウイルス感染症に伴う差別の特徴: 保健師を対象とした調査の質的分析. 日本健康心理学会第 36 回大会; 20231203; 横浜.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査二次検査における受診者家族の不安の差異に関する検討—親子の性別に着目して—. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231208; 金沢.

〔シンポジウム〕

前田正治. Multi-dimensional psychosocial impacts after the 2011 Fukushima nuclear disaster: Mental health problems and challenges to mitigate them in Fukushima. APA 2023 Annual Meeting: JSPN Joint Symposium; 20230520-25; San Francisco, USA.

瀬藤乃理子. 死別後の遺族の精神症状: 遺族ケアガイドラインのエッセンス. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230318; 福岡.

前田正治. ロシアによるウクライナ侵攻と核危機: WHO フレームワークから見たメンタルヘルス上の懸念. 第 119 回日本精神神経学会学術総会; 20230622-24; 横浜. 精神神経学雑誌. 2023(特別号):S310.

前田正治. 東日本大震災後の福島県における妊産婦と子どもの健康. 第 11 回日本 DOHaD 学会学術集会; 20230804; 福島.

高橋晶, 池田美樹, 大久保善朗, 佐藤秀樹, 岩切昌宏. 様々な災害とトラウマを考える. 第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20230805-06; 東京.

前田正治. 当学会の PTSD 治療のガイドラインの作成について. 第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20230806; 東京.

佐藤秀樹, 陶貴行, 本田真大, 北原祐理, 日高友郎, 中村菜々子, 国里愛彦. 当事者の声を尺度に届ける一尺度開発における質的研究アプローチ. 日本心理学会第 87 回大会; 20230915-17; 神戸.

小林智之, 外柳万里. 災害公営住宅におけるコミュニティ形成支援を考える. 第 36 回日本リスク学会年次大会; 20231112; 札幌.

〔特別講演〕

前田正治. 災害と支援者危機: 原発災害後の被災自治体職員のメンタルヘルスを考える. 第 82 回日本産業衛生学会東北地方会; 20230722; 福島.

〔招待講演〕

小林智之. 原発災害に伴う被災地自治体の変化: 行政職員における健康に働き続ける要因のインタビュー調査から. 日本質的心理学会第 20 回大会; 20231105; 茨木.

〔その他〕

小林智之. 福島第一原発事故後の被災地自治体で健康的に働き続けるための要因. コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム災害メンタルケア実習; 20230610; Web.

放射線腫瘍学講座

論 文

〔原 著〕

Miyasaka Y, Yoshimoto Y, Ando K, Murata K, Irie D, Sato H, Noda SE, Ikota H, Nakano T, Yokoo H, Ohno T. CD8-positive Tumor-infiltrating Lymphocytes and Prognosis in Radiotherapy for Uterine Cervical Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202305; 43(5):2077-2084.

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202310; 43(10):4691-4700.

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. *Cancer Reports*. 202307; 6(7):e1832.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Takimoto R, Kamigaki T, Ito H, Saito M, Takizawa K, Soejima K, Yasuda H, Ohgino K, Terai H, Tomita K, Miura M, Mizukoshi E, Miyashita T, Nakamoto Y, Hayashi K, Miwa S, Kitahara M, Takeuchi A, Kimura H, Mochizuki T, Sugie H, Seino KI, Yamada T, Takeuchi S, Makita K, Naitoh K, Yasumoto K, Yoshida Y, Inoue H, Kotake K, Ohshima K, Noda SE, Okamoto M, Yoshimoto Y, Okada S, Ibe H, Oguma E, Goto S; CITEG. Safety evaluation of immune-cell therapy for malignant tumor in the Cancer Immune-cell Therapy Evaluation Group. *Cytotherapy*. 202311; 25(11):1229-1235.

Oike T, Osu N, Yoshimoto Y, Obinata H, Yoshikawa K, Harris CC, Ohno T. Pilot study of plasma creatine riboside as a potential biomarker for cervical cancer. *Heliyon*. 202306; 9(6):e16684.

Yamakuni R, Sekino H, Ikeda M, Endo Y, Ikeda M, Ishii S, Fukushima K, Murono S, Suzuki Y, Ito H. Complete response of glottic cancer to intra-arterial infusion chemotherapy combined with radiotherapy: A report of 4 cases. Radiology Case Reports. 2023;18(12):4514-4521.

Kawagoe F, Mototani S, Mendoza A, Takemoto Y, Uesugi M, Kittaka A. Structure-activity relationship studies on vitamin D-based selective SREBP/SCAP inhibitor KK-052. RSC Medicinal Chemistry. 2023;14(10):2030-2034.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

吉本由哉. FGF 受容体ファミリーの変異が子宮頸癌放射線治療予後に及ぼす影響. 第 20 回日本免疫治療学会学術集会; 20230610; 東京.

吉本由哉, 尾池貴洋, 安藤謙, 鈴木義行, 大野達也. 子宮頸癌におけるドライバー変異の同定と、簡便なリキッドバイオプシー開発のための基礎的検討. 第 60 回日本放射線腫瘍学会生物部会学術大会; 20230623-24; 京都.

竹本靖, 竹本操, 吉本由哉, 鈴木義行. プロテオミクスによる X 線照射により分解されるタンパク質の同定. 第 149 回日本医学放射線学会北日本地方会; 20231021; 仙台.

腫瘍内科学講座

論 文

〔原 著〕

Nomura T, Kawai M, Fukuma Y, Koike Y, Ozaki S, Iwasaki M, Yamamoto S, Takamatsu K, Okamura H, Arai M, Ootani S, Iwata H, Saji S. Alcohol consumption and breast cancer prognosis after breast cancer diagnosis: a systematic review and meta-analysis of the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline, 2022 edition. Breast Cancer. 2023;30(4):519-530.

Terada M, Ito A, Kikawa Y, Koizumi K, Naito Y, Shimoi T, Ishihara M, Yamanaka T, Ozaki Y, Hara F, Nakamura R, Hattori M, Miyashita M, Kondo N, Yoshinami T, Takada M, Matsumoto K, Narui K, Sasada S, Iwamoto T, Hosoda M, Takano Y, Oba T, Sakai H, Murakami A, Higuchi T, Tsuchida J, Tanabe Y, Shigechi T, Tokuda E, Harao M, Kashiwagi S, Mase J, Watanabe J, Nagai SE, Yamauchi C, Yamamoto Y, Iwata H, Saji S, Toyama T. The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of

breast cancer, 2022 edition. *Breast Cancer*. 202311; 30(6):872-884.

Murakami-Nishimagi Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Tachibana K, Kojima M, Okano M, Hashimoto Y, Saji S, Ohtake T, Chiba H. Claudin-4-adhesion signaling drives breast cancer metabolism and progression via liver X receptor β . *Breast Cancer Research*. 202304; 25(1):41.

Watanabe K, Niikura N, Kikawa Y, Oba M, Kobayashi K, Tada H, Ozaki S, Toh U, Yamamoto Y, Tsuneizumi M, Okuno T, Iwakuma N, Takeshita T, Iwamoto T, Ishiguro H, Masuda N, Saji S. Fulvestrant plus palbociclib in advanced or metastatic hormone receptor-positive/human epidermal growth factor receptor 2-negative breast cancer after fulvestrant monotherapy: Japan Breast Cancer Research Group-M07 (FUTURE trial). *Breast Cancer Research and Treatment*. 202306; 199(2):253-263.

Adachi Y, Asaga S, Kumamaru H, Kinugawa N, Sagara Y, Niikura N, Jinno H, Saji S, Toi M. Analysis of prognosis in different subtypes of invasive lobular carcinoma using the Japanese National Cancer Database-Breast Cancer Registry. *Breast Cancer Research and Treatment*. 202310; 201(3):397-408.

Takada M, Imoto S, Ishida T, Ito Y, Iwata H, Masuda N, Mukai H, Saji S, Ikeda T, Haga H, Saeki T, Aogi K, Sugie T, Ueno T, Ohno S, Ishiguro H, Kanbayashi C, Miyamoto T, Hagiwara Y, Toi M. A risk-based subgroup analysis of the effect of adjuvant S-1 in estrogen receptor-positive, HER2-negative early breast cancer. *Breast Cancer Research and Treatment*. 202312; 202(3):485-496.

Ishizuka Y, Horimoto Y, Morita M, Kawamura Y, Sekine K, Obayashi S, Kojima Y, Tokuda E, Higuchi T, Shimomura A. The Impact of Being Underweight on the Prognosis of Older Patients With Early Breast Cancer. *Cancer Diagnosis & Prognosis*. 202311; 3(6):678-686.

Masuyama M, Masuda N, Kawaguchi H, Yamamoto Y, Saji S, Nakayama T, Aogi K, Anan K, Ohtani S, Sato N, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M, Yamashita T, Yotsumoto D, Toi M, Ohno S. Fulvestrant with or without anti-HER2 therapy in patients in a postmenopausal hormonal state and with ER-positive HER2-positive advanced or metastatic breast cancer: A subgroup analysis of data from the Safari study (JBCRG-C06). *Cancer Medicine*. 202309; 12(17):17718-17730.

Natori Y, Suga J, Tokuda E, Tachibana K, Imai J, Honma R, Azami Y, Noda M, Sasaki E, Watanabe S, Ohtake T, Saji S. E3 Ubiquitin Ligase NEDD4 Affects Estrogen Receptor α Expression and the Prognosis of Patients with Hormone Receptor-Positive Breast Cancer. *Cancers*. 202301; 15(2):539.

Dent RA, Cescon DW, Bachelot T, Jung KH, Shao ZM, Saji S, Traina TA, Vukovic P, Mapiye D, Maxwell MJ, Schmid P, Cortés J. TROPION-Breast02: Datopotamab deruxtecan for locally recurrent inoperable or metastatic triple-negative breast cancer. *Future Oncology*. 202311; 19(35):2349-2359.

Iwata H, Nakamura R, Masuda N, Yamashita T, Yamamoto Y, Kobayashi K, Tsurutani J, Iwasa T, Yonemori K, Tamura K, Aruga T, Tokunaga E, Kaneko K, Lee MJ, Yuno A, Kawabata A, Seike T, Kaneda A, Nishimura Y, Trepel JB, Saji S. Efficacy and exploratory biomarker analysis of entinostat plus exemestane in advanced or recurrent breast cancer: phase II randomized controlled trial. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202301; 53(1):4-15.

Kawaguchi H, Yamamoto Y, Saji S, Masuda N, Nakayama T, Aogi K, Anan K, Ohtani S, Sato N, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M, Yamashita T, Yotsumoto D, Toi M, Ohno S. Retrospective study on the effectiveness of medroxyprogesterone acetate in the treatment of ER-positive/HER2-negative post-menopausal advanced breast cancer: an additional analysis of the JBCRG-C06 Safari study. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202303; 53(3):203-211.

Iwase T, Saji S, Iijima K, Higaki K, Ohtani S, Sato Y, Hozumi Y, Hasegawa Y, Yanagita Y, Takei H, Tanaka M, Masuoka H, Tanabe M, Egawa C, Komoike Y, Nakamura T, Ohtsu H, Mukai H. Postoperative Adjuvant Anastrozole for 10 or 5 Years in Patients With Hormone Receptor-Positive Breast Cancer: AERAS, a Randomized Multicenter Open-Label Phase III Trial. *Journal of Clinical Oncology*. 202306; 41(18):3329-3338.

Krop IE, Masuda N, Mukohara T, Takahashi S, Nakayama T, Inoue K, Iwata H, Yamamoto Y, Alvarez RH, Toyama T, Takahashi M, Osaki A, Saji S, Sagara Y, O'Shaughnessy J, Ohwada S, Koyama K, Inoue T, Li L, Patel P, Mostillo J, Tanaka Y, Sternberg DW, Sellami D, Yonemori K. Patritumab Deruxtecan (HER3-DXd), a Human Epidermal Growth Factor Receptor 3-Directed Antibody-Drug Conjugate, in Patients With Previously Treated Human Epidermal Growth Factor Receptor 3-Expressing Metastatic Breast Cancer: A Multicenter, Phase I/II Trial. *Journal of Clinical Oncology*. 202312; 41(36):5550-5560.

Turner NC, Oliveira M, Howell SJ, Dalenc F, Cortes J, Gomez Moreno HL, Hu X, Jhaveri K, Krivorotko P, Loibl S, Morales Murillo S, Okera M, Park YH, Sohn J, Toi M, Tokunaga E, Yousef S, Zhukova L, de Bruin EC, Grinsted L, Schiavon G, Foxley A, Rugo HS; CAPItello-291 Study Group. Capivasertib in Hormone Receptor-Positive Advanced Breast Cancer. *New England Journal of Medicine*. 202306; 388(22):2058-2070.

勝部暢介, 佐治重衡, 岡野舞子, 石野淳, 高橋昌一, 後藤政広, 牛尼美年子, 菅野康吉, 吉田輝彦, 野水整. 血管肉腫の同胞発症がみられた 1 家系. 遺伝性腫瘍. 202303; 22(4):106-111.

〔総説等〕

新倉直樹, 相良安昭, 佐治重衡. The review of clinical study JBCRG-ABCD project. *Cancer Board of the Breast*. 202305; 7(2):67.

名取穰, 佐治重衡. がん免疫療法の診断と治療の現状と展望: がん抗体療法の進歩 乳がん HER2 抗体薬物複合体などの抗体療法の現状と進歩. *Vita*. 202301; 40(1):37-41.

書籍等出版物

佐治重衡 (診療ガイドライン委員会 委員長), 日本乳癌学会 編. 患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2023 年版. 東京: 金原出版; 202301.

宮本康敬, 佐治重衡, 野田勝. 53. 初期乳癌. In: 日本アプライド・セラピューティクス学会. 2 ページで理解する標準薬物治療ファイル 改訂 4 版. 東京: 南山堂; 202303. p.106-107.

宮本康敬, 佐治重衡, 野田勝. 54. 転移・再発乳癌. In: 日本アブライド・セラピューティクス学会. 2 ページで理解する標準薬物治療ファイル 改訂 4 版. 東京: 南山堂; 202303. p.108-109.

戸井雅和 監修, 佐治重衡, 増田慎三 編集. 乳癌薬物療法の要点と盲点. 東京: 文光堂; 202306.

佐治重衡. I 基本事項 1. 基本アルゴリズムの理解のしかた b. 進行・再発期治療. In: 戸井雅和 監修, 佐治重衡, 増田慎三 編集. 乳癌薬物療法の要点と盲点. 東京: 文光堂; 202306. p.12-15.

徳田恵美. II 術前・術後薬物療法の要点と盲点 B. 内分泌法 2. タモキシフェン・トレミフェン. In: 戸井雅和 監修, 佐治重衡, 増田慎三 編集. 乳癌薬物療法の要点と盲点. 東京: 文光堂; 202306. p.116-118.

徳田恵美. III 進行・再発乳癌に対する薬物療法の要点と盲点 C. HR 陽性乳癌 2. タモキシフェン・トレミフェン. In: 戸井雅和 監修, 佐治重衡, 増田慎三 編集. 乳癌薬物療法の要点と盲点. 東京: 文光堂; 202306. p.188-190.

徳田恵美. 免疫チェックポイント阻害薬を用いる際のポイントについて教えてください(2) irAE の早期発見・早期対策. In: 大野真司, 戸井正和. トリプルネガティブ乳癌 Q&A. 東京: 医歯薬出版; 202307. p.152-153.

徳田恵美. 免疫チェックポイント阻害薬を用いる際のポイントについて教えてください(2) 毒性への対応. In: 大野真司, 戸井正和. トリプルネガティブ乳癌 Q&A. 東京: 医歯薬出版; 202307. p.154-155.

佐治重衡, 徳田恵美. 4 章 ホルモン療法薬～性ホルモンが関わるがんへのホルモン供給を阻止 A. 乳がん・前立腺がんを使用するもの a GnRH アゴニスト. In: 南博信, 寺田智祐. 図解ですっきり！抗がん薬の薬理作用. 東京: 南山堂; 202307. p.169-172.

佐治重衡, 徳田恵美. 4 章 ホルモン療法薬～性ホルモンが関わるがんへのホルモン供給を阻止 B. 乳がんを使用するもの a アロマターゼ阻害薬, プログステロン. In: 南博信, 寺田智祐. 図解ですっきり！抗がん薬の薬理作用. 東京: 南山堂; 202307. p.173-175.

佐治重衡, 徳田恵美. 4 章 ホルモン療法薬～性ホルモンが関わるがんへのホルモン供給を阻止 B. 乳がんを使用するもの b 抗エストロゲン薬. In: 南博信, 寺田智祐. 図解ですっきり！抗がん薬の薬理作用. 東京: 南山堂; 202307. p.176-178.

佐治重衡 (監修). ホルモン療法薬. In: 医療情報科学研究所. 消化器系の疾患と薬; 感染症と薬; 悪性腫瘍と薬 (薬がみえる vol.3 第 2 版). 東京: メディックメディア; 202309. p.410-411.

佐治重衡 (監修). 乳房のがん. In: 医療情報科学研究所. 消化器系の疾患と薬; 感染症と薬; 悪性腫瘍と薬 (薬がみえる vol.3 第 2 版). 東京: メディックメディア; 202309. p.472-483.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Saji S. Clinical trials in focus: Featured Clinical Trials ④. Best of SABCS 2022 in Kyoto; 20230114; Web.

Natori Y, Sasaki E, Suga J, Kimura-Tsuchiya R, Tokuda E, Saji S. The exploratory case-control study on prediction of immune checkpoint inhibitor-induced thyroiditis by human leukocyte antigen types. 2023 ASCO Annual Meeting; 20230603; Chicago, USA.

Kimura-Tsuchiya R, Saito M, Goto A, Suzuki R, Tokuda E, Watanabe T, Sano H, Saji S. The usefulness of pre-order medical record checking for the insurance covered Comprehensive Genomic Profiling test. 第20回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230316; 福岡/Web.

Izumi K, Iyoda T, Yokota A, Higuchi K, Sasaki E, Saji S. Usefulness of Urine dipstick test in the management of adverse events associated with immune checkpoint inhibitors. 第20回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230317; 福岡/Web.

Tokuda E, Tachibana K, Okano M, Kimura-Tsuchiya R, Noda M, Murakami Y, Hoshi N, Natori Y, Abe S, Iyoda T, Sasaki E, Kuroda J, Ootake T, Saji S. Endocrine toxicities associated with Immune Checkpoint Inhibitors in breast cancer patients in our hospital. 第20回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230318; 福岡/Web.

徳田恵美, 木村礼子, 岡野舞子, 赤間孝典, 門馬智之, 渡邊尚文. 当院におけるがん遺伝子パネル検査にてPVPGを認めた症例への対応の現状とその課題. 第29回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

池添祐貴, 添田周, 及川雅啓, 名取穰, 加藤麻美, 岡部慈子, 三浦秀樹, 佐藤哲, 加茂矩士, 木村礼子, 古川茂宜, 渡邊尚文, 鈴木博志, 佐治重衡, 藤森敬也. Pembrolizumab投与後に心筋炎を発症した、血管周囲性類上皮細胞腫瘍の1例. 第153回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会; 20230617; 秋田.

高田正泰, 佐治重衡, 上野貴之, 増田慎三, 石黒洋, 石田孝宣, 佐伯俊昭, 大野真司, 岩田広治, 杉江知治, 青儀健二郎, 松山裕, 戸井雅和. Updated survival outcomes of the POTENT trial of adjuvant S-1 and endocrine therapy in ER+/HER2- EBC. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

富口麻衣, 川口英俊, 山本豊, 佐治重衡, 増田慎三, 中山貴寛, 青儀健二郎, 阿南敬生, 大谷彰一郎, 金子耕司, 徳永えり子, 中村清吾, 長谷川善枝, 服部正也, 藤澤知巳, 森田智視, 山口美樹, 山下年成, 戸井雅和, 大野真司. ER陽性/HER陰性進行再発乳癌に対する酢酸メドロキシprogesteroneの有効性に関する検討. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

野村長久, 福岡佑菜, 大谷彰一郎, 河合賢朗, 尾崎慎治, 岡村仁, 高松潔, 新井正美, 岩崎基, 山本精一郎, 岩田広治, 佐治重衡. 低用量のアルコール摂取習慣が乳癌患者へ及ぼす影響について. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

三野瞳美, 谷口加寿子, 吉本由哉, 佐治重衡. Treatment patterns, healthcare resource utilization, and outcomes for early stage TNBC in Japan. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

森田翠, 下村昭彦, 樋口徹, 徳田恵美, 堀本義哉, 石塚由美子, 小島勇貴, 関根克敏, 尾林紗弥香, 河村雪乃, 阪口晃一, 直居靖人. 高齢者乳癌における乳房温存術後全乳房照射の意義—多施設共同後方視研究—. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230701; 横浜.

〔シンポジウム〕

立花和之進, 東條華子, 阿部貞彦, 尾崎章彦, 西間木祐子, 星信大, 野田勝, 赤間孝典, 伊與田友和, 岡野舞子, 竹村真生子, 徳田恵美, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹徹. 当施設における乳癌診療の均てん化の試みと課題. 第20回日本乳癌学会東北地方会; 20230304; 仙台/Web.

岡野舞子, 勝部暢介, 赤間孝典, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 野田勝, 立花和之進, 長塚美樹, 徳田恵美, 松崎正實, 片方直人, 佐治重衡, 野水整, 大竹徹. 福島県における HBOC 診療の現状報告と今後の課題. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

〔特別講演〕

徳田恵美. TNBC に対する術前・術後免疫療法と irAE 対策. 第20回日本乳癌学会東北地方会; 20230302; 仙台/Web.

佐治重衡. 大きな変化を迎えた HER2 陽性進行再発乳癌の治療戦略. 第29回日本乳癌疾患研究会; 20230325; 札幌/Web.

安立弥生, 麻賀創太, 隈丸拓, 相良安昭, 新倉直樹, 神野浩光, 佐治重衡, 戸井雅和. NCD 乳癌登録を用いた Invasive lobular carcinoma のサブタイプ別の予後に関する研究. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

佐治重衡, 森田智視. 日本乳癌学会におけるビッグデータサイエンスの方向性. 第31回日本乳癌学会学術総会; 20230629; 横浜.

放射線災害医療学講座

論 文

〔原 著〕

Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Akahane K, Yasumura S, Kamiya K, Suzuki G. Comparison between external and internal doses to the thyroid after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radiation Research. 202303; 64(2):387-398.

大葉隆, 真船浩一, 菅野修一, 佐藤健一, 長谷川有史. 原子力災害に対応できる診療放射線技師の人材育成の要点ー福島第一原子力発電所事故の経験と教訓から. JART. 202302; 70(2):131-140.

長谷川有史. 福島リポート(第35回) オンサイト医療 原子力施設で誰が命を救うのか. 日本医事新報. 202303;

5159:54-57.

長谷川有史. 治療法の再整理とアップデートのために専門家による私の治療 放射線被ばく. 日本医事新報. 202305; 5167:46-47.

〔研究報告書〕

井山慶大, 長谷川有史. 仮想空間でアバターを用いた原子力災害対応シミュレーションソフトによる web 実習. 日本救急医学会雑誌. 202310; 34(10):435-437.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

長谷川有史. 災害医学研究の社会還元. 第 28 回日本災害医学会総会・学術集会; 20230311; 盛岡. 抄録集. 225.

長谷川有史. 災害訓練ソフトウェア Kawauchi Legends の開発と運用—Post COVID-19 を視野に. 第 1 回東日本大震災・原子力災害学術研究集会; 20230317; 福島. 抄録集. 91-92.

長谷川有史. 災害訓練ソフトウェア Kawauchi Legends の開発と運用への想い—Post COVID-19 を視野に. 長崎大学復興推進拠点活動報告会; 20230320; 双葉町.

大葉隆, 井山慶大, 佐藤久志, 保田浩志, 長谷川有史. 施設整備状況から見た原子力災害への準備状況と施設指定経過年数の関連性. 第 7 回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20230603; Web. 抄録集. 73-75.

長谷川有史. 原子力災害医療対応施設の整備状況に関する調査ソフトとハードの関連に着目して—. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京.

〔シンポジウム〕

長谷川有史. Interprofessional disaster training using VR platform -beyond the COVID-19 pandemic using the original 3D/VR online simulator for CBRNE disaster. 2023 International Conference in Healthcare Simulation, MaSSH-PASSH; 20230318; Subang Jaya, Malaysia.

長谷川有史. On site nuclear response and preparedness; radiation risk during the recent decommissioning work. 17th Coordination Meeting of the WHO REMPAN; 20230913-15; Seoul, Korea.

長谷川有史. 原子力災害時の前線病院における看護師の活躍. 日本放射線看護学会第 12 回学術集会; 20230909-10; 長崎.

〔特別講演〕

高田千恵, 長谷川有史. 総合的内部被ばく対応システム開発への取り組み—放射性核種による内部被ばく／創傷

部汚染に対する医療対応プロトコール原案の検討－第11回日本放射線事故・災害医学会; 20230916; 弘前.

〔その他〕

長谷川有史. 令和4年度上級放射線ファーマシストフォローアップ研修. 20230122; Web.

長谷川有史（座長）. 東日本大震災 被災地からの発信. 第28回日本災害医学会総会・学術集会; 20230310; 盛岡. 抄録集. 59.

長谷川有史（座長）. 放射線災害対応の過去・現在、そして未来－誰が命を救うのか. 第28回日本災害医学会総会・学術集会; 20230310; 盛岡. 抄録集. 62.

長谷川有史（座長）. 原子力災害（DMAT）. 第28回日本災害医学会総会・学術集会; 20230311; 盛岡. 抄録集. 108.

長谷川有史. 原子力安全・セキュリティー情報・透明性高等委員会視察団説明会. 20230426; 福島.

長谷川有史. 福島県立医科大学「院内被ばく医療セミナー」のご紹介（インタビュー記事）. FBNews. 202306; 559:6-10.

長谷川有史. トリアージVRで学ぶ. 読賣新聞（夕刊）; 20230724.

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

論 文

〔原 著〕

Ouchi K, Oi N, Yabuki S, Konno S. Total Talar Replacement for Idiopathic Osteonecrosis of the Talus: Investigation of Clinical Outcomes, Pain, ADL, QOL. Foot & Ankle Orthopaedics. 202302; 8(1):24730114231154211.

Ouchi K, Oi N, Sato M, Yabuki S, Konno SI. Chopart amputation with tendon balancing. Fukushima Journal of Medical Science. 202304; 69(1):67-71.

Sato M, Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Otani K, Konno SI, Oi N. Relationship between dysphagia and motor function in community-dwelling older people. Geriatrics & Gerontology International. 202308; 23(8):603-608.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kannno K, Oi N, Ueda T, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. Schizophrenia Research. 202304; 254:40-41.

蛭田亮, 二村美也子, 藤井正純. 【The モニタリングー基本から応用まで】術式別 覚醒下手術 高次脳機能温存を目指して. Neurological Surgery. 202305; 51(3):540-550.

二村美也子, 藤井正純. 【覚醒下手術の最前線ー臨床的意義と神経科学】覚醒下手術におけるリハビリスタッフの役割 現状と今後の課題. 医学のあゆみ. 202308; 286(9):723-727.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

二村美也子, ムダシル バキット, 蛭田亮, 黒見洋介, 藤井正純. 脳腫瘍術後の文字言語障害患者における病巣局在研究. 第 25 回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20230224-25; 名古屋.

二村美也子, 蛭田亮, 前澤聡, 小林俊輔, 藤井正純. 多言語話者に対する覚醒下手術の経験. 第 28 回日本脳腫瘍の外科学会; 20230929-30; 長崎.

高橋雄一, 藤井進也, 刑部有祐, 星野大, 松本貴智, 他. 音楽的リズムトレーニングが統合失調症の MMN・H・BAT へ及ぼす影響について：中間報告. 日本臨床神経生理学第 53 回学術大会; 20231130; 福岡市. 臨床神経生理学. 51(5):561.

〔その他〕

二村美也子. 「栄養の谷」を考える～脳外科の術後の十分な栄養を摂取する工夫～. ネスレ栄養セミナー「栄養管理の谷」考える; 20230615; Web.

生体物質研究部門

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Homma MK. CK2α as a Cancer Recurrence Prognostic Factor in Solid Carcinomas. 2nd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference; 20230627-29; Kyoto.

Homma MK, Niida A, Hashimoto Y, Nomizu T, Suzuki H, Shirahige K, Homma Y. CK2 α in the nucleoli as a prognostic factor for solid carcinomas. The 25th International Charles Heidelberger Symposia on Cancer Research(第25回国際チャールズ・ハイデルバーガーがんシンポジウム); 20231118; Hiroshima.

Homma MK. Assessing molecular function of protein kinase CK2 in the nucleus and nucleolus. Workshop on Cancer Research for Well-Being 2023; 20230721; 熱海.

Homma MK, Muto S, Yamamoto S, Hashimoto Y, Suzuki H, Homma Y. Nuclear and nucleolar localization of protein kinase CK2 as a new prognostic factor for solid cancers. 第82回日本癌学会学術総会; 20230923; 横浜.

小椋正人, 八巻淳子, 本間美和子. ミトコンドリア活性酸素種による神経傷害性アストログリア活性化機構の解明. 第46回日本分子生物学会年会; 20231207; 神戸.

Homma MK, Kato R, Kishino H, Fukuda M, Yamamoto S, Homma Y. Upregulation of protein kinases for cancer signaling in the Fibrolamellar Hepatocellular Carcinoma model system. 第46回日本分子生物学会年会; 20231208; 神戸.

細胞科学研究部門

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

Inoue N. Molecular Mechanisms leading to Gamete Fusion in Mice. 24th Gordon Research Conference "Fertilization and Activation of Development"; 20230726; Holderness, NH, USA.

生体機能研究部門

論文

〔原著〕

Iguchi Y, Fukabori R, Kato S, Takahashi K, Eifuku S, Maejima Y, Shimomura K, Mzuma H, Mawatari A, Doi

H, Cui Y, Onoe H, Hikishima K, Osanai M, Nishijo T, Momiyama T, Benton R, Kobayashi K. Chemogenetic activation of target neurons expressing insect Ionotropic Receptors in the mammalian central nervous system by systemic administration of ligand precursors. *bioRxiv*. 202309; 10.1101/2023.09.11.557081.

Matsushita N, Kato S, Nishizawa K, Sugawara M, Takeuchi K, Miyasaka Y, Mashimo T, Kobayashi K. Highly selective transgene expression through the flip-excision switch system by using a unilateral spacer sequence. *Cell Reports Methods*. 202302; 3(2):100393.

Rios A, Nonomura S, Kato S, Yoshida J, Matsushita N, Nambu A, Takada M, Hira R, Kobayashi K, Sakai Y, Kimura M, Isomura Y. Reward expectation enhances action-related activity of nigral dopaminergic and two striatal output pathways. *Communications Biology*. 202309; 6(1):914.

Atsumi Y, Oisi Y, Odagawa M, Matsubara C, Saito Y, Uwamori H, Kobayashi K, Kato S, Kobayashi K, Murayama M. Anatomical identification of a corticocortical top-down recipient inhibitory circuitry by enhancer-restricted transsynaptic tracing. *Frontiers in Neural Circuits*. 202308; 17:1245097.

Takemoto M, Kato S, Kobayashi K, Song WJ. Dissection of insular cortex layer 5 reveals two sublayers with opposing modulatory roles in appetitive drinking behavior. *iScience*. 202306; 26(6):106985.

Li Q, Takeuchi Y, Wang J, Gellért L, Barcsai L, Pedraza LK, Nagy AJ, Kozák G, Nakai S, Kato S, Kobayashi K, Ohsawa M, Horváth G, Kékesi G, Lőrincz ML, Devinsky O, Buzsáki G, Berényi A. Reinstating olfactory bulb-derived limbic gamma oscillations alleviates depression-like behavioral deficits in rodents. *Neuron*. 202304; 111(13):2065-2075.e5.

Matsushita N, Kato S, Nishizawa K, Sugawara M, Takeuchi K, Miyasaka Y, Mashimo T, Kobayashi K. Protocol for highly selective transgene expression through the flip-excision switch system by using a unilateral spacer sequence in rodents. *STAR Protocols*. 202312; 4(4):102667.

書籍等出版物

Kobayashi K, Kato S, Kobayashi K. HiRet/NeuRet vectors: Lentiviral system for highly efficient gene transfer through retrograde axonal transport. In: Eldridge MAG, Galvan A eds. *Vectorology for Optogenetics and Chemogenetics (Neuromethods V.195 : Springer Protocols)*. New York, USA: Humana Press; 202302. p.17-27.

井口善生. 7-2 なぜ依存するの? (7章 動物のこころの不調から探る なぜ悩み, 病むのか?) In: 小川園子, 富原一哉, 岡田隆 編. *動物心理学入門 : 動物行動研究から探るヒトのこころの世界*. 東京: 有斐閣; 202307. p.117-119.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

深堀良二, 小林和人. ラットの両手間転移学習モデルにおける原学習と再学習の運動パフォーマンス. 第14回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会; 20230408; 北九州.

加藤成樹, 松下夏樹, 小林和人. 組換え酵素依存的遺伝子発現スイッチシステムにおけるリーク発現抑制型ベクター. 第46回日本分子生物学会年会; 2031127-1208; 神戸/Web. プログラム・要旨集(Web). 3P-695.

実験動物研究施設

論文

〔原著〕

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Konno S. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: locomotive syndrome and health outcomes in the Aizu cohort study. *European Spine Journal*. 202302; 32(2):448-494.

Sato M, Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Konno S, Oi N. Relationship between dysphagia and motor function in community-dwelling older people. *Geriatrics & Gerontology International*. 202308; 23(8):603-608.

Kaneko Y, Minehara H, Sonobe T, Kameda T, Sekiguchi M, Matsushita T, Konno S, Matsumoto Y. Differences in macrophage expression in included membranes by fixation method – Masquelet technique using a mouse's femur critical-sized bone defect model. *Injury*. 202310; 19:11135.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Otani K, Ono R, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S, Matsumoto Y. Assessment of lumbar spinal stenosis as risk factor for development of sleep disorder: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *International Journal of General Medicine*. 202311; 16:5417-5424.

Otoshi K, Kikuchi S, Otani K, Sonobe T, Sekiguchi M, Konno S. Potential influencing factor on health-related quality of life in Japanese with knee osteoarthritis: The Locomotive syndrome and Health outcome in Aizu cohort Study (LOHAS). *Journal of Experimental Orthopaedics*. 202308; 10(1):88.

Kawakami M, Takeshita K, Inoue G, Sekiguchi M, Fujiwara Y, Hoshino M, Kaito T, Kawaguchi Y, Minetama M, Orita S, Takahashi M, Tsuchiya K, Tsuji T, Yamada H, Watanabe K. Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guidelines on the management of lumbar spinal stenosis, 2021 – Secondary publication. *Journal of Orthopaedic Science*. 202301; 28(1):46-91.

Nikaido T, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Generalization of a clinical diagnosis tool for lumbar spinal stenosis: Can the

ankle brachial pressure index be replaced by palpation of the posterior tibial artery in the lumbar spinal stenosis diagnostic support tool? (DISTO project). Journal of Orthopaedic Science. 202305; 28(3):543-546.

Kanchiku T, Taguchi T, Sekiguchi M, Toda N, Hosono M, Matsumoto M, Tanaka N, Akeda K, Hashizume H, Kanayama M, Orita S, Takeuchi D, Kawakami M, Fukui M, Kanamori M, Wada E, Kato S, Hongo M, Ando K, Iizuka Y, Ikegami S, Kawamura N, Takami N, Yamoto Y, Takahashi S, Watanabe K, Takahashi J, Konno S, Chikuda H. Preoperative factors affecting the two-year postoperative patient-reported outcome in single-level lumbar grade I degenerative spondylolisthesis. North American Spine Society Journal. 202308; 16:100269.

Morimoto T, Kobayashi T, Yamauchi K, Nagamine S, Sekiguchi M, Otani K, Fukuda M, Tsukamoto M, Yoshihara T, Hirata H, Toda Y, Tanaka S, Mawatari M. Gender diversity of the Japanese society for spine surgery and related research annual meetings from 2013 to 2022. Spine Surgery and Related Research. 202310; 8(1):91-96.

〔総説等〕

Sekiguchi M. The essence of clinical practice guidelines for lumbar spinal stenosis, 2021: 1. Definition, Epidemiology, and Natural history. Spine Surgery and Related Research. 202307; 7(4):298-299.

Sekiguchi M. The essence of clinical practice guidelines for lumbar spinal stenosis, 2021: 2. Diagnosis and evaluation. Spine Surgery and Related Research. 202307; 7(4):300-305.

Sekiguchi M. The essence of clinical practice guidelines for lumbar spinal stenosis, 2021: 5. Postoperative prognosis. Spine Surgery and Related Research. 202307; 7(4):314-318.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Yabuki S, Konno S. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: Locomotive syndrome and health outcome in the Aizu cohort study (LOHAS). Spine Week 2023; 20230501-05; Melbourne, Australia. Abstract book. 0567.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Dose daily exercise prevent future care related to spinal sagittal imbalance? Locomotive syndrome and health outcome in the Aizu cohort study (LOHAS). Spine Week 2023; 20230501-05; Melbourne, Australia. Abstract book. P62.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Konno S. Incidence and risk factors for progression of lumbar facet joint degeneration in a Japanese community 11-Year follow-up. Spine Week 2023; 20230501-05; Melbourne, Australia. Abstract book. P63.

Yokota T, Otani K, Endo Y, Watanabe T, Kobayashi K, Kameda T, Sekiguchi M, Konno S. Efficacy of the VBQ score in predicting the incidence of new vertebral fractures in perimenopausal women: A longitudinal study using 11-year lumbar MRI follow-up data from the Minami-Aizu study. Spine Week 2023; 20230501-05; Melbourne, Australia. Abstract book. P85.

Yokota T, Otani K, Endo Y, Watanabe T, Kobayashi K, Kameda T, Sekiguchi M, Konno S. Efficacy of VBQ scores in predicting the incidence of new vertebral fractures in Japanese female 50 years of age and Older. ISSLS2023; 20230501-05; Melbourne, Australia.

Kaneko Y, Minehara H, Sonobe T, Kameda T, Sekiguchi M, Matsushita T, Konno S. Masquelet technique using a mouse's femur critical-sized bone defect model -Characterization of macrophage expression in induced membrane-. EORS 2023; 20230927-29; Porto, Portugal.

Kameda T, Yokota T, Sasaki N, Sekiguchi M, Konno S. Transient Receptor Potential Ankyrin 1 (TRPA1) agonist treatment alters extracellular matrix related genes in tenocytes under inflammatory conditions. 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 11 年間の腰椎椎間関節変性の進行が健康関連 QOL 変化に与える影響 南会津スタディ. 第 52 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-14; 札幌. 日本脊椎脊髄病学会会誌. 15(3):439.

小林洋, 関口美穂, 小野玲, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄は睡眠障害発症の危険因子である 地域住民を対象として前向きコホート研究: LOHAS study. 第 52 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-14; 札幌. 日本脊椎脊髄病学会会誌. 15(3):439.

横田武尊, 大谷晃司, 遠藤裕司, 亀田拓哉, 小林賢司, 渡邊剛宏, 関口美穂, 紺野慎一. 福島県南会津地区の地域住民における腰椎骨折の既往と Vertebral Bone Quality Score との関係についての検討 (横断研究). 第 52 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌. 日本脊椎脊髄病学会会誌. 15(3):652.

亀田拓哉, 横田武尊, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. 炎症下の腱細胞における Transient Receptor Potential Ankyrin 1 (TRPA1) アゴニスト投与による細胞外基質関連遺伝子の変化. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京. プログラム集. O18-3.

横田武尊, 亀田拓哉, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. ヒト腱細胞上の Transient Receptor Potential (TRP) channels と炎症との関連について. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京. プログラム集. O46-3.

園部樹, 大谷晃司, 関口美穂, 大歳憲一, 紺野慎一. 変形性膝関節症と身体機能の関連性 運動器検診のデータを用いた横断研究: LOHAS study. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(2):S199.

横田武尊, 大谷晃司, 亀田拓哉, 遠藤裕司, 小林賢司, 渡邊剛広, 関口美穂, 紺野慎一. 椎体骨折発生予測に対する vertebral bone quality score の有効性に関する縦断研究. 第 96 回日本整形外科学会学術集会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S868.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 加藤欽志, 紺野慎一. 腰椎椎間関節の変性進行は腰痛と関連しない. 南会津スタディ 11 年フォローアップ. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1010.

渡邊和之, 大谷晃司, 関口美穂, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 富永亮司, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 運動習慣は脊柱矢状面バランス不良に関連する要介護状態を予防できるか. LOHAS. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1172.

遠藤裕司, 小林洋, 大谷晃司, 渡邊和之, 小野玲, 関口美穂, 紺野慎一. 変形性膝関節症は認知症発症のリスク因子である. 運動器検診と介護保険システムのデータを用いた前向きコホート研究. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1207.

Yokota T, Otani K, Endo Y, Watanabe T, Kobayashi K, Kameda T, Tominaga R, Sekiguchi M, Konno S. The usefulness of the vertebral bone quality score for predicting vertebral fracture incidence and the development of a prediction model using the vertebral bone quality score: A study using 11 years follow-up MRI Data (Minami-Aizu study). 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島. 抄録集. 83.

遠藤裕司, 関口美穂, 大谷晃司. 複数箇所の慢性疼痛有訴者は認知症の発症リスクとなる. 運動器検診と介護保険システムのデータを用いた前向きコホート研究: LOHAS study. 第 20 回整形外科痛みを語る会; 20230624-25; 千葉.

兼子陽太, 峰原宏昌, 園部樹, 亀田拓哉, 関口美穂, 松下隆, 紺野慎一. マウス大腿骨巨大骨欠損モデルを用いた Masquelet 法. 固定方法の相違による誘導膜内のマクロファージ発現の比較. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば.

園部樹, 峰原宏昌, 兼子陽太, 亀田拓哉, 関口美穂, 松下隆, 紺野慎一. マウス大腿骨巨大骨欠損モデルを用いた Masquelet 法. 固定法の違いと basic fibroblast growth factor 付加による誘導膜への影響. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば.

園部樹, 大谷晃司, 大歳憲一, 関口美穂, 紺野慎一. 変形性膝関節症における健康関連 QOL 低下は、画像所見上の重症度と必ずしも関連しない. 運動器検診のデータを用いた横断研究: LOHAS study. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば.

横田武尊, 亀田拓哉, 佐々木信幸, 関口美穂, 紺野慎一. ヒト腱細胞における transient receptor potential (TRP) channels と炎症の関連. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば.

小澤和典. 東日本大震災での教訓はその後の地震で生かされたか. 福島県立医科大学実験動物施設の場合. 第 57 回日本実験動物技術者協会総会; 20231021; 福島.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 松本嘉寛. 腰椎 Modic 変化と腰痛の関連の検討. 南会津スタディ. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231113-14; 富山.

遠藤裕司, 関口美穂, 大谷晃司, 小林洋, 渡邊和之, 小野玲, 紺野慎一, 松本嘉寛. 多部位慢性疼痛と転倒による入院イベントの関連. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 松本嘉寛. 腰椎 Modic 変化の新規発生と腰痛との関連 南会津スタディ 11 年
フォローアップ. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島.

〔シンポジウム〕

高橋淳, 大和雄, 加藤壮, 関口美穂, 筑田博隆. 診断評価等基準委員会新規プロジェクトの紹介. 第 52 回日本
脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-14; 札幌. 日本脊椎脊髄病学会会誌. 15(3):121.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 運動器慢
性疼痛の診療にガイドラインをどう活かすか EBM と NBM を意識したアプローチの重要性. 第 16 回日本運動器
疼痛学会; 20231113-14; 富山.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 松本嘉寛. 腰椎椎間関節編成と Modic 変化および椎間板変性との関連 南会
津スタディー. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201-02; 徳島. プログラム集. 102.

〔招待講演〕

関口美穂. 運動器疼痛と慢性炎症. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231113-14; 富山.

災害危機管理看護学講座

論 文

〔原 著〕

橋本真由美, 金子直美, 安心院康彦. 避難所生活者に対する看護学生が提供可能な生活援助に関する検討と課題.
日本災害医学会雑誌. 202306; 28(2):53-60.

書籍等出版物

橋本真由美. 被ばく医療の基礎知識. In: 奥寺敬. グラウンドナースガイドブック 看護師の病院外救急活動. 東
京: へるす出版. 20231215. p.84.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

高橋幸恵, 橋本真由美. 豪雨災害における妊婦の避難行動への気がかりの実態と支援の検討. 第 28 回日本災害医学学会総会・学術集会; 20230311; 盛岡.

国際被ばく保健看護学講座

論文

〔原 著〕

Ito N, Amir I, Saito H, Moriyama N, Furuyama A, Singh P, Montesino S, Yamamoto C, Sato M, Abe T, Zhao T, Tsubokura M. Multisite Lifestyle for Older People after the Fukushima Nuclear Disaster. *Geriatrics* (Basel, Switzerland). 202309; 8(5):87.

Ito N, Moriyama N, Furuyama A, Saito H, Sawano T, Amir I, Sato M, Kobashi Y, Zhao T, Yamamoto C, Abe T, Tsubokura M. Why Do They Not Come Home? Three Cases of Fukushima Nuclear Accident Evacuees. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202302; 20(5):4027.

〔研究報告書〕

佐藤美佳. おかえりなさいを支える「ふたば暮らしの保健室」. 公益社団法人笹川保健財団活動報告書. 202303; Available from: <https://www.shf.or.jp/wp-content/uploads/2022/06/f3685ad5e96b4923c508b62a5aad6d0e.pdf>.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐藤美佳, 伊東尚美, 川村千代子. 福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域一部解除地域における支援活動 双葉町における支援活動報告. 日本災害看護学会第 25 回年次大会; 20230903; 姫路. 日本災害看護学会誌. 25(1):145.

佐藤美佳, 佐藤良信, 伊東尚美, 上澤紀子, 小池祐未, 金成貴子. 原子力発電所立地県の看護師の放射線リスク低減行動に影響を与える要因の検討. 第 12 回日本放射線看護学会学術集会; 20230909; 長崎. 講演集. 76.

佐藤美佳, 伊東尚美, 坪倉正治. 東京電力福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域一部解除地域におけるヘルスコミュニケーション 双葉町における復興支援活動報告. ヘルスコミュニケーションウィーク 2023～福島. 20230930; 福島. プログラム・抄録集. 127.

齋藤玲, 邑本俊亮, 保田真理, 大葉隆, 佐藤美佳. リスクコミュニケーターが持つ各種メディア発信の放射線情報に対する信頼度の違い: 防災士対象調査を通して. 日本災害情報学会第 27 回学会大会; 20231028; 福島.

保田真理, 邑本俊亮, 佐藤美佳, 齋藤玲, 大葉隆. 防災士の放射線災害に対する減災行動意図. 日本災害復興学会大会 2023 静岡大会; 20231203; 静岡.

〔シンポジウム〕

佐藤大介, 酒井彰久, 宮前繁, 佐藤美佳. 被災者を支えるチーム医療. 第 61 回日本医療・病院管理学会学術集会; 20231105; 東京.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

佐藤美佳. ふたば暮らしの保健室. 20220127-. 双葉町.

佐藤美佳. 環境省委託事業「放射線防災スキルアップ研修 2023」. 20230401-. 福島, いわき.

周産期・小児地域医療支援講座

論文

〔原 著〕

Fukuyama M, Horie M, Kato K, Aoki H, Fujita S, Yoshida Y, Sakazaki H, Toda T, Ueno M, Izumi G, Momoi N, Muneuchi J, Makiyama T, Nakagawa Y, Ohno S. Calmodulinopathy in Japanese Children: Their Cardiac Phenotypes Are Severe and Show Early Onset in Fetal Life and Infancy. *Circulation Journal*. 202311; 87(12):1828-1835.

Chishiki M, Nishiyama K, Suzutani T, Hiruta S, Ichikawa H, Haneda K, Maeda H, Shimizu H, Kanai Y, Ogasawara K, Go H, Sato M, Momoi N, Nollet KE, Ohto H, Hosoya M. Sterilization efficacy of a new water-free breast milk pasteurizer. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15574.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

旗野史帆, 郷勇人, 佐久間一理, 蛭田俊, 市川弘隆, 柏原祥曜, 前田創, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒,

細矢光亮. HLA-A11,HLA-B3901,HLA-Cw7 抗体によって血小板減少が遷延した. 第 137 回日本小児科学会福島地方会; 20230604; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1351.

前田創, 郷勇人, 佐久間一理, 蛭田俊, 市川弘隆, 柏原祥曜, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 在胎 30 週未満の早産児の赤血球パラメーターと未熟児網膜症の関連についての検討. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20230709; 名古屋.

木村正人, 北川陽介, 岡崎三枝子, 松本敦, 鈴木康太, 桃井伸緒. 東北 6 県胎児エコー検査の現状. 第 58 回東北発達心臓病研究会; 20231118; 仙台.

桃井伸緒, 青柳良倫, 林真理子, 富田陽一. セレコンMPカテーテルⅡを用いた血流遮断併用コイル塞栓症の経験. 第 58 回東北発達心臓病研究会; 20231118; 仙台.

湯田優衣, 高野峻也, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 桃井伸緒, 細矢光亮, 永田恵実, 若松大樹. 胎児期から先天性 QT 延長症候群が疑われ、出生後の治療に難渋した同症候群 2 型の 1 例. 第 58 回東北発達心臓病研究会; 20231118; 仙台.

過年業績

上田茉佑, 桃井伸緒, 井口桃美, 川島綾子, 前田亮, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 細矢光亮. 治療抵抗性で経過中に関節症状が出現し JIA との識別を要した川崎病の 1 例. 第 136 回日本小児科学会福島地方会; 20221002; 福島. 日本小児科学会雑誌. 127(4):657-658.

災害医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Harada F, Takita M, Yamamoto K, Tachiya Y, Yamamoto C, Saito H, Kami M, Shineha R. Rethinking the Utility of the Audio-Only Encounter: A Case of Herpes Zoster Co-Infection in Asymptomatic SARS-CoV-2. Clinical Medicine Insights. Case Reports. 202312; 16:11795476231218073.

Hori A, Murakami M, Tsubokura M. Against an insufficient intervention for patients with alcoholism or PTSD: An activity report on a psychiatric clinic after the 2011 complex disaster in Fukushima, Japan. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202310; 96:103990.

社本博. リハビリテーションにおける疾患・病態に応じた薬剤管理⑥生活動作（食事、排泄、睡眠）. Journal of Clinical Rehabilitation. 202304; 32(4):362-366.

二瓶大, 小柴貴明. 高齢透析患者に対する VA 作製・管理の治療戦略. 腎と透析. 202310; 95(別冊 アクセス 2023):87-89.

堀有伸. Psychological-first aid について. 精神科. 202301; 42(2):288-293.

小柴貴明, 二瓶大, 林正幸. Drug-coated balloon 反復使用の後ろ向きコホート研究～2 施設共同研究～. 透析 VAIVT. 202312; 5:74-77.

〔症例報告〕

Hori A, Sawano T, Nonaka S, Tsubokura M. How to Deal With the Risk of Evacuation of Psychiatric Hospital in Nuclear Disaster: A Case Study. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202302; 17:e332.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Endo Y, Kitagawa A, Fukada A, Irie Y. Endovascular Total Arch Repair Using In Situ Fenestration for Thoracic Aortic Aneurysm and Chronic Aortic Dissection: Operative Merits and Demerits. 31st Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery; 20230602; Busan, Korea.

Hori A, Tsubokura M. Distress related to the nuclear accident among patients who received psychotherapy at a psychiatric clinic in Minamisoma, Japan. International Symposium on Natural and Artificial Radiation Exposures and Radiological Protection Studies (NARE2023); 20230920; Hiroasaki.

Hori A. A narrative study on the ethical conflict over neutrality regarding working as a psychiatrist in the disaster area after the nuclear accident. International Symposium on Natural and Artificial Radiation Exposures and Radiological Protection Studies (NARE2023); 20230921; Hiroasaki.

Nihei H, Hayashi M, Koshiba T. Repeated Use of Paclitaxel Drug-Coated Balloon for Dysfunctional Dialysis Arteriovenous Fistulas. Asian Pacific Society of Dialysis Access Congress 2023; 20231022-24; Cairns, Australia.

Koshiba T, Nihei H, Hayashi M. Repeated Use of Paclitaxel Drug-Coated Balloon for Dysfunctional Dialysis Arteriovenous Fistulas. Controversies in Dialysis Access 2023; 20231026-28; Atlanta, USA.

宮川明美, 佐々木充子, 木岡ともみ, 安田一行, 阿部和也, 二階堂義樹, 前田崇憲, 佐々木勇人, 飯沼範子, 加藤隼悟, 志賀隆, 木村秀夫, 山藤栄一郎. COVID-19 流行時の急変対応時における空気感染対策の必要性: 院内クラスター事例の検討. 第 26 回日本病院総合診療医学会学術学会; 20230218-19; 宇都宮.

遠藤由樹. 心臓手術におけるトロンボエラストグラフィー使用の有効性検討: 効率的な輸血を目指して. 第 35 回心臓血管外科ウィンターセミナー学会; 20230224; 白馬村.

遠藤由樹. ハイリスク患者への予防的体外式膜型人工肺 (ECMO) 使用による TAVI 成績. 第 53 回日本心臓血管外科学会学術集会; 20230324; 旭川.

二瓶大, 林正幸, 小柴貴明. Drug Coated Balloon 反復使用の後方視的検討～2 施設共同研究～. 第 68 回日本透析医学会学術集会・総会; 20230616-18; 神戸.

堀有伸. 東日本大震災・原発事故を経験した被災地に開業したメンタルクリニックにおける PTSD を含む診療状況について. 第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20230805-06; 東京.

入江嘉仁. 心臓血管外科医が教える心臓外科にかからない方法. 小高を愛し小高を語る集い; 20230909; 福島.

上野未来, 中野渡仁, 遠藤由樹, 深田靖久, 入江嘉仁. 術前に診断し得なかった Valsalva 洞限局急性大動脈解離の 1 例. 第 110 回日本胸部外科学会東北地方会; 20230916; 山形.

小鷹昌明. 福島の医療支援から見てきたもの. 2023 国際ヨーガデイふくしま; 20230916; 福島.

遠藤真史, 山本ひろみ, 社本博. 高齢者を支える「食べる力」の実態調査. 福島 NSF フォーラム; 20230930; 会津若松.

入江嘉仁. いわき市における TAVI 治療の実際. 心不全治療 UPDATE セミナー; 20231106; いわき.

小鷹昌明. 被災地でのボランティア活動のまとめ. 第 12 回福島災害医療研究会; 20231107; 福島.

小柴貴明. メディカルスタッフとともに診るバスキュラーアクセス. 第 12 回福島災害医療研究会; 20231107; 福島.

入江嘉仁, 片田芳明, 中野渡仁, 遠藤由樹, 深田靖久. 当院の In-situ fenestration TEVAR の検討. 第 14 回会津心臓病・心血管疾患研究会; 20231117; 会津若松.

石田亜希, 神里賢勇, 平沼聡史, 小柴貴明, 土屋善慎. UK 使用不可環境下でのエコー下血栓吸引療法. 第 27 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会; 20231118-19; 富士.

二瓶大, 林正幸, 小柴貴明. Paclitaxel Drug Coated Balloon (pDCB) の 2 回反復使用の効果に関する後方視的検討～2 施設共同研究～. 第 27 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会; 20231118-19; 富士.

入江嘉仁. 短期間回復が目指せる TAVI 治療という選択肢～整形外科治療中に潜む弁膜症～. Collaboration Seminar～健康寿命のためのトータルマネジメント～; 20231205; いわき.

狩谷椋汰, 林靖之, 鈴木まゆみ, 鶴岡一茂, 渡邊良太, 小柴貴明. 内シャント治療に薬剤コーティングバルンを導入してから 7 ヶ月の時点での実績報告. 第 106 回福島腎不全研究会; 20231210; 福島.

社本博. リハビリテーション薬剤. 東北リハビリテーション栄養懇話会 (T-REX) ; 20231217; 塩釜.

地域救急医療支援講座

論 文

〔原 著〕

小野寺誠, 後藤沙由里, 関根萌, 鈴木光子, 菅谷一樹, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 福島市におけるコロナ禍発生前後での救急搬送困難事案の検討. 日本臨床救急医学会雑誌. 202310; 26(5):633-640.

〔総説等〕

関根萌, 菅野裕樹, 高田俊彦. 【ミミッカー症例からいかに学ぶか】思い出のミミッカー症例 それってホントに片頭痛!? Medicina. 202309; 60(10):1633-1637.

〔症例報告〕

Onodera M, Fujita Y, Fujino Y, Inoue Y. Changes in Blood Thallium Concentration during and after Prussian Blue Administration. Archives of Clinical and Medical Case Reports. 202305; 7(3):244-247.

菅谷一樹, 関根萌, 武藤憲哉, 三澤友誉, 岩渕雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. レジオネラ肺炎を契機に発症した Acute-on-chronic liver failure の救命例. 日本救急医学会雑誌. 202304; 34(4):141-147.

鈴木剛, 上野智史, 矢野徹宏, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 喜古雄一郎, 伊関憲. ARDS に対する腹臥位療法中に小腸憩室穿通を発症し死亡した 1 例. 日本救急医学会雑誌. 202311; 34(11):477-481.

後藤沙由里, 関根萌, 鈴木光子, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的に致死量のパラコートを用い短時間で死亡した 1 例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202312; 26(6):743-746.

関根萌, 藤井浩太郎, 齋藤富善. 伝染性単核球症様症状を呈し、診断に苦慮したツツガムシ病の一例. 日本臨床内科医会誌. 202309; 38(2):151-153.

菅谷一樹, 鈴木光子, 全田吏栄, 鈴木剛, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 家族と積極的治療の合意形成にいたり、治療撤退とせざるをえなかった顔面・四肢熱傷の 1 例. 熱傷. 202306; 49(2):67-71.

星野風沙, 鈴木光子, 後藤沙由里, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. スイセン中毒の 1 症例. 臨床麻酔. 202309; 47(8):991-992.

書籍等出版物

小野寺誠. 自然毒 毒キノコ. In: 千代孝夫. あなたも名医! 日常生活に潜む急性中毒 24 の対処法: ジェネラリス

トはここを押さえる！ (jmed mook, 84) . 東京: 日本医事新報社; 202302. p.120-126.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Iseki K, Onodera M. ECG changes in Fukujyuso poisoning: a case report. 21st Annual Scientific Congress of the Asia Pacific Association of Medical Toxicology Conference; 20231106; Kerala, India.

Onodera M, Iseki K. Acute drug poisoning with QTc prolongation due to ingestion of crushed dumpling form medications – a case report. 21st Annual Scientific Congress of the Asia Pacific Association of Medical Toxicology Conference; 20231106; Kerala, India.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 小野寺誠, 伊関憲. ピルシカイニドの大量服薬に対して VA-ECMO により救命し得た 1 例. 第 36 回日本中毒学会東日本地方会; 20230128; 東京. プログラム・抄録集. 30.

後藤沙由里, 伊関憲, 小野寺誠, 鈴木光子, 関根萌. 自殺目的に致死量のパラコートを用いし短時間で死亡した一例. 第 36 回日本中毒学会東日本地方会; 20230128; 東京. プログラム・抄録集. 34.

山崎武瑠, 関根萌, 後藤沙由里, 菅谷一樹, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. 多彩な症状を認めたくも膜下出血の一例. 第 50 回日本集中治療医学会学会学術集会; 20230302-04; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S481.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 小野寺誠, 伊関憲. 高度るいそうを認めた神経性食欲不振症の死亡例の検討. 第 50 回日本集中治療医学会学会学術集会; 20230302-04; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S548.

菅谷一樹, 関根萌, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. 脊髄 MR ミエログラフィーで髄液漏を評価した外傷性脊柱管内気腫の 1 例. 第 50 回日本集中治療医学会学会学術集会; 20230302-04; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S559.

後藤沙由里, 小野寺誠, 鈴木剛, 全田吏栄, 大山亜紗美, 鈴木光子, 伊関憲. 外傷性気胸における遅発性憎悪のリスク因子予測. 第 50 回日本集中治療医学会学会学術集会; 20230302-04; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 30(Suppl.1):S821.

大山亜紗美, 小野寺誠, 後藤沙由里, 伊関憲. バルプロ酸の過量内服により高アンモニア血症を生じた一例. 第 37 回東北救急医学会総会・学術集会／第 33 回日本救急医学会東北地方会; 20230624; Web. プログラム・抄録集. 50.

後藤沙由里, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 視床出血後に体動困難となり広範囲な灯油皮膚炎をきたした一例. 第 37 回東北救急医学会総会・学術集会／第 33 回日本救急医学会東北地方会; 20230624; Web. プログラム・抄録集. 59.

大山亜紗美, 小野寺誠, 鈴木剛, 全田吏栄, 鈴木光子, 後藤沙由里, 伊関憲. バイケイソウ誤食により徐脈と低血圧を来した一例. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 27.

安永天音, 大山清実広, 小野内汐美, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 医学生に対する蘇生教育にCPR アシストは有用か? 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 68.

小野内汐美, 大山清実広, 安永天音, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 病棟の聴診器は本当にきれいですか? 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 71.

大山清実広, 小野内汐美, 安永天音, 三澤友誉, 大山亜紗美, 小野寺誠, 伊関憲. 外来の聴診器は使って大丈夫? 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 72.

星野風沙, 安永天音, 大山清実広, 小野内汐美, 後藤沙由里, 大山亜紗美, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的に服用した福寿草中毒の一例. 日本集中治療医学会第7回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 75.

全田吏栄, 後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 意識障害のためドクターヘリ出動要請があった一酸化炭素中毒の2例. 第45回日本中毒学会総会・学術集会; 20230714-15; さいたま. 中毒研究. 36(2):214.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 小野寺誠, 伊関憲. 炭酸リチウムの内服調整中にリチウム中毒をきたし、完全房室ブロック様の心電図変化を呈したが経過観察で改善し得た一例. 第45回日本中毒学会総会・学術集会; 20230714-15; さいたま. 中毒研究. 36(2):219.

小野寺誠, 鈴木光子, 後藤沙由里, 関根萌, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 福島県消防学校における急性中毒疾患教育の効果～講義前後での変化～. 第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20230727-29; 東京. 日本臨床救急医学会雑誌. 26(3):360.

上野智史, 鈴木剛, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 重症鈍的胸部外傷による出血性ショックに対して病院前蘇生的開胸術で救命した1例. 第15回Acute Care Surgery学会学術集会; 20231006-07; 東京.

後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 下肢脱力を主訴に来院し診断に難渋した若年性急性大動脈解離の一例. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):764.

関根萌, 塚田泰彦, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 佐藤悠, 伊関憲. 鈍的外傷に伴う無症候性下大静脈解離の一例. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):789.

鈴木剛, 後藤沙由里, 関根萌, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 小野寺誠. 悪性腫瘍由来の気管食道瘻に対する人工呼吸管理の経験. 第51回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):818.

上野智史, 鈴木剛, 全田吏栄, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. TAEに後腹膜パッキングを加えて循環安定化し

た高齢者の安定型骨盤骨折症例. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):833.

菅谷一樹, 関根萌, 武藤憲哉, 三澤友誉, 岩渕雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. デジタル瞳孔記録計の NPi を指標にシプロヘプタジンを投与した、セロトニン症候群の 1 例. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):843.

菅谷一樹, 鈴木光子, 武藤憲哉, 大山亜紗美, 全田史栄, 三澤友誉, 鈴木剛, 岩渕雅洋, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. サーキット場で生じた車両事故による外傷の特徴. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):878.

岩渕雅洋, 関根萌, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 三澤友誉, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 当院におけるマムシ咬傷に対する抗血清療法法の検討. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京. 日本救急医学会雑誌. 34(12):881.

地域産婦人科支援講座

論 文

〔原 著〕

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal magnesium intake and childhood wheezing in offspring at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. *British Journal of Nutrition*. 2023;127:1973-1981.

Isogami H, Sugeno M, Imaizumi K, Fukuda T, Kamo N, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Maternal septic shock due to *Acinetobacter baumannii* infection: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2023;69(3):191-196.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between labor duration in singleton spontaneous vaginal deliveries and offspring neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 2023;161(3):1097-1101.

Nishigori H, Nishigori T, Suzuki T, Mori M, Yamada M, Isogami H, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Metoki H, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal and postnatal psychological distress trajectories and impact on cognitive

development in 4-year-old children: the Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202312; 14(6):781-794.

Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Furukawa S, Fujimori K. Changes in fetal baroreceptor sensitivity during intrauterine inflammation in preterm fetal sheep. *journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 202312; 36(1):2150392.

Omoto T, Kyozuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):577-586.

Miyakawa R, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Kobayashi Y, Furukawa S, Honda T, Watanabe T, Asano S, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. SPON1 is an independent prognostic biomarker for ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 202305; 16(1):95.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid and offspring allergies: The Japan Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202305; 34(5):e13956.

Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association between gestational age at threatened preterm birth diagnosis and incidence of preterm birth: the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):12839.

Fukuda T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Fujimori K. Three-dimensional computed tomography complements ultrasonography in prenatal diagnosis of Pfeiffer type 2 syndrome: a case report. *超音波医学*. 202307; 50(4):291-294.

帆保翼, 遠藤雄大, 古川茂宜, 加藤麻美, 岡部慈子, 磯上弘貴, 加茂矩士, 植田牧子, 川名聡, 小島学, 添田周, 渡邊尚文, 橋本優子, 藤森敬也. 手術により診断し得た, 卵巣腫大を伴わないライディッヒ細胞腫の一例. *福島医学雑誌*. 202304; 73(1):1-6.

白河総合診療アカデミー

論 文

〔原 著〕

Yamada Y, Shimizu S, Yamamoto S, Matsuoka Y, Tsutsumi Y, Tsuchiya A, Kamitani T, Yamazaki H, Ogawa Y, Fukuhara S, Yamamoto Y. Prehospital shock index predicts 24-h mortality in trauma patients with a normal shock index upon emergency department arrival. *American Journal of Emergency Medicine*. 202308; 70:101-108.

Nakagawa H, Takeshima T, Ozaka A, Sasaki S, Kurita N, Hamaguchi S, Fukuhara S. Poor Sleep Quality as a Risk Factor for Constipation Among Community-Dwelling Older Adults in Japan. *Cureus*. 202309; 15(9):e46175.

Hamaguchi S, Sasaki S, Shimizu S, Yamazaki H, Yamamoto R, Ozaka A, Nakagawa H, Takeshima T, Green J, Fukuhara S. Poor Social Functioning: A Potentially Modifiable Risk Factor for Pneumonia in the Elderly. *Cureus*. 202310; 15(10):e47520.

Hamaguchi S, Takahashi S, Endo Y, Nakamoto Y, Aita T, Naganuma T, Nakagawa H, Takada T. Predictive Performance of MRI for Antibiotic Treatment Failure of Pyogenic Vertebral Osteomyelitis: A Validation Study. *Cureus*. 202310; 15(10):e47933.

Hamaguchi S, Varma MG, Nakagawa H, Ozaka A, Shimizu S, Maeshibu T, Wakita T, Green J, Fukuhara S. Translation and Validation Testing of the Constipation-Related Quality of Life Scale for Use in Japan. *Cureus*. 202311; 15(11):e48661.

Hoogland J, Takada T, van Smeden M, Rovers MM, de Sutter AI, Merenstein D, Kaiser L, Liira H, Little P, Bucher HC, Moons KGM, Reitsma JB, Venekamp RP. Prognosis and prediction of antibiotic benefit in adults with clinically diagnosed acute rhinosinusitis: an individual participant data meta-analysis. *Diagnostic and Prognostic Research*. 202309; 7(1):16.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Journal of Applied Gerontology*. 202305; 42(5):1056-1067.

Katayama K, Nishizaki Y, Takada T, Kataoka K, Houchens N, Watari T, Tokuda Y, Ohira Y. Association between mentorship and mental health among junior residents: A nationwide cross-sectional study in Japan. *Journal of General and Family Medicine*. 202312; 25(1):62-70.

Yamamoto R, Yamazaki H, Kobara S, Iizuka H, Hijikata Y, Miyashita J, Kataoka Y, Yajima N, Miyata T, Hamaguchi S, Wakita T, Yamamoto Y, Fukuhara S. Development and Initial Psychometric Validation of the COVID-19 Pandemic Burden Index for Healthcare Workers. *Journal of General Internal Medicine*. 202304; 38(5):1239-1247.

van Maanen R, Martens ESL, Takada T, Roy PM, de Wit K, Parpia S, Kraaijpoel N, Huisman MV, Wells PS, Le Gal G, Righini M, Freund Y, Galipienzo J, van Es N, Blom JW, Moons KGM, Rutten FH, van Smeden M, Klok FA, Geersing GJ, Luijken K. Accuracy of physicians' intuitive risk estimation in the diagnostic management of pulmonary embolism: an individual patient data meta-analysis. *Journal of Thrombosis and Haemostasis*. 202310; 21(10):2873-2883.

〔総説等〕

van Es N, Takada T, Kraaijpoel N, Klok FA, Stals MAM, Büller HR, Courtney DM, Freund Y, Galipienzo J, Le Gal G, Ghanima W, Huisman MV, Kline JA, Moons KGM, Parpia S, Perrier A, Righini M, Robert-Ebadi H, Roy PM, Wells PS, de Wit K, van Smeden M, Geersing GJ. Diagnostic management of acute pulmonary embolism: a prediction model based on a patient data meta-analysis. *European Heart Journal*. 202308; 44(32):3073-3081.

Lee J, van Es N, Takada T, Klok FA, Geersing GJ, Blume J, Bossuyt PM, IPD study team. Covariate-specific ROC curve analysis can accommodate differences between covariate subgroups in the evaluation of diagnostic accuracy. *Journal of Clinical Epidemiology*. 202308; 160:14-23.

Kuniyoshi Y, Tsujimoto Y, Banno M, Taito S, Ariie T, Takahashi N, Tokutake H, Takada T. Prediction Models for Intravenous Immunoglobulin Resistance in Kawasaki Disease: A Meta-analysis. *Pediatrics*. 202305; 151(5):e2022059175.

Miyashita J, Takeshima T, Maehara K, Hamaguchi S, Fukuhara S. Association between resilience and advance care planning during the COVID-19 pandemic in Japan: a nationwide cross-sectional study. *Scientific Reports*. 202301; 13(1):1371.

東白川整形外科アカデミー

論 文

〔原 著〕

Sonobe T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. *Experimental and Therapeutic Medicine*.

202301; 25(1):23.

平井亨, 畑下智, 川前恵史, 紺野慎一. 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折が術後機能に与える影響. 日本手外科学会誌. 2023; 39(6):783-786.

〔症例報告〕

Miura T, Kikuchi N, Yamada H, Hakozaiki M, Tajino T, Ohtsuka M, Yamamoto T. Proximal-type vulvar epithelioid sarcoma masquerading as cellulitis in a young female. *Australasian Journal of Dermatology*. 202305; 64(2):295-297.

Kaneuchi Y, Iwabuchi M, Hakozaiki M, Yamada H, Konno S. Pregnancy and Lactation-Associated Osteoporosis Successfully Treated with Romosozumab: A Case Report. *Medicina (Kaunas, Lithuania)*. 202301; 59(1):19.

Sonobe T, Hakozaiki M, Matsuo Y, Takahashi Y, Yoshida K, Konno S. Knee locking caused by osteochondroma of the proximal tibia adjacent to the pes anserinus: A case report. *World Journal of Clinical Cases*. 202308; 11(23):5595-5601.

平井亨, 箱崎道之, 関敬大, 紺野慎一, 野沢佳弘. 舟状骨に生じた骨内ガングリオンの1例. 東日本整形災害外科学会誌. 2023; 35(2):97-102.

書籍等出版物

箱崎道之, 紺野慎一. 21 RDQ (Roland-Morris Disability Questionnaire) [腰痛]. In: 下妻晃二郎, 能登真一. 臨床・研究で活用できる! QOL 評価マニュアル. 東京: 医学書院. 202311. p.200-205.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Sasaki N, Kameda T, Fushimi Y, Sato S, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Osteoid osteoma of the hand and digit: a report of two cases. 13th Congress of the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531; Singapore.

Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Ogawa I, Suzuki T, Matsumoto Y. Sporadic Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor of the Adrenal Gland: A Case Report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Ogawa I, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Yamada H. Atypical lipomatous tumor of the thigh in a four-year-old girl: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Sato H, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Yamada S, Matsumoto Y. Abscopal effect following proton beam radiotherapy for recurrent dedifferentiated chondrosarcoma a case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Shinden Y, Hakozaiki M, Aota S, Ohashi H, Yamagishi E, Kaneuchi Y, Yamada H. Extra-articular hip joint resection with the spherical periacetabular osteotomy technique and reconstruction with total hip arthroplasty for osteosarcoma of the proximal femur: a case report. The 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

Suzuki T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Ogawa I, Yamada H, Matsumoto Y. Pleomorphic rhabdomyosarcoma in an elderly patient with neurofibromatosis type 1: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Tajino T, Konno S, Matsumoto Y. Severe oropharyngeal mucosal injury caused by high-dose methotrexate therapy for osteosarcoma. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231006; Taipei, Taiwan.

Tajino T, Yamada H, Hakozaiki M. The change of the regional incidence rate of the high-grade bone and soft tissue sarcomas after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Disaster in Fukushima Prefecture, Japan. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

菅原崇寛, 新田夢鷹, 佐藤俊介, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 線維性骨異形成症による大腿骨転子下病的骨折に対して上腕骨近位用ロッキングプレートを用いて骨接合術を行った1例. 第120回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

磯部瑞, 箱崎道之, 金内洋一, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 紺野慎一. 坐骨神経を合併切除して患肢を温存した大腿軟部肉腫の1例. 第120回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

園部樹, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 長谷川靖, 山田匠希, 紺野慎一. 膝関節に発生した滑膜血管腫の画像および病理所見の特徴. 日本スポーツ整形外科学会 2023; 20230629; 広島.

増子遼介, 箱崎道之. 肩甲棘部に生じた非定型骨折の1例. 第49回日本骨折治療学会; 20230629-30; 静岡. 骨折. 45(Supplement):S377.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の1例. 第49回日本骨折治療学会; 20230629-30; 静岡. 骨折. 45(Supplement):S476.

園部樹, 箱崎道之, 松尾洋平, 高橋洋二郎, 吉田勝浩, 紺野慎一. 膝関節にロッキングを生じた鷲足部骨軟骨腫の一例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1338.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整

形外科学会雑誌. 97(6):S1366.

山田仁, 高橋信久, 大原喜裕, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 菊田敦, 佐野秀樹, 紺野慎一. 小児がん後の二次性骨肉腫の治療経験. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1387.

小川到, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 4 歳女兒に発症した異型脂肪腫様腫瘍の 1 例. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1503.

鈴木丈夫, 山田仁, 小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 神経線維腫 1 型に合併した脱分化型脂肪肉腫の 1 例. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1495.

金内洋一, 箱崎道之, 山田匠希, 山田仁, 小川到, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 副腎原発孤発性悪性末梢神経鞘腫瘍の 1 例. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1498.

入江絹子, 遠藤麻衣, 向山竜人, 大塚幹夫, 山本俊幸, 増澤幹男, 橋本優子, 箱崎道之. 若年男性の手指先端に多発した Pseudomyogenic hemangioendothelioma の 1 例. 第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20230805; 名古屋. 抄録集. 227.

佐藤宏樹, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 鈴木丈夫, 長谷川靖, 山田匠希, 山田仁, 松本嘉寛. 局所再発に対する陽子線治療後に縮小した肉腫腫瘍転移の 1 例. 第 30 回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20231111; 湯沢町.

〔シンポジウム〕

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 紺野慎一. 福島県における次世代の骨軟部腫瘍医の育成について. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230610; 福島.

疼痛医学講座

論 文

〔原 著〕

Kasahara S, Kato Y, Takahashi K, Matsudaira K, Sato N, Fukuda KI, Toyofuku A, Niwa SI, Uchida K. Improvement in persistent idiopathic facial pain with comorbid ADHD using the combination of a dopamine system stabilizer and psychostimulant: A case report. Clinical Case Reports. 202306; 11(6):e7552.

Kasahara S, Kato Y, Takahashi M, Matsudaira K, Sato N, Niwa SI, Momose T, Uchida K. Case report: Remission of chronic low back pain and oral dysesthesia comorbid with attention deficit/hyperactivity disorder

by treatment with atomoxetine and pramipexole. *Frontiers in Pain Research*. 202306; 4:1159134.

Kasahara S, Kanda S, Takahashi M, Fujioka M, Morita T, Matsudaira K, Sato N, Hattori M, Momose T, Niwa SI, Uchida K. Case Report: Guanfacine and methylphenidate improved chronic lower back pain in autosomal dominant polycystic kidney disease with comorbid attention deficit hyperactivity disorder and autism spectrum disorder. *Frontiers in Pediatrics*. 202311; 11:1283823.

Kasahara S, Takahashi M, Morita T, Matsudaira K, Sato N, Momose T, Niwa SI, Uchida K. Case report: Atomoxetine improves chronic pain with comorbid post-traumatic stress disorder and attention deficit hyperactivity disorder. *Frontiers in Psychiatry*. 202308; 14:1221694.

Ouchi K, Oi N, Sato M, Yabuki S, Konno S. Chopart amputation with tendon balancing. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(1):67-71.

Kasahara S, Takahashi K, Matsudaira K, Sato N, Fukuda KI, Toyofuku A, Yoshikawa T, Kato Y, Niwa SI, Uchida K. Diagnosis and treatment of intractable idiopathic orofacial pain with attention-deficit/hyperactivity disorder. *Scientific Reports*. 202301; 13(1):1678.

松平浩, 笠原諭, 酒井美枝, 井上真輔, 鉄永倫子, 高橋紀代, 高槻梢, 二瓶健司, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性腰痛に対する集学的治療のための新心理社会的フラッグシステム. *Journal of Spine Research*. 202306; 14:858-868.

松平浩. 慢性腰痛に対する多面的リハビリテーションとその手法「痛みの多層モデル」を踏まえた治療戦略. *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*. 202307; 60(7):605-614.

吉本隆彦, 松平浩. ペインクリニックにおける実践リハビリテーション 腰部脊柱管狭窄症に対する運動療法のエビデンスと実践. *ペインクリニック*. 202312; 44(臨時増刊):S81-S88.

松平浩. ロコモ・サルコペニア・フレイル概論—ASO コンセプトを踏まえた基本アセスメント—. *ペインクリニック*. 202312; 44(臨時増刊):S22-S35.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. ICD-11J 分類別でみた運動器慢性疼痛に対する外来での治療効果. *日本運動器疼痛学会誌*. 202307; 15(2):65-71.

松平浩, 笠原諭, 酒井美枝, 井上真輔, 鉄永倫子, 高橋紀代, 高槻梢, 二瓶健司, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性疼痛患者に対する標準化を目指した集学的治療のための新心理社会的フラッグシステム. *日本運動器疼痛学会誌*. 202310; 15(3):114-123.

松平浩, 山田恵子, 笠原諭, 酒井美枝, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性疼痛と集学的治療. *麻酔*. 202303; 72(3):274-284.

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 慢性疼痛の理解とリハビリテーション 理学療法士の立場から. *理療*. 202311; 53(2):8-16.

過年業績

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 集学的治療の現状と課題／システム作りと運営「星総合病院慢性疼痛センターでの入院型集学的痛み治療の現状と課題」. 日本運動器疼痛学会誌. 202209; 14(3):189-194.

〔総説等〕

高橋直人. 慢性疼痛に対する集学的治療. Loco Cure. 202305; 9(2):145-153.

高橋直人. 慢性腰痛の診断と治療. Orthopaedics. 202309; 36(9):79-89.

松平浩. 【リハビリテーション診療 update】IV章 リハビリテーションが必要となる疾患 慢性疼痛. 日本医師会雑誌. 202310; 152(特別 2):S266-S267.

〔その他〕

松平浩. “大介護時代”に備える! 「ボディメカニクス」で腰痛対策. NHK きょうの健康. 202303; 421:12-15.

松平浩. リスクを知って動いて防ぐ中高年の腰痛&転倒予防. NHK きょうの健康. 202304; 422:89-99.

高橋直人. 学会を聞く 第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会. 整形外科. 202306; 74(7):835.

書籍等出版物

松平浩. 職場における新たな腰痛対策 Q&A50 : 既存の腰痛概念の変革と実践. 東京: 産業医学振興財団; 202303.

松平浩. 10秒から始める! 脊柱管狭窄症これだけ体操 増補改訂版. 東京: 宝島社; 202304.

松平浩. 第3章 職場全体で事故防止に取り組む 5 運動機能訓練としての転倒予防体操. In: 武藤芳照, 萩野浩, 三上容司, 竹下克志. 高齢労働者のための転倒・転落事故防止マニュアル. 東京: 新興医学出版社; 202304. p.95-99.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Takahashi N. Exploratory study of the factors affecting quality of life in patients with chronic musculoskeletal pain: A cross-sectional study. 2023 ISSLS SpineWeek; 20230504; Melbourne, Australia.

鈴木崇斗, 金子亜矢, 佐藤ゆかり, 松田美津子, 山寺幸雄, 渡邊和之, 二階堂琢也, 高橋直人. 脊髄モニタリングに対する私たちの工夫について. 第16回東北Mist研究会; 20230122; Web.

笠原諭, 藤井朋子, 吉本隆彦, 岡敬之, 川又華代, 佐藤直子, 丹羽真一, 内田寛治, 松平浩. ADHD は慢性疼痛に対して因果的影響を有する—インターネット調査. 日本 ADHD 学会第 14 回総会; 20230304-05; 小平/Web.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 春山祐樹, 岩崎稔, 中野渡達哉, 矢吹省司. 生体電気インピーダンス法による位相角と運動器慢性痛との関連について. 第 27 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会; 20260624-25; 名古屋/Web.

山口歩, 金澤美香, 高橋直人. 慢性疼痛診療における栄養介入の意義. 第 27 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会; 20230624-25; 名古屋/Web.

中野渡達哉, 鈴木秀基, 二瓶健司, 矢野啓太, 青田恵郎, 新田夢鷹, 大内一夫, 神先秀人, 矢吹省司. 人工股関節全置換術前後におけるインソール型荷重センサを用いた歩行分析の実施可能性の検討. 第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会; 20231014; 福岡. プログラム抄録集. 293.

楠本泰士, 高橋恵里, 浅尾章彦, 遠藤康裕, 小俣純一, 横塚美恵子, 矢吹省司, 神先秀人. ランドセル症候群の児童の歩行と走行の特徴—福島子どもコホート調査—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):100.

岩崎稔, 高橋直人, 春山祐樹, 二瓶健司, 本幸枝, 恩田啓, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 当院における入院プログラム実施前後の MPI タイプ別治療効果の比較. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 荒瀬洋子, 山口歩, 本幸枝, 矢吹省司. 外傷後慢性疼痛に対する集学的痛み治療中に介護事務所と連携し奏功した 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山.

福地朋子, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 二瓶健司, 矢吹省司. 慢性疼痛診療研修会参加者に対する知識水準の検討. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山.

本幸枝, 高橋直人, 高槻梢, 福地朋子, 二瓶健司, 矢吹省司. 慢性疼痛診療研修会参加者における慢性疼痛診療困難感尺度の職種間の相違. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山.

高橋直人, 松平浩, 高槻梢, 本幸枝, 二瓶健司, 谷津田尊寛, 津村紀子, 笠原諭, 矢吹省司, 井上真輔. 就労に支障があった慢性疼痛患者に対し新たな心理社会的フラッグシステムを用い外部資源活用が有用であった 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 津村紀子, 服部彩乃, 本幸枝, 荒瀬洋子, 矢吹省司. 集学的痛み治療とともに外部資源との連携により復職できた二次性筋骨格系慢性疼痛の 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103-04; 富山.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 運動器慢性疼痛の診療にガイドラインをどう活かすか—EBM と NBM を意識したアプローチの重要性. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S24.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術における腰痛改善の予測—BS-POP の有効性—. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104;

富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S81.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 慢性疼痛診療システムの構築に向けた東北地区における痛みセンターと拠点病院の連携. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

恩田啓, 本幸枝, 富永桂子, 高槻梢, 高橋直人, 笠原諭, 矢吹省司. 難治性慢性疼痛患者における疼痛関連スコア異常値の特徴. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 笠原諭, 本幸枝, 福地朋子, 高槻梢, 矢吹省司. 地域全体で補完できる集学的痛み治療の実現を目指した取り組み. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 関口美穂, 矢吹省司, 松本嘉寛. 脊椎手術後疼痛症候群に対する薬物療法と手術満足度との関係—横断研究. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林賢司, 横田武尊, 遠藤裕司, 関口美穂, 矢吹省司. 集学的痛み治療前に運動器慢性疼痛の強さの改善を予測できる因子の検討. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林賢司, 横田武尊, 遠藤裕司, 関口美穂, 矢吹省司. 星総合病院慢性疼痛センターにおける集学的痛み治療の現状とその問題点. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 「痛みに対する侵襲的治療—適応とエビデンス、そして限界—」手術. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

笠原諭, 松平浩, 森田泰斗, 佐藤直子, 丹羽真一. 慢性疼痛と ADHD—ジョン・F・ケネディ (1917-1963) の事例. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島.

中野裕子, 笠原諭, 大石理江子, 木幡英章, 大谷晃司, 井上聡己. 整形外科慢性痛患者における ADHD スクリーニング陽性率と、不安やうつ、破局的思考への関与. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島.

〔その他〕

笠原諭. 心理的社会要因を捉えるポイント. リハビリ職種のための高齢者における慢性疼痛診療研修会; 20230121; 郡山.

松平浩. 高齢者における運動器慢性痛のポイント. リハビリ職種のための高齢者における慢性疼痛診療研修会. 20230121; 郡山.

高橋直人. 痛みの多面的評価を知ろう. 令和 4 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業東北ブロック (秋田県) 慢性疼痛診療研修会; 20230129; Web.

矢吹省司. 痛み診療の最前線—集学的な痛み診療体制の構築に向けて—. 第 112 回 HGPI セミナー; 20230208; Web.

二瓶健司. 運動療法を知ろう. 令和4年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 関東甲信越ブロック獨協医科大学研修会; 20230223; Web.

二瓶健司. 運動療法を知ろう. 令和4年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 関東甲信越ブロック獨協医科大学研修会; 20230226; Web.

高橋直人. 慢性疼痛センターでの多職種連携集学的痛み治療. 会津医学会学術講演会; 20230313; Web.

松平浩. 関節と腰のつらい痛みを感じたらどうしよう? 押さえておきたい腰痛・ヘルニア・狭窄症の知識. 第31回日本医学会総会市民向け講座. 20230422; 東京.

松平浩. 教育研修講演66「腰痛に対する運動療法—機能的診断に基づくアプローチとセルフマネジメント支援—」第96回日本整形外科学会学術総会. 20230514; 横浜.

高橋直人. チームで取り組む痛み診療セミナー 多職種連携集学的痛み治療. 福島疼痛リエゾン Web セミナー; 20230524; Web.

大堀靖夫, 吉本隆彦, 松平浩. コロナ禍を経たニューノーマル時代を踏まえたソリューションの開発—働く人の腰痛に焦点を当てたアプリを含む介入手法のPoC検証—. 第34回日本運動器科学会; 20230708; 東京.

松平浩. パネルディスカッション3「整形外科・脊椎外科から 特に高齢者医療としてペインクリニックに期待すること」. 日本ペインクリニック学会第57回学術集会. 20230714; 佐賀.

松平浩. 県民公開講座「腰痛は動いて治せが新常識～健康長寿に向けてひざ痛・首痛・肩痛の簡単体操も教えます～」日本ペインクリニック学会第57回学術集会. 20230715; 佐賀.

高橋直人. エキスパートに学ぶ! 痛み治療 Web セミナー 多職種連携集学的痛み治療. 痛み治療 Web セミナー; 20230928; Web.

高橋直人. 骨粗鬆症による脆弱性骨折とロコモ. 運動器の健康・骨と関節の日 令和5年度福島県講演会; 20231014; 郡山.

二瓶健司. 運動療法を知ろう. 令和5年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 関東甲信越ブロック獨協医科大学研修会; 20231029; Web.

松平浩. 身体的フレイルとその対策. 日本抗加齢医学会指導士編講習会. 20231217; 東京.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

高橋直人, 矢吹省司. 多職種連携集学的痛み治療 長引く痛みをよくするために. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 矢吹省司. 痛みを長引かせないカラダの動かし方について 理学療法士の立場から. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

高橋直人. ロコモと痛みの関係①「健康で生き生きと暮らすためのロコモ対策 (前編)」. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202203-.

高橋直人. ロコモと痛みの関係②「健康で生き生きと暮らすためのロコモ対策 (後編)」. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202203-.

高橋直人. 腰痛①「腰痛の病態と治療 (保存療法)」. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202204-.

スポーツ医学講座

論文

〔原 著〕

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi K, Watanabe K, Kobayashi H, Konno SI. A muscle-preserving, spinous process-splitting approach for ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine in professional athletes: a report of three cases. Fukushima Journal of Medical Science. 202304; 69(2):143-150.

Otoshi K, Kikuchi S, Otani K, Sonobe T, Sekiguchi M, Konno S. Potential influencing factor on health-related quality of life in Japanese with knee osteoarthritis: The Locomotive syndrome and Health outcome in Aizu cohort Study (LOHAS). Journal of Experimental Orthopaedics. 202308; 10(1):88.

Otoshi K, Kikuchi S, Igari T, Ejiri S, Konno S. Voluntary reducible recurrent anterior dislocation of radial head in juvenile baseball player A case report and review of the literatures. JSES Reviews, Reports, and Techniques. 202308; 3(3):436-442.

Otoshi K, Kato K, Kaga T. Surgical management for refractory medial epicondylitis based on the anatomical characteristics of flexor pronator origin: surgical results of 8 cases and review of the literature. JSES Reviews, Reports, and Techniques. 202310; 4(1):70-74.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Kaneko Y, Konno SI. Age-Related Differences in the Limited Range of Motion of the Lower Extremity and Their Relation to Low Back Pain in Young Baseball Players: A Cross-Sectional Study of 1215 Players. Sports Medicine - Open. 202305; 9(1):26.

大歳憲一. 【大人とこどものスポーツ外来 上肢・体幹編】 こども編 野球肘 内側障害. Orthopaedics. 202305; 36(5):1-11.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

大歳憲一．「上腕骨内側上顆炎の手術」難治性内側上顆炎に対する前方共同腱切除術 中期治療成績．第35回日本肘関節学会学術集会；20230203；山形．

加藤欽志，大歳憲一，紺野慎一．アスリートにおける脊椎周囲の筋腱付着部障害．日本整形外科学会学術総会；20230512；横浜．

大歳憲一，加藤欽志，加賀孝弘，猪狩貴弘，佐藤亮平，増子遼介，兼子陽太，中澤成史，白石秀夫，佐藤光太郎，村上賢也．「野球肘検診 各地の現状と展望」東北地区における野球肘診療の現状と展望 福島県・岩手県での取り組みを中心に．第96回日本整形外科学会学術総会；20230513；横浜．

加藤欽志，大歳憲一，小林賢司，兼子陽太，紺野慎一，松本嘉寛．発育期野球選手における腰椎疲労骨折の早期診断．第120回東北整形災害外科学会；20230609；福島．

加藤欽志，大歳憲一，紺野慎一，松本嘉寛．腰痛診療におけるエコーの活用．MIST学会(第13回最小侵襲脊椎治療学会)；20230624；仙台．

加藤欽志，大歳憲一，紺野慎一，松本嘉寛．野球選手の腰椎分離症．日本スポーツ整形外科学会(JSOA)2023；20230629；広島．

加藤欽志，大歳憲一，紺野慎一，松本嘉寛．筋・筋膜性腰痛に対するエコーの活用．日本スポーツ整形外科学会(JSOA)2023；20230701；広島．

加藤欽志，大歳憲一，松本嘉寛．野球選手から腰椎分離症を科学する．第38回日本整形外科学会基礎学術集会；20231019；つくば．

〔特別講演〕

大歳憲一，加藤欽志，加賀孝弘，猪狩貴弘，佐藤亮平，増子遼介，兼子陽太．成長期野球肘の診断と治療のUP TO DATE．第10回野球肘研究会；20230826；山形．

大歳憲一，加藤欽志，加賀孝弘，猪狩貴弘，佐藤亮平，増子遼介，兼子陽太，福田裕也．野球選手の障害の実態と対応 成長期を中心に．久留米スポーツ肩肘研究会；20231111；久留米．

外傷学講座

論 文

〔原 著〕

Fujita K, Sawaguchi T, Goshima K, Shigemoto K, Iwai S. Influence of lateral hinge fractures on biplanar medical closing-wedge distal femoral osteotomy valgus knee: a new classification of lateral hinge fracture. Arch Orthopaedic & Trauma Surgery. 202303; 143(3):1175-1183.

Shigemoto K, Sawaguchi T, Higashikawa T, Okuro M. Differences in age-related characteristics among elderly patients with hip fractures. Journal of Orthopaedic Science. 202309; 28(5):1131-1135.

Minehara H, Maruo A, Amadei R, Contini A, Braile A, Kelly M, Jenner L, Schemitsch GW, Schemitsch EH, Miclau T 3rd. Open fractures: Current treatment perspective. OTA International. 202306; 6(3 Suppl):e240.

山本智章, 澤口毅, 脇貴洋. 大腿骨近位部骨折の診療報酬改定と Orthogeriatric co-management. Loco Cure. 202302; 9(1):1-9.

加藤成隆. 【令和4年度診療報酬改定を読み解く：大腿骨近位部骨折における早期手術と二次性骨折予防の意義と実際】FFN と大腿骨近位部骨折データベース. LocoCure. 202302; 9(1):22-26.

竹中信之. 【令和4年度診療報酬改定を読み解く：大腿骨近位部骨折における早期手術と二次性骨折予防の意義と実際】クリニカルクエスト—早期手術によって得られるベネフィットは何か？どこに注意すべきか？ Loco Cure. 202302; 9(1):53-56.

澤口毅. 各科医会から高齢者大腿骨近位部骨折と2022年診療報酬改定. 医報とやま. 202306; 1817:4-5.

大崎裕斗, 庄司真太郎, 松浦晃正, 河村直, 峰原宏昌, 三村悠祐, 高相晶士. 同側大腿骨三重骨折2例の治療経験. 神奈川整形災害外科研究会雑誌. 202303; 35(4):67-70.

澤口毅. 【骨粗鬆症の Up to date】『大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 2021 改訂第3版』の要点. 関節外科. 202312; 42(12):1353-1360.

工藤俊哉. 【重度四肢外傷と形成外科】ここまでできる究極の重度四肢外傷再建. 形成外科. 202312; 66(12):1448-1459.

豊永真人, 高群浩司, 岡崎裕司, 峰原宏昌, 澤口毅, 松下隆. 上腕骨骨幹部骨折の髓内釘手術における腱板疎部アプローチの中期成績. 骨折. 202301; 45(1):35-38.

岩井信太郎, 堀井健志, 重本顕史, 羽土優, 前田麟, 澤口毅. 大腿骨頸部骨折に対するセメント使用人工骨頭

置換術の臨床成績と安全性. 骨折. 202301; 45(1):77-80.

荒川郷彦, 浅原智彦, 高木基行, 加藤成隆, 寺本司, 松下隆. 膝関節不安定性を伴う著明に転位した腓骨頭骨折の治療経験. 骨折. 202303; 45(2):494-498.

青木浩平, 市原理司, 鈴木雅生, 原章, 丸山祐一郎, 工藤俊哉. 小児橈骨遠位 1/3 骨幹部骨折に対する掌側ロッキングプレート固定の治療. 骨折. 202303; 45(2):560-563.

高木基行, 加藤成隆, 寺本司, 芳野晃, 森本麻美, 荒川郷彦. Sinus tarsi approach を用いた踵骨骨折に対するロッキングプレート固定のコツとピットフォール. 骨折. 202303; 45(2):718-723.

高木基行, 結城拓也, 加藤成隆, 寺本司, 芳野晃, 森本麻美. 関節内陥没骨折に対する sliding bone graft の応用. 骨折. 202308; 45(4):1102-1112.

澤口毅. 【大腿骨近位部骨折患者における二次性骨折予防の実際】大腿骨近位部骨折に対する外科治療. 日本医師会雑誌. 202302; 151(11):1937-1941.

澤口毅. 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 骨盤骨折. 日本医事新報. 202302; 5154:55-56.

寺本司, 結城拓也, 森本麻美, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 松下隆, 大塚和孝, 西井幸信, 浅原智彦. 外反型変形性足関節症の新しい分類と手術的治療. 日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202306; 34:13-21.

豊永真人, 岡崎裕司, 工藤俊哉, 松下隆. 足関節周囲骨折に対する牧野牽引固定法の使用経験. 日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202306; 34:33-38.

程原誠, 岡崎裕司. 約 25 年来の左下腿骨開放骨折後, 慢性骨髓炎, 内反変形, 続発性変形性膝関節症併発症例の治療経験. 日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202306; 34:55-61.

結城拓也, 寺本司, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 紺野慎一. 治療に難渋した下腿開放骨折後偽関節・変形癒合の 1 例. 日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202306; 34:63-71.

佐野善智, 工藤俊哉. 【Orthoplastic Microsurgery・Aesthetic Microsurgery】重度四肢外傷の治療方針 私が実践している, より安全に治療するための工夫. 日本マイクロサージャリー学会会誌. 202312; 36(4):149-154.

澤口毅. 【二次骨折予防に向けた治療管理】大腿骨近位部骨折の診療報酬加算のポイント. 臨床整形外科. 202303; 58(3):289-295.

澤口毅. 【できる整形外科医になる! 臨床力 UP, 整形外科診療のコツとエッセンス】(1 章) 診断 スペシャリストからのメッセージ 外傷と関節外科に取り組んできた経験から. 臨床整形外科. 202305; 58(5):521-522.

書籍等出版物

澤口毅. 国際的コースの紹介 IV AO コース. In: 一般社団法人日本外傷学会 監修. 外傷専門診療ガイドライン JETEC 改訂第3版. 東京: へるす出版. 202306. p.542-547.

高木基行, 大塚和孝. 【1章 足関節・側部の外傷<総論>】3 創外固定. In: 日本足の外科学会 監修. 明日の足診療シリーズVI 足の外傷・絞扼性神経、糖尿病足の診かた. 東京: 全日本病院出版会. 202311. p.24-39.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Minehara H. The role of cement spacer and macrophage dynamics in the Masquelet technique. 49th Annual Meeting of the Korean Fracture Society; 20230428; Seoul, South Korea.

Minehara H. Effect of patient factors and injury mechanism on fracture management. AO Trauma Course-Basic Principles of Fracture Management; 20230526-28; Taipei, Taiwan.

Minehara H. Emergency management of pelvic fractures—a critical skill can save lives. AO Trauma Course-Basic Principles of Fracture Management; 20230526-28; Taipei, Taiwan.

Minehara H. Considerations for femoral fixation in polytrauma patients. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Minehara H. Unstable Femoral Trochanteric Fractures –failure of reduction. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Sawaguchi T. Clinical and radiographic anatomy of the pelvis. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Sawaguchi T. Extended trochanteric osteotomy (ETO) after broach insertion. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Sawaguchi T. Internal fixation around the hip and knee. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Sawaguchi T. Complications and clinical outcomes. AO Trauma Regional course; 20230716-23; Chiang Mai, Thailand.

Sawaguchi T. Review of the principles of fracture management. AO Trauma Advanced course; 20230823-25; Yokohama.

Sawaguchi T. Principles of acetabular fracture management. AO Trauma Advanced course; 20230823-25; Yokohama.

Sawaguchi T. Complex tibial plateau fractures. AO Trauma Advanced course; 20230823-25; Yokohama.

Minehara H. Emergency management of pelvic fractures-a critical skill can save lives. AO Trauma Course-Basic Principles of Fracture Management; 20230826-28; Yokohama.

Minehara H. The future of fracture treatment. AO Trauma Course-Basic Principles of Fracture Management; 20230826-28; Yokohama.

Sawaguchi T. Hip fracture: Operative treatment. Fragility Fracture course in Kota Kinabalu; 20230923-24; Malaysia, Kota Kinabalu.

Sawaguchi T. Indication for fixation with implant retention. AO Trauma Seminar Periprosthetic Fracture in Tainan; 20231014; Tainan, Taiwan.

Sawaguchi T. Case-base lecture -Considerations in ORIF for B2&3 fractures. AO Trauma Seminar Periprosthetic Fracture in Tainan; 20231014; Tainan, Taiwan.

Sawaguchi T. Principles of revisional arthroplasty around the hip-surgical approach, implant selection & removal. AO Trauma Seminar Periprosthetic Fracture in Tainan; 20231014; Tainan, Taiwan.

Sawaguchi T. Reduction and fixation of periprosthetic fractures around the proximal femur. AO Trauma Seminar Periprosthetic Fracture in Tainan; 20231014; Tainan, Taiwan.

Sawaguchi T. Tibial plateau fracture Kufri & Schatzker Type VI(AL+PL+PM). AO Master course Lower Extremity; 20231109-11; Nagoya.

Sawaguchi T. Femoral Neck Nonunion Valgus Osteotomy. AO Master course Lower Extremity; 20231109-11; Nagoya.

Sawaguchi T. Interactive case discussion(Tibia plateau fractures). AO Master course Lower Extremity; 20231109-11; Nagoya.

Sawaguchi T. Smith-Petersen Heuter approach. AO Master course Lower Extremity; 20231109-11; Nagoya.

Takenaka N. Correcting large deformities by Intra & Extra-articular osteotomies. HTO 360°; 20231201-03; Akora, India.

Takenaka N. Summary of Intra-articular vs. Extra-articular Osteotomies. HTO 360°; 20231201-03; Akora, India.

Takenaka N. Revision using DTOO for OA Ankle after long term stable Low Tibial Osteotomy using the Ilizarov fixator. HTO 360°; 20231201-03; Akora, India.

Minehara H. Femoral neck Fractures: Questions and answer session Summary, evaluation, and take-home messages. AO Trauma Masters Course-Current Concepts-Everything about the Hip; 20231203-08; Davos, Switzerland.

Minehara H. Current concepts in the management of femoral shaft fractures. AO Trauma Masters Course-Current Concepts-Everything about the Hip; 20231203-08; Davos, Switzerland.

Sawaguchi T. Avascular Necrosis of the hip (AVN) Diagnosis and treatments. AO Trauma Masters Course-Current Concepts-Everything about the Hip; 20231203-08; Davos, Switzerland.

Sawaguchi T. Nonunion around the hip — from the neck to subtrochanteric fractures. AO Trauma Masters Course-Current Concepts-Everything about the Hip; 20231203-08; Davos, Switzerland.

竹中信之. イリザロフ創外固定の基礎とアライメント. 第8回黒潮イリザロフ法セミナー; 20230204; 坂出.

澤口毅. 人工股関節ステム周囲骨折に対する骨接合術の適応と注意点. 第53回日本人工関節学会; 20230217-18; 横浜.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療 早期手術、周術期管理、2次骨折予防. 二次骨折予防を考える会 in 沖縄; 20230301; 那覇.

工藤俊哉. 重度四肢外傷治療における軟部組織損傷治療 より良く治せて持続可能なシステムとは? 第97回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

寺本司. Judet の整形外科から、学ぶこと. 第87回長崎イリザロフ研究会; 20230521; 長崎.

寺本司. TCVO—みんなが間違うのはどこか? どこが理解できないのか? 第88回長崎イリザロフ研究会; 20230604; 長崎.

松下隆. FLS による大腿骨近位部骨折の治療と予防 Orthogeriatric co-management による治療と二次骨折予防. 二次性骨折予防を考える会; 20230606; 郡山.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 結城拓也, 森本麻美, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 大腿骨転子部骨折に対する OLHS(Oblique Locking Hip Screw)の臨床成績. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230628; 静岡.

高木基行, 芳野晃, 大崎祐寿, 荒川郷彦, 結城拓也, 森本麻美, 加藤成隆, 寺本司. Sinus tarsi approach を用いた踵骨骨折に対するロッキングプレート固定のコツとピットフォール. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230628-0701; 静岡.

高木基行, 芳野晃, 大崎祐寿, 結城拓也, 原田将太, 加藤成隆, 寺本司. リスフラン関節脱臼骨折に対する観血的整復鋼線固定術の要点. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230628-0701; 静岡.

結城拓也, 高木基行, 原田将太, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆, 紺野慎一. ピロン骨折に対する低侵襲手術治療. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

結城拓也, 高木基行, 原田将太, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆, 紺野慎一. 不安定型大腿骨転子部骨折に対する Direct Lateral approach を用いた人工骨頭挿入術. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

寺本司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 大塚和孝, 西野雄一朗, 牧野佳朗, 田代宏一郎, 高木謙司郎, 西井幸信. 外反型変形性足関節症に対する手術の実績. 第 8 回九州足の外科研究会; 20230702; 福岡.

寺本司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦. 遠位大腿骨関節内骨切り術(Distal femoral Intra-articular Osteotomy : DFIO)の手術手技と臨床成績. 第 109 回長崎整形外科懇話会; 20230709; 長崎.

岡崎裕司. 東大脚延長患者の長期経過観察. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-14; 郡山.

高木基行. 外傷後骨髓炎の診断と創外固定による再建. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

澤口毅. 膝関節外傷後の再建. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

澤口毅. 骨盤骨折変形治療後の矯正骨切り術. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

結城拓也, 高木基行, 大崎祐寿, 原田将太, 加藤成隆, 金子洋之, 竹中信之, 寺本司, 松下隆, 紺野慎一. 血液透析患者の脛骨高原骨折に対して手術を行った 2 例. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

加藤成隆. FFN-Japan 大腿骨近位部骨折データベースのシステムとその意義. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929-1001; 名古屋.

高木基行, 芳野晃, 結城拓也, 原田将太, 加藤成隆, 寺本司. 足関節開放性脱臼骨折に対する鋼線固定術の 2 例. 第 48 回日本足の外科学会学術集会; 20231026-27; 大阪.

澤口毅. Femoral Neck Nonunion Valgus Osteotomy. 第 9 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20231104; 川崎.

[シンポジウム]

Sawaguchi T. How did we win policy change for geriatric hip fractures: Early surgery & Secondary fracture prevention. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023; 20230612-15; Yokohama.

Sawaguchi T. How did we win policy change for geriatric hip fractures: Early surgery under Orthogeriatric comanagement. 11th Fragility Fracture Network Global Congress 2023; 20231003-06; Oslo, Norway.

工藤俊哉. 上肢の主要血管損傷における「標準的な」治療. 第 37 回東日本手外科研究会; 20230128; 山形.

峰原宏昌. 新規設立外傷再建センター立ち上げと教育の実績. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

工藤俊哉, 松下隆, 澤口毅, 佐野善智, 仲野隆彦, 鈴木雅生. ピロン骨折に対する軟部組織再建を併用した骨再建の Knacks & Pitfalls. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

工藤俊哉, 松下隆, 佐野善智. マイクロサージャリーによる外傷治療の革新と創外固定治療の高度融合. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

工藤俊哉, 佐野善智, 佐藤宗範, 仲野隆彦, 小西浩允, 山岡秀司, 小野浩弥, 亀山貞. 再建外科・遊離組織移植 「四肢外傷再建」というシステム. 第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231207-08; 名古屋.

〔特別講演〕

澤口毅. Fragility Fracture Network の歴史と活動、Orthogeriatric Comanagement. 第 10 回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会; 20230304; 名古屋.

松下隆. チッピング法を用いた偽関節・変形の治療. 山梨県整形外科医会総会; 20230328; 甲府.

〔招待講演〕

Minehara H. Experiences with FNS in Japan. DPS FNS Forum; 20230805; Web.

Minehara H. Masquelet technique: from clinical to basic and from basic to clinical. Australian Orthopaedic Association Annual Scientific Meeting; 20231112-16; Melbourne, Australia.

Minehara H. Geriatric femoral trochanteric fractures: Is extramedullary reduction critical? Australian Orthopaedic Association Annual Scientific Meeting; 20231112-16; Melbourne, Australia.

〔その他〕

澤口毅. 外傷における一期的人工股関節置換 症例提示. 第 53 回日本人工関節学会; 20230217-18; 横浜.

澤口毅. 日本における脆弱性骨折ケアの向上と Orthogeriatrics の必要性 高齢者大腿骨近位部骨折に対する Orthogeriatric comanagement の実際と診療報酬改定. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929-1001; 名古屋.

松下隆. 創外固定をすぐ外せる！？創外固定マイスターが教える『新しいハイブリット骨再建法(BTOP 法)』. 第 9 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20231103; 川崎.

外傷再建学講座

論文

〔原 著〕

Sorimachi K, Moriyama N, Hatashita S, Miyajima H, Shigemoto S, Takagi K, Hirano H, Ito M, Iseki K, Yamashita S. Association of the Number of Teeth with Physical Function and Length of Hospital Stay After Hip Fracture Surgery: A Prospective Observational Study at Tertiary Hospital in Japan. Cureus. 202311; 15(10):e47297.

増子遼介, 畑下智, 伊藤雅之. ビスホスホネート使用歴のない患者に生じた非定型尺骨骨折に対して再々手術まで要した1例. 骨折. 202303; 45(2):724-730.

佐藤俊介, 畑下智, 伊藤雅之, 紺野慎一. 遠位骨幹部骨片が過度に後方に転位する大腿骨転子部骨折の形態学的特徴. 骨折. 202308; 45(4):1133-1139.

佐藤俊介, 伊藤雅之, 畑下智. Hoffa 骨折の関節鏡視下関節内骨折治療の1例 放射線被曝の低減を意識して行う. 骨折. 202305; 45(3):1046-1050.

平井亨, 畑下智, 川前恵史, 紺野慎一. 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折が術後機能に与える影響. 日本手外科学会雑誌. 202303; 39(6):783-786.

〔総説等〕

伊藤雅之. 股関節鏡視下手術の適応と限界 股関節外傷に対する股関節鏡の適応と限界. 整形・災害外科. 202302; 66(2):183-192.

〔症例報告〕

佐藤俊介, 伊藤雅之, 畑下智. Hoffa 骨折の関節鏡視下関節内骨折治療の1例. 骨折. 202305; 45(3):1046-1050.

書籍等出版物

伊藤雅之. 総論1 救急医療 骨盤骨折. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成. 今日の治療指針 2023 年度版. 東京: 医学書院. 202301. p.70-71.

伊藤雅之. 大腿骨ステム周囲骨折 C.再置換術 ①セメントレスステム. In: 馬場智規. インプラント周囲骨折を極める. 東京: 全日本病院出版社. 202307. p.99-118.

伊藤雅之. 人工股関節 セメントレス. In: 馬場智規. インプラント周囲骨折を極める. 東京: 全日本病院出版社. 202307. p.220-222.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Sato S, Hatashita S, Sasaki N, Kameda T, Ito M, Konno S. Die punch fragment is related to postoperative functional outcome. 13th Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand(APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Fushimi Y, Sasaki N, Kameda T, Sato S, Utsumi A, Konno S. Upper limb duplication: a case report. 13th Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand(APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Sasaki N, Kameda T, Fushimi Y, Sato S, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S, Oka Y, Hashimoto Y. Osteoid osteoma of the hand and digit: a report of two cases. 13th Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand(APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Sasaki N, Kawakami R, Ejiri S, Hatashita S, Kameda T, Sato S, Fushimi Y, Konno S. The Efficacy of the Continuous Intra-Arterial Infusion of Heparin for the Lower Leg Free Flap in the Reconstruction of Gustilo 3B and 3C Open Fractures. 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

反町光太郎, 伊藤雅之. 前柱スクリー逸脱による外腸骨静脈閉塞の一症例. 第10回日本骨盤手術手技研究会; 20230107; 東京.

伊藤雅之. Acute arthroplasty 総論 日本人工関節学会 AO Recon/JSRA Combined Seminar. 第53回日本人工関節学会; 20230217; 横浜. プログラム・抄録集. 307.

川前恵史, 伊藤雅之, 畑下智, 反町光太郎, 佐藤俊介. 骨盤輪骨折後腎筋壊死感染に対する複数回手術の経験. 4th Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20230225; 仙台.

伊藤雅之. 脆弱性寛骨臼骨折および大腿骨転子部骨折. 第88回JABO研修会; 20230312; 東京/Web.

佐藤俊介. 橈骨遠位端骨折. レジケース Vol.5; 20230312; Web.

佐藤俊介. 前腕骨骨折. レジケース Vol.5; 20230312; Web.

佐藤俊介, 畑下智, 紺野慎一. Covid-19 感染患者に発症した大腿骨転子部骨折の3例 感染がどのような影響を与えたか? 第25回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 8.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 心臓血管外科に紹介され経過観察を指示された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の1例. 第25回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 22.

反町光太郎, 畑下智, 伊藤雅之. 整形外科医と泌尿器科医の方針の相違により、手術方針を変更せざるを得なかった膀胱破裂合併骨盤輪骨折の一例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 23.

畑下智, 須藤洋輔, 佐藤俊介, 三澤友誉, 伊藤雅之. 救命と救肢の両立は如何にして可能なのか? 両側出血性・阻血性重度下肢外傷の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 92.

大竹飯豊, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 初期治療で後脛骨動脈損傷を再建しなかった, Gustilo IIIB 脛骨開放性ピロン骨折の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 115.

磯部瑞, 佐藤俊介, 菅原崇寛, 大竹飯豊, 紺野慎一. 経過中に COVID-19 感染症を合併した、高齢者重症多発外傷の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317-18; 那覇. プログラム・抄録集. 163.

佐藤俊介, 畑下智. Cross Limb Vascular Shunt を行った, 膝窩動脈損傷を伴う脛骨プラトー骨折の 1 例. 第 2 回下肢 GustiloIIIC Peer Review Web Meeting; 20230416; Web.

大竹飯豊, 佐藤俊介. 初期治療で後脛骨動脈損傷を再建しなかった Gustilo 3B 脛骨開放性ピロン骨折の症例. 第 12 回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

畑下智, 高橋洋二郎, 新田夢鷹, 伊藤雅之. blunt cut による出血性・阻血性膝窩動脈損傷の 1 例. 第 3 回下肢 GustiloIIIC Peer Review Web Meeting; 20230507; Web.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の 1 例. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

大竹飯豊, 大谷晃司, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 紺野慎一. 脊髄症を発症した胸椎骨芽細胞腫の 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

見城剛史, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伏見友希, 佐藤俊介, 紺野慎一. 関節鏡視下に皮質海綿骨移植を行った舟状骨偽関節の一例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

川前恵史, 畑下智, 伊藤雅之, 長島智春, 佐藤俊介. 多発外傷・大腿骨遠位部 Masquelet 法術後, 膝関節高度拘縮に対して長屋変法を用いて関節授動をおこなった 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

菅原崇寛, 新田夢鷹, 佐藤俊介, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 繊維性骨異形成症に対して上腕骨近位用ロッキングプレートを用いて骨接合術を行った 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 佐々木信幸, 新田夢鷹, 草野敬悟, 紺野慎一. 長期留置された大腿骨インプラントの抜釘困難による医原性骨折. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

平井亨, 畑下智. ひまわり法における術後ワイヤー折損と AI pin の位置関係の検討. 第 120 回東北整形災害外科

学会; 20230609-10; 福島.

伏見友希, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 佐藤俊介, 紺野慎一. 全身性強皮症に合併し治療に難渋した手指の皮膚潰瘍と化膿性近位指節関節炎の一例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

山岡志帆, 畑下智, 千葉紀之, 反町光太郎, 佐藤俊介, 川前恵史, 伊藤雅之. 患肢温存した 87 歳 GustiloIIIB 下腿開放骨折症例から, 患肢温存可能な条件を考察する. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

佐藤俊介. 上腕骨遠位端粉碎骨折を合併する開放性肘頭脱臼骨折(M-1P-II)の 1 例. 外傷整形外科 Web シンポジウム 肘頭脱臼骨折; 20230625; Web.

佐藤俊介. 距骨骨折. レジケース Vol.12; 20230625; Web.

佐藤俊介. 足関節骨折. レジケース Vol.12; 20230625; Web.

川前恵史, 畑下智, 伊藤雅之, 菅谷岳広, 長島智春, 金子直樹, 反町光太郎, 佐藤俊介. 大腿骨転子部骨折におけるラグスクリュー刺入角度と術後整復位やスライディング量の検討. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

金子直樹, 畑下智, 佐藤俊介. 小児手指基節骨 juxta-epiphyseal fracture の治療戦略の検討. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

畑下智, 佐藤俊介, 川前恵史, 反町光太郎, 金子直樹, 千葉紀之, 増子遼介, 須藤洋輔, 水野洋佑, 伊藤雅之. 『損傷要因による開放骨折形態』の把握は, 追加皮切の必要性および開放創への対応方法の判断の一助となる. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

反町光太郎, 畑下智, 伊藤雅之. 大腿骨近位部骨折受傷患者の歯の本数で術後の予後予測は可能か? 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

長島智春, 畑下智, 川前恵史, 反町光太郎, 金子直樹, 佐藤俊介, 増子遼介, 伊藤雅之. 肩鎖関節脱臼における烏口鎖骨靱帯と肩鎖靱帯の同時再建による術後再脱臼率の検討. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の 1 例. 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

佐藤俊介. 整形外科専門医・外傷再建外科医の実際. 第 2 回整形外科医になろうセミナー 専門医生活の実際[外傷・救急分野]; 20230708; Web.

畑下智, 佐藤俊介, 川前恵史, 反町光太郎, 金子直樹, 千葉紀之, 増子遼介, 須藤洋輔, 水野洋佑, 伊藤雅之. 足関節果部脱臼骨折に一時的創外固定は必要か? 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

佐藤俊介, 畑下智, 川前恵史, 伊藤雅之, 紺野慎一. 超高齢者の人工膝関節周囲下腿骨幹部骨折において,

Ilizarov 創外固定こそ最適な治療である. 第 36 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20230713-15; 郡山.

佐藤俊介. 1 年経過してようやく気づいた Charcot 関節 開放性ピロン骨折の 1 例. 外傷整形外科 Web シンポジウム 『その骨折, Charcot だったんじゃないですか』; 20230722; Web.

佐藤俊介. 整形外科ハンズオンセミナー2023. 第 12 回臨床研修医のためのハンズオンセミナー; 20230819; 福島.

佐藤俊介. 橈骨遠位端骨折の治療. 2023 TEAM-T MEETING; 20230916; 仙台.

川前恵史. 「悩ましい」脛骨遠位骨幹端骨折. 2023 TEAM-T MEETING; 20230916; 仙台.

伊藤雅之. 寛骨臼骨折後の人工股関節形成術 外傷後 revision THA のコツ・ピットフォール. 日本骨折治療学会研修会 第 13 回アドバンスコース; 20230917-18; 神戸.

佐藤俊介. 小児上腕骨骨折. レジケース Vol.18; 20230924; Web.

佐藤俊介. 病的骨折. レジケース Vol.18; 20230924; Web.

川前恵史, 畑下智. 轢過による 3 指皮膚欠損・DIP・PIP 関節損傷に対して, 2 指肋軟骨移植を行った 1 例. 第 36 回福島手外科研究会; 20231014; 郡山.

佐藤俊介. 示指 ray amputation による fillet flap により, 手内遠隔皮弁で母指指腹部再建を行った 1 例. 第 36 回福島手外科研究会; 20231014; 郡山.

平野浩子, 岩澤富子, 鈴木美由紀, 五十嵐直子, 栗城梨沙, 反町光太郎, 伊藤雅之. 大腿骨近位部骨折術後の認知症患者における排泄意欲と在宅復帰率の関連性. 第 50 回日本股関節学会学術集会; 20231027-28; 福岡.

伊藤雅之. TFNA cement augmentation の導入理由と手術のコツ. 新潟転子部骨折セミナー; 20231116; Web.

反町光太郎, 伊関憲, 伊藤雅之. 大腿骨近位部骨折患者の術後身体機能予測は救急外来で可能か? 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京.

畑下智, 佐藤俊介, 川前恵史, 反町光太郎, 金子直樹, 千葉紀之, 伊藤雅之. 脂肪筋膜弁とすることで reverse sural artery flap の生着率は向上するか? 第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231207-08; 名古屋.

佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 川前恵史, 伊藤雅之, 松本嘉寛. 75 歳以上の高齢者における Gustilo 分類 TypeIII 下腿開放骨折の治療を考察する. 第 50 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20231207-08; 名古屋.

[シンポジウム]

伊藤雅之, 畑下智, 川前恵史, 反町光太郎, 普久原朝海. 骨盤骨折治療の進歩 寛骨臼骨折に対する人工関節置換術. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

普久原朝海, 伊藤雅之, 川島寛之. 骨盤骨折治療の進歩 寛骨臼骨折手術の最適化 患者の集約化と手術の低侵襲化. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

佐藤俊介, 畑下智, 伊藤雅之, 紺野慎一. 各県における外傷ユニット・センターのあり方／展望 福島県立医科大学「内」整形外傷センター化構想と, その先の外傷教育の理想を語る. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

普久原朝海, 伊藤雅之, 川島寛之. 各県における外傷ユニット・センターのあり方／展望 新潟における整形外傷教育の Next Stage OJT の場としての外傷再建センター設立へ. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

佐藤俊介, 畑下智, 反町光太郎, 川前恵史, 伊藤雅之, 紺野慎一. 脛骨プラトー骨折における後外側骨片 アプローチと固定の是非 脛骨プラトー骨折「後外側骨片」への適切なアプローチはどのように選択すべきか? 第 49 回日本骨折治療学会学術集会; 20230629-0701; 静岡.

伊藤雅之, 普久原朝海, 反町光太郎. 寛骨臼骨折に対する一期的 THA 寛骨臼骨折に対する THA 合併症. 第 50 回日本股関節学会学術集会; 20231027-28; 福岡.

佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 反町光太郎, 川前恵史, 川上亮一, 伊藤雅之, 松本嘉寛. 「“標準化” の先」 Case matched discussion 症例のパターンを揃えた施設間の症例提示・検討 2 Mangled Foot への対処 足底, 後足部, アキレス腱周囲の軟部組織再建治療を振り返る. 第 9 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20231103-04; 川崎.

〔特別講演〕

伊藤雅之. 脆弱性寛骨臼・転子部骨折に対する人工関節. 南部地区骨折治療研究会; 20230914; 八戸.

〔その他〕

Ito M. Reduction and fixation of periprosthetic fractures around the femur. AO Trauma AO Recon Course- Comprehensive Periprosthetic Fracture Management of the Hip and Knee; 20230720-22; Chiang Mai, Thailand.

Ito M. Plenary case-based discussion: Internal fixation around the hip. AO Trauma AO Recon Course- Comprehensive Periprosthetic Fracture Management of the Hip and Knee; 20230720-22; Chiang Mai, Thailand.

Ito M. Plate osteosynthesis of the posterior column. AO Trauma AO Recon Course- Comprehensive Periprosthetic Fracture Management of the Hip and Knee; 20230720-22; Chiang Mai, Thailand.

Ito M. Plenary case-based discussion: infected periprosthetic fractures. AO Trauma AO Recon Course- Comprehensive Periprosthetic Fracture Management of the Hip and Knee; 20230720-22; Chiang Mai, Thailand.

Ito M. femoral neck fracture. AO trauma course advanced principles of fracture management; 20230824-26; Yokohama.

Ito M. Perioperative infection -prevention, evaluation, and management-. AO trauma course advanced principles of fracture management; 20230824-26; Yokohama.

Ito M. Fractures in the growing skeleton: how are they different? AO trauma course advanced principles of fracture management; 20230824-26; Yokohama.

Ito M. Compartment syndrome. Zimmer trauma anatomical specimen course; 20231110-11; Bangkok, Thailand.

Ito M. Iliioinguinal approach. Zimmer trauma anatomical specimen course; 20231110-11; Bangkok, Thailand.

Ito M. Modified Stoppa approach. Zimmer trauma anatomical specimen course; 20231110-11; Bangkok, Thailand.

伊藤雅之. Complex cases におけるテクニック 人工物置換. Hip Fracture Seminar Advanced Course; 20230417; Web.

生体機能イメージング講座

論 文

〔原 著〕

Maki H, Mori-Yoshimura M, Matsuda H, Hashimoto Y, Ota M, Kimura Y, Shigemoto Y, Ishihara N, Kan H, Chiba E, Arizono E, Yoshida S, Takahashi Y, Sato N. Brain Abnormalities in Becker Muscular Dystrophy: Evaluation by Voxel-Based DTI and Morphometric Analysis. AJNR. American Journal of Neuroradiology. 202310; 44(12):1405-1410.

Wagatsuma K, Miwa K, Akamatsu G, Yamao T, Kamitaka Y, Sakurai M, Fujita N, Hanaoka K, Matsuda H, Ishii K. Toward standardization of tau PET imaging corresponding to various tau PET tracers: a multicenter phantom study. Annals of Nuclear Medicine. 202309; 37(9):494-503.

Matsuda H, Soma T, Okita K, Shigemoto Y, Sato N. Development of software for measuring brain amyloid accumulation using ¹⁸F-florbetapir PET and calculating global Centiloid scale and regional Z-score values. Brain and Behavior. 202307; 13(7):e3092.

Ota M, Sato N, Takahashi Y, Shigemoto Y, Kimura Y, Nakaya M, Chiba E, Matsuda H. Correlation between the regional brain volume and glymphatic system activity in progressive supranuclear palsy. *Dementia and Geriatric Cognitive Disorders*. 202307; 52(3):177-183.

Arizono E, Sato N, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Maki H, Matsuda H, Takeshita E, Shimizu-Motohashi Y, Sasaki M, Saito K. Brain structural changes in alternating hemiplegia of childhood using single-case voxel-based morphometry analysis. *International Journal of Developmental Neuroscience*. 202311; 83(7):665-673.

Chiba E, Sato N, Kimura Y, Shigemoto Y, Maki H, Arizono E, Hamamoto K, Taniguchi G, Iwasaki M, Ota M, Matsuda H, Nakagawa E. Double inversion recovery MRI of subcortical band heterotopia and its variations. *Journal of Neuroimaging*. 202309; 33(5):731-736.

Kimura Y, Sato W, Maikusa N, Ota M, Shigemoto Y, Chiba E, Arizono E, Maki H, Shin I, Amano K, Matsuda H, Yamamura T, Sato N. Free-water-corrected diffusion and adrenergic/muscarinic antibodies in myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome. *Journal of Neuroimaging*. 202309; 33(5):845-851.

Shigemoto Y, Sato N, Maikusa N, Sone D, Ota M, Kimura Y, Chiba E, Okita K, Yamao T, Nakaya M, Maki H, Arizono E, Matsuda H. Age and Sex-Related Effects on Single-Subject Gray Matter Networks in Healthy Participants. *Journal of Personalized Medicine*. 202302; 13(3):419.

Ota M, Sato N, Nakaya M, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Yokoi Y, Tsukamoto T, Matsuda H. Relationship between the tau protein and choroid plexus volume in Alzheimer's disease. *Neuroreport*. 202308; 34(11):546-550.

Hattori M, Hiraga K, Satake Y, Tsuboi T, Tamakoshi D, Sato M, Yokoi K, Suzuki K, Arahata Y, Hori A, Kawashima M, Shimizu H, Matsuda H, Kato K, Washimi Y, Katsuno M. Clinico-imaging features of subjects at risk of Lewy body disease in NaT-PROBE baseline analysis. *NPJ Parkinson's Disease*. 202304; 9(1):67.

〔総説等〕

Matsuda H, Yamao T. Tau positron emission tomography in patients with cognitive impairment and suspected Alzheimer's disease. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):85-93.

曾根大地, 松田博史. 側頭葉てんかんの MRI 診断 (非正規分布拡散 MRI) . *Clinical Neuroscience*. 202306; 41(6):866-868.

松田博史. Alzheimer 病(AD)SPECT・PET. *Clinical Neuroscience*. 202309; 41(9):1157-1161.

書籍等出版物

Matsuda H, Shimosegawa E, Shigemoto Y, Sato N, Fujii H, Suzuki F, Kimura Y, Sugiyama A. Diseases of the Central Nervous System. In: Gholamrezanezhad A, Assadi M, Jadvar H. *Radiology-Nuclear Medicine*

Diagnostic Imaging: A Correlative Approach. Hoboken, USA: Wiley-Blackwell; 202305. p.163-193.

松田博史. 第2章認知症の診断 バイオマーカー 形態画像バイオマーカー. In: 池田学, 松下正明, 神庭重信. 神経認知障害群 (講座精神疾患の臨床 5). 東京: 中山書店; 202305. p.144-151.

松田博史. 脳血流 SPECT. In: 絹谷清剛, 若林大志. 新核医学テキスト. 東京: 中外医学社; 202311. p.48-56.

松田博史. 画像統計解析. In: 絹谷清剛, 若林大志. 新核医学テキスト. 東京: 中外医学社; 202311. p.84-87.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Matsuda H, Hanyu H, Kaneko C. Centiloid scale measure of amyloid PET by CT of PET/CT. 15th Annual meeting of Human Amyloid Imaging; 20230111; Miami, USA.

Yamao T, Miwa K, Kaneko Y, Takahashi N, Miyaji N, Ito H, Matsuda H. Deep learning based fully automatic approach to predict amyloid PET centiloid scales. SNMMI 2023 Annal Meeting; 20230624; Chicago, USA.

松田博史, 相馬努, 沖田恭治, 重本蓉子, 佐藤典子. 18F-Florbetapir によるアミロイド定量ソフトウェアの開発. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

松田博史, 羽生春夫, 山尾天翔. 18F-NAV4694 と 18F-MK6240 PET によるアルツハイマー病の診断. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

松田博史, 羽生春夫. アミロイドとタウ PET によるアルツハイマー病の診断. 第42回日本認知症学会学術集会; 20231125; 奈良.

〔特別講演〕

松田博史. アミロイド PET (アミヴィッド) の臨床インパクトと定量ソフトウェアの有用性. 第63回日本核医学会学術総会; 20231117; 大阪.

〔招待講演〕

Matsuda H. SPECT with ECD and DATscan for neurodegenerative disease. International Symposium on Diagnosis and Management of Neurological Disorders; 20230428; Taichung, Taiwan.

Matsuda H. AT(N) profiles using amyloid and tau PET in patients with cognitive impairment and suspected Alzheimer's disease. Joint Symposium on Nuclear Cardiology and Neurology Taiwan Society of Nuclear Medicine; 20230429; Taipei, Taiwan.

〔その他〕

Matsuda H. Diagnosis of Alzheimer's disease by amyloid and tau positron emission tomography. *Frontiers in Dementia Research-Master Lectures*; 20230908; Taipei, Taiwan/Web.

多発性硬化症治療学講座

論 文

〔原 著〕

Tomura N, Saginoya T, Sanpei T, Konno T, Fujihara K. Contrast-enhanced double inversion recovery sequence for patients with multiple sclerosis: feasibility of subtraction images between pre- and post-contrast images. *Acta Radiologica*. 202302; 64(2):719-724.

Ishido H, Chiba S, Takahashi H, Isa M, Ogawa Y, Kubota H, Imanishi A, Omori Y, Ono T, Tsutsui K, Han G, Kondo H, Tsuji H, Nakamagoe K, Ishii A, Tanaka K, Tamaoka A, Shimizu T, Nishino S, Miyamoto T, Kanbayashi T. Characteristics of hypersomnia due to inflammatory demyelinating diseases of the central nervous system. *BMJ Neurology Open*. 202306; 5(1):e000428.

Matsumoto Y, Kaneko K, Takahashi T, Takai Y, Namatame C, Kuroda H, Misu T, Fujihara K, Aoki M. Diagnostic implications of MOG-IgG detection in sera and cerebrospinal fluids. *Brain*. 202309; 146(9):3938-3948.

Morooka M, Hiraga A, Tanaka K, Yoshizaki S, Koide K, Kuwabara S. Two Cases of Encephalitis without Anti-N-methyl-D-aspartate Receptor Antibody Successfully Treated with Ovarian Teratoma Resection and Immunotherapy. *Internal Medicine*. 202306; 62(12):1817-1820.

Tanaka K, Kezuka T, Ishikawa H, Tanaka M, Sakimura K, Abe M, Kawamura M. Pathogenesis, Clinical Features, and Treatment of Patients with Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein (MOG) Autoantibody-Associated Disorders Focusing on Optic Neuritis with Consideration of Autoantibody-Binding Sites: A Review. *International Journal of Molecular Sciences*. 202308; 24(17):13368.

Akaishi T, Tarasawa K, Matsumoto Y, Sandhya P, Misu T, Fushimie K, Takahashi T, Fujimori J, Ishii T, Fujimori K, Yaegashi N, Nakashima I, Fujihara K, Aoki M. Associations between neuromyelitis optica spectrum disorder, Sjögren's syndrome, and conditions with electrolyte disturbances. *Journal of the Neurological Sciences*. 202309; 452:120742.

Abe M, Yaguchi H, Kudo A, Nagai A, Shirai S, Takahashi-Iwata I, Matsushima M, Nakamura N, Isahaya K, Yamano Y, Ashida S, Kasai T, Tanaka K, Watanabe M, Kondo T, Takahashi H, Hatakeyama S, Takekoshi

A, Kimura A, Shimohata T, Yabe I. Sez6l2 autoimmunity in a large cohort study. *Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry*. 202308; 94(8):667-668.

Aktas O, Hartung HP, Smith MA, Rees WA, Fujihara K, Paul F, Marignier R, Bennett JL, Kim HJ, Weinshenker BG, Pittock SJ, Wingerchuk DM, Cutter G, She D, Günsior M, Cimbora D, Katz E, Cree BA; N-MOMentum study investigators. Serum neurofilament light chain levels at attack predict post-attack disability worsening and are mitigated by inebilizumab: analysis of four potential biomarkers in neuromyelitis optica spectrum disorder. *Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry*. 202309; 94(9):757-768.

Suzuki N, Mori-Yoshimura M, Katsuno M, Takahashi MP, Yamashita S, Oya Y, Hashizume A, Yamada S, Nakamori M, Izumi R, Kato M, Warita H, Tateyama M, Kuroda H, Asada R, Yamaguchi T, Nishino I, Aoki M. Phase II/III Study of Aceneuramic Acid Administration for GNE Myopathy in Japan. *Journal of Neuromuscular Diseases*. 2023; 10(4):555-566.

Banwell B, Bennett JL, Marignier R, Kim HJ, Brilot F, Flanagan E, Ramanathan S, Waters P, Tenenbaum S, MD, Graves JS, Chitnis T, Brandt AU, Hemingway C, Neuteboom R, Pandit L, Reindl M, Saiz A, Sato DK, Rostasy K, Paul F, Pittock S, Fujihara K, Palace J. Diagnosis of myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease: International MOGAD Panel proposed criteria. *Lancet. Neurology*. 202303; 22(3):268-282.

Solomon AJ, Arrambide G, Brownlee WJ, Flanagan EP, Amato MP, Amezcua L, Banwell BL, Barkhof F, Corboy JR, Correale J, Fujihara K, Graves J, Harnegie MP, Hemmer B, Lechner-Scott J, Marrie RA, Newsome SD, Rocca MA, Royal W, Waubant EL, Yamout B, Cohen JA. Differential diagnosis of suspected multiple sclerosis: an updated consensus approach. *Lancet. Neurology*. 202308; 22(8):750-768.

Weinshenker BG, Wingerchuk DM, Green AJ, Bennett JL, Kim HJ, Pittock SJ, Fujihara K, Paul F, Cutter G, Marignier R, Aktas O, Hartung HP, She D, Smith M, Rees W, Patterson K, Cimbora D, Katz E, Cree BA. Attack adjudication in neuromyelitis optica spectrum disorder: Substantiation of criteria by magnetic resonance imaging and biomarkers in N-Momentum. *Multiple Sclerosis*. 202307; 29(8):945-955.

Samadzadeh S, Olesen MN, Wrenfeldt M, Möller S, Misu T, Soelberg K, Frederiksen JL, Heegaard S, Mariotto S, Fujihara K, Ruprecht K, Andersen TL, Marignier R, Lillevang ST, Flanagan EP, Pittock SJ, Kim HJ, Bennett JL, Friedeman Paul F, Sorensen GL, Weinshenker BG, Lassmann H, Asgari N. Microfibrillar-associated protein 4 as potential marker of acute relapse in inflammatory demyelinating diseases of the central nervous system: pathological and clinical aspects. *Multiple Sclerosis*. 202312; 29(14):1721-1735.

Sandhya P, Akaishi T, Fujihara K, Aoki M. A novel association of osmotic demyelination in Sjögren's syndrome prompts revisiting role of aquaporins in CNS demyelinating diseases: A literature review. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202301; 69:104466.

Fujihara K, Kim HJ, Saida T, Misu T, Nagano Y, Totsuka N, Iizuka M, Kido S, Terata R, Okumura K, Hirota S, Cree BAC. Efficacy and safety of inebilizumab in Asian participants with neuromyelitis optica spectrum disorder: Subgroup analyses of the N-MOMentum study. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202311; 79:104938.

Paul F, Marignier R, Palace J, Arrambide G, Asgari N, Bennett JL, Cree BAC, De Sèze J, Fujihara K, Kim HJ, Hornby R, Huda S, Kissani N, Kleiter I, Kuwabara S, Lana-Peixoto M, Law L, Leite MI, Pandit L, Pittock SJ, Quan C, Ramanathan S, Rotstein D, Saiz A, Sato DK, Vaknin-Dembinsky A. International Delphi Consensus on the Management of AQP4-IgG+ NMOSD: Recommendations for Eculizumab, Inebilizumab, and Satralizumab. *Neurology® Neuroimmunology & Neuroinflammation*. 202305; 10(4):e200124.

Matsui N, Tanaka K, Ishida M, Yamamoto Y, Matsubara Y, Saika R, Iizuka T, Nakamura K, Kuriyama N, Matsui M, Arisawa K, Nakamura Y, Kaji R, Kuwabara S, Izumi Y; Japanese SPS Study. Prevalence, Clinical Profiles, and Prognosis of Stiff-Person Syndrome in a Japanese Nationwide Survey. *Neurology® Neuroimmunology & Neuroinflammation*. 202309; 10(6):e200165.

Mori-Yoshimura M, Suzuki N, Katsuno M, Takahashi MP, Yamashita S, Oya Y, Hashizume A, Yamada S, Nakamori M, Izumi R, Kato M, Warita H, Tateyama M, Kuroda H, Asada R, Yamaguchi T, Nishino I, Aoki M. Efficacy confirmation study of aceneuramic acid administration for GNE myopathy in Japan. *Orphanet Journal of Rare Diseases*. 202308; 18(1):241.

Akaishi T, Misu T, Fujihara K, Nakaya K, Nakaya N, Nakamura T, Kogure M, Hatanaka R, Itabashi F, Kanno I, Kaneko K, Takahashi T, Fujimori J, Takai Y, Nishiyama S, Ishii T, Aoki M, Nakashima I, Hozawa A. White blood cell count profiles in the acute phase of AQP4-IgG seropositive NMOSD and MOG-IgG-associated disease. *Scientific Reports*. 202304; 13(1):6481.

Gold R, Barnett M, Chan A, Feng H, Fujihara K, Giovannoni G, Motalban X, Shi FD, Tintore M, Xue Q, Yang C, Zhou H. Clinical use of dimethyl fumarate in multiple sclerosis treatment: an update to include China, using a modified Delphi method. *Therapeutic Advances in Neurological Disorders*. 202307; 16:17562864231180734.

Nakashima I, Nakahara J, Yokote H, Manabe Y, Okamura K, Hasegawa K, Fujihara K. Long-term safety and effectiveness of eculizumab in patients with aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder: a 2-year interim analysis of post-marketing surveillance in Japan. *Therapeutic Advances in Neurological Disorders*. 202306; 16:17562864231181177.

Akaishi T, Takahashi T, Misu T, Fujihara K, Nakashima I, Aoki M. Time-Dependent Analysis of Sicca Symptoms and Anti-Ro/SSA and Anti-La/SSB Antibodies in Patients with AQP4-IgG-Positive Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202307; 260(3):215-221.

高井康行, 山上明子, 岩佐真弓, 井上賢治, 若倉雅登, 高橋利幸, 田中恵子. Myelin-oligodendrocyte glycoprotein 抗体陽性視神経炎の副腎皮質ステロイド単独による維持療法の有用性. *日本眼科学会雑誌*. 202312; 127(12):1103-1109.

〔総説等〕

Misu T, Matsumoto Y, Kaneko K, Takahashi T, Takai Y, Ono H, Namatame C, Nishiyama S, Fujimori J,

Kuroda H, Nakashima I, Fujihara K, Aoki M. Myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disorders: an overview. *Clinical and Experimental Neuroimmunology*. 202402; 15(1):6-15.

Bennett JL, Fujihara K, Kim HJ, Marignier R, O'Connor KC, Sergott RC, Traboulsee A, Wiendl H, Wuerfel J, Zamvil SS, Anania VG, Buffels R, Künzel T, Lekkerkerker AN, Lennon-Chrimes S, Pittock SJ. SAKuraBONSAI: Protocol design of a novel, prospective study to explore clinical, imaging, and biomarker outcomes in patients with AQP4-IgG-seropositive neuromyelitis optica spectrum disorder receiving open-label satralizumab. *Frontiers in Neurology*. 202302; 14:1114667.

Takai Y, Misu T, Fujihara K, Aoki M. Pathology of myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease: a comparison with multiple sclerosis and aquaporin 4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorders. *Frontiers in Neurology*. 202307; 14:1209749.

Hor JY, Fujihara K. Epidemiology of myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease: a review of prevalence and incidence worldwide. *Frontiers in Neurology*. 202309; 14:1260358.

松井尚子, 田中恵子, 和泉唯信. ステッフパーソン症候群. *Brain and Nerve*. 202306; 75(6):749-754.

田中恵子. 傍腫瘍性神経症候群. *Brain and Nerve*. 202306; 75(6):755-762.

黒田宙, 藤原一男. 神経免疫疾患と予防医療. *神経治療学*. 202303; 40(2):79-82.

田中恵子. 自己免疫性中枢神経炎症性疾患. *神経治療学*. 202305; 40(3):227-231.

田中恵子. 傍腫瘍性神経症候群 Up-to-Date. *神経治療学*. 202305; 40(3):385-390.

黒田宙. 【神経疾患治療の進歩 2022】免疫介在性中枢神経疾患. *神経治療学*. 202309; 40(5):698-701.

〔症例報告〕

中村純子, 田中恵子. 自己免疫性辺縁系脳炎(LGI1 抗体陽性)に対する早期治療とリハビリテーションにより自宅に復帰し得た 1 例. *日本病院総合診療医学会雑誌*. 202309; 19(5):358-360.

〔その他〕

山田一貴, 松島理明, 石川楓, 大鷗祐貴, 田中大貴, 水島慶一, 上床尚, 白井慎一, 岩田育子, 矢口裕章, 田中恵子, 矢部一郎. 抗 GABAB 受容体抗体陽性脳炎を合併した Lambert-Eaton 症候群(LEMS)の 1 例. *臨床神経学*. 202305; 63(5):326.

佐藤星矢, 漆田優樹, 長嶺俊, 田中恵子, 櫻井篤志. COVID-19 感染中に高次脳機能障害・精神症状を呈した 27 歳女性例. *臨床神経学*. 202311; 63(11):768.

書籍等出版物

田中恵子. I. 総論 6. 傍腫瘍性神経症候群関連自己抗体の分類と病態. In: 下畑享良. 自己免疫性脳炎・関連疾患ハンドブック. 京都: 金芳堂; 202305. p.54-63.

黒田宙. 神経サルコイドーシスの治療. In: 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会. サルコイドーシス診療の手引き 2023. 東京: 克誠堂出版; 202310. p.13-16.

黒田宙, 藤原一男. 脊髄炎. In: 北川一夫, 青木正志, 小林俊輔. 脳神経疾患最新の治療 2024-2026. 東京: 南江堂; 202311. p.230-232.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kuroda H, Takai Y, Kaneko K, Matsumoto Y, Namatame C, Ono H, Takahashi T, Misu T, Fujihara K, Aoki M. Differences of MRI enhancement patterns between patients with MOGAD and MS. 15th Pan-Asian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS); 20231123-25; Perth, Australia.

松井尚子, 田中恵子, 桑原聡, 和泉唯信. スティッフパーソン症候群—診断基準の検証とバイオマーカー探索—. 神経免疫班 班会議; 20230112; 東京.

松井尚子, 田中恵子, 佐藤泰憲, 桑原聡, 和泉唯信. アイザックス症候群の全国調査. 神経免疫班 班会議; 20230112; 東京.

Kuroda H, Takai Y, Kaneko K, Matsumoto Y, Namatame C, Ono H, Takahashi T, Misu T, Fujihara K, Aoki M. Association between intractable spinal cord sarcoidosis and mechanical compression. 第 64 回日本神経学会学術大会; 20230601; 千葉.

田中恵子. 自己抗体が関連する中枢神経炎症性疾患. 中外製薬株式会社社内講義; 20230713; 新潟.

小出夏歩, 友利雅貴, 黒田宙, 金子知香子, 藤原一男, 山本悌司. COVID-19 後に MOG 抗体関連疾患を発症した 1 例. 日本内科学会第 230 回東北地方会; 20230902; 盛岡.

瀬川万里, 友利雅貴, 黒田宙, 金子知香子, 藤原一男, 山本悌司. 難治性嘔吐・吃逆で発症した視神経脊髄炎スペクトラムの一例. 日本内科学会第 230 回東北地方会; 20230902; 盛岡.

黒田宙. 辺縁系脳炎の病因による頭部 MRI 異常部位の差異. 第 27 回日本神経感染症学会総会・学術大会; 20231013-14; 横浜

黒田宙. フィンゴリモドからオフアツムマブへ切り替えた多発性硬化症の 1 例. MS Online Clinical Conference in FUKUSHIMA; 20231027; 福島.

中村悠弥子, 小松大樹, 上田真之, 横山敬士, 高橋利幸, 三井純, 濱田雅, 田中恵子, 戸田達史. 抗 N-

methyl-D-aspartate (NMDA) 受容体脳炎の再発に対してリツキシマブを投与した2症例. 第41回日本神経治療学会学術集会; 20231103; 東京.

矢口裕章, 工藤彰彦, 野村太一, 江口克紀, 田中恵子, 米田誠, 木村暁夫, 下畑享良, 矢部一郎. 本邦における自己免疫性小脳失調症レジストリ作成と診断基準作成の試み. 第41回日本神経治療学会学術集会; 20231103; 東京.

〔シンポジウム〕

田中恵子. シンポジウム 29 : Women in Neurology in the USA and Japan. Female neurologists in Japan as the first baby-boomer generation. 第64回日本神経学会学術大会; 20230602; 横浜.

田中恵子, 川村名子, 崎村建司, 阿部学. シンポジウム 15 : 自己免疫性疾患／脳炎・脳症と精神症状 認知症および様々な神経変性疾患との鑑別を要する自己免疫性脳炎. 第119回日本精神神経学会学術総会; 20230622; 横浜.

筒井幸, 大森佑貴, 神林崇, 加藤倫紀, 嵯峨佑史, 三島和夫, 清水徹男, 加藤征夫, 田中恵子. シンポジウム 15 : 自己免疫性疾患／脳炎・脳症と精神症状 自己免疫性脳炎／脳症と精神病臨床. 第119回日本精神神経学会学術総会; 20230622; 横浜.

田中恵子. シンポジウム 2 希少性免疫疾患の診断 : 治療 Update 自己免疫性脳炎と自己抗体. 第35回日本神経免疫学会学術集会; 20230913; 東京.

黒田宙. 神経サルコイドーシス. 第43回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20231006; 浜松.

〔招待講演〕

Fujihara K. MOG-antibody-associated disease (MOGAD). 4th Annual Congress of the Sri Lanka Committee for the Treatment and Research of Multiple Sclerosis; 20230120; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. An Update on Pathophysiology of NMOSD. 4th Annual Congress of the Sri Lanka Committee for the Treatment and Research of Multiple Sclerosis; 20230121; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. Clinical Pearls/Red Flags: Distinguishing NMOSD and MOGAD from Presentations of MS. Finding NEMO: NMOSD and MOGAD 101 Review Course; 20230121; Web.

Fujihara K. Epidemiology of NMOSD and MOGAD. 1st African Brain Week; 20230215; Web.

Fujihara K. Clinical spectrum and treatment of NMOSD. 4th International Taiwanese Congress of Neurology (2023 Annual Meeting of Taiwan Neurological Society); 20230416; Taipei, Taiwan.

Fujihara K. Neuromyelitis optica (NMO, Devic syndrome). Pathogenesis of NMOSD. Module 2.3.2 NMO I: Charcot Multiple Sclerosis Master (Master of Science), Dresden International University (Germany) in cooperation with European Charcot Foundation; 20230510; Web.

Fujihara K. Neuromyelitis optica (NMO, Devic-Syndrome). Symptoms of NMOSD. Module 2.3.3 NMO II: Charcot Multiple Sclerosis Master (Master of Science), Dresden International University (Germany) in cooperation with European Charcot Foundation; 20230524; Web.

Fujihara K. Hot Topic 2 Biomarkers in individual patients: their pathological accuracy and clinical predictive value. Neural (astrocyte and others) damage markers. MOGAD Eugène Devic European Network (MEDEN) Oxford; 20230608; Oxford, United Kingdom.

Fujihara K. When and how to treat MOGAD patients in clinical practice. 3rd Virtual Symposium NMOSD and MOGAD in LATAM; 20230609; Web.

Fujihara K. Meet the expert. 24th Annual Meeting of Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20230615; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. Pathophysiology of NMOSD revisited. 24th Annual Meeting of Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20230615; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. What are the present trends in NMOSD Research? 24th Annual Meeting of Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS); 20230617; Sao Paulo, Brazil.

Fujihara K. Update on the clinical use of Dimethyl Fumarate in the treatment of multiple sclerosis using a modified Delphi method. Inter Continental Dialogue, (China); 20230805; Web.

Fujihara K. Case: 12 year-old girl who presented with bilateral visual impairment and subsequently had two relapses. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS) ECHO Project, (Brazil); 20230815; Web.

Fujihara K. Immunopathology of NMOSD and MOGAD. 16th International Society of Neuroimmunology Congress; 20230821; Quebec City, Canada.

Fujihara K. (NMOSD: The future has come) Personalizing therapy in NMOSD. 2nd CUEM International Symposium "Hot topics in MS and NMOSD". Buenos Aires (Argentina); 20230915; Web.

Fujihara K. Product Theater, How satralizumab changed treatment strategy of NMOSD. 9th Joint ECTRIMS-ACTRIMS Meeting (MSMilan2023); 20231013; Milan, Italy.

Fujihara K. Scientific Session (MS AND DEMYELINATING DISEASES: WFN/MSIF JOINT SESSION - INTERNATIONAL PERSPECTIVES ON THE DIFFERENTIAL DIAGNOSIS OF MS), Diagnostic considerations for MS across the world. 26th World Congress of Neurology; 20231015; Montreal, Canada.

Fujihara K. Teaching Course (MULTIPLE SCLEROSIS: DEMYELINATING DISEASES: FROM EPIDEMIOLOGY TO DIAGNOSIS), Diagnosis of MS and NMOSD. 26th World Congress of Neurology; 20231017; Montreal, Canada.

Fujihara K. Special session on NMOSD and other IIDMD of the CNS, NMOSD 2023 - an update (cell damage markers & relapse prevention). 8th Istanbul MS Days.Cesme (Turkey); 20231018; Web.

Fujihara K. European Charcot Foundation Symposium; Treatment of progressive multiple sclerosis. 15th Pan-Asian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS); 20231123; Perth, Australia.

Fujihara K. Mitsubishi Tanabe Symposium; Inebilizumab, B cells and NMOSD: lessons learned in N-Momentum study. 15th Pan-Asian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS); 20231123; Perth, Australia.

黒田宙. 神経サルコイドーシスの病態と治療. 第5回仙台難病診療連携セミナー〜サルコイドーシス編〜; 20230519; 仙台.

黒田宙. 神経サルコイドーシス 病態と注意すべきポイント. サルコイドーシス医療講演・相談会; 20231001; 仙台.

低侵襲腫瘍制御学講座

論 文

〔原 著〕

Takagawa Y, Suzuki M, Yamaguchi H, Seto I, Azami Y, Machida M, Takayama K, Tominaga T, Murakami M. Outcomes and Prognostic Factors for Locally Recurrent Rectal Cancer Treated With Proton Beam Therapy. *Advances in Radiation Oncology*. 202302; 8(3):101192.

Mayanagi S, Oba K, Aoyama T, Tanaka K, Kanda M, Honda M, Maeda H, Kashiwabara K, Muto M, Sakamoto J, Yamagishi H, Yoshikawa T. Feasibility and Safety of Adjuvant Chemotherapy for Resected Colorectal Cancer in Patients With Renal Insufficiency: A Pooled Analysis of Individual Patient Data from Five Japanese Large-scale Clinical Trials. *Anticancer Research*. 202307; 43(7):3089-3095.

Miyakawa T, Michihata N, Kumazawa R, Matsui H, Honda M, Yasunaga H. Short-term surgical outcomes of laparoscopic and open surgery for rectal cancer: A nationwide retrospective analysis. *Asian Journal of Endoscopic Surgery*. 202307; 16(3):376-385.

Hamada K, Shiwa Y, Kurita A, Todate Y, Horikawa Y, Techigawara K, Ishikawa M, Nagahashi T, Takeda Y, Fukushima D, Nishino N, Sakuma H, Honda M. Delayed Perforation of Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection Treated by Endoscopic Ultrasound-Guided Drainage. *Case Reports in Gastroenterology*. 202303;

17(1):148-154.

Kawamura H, Tsujimoto Y, Miyakawa T, Hashimoto K, Hirano T, Honda M. Transanal tube for the prevention of anastomotic leakage in rectal cancer surgery (Protocol). *Cochrane Database of Systematic Reviews*. 202312; 2023(12):CD015472.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Ishikawa Y, Seto I, Takagawa Y, Suzuki M, Kikuchi Y, Murakami M. Proton Beam Therapy for Lung Oligometastatic Recurrence in Patients With Esophageal Cancer. *Cureus*. 202312; 15(12):e50343.

Takahashi S, Hatta W, Watanabe K, Koike T, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Nakamura T, Nakaya N, Matsumoto T, Fukuda S, Masamune A, Iijima K. Prognostic Benefit of Additional Treatment After Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Digestive Diseases and Sciences*. 202305; 68(5):2050-2060.

Hamada K, Horikawa Y, Shiwa Y, Techigawara K, Ishikawa M, Nishino N, Honda M. Underwater and traction-assisted endoscopic submucosal dissection in the gastric fundus using a multibending endoscope. *Endoscopy*. 202312; 55(S01):E312-E313.

Horikawa Y, Hamada K, Shiwa Y, Mada Y, Techigawara K, Ishikawa M, Ishiyama A. Double-scope endoscopic submucosal dissection of superficial laryngeal cancer to preserve the superior laryngeal nerve. *Endoscopy*. 202312; 55(S01):E749-E750.

Hamada K, Techigawara K, Shiwa Y, Horikawa Y, Ishikawa M, Honda M. Duodenal endoscopic submucosal dissection with a retracted needle knife. *Endoscopy International Open*. 202308; 11(8):E712-E713.

Nagahashi T, Hamada K, Horikawa Y, Shiwa Y, Techigawara K, Fukushima D, Nishino N, Todate Y, Irisawa A. Delayed Perforation after Endoscopic Detachable Snare Ligation for Colonic Diverticular Hemorrhage. *Internal Medicine*. 202311; 62(21):3137-3142.

Aoyama T, Oba K, Honda M, Muto M, Mayanagi S, Maeda H, Kanda M, Kashiwabara K, Sakamoto J, Yoshikawa T. The clinical impacts of postoperative complications after colon cancer surgery for the clinical course of adjuvant treatment and survival. *International Journal of Clinical Oncology*. 202306; 28(6):777-784.

Honda M, Yasunaga H, Michihata N, Miyakawa T, Kumazawa R, Matsui H, Imaizumi T. Impact of guideline recommendation for novel surgical procedures on surgeons' decisions: a time series analysis of gastric cancer surgeries from a nationwide cohort study. *International Journal of Surgery*. 202303; 109(3):316-322.

Yamaguchi H, Kato T, Ishikawa Y, Takemasa K, Narita Y, Takagawa Y, Seto I, Machida M, Dai Y, Azami Y, Tominaga T, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Murakami M. Safety of hydrogel spacers for rectal wall protection in patients with prostate cancer: A retrospective analysis of 200 consecutive cases. *International Journal of Urology*. 202304; 30(4):401-407.

Ishiki H, Kikawa Y, Terada M, Mizusawa J, Honda M, Iwatani T, Mizutani T, Mori K, Nakamura N, Miyaji T, Yamaguchi T, Ando M, Nakamura K, Fukuda H, Kiyota N; PRO/QOL research Committee of Japan Clinical Oncology Group. Patient-reported outcome and quality of life research policy: Japan Clinical Oncology Group (JCOG) policy. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202303; 53(3):195-202.

Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Hatta W, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Takahashi F, Masamune A, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T; Tohoku GI Endoscopy Group. Prediction model of 3-year survival after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients aged ≥ 85 years: EGC-2 model. *Journal of Cancer Research and Clinical Oncology*. 202304; 149(4):1521-1530.

Hatta W, Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Koike T, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ogata Y, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T, Masamune A; for Tohoku GI Endoscopy Group. Treatment strategy after noncurative endoscopic resection for early gastric cancers in patients aged ≥ 85 years: a multicenter retrospective study in a highly aged area of Japan. *Journal of Gastroenterology*. 202304; 58(4):346-357.

Yamamoto R, Honda M, Kawamura H, Kobayashi H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Hori S, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. Clinical Features and Survival of Young Adults with Stage IV Gastric Cancer: a Japanese Population-Based Study. *Journal of Gastrointestinal Cancer*. 202305; 54(1):56-61.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Seto I, Tominaga T, Takagawa Y, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Teranishi Y, Murakami M. Effectiveness of proton beam therapy for liver oligometastatic recurrence in patients with postoperative esophagus cancer. *Journal of Radiation Research*. 202305; 64(3):582-589.

Yamaguchi H, Fukumitsu N, Numajiri H, Ogino H, Katoh N, Okimoto T, Suzuki M, Sakurai H. The Japanese nationwide cohort data of proton beam therapy for liver oligometastasis in esophagogastric cancer patients. *Journal of Radiation Research*. 202311; 64(6):926-932.

Sakuraya M, Yamashita K, Honda M, Niihara M, Chuman M, Washio M, Hosoda K, Naitoh T, Kumamoto Y, Hiki N. Early administration of postoperative BCAA-enriched PPN may improve lean body mass loss in gastric cancer patients undergoing gastrectomy. *Langenbeck's Archives of Surgery*. 202308; 408(1):336.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Todate Y, Ishikawa Y, Seto I, Tominaga T, Machida M, Takagawa Y, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Teranishi Y, Murakami M, Konno S. Clinical outcomes and factors involved in the local control of proton beam therapy for oligometastatic liver tumors in patients with colorectal cancer. *Strahlentherapie und Onkologie*. 202303; 199(3):304-312.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Takagawa Y, Machida M, Seto I, Komori S, Sato H, Midorikawa H, Murakami M. Analysis of Detailed Operation Time of Image-Guided Brachytherapy for patients with Gynecologic malignancies. American Brachytherapy Society 2023 Annual Conference; 20230622-24; Vancouver, Canada.

外館幸敏, 中尾詠一, 宮川哲平, 丸山裕也, 益子隆太郎, 西野一輝, 高野祥直, 本多通孝. 局所進行直腸癌に対して多臓器合併切除を要したロボット支援下手術の短期成績と手術手技. 第 15 回日本ロボット外科学会学術集会; 20230202-03; 名古屋.

俊山聖史, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 80 歳以上の高齢者早期胃癌に対する治療別長期予後. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230223-25; 札幌.

山本竜也, 本多通孝, 俊山聖史, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 切除不能胃癌の出血に対する緩和的放射線治療の意義. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230223-25; 札幌.

志波慶樹, 濱田晃市, 八田和久. 75 才以上の内視鏡治療後 pT1a-MM/pt1b-SM 食道扁平上皮癌患者の長期成績と治療法選択: 他施設共同後方視的研究. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎.

堀川宜範, 濱田晃市, 鉄地川原香恵, 志波慶樹, 石川雅文, 石山晃世志. 当院での咽喉頭病変診療における検査および治療の工夫. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎.

俊山聖史, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 胃癌術後脾液瘻に起因する腹腔内膿瘍のリスクとなる手術手技の同定. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

本多通孝, 宮川哲平, 康永秀生, 道端伸明, 山本竜也, 俊山聖史, 鈴木伸康, 高野祥直. 診療ガイドラインの改訂が外科医の術式選択に与える影響. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

山本竜也, 本多通孝, 益子隆太郎, 俊山聖史, 中尾詠一, 宮川哲平, 高野祥直, 寺西寧. 胃癌術後 5 年以降の晩期再発に関する臨床病理学的検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京.

益子隆太郎, 高野祥直, 鈴木優也, 宮川哲平, 鈴木伸康. 専門研修後に腹腔鏡下ヘルニア修復術を開始した外科医の手術成績. 第 21 回日本ヘルニア学会学術集会; 20230526-27; 大阪.

俊山聖史, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 藁谷暢, 高野祥直. 食道癌術後に生じた嚥下機能低下のリスク因子の探索. 第 77 回日本食道学会学術集会; 20230629-30; 大阪.

本多通孝, 俊山聖史, 山本竜也, 鈴木優也, 高野祥直, 益子隆太郎, 宮川哲平, 中尾詠一. 食道癌術後リンパ節再発に対する化学放射線療法. 第 77 回日本食道学会学術集会; 20230629-30; 大阪.

山本竜也, 本多通孝, 俊山聖史. 80 歳以上の高齢食道癌患者における食道切除術後の短期成績. 第 77 回日本食道学会学術集会; 20230629-30; 大阪.

外館幸敏, 宮川哲平, 中尾詠一, 益子隆太郎, 俊山聖史, 山本竜也, 鈴木伸康, 高野祥直, 寺西寧, 本多通孝. 腹腔鏡下・ロボット支援下骨盤内臓摘出術の導入と短期成績—手術手技の工夫と課題. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

本多通孝, 俊山聖史, 高野祥直, 鈴木伸康, 中尾詠一, 宮川哲平, 鈴木優也, 西野一輝, 外館幸敏, 益子隆太郎. 加速度センサを用いた腸管蠕動モニタリング法の確立. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713-14; 函館.

益子隆太郎, 高野祥直, 山本竜也, 俊山聖史, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 本多通孝, 鈴木伸康. 再発鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の手技と成績. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

宮川哲平, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 俊山聖史, 中尾詠一, 河村英恭, 外館幸敏, 高野祥直, 寺西寧. 硬膜外麻酔を行った消化器外科手術における尿道カテーテルの適切な抜去時期: ランダム化比較試験の中間解析. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館.

河村英恭. 消化器外科医が理想の医療・研究体制を考える: 米国大規模前向きコホートを使用した留学経験を元に. 第 30 回日本遺伝子診療学会大会; 20230728-29; 千葉.

鉄地川原香恵, 濱田晃市, 永橋堯之. 大腸憩室出血に対する留置スネア法とバンド結紮法の比較. 第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023); 20231102-05; 神戸.

俊山聖史, 本多通孝, 益子隆太郎, 山本竜也, 中尾詠一, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 藁谷暢, 寺西寧. StageIV胃癌の診療実態と予後: 記述疫学. 日本臨床疫学会第 6 回年次学術大会; 20231111-12; 東京.

本多通孝, 宮川哲平, 河村英恭. 地域悉皆性を重視した StageIV消化器癌コホートによる予後予測研究の方法論と意義. 日本臨床疫学会第 6 回年次学術大会; 20231111-12; 東京.

宮川哲平, 道端伸明, 森田光治良, 松居宏樹, 本多通孝, 康永秀生. 外気温が急性胆嚢炎の発症に与える影響: DPC データと気象データの突合データセットを用いたマルチレベル分析. 日本臨床疫学会第 6 回年次学術大会; 20231111-12; 東京.

柿沼寛人, 本多通孝, 西野一輝, 益子隆太郎, 鈴木優也, 高野祥直. ステージ 4 胃癌無治療例の生存期間と予後因子の分析. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

河村英恭, 本多通孝. 虫垂切除術・胆嚢摘出術と *Fusobacterium nucleatum* 陽性大腸癌発生との関連調査: 米国大規模前向きコホート研究. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

益子隆太郎, 本多通孝, 西野一輝, 柿沼寛人, 中尾詠一, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 藁谷暢, 鈴木伸康, 高野祥直. 高位腹膜切開による transabdominal preperitoneal approach (TAPP) の短期治療成績. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

宮川哲平, 西野一輝, 柿沼寛人, 益子隆太郎, 山本竜也, 俊山聖史, 鈴木優也, 片方雅紀, 中尾詠一, 河村英恭, 外館幸敏, 高野祥直, 本多通孝. 下部直腸癌術前 CRT の奏功と FDG 集積に関する臨床病理学的検討. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

高川佳明, 町田政憲, 瀬戸一郎, 小森慎也, 佐藤啓樹, 緑川弘子, 村上昌雄. 婦人科癌に対する画像誘導小線源治療の手技時間の詳細な解析. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130-1202; 横浜.

柿沼寛人, 本多通孝, 鈴木伸康, 高野祥直, 益子隆太郎, 俊山聖史, 山本竜也, 鈴木優也, 中尾詠一, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 藁谷暢. 腹腔鏡・ロボット支援下噴門側胃切除術後の骨格筋量減少のリスク因子. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

外館幸敏, 宮川哲平, 中尾詠一, 河村英恭, 藁谷暢, 鈴木伸康, 高野祥直, 本多通孝. ロボット支援下結腸癌手術の治療成績とロボット特有の手技工夫. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

益子隆太郎, 本多通孝, 中尾詠一, 宮川哲平, 外館幸敏, 藁谷暢, 鈴木伸康, 高野祥直. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (transabdominal preperitoneal repair; TAPP) における漿液腫発生因子の検討. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

〔シンポジウム〕

外館幸敏, 中尾詠一, 宮川哲平, 益子隆太郎, 西野一輝, 藁谷暢, 本多通孝, 鈴木伸康, 高野祥直, 阿部幹, 寺西寧. 当院の大腸癌におけるロボット支援下手術の現状と今後の展望. 第 34 回内視鏡外科フォーラム in 盛岡; 20230520; 盛岡.

本多通孝, 藁谷暢, 鈴木優也, 柿沼寛人, 中尾詠一, 益子隆太郎, 鈴木伸康, 宮川哲平, 河村英恭, 高野祥直, 山本竜也, 俊山聖史. 上部消化管外科のあり方-疾患体系の変化に対応するために-. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18; 岡山.

〔特別講演〕

本多通孝. 通院距離と胃がん化学療法の継続および予後との関連 福島県胃癌コホート研究より. ふくしま相双胃癌 WEB セミナー; 20230425; Web.

〔招待講演〕

本多通孝. エンハーツの使用経験と胃がん周術期管理について. より良い胃がん治療を目指して; 20231129; Web.

〔その他〕

本多通孝. 外科医は面白くて役に立つ臨床研究をしよう. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713-14; 新潟.

本多通孝, 布部創也, 幕内梨恵, 會澤雅樹, 番場竹生, 小川光一, 明石義正, 山吹匠, 山形幸徳. 胃切除術後の腹腔内感染の原因となる手技の同定-多施設ケースコントロール研究による動画解析研究. 第 36 回日本内視鏡外

心臓調律制御医学講座

論文

〔原著〕

Nehashi T, Kaneshiro T, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Characteristics of right pulmonary vein with an epicardial connection needing additional carina ablation for isolation. *Journal of Arrhythmia*. 2023; 39(6):884-893.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Left atrial epicardial adipose tissue exacerbates electrical conduction disturbance in normal-weight patients undergoing pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2023; 34(3):565-574.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Horikoshi Y, Yamadera Y, Takeishi Y. Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2023; 34(9):1969-1978.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Nehashi T, Kaneshiro T, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Anatomical predictor of epicardial connections which needs additional ablation in carina region during right pulmonary vein isolation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

山田慎哉, 金城貴士, 野寺穂, 根橋健, 竹石恭知. Atrial epicardial adipose tissue especially exacerbates electrical conduction delay in normal-weight patients with atrial fibrillation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Distance from right coronary artery to cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conduction block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Abe S, Sato

T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue contribute to poor cardiac performance and adverse outcomes in patients with dilated cardiomyopathy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

根橋健, 金城貴士, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Anatomical characteristics of right pulmonary vein with epicardial connections which needs additional carina ablation for isolation. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

金城貴士, 根橋健, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Association between bipolar/unipolar voltages and activations of right pulmonary vein carina region in patients with epicardial connection. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The distance from the cavotricuspid isthmus to the right coronary artery is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The duration time of ablation per point is a predictor of petip pops occurrence in the left pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

磯松大介, 佐藤崇匡, 西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. A case of dilated cardiomyopathy dramatically improved by resuming sacubitril/valsartan. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

西野笙汰, 山田慎哉, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーによる起源同定がアブレーションに有用であった右室後乳頭筋起源心室性期外収縮の 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2023; 20231117-19; 福岡.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 左室内仮性腱索の付着端を起源と同定し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石井三千花, 佐藤崇匡, 磯松大介, 西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 急性心不全に対しサクビトリル・バルサルタンが著効した拡張型心筋症の一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

西野笙汰, 山田慎哉, 磯松大介, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 高カリウム血症を契機に心室頻拍が頻発した末期腎不全患者の一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

大河内諭, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 通常型心房粗動に対するクライオアブレーションにおける、冷凍焼灼効果への右冠動脈血流の影響について. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

飯田あかね, 野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 薬剤抵抗性の虚血性 VT storm に対してカテーテルアブレーションが奏功した一例. 第 3 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20230930; 仙台.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 佐藤崇匡, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーガイド下マッピングにより左室内仮性腱索の付着端を起源と同定し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 20 回 福島不整脈懇話会; 20230719; 福島.

運動器骨代謝学・手外科・四肢機能再建学講座

論文

〔原著〕

Sonobe T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 202301; 25(1):23.

〔症例報告〕

Miura T, Kikuchi N, Yamada H, Hakozaiki M, Tajino T, Ohtsuka M, Yamamoto T. Proximal-type vulvar epithelioid sarcoma masquerading as cellulitis in a young female. *Australasian Journal of Dermatology*. 202305; 64(2):295-297.

Kaneuchi Y, Iwabuchi M, Hakozaiki M, Yamada H, Konno S. Pregnancy and Lactation-Associated Osteoporosis Successfully Treated with Romosozumab: A Case Report. *Medicina (Kaunas, Lithuania)*. 202301; 59(1):19.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ogawa I, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Yamada H. Atypical lipomatous tumor of the thigh in a four-year-old girl: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Sato H, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Yamada S, Matsumoto Y. Abscopal effect following proton beam radiotherapy for recurrent dedifferentiated chondrosarcoma a case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Shinden Y, Hakozaiki M, Aota S, Ohashi H, Yamagishi E, Kaneuchi Y, Yamada H. Extra-articular hip joint resection with the spherical periacetabular osteotomy technique and reconstruction with total hip arthroplasty for osteosarcoma of the proximal femur: a case report. The 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

Suzuki T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Ogawa I, Yamada H, Matsumoto Y. Pleomorphic rhabdomyosarcoma in an elderly patient with neurofibromatosis type 1: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Hakozaki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Tajino T, Konno S, Matsumoto Y. Severe oropharyngeal mucosal injury caused by high-dose methotrexate therapy for osteosarcoma. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231006; Taipei, Taiwan.

Tajino T, Yamada H, Hakozaki M. The change of the regional incidence rate of the high-grade bone and soft tissue sarcomas after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Disaster in Fukushima Prefecture, Japan. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004-07; Taipei, Taiwan.

照井広大, 大原喜裕, 佐々木唯, 細矢光亮, 工藤新吾, 高橋信久, 小林正悟. 両眼性網膜芽細胞腫治療後に二次性骨肉腫を合併した1例. 第126回日本小児科学会学術集会; 20230511-14; 横浜. 日本小児科学会雑誌. 127(10):1351.

園部樹, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 長谷川靖, 山田匠希, 紺野慎一. 膝関節に発生した滑膜血管腫の画像および病理所見の特徴. 日本スポーツ整形外科学会 2023; 20230629; 広島.

山田仁, 高橋信久, 大原喜裕, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 菊田敦, 佐野秀樹, 紺野慎一. 小児がん後の二次性骨肉腫の治療経験. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1387.

小川到, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 4歳女兒に発症した異型脂肪腫様腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1503.

鈴木丈夫, 山田仁, 小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 神経線維腫1型に合併した脱分化型脂肪肉腫の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1495.

金内洋一, 箱崎道之, 山田匠希, 山田仁, 小川到, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 副腎原発孤発性悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1498.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 島袋充生, 山田仁, 森下慎一郎, 岡崎加奈子. ロコモティブ症候群予防および骨粗鬆症検診啓発のための動画作成と配信. 第25回日本骨粗鬆症学会; 20230929-1001; 名古屋. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 9(1):393.

佐藤宏樹, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 鈴木丈夫, 長谷川靖, 山田匠希, 山田仁, 松本嘉寛. 局所再発に対する陽子線治療後に縮小した肉腫肺転移の1例. 第30回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20231111; 湯沢町.

〔シンポジウム〕

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 紺野慎一. 福島県における次世代の骨軟部腫瘍医の育成について. 第120回東北整形災害外科学会; 20230610; 福島.

ヒト神経生理学講座

論文

〔原 著〕

Terao Y, Nomura Y, Fukuda H, Hikosaka O, Kimura K, Matsuda SI, Yugeta A, Fisicaro F, Hoshino K, Ugawa Y. The Pathophysiology of Gilles de la Tourette Syndrome: Changes in Saccade Performance by Low-Dose L-Dopa and Dopamine Receptor Blockers. *Brain Sciences*. 202311; 13(12):1634.

Fisicaro F, Liberto A, Lanza G, Bella R, Pennisi G, Ferri R, Terao Y, Ugawa Y, Pennisi M. The supporting (sometimes decisive!) role of transcranial magnetic stimulation in forensic medicine. *Brain Stimulation*. 202301; 16(1):111-113.

Vucic S, Stanley Chen KH, Kiernan MC, Hallett M, Benninger DH, Di Lazzaro V, Rossini PM, Benussi A, Berardelli A, Currà A, Krieg SM, Lefaucheur JP, Long Lo Y, Macdonell RA, Massimini M, Rosanova M, Picht T, Stinear CM, Paulus W, Ugawa Y, Ziemann U, Chen R. Clinical diagnostic utility of transcranial magnetic stimulation in neurological disorders. Updated report of an IFCN committee. *Clinical Neurophysiology*. 202306; 150:131-175.

Inomata-Terada S, Fukuda H, Tokushige SI, Matsuda SI, Hamada M, Ugawa Y, Tsuji S, Terao Y. Abnormal saccade profiles in hereditary spinocerebellar degeneration reveal cerebellar contribution to visually guided saccades. *Clinical Neurophysiology*. 202310; 154:70-84.

Honda M, Shimizu T, Moriyasu S, Murakami T, Takigawa H, Ugawa Y, Hanajima R. Impaired long-term potentiation-like motor cortical plasticity in progressive supranuclear palsy. *Clinical Neurophysiology*. 202311; 155:99-106.

Ugawa Y. Somatosensory cortex/tracts involvement in amyotrophic lateral sclerosis. *Clinical Neurophysiology*. 202312; 156:249-250.

Nakatani-Enomoto S, Hanajima R, Hamada M, Matsumoto H, Terao Y, Jun Groiss S, Murakami T, Abe M, Enomoto H, Kawai K, Kan R, Niwa SI, Yabe H, Ugawa Y. Quadripulse transcranial magnetic stimulation inducing long-term depression in healthy subjects may increase seizure risk in some patients with intractable epilepsy. *Clinical Neurophysiology Practice*. 202307; 8:137-142.

Manto M, Serrao M, Filippo Castiglia S, Timmann D, Tzvi-Minker E, Pan MK, Kuo SH, Ugawa Y. Neurophysiology of cerebellar ataxias and gait disorders. *Clinical Neurophysiology Practice*. 202307; 8:143-160.

Tokushige SI, Matsumoto H, Matsuda SI, Inomata-Terada S, Kotsuki N, Hamada M, Tsuji S, Ugawa Y, Terao Y. Early detection of cognitive decline in Alzheimer's disease using eye tracking. *Frontiers in Aging*

Neuroscience. 202303; 15:1123456.

Terao Y, Tokushige SI, Inomata-Terada S, Miyazaki T, Kotsuki N, Fisicaro F, Ugawa Y. How do patients with Parkinson's disease and cerebellar ataxia read aloud? -Eye-voice coordination in text reading. *Frontiers in Neuroscience*. 202308; 17:1202404.

Hoshi K, Kanno M, Goto A, Ugawa Y, Furukawa K, Arai H, Miyajima M, Takahashi K, Hattori K, Kan K, Saito T, Yamaguchi Y, Mitsufuji T, Araki N, Hashimoto Y. Brain-Derived Major Glycoproteins Are Possible Biomarkers for Altered Metabolism of Cerebrospinal Fluid in Neurological Diseases. *International Journal of Molecular Sciences*. 202303; 24(7):6084.

Jagota P, Ugawa Y, Aldaajani Z, Ibrahim NM, Ishiura H, Nomura Y, Tsuji S, Diesta C, Hattori N, Onodera O, Bohlega S, Al-Din A, Lim SY, Lee JY, Jeon B, Pal PK, Shang H, Fujioka S, Kukkle PL, Phokaewvarangkul O, Lin CH, Shambetova C, Bhidayasiri R. Nine Hereditary Movement Disorders First Described in Asia: Their History and Evolution. *Journal of Movement Disorders*. 202309; 16(3):231-247.

Ibrahim NM, Jagota P, Pal PK, Bhidayasiri R, Lim SY, Ugawa Y, Aldaajani Z, Jeon B, Fujioka S, Lee JY, Kukkle PL, Shang H, Phokaewvarangkul O, Diesta C, Shambetova C, Lin CH. Historical and More Common Nongenetic Movement Disorders From Asia. *Journal of Movement Disorders*. 202309; 16(3):248-260.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. Correction: Hoshi et al. High Correlation among Brain-Derived Major Protein Levels in Cerebrospinal Fluid: Implication for Amyloid-Beta and Tau Protein Changes in Alzheimer's Disease. *Metabolites* 2022, 12, 355. *Metabolites*. 202305; 13(6):685.

Geroi C, Artusi CA, Nonnekes J, Aquino C, Garg D, Dale ML, Schlosser D, Lai Y, Al-Wardat M, Salari M, Wolke R, Labou VT, Imbalzano G, Camozzi S, Merello M, Bloem BR, Capato T, Djaldetti R, Doherty K, Fasano A, Tibar H, Lopiano L, Margraf NG, Moreau C, Ugawa Y, Bhidayasiri R, Tinazzi M; International Parkinson and Movement Disorders Society Task Force on Postural Abnormalities. Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism: Gaps in Predictors, Pathophysiology, and Management. *Movement Disorders*. 202305; 38(5):732-739.

Artusi CA, Geroi C, Nonnekes J, Aquino C, Garg D, Dale ML, Schlosser D, Lai Y, Al-Wardat M, Salari M, Wolke R, Labou VT, Imbalzano G, Camozzi S, Merello M, Bloem BR, Capato T, Djaldetti R, Doherty K, Fasano A, Tibar H, Lopiano L, Margraf NG, Moreau C, Ugawa Y, Bhidayasiri R, Tinazzi M; International Parkinson and Movement Disorders Society Task Force on Postural Abnormalities. Predictors and Pathophysiology of Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism: A Scoping Review. *Movement Disorders Clinical Practice*. 202309; 10(11):1585-1596.

Jagota P, Lim SY, Pal PK, Lee JY, Kukkle PL, Fujioka S, Shang H, Phokaewvarangkul O, Bhidayasiri R, Mohamed Ibrahim N, Ugawa Y, Aldaajani Z, Jeon B, Diesta C, Shambetova C, Lin CH. Genetic Movement Disorders Commonly Seen in Asians. *Movement Disorders Clinical Practice*. 202305; 10(6):878-895.

Menšíková K, Steele JC, Rosales R, Colosimo C, Spencer P, Lannuzel A, Ugawa Y, Sasaki R, Giménez-

Roldán S, Matej R, Tuckova L, Hrabos D, Kolarikova K, Vodicka R, Vrtel R, Strnad M, Hlustik P, Otruba P, Prochazka M, Bares M, Boluda S, Buee L, Ransmayr G, Kaňovský P. Endemic parkinsonism: clusters, biology and clinical features. *Nature Reviews. Neurology*. 202310; 19(10):599-616.

宇川義一. 地域医療から学び, 地域医療に活かす神経治療学 2022 地震や水害のご経験を踏まえた災害対策ネットワークづくり. *神経治療学*. 202305; 40(3):161-165.

総合内科・臨床感染症学講座

論 文

〔原 著〕

Shibata Y, Omae K, Minemura H, Suzuki Y, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Inage M, Hiramata N, Furuyama K, Fukushima S, Saito H, Machiya JI, Machida H, Abe K, Iwabuchi K, Katagiri Y, Aida Y, Abe Y, Ota T, Ishizawa Y, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Kurita N, Iseki K. Development and external validation of the DOAT and DOATS scores: simple decision support tools to identify disease progression among nonelderly patients with mild/moderate COVID-19. *BMC Pulmonary Medicine*. 202308; 23(1):312.

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Iizuka T, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Waragai Y, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Okamoto H, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Abe W, Tsukada Y, Lee T, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Hamaguchi S, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with molnupiravir for patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Omicron variant pandemic. *Clinical and Experimental Medicine*. 202310; 23(6):2715-2723.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Nonnegligible Seroprevalence and Predictors of Murine Typhus, Japan. *Emerging Infectious Diseases*. 202307; 29(7):1438-1442.

Yamamoto A, Hifumi T, Ato M, Iwaki M, Senoh M, Hatanaka A, Nureki S, Noguchi Y, Hirose T, Yoshimura Y, Urakawa T, Hori S, Nakada H, Terada T, Ishifuji T, Matsuyama H, Kinebuchi T, Fukushima A, Wake K, Otsuji K, Endo T, Toyoshima H, Yasuda I, Tanaka T, Takahashi N, Okada K, Hayashi T, Kusano T,

Koriyama M, Otani N, Takahashi M. Clinical Characteristics of *Corynebacterium ulcerans* Infection, Japan. *Emerging Infectious Diseases*. 202308; 29(8):1505-1515.

Maeda H, Saito N, Igarashi A, Ishida M, Terada M, Ito T, Ikeda H, Kamura H, Motohashi I, Kimura Y, Komino M, Arai H, Kuwamitsu O, Akuzawa N, Sando E, Morikawa T, Imura H, Inoue H, Hayakawa T, Teshigahara O, Ohara Y, Suzuki M, Morimoto K. Effectiveness of mRNA COVID-19 vaccines against symptomatic SARS-CoV-2 infections during the SARS-CoV-2 Omicron BA.1 and BA.2 epidemic in Japan: vaccine effectiveness real-time surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS). *Expert Review of Vaccines*. 202301; 22(1):288-298.

Yamashita Y, Yasuda I, Tanaka T, Ikeda T, Terada M, Takaki M, Tsuchihashi Y, Asoh N, Ohara Y, Enany S, Kobayashi H, Matsumoto S, Morimoto K. Antigen-specific cytokine profiles for pulmonary *Mycobacterium avium* complex disease stage diagnosis. *Frontiers in Immunology*. 202307; 14:1222428.

Yamashita Y, Yasuda I, Tanaka T, Ikeda T, Terada M, Takaki M, Tsuchihashi Y, Asoh N, Ohara Y, Enany S, Kobayashi H, Matsumoto S, Morimoto K. Corrigendum: Antigen-specific cytokine profiles for pulmonary *Mycobacterium avium* complex disease stage diagnosis. *Frontiers in Immunology*. 202308; 14:1275349.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Serological cross-reactivity between spotted fever and typhus groups of rickettsia infection in Japan. *International Journal of Infectious Diseases*. 202305; 130:178-181.

Kimura H, Furukawa M, Shiga Y, Kai T, Yasuda I, Katoh S, Sando E. Exacerbation of autoimmune hemolytic anemia associated with pure red cell aplasia after COVID-19: A case report. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 202308; 29(8):787-791.

山藤栄一郎. 地域のパンデミックプランニング[第65回] 症候群サーベイランスと医療機関での活用. *インフルエンザ*. 202306; 24(2):123-127.

山藤栄一郎. 新型コロナウイルス感染症対策をアップデートする. *公衆衛生情報みやぎ*. 202303; 533:36-37.

山藤栄一郎. 【ポストコロナ時代の感染症診療】(第II章) 感染症診療各論 皮膚軟部組織感染症 リケッチア症. 診断と治療. 202303; 111(Suppl):202-205.

山藤栄一郎. 【節足動物が媒介する感染症】節足動物が媒介する感染症の診療上の着眼点と留意点. *日本医師会雑誌*. 202307; 152(4):365-369.

大西真生, 田中雄紀, 吉田紗衣子, 川崎和佳子, 高村聡人, 長田薫, 梶原秀喜, 山藤栄一郎, 上田研. 日本紅斑熱の治療経過中に中毒性表皮壊死症を続発した1例. *日本内科学会雑誌*. 202310; 112(10):1958-1963.

山藤栄一郎. 今月の! 検査室への質問に答えます ダニに刺されて皮疹が出ています。何を考えて、どのような検査を出せばよいですか? 臨床検査. 202307; 67(7):780-783.

【その他】

宮川明美, 佐々木充子, 木岡ともみ, 安田一行, 阿部和也, 二階堂義樹, 前田崇憲, 佐々木勇人, 飯沼範子, 加藤隼悟, 志賀隆, 木村秀夫, 山藤栄一郎. COVID-19 流行時の急変対応時における空気感染対策の必要性 院内クラスター事例の検討. 日本病院総合診療医学会雑誌. 202302; 19(臨増 1):173.

地域包括的癌診療研究講座

論文

〔総説等〕

柴田昌彦. Poetic City, Long Coat そして Warshawski. W Waves. 2023; 29(1):39-41.

書籍等出版物

柴田昌彦. 監修にあたって. In: 柴田昌彦 監修, 小豆畑丈夫 編集. Oncologic Emergency A to Z : 腫瘍緊急を知る. 東京: へるす出版; 202309. p.巻頭.

柴田昌彦. 第1章 総論. In: 柴田昌彦 監修, 小豆畑丈夫 編集. Oncologic Emergency A to Z : 腫瘍緊急を知る. 東京: へるす出版; 202309. p.1-11.

柴田昌彦, 河野浩二. はじめに. In: 柴田昌彦, 河野浩二. 消化器がん免疫療法の現在 : がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.4-5.

柴田昌彦. 2. がん患者の全身・がん局所で起きている変化. In: 柴田昌彦, 河野浩二. 消化器がん免疫療法の現在 : がん治療の転換点に立つ. 東京: へるす出版; 202309. p.9-16.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Shibata M, Nakajima T, Tachibana K, Iwadate M, Kono K, Takenoshita S. Hypoproteinemia is correlated to immunosuppression involving myeloid-derived suppressor cells and type2 dominant condition in patients with cancer. 7th Cancer Cachexia Conference; 20230928-30. Edinburgh, Scotland.

林下宗平, 楡井東, 望月翔太郎, 丸山裕也, 叶多諒, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 柴田昌彦, 河野浩二. アカラシアを合併した進行食道癌に対して術前化学

先端地域生活習慣病治療学講座

論 文

〔原 著〕

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kobari E, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Hematological parameters of anemia and prognosis of non-dialysis-dependent chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202301; 27(1):55-65.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of polypharmacy with incidence of CKD: a retrospective cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202303; 27(3):272-278.

Kosugi T, Eriguchi M, Yoshida H, Tamaki H, Uemura T, Tasaki H, Furuyama R, Fukata F, Nishimoto M, Matsui M, Samejima KI, Iseki K, Fujimoto S, Konta T, Moriyama T, Yamagata K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Kondo M, Asahi K, Watanabe T, Tsuruya K. Trace proteinuria detected via dipstick test is associated with kidney function decline and new-onset overt proteinuria: the Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202310; 27(10):801-808.

Tasaki H, Eriguchi M, Yoshida H, Uemura T, Fukata F, Nishimoto M, Kosugi T, Matsui M, Samejima KI, Iseki K, Asahi K, Yamagata K, Konta T, Fujimoto S, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T, Tsuruya K. Synergistic effect of proteinuria on dipstick hematuria-related decline in kidney function: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202312; 27(12):990-1000.

Kosugi T, Eriguchi M, Yoshida H, Uemura T, Tasaki H, Fukata F, Nishimoto M, Matsui M, Samejima KI, Iseki K, Fujimoto S, Konta T, Moriyama T, Yamagata K, Ichiei N, Kasahara M, Shibagaki Y, Kondo M, Asahi K, Watanabe T, Tsuruya K. Height loss is associated with decreased kidney function: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study. *Geriatrics & Gerontology International*. 202304; 23(4):282-288.

Harada T, Nagai K, Mase K, Tsunoda R, Iseki K, Moriyama T, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T, Yamagata K. Elevated Crude Mortality in Obese Chronic Kidney Disease Patients with Loss of Exercise Habit: A Cohort Study of the Japanese General Population. *Internal Medicine*. 202308; 62(15):2171-2179.

Nagai K, Harada T, Mase K, Iseki K, Moriyama T, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T, Yamagata K. Weight Loss Improves Liver Dysfunction and Dipstick Proteinuria in Obesity: The Japan Specific Health Checkups Study. JMA Journal. 202307; 6(3):312-320.

Otaki Y, Watanabe T, Konta T, Watanabe M, Fujimoto S, Sato Y, Asahi K, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T. A Body Shape Index and Aortic Disease-Related Mortality in Japanese General Population. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202307; 30(7):754-766.

Kimura Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Aoki K, Tomi R, Ozaki S, Yoshimura R, Shimomura A, Iwatani H, Isaka Y, Iseki K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T, Yamagata K, Moriyama T. Alcohol Consumption and a Decline in Glomerular Filtration Rate: The Japan Specific Health Checkups Study. Nutrients. 202303; 15(6):1540.

Iwasaki T, Kimura H, Tanaka K, Asahi K, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Watanabe T, Kazama JJ. Association between height loss and mortality in the general population. Scientific Reports. 202303; 13(1):3593.

Murano H, Inoue S, Sato K, Sato M, Igarashi A, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Shibagaki Y, Kasahara M, Narita I, Yamagata K, Tsuruya K, Kondo M, Asahi K, Watanabe T, Konta T, Watanabe M. The effect of lifestyle on the mortality associated with respiratory diseases in the general population. Scientific Reports. 202305; 13(1):8272.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Impact of red blood cell distribution width-albumin ratio on prognosis of patients with CKD. Scientific Reports. 202309; 13(1):15774.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

木村浩，田中健一，齋藤浩孝，岩崎剛史，渡辺秀平，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎. 非 CKD 患者における赤血球分布幅（RDW）と CKD 発症の関連. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230610; 横浜.

〔シンポジウム〕

木村浩，田中健一，旭浩一，風間順一郎. 生活習慣（病）・CKD 領域における行動変容の評価とアウトカム. 第 66 回日本腎臓学会学術総会; 20230609; 横浜.

癌集学の治療地域支援講座

論文

〔原 著〕

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Nakajima T, Kikuchi T, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202303; 72(7):2233-2244.

Nakajima S, Kaneta A, Okayama H, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Matsumoto T, Fukai S, Sakuma M, Sato T, Mimura K, Saito M, Saze Z, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Kono K. The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8⁺ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer. *Cancers*. 202305; 15(10):2826.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA⁺CD27⁺CD127⁺ Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Cancers*. 202307; 15(14):3641.

Katagata M, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Sato T, Sakuma M, Fukai S, Endo E, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGF β -Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer. *Cancers*. 202310; 15(20):4943.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Sato T, Saito M, Nakajima S, Saito K, Katagata M, Fukai S, Okayama H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2-negative gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202302; 26(3):379-392.

Fukai S, Nakajima S, Saito M, Saito K, Kase K, Nakano H, Sato T, Sakuma M, Kaneta A, Okayama H, Mimura K, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8⁺ T-cell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202308; 26(6):878-890.

Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, Saito K, Katagata M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y,

Hanayama H, Tada T, Sakamoto W, Momma T, Ohira H, Kono K. Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment Through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics*. 202303; 115(4):957-971.

〔総説等〕

中嶋正太郎, 金田晃尚, 河野浩二. cGAS-STING 経路を標的とした大腸癌の新規治療戦略の可能性. *癌と化学療法*. 202309; 50(9):950-954.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. *癌と化学療法*. 202310; 50(10):1099-1101.

書籍等出版物

中嶋正太郎. 用語解説. In: Abbas AK, Lichtman AH, Pillai S 著, 中尾篤人 監訳. *分子細胞免疫学：アバース・リックマン・ピレ* 原著第 10 版. 東京: エルゼビア・ジャパン; 202301. p.535-564.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant chemotherapy- induced IL34 signaling promotes chemoresistance in esophageal cancer. *Fukushima-NIH National Cancer Institute Joint Symposium*; 20230117; Fukushima.

Matsuishi A, Nakajima S, Sakuma M, Okayama H, Mimura K, Kono K. The impact of CLDN18 expression and natural killer cell infiltration on clinical outcomes in patients with gastric cancer. *SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar*; 20230719; Singapore.

Nakajima S. The Effect of Chemotherapy-Induced IL-34 Expression on the Tumor Immune Microenvironment in Esophageal Cancer. *SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar*; 20230719; Singapore.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *SGCC 14th Annual Scientific Meeting and JSPS-NUS Research Seminar*; 20230719; Singapore.

Fukai S, Nakajima S, Katagata M, Sakuma M, Sato T, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T,

Saze Z, Mimura K, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8+ T-cell infiltration in HER2-positive gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Involvement of several inhibitory immune checkpoint ligands in anti-PD-1 antibody therapy-resistant cases with malignant melanoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Kaneta A, Hayashishita S, Mochizuki S, Kanoda R, Maruyama Y, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Saze S, Nakajima S, Mimura K, Kono K. Short-term outcomes of esophagectomy for elderly patients. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Nakajima S, Mimura K, Fukai S, Sakuma M, Ito M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Kono K. The effect of IL-34 triggered by neoadjuvant chemotherapy on the tumor-microenvironment and clinical outcomes in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. Frequency of exhausted T cells after chemotherapy or chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231019; Yokohama.

Mimura K, Ogata T, Nakajima S, Hanayama H, Saze Z, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for patients with advanced gastric cancer. 3rd International Congress of the Asian Oncology Society; 20231021; Yokohama.

岡山洋和, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 深井智司, 佐久間芽衣, 松本拓朗, 遠藤英成, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 中嶋正太郎, 三村耕作, 河野浩二. Molecular subtypes of colorectal cancer. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 叶多諒, 佐久間芽衣, 圓谷秀哲, 深井智司, 佐藤孝洋, 金田晃尚, 氏家大輔, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

三村耕作, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 抗 PD-1 療法不応性病変のメカニズムと治療戦略について. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230622; 千葉.

深井智司, 中嶋正太郎, 片方雅紀, 佐久間芽衣, 佐藤孝洋, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. HER2 陽性胃がんにおいて HER2 経路が STING や CD8+T 細胞に及ぼす影響. 第 44 回癌免疫外科研究会; 20230623; 千葉.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 佐藤孝洋, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 癌間質における TGF- β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 河野浩二. 進行・再発食道扁平上皮癌症例における nivolumab 奏功群の免疫学的特徴. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

中嶋正太郎, 金田晃尚, 岡山洋和, 菊池智宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 佐久間芽衣, 三村耕作, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 小野澤寿志, 門馬智之, 河野浩二. 腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路が pMMR/MSS 大腸癌の CD8+T 細胞浸潤や予後に及ぼす影響. 第 82 回日本癌学会学術総会; 20230921; 横浜/Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 中嶋正太郎, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌 TME における HO-1 発現を介する M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加について. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

岡山洋和, 圓谷秀哲, 松石彬, 片方雅紀, 深井智司, 中嶋正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β -activated tumor microenvironment in serrated colorectal neoplasia. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

佐久間芽衣, 三村耕作, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 伊藤美郷, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントリガンドの発現. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 齋藤勝治, 佐藤孝洋, 佐久間芽衣, 深井智司, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β 活性を有する腫瘍微小環境の TIM-3 と M2 マクロファージへの影響について. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. HER2 不均一発現を呈する胃癌症例から検討する HER2 シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

圓谷秀哲, 三村耕作, 松石彬, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における VEGF 経路を標的とした regulatory T 細胞の制御方法の開発について. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

松石彬, 中嶋正太郎, 圓谷秀哲, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. CLDN18 発現と腫瘍浸潤 NK 細胞が胃癌患者の臨床転機に及ぼす影響. 第 36 回日本バリオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

〔シンポジウム〕

Mimura K, Nakajima S, Ogata T, Saze Z, Oshima T, Kono K. Potential of liquid biopsy using flow cytometry and repertoire analysis for advanced gastric cancer. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230714; 函館.

三村耕作, 鈴木義行, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行・再発胃癌に対する複合がん免疫療法の開発. 第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

エピゲノム分子医学研究講座

論 文

〔原 著〕

Sawada T, Kanemoto Y, Kurokawa T, Kato S. The epigenetic function of androgen receptor in prostate cancer progression. *Frontiers in Cell and Developmental Biology*. 202303; 11:1083486.

Iwaki M, Kanemoto Y, Sawada T, Nojiri K, Kurokawa T, Tsutsumi R, Nagasawa K, Kato S. Differential gene regulation by a synthetic vitamin D receptor ligand and active vitamin D in human cells. *PloS one*. 202312; 18(12):e0295288.

Kawakami H, Ozaki A, Kaneda Y, Asano S, Inai K, Hirooka S, Katoono A, Takagi R, Kosaka M, Murayama A, Sawano T, Shimamura Y, Tsubokura M, Kurokawa T, Tachibana K, Wada M, Tanimoto T, Ohtake T, Kitamura N, Ejiri T, Magome H, Shimmura H, Kanzaki N. Telepathology in intraoperative frozen section consultation of breast cancer sentinel node biopsy in Fukushima, Japan following the 2011 triple disaster: diagnostic accuracy and required time during the early implementation phase. *Rural and Remote Health*. 202311; 23(4):8496.

神崎憲雄, 小野幸子, 稲沼千春, 小林奈緒美, 鈴木悠里, 木村純子, 國井恵理, 四家文恵, 日置清子, 黒川友博. 経皮内視鏡的胃瘻造設術施行症例における胃瘻からの造影検査に基づいた胃食道逆流を考慮した経腸栄養アクセスの選択. 学会誌 JSPEN. 202302; 5(1):3-10.

〔総説等〕

Kanemoto Y, Iwaki M, Sawada T, Nojiri K, Kurokawa T, Tsutsumi R, Nagasawa K, Kato S. Advances in the Administration of Vitamin D Analogues to Support Bone Health and Treat Chronic Diseases. *Journal of Bone Metabolism*. 202308; 30(3):219-229.

〔症例報告〕

Mori J, Shingai N, Kobayashi T, Doki N. Combination of Donor Lymphocyte Infusion and Blinatumomab for B-Cell Lymphoblastic Lymphoma Relapse after Allogeneic Stem-Cell Transplantation. *Case Reports in Oncology*. 202308; 16(1):640-644.

Kaneda Y, Ozaki A, Namba M, Sawano T, Wada M, Saito H, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Tachibana K, Tanimoto T, Ohtake T, Ejiri T, Shimmura H, Kanzaki N. The necessity of proactive measures from healthcare providers highlighted by delayed breast cancer diagnosis due to COVID-19: A case report. *Clinical Case Reports*. 202309; 11(9):e7919.

Kawasaki K, Sawano T, Kurokawa T. Intracholecystic Papillary Neoplasm With a Skip Lesion. *Gastro Hep Advances*. 202301; 2(4):454.

黒川友博, 八木隆太, 川崎一生, 黒川友晴, 黒崎哲也. 混合性結合組織病経過中に麻痺性イレウスと消化管穿孔を伴わない Free Air と腹水を認めた 1 手術例. *日本腹部救急医学会雑誌*. 202309; 43(6):969-972.

〔その他〕

Kojima T, Uhara K, Mori J. Health Consequences of Thymus Removal in Adults. *New England Journal of Medicine*. 202311; 389(18):1724.

アスタチン核種治療研究講座

論 文

〔原 著〕

Miyasaka Y, Yoshimoto Y, Ando K, Murata K, Irie D, Sato H, Noda SE, Ikota H, Nakano T, Yokoo H, Ohno T. CD8-positive Tumor-infiltrating Lymphocytes and Prognosis in Radiotherapy for Uterine Cervical Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202305; 43(5):2077-2084.

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202310; 43(10):4691-4700.

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. *Cancer Reports*. 202307; 6(7):e1832.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y,

Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Takimoto R, Kamigaki T, Ito H, Saito M, Takizawa K, Soejima K, Yasuda H, Ohgino K, Terai H, Tomita K, Miura M, Mizukoshi E, Miyashita T, Nakamoto Y, Hayashi K, Miwa S, Kitahara M, Takeuchi A, Kimura H, Mochizuki T, Sugie H, Seino KI, Yamada T, Takeuchi S, Makita K, Naitoh K, Yasumoto K, Yoshida Y, Inoue H, Kotake K, Ohshima K, Noda SE, Okamoto M, Yoshimoto Y, Okada S, Ibe H, Oguma E, Goto S; CITEG. Safety evaluation of immune-cell therapy for malignant tumor in the Cancer Immune-cell Therapy Evaluation Group. *Cytotherapy*. 202311; 25(11):1229-1235.

Oike T, Osu N, Yoshimoto Y, Obinata H, Yoshikawa K, Harris CC, Ohno T. Pilot study of plasma creatine riboside as a potential biomarker for cervical cancer. *Heliyon*. 202306; 9(6):e16684.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

吉本由哉. FGF 受容体ファミリーの変異が子宮頸癌放射線治療予後に及ぼす影響. 第 20 回日本免疫治療学会学術集会; 20230610; 東京.

吉本由哉, 尾池貴洋, 安藤謙, 鈴木義行, 大野達也. 子宮頸癌におけるドライバー変異の同定と、簡便なリキッドバイオプシー開発のための基礎的検討. 第 60 回日本放射線腫瘍学会生物部会学術大会; 20230623-24; 京都.

竹本靖, 竹本操, 吉本由哉, 鈴木義行. プロテオミクスによる X 線照射により分解されるタンパク質の同定. 第 149 回日本医学放射線学会北日本地方会; 20231021; 仙台.

甲状腺治療学講座

論 文

〔原 著〕

Sekino M, Iwadata M, Yamaya Y, Matsumoto Y, Suzuki S, Mizunuma H, Nakano K, Nakamura I, Suzuki S. Analysis of Expression of Programmed Cell Death Ligand 1 (PD-L1) and BRAF(V600E) Mutation in Thyroid Cancer. *Cancers*. 202306; 15(13):3449.

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M,

Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Manabu I, Suzuki S, Sato M, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):14254.

〔研究報告書〕

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 古屋文彦, 鈴木眞一. 独自の進歩を見せる日本の甲状腺癌治療学 6. 小児甲状腺癌の治療方針. *日本外科学会雑誌*. 202301; 124(1):38-43.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shio K, Yamaya Y, Suzuki S, Matsumoto Y, Suzuki S, Furuya F. Phosphorylated TERT contributes to the progression of papillary thyroid carcinomas. *American Thyroid Association Annual Meeting 2023*; 20230927; Washington, USA.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 頸部に発生した未分化多型肉腫の1例. 第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京.

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 古屋文彦, 鈴木眞一. 機能性甲状腺結節の超音波診断. 第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京.

山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 古屋文彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 細胞診検体を用いた遺伝子検索. 日本超音波医学会第96回学術集会; 20230527; さいたま.

金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一, 志村浩己. Digital PCR法を用いた甲状腺腫瘍術前遺伝子検査法の開発. 第55回日本臨床検査医学会東北支部総会・第34回日本臨床化学会東北支部総会; 20230902; 弘前.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. リン酸化 TERT は甲状腺乳頭がんの予後不良因子となる. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

多田羅妙佳, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 甲状腺扁平上皮癌4例の治療経験. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

鈴木聡, 岩館学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体・甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 頸部に発生した成熟奇形種の1例. 第51回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20231216; 東京.

〔シンポジウム〕

塩功貴, 鈴木眞一, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 古屋文彦. SMIによる甲状腺癌の血流評価. 第34回東北甲状腺談話会; 20230325; 盛岡.

救急・生体侵襲制御学講座

論文

〔原 著〕

Kawamura H, Tsujimoto Y, Miyakawa T, Hashimoto K, Hirano T, Honda M. Transanal tube for the prevention of anastomotic leakage in rectal cancer surgery (Protocol). Cochrane Database of Systematic Reviews. 202312; 2023(12):CD15472.

〔症例報告〕

Mizuno J, Hiruma T, Hirayama I, Yamamoto M, Matsubara T, Doi K. Bite wound and mauling of a zookeeper by a gorilla. Trauma Case Reports. 202308; 47:100889.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

比留間孝広, 友利雅貴, 影山理恵, 土川幹史, 橋本克彦. 救急医が地域のセーフティーネットなら, 集中治療医は院内のセーフティーネットである. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302-04; 京都.

比留間孝広, 友利雅貴, 影山理恵, 土川幹史, 橋本克彦. 教育こそが集中治療医のモチベーションである. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302-04; 京都.

比留間孝広. 集中治療医を目指す医師へ～集中治療のことはじめ～. 第10回福島県救急医療研究会; 20230609; 福島.

橋本克彦, 倉品智, 江口翔吾, 土川幹史, 佐々木徹, 比留間孝広. 地方急性期医療のリーダーとなる救急/麻酔

両方の専門性を持つクリティカルケア医育成を目指して. 第 37 回東北救急医学会総会・学術集会; 20230624; Web.

比留間孝広, 藤嶋康祐, 影山理恵, 土川幹史, 橋本克彦, 平山一郎. イミノクタジン酢酸塩と塩基性銅が含まれた農薬中毒に対して、ジメチルカプロールの筋注と胃洗浄が奏功した一例. 第 45 回日本中毒学会総会・学術集会; 20230714-15; さいたま.

比留間孝広, 友利雅貴, 土川幹史, 影山理恵, 橋本克彦, 前田順子. 脾臓摘出後に肺炎球菌ワクチンを接種していたが、脾臓摘出後重症感染症により侵襲性肺炎球菌感染症で救命しえなかった 1 例. 第 45 回日本呼吸療法医学会学術集会; 20230805-06; 名古屋.

比留間孝広, 橋本克彦, 土川幹史, 影山理恵, 倉品智, 江口翔吾, 佐々木徹. 腎移植後・免疫抑制剤の使用下で、COVID19 感染を契機に急性増悪し、多臓器不全にいたった 1 例. 第 51 回日本救急医学会総会・学術集会; 20231128-30; 東京.

地域婦人科腫瘍学講座

論 文

〔原 著〕

Miyakawa R, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Kobayashi Y, Furukawa S, Honda T, Watanabe T, Asano S, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. SPON1 is an independent prognostic biomarker for ovarian cancer. Journal of Ovarian Research. 202305; 16(1):95.

帆保翼, 遠藤雄大, 古川茂宜, 加藤麻美, 岡部慈子, 磯上弘貴, 加茂矩士, 植田牧子, 川名聡, 小島学, 添田周, 渡邊尚文, 橋本優子, 藤森敬也. 手術により診断し得た, 卵巣腫大を伴わないライディッヒ細胞腫の一例. 福島医学雑誌. 202304; 73(1):1-6.

地域支援視機能再建学講座

書籍等出版物

齋藤昌晃. VII 黄斑新生血管 4. 外的要因による黄斑新生血管. In: 辻川明孝 編集. まるごと黄斑疾患 (新篇眼科プラクティス 11). 東京: 文光堂. 2023. p.190-191.

齋藤昌晃. 2 眼科画像診断パワーアップ 4.12 網膜内血管腫状増殖 (RAP) . In: 辻川明孝 編集. 最新眼科画像診断パワーアップ：検査の基本から最新機器の撮影法まで (眼科診療エクレール 2) . 東京: 中山書店. 2023. p.166-170.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

齋藤昌晃. 加齢黄斑変性の症例検討 2023～診断と治療の実際～. いわき市眼科医の集い; 20230713; いわき.

地域先端循環器病治療学講座

論 文

〔原 著〕

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Endo K, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acute coronary syndrome with severe coronary calcification in a patient with pseudo-pseudohypoparathyroidism. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(4):172-175.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Takeishi Y. Effects of continuous positive airway pressure on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing by pulse transit time-based blood pressure measurements. *Journal of Hypertension*. 2023; 41(5):733-740.

Ohara H, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. *Journal of the American Heart Association*. 2023; 12(12):e029857.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(6):460-466.

Shimizu T, Abe S, Asano T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takanashi S, Isobe M, Takeishi Y. Perioperative immunosuppressive therapy and coronary ostial angioplasty for unstable angina with Takayasu arteritis. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(6):257-260.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Prognostic role of circulating LTBP-2 in patients with dilated cardiomyopathy: a novel biomarker reflecting extracellular matrix LTBP-2 accumulation. *Canadian Journal of Cardiology*. 2023; 39(10):1436-1445.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis. *Clinical Research in Cardiology*. 2023; 112(7):942-953.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Ishida T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation through NMT2 prevents cardiac hypertrophy and heart failure. *JACC: Basic to Translational Science*. 2023; 8(10):1263-1282.

Isomatsu D, Sato A, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Shimizu T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. *International Heart Journal*. 2023; 64(4):584-589.

〔総説等〕

三阪智史. クローン性造血と動脈硬化、肺高血圧症. *BIO Clinica*. 2023; 38(5):11-15.

三阪智史, 竹石恭知. 基礎医学 Up-To-Date クローン性造血と肺高血圧症. *Pulmonary Hypertension Update*. 2023; 9(1):40-44.

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害と心不全. *Medical View Points*. 2023; 44(10):4-5.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. *ESC Congress 2023*; 20230825-28; Amsterdam, Netherlands/Web. *European Heart Journal*. 44(Supplement 2):1113.

Misaka T, Sato Y, Sugawara Y, Ogawara R, Ichimura S, Tomita Y, Anzai F, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T,

Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Elevated levels of bicarbonate predict adverse outcomes in patients with chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12042.

Shimizu T, Sakuma Y, Muto Y, Sato Y, Kimishima Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of cardio-ankle vascular index on new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12984.

Sato Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Malnutrition stratified by marasmus and kwashiorkor in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A11577.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Myocardial infarction promotes breast cancer growth through the nerve growth factor/tropomyosin receptor a pathway. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12858.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in heart tissue drive cardiac dysfunction and adverse outcomes in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12043.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Pexidartinib ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12393.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma LTBP-2 is associated with myocardial LTBP-2 and poor prognosis in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12653.

Tomita Y, Misaka T, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Reduced fetuin-A levels are associated with exercise intolerance in patients with heart failure and predict the risk of adverse outcomes. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13795.

Tani T, Oikawa M, Ohara H, Yaegashi D, Sato Y, Yokokawa T, Miura S, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Subclinical cardiac dysfunction in the patients treated with anthracycline-containing chemotherapy in the chronic phase. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14091.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takahashi K, Yamakuni R, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. The association between insufficient

valve expansion and aortic valve calcification for transcatheter valve implantation with self-expandable valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13177.

Ogawara R, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Tani T, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Very short-term blood pressure variability by pulse transit time-based measurements during sleep predicts future cardiovascular events in patients with ischemic heart disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13817.

Ueda K, Miura S, Misaka T, Minakawa K, Sato Y, Takeishi Y, Ikeda K. Interaction between JAK2-mutated neutrophils and platelets initiates thrombosis via neutrophil extracellular traps. 65th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition; 20231209-12; San Diego, USA/Web. Blood. 142(Supplement 1):740.

佐藤悠, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 腎臓間静脈波形パターンを用いた右房圧上昇の検出が偽陰性となる心不全患者の特徴. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 50(Suppl):S687.

西浦司人, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. エボプロステノールにより巨大甲状腺腫と気道狭窄を来した一例. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 石田圭一, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. 右冠動脈閉塞を来した TAVI の一例. 第 13 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会; 20230728-29; 東京.

阿部諭史, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈 3 枝病変の一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 野崎祐司, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index は心不全患者の消化管出血を予測する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. NMT を介した N-ミリスチン化維持が心肥大と心不全を予防する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心臓組織の好中球細胞外トラップは拡張型心筋症における心機能障害と不良な転

婦に関連する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

三阪智史, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 菅原由紀子, 佐藤悠, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全における脾臓の超音波エラストグラフィの意義: 心臓-脾臓連関の役割. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

谷哲矢, 及川雅啓, 大原妃美佳, 八重樫大輝, 佐藤悠, 横川哲朗, 三浦俊輔, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン治療開始 24 か月後の心機能障害の検討. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 富田湧介, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. LTB₂ is associated with fibrosis and predicts poor prognosis in dilated cardiomyopathy. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue associate with adverse outcomes in patients with heart failure through mitochondrial dysfunction of cardiomyocytes. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. Targeting N-myristoylation through NMT prevents cardiac hypertrophy and heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

佐藤悠, 義久精臣, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. The accuracy of non-monophasic intrarenal venous flow pattern for elevation of right atrial pressure in patients with heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三浦里織, 植田航希, 三阪智史, 佐藤友香, 皆川敬治, 竹石恭知, 池田和彦. JAK2-V617F 変異陽性 MPN において血小板と好中球の相互作用が NETs 関連血栓症を惹起する. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013-15; 東京.

Yokokawa T, Nishiura K, Miura S, Misaka T, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of endothelial cell signaling on perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary arterial hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Role of perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間：第7回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR)；20231209-10；神戸。

片平正隆，清水竹史，小河原峻，佐久間裕也，遠藤圭一郎，阿部諭史，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 胸腔鏡下胸管結紮術・心膜開窓術を施行した原発性乳癌心膜症の一例. 第176回日本循環器学会東北地方会；20230603；盛岡.

西浦司人，横川哲朗，三阪智史，市村祥平，三浦俊輔，清水竹史，阿部諭史，佐藤崇匡，金城貴士，及川雅啓，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 血中LTBP-2濃度は、拡張型心筋症において心筋内LTBP-2発現を反映し、予後不良を予測する. 第176回日本循環器学会東北地方会；20230603；盛岡.

石橋伸幸，佐藤彰彦，石田圭一，新城宏治，山本晃裕，高瀬信弥，清水竹史，佐藤崇匡，金城貴士，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 上腸間膜動脈 (SMA) 閉塞による腸管虚血を合併した急性A型大動脈解離に対してSMAステント留置を施行した一例. 第176回日本循環器学会東北地方会；20230603；盛岡.

石井三千花，及川雅啓，磯松大介，武藤雄紀，喜古崇豊，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 大動脈弁狭窄症と左室流出路狭窄を合併し病態判断に苦慮した一例. 第176回日本循環器学会東北地方会；20230603；盛岡.

佐藤智基，佐藤彰彦，関根虎之介，安齋文弥，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. TAVI後に溶血性貧血を来した一例. 第177回日本循環器学会東北地方会；20231202；福島.

佐藤洋太，三浦俊輔，片平正隆，大原妃美佳，武藤雄紀，及川雅啓，木村哲，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. トランスサイレチンとλ型軽鎖が同組織に検出された心アミロイドーシスの症例. 第177回日本循環器学会東北地方会；20231202；福島.

関根虎之介，清水竹史，津田尚彦，飯田あかね，西浦司人，片平正隆，佐藤悠，横川哲朗，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変に対し薬剤塗布バルーンにて経皮的冠動脈形成術を行った若年女性の1例. 第177回日本循環器学会東北地方会；20231202；福島.

富田湧介，安齋文弥，三阪智史，小河原峻，市村祥平，和田健斗，君島勇輔，横川哲朗，竹石恭知. N-ミリストイル化を標的とした介入が心肥大と心不全を予防する. 第9回日本心筋症研究会；20230513；豊中.

市村祥平，三阪智史，小河原峻，富田湧介，三浦俊輔，横川哲朗，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，義久精臣，竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ (NETs) は不良な転帰と関連する：心筋生検検体を用いたアプローチ. 第9回日本心筋症研究会；20230513；豊中.

西浦司人，横川哲朗，三阪智史，市村祥平，三浦俊輔，清水竹史，阿部諭史，佐藤崇匡，金城貴士，及川雅啓，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 血中LTBP2は、拡張型心筋症において心筋内LTBP2発現を反映し、予後不良を予測する. 第9回日本心筋症研究会；20230513；豊中.

及川雅啓，谷哲矢，八重樫大輝，大原妃美佳，三浦俊輔，横川哲朗，三阪智史，義久精臣，八巻尚洋，石田

隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第9回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心不全における心筋組織の好中球細胞外トラップの意義. 第11回 Heart Science Club; 20231014; 東京.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に CAG、PCI を施行した2症例. 第59回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20231028; 郡山.

〔シンポジウム〕

Misaka T, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and pulmonary hypertension -A novel target for precision medicine- (シンポジウム). 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

三阪智史. 肺高血圧症の病態形成におけるクローン性造血の役割 (パネルディスカッション). 第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

清水竹史, 阿部諭史, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高梨秀一郎, 磯部光章, 木島幹博, 竹石恭知. シンポジウム 22 高安動脈炎の虚血性心疾患にどう立ち向かうか 冠血行再建を行なった高安動脈炎による冠動脈疾患の2例. 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 12 「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン 2022 年改訂版」を知る 心不全と睡眠呼吸障害. 日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 18 ASV のエビデンスを整理して今後の可能性を考える HFrEF-CSA における ASV (SERVE-HF 試験). 日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

三阪智史. JAK2V617F クローン性造血と心血管疾患・肺高血圧症 (シンポジウム). 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

三阪智史, 竹石恭知. 会長特別企画9 臓器連関シリーズ 心骨髄連関におけるクローン性造血の意義 (シンポジウム). 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三阪智史. Clonal hematopoiesis : JAK2V617F クローン性造血と心血管疾患・肺高血圧症 (シンポジウム). CVMW2023 心血管代謝週間 : 第40回国際心臓研究学会日本部会; 20231209-10; 神戸.

〔特別講演〕

三阪智史. 特別講演 : クローン性造血と心血管疾患～新たな個別化医療のターゲット～. 北日本 Cardio-Expert Forum; 20231124; 札幌/Web.

〔その他〕

横川哲朗, 西浦司人, 三阪智史, 竹石恭知. 炎症細胞であるマクロファージの制御機構に着目した肺高血圧症の新規病態解明. 第7回先進医薬研究報告会; 20231208; 東京.

こころと脳の医学講座

論 文

〔原 著〕

Hoshino H, Shiga T, Mori Y, Nozaki M, Kanno K, Osakabe Y, Ochiai H, Wada T, Hikita M, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Effect of the Temporal Window of Integration of Speech Sound on Mismatch Negativity. *Clinical EEG and Neuroscience*. 202311; 54(6):620-627.

Nakatani-Enomoto S, Hanajima R, Hamada M, Matsumoto H, Terao Y, Jun Groiss S, Murakami T, Abe M, Enomoto H, Kawai K, Kan R, Niwa SI, Yabe H, Ugawa Y. Quadripulse transcranial magnetic stimulation inducing long-term depression in healthy subjects may increase seizure risk in some patients with intractable epilepsy. *Clinical Neurophysiology Practice*. 202307; 8:137-142.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Ohnishi T, Toda W, Itagaki S, Sato A, Matsumoto J, Ito H, Ishii S, Miura I, Yabe H. Disrupted structural connectivity and less efficient network system in patients with the treatment-naïve adult attention-deficit/hyperactivity disorder. *Frontiers in Psychiatry*. 202305; 14:1093522.

Miyahara K, Hino M, Yu Z, Ono C, Nagaoka A, Hatano M, Shishido R, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. The influence of tissue pH and RNA integrity number on gene expression of human postmortem brain. *Frontiers in Psychiatry*. 202307; 14:1156524.

Shishido R, Kunii Y, Hino M, Izumi R, Nagaoka A, Hayashi H, Kakita A, Tomita H, Yabe H. Evidence for increased DNA damage repair in the postmortem brain of the high stress-response group of schizophrenia. *Frontiers in Psychiatry*. 202308; 14:1183696.

Sato A, Itagaki S, Matsumoto T, Ise Y, Yokokura S, Wada T, Hayashi K, Kakamu T, Fukushima T, Nikaido T,

Konno S, Yabe H. Prediction of the prognosis of somatoform disorders using the Minnesota Multiphasic Personality Inventory. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):105-113.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Post-evacuation return of psychiatric hospital inpatients evacuated to hospitals outside the Fukushima prefecture after the nuclear accident: A Retrospective Cohort Study. *International Journal of Social Psychiatry*. 202306; 69(4):875-884.

Horikoshi S, Miura I, Suzuki Y, Kobayashi Y, Hirata Y, Goto M, Ichinose M, Yamamoto S, Kanno-Nozaki K, Watanabe K, Yabe H. Switching to lemborexant for the management of insomnia in mental disorders: the SLIM study. *Journal of Clinical Sleep Medicine*. 202310; 19(10):1753-1758.

Hirai S, Sakuma A, Kunii Y, Shimbo H, Hino M, Izumi R, Nagaoka A, Yabe H, Kojima R, Seki E, Arai N, Komori T, Okado H. Disease specific brain capillary angiopathy in schizophrenia, bipolar disorder, and Alzheimer's disease. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:74-79.

Fukasawa M, Nishi D, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Effects of disaster-related traumatic events on worry about radiation and COVID-19: A decade after the Fukushima nuclear power plant accident. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:135-141.

Miyahara K, Hino M, Shishido R, Izumi R, Nagaoka A, Hayashi H, Kakita A, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. Ethnicity-dependent effect of rs1799971 polymorphism on OPRM1 expression in the postmortem brain and responsiveness to antipsychotics. *Journal of Psychiatric Research*. 202310; 166:10-16.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Arihisa W, Kondo T, Yamaguchi K, Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Akatsu H, Hino M, Hashizume Y, Sato S, Sato S, Niwa SI, Yabe H, Sasaki T, Shigenobu S, Setou M. Lipid-correlated alterations in the transcriptome are enriched in several specific pathways in the postmortem prefrontal cortex of Japanese patients with schizophrenia. *Neuropsychopharmacology Reports*. 202309; 43(3):403-413.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. *Schizophrenia Research*. 202304; 254:40-41.

Miyahara K, Hino M, Shishido R, Nagaoka A, Izumi R, Hayashi H, Kakita A, Yabe H, Tomita H, Kunii Y. Identification of schizophrenia symptom-related gene modules by postmortem brain transcriptome analysis. *Translational Psychiatry*. 202305; 13(1):144.

板垣俊太郎, 矢部博興. 【「発達障害と事象関連電位」】大人の発達障害の事象関連電位. *臨床神経生理学*. 202304; 51(2):83-86.

星野大, 荒川英香, 錫谷研, 板垣俊太郎, 矢部博興. 【MMN】ミスマッチ陰性電位における周波数変化の検出について. *臨床神経生理学*. 202306; 51(3):135-137.

志賀哲也, 三浦至, 矢部博興. 【MMN】ミスマッチ陰性電位によるシナプス可塑性の定量的観察と臨床治療評価. *臨床神経生理学*. 202306; 51(3):138-142.

〔その他〕

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響 福島県県民健康調査. *Journal of Epidemiology*. 202302; 33(Suppl.1):141.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連 横断研究 福島県県民健康調査. *Journal of Epidemiology*. 202302; 33(Suppl.1):172.

志賀哲也, 上田由佳, 斎藤智樹, 丹治良, 平山緑香, 羽金裕也, 森湧平, 戸田亘, 落合晴香, 星野大, 菅野和子, 堀越翔, 三浦至, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位の精神疾患におけるバイオマーカー応用 聴覚シナプス可塑性とミスマッチ陰性電位. *精神神経学雑誌*. 202306; 2023 特別:S317.

板垣俊太郎, 矢部博興, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 学校や地域での子どもたちのこころの状態、支援と連携システム 福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちへの支援 県民健康調査「ここから調査」より. *精神神経学雑誌*. 202306; 2023 特別:S677.

石井なつみ, 江口依里, 前田正治, 安村誠司, 矢部博興, 高橋敦史, 高瀬佳苗, 神谷研二, 林史和, 大平哲也. 東日本大震災後の福島県における食品摂取頻度と糖尿病発症リスクとの関連 県民健康調査. *東北公衆衛生学会誌*. 202307; 72:36.

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸齊, 神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty liver index との関連 福島県県民健康調査. *日本循環器病予防学会誌*. 202305; 58(2):147.

上田由桂, 志賀哲也, 菅野和子, 星野大, 落合晴香, 堀越翔, 森湧平, 戸田亘, 平山緑香, 羽金裕也, 錫谷研, 丹治良, 斎藤智樹, 荒川英香, 刑部有祐, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 持続長変化ミスマッチ陰性電位はベンゾジアゼピン系抗不安薬の服用量を反映する. 日本薬物脳波学会学術集会. 202308; 25:14.

小林有里, 大野望, 竹内賢, 刑部有祐, 三浦至, 矢部博興. COVID-19 罹患後に多彩な精神症状を呈した解離性障害に関しての一考察. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):55.

斎藤智樹, 泉竜太, 旗野将貴, 玉木大数, 一瀬瑞絵, 刑部有祐, 板垣俊太郎, 矢部博興. Down 症に合併した認知症の臨床的特徴と課題に関する検討. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):55.

旗野将貴, 一瀬瑞絵, 斎藤智樹, 玉木大数, 泉竜太, 刑部有祐, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 筆談によるコミュニケーションが困難であった頭頸部癌術後患者の一例. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):56.

鈴木悠平, 三浦至, 野崎啓子, 一瀬瑞絵, 平田祥一郎, 小林有里, 矢部博興, 星野修三, 小藺江浩一, 渡辺研弥, 堀越翔. 竹田総合病院におけるクロザピン血中濃度測定の結果と考察. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):57.

細貝優人, 森湧平, 泉竜太, 佐藤亜希子, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 本邦におけるクロザピン患者モニタリングサービスを見つめ直す 当院のクロザピン導入を検討された治療抵抗性統合失調症の転帰に着目して. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):57-58.

川崎由希子, 佐藤亜希子, 長岡敦子, 細貝優人, 鈴木悠平, 赤間孝洋, 森湧平, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. せん妄治療の難渋から判明した筋強直性ジストロフィーの一例 その病態を考慮した薬剤選択の意義. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):58.

千代田高明, 板垣俊太郎, 佐藤亜希子, 横倉俊也, 和田知紘, 小林有里, 坪田朝子, 三浦至, 矢部博興, 鈴木雄一. 発達障害を強く疑ったものの愛着障害と診断変更し症状の改善がみられた一例. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):59.

荒川英香, 一瀬瑞絵, 松本貴智, 矢部博興. 摂食拒否を含めた重度な身体化症状を呈した 20 代女性への箱庭を用いた心理療法. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):60.

杉山惣一, 松本貴智, 玉木大数, 矢部博興. 行動の変容が期待できず深まらないまま継続されるカウンセリングの意義を考える. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):60.

矢部博興. ミスマッチ陰性電位. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):361.

上田由桂, 志賀哲也, 菅野和子, 星野大, 落合晴香, 堀越翔, 森湧平, 戸田亘, 平山緑香, 羽金裕也, 錫谷研, 丹治良, 斎藤智樹, 荒川英香, 刑部有祐, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 持続長変化ミスマッチ陰性電位はベンゾジアゼピン系抗不安薬の投与量を反映する. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):561.

高橋雄一, 藤井進也, 刑部有祐, 星野大, 松本貴智, 青田美穂, 青木俊太郎, 菅野和子, 各務竹康, 福島哲仁, 森湧平, 和田知紘, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 音楽的リズムトレーニングが統合失調症の MMN・H-BAT へ及ぼす影響について 中間報告. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):561.

千代田高明, 星野大, 荒川英香, 錫谷研, 刑部有祐, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 疋田雅之, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 森湧平, 高橋雄一, 佐藤彩, 板垣俊太郎, 三浦至, 松岡貴志, 矢部博興. 統合失調症における開始点遅延の周波数ミスマッチ陰性電位についての中間報告(第2報). 臨床神経生理学. 202310; 51(5):561.

河本竜太, 矢部博興, 三浦至, 板垣俊太郎, 志賀哲也, 刑部有祐, 星野大, 錫谷研, 菅野和子, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 野崎途也, 森湧平, 高橋雄一, 千代田高明, 佐藤彩. 強度変化課題における時間的変化位置とミスマッチ陰性電位の発生に関して 中間報告. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):562.

羽金裕也, 志賀哲也, 戸田亘, 三浦至, 阿部十也, 金井数明, 伊藤浩, 矢部博興. 軽度認知機能障害とパーキンソン病のMMNにおける経年変化とその考察. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):562.

菅野和子, 星野大, 森湧平, 荒川英香, 河本竜太, 千代田高明, 高橋雄一, 佐藤彩, 錫谷研, 和田知紘, 上田由桂, 松本貴智, 野崎途也, 刑部有祐, 志賀哲也, 各務竹康, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 三浦至, 矢部博興. 無意識的聴覚認知を反映する持続長ミスマッチ陰性電位は夜勤・交代制勤務の影響をうけにくい. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):563.

錫谷研, 星野大, 荒川英香, 河本竜太, 森湧平, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 疋田雅之, 刑部有祐, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 高橋雄一, 佐藤彩, 千代田高明, 板垣俊太郎, 三浦至, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位を用いた標準音変化による音脈分凝発生について: 中間報告. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):593.

丹治良, 志賀哲也, 星野大, 堀越翔, 落合晴香, 戸田亘, 森湧平, 佐藤彩, 平山緑香, 羽金裕也, 錫谷研, 斎藤智樹, 千代田高明, 菅野和子, 上田由桂, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. ASD/ADHD 合併症例におけるミスマッチ陰性電位の検討. 臨床神経生理学. 202310; 51(5):596.

間葉系幹細胞応用研究講座

論 文

〔原 著〕

Kitamura S, Murao N, Yokota S, Shimizu M, Ono T, Seino Y, Suzuki A, Maejima Y, Shimomura K. Effect of fenofibrate and selective PPAR α modulator (SPPAR α), pemafibrate on KATP channel activity and insulin secretion. BMC Research Notes. 202309; 16(1):202.

Ogata H, Kitamura S, Fujiwara M, Shimizu M, Tan C, Zhao S, Maejima Y, Shimomura K. Dose Dependent Effect of Sulfamethoxazole on Inhibiting KATP Channel of Mouse Pancreatic β Cell. Dose-response. 202309; 21(3):15593258231203611.

Fujiwara M, Shimizu M, Okano T, Maejima Y, Shimomura K. Successful treatment of nivolumab and ipilimumab triggered type 1 diabetes by using sodium-glucose transporter 2 inhibitor: a case report and systematic review. *Frontiers in Public Health*. 202312; 11:1264056.

Takahashi N, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kudo S, Saito Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A, Sano H. T-Cell-Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for a Patient With Tcf3-Hlf-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Extramedullary Relapse After Unrelated Bone Marrow Transplantation. *Journal of Pediatric Hematology/Oncology*. 202304; 45(3):e419-e422.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

日出間志寿, 下村健寿, 前島裕子, 水野景太, 西森克彦. 加味帰脾湯はオキシトシン欠損マウスが示す向社会性行動異常を改善する. 日本農芸化学会 2023 年度大会; 20230314-17; Web.

日出間志寿, 西森克彦, 水野景太, 前島裕子, 下村健寿. ASD 病態モデルマウスを用いた加味帰脾湯の向社会行動への作用に関する研究. 福島医学会学術研究集会; 20230525; 福島.

生命科学部門

論 文

〔原 著〕

Mori T, Kawamura T. Equivalence Principle of the P -value and Mutual Information. *arXiv*. 202308; 10.48550/arXiv.2308.14735.

Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T. Impaired Repopulating Ability of *Uhrf2*⁺ Hematopoietic Progenitor Cells in Mice. *Genes*. 202307; 2023(14):1531.

Shibata A, Fujita M, Yamaguchi S, Yoshimura M, Murakami-Sekimata A, Sekimata M, Haruna M. Association of salivary *Porphyromonas gingivitis* with frequency of meals, smoking history and oral care in pregnant women: a cross-sectional study. *Journal of Nursing Science and Engineering*(看護理工学会誌). 202308; 10:211-220.

Yoshimoto M, Tokuda A, Eguchi A, Nozawa Y, Mori T, Yaginuma Y. Alterations of UHRF Family Expression and UHRF1/ICBP90 Inhibits Phosphatase and Tensin Homolog Expression in Endometrial Cancer. *Oncology*.

202306; 101(7):457-468.

Suzuki Y, Okamoto K, Sakamoto N, Kamata C, Ohta S. The effects of febuxostat and allopurinol in castration-resistant prostate cancer cells using CD44 as an indicator: Possibility for the drug repurposing of febuxostat in castration-resistant prostate cancer. *Therapeutic Research*. 202305; 44(5):363-368.

森努. NIRF 研究会報告「情報と確率の等価性原理」. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:31-41.

〔その他〕

Nagoya Y, Matsuoka M, Takenouchi N, Hirata M, Arita N, Kawakatsu K, Furuhashi T, Ishiura M, Nakatani F. Nursing Practice and Care Structure for Children and Their Families in Need of Pediatric Palliative and End-of-Life Care in Japan. *Journal of Hospice & Palliative Nursing*. 202301; 25(2):E41-E48.

古橋知子, 古溝陽子. 小児中核病院の看護師および医療ソーシャルワーカーが捉えた医療的ケア児の在宅移行支援における課題—部署間の差異に着目して—. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:11-20.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

森努. 情報と確率の等価性原理. 第 504 回福島医学会学術研究集会; 20230525; 福島. 福島医学雑誌. 73(3):80.

菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 見城明. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究. 第 25 回日本医療マネジメント学会学術総会; 20230624; 横浜. 日本医療マネジメント学会雑誌. 24(Suppl):311.

太田昌一郎, 齋藤恵里子, 野崎万里子. 人工透析が必要となった労働者の治療と仕事の両立支援—製造業における取り組み. 令和 5 年度福島県保健衛生学会; 20231005; 福島. 福島県保健衛生雑誌. 39:36.

名古屋祐子, 松岡真里, 有田直子, 石浦光世, 川勝和子, 竹之内直子, 中谷扶美, 平田美佳, 古橋知子. ELNEC-J 小児緩和ケアカリキュラム看護師教育プログラムが小児緩和ケアの実践に及ぼす効果の検証. 第 28 回日本緩和医療学会学術集会; 20230630-0701; 神戸. *Palliative Care Research*. 18(Suppl):S463

松岡真里, 有田直子, 石浦光世, 川勝和子, 竹之内直子, 中谷扶美, 名古屋祐子, 平田美佳, 古橋知子. ELNEC-J 小児緩和ケアカリキュラム看護師教育プログラムの開催と内容評価. 第 28 回日本緩和医療学会学術集会; 20230630-0701; 神戸. *Palliative Care Research*. 18(Suppl):S464

名古屋祐子, 松岡真里, 竹之内直子, 平田美佳, 有田直子, 川勝和子, 古橋知子, 石浦光世, 中谷扶美. ELNEC-J 小児緩和ケアカリキュラム看護師教育プログラム 受講後の小児緩和ケア実践の変化—小児看護経験 2-5 年目の看護師に焦点をあてて—. 第 33 回日本小児看護学会学術集会; 20230716; 横浜. 抄録集. 144.

Mori T, Kawamura T, Goyama S, Shirai T. Discovery of a Novel Immune Checkpoint *KYNU* by the *Ab Initio* Genetic Orbital Method. 日本バイオインフォマティクス学会年会; 20230908; 柏. 抄録集. 1225.

三浦浅子, 上澤紀子, 佐藤良信, 相澤昌子, 渡邊美恵子, 早川貴司, 小池祐未, 保坂ルミ, 尾形優子, 菅野京子, 栗原由美, 大戸実, 四家智恵. 放射線看護 CNS 実習の実習指導を振り返って. 日本放射線看護学会学術集会; 20230909-10; 長崎. 講演集. 12:86.

Mori T, Kawamura T, Goyama S. Identification of a Novel Immune Checkpoint *KYNU* by the *Ab Initio* Genetic Orbital Method. 日本癌学会学術総会; 20230922; 横浜.

見城明, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究—修了者のインタビュー調査より—. 日本マネジメント学会第 11 回福島支部学術集会; 20231028; 須賀川.

森努. 影響力—その定式化と応用について—. 第 505 回福島医学会学術研究集会; 20231026; 福島.

森努, 合山進. *Ab initio* 遺伝子軌道法による新規免疫チェックポイント *KYNU* の同定. 第 42 回日本トリプトファン研究会学術集会; 20231203; 富山.

杉本幸子, 川野真代, 安藤由美子, 太田昌一郎. 経管栄養中の去勢抵抗性前立腺がん患者への抗がん剤錠剤の投与経験～在宅医療における錠剤粉碎時の曝露防止への対応～. 第 97 回日本薬理学会年会; 20231215; 神戸.

〔その他〕

森努. 研究実践により得られた成果. My プレミアムを語る会; 20231215; 福島. 福島県立医科大学看護学部紀要. 26:21.

基礎看護学部門

論 文

〔原 著〕

Asaeda M, Mikami Y, Nishimura Y, Shimokawa T, Shinohara H, Kawasaki T, Kouda K, Ogawa T, Okawa H, Uenishi H, Kuroda R, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. A cross-sectional survey of consistent rehabilitation through long-term care insurance in Japan: a questionnaire survey. *Annals of Medicine and Surgery*. 202301; 85(1):17-23.

〔その他〕

丸山育子. 福島県内の看護師と共同で研究をすすめました 福島県内看護師の新型コロナウイルス感染に関連したメンタルヘルスの実態. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:43-47.

黒田るみ, 須賀原舞. 国際ミニ学会に学部学生とともに参加して. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:49-52.

黒田るみ, 佐藤博子, 丸山育子, 川島理恵, 林紋美, 蓬田美保, 須賀原舞. 基礎看護学部門における人材育成および基礎看護学の専門性の追究に関する取り組みとその評価. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:53-57.

書籍等出版物

黒田るみ. 第3章 リハビリテーション手法に役立つ知識. In: 三上幸夫 総編集. 介護領域のリハビリテーション手法手引き書. 京都: 日本リハビリテーション医学教育推進機構; 202305. p.76-82.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

石井和華子, 小長谷百絵. 人工呼吸療養を受ける神経変性・筋疾患患者の看護ケア内容およびケア量調査. 第28回日本難病看護学会学術集会; 20230930; 新潟.

丸山育子, 林紋美. 外来における2型糖尿病患者に対する看護師の関わりの実態とセルフケアとの関連. 第28回日本糖尿病教育・看護学会学術集会; 20230923-24; 岡山. 日本糖尿病教育・看護学会誌. 27(特別):152.

林紋美, 丸山育子. 外来における2型糖尿病患者に対する看護師の関わりの実態とセルフケアとの関連（第2報）年代別による分析. 第28回日本糖尿病教育・看護学会学術集会; 20230923-24; 岡山/Web. 日本糖尿病教育・看護学会誌. 27(特別):152.

成人・老年看護学部門

論文

〔原 著〕

Sekino M, Iwadata M, Yamaya Y, Matsumoto Y, Suzuki S, Mizunuma H, Nakano K, Nakamura I, Suzuki S. Analysis of Expression of Programmed Cell Death Ligand 1 (PD-L1) and *BRAF^{V600E}* Mutation in Thyroid Cancer. Cancers. 202306; 15(13):3449.

Sato N, Motoi F, Tajiki H, Kawaguchi K, Ohtsuka H, Takadate T, Nakagawa K, Takagi K, Suzuki T, Katayose Y, Fukudo S, Unno M. Expression of corticotropin-releasing hormone and its receptors may be associated with survival rate in pancreatic cancer. *Gastro Hep Advances*. 202302; 2(1):147-155.

Shimoyama M, Yoshida S, Takahashi C, Inoue M, Sato N, Sato F. Effectiveness of a telenursing intervention program in reducing exacerbations in patients with chronic respiratory failure receiving noninvasive positive pressure ventilation: A randomized controlled trial. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0269753.

吉田詩織, 星野瑞季, 佐々木康之輔, 佐藤富美子. 訪問看護師が認識するがん疼痛緩和に関する困難感および知識とセルフケア実践との関連. *がん看護*. 202305; 28(4):391-397.

三浦温子, 元井冬彦, 伊関雅裕, 石田晶玄, 狩野修代, 佐藤裕子, 佐藤菜保子, 大沼忍, 亀井尚, 海野倫明. 膵頭十二指腸切除術における胃内容物排出遅延の臨床経過・栄養状態への影響に関する検討. *学会誌 JSPEN*. 202311; 5(2):67-73.

佐々木千佳, 堀内容子. 国内外の小児期を対象とした靴に関する教育の現状と課題. *健康レクリエーション研究*. 202304; 18:17-26.

鹿俣律子, 高橋香子, 坂本祐子. 避難指示解除地域に暮らす高齢者が肯定的感情を抱く日常生活での経験. *日本在宅ケア学会誌*. 202309; 27(1):38-46.

服部千恵子, 佐々木康之輔, 吉田詩織, 佐藤富美子. がん免疫療法を受けている肺がん患者の医療者の支援を必要とする体験. *日本保健医療行動科学会雑誌*. 202312; 38(2):44-52.

小池朝子, 菅野久美. 生物学的製剤を使用している女性関節リウマチ患者の就労継続に影響する要因. *日本慢性看護学会誌*. 202312; 17(1):13-21.

野口明日香, 佐藤富美子, 佐々木康之輔, 吉田詩織, 山村明寛, 井本博文, 杉沢徳彦, 田中直樹. 胃がん術後患者の身体症状とセルフケア能力の関連. *福島県立医科大学看護学部紀要*. 202303; 25:1-10.

〔総説等〕

佐藤みほ, 藤村朗子, 佐藤菜保子. 看護系大学教員に必要とされる要件としてのコンピテンシーを追究する. *看護教育*. 202304; 64(2):206-213.

吉田詩織, 佐藤大介, 佐藤富美子. 前立腺全摘除術を受ける患者に対するがん看護. *日本老年泌尿器科学会誌*. 202312; 36(2):17-24.

〔その他〕

菅野久美, 今津陽子, 中山祐紀子, 荒尾晴恵. 第37回日本がん看護学会学術集会 災害対策委員会主催研修会報告: コロナ禍において創出された外来がん薬物療法を受ける患者・家族へのケア. *日本がん看護学会誌*. 202311; 37: 37_224_kanno.

書籍等出版物

関野瑞希, 古屋文彦. 4章 各論 19 内分泌疾患. In: 角田亘, 岡崎史子. Crosslink basic リハビリテーションテキスト 内科学. 東京: メジカルビュー社; 202311. p.347-359.

佐藤富美子 翻訳. 監訳担当; 第6, 9, 13, 17, 19, 28, 29章. 翻訳担当; 第6, 17, 19, 28章. In: 黒田裕子, 逸見功, 佐藤富美子 翻訳. パーンズ&グローブ看護研究入門 原著第9版—評価・統合・エビデンスの生成. 東京: エルゼビア・ジャパン; 202308.

災害対策委員会: 荒尾晴恵, 今津陽子, 中山祐紀子, 菅野久美. In: COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)に伴う外来がん薬物療法を受ける患者・家族への看護実践の手引き (第2.0版). 大阪: 日本がん看護学会; 202212. Available from: https://jscn.or.jp/covid-19/doc/JSCN_covid-19_guidance_2.0.pdf

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Sato F, Yoshida S, Sasaki K. Effectiveness of Educational Intervention for Preventing Upper Arm Dysfunction up to 1 Year Postoperatively for Breast Cancer(乳がん術後1年までの上肢機能障害予防改善に向けた教育介入の効果). 26th East Asia Forum of Nursing Scholars(EAFONS2023); 20230310-11; Tokyo.

Sato N, Motoi F, Imai H, Shiota H, Ishioka C, Unno M. Association between nutritional status and adverse events in gastrointestinal cancer patients undergoing outpatient chemotherapy in Japan. ESMO Congress 2023; 20231021; Madrid, Spain. Annals of Oncology. 34(s2):S1109.

今津陽子, 中山祐紀子, 菅野久美, 渡邊知映, 渡邊眞理, 荒尾晴恵. 新型コロナウイルス感染拡大に伴うがん治療・看護への影響の変化—第1波終了時と第7波開始前時点のWeb調査から—. 第37回日本がん看護学会学術集会; 20230225; 横浜. 抄録. 78.

佐藤富美子, 吉田詩織, 佐々木康之輔, 石田孝宣. 乳がん術後1年の更年期症状とQOLの関連. 第37回日本がん看護学会学術集会; 20230225-26; 横浜. 抄録. 206

菅原加奈子, 佐藤富美子, 吉田詩織, 佐々木康之輔. がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを促進する看護質評価指標の開発—デルファイ法を用いて—. 第37回日本がん看護学会学術集会; 20230225-26; 横浜. 抄録. 232.

佐藤富美子, 石田孝宣. 乳がん術後3年までの肥満度の変化. 第20回日本乳癌学会東北地方会; 20230301-05; 仙台. 東北医学雑誌. 135(1):58.

菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 見城明. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会; 20230624; 横浜. 日本医療マネジメント学会雑誌. 24(Suppl):311.

佐々木康之輔, 吉田詩織, 佐藤富美子. 心臓血管外科手術施行患者を対象とした術前の自律神経活動評価による術後せん妄発症予測. 第 18 回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20230701; 東京. 抄録集. O5-2.

上杉史恵, 菅野久美. 新型コロナウイルス感染症重症患者への看護実践における ICU 看護師の体験. 第 19 回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20230702; 東京. 抄録集. O13-3.

矢富有見子, 佐藤富美子, 中村美鈴, 清村紀子, 田口豊恵, 福田美和子, 小泉雅子, 田口智恵美, 村田洋章, 荒井知子. 編集委員会交流集会 やればできる! 論文投稿～査読を乗り越えよう～. 第 19 回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20230702; 東京. 抄録集. EM10.

杉本幸子, 齋藤史子, 佐々木千佳, 阿部久美, 坂本祐子. 高齢者を対象とした地域包括ケアの教授活動報告. 日本地域看護学会第 26 回学術集会; 20230902; 川崎.

見城明, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究ー修了者のインタビュー調査よりー. 日本マネジメント学会第 11 回福島支部学術集会; 20231028; 須賀川.

佐藤富美子, 吉田詩織, 佐々木康之輔, 佐々木理衣. 乳がん体験者の生活の再構築を促進する包括的な長期リハビリケアプログラムの術後 3 年までの効果. 第 43 回日本看護科学学会学術集会; 20231209; 下関.

佐藤友美, 後藤あや, 佐藤菜保子. 治療期がん患者に対応する看護師のコミュニケーションスキルと患者の治療選択における意思決定支援の関連. 第 43 回日本看護科学学会学術集会; 20231210; 下関.

阿部ひろみ, 高橋香子, 坂本祐子. 県型保健所に勤務する新任保健師の職業的アイデンティティを感じた経験. 第 43 回日本看護科学学会学術集会; 20231209; 下関.

齋藤史子, 鄭佳紅, 坂本祐子. 高齢糖尿病患者への外来看護実践プロトコルの開発～プロトコル案の作成～. 第 43 回日本看護科学学会学術集会; 20231210; 下関.

杉本幸子, 川野真代, 安藤由美子, 太田昌一郎. 経管栄養中の去勢抵抗性前立腺がん患者への抗がん剤錠剤の投与経験～在宅医療における錠剤粉碎時の曝露防止への対応～. 第 97 回日本薬理学会年会; 20231215; 神戸.

〔シンポジウム〕

佐藤富美子. 内外から振り返る 25 年 : 教育研究環境に焦点をあてて. 福島県立医科大学看護学部学術委員会主催 パネルディスカッション 学部開設から 25 年の歩みー臨床で見つけた実践と研究の種を育むー; 20230805; 福島.

〔その他〕

笠谷美保, 風間郁子, 中信利恵子, 菅野久美, 菅原よしえ, 今津陽子, 岩永和代, 村松真実, 天野薫, 岸田さな江. 【SIG 災害がん看護企画】地域特性を考慮したがん患者と家族に対する災害支援～都市、地方ならではの当地災害対策について話し合おう～. 第 37 回日本がん看護学会学術集会; 20230225; 横浜.

小児・精神看護学部門

論文

〔原 著〕

田村達弥, 明間正人, 渡邊照子, 大川貴子. 精神科病棟看護師のリカバリー志向を高める研修プログラムの効果. 日本精神保健看護学会誌. 202311; 32(2):1-11.

〔その他〕

大川貴子, 青本さとみ, 岩切真砂子, 岡本典子, 澤田いずみ, 高橋葉子, 福田紀子, 藤代知美, 柳澤美紀, 山岡由実. 2021 年・2022 年精神保健看護学会災害対策委員会報告 災害に備えた平時からのネットワークづくりに向けて 現状の課題と本学会としての今後の取り組み. 日本精神保健看護学会誌. 202311; 32(2):88-94.

矢原隆行, 大川貴子. ノルウェーにおけるメディケーションフリー・トリートメント その成り立ちと取り組み. 精神科看護. 202309; 50(11):41-47.

古橋知子, 古溝陽子. 小児中核病院の看護師および医療ソーシャルワーカーが捉えた医療的ケア児の在宅移行支援における課題—部署間の差異に着目して—. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202303; 25:20-11.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

佐藤利憲. 子どもへのグリーフサポーター地域で寄り添い、支えあうために—. 第5回日本グリーフ&ビリーブメント学会学術大会; 20230201-0331; Web.

地域・公衆衛生看護学部門

論文

〔原 著〕

鹿俣律子, 高橋香子, 坂本祐子. 避難指示解除地域に暮らす高齢者が肯定的感情を抱く日常生活での経験. 日本

在宅ケア学会誌. 202309; 27(1):38-46.

書籍等出版物

高橋香子, 上原健司, 鹿俣律子, 榊乃里子, 土田ゆり, 沼田美幸, 臺有桂, 村中峯子, 山口忍. In: 高橋香子編. 一般財団法人日本公衆衛生協会 令和4年度地域保健総合推進事業 「自治体保健師の人材確保支援策の検討」報告書. 東京: 日本公衆衛生協会; 202303. Available from: http://www.jpha.or.jp/sub/pdf/menu04_2/menu04_2_r04_12.pdf.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

高瀬佳苗, 丸谷美紀. 災害時高齢者の健康危機管理能力に対する概念の文献検討. 第34回日本老年医学会東北大会; 20231028; 弘前.

阿部ひろみ, 高橋香子, 坂本祐子. 県型保健所に勤務する新任期保健師の職業的アイデンティティを感じた経験. 第43回日本看護科学学会学術集会; 20231209; 下関.

〔シンポジウム〕

高橋香子. VISION2018, ふくしま看護モデル, そして, これから…。福島県立医科大学看護学部学術委員会主催 パネルディスカッション 学部開設から25年の歩み—臨床で見つけた実践と研究の種を育む—; 20230805; 福島.

母性看護学・助産学部門

論文

〔原 著〕

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Developmental Origins of Health and Disease. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara

Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Nishigori H, Nishigori T, Suzuki T, Mori M, Yamada M, Isogami H, Murata T, Kyozeuka H, Ogata Y, Sato A, Metoki H, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal and postnatal psychological distress trajectories and impact on cognitive development in 4-year-old children: the Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202312; 14(6):781-794.

Fujita M, Yamaguchi S, Banna J, Suzuki A. Factorial Validity and Reliability of a Food Behavior Checklist for Japanese Pregnant and Postpartum Women. *Journal of Maternal and Child Health*. 202311; 8(6):723-734.

Shibata A, Fujita M, Yamaguchi S, Yoshimura M, Murakami-Sekimata A, Sekimata M, Haruna M. Association of salivary *Porphyromonas gingivalis* with frequency of meals, smoking history and oral care in pregnant women: a cross-sectional study. *Journal of Nursing Science and Engineering*(看護理工学会誌). 202308; 10:211-220.

Kyozeuka H, Ohira T, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Yasumura S, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Eight-Year Trends in the Effect of the Great East Japan Earthquake on Obstetrics Outcomes: A Study from the Fukushima Health Management Survey. *Life*. 202308; 13(8):1702.

Nishigori H, Nishigori T, Obara T, Suzuki T, Mori M, Imaizumi K, Murata T, Kyozeuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202306; 13(1):9541.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Mori M, Sakurai K, Ishikuro M, Hamada H, Saito M, Sugawara J, Arima T, Metoki H, Kuriyama S, Goto A, Yaegashi N, Nishigori H. Factors associated with new onset of father-to-infant bonding failure from 1 to 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan environment and children's study. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*. 202306; 58(11):1603-1624.

篠原好江. 性同一性障害当事者の看護に関する研究の動向. *GID(性同一性障害)学会雑誌*. 202303; 15:69-77.

菊地紗耶, 小林奈津子, 木村涼子, 富田博秋. 【プレコンセプションケアからみた精神医学—妊娠・出産に向けたメンタルヘルスの新たな潮流—】 うつ病・不安症のプレコンセプションケア. *精神科治療学*. 202305; 38(5):549-554.

園山真由美, 在間絹苗, 砂見緩子, 篠原好江, 松澤和正. A 大学に所属する看護学教員の実務・学習ニーズの現状 FD プログラムの立案に向けて. *帝京大学医療技術学部紀要*. 202303; 8-9:37-46.

山口咲奈枝, 佐藤幸子, 遠藤由美子. 周産期の保健教育への参加が生後1歳未満の子どもをもつ父親の育児時間

および家事時間に与える影響. 日本看護学会誌. 202305; 18(1):37-41.

岩佐一, 石井佳世子, 吉田祐子. 性別役割分業観ならびに母親からのソーシャルサポートと父親の育児参加との関連. 日本公衆衛生雑誌. 202302; 70(2):112-123.

鈴木妙子. 【昔にまなび, 未来につなぐ母性のちから〜今, 日本の母を支える〜】“父親のちから”の発揮につながる周産期メンタルヘルスケアの課題. 日本周産期メンタルヘルス学会誌. 202308; 9(1):5-10.

石井佳世子, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 齋藤麻友佳, 太田操, 柴田俊一, 後藤あや. 妊娠中からの育児支援プログラム参加者を拡大する試み. 日本母子看護学会誌. 202302; 16(2):34-46.

菊地紗耶, 小林奈津子, 木村涼子, 富田博秋. 【こんな時どうする? 5W2H で学ぶ抗うつ薬の使い方】5W2H で学ぶ抗うつ薬の使い方 妊娠・授乳期. 薬事. 202304; 65(5):903-907.

鈴木妙子, 西郡秀和. 【助産師のための周産期のメンタルヘルスケア】周産期に起こる父親のメンタルヘルス不調とその実態. 臨床助産ケア: スキルの強化. 202311; 16(1):44-50.

〔総説等〕

西郡秀和, 鈴木妙子. 【合併症妊娠と妊娠に伴う異常の“今”がわかる! これからの助産師必携 見逃せない妊娠中の疾患 30】(第1章) 合併症妊娠がわかる! 精神疾患, ペリネイタルケア. 202301; 2023 新春増刊:24-30.

鈴木妙子, 西郡秀和. 【楽しくお産・楽しく育児—身体的・精神的・社会的(Biopsychosocial)な課題からみた出産・育児支援】社会的課題 育児休暇. 周産期医学. 202312; 53(12):1772-1775.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Yamaguchi S, Fujita M, Endoh Y. Survey Regarding Pregnant Women's Partners' Access to Health Services Related to Pregnancy and Childbirth in Japan during the COVID-19 Pandemic. 33rd ICM Triennial Congress; 20230613; Bali, Indonesia.

大内美奈, 篠原好江. 新卒助産師が先輩助産師との関わりの中で専門職としての意欲に影響を受けた体験. 第22回日本母子看護学会学術集会; 20230805; 東京. 日本母子看護学会誌. 17(1):52.

〔シンポジウム〕

森美由紀, 西郡俊絵, 鈴木妙子, 渡邊まどか, 篠原好江, 西郡秀和. DOHaD 研究成果の妊婦・産後健診等での実践導入に向けて 看護職における本邦の出生コホート研究成果の実践導入に向けた課題. 第11回日本DOHaD学会学術集会; 20230805; 福島.

柴田俊一, 中村康香, 石井佳世子, 渡邊一代. 産前から夫婦そろっての親準備教育による児童虐待予防を考える

一夫婦が協力して子育てを行うという観点から一. 日本子ども虐待防止学会第29回学術集会滋賀大会; 20231126; 草津.

理学療法学科

論文

〔原 著〕

Nolan J, Jacques A, Godecke E, Abe H, Babyar S, Bergmann J, Birnbaum M, Dai S, Danells C, Edwards TG, Gandolfi M, Jahn K, Koter R, Mansfield A, Nakamura J, Pardo V, Perennou D, Piscicelli C, Punt D, Romick-Sheldon D, Saeys W, Smania N, Vaes N, Vaes N, Whitt AL, Singer B, Singer B. Clinical practice recommendations for management of lateropulsion after stroke determined by a Delphi expert panel. *Clinical Rehabilitation*. 2023011; 37(11):1559-1574.

Yamagami T, Yagi M, Tanaka S, Anzai S, Ueda T, Omori Y, Tanaka C, Shiba Y. Relationship between Cognitive Decline and Daily Life Gait among Elderly People Living in the Community: A Preliminary Report. *Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra*. 202303; 13(1):1-9.

Ouchi K, Oi N, Sato M, Yabuki S, Konno S. Chopart amputation with tendon balancing. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(1):67-71.

Takekiyo T, Morishita S. Effect of rehabilitation in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):73-83.

Sato T, Morishita S, Ono M, Funami Y, Hayao K, Kusano D, Kohzuki M. Peak exercise oxygen uptake and changes in renal function in patients after acute myocardial infarction. *Heart & Lung*. 202301; 57:277-282.

Suzuki K, Morishita S, Nakano J, Okayama T, Inoue J, Tanaka T, Fukushima T. Neurological Outcomes of Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy in Patients With Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Integrative Cancer Therapies*. 202301; 22: 15347354231185110.

Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kubota J, Takano A, Takahashi S, Ohashi Y, Jinbo K, Yamamoto Y, Kai T, Shiga Y, Kimura H, Furukawa M, Owari M, Morishita S. Impact of Sarcopenia on Outcome of Exercise Therapy in Older Non-Hodgkin Lymphoma Patients. *Integrative Cancer Therapies*. 202301; 22: 15347354231210775.

Yokozuka M, Okazaki K. Characteristics of hindfoot morphology and ankle range of motion in young women with hallux valgus. *Journal of Foot and Ankle Research*. 202309; 16(1):64.

Endo Y, Miura M. Differences in the center of pressure movement during standing with running shoes of different constructions: A cross-sectional study. *Journal of Orthopaedics*. 202310; 45:43-47.

Kamegaya T, Mori Y, Takahashi E. Exercise habits and perception of physical exercise among residents of an island in the Western Pacific Region. *Journal of Physical Therapy Science*. 202308; 35(8):568-574.

Tsujimoto N, Abe H, Okanuka T, Seki T, Fujimura M. Predictors indicating the continuous need for a knee-ankle-foot orthosis in stroke patients at 1 month after onset. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 202312; 32(12):107425.

Jinbo R, Kasahara R, Morishita S, Kubota J, Takano A, Takahashi S, Kisara S, Jinbo K, Yamamoto Y, Kai T, Shiga Y, Kimura H, Furukawa M, Fujita T. Physical function, nutritional status, and quality of life before and after chemotherapy in patients with malignant lymphoma. *Medicine*. 202302; 102(6):e32901.

Seki T, Abe H, Tsujimoto N, Okanuka T. Lower limb muscle strength of the affected side in stroke patients is an accurate predictor of the need for a KAFO. *NeuroRehabilitation*. 202310; 53(3):355-366.

Kusumoto Y, Goto H, Chiba K, Oonishi S, Tsuchiya J. Characteristics of muscle contraction of the rectus femoris using tensiomyography by sex in healthy college students: a cross-sectional study. *PeerJ*. 202301; 11:e14732.

Morishita S, Suzuki K, Okayama T, Inoue J, Tanaka T, Nakano J, Fukushima T. Recent Findings in Physical Exercise for Cancer Survivors. *Physical Therapy Research*. 202304; 26(1):10-16.

Osaki K, Morishita S, Shimokawa T, Kamimura A, Sekiyama T, Kanehiro C, Shindo A, Shiga K, Kawata E. Physical Therapy for a Multiple Myeloma Patient with COVID-19: A Case Report. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202303; 8:20230007.

Iseki C, Hayasaka T, Yanagawa H, Komoriya Y, Kondo T, Hoshi M, Fukami T, Kawamae K, Kobayashi Y, Ueda S, Ishikawa M, Yamada S, Aoyagi Y, Ohta Y. Artificial intelligence distinguishes the pathological gait: the analysis of the markerless motion capture gait data acquired by the iOS application (TDPT-GT). *Sensors*. 202307; 23(13):6217.

Iseki C, Suzuki S, Fukami T, Yamada S, Hayasaka T, Kondo T, Hoshi M, Ueda S, Kobayashi Y, Ishikawa M, Kanno S, Suzuki K, Aoyagi Y, Ohta Y. Fluctuations in Upper and Lower Body Movement during Walking in Normal Pressure Hydrocephalus and Parkinson's Disease Assessed by Motion Capture with a Smartphone Application, TDPT-GT. *Sensors*. 202311; 23(22):9263.

Fu JB, Gupta E, Morishita S, Andersen CR, Ngo-Huang AT, Engle JP, Guo Y. Frequency and reasons for unplanned transfer to the primary acute care service of inpatient rehabilitation glioblastoma multiforme patients. *Supportive Care in Cancer*. 202301; 31(2):122.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. ICD-11J 分類別にみた運動器慢性疼痛に対する外来での集学的痛み治療

の効果. Journal of Musculoskeletal Pain Research 日本運動器疼痛学会誌. 202307; 15(2):65-71.

松平浩, 笠原諭, 酒井美枝, 井上真輔, 鉄永倫子, 高橋紀代, 高槻梢, 二瓶健司, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性腰痛に対する集学的治療のための新心理社会的フラッグシステム. Journal of Spine Research. 202306; 14(6):858-868.

高橋仁美. COPD 診療のコツ 呼吸リハビリテーション 非専門医でも可能な取り組み. Medical Practice. 202303; 40(3):447-452.

楠本泰士, 樋室伸顕, 西部寿人, 木元稔, 宮本清隆, 高木健志, 高橋恵里, 阿部広和. 小児リハビリテーション分野の目標設定における共同意思決定の現状と目標設定の課題—アンケートによる質的研究—. 小児理学療法学. 202303; 1(1):7-17.

楠本泰士, 木村優希, 高木健志, 高橋恵里, 松田雅弘, 新田収. 痙直型脳性麻痺患者における座位 Index of Postural Stability の信頼性と妥当性. 小児理学療法学. 202303; 1(1):18-27.

伊勢孝之, 内藤紘一, 佐藤聡見, 小野慎太郎, 石井亜由美, 西川幸治, 門田宗之, 八木秀介, 佐田政隆. 【維持期心臓リハビリ～退院後も継続できる心臓リハビリのために～】ウェアラブルデバイスとコミュニケーションアプリを用いた遠隔伴走型心リハシステムの開発. 心臓リハビリテーション. 202306; 29(2):125-126.

松平浩, 笠原諭, 酒井美枝, 井上真輔, 鉄永倫子, 高橋紀代, 高槻梢, 二瓶健司, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性疼痛患者に対する標準化を目指した集学的治療のための新心理社会的フラッグシステム. 日本運動器疼痛学会誌. 202310; 15(3):114-123.

上出直人, 安藤雅峻, 柴喜崇. 地域在住高齢者における歩行能力と転倒関連自己効力感の両者による転倒予測精度の検証：縦断的観察研究. 日本予防理学療法学会雑誌. 202303; 2(1):10-17.

星真行, 神先秀人, 縮井純一, 真壁寿. 地域在住高齢者における座位バランス低下は立位バランス低下や転倒要因と関連するか. 日本予防理学療法学会雑誌. 202303; 2(1):24-31.

鈴木崇広, 星真行, 渡部崇久, 難波樹央, 板垣光子, 佐々木恵子, 渡部美聡, 長橋育恵, 宮坂美和子, 荒木訓, 高橋寿和, 神先秀人. 介護予防事業が二次予防対象女性高齢者の主観的健康感に与える効果—栄養状態による違いに着目して—. 日本予防理学療法学会雑誌. 202309; 3(1):22-29.

佐藤聡見. 新領域における循環器理学療法の挑戦（特別寄稿）. 福島県理学療法学. 202311; 7:4-10.

大杉紘徳, 安齋紗保理, 柴喜崇. 高齢者の自治会への参加および社会参加と主観的幸福感との関連. ヘルスプロモーション理学療法研究. 202302; 12(3):117-124.

松平浩, 山田恵子, 笠原諭, 酒井美枝, 矢吹省司, 高橋直人. 慢性疼痛と集学的治療. 麻酔. 202303; 72(3):274-284.

中野渡達哉, 鈴木秀基, 佐藤聡見. 【運動連鎖からみた関節障害の理学療法】運動連鎖からみた股関節障害の理学療法. 理学療法. 202305; 40(5):416-426.

脇遼太郎, 楠本泰士, 高橋克弥, 加藤愛理. 歩行可能な脳性麻痺患者の股関節筋解離術後の Edinburgh Visual Gait Score の変化. 理学療法学. 202302; 50(1):9-16.

佐藤聡見. 在宅で生活する心不全患者に対する理学療法. 理学療法士協会雑誌 UP to Date. 202308; 1(3):124-131.

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 慢性疼痛の理解とリハビリテーション 理学療法士の立場から. 理療. 202311; 53(2):8-16.

過年業績

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 集学的治療の現状と課題／システム作りと運営「星総合病院慢性疼痛センターでの入院型集学的痛み治療の現状と課題」. Journal of Musculoskeletal Pain Research 日本運動器疼痛学会誌. 202209; 14(3):189-194.

〔研究報告書〕

太田康之, 伊関千書, 佐藤裕康, 猪狩龍佑, 近藤敏行, 星真行, 山田茂樹, 青柳幸彦. 人工知能による歩行・歩容解析を用いた早期フレイルと認知機能との関連解析. 大和証券ヘルス財団研究業績集. 202303; (46):7-11.

〔その他〕

佐藤亮, 平山朋子, 中野渡達哉, 三宮克彦, 田中貴広, 坪田朋子. 大規模災害の被災経験の有無による理学療法専攻学生の災害に関する価値意識の違い. 日本災害医学会雑誌. 202312; 28(3):128-130.

高橋仁美, 村上桃恵. 間質性肺炎患者に対するペーシングによる呼吸法の指導. 日本理学療法士協会雑誌 Up to Date. 202311; 1(4):186-190.

書籍等出版物

Morishita S, Jinbo R, Tsubaki A, Fu JB. Physical Function and Health-Related QOL in Cancer Survivors. In: Morishita S, Inoue J, Nakano J. Physical Therapy and Research in Patients With Cancer. Singapore: Springer; 202301. p.3-23.

Morishita S, Jinbo R, Kasahara R. Pulmonary Rehabilitation in Hematopoietic Stem Cell Transplantation Patients. In: Soubani AO. Pulmonary and Critical Care Considerations of Hematopoietic Stem Cell Transplantation. Switzerland: Springer; 202306. p.271-285.

Fu JB, Francis GJ, Morishita S, Silver JK. Rehabilitation Medicine. In: Christina K. Ullrich, Eric J. Roeland. Palliative Care in Hematologic Malignancies and Serious Blood Disorders. Switzerland: Springer; 202311. p.197-203.

楠本泰士. 4 先天異常と遺伝病 F 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作

業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.76-77.

楠本泰士. 7 骨・関節疾患 B 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.128-129.

楠本泰士. 8 循環器疾患 F 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.140-141.

楠本泰士. 9 呼吸器疾患 E 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.149-150.

楠本泰士. 11 消化器疾患 D 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.175-176.

楠本泰士. 13 血液疾患 F 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.194-195.

楠本泰士. 14 免疫・アレルギー疾患, 膠原病 D 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.205-206.

楠本泰士. 16 腫瘍性疾患 C 理学・作業療法との関連事項. In: 前垣義弘, 小倉加恵子. 標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野 小児科学 第6版. 東京：医学書院；202301. p.216-217.

遠藤康裕. Clinical View 整形外科的検査に関するコツ①. In: 内山靖. 図解 理学療法検査・測定ガイド 第3版. 東京：文光堂；202302. p.605-641.

高橋仁美. VII部 病態別にみた検査・測定項目 13.呼吸器疾患. In: 内山靖. 図解 理学療法検査・測定ガイド 第3版. 東京：文光堂；202302. p.952-958.

阿部浩明. IV 画像検査とその評価法 3 脳画像. In: 内山靖, 岩井信彦. 標準理学療法学 理学療法評価学 第4版. 東京：医学書院；202302. p.256-267.

楠本泰士. 6章 脳性麻痺の理学療法(2). In: 新田収. 最新理学療法学講座 小児理学療法学. 東京：医歯薬出版；202305. p.121-142.

阿部浩明. VI 歩行の障害とその改善 2 脳卒中後の高次脳機能障害と歩行. In: 佐々木誠. 理学療法における歩行. 東京：中外医学社；202307. p.86-102.

高橋恵里. 第5章 代表的な疾患・障害における生活環境 6 脳性麻痺児, 重症心身障害児. In: 白田滋. Crosslink リハビリテーションテキスト生活環境学. 東京：メジカルビュー社；202308. p.190-196.

楠本泰士. 第1章 B 発達の気になる子どものリハビリテーションの考え方. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ：神経発達症リハビリテーション. 東京：三輪書店；202308. p.5-9.

楠本泰士. 第1章 D 発達の順序性と方向性. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.14.

楠本泰士. 第1章 E 遺伝的要因と環境的要因. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.15.

楠本泰士. 第1章 F 部位への介入による全身への影響. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.17-18.

楠本泰士. 第2章 子ども・家族のスクリーニングと共有意思決定. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.19-29.

楠本泰士. 第5章 B 運動療法～運動前後の確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.82-84.

楠本泰士. 第5章 C 目・手の機能改善のための確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.85-87.

楠本泰士. 第5章 D 食事動作の改善のための確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.88-90.

楠本泰士. 第5章 E 排泄の改善のための確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.91-92.

楠本泰士. 第5章 F 更衣動作の改善のための確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.93-94.

楠本泰士. 第5章 G 生活改善のための足・下肢の確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.95-100.

楠本泰士. 第5章 H インソールによる各動作時の変化の確認ポイント. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.101-102.

楠本泰士. 第6章 子どものリハビリテーション介入実例. In: 真野英寿, 楠本泰士, 大貫二三恵. 発達の気になる子どもへのアプローチ: 神経発達症リハビリテーション. 東京: 三輪書店; 202308. p.103-157.

楠本泰士. 第3章 装具 6 小児疾患の装具. In: 廣滋恵一, 遠藤正英. Crosslink 理学療法学テキスト義肢装具学. 東京: メジカルビュー社; 202310. p.236-248

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

阿部浩明. 脳画像情報に基づく病態予測と臨床応用. 第 104 回福岡県理学療法士会学術研修大会; 20230121; 北九州/Web.

佐藤聡見, 木村鷹介, 笥智裕, 近藤郁江, 板垣篤典. 地域在住高齢者における無症候性心不全の罹患と骨格筋機能の関係—超音波画像を用いた調査—. 第 8 回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術集会; 20230304-05; 倉敷/Web.

土屋順子, 楠本泰士, 伊藤咲子, 肥後梨恵子. 座学授業と実技授業におけるノートテイキングの特徴. 第 16 回全国大学理学療法学会教育学会大会; 20230326; 東京. 理学療法教育. 7(Suppl.1):29.

近藤敏行, 伊関千書, 星真行, 新藤 証, 長橋育恵, 小下弘嗣, 深見忠典, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. 地域高齢住民における歩行, 脳領域容積体積, および大脳白質病変の性差. 第 64 回日本神経学会学術総会; 20230602; 千葉. 臨床神経学. 63(Suppl):S308.

齋藤怜奈, 星真行, 伊関千書, 新藤 証, 長橋育恵, 小下弘嗣, 近藤敏行, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. iPhone アプリで分析した 90 歳代住民の歩行と認知機能. 第 64 回日本神経学会学術総会; 20230603; 千葉. 臨床神経学. 63(Suppl):S380.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 春山祐樹, 岩崎稔, 中野渡達哉, 矢吹省司. 生体電気インピーダンス法による位相角と運動器慢性痛との関連について. 第 27 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会; 20230624-25; 名古屋. Pain Rehabilitation. 13(2):106.

中野渡達哉, 星真行, 曾根稔雅, 上出直人, 坂本美喜, 柴喜崇. 地域在住高齢者におけるインソール型センサを用いた歩行中の下肢荷重非対称性と転倒歴との関連. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20230702; 福岡. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 60(特別):4-15-4-2.

高橋仁美. 内部障害における呼吸理学療法の現状と課題. 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023; 20230902-03; 東京/Web. 呼吸理学療法学. 3(Supple):97.

阿部浩明, 神将文. Pusher syndrome の重症度と関連する脳画像所見—support vector regression lesion symptom mapping を用いた解析—. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230909; 横浜.

大鹿糠徹, 阿部浩明, 辻本直秀, 関崇志. 脳卒中片麻痺者における装具カンファレンスでの長下肢装具作製の必要性の判断と関連する因子. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

栗田洋平, 遠原聖矢, 上野信吾, 村野信之, 長友典子, 阿部浩明. 長下肢装具による歩行練習はロボットを用いた歩行練習と同等の Pusher behavior の改善効果—多施設共同 RCT—. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

佐藤勇太, 佐藤成, 阿部浩明. 回復期病棟での長下肢装具製日数の短縮によるアウトカムの検証. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

神将文, 阿部浩明. 脳卒中片麻痺者の急性期病院退院時の歩行自立度と関連する脳損傷領域の特定. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

関崇志, 阿部浩明, 大鹿糠徹, 辻本直秀. Hand held dynamometer による下肢筋力測定は発症 1 か月後の長下肢装具継続使用の必要性を予測できる. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

増子潤, 伊東達哉, 大竹政充, 阿部浩明. 脳卒中後における歩行時の筋緊張異常と関連病巣の特定. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

星真行, 伊関千書, 新藤証, 齋藤怜奈, 小下弘嗣, 近藤敏行, 青柳幸彦, 山田茂樹, 太田康之. スマートフォンアプリ Hacaro iTUG を用いて超高齢者のフレイルおよび歩行の特徴を捉える. 日本転倒予防学会第 10 回学術集会; 20231008; 京都. 日本転倒予防学会誌. 10(suppl):144.

中野渡達哉, 鈴木秀基, 二瓶健司, 宍戸啓太, 青田恵郎, 新田夢鷹, 大内一夫, 神先秀人, 矢吹省司. 人工股関節全置換術前後におけるインソール型荷重センサを用いた歩行分析の実施可能性の検討. 第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会; 20231014; 福岡. プログラム抄録集. 293.

鈴木秀基, 対馬栄輝, 嶋原智彦, 小野洋子, 中野渡達哉, 草野敬悟, 新田夢鷹, 青田恵郎, 大内一夫. 変形性股関節症患者の歩行速度に対する腹横筋の影響. 第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会; 20231015; 福岡. プログラム抄録集. 362.

楠本泰士, 高橋恵里, 高木健志, 松田雅弘, 新田収. 公立の児童発達支援事業所における初診時主訴の特徴と専門職に求められる知識—10 年間の後方視的全例調査—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):28.

宮本清隆, 楠本泰士, 加藤愛理, 脇遼太郎, 飯田佐代子, 成田晶子, 西塚裕人, 松本優子, 森裕輔, 竹脇真悟. 肢体不自由特別支援学校とリハビリテーションセンター双方の児童生徒の情報提供とその有用性の検証. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):30.

高木健志, 新田収, 高橋恵里, 楠本泰士. 独歩を獲得した健常幼児の発達状況と靴の形状の関係. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):57.

吉野ゆい, 楠本泰士, 仲村佳奈子. 視覚関連の症状がある児童に対するアイトラッカーを用いたデジタルアプリでの介入効果. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):60.

阿部純平, 小野洋子, 楠本泰士, 飯沼香織, 宍戸啓太, 大内一夫, 佐藤真理. 生後 6 ヶ月で上肢リーチング動作が出現した 13 トリソミー児の一症例. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):70.

楠本泰士, 高橋恵里, 倉澤茂樹, 田中善信, 星真行, 柴喜崇, 岡崎可奈子, 義久精臣. 児童における健康関連 QOL と食に関する QOL・睡眠状況の学年別の違いと項目間の関係—福島子どもコホート調査—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):89.

佐々木優太, 中島卓也, 依田奈緒美, 楠本泰士, 真野英寿. 運動量の確保と食事療法にて小児肥満の改善に至らなかった症例. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):99.

楠本泰士, 高橋恵里, 浅尾章彦, 遠藤康裕, 小俣純一, 横塚美恵子, 矢吹省司, 神先秀人. ランドセル症候群

の児童の歩行と走行の特徴 一福島子どもコホート調査一. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):100.

加藤さくら, 仲村佳奈子, 楠本泰士. 障害児の養育家庭におけるエンターテインメントを通じた自主トレーニングが療育ストレスへ与える影響—母親の立場から—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):106.

宇田紗彩, 堂面勝哉, 後藤颯人, 橋本咲子, 楠本泰士. オンラインビデオ通話での運動介入により自閉症スペクトラム症児の前転運動の目標が達成された事例. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):112.

堂面勝哉, 後藤颯人, 宇田紗彩, 橋本咲子, 楠本泰士. オンラインビデオ通話での運動介入により運動の苦手さがある児童の運動目標の達成された事例. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):113.

石田優樹, 楠本泰士, 木村優希, 儀間裕貴. 脳性麻痺患者における Posture and Postural Ability Scale と PEDI の関係性. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):121.

高橋恵里, 楠本泰士, 仲村佳奈子. 定型発達児における追視や注視を行うゲーム施行中の眼球運動. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):146.

木村優希, 儀間裕貴, 楠本泰士, 林寛人, 久司夏井, 眞柴知穂, 樋口滋, 深澤宏昭, 石田優樹. 脳性麻痺患者における Posture and Postural Ability Scale の信頼性と妥当性の検討. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):165.

眞柴知穂, 木村優希, 儀間裕貴, 楠本泰士, 石田優樹. 歩行可能な脳性麻痺患者の立位姿勢の特徴—Posture and Postural Ability Scale を用いた検討—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):166.

佐々木優太, 中島卓也, 依田奈緒美, 楠本泰士, 眞野英寿. 小児の理学療法介入における COPM の有用性の検討. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):167.

脇遼太郎, 楠本泰士, 加藤愛理, 宮本清隆. 応用歩行の向上を目標とし包括的に歩行機能評価を用いて理学療法介入を行った脳性麻痺児の一症例. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231022; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):171.

伊藤弥生, 菊池潤美, 大竹政充, 佐藤聡見. 軽症脳梗塞患者におけるセルフモニタリングが退院後の身体活動量に与える効果—パイロットスタディー—. 第 22 回福島県理学療法士会学術集会; 20231022; 会津若松.

三瓶拓磨, 中野渡達哉, 木津智之, 二瓶健司, 青田恵郎. 人工股関節再置換後の大転子剥離骨折に対し骨接合術を施行した患者における荷重センサを用いた部分荷重評価. 第 22 回福島県理学療法士会学術集会; 20231022; 会津若松.

高橋沙穂理, 山本瑞穂, 江井月枝, 佐藤聡見. 当半日通所リハビリテーション施設利用者の実態調査と効果検証. 第 22 回福島県理学療法士会学術集会; 20231022; 会津若松.

佐藤聡見. 在宅における遠隔リハビリテーションー心疾患患者に対する新時代の心臓リハビリテーションー. メディカルクリエーションふくしま 2023; 20231102; 郡山.

福地朋子, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 二瓶健司, 矢吹省司. 慢性疼痛診療研修会参加者に対する知識水準の検討. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S58.

本幸枝, 高橋直人, 高槻梢, 福地朋子, 二瓶健司, 矢吹省司. 慢性疼痛診療研修会参加者における慢性疼痛診療困難感尺度の職種間の相違. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S59.

岩崎稔, 高橋直人, 春山祐樹, 二瓶健司, 本幸枝, 恩田啓, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 当院における入院プログラムの MPI タイプ別治療効果の比較. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S62.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 運動器慢性疼痛の診療にガイドラインをどう活かすかーEBM と NBM を意識したアプローチの重要性. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S24.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術における腰痛改善の予測ーBS-POP の有効性ー. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S81.

高橋直人, 松平浩, 高槻梢, 本幸枝, 二瓶健司, 谷津田尊寛, 津村紀子, 笠原諭, 矢吹省司, 井上真輔. 就労に支障があった慢性疼痛患者に対し新たな心理社会的フラッグシステムを用い外部資源活用が有用であった 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S95.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 津村紀子, 服部彩乃, 本幸枝, 荒瀬洋子, 矢吹省司. 集学的痛み治療とともに外部資源との連携により復職できた二次性筋骨格系慢性疼痛の 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S95.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 荒瀬洋子, 山口歩, 本幸枝, 矢吹省司. 外傷後慢性疼痛に対する集学的痛み治療中に介護事務所と連携し奏功した 1 例. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231104; 富山. 日本運動器疼痛学会誌. 15(4):S96.

木村優希, 樋口滋, 儀間裕貴, 楠本泰士. 痙直型脳性麻痺児 2 症例に対するボツリヌス療法の短期的効果ーPosture and Postural Ability Scale での検討ー. 第 7 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会; 20231104; 宮崎. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 60(秋季特別):S433.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 慢性疼痛診療システムの構築に向けた東北地区における痛みセンターと拠点病院の連携. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

恩田啓, 本幸枝, 富永桂子, 高槻梢, 高橋直人, 笠原諭, 矢吹省司. 難治性慢性疼痛患者における疼痛関連ス

コア異常値の特徴. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林賢司, 横田武尊, 遠藤裕司, 関口美穂, 矢吹省司. 集学的痛み治療前に運動器慢性疼痛の強さの改善を予測できる因子の検討. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 関口美穂, 矢吹省司, 松本嘉寛. 脊椎手術後疼痛症候群に対する薬物療法と手術満足度との関係—横断研究. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208; 福島.

〔シンポジウム〕

楠本泰士. Shared decision making (SDM) とは? 小児リハビリテーションにおける SDM. 第 32 回福岡県理学療法士学会; 20230520; Web.

楠本泰士. 小児分野関係者全体の健康と幸福について—多種多様な研究に関わり感じるこ—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 松平浩, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林賢司, 横田武尊, 遠藤裕司, 関口美穂, 矢吹省司. 星総合病院慢性疼痛センターにおける集学的痛み治療の現状とその問題点. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 「痛みに対する侵襲的治療—適応とエビデンス、そして限界—」手術. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

二瓶健司, 高橋直人, 松平浩, 笠原諭, 本幸枝, 福地朋子, 高槻梢, 矢吹省司. 地域全体で補完できる集学的痛み治療の実現を目指した取り組み. 第 45 回日本疼痛学会; 20231209; 福島.

〔特別講演〕

阿部浩明. 脳卒中患者における臨床的歩行分析と実際のアプローチ. 埼玉県理学療法士会令和 5 年度教育局認定・専門研修部第 1 回研修会; 20230806; 大宮/Web.

阿部浩明. 脳卒中リハビリテーションにおける装具活用について. パシフィックサプライ主催 web セミナー; 20230819; Web.

〔招待講演〕

阿部浩明. 歩行障害に関する脳画像所見. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230909; 横浜.

〔その他〕

阿部浩明. FIM 運動項目・移動. 宮城県 ADL 評価研究会 第 1 回福島県会津地区分科会; 20230118; Web.

楠本泰士. 肢体不自由児に対する運動器の評価と介入. 療法士医療従事者向け講習会 臨床塾; 20230120; 東京

/Web.

楠本泰士. 肢体不自由児に対する装具療法. 療法士医療従事者向け講習会 臨床塾; 20230127; 東京/Web.

楠本泰士. どこでも！誰でもできる！小児リハで押さえておくべき評価と運動療法の考え方. 2022 年度小児リハビリテーション研修会; 20230201; Web.

矢吹省司. 痛み診療の最前線ー集学的な痛み診療体制の構築に向けてー. 第 112 回 HGPI セミナー; 20230208; Web.

阿部浩明. 重度片麻痺者に対する長下肢装具を用いた歩行再建. 令和 4 年度宮城県理学療法士会気仙沼支部研修会; 20230210; 気仙沼.

楠本泰士. がんについて学ぼう. 東京都三宅村立三宅中学校がん教育; 20230213; 東京.

楠本泰士. 子どもの座位. 国分寺市立子どもの発達センターつくしんぼ施設内研修会; 20230322; 東京.

阿部浩明. 重度片麻痺者の装具を用いた歩行再建. 令和 5 年度初台リハビリテーション病院研修会; 20230428; 東京.

阿部浩明. 治療が変わればここまで再建できる 脳卒中重度片麻痺例の歩行再建の実際. 運動と医学の出版社主催実技セミナー; 20230429; 横浜.

楠本泰士. 発達支援領域におけるリハ職の役割とは？～理学療法士に学ぶ小児評価のコツ～. LITALICO キャリア主催セミナー; 20230521; Web.

楠本泰士. 放課後デイでも出来る！今日から始められる「症例検討」を学ぼう！一歩先の支援をつくるオンラインセミナー; 20230524; Web.

楠本泰士. 質問紙（アンケート）を用いた研究のススメ. 2023 年度小児理学療法の研究支援セミナー; 20230603; Web/熊本.

阿部浩明. 長下肢装具を用いた脳卒中重度片麻痺例の歩行再建の実際. 福島県回復期リハビリテーション協議会主催研修会; 20230603; 郡山.

星真行. 家族でもできる在宅リハビリ（筋萎縮性側索硬化症とともに生きた 30 年～理学療法士からの視点、家族としての視点～）. 日本 ALS 協会福島県支部総会講演会・患者家族交流会; 20230624; 郡山.

阿部浩明. 脳画像所見をどのように理学療法評価と治療に活用していくか. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20230701; 福岡. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 60(特別):S370.

楠本泰士. どの職場でも使える！瘻性治療前後の経過の追い方とリハビリテーションの考え方ー脳性麻痺を中心とした小児疾患の乳児期から成人期までの診方とコツー. 熊本県理学療法士協会セミナー; 20230730; Web.

楠本泰士. 発達の気になる子どもへのアプローチ～家族を中心とした関わりから紐解く～. 三輪書店共済セミナー; 20230731; Web.

阿部浩明. 脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法. 認定理学療法士臨床認定カリキュラム; 20230806; Web.

楠本泰士. 医療的ケア児への理学療法と Family Centered Care. 第 41 回東北理学療法学会学術大会; 20230909; Web/盛岡.

楠本泰士. 小児疾患患者に対する歩行能力の改善. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

小林天輝, 阿部浩明. 歩行自立後にも疲労に伴う麻痺側への身体軸傾斜がみられた一症例. 第 21 回日本神経理学療法学会学術大会; 20230910; 横浜.

中野渡達哉. 人工股関節全置換術後の脚長差からみた臨床研究の世界. 第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会前夜祭セミナー; 20231013; Web.

星真行. ポジショニング・シーティングのポイントーリハビリテーションの視点からー. 松風会褥瘡予防研修; 20231019,24; 高島町.

阿部浩明. 脳卒中者の歩行障害に対するアプローチと脳画像の活用. 令和 5 年度初台リハビリテーション病院研修会; 20231201; 東京.

作業療法学科

論 文

〔原 著〕

Sone T, Nakaya N, Sugawara Y, Matsuyama S, Tsuji I. Effect of social participation on the association between frailty and disability. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202307; 110:104989.

Harada S, Tateyama K, Kurasawa S, Tanba H, Nakaoka K, Kawasaki I, Nagai K. Characteristics of Occupational Therapists' Advice in School Consultations: Content Analysis of Advice for Consultation on Problem Behavior in a Special Needs School for Intellectual Disability. Asian Journal of Occupational Therapy. 2023; 19(1):153-160.

Jinbo K, Fujita T, Kasahara R, Jinbo R, Kisara S, Onobe J, Kimijima I, Yasuda M, Yamamoto Y. The effect of combined risk factors on breast cancer-related lymphedema: A study using decision trees. Breast Cancer. 202307; 30(4):685-688.

Matsumoto K, Sugawara Y, Sone T, Kanemura S, Fukao A, Tsuji I. Seaweed consumption and the risk of prostate cancer: the Miyagi cohort study. *European Journal of Cancer Prevention*. 202309; 32(5):423-430.

Shiozu H, Kurasawa S. Cognitive orientation to daily occupational performance (CO-OP) approach as telehealth for a child with developmental coordination disorder: a case report. *Frontiers in Rehabilitation Sciences*. 202308; 4:1241981.

Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kubota J, Takano A, Takahashi S, Ohashi Y, Jinbo K, Yamamoto Y, Kai T, Shiga Y, Kimura H, Furukawa M, Owari M, Morishita S. Impact of sarcopenia on outcome of exercise therapy in older non-Hodgkin lymphoma patients. *Integrative Cancer Therapies*. 202311; 22:15347354231210775.

Fujita T, Yamane K, Yamamoto Y, Sone T, Ohira Y, Otsuki K, Iokawa K. Age-stroke related dysfunction interaction associated with home discharge of stroke inpatients in the rehabilitation ward. *Medicine*. 202306; 102(25):e34152.

Jinbo R, Kasahara R, Morishita S, Kubota J, Takano A, Takahashi S, Kisara S, Jinbo K, Yamamoto Y, Kai T, Shiga Y, Kimura H, Furukawa M, Fujita T. Physical function, nutritional status, and quality of life before and after chemotherapy in patients with malignant lymphoma. *Medicine*. 202302; 102(6):e32901.

Fujita T, Iokawa K. Prediction tool for disability progression and mortality in older adults eligible for Japanese long-term care insurance: Koriyama study. *Medicine*. 202303; 102(9):e33103.

Kawakatsu S, Kobayashi R, Morioka D, Hayashi H, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Futakuchi M, Otani K. Clinicopathological diversity of semantic dementia: Comparisons of patients with early-onset versus late-onset, left-sided versus right-sided temporal atrophy, and TDP-type A versus type C pathology. *Neuropathology*. 202302; 43(1):5-26.

Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kubota J, Takano A, Takahashi S, Ohashi Y, Jinbo K, Yamamoto Y, Kai T, Shiga Y, Kimura H, Furukawa M, Owari M, Morishita S. Is phase angle useful in screening for sarcopenia in patients with hematologic malignancies? *Nutrition and Cancer*. 202312; 76:121-127.

Ogawa S, Hayashida M, Tayama J, Saigo T, Nakaya N, Sone T, Kobayashi M, Bernick P, Takeoka A, Shirabe S. Preventive Effects of Group Cognitive Behavioral Therapy in First-Year University Students at Risk for Depression: A Non-Randomized Controlled Trial. *Perceptual and Motor Skills*. 202304; 130(2):790-807.

Fujita T, Kasahara R, Kurita M, Jinbo R, Yamamoto Y, Ohira Y, Otsuki K, Iokawa K. Balance function required for bathing independence in patients with stroke and hip fracture. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202309; 8:20230028.

Shibuya Y, Kobayashi R, Numazawa T, Toyoshima T, Hayashi H, Sone T, Morioka D, Suzuki A, Kawakatsu S. Simple and Objective Evaluation Items for the Prognosis and Mortality of Delirium in Real - World Clinical Practice: A Preliminary Retrospective Study. *Psychiatric Research and Clinical Practice*. 202306; 5(4):126-130.

Hayashi H, Kobayashi R, Morioka D, Suzuki A, Kawakatsu S. Improved frontal activity on functional near-infrared spectroscopy after improvement of apathy symptoms in a patient with Alzheimer's disease. *Psychogeriatrics*. 202307; 23(4):725-727.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Morioka D, Hayashi H, Suzuki A. Fluctuation of dopamine transporter availability in psychiatric-onset dementia with Lewy bodies: the dilemma of treatment with antidepressants. *Psychogeriatrics*. 202305; 23(3):553-555.

三浦裕幸, 加藤拓彦, 田中真, 澄川幸志. 頭頸部がん喉頭摘出術後長期経過者における QOL 関連因子の検討. *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*. 202305; 60(5):436-445.

小笠原牧, 加藤拓彦, 太田康介, 佐々木伸晃. 二重課題訓練により移乗とトイレ動作が改善した注意障害を有する脳卒中者の報告. *青森県作業療法研究*. 202303; 31(1):53-56.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 神経変性疾患における高次脳機能障害と画像・病理 左後部側頭葉型アルツハイマー病とアルツハイマー病理を伴う TDP タイプ C の意味性認知症の比較. *高次脳機能研究*. 202309; 43(3):223-228.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 核医学検査で視く変性疾患の楽屋裏. *高次脳機能研究*. 202303; 43(1):12-17.

丁子雄希, 齋藤佑樹, 川又寛徳, 小林隆司. クライアント中心に基づく生活目標の設定時におけるクライアントの主体的な意思決定に必要な要因の検討: 作業療法士によるフォーカスグループインタビューを通して. *作業行動研究*. 202309; 27(2):100-110.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 高齢発症認知症者の側頭葉病変における症候と背景病理 第 18 回日本神経心理学学会優秀論文賞を受賞して. *神経心理学*. 202303; 39(1):3-7.

松田直人, 熊野宏治, 進藤篤史, 倉澤茂樹, 上村瞳歩, 大石綾乃, 中野智也, 鈴木有統, 小石恭士. 終末期がん患者の希望する作業を支えることと QOL 変化に関する研究. *日本臨床作業療法研究*. 202309; 10(1):27-33.

浅尾章彦, 川又寛徳, 木村夏実. 3D プリンタで製作したモデル硬貨の厚さに依存したつまみ上げ動作の変化. *福島県作業療法学*. 202305; 3:15-22.

〔総説等〕

川又寛徳. 人間作業モデルの実践の成果を社会実装する. *作業行動研究*. 202312; 27(3):137-138.

野上雅史, 浅尾章彦. 脳卒中による身体機能障害の長期にわたる変化と推移およびリハビリテーションプログラム. *臨床作業療法 NOVA*. 202306; 20(2):070-076.

〔その他〕

川又寛徳. 新型コロナウイルス感染症が作業療法学生へ与えた影響と今後. *作業療法ジャーナル*. 202310;

57(11):1245-1246.

書籍等出版物

藤田貴昭. 脳血管障害. In: 長崎重信. 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 (第3版). 東京: メジカルビュー社; 202301. p.82-114.

浅尾章彦. 福島県浜通りに居住する女性高齢者の災害時の避難行動意図に関する調査研究. 令和4年度地域課題調査・研究事業報告書. 福島県男女共生センター; 202305.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

藤田貴昭, 笠原龍一, 栗田恵, 神保良平, 山本優一, 五百川和明. 回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者における整容自立の予測モデル. 第48回日本脳卒中学会学術集会; 20230316; 横浜/Web.

木村夏実, 小林法一. 成人前期版興味チェックリストの作成～予備版の検討～. 第32回日本作業行動学会学術集会; 20230618; 福島.

藤田貴昭, 栗田恵, 笠原龍一, 山本優一, 五百川和明. 脳卒中患者における意欲と予後の関連: 何に対する意欲がどのADLに影響するのか. 第33回東北作業療学会; 20230625; 仙台.

林博史, 曾根稔雅, 五百川和明, 澄川幸志, 藤田貴昭, 川又寛徳, 浅尾章彦, 川崎伊織, 小笠原牧, 川勝忍. 軽度認知障害に対するコンピューターを活用した認知トレーニングのバイオマーカーへの影響: a scoping review. 第12回日本認知症予防学会; 20230915; 新潟.

藤田貴昭, 栗田恵, 笠原龍一, 山本優一, 五百川和明. 脳卒中患者と大腿骨近位部骨折患者における入浴自立に必要なバランス機能水準の相違. 第57回日本作業療学会; 20231110-12; 宜野湾. 抄録集. 138.

五百川和明, 曾根稔雅, 藤田貴昭, 浅尾章彦, 林博史. 介護保険要支援者における買い物の実施に関連する因子の検討. 第57回日本作業療学会; 20231110-12; 宜野湾. 抄録集. 1017.

川又寛徳, 五百川和明, 澄川幸志, 藤田貴昭. コロナ禍における作業を通した健康支援を目的とする啓発資料の活用状況に関するアンケート調査. 第57回日本作業療学会; 20231110-12; 宜野湾. 抄録集. 1185.

三橋佑平, 曾根稔雅, 五百川和明, 大井直往. 介護サービス提供開始後1年での要介護度の維持・改善に寄与するリハビリテーションを含む介護サービスの研究. 第57回日本作業療学会; 20231110-12; 宜野湾. 抄録集. 1273.

木村夏実, 小林法一. 色カルタを用いた集団活動中に見られる参加者同士の会話の特徴—複数グループを対象とした検討—. 第57回日本作業療学会; 20231110-12; 宜野湾. 抄録集. 1130.

渋谷譲, 小林良太, 沼沢卓真, 豊嶋豊樹, 林博史, 曾根稔雅, 森岡大智, 鈴木昭仁, 川勝忍. 実臨床におけるせん妄の予後・死亡率に関する評価アイテム～予備的, 後方視研究～. 第36回日本総合病院精神医学会総会; 20231117; 仙台.

〔シンポジウム〕

小笠原牧. 学会誌論文の書き方, 育て方 私の論文掲載までのプロセス. 第24回日本認知症ケア学会大会; 20230603; 京都Web. 日本認知症ケア学会誌. 22(1):100.

診療放射線科学科

論 文

〔原 著〕

Amir I, Eguchi Y, Saotome K, Ogawa S, Kojima Y, Tamaki T, Tsubokura M. The "GU-GU-RU" project to eliminate discrimination related to the health effects of the Fukushima nuclear accident. BMC Public Health. 202310; 23(1):2050.

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. Cancer Reports (Hoboken, N.J.). 202307; 6(7):e1832.

Yamazaki Y, Suwabe K, Nagano-Saito A, Saotome K, Kuwamizu R, Hiraga T, Torma F, Suzuki K, Sankai Y, Yassa MA, Soya H. A possible contribution of the locus coeruleus to arousal enhancement with mild exercise: evidence from pupillometry and neuromelanin imaging. Cerebral Cortex Communications. 202306; 4(2):tgad010.

Narita Y, Kato T, Ishikawa Y, Takemasa K, Yamaguchi H, Murakami M. Optimal bladder volume for hypofractionated proton therapy in each localized prostate cancer risk group. Cureus. 202311; 15(11):e48723.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Ishikawa Y, Seto I, Takagawa Y, Suzuki M, Kikuchi Y, Murakami M. Proton beam therapy for lung oligometastatic recurrence in patients with esophageal cancer. Cureus. 202312; 15(12):e50343.

Miwa K, Yoshii T, Wagatsuma K, Nezu S, Kamitaka Y, Yamao T, Kobayashi R, Fukuda S, Yakushiji Y, Miyaji N, Ishii K. Impact of γ factor in the penalty function of Bayesian penalized likelihood reconstruction (Q.Clear) to achieve high-resolution PET images. EJNMMI Physics. 202301; 10(1):4.

Yamaguchi H, Kato T, Ishikawa Y, Takemasa K, Narita Y, Takagawa Y, Seto I, Machida M, Dai Y, Azami Y, Tominaga T, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Murakami M. Safety of hydrogel spacers for rectal wall protection in patients with prostate cancer: A retrospective analysis of 200 consecutive cases. *International Journal of Urology*. 202304; 30(4):401-407.

Kakuta K, Fukuda A, Nemoto S, Yabe S, Ookawara Y, Ikeda M. Radiation Dose Reduction in Carbon Dioxide Digital Subtraction Angiography: A Phantom Study. *Japanese Journal of Education for Radiological Technology*. 202312; 11:23-30.

Kato T, Sasaki S, Ikeda T, Kato R, Kato M, Narita Y, Oyama S, Komori S, Harada T, Murakami M. Dosimetric effect of six degrees of freedom couch top with rotational setup error corrections in proton therapy. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202309; 24(9):e14043.

Shigemoto Y, Sato N, Maikusa N, Sone D, Ota M, Kimura Y, Chiba E, Okita K, Yamao T, Nakaya M, Maki H, Arizono E, Matsuda H. Age and Sex-Related Effects on Single-Subject Gray Matter Networks in Healthy Participants. *Journal of Personalized Medicine*. 202302; 13(3):419.

Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Akahane K, Yasumura S, Kamiya K, Suzuki G. Comparison between external and internal doses to the thyroid after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Journal of Radiation Research*. 202303; 64(2):387-398.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Seto I, Tominaga T, Takagawa Y, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Teranishi Y, Murakami M. Effectiveness of proton beam therapy for liver oligometastatic recurrence in patients with postoperative esophagus cancer. *Journal of Radiation Research*. 202305; 64(3):582-589.

Liutsko L, Oughton D, Tomkiv Y, Fattibene P, Monaca SD, Nuccetelli C, Goto A, Ohba T, Lyamzina Y, Tanigawa K, Novikava N, Chumak V, Pirard P, Charron S, Laurier D, Crouail P, Schneider T, Barquinero JF, Sarukhan A, Cardis E. Resilience after a nuclear accident: Readiness in using mobile phone applications to measure radiation and health indicators in various groups (SHAMISEN SINGS project). *Journal of Radiological Protection*. 202312; 43(4):041511.

Yamazaki Y, Terunuma T, Kato T, Komori S, Sakae T. A novel, end-to-end framework for avoiding collisions between the patient's body and gantry in proton therapy. *Medical Physics*. 202311; 50(11):6684-6692.

Matsuyama E, Takehara M, Takahashi N, Watanabe H. A Breast Density Classification System for Mammography Considering Reliability Issues in Deep Learning. *Open Journal of Medical Imaging*. 202309; 13(3):63-83.

Komori S, Hirose K, Takeuchi A, Kato R, Motoyanagi T, Yamazaki Y, Sato M, Kato T, Takai Y. Characterization and clinical utility of collimator shapes in accelerator-based BNCT systems for head and neck cancer. *Physica Medica*. 202308; 112:102625.

Yoshimura T, Nishioka K, Hashimoto T, Mori T, Kogame S, Seki K, Sugimori H, Yamashina H, Nomura Y,

Kato F, Kudo K, Shimizu S, Aoyama H. Prostatic urinary tract visualization with super-resolution deep learning models. PLOS ONE. 202301; 18(1):e0280076.

Hirosawa A, Matsubara K, Fukuda A, Morioka Y, Kitagawa M, Ogawa Y. Influence of dosimeter depth on estimating patient's eye lens dose in head computed tomography: A measurement and Monte Carlo simulation study. Radiation Measurement. 202308; 166:106984.

Ichikawa N, Matsubara K, Fukuda A, Hayashi T, Takamatsu K, Kuramoto T. Energy-based Hp(3) measurement using solid-state detector. Radiation Protection Dosimetry. 202307; 199(11):1166-1173.

Sakai A, Tsuyama N, Ohira T, Sugai-Takahashi M, Ohba T, Azami Y, Matsumoto Y, Iwadata M, Suzuki S, Sato Maki, Hosoya M, Ishikawa T, Suzuki S. No increase in translocated chromosomal aberrations, an indicator of ionizing radiation exposure, in childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture. Scientific Reports. 202308; 13(1):14254.

Yamaguchi H, Kato T, Honda M, Hamada K, Todate Y, Ishikawa Y, Seto I, Tominaga T, Machida M, Takagawa Y, Takayama K, Suzuki M, Kikuchi Y, Teranishi Y, Murakami M, Konno S. Clinical outcomes and factors involved in the local control of proton beam therapy for oligometastatic liver tumors in patients with colorectal cancer. Strahlentherapie und Onkologie. 202303; 199(3):304-312.

大葉隆, 真船浩一, 菅野修一, 佐藤健一, 長谷川有史. 原子力災害に対応できる診療放射線技師の人材育成の要点—福島第一原子力発電所事故の経験と教訓から. JART. 202302; 70(2):131-140.

赤松剛, 山尾天翔. (アミロイドイメージング) アミロイド PET の画像解析技術. 核医学技術. 202301; 43(1):53-55.

五月女康作. MRI の基礎と応用技術 動き補正技術の評価と専用ファントムの開発. 日本放射線技術学会雑誌. 202301; 79(1):71-77.

宮司典明, 山下康輔, 米山寛人, 花岡宏平, 右近直之, 前田貴雅, 飯森隆志. 核医学治療における適正使用の実態調査. 日本放射線技術学会雑誌. 202303; 79(3):262-270.

三輪建太, 宮司典明, 山尾天翔, 上高祐人, 我妻慧, 村田泰輔. 核医学装置と画像再構成法の進歩 PET 編 PET における Bayesian penalized likelihood 画像再構成法に関する研究. 日本放射線技術学会雑誌. 202305; 79(5):477-487.

宮安孝行, 藤村一郎, 小倉圭史, 田代雅実, 小野勝範, 田中善啓, 大保勇, 赤木憲明, 高本聖也, 五十嵐隆元. 外傷全身 CT 撮影における被ばく線量 (CTDIvol と DLP) の国内実態調査 2022. 日本臨床救急医学会雑誌. 202312; 26(6):711-720.

【研究報告書】

広藤喜章. マンモグラフィの被ばく線量はどのように考えていくべきか. 日本乳癌検診学会誌. 202309; 32(2):173-178.

篠原範充, 秋山忍, 伊東孝宏, 岡田智子, 齋藤久美, 千葉陽子, 根岸徹, 広藤喜章. デジタルプレストトモシンセシス品質管理マニュアルの概要. 日本放射線技術学会雑誌. 202311; 79(11):1280-1286.

〔その他〕

Cléro E, Demoury C, Grosche B, Liutsko L, Motreff Y, Ohba T, Oughton D, Pirard P, Rogel A, Schneider T, Nieuwenhuys AV, Laurier D, Cardis E. Response to Tsuda et al. "demonstrating the undermining of science and health policy after the Fukushima nuclear accident by applying the toolkit for detecting misused epidemiological methods". Environmental Health. 202302; 22(1):17.

村松千左子, 西出裕子, 石井里枝, 篠原範充, 山品博子. 「乳腺領域」論文特集号発刊にあたって. 日本放射線技術学会雑誌. 202311; 79(11):1239-1240.

大葉隆. 世界の放射線防護関連論文紹介⑥ Young people's perspectives of thyroid cancer screening and its harms after the nuclear accident in Fukushima Prefecture: a questionnaire survey indicating opt-out screening strategy of the thyroid examination as an ethical issue. 放射線防護部会誌. 202304; 23(1):66-70.

書籍等出版物

Kato T, Hirose K, Takeuchi A, Kato R, Komori S, Motoyanagi T, Sato M, Takai Y. Irradiation method and the immobilization and positioning of patients (head and neck). In: Shirai T, Nishio T, Sato K. Advances in Accelerators and Medical Physics. USA: Elsevier; 202306. p.235-243.

広藤喜章, 永井良明. 第2章 放射線防護ミニマムエッセンス. In: 榮武二, 櫻井英幸 監修, 磯辺智範 編. 放射線健康リスク科学基礎知識図解ノート. 東京: 金原出版; 202304. p.23-33.

大葉隆, 井山慶大. 第4章 災害医療. In: 榮武二, 櫻井英幸 監修, 磯辺智範 編. 放射線健康リスク科学基礎知識図解ノート. 東京: 金原出版; 202304. p.83-134.

川本哲也, 喜入暁, 杉浦義典, 天井響子, 大久保圭介, 下司忠大, 田村紋女, 唐音啓, 増井啓太, 増山晃大, 三枝高大, 水野雅之, 吉野伸哉 (共訳). In: マルコ・デル・ジュディーチェ 著, 川本哲也, 喜入暁, 杉浦義典 監訳. 進化精神病理学: 心理学と精神医学の統合的アプローチ. 東京: 福村出版; 202303.

三枝高大. 第2章 2-3 O: 開放性 (経験への開放性). In: 谷伊織, 小塩真司, 阿部晋吾. Big Five パーソナリティ・ハンドブック: 5つの因子から「性格」を読み解く. 東京: 福村出版; 202306. p.32-35.

三枝高大. 第5章 5-1 進化的背景. In: 谷伊織, 小塩真司, 阿部晋吾. Big Five パーソナリティ・ハンドブック: 5つの因子から「性格」を読み解く. 東京: 福村出版; 202306. p.96-98.

三枝高大. 第8章 8-4 認知的特性: 知能、創造性、偏見、価値、信仰. In: 谷伊織, 小塩真司, 阿部晋吾. Big Five パーソナリティ・ハンドブック: 5つの因子から「性格」を読み解く. 東京: 福村出版; 202306. p.179-182.

廣藤喜章. 第4編 医療情報論 第2章 医療情報の電子化と標準化. In: 寺本篤司, 藤田広志. 新・医用放射線科学講座 医療画像情報工学 第2版. 東京: 医歯薬出版; 2023. p.185-193.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Koyama Y, Honda K, Fujita Y, Hirofuji Y, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Tanigawa K. Development of indicators for use of the developed application to support returnees in Fukushima. The 7th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 2023.02.20; Hiroshima.

Kakuta K, Ohba T, Amir I, Hasegawa A. Introduction of communication skills training in whole body counting for students of radiological technologists. The 7th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 2023.02.20; Hiroshima.

Suzuki R, Yamashina H, Sai M, Kurowarabi K, Asahara M. Evaluation of edge plates for Modulation Transfer Function measurements using in Digital Mammography Quality Control. European Congress of Radiology 2023; 2023.03.02; Wien, Austria.

Yamashina H. Pitfalls of Mammography Positioning: Missed Tissue at the Chest Wall Edge due to Improper Compression. European Congress of Radiology 2023; 2023.03.02; Wien, Austria.

Ichikawa N, Matsubara K, Fukuda A, Hayashi T. Simple and Accurate Hp(3) Measurement Method Based on Solid-State Detector. European Congress of Radiology 2023; 2023.03.01-5; Wien, Austria.

Ohba T, Goto A, Nakano H, Koyama Y, Honda K, Fujita Y, Hirofuji Y, Yoshida K, Kenneth EN, Murakami M, Tanigawa K. Promoting the digital tool usability for supporting everyday life in reconstruction areas after the Fukushima Daiichi nuclear power station accident: results of a pilot study. 7th International Symposium on the System of Radiological Protection (ICRP2023); 2023.11.08; Tokyo.

篠原祐樹, 中泉航哉, 大村知己, 菅原卓, 佐々木文昭, 高橋規之, 木下俊文. 腰椎単純 dual-energy CT による顕微鏡下手術画像の評価. 第46回日本脳神経 CI 学会; 2023.01.20; 千葉.

篠原祐樹, 高橋規之, 中泉航哉, 大村知己, 菅原卓, 木下俊文. 腰椎非造影 dual-energy CT と深層学習を用いた脊髓腔画像作成の試み. 第52回日本神経放射線学会; 2023.02.18; 東京.

篠原祐樹, 高橋規之, 大村知己, 中泉航哉, 古谷伸春, 師井淳太, 木下俊文. くも膜下出血後のシャント依存性水頭症: 深層学習を用いた初回頭部単純 CT からの発症予測. 第52回日本神経放射線学会; 2023.02.16; 東京.

田代雅実, 島田二郎, 箱崎貴大, 小針健大, 藁谷暢. グループチャットは経時活動記録の代わりとなるか. 第28回日本災害医学会総会学術集会; 2023.03.09-11; 盛岡.

Tominaga Y, Oita M, Kato T. Experimental validation of gated proton pencil beam scanning with 4D dynamic dose calculations. 第125回日本医学物理学学会学術大会; 20230413; 横浜.

島田星良, 工藤真也, 長尾歩乃佳, 上野達也, 廣垣智也, 加藤雅人, 遠藤浩光, 大内久夫, 秋山俊一, 加藤貴弘. 異なる標的体積における CyberKnife と TrueBeam を用いた脊椎 SBRT の線量分布比較. 第32回日本定位放射線治療学会; 20230526; 甲府.

大葉隆, 井山慶大, 佐藤久志, 保田浩志, 長谷川有史. 施設整備状況から見た原子力災害への準備状況と施設指定経過年数の関連性. 第7回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20230603; Web.

小森慎也, 廣瀬勝己, 山崎雄平, 本柳智章, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 成田優輝, 加藤貴弘, 佐藤まり子, 高井良尋. 座位治療システムを用いた頭頸部 BNCT における照射位置精度および投与線量誤差の後方視的解析. 第19回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20230714; 横浜.

佐藤まり子, 廣瀬勝己, 本柳智章, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 成田優輝, 加藤貴弘, 高井良尋. 下咽頭癌／喉頭癌に対する BNCT の安全性および有効性. 第19回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20230714; 横浜.

中村哲志, 田中浩基, 秋田和彦, 加藤貴弘, 高井良尋, 二瓶圭二, 大西洋, 井垣浩. ホウ素中性子捕捉療法に適した提供体制と必要な人材の調査. 第19回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20230714; 横浜.

廣瀬勝己, 佐藤まり子, 本柳智章, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 成田優輝, 加藤貴弘, 高井良尋. 局所領域再発頭頸部扁平上皮癌に対する線量最適化された BPA-BNCT の安全性試験 (ST-BNCT2001 試験). 第19回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20230714; 横浜.

田代雅実, 田中善啓, 深谷理人, 塩田翔一. 外傷全身 CT における上肢挙上困難例に対する dual-energy CT の有用性検討. 第26回日本臨床救急医学会総会学術集会; 20230728; 東京.

田代雅実, 五月女康作, 山品博子. 放射線専攻学生を対象とした CT コンソールシミュレータの満足度調査. 第17回日本診療放射線学教育学会学術集会; 20230826; 東京. 診療放射線学教育学. 11:58.

五月女康作, 三枝高大, 佐藤英介, 小塩真司, 坪倉正治. 大学生による放射線健康影響情報の分類. 日本心理学会第87回大会; 20230916; 神戸.

齋藤玲, 邑本俊亮, 保田真理, 大葉隆, 佐藤美佳. リスクコミュニケーターが持つ各種メディア発信の放射線情報に対する信頼度の違い: 防災士対象調査を通して. 日本災害情報学会第27回学会大会; 20231028; 福島.

広藤喜章. 乳児の X 線単純撮影における体内線量の評価—防護シールドの有無を含めて—. 第51回日本放射線技術学会秋季学術大会; 20231029; 名古屋.

加藤亮平, 角谷倫之, 加藤貴弘, 小山翔, 成田優輝, 武政公大, 池田知広, 鳴海克希, 小川柊太, 神宮啓一. 頭頸部陽子線治療におけるペンシルビーム法とモンテカルロ法の線量分布の比較. 第13回東北放射線医療技術学術大会; 20231103; 山形.

小森慎也, 高川佳明, 竹内瑛彦, 佐藤啓樹, 遠藤浩光, 加藤貴弘. 三次元積層造形技術を応用したテーラーメイド小線源治療の検討. 第 13 回東北放射線医療技術学会; 20231103; 山形.

成田優輝, 小川柊太, 山口将司, 鳴海克希, 坂上久記, 池田知広, 武政公大, 松本拓也, 小山翔, 加藤貴弘. 同時ブースト法を用いた膵臓癌陽子線治療における胃・十二指腸 intrafractionalmotion 解析. 第 13 回東北放射線医療技術学会; 20231103; 山形.

濱尾直実, 高濱英彰, 村上克彦, 田代雅実, 大橋侑真, 遊佐雅徳. Dual spin 方式 image data base 解析による iodine map のヨウ素検出精度の評価: ファントム研究. 第 13 回東北放射線医療技術学会; 20231103; 山形.

坂井晃, 津山尚宏, 大平哲也, 高橋美咲, 大葉隆, 阿左見佑介, 松本佳子, 岩館学, 鈴木聡, 佐藤真紀, 細矢光亮, 石川徹夫, 鈴木眞一. 福島県の小児甲状腺がん患者に原発事故による転座型染色体異常の増加はない. 日本放射線影響学会第 66 回大会; 20231107; 東京. 講演要旨集. 161.

堀川佑加子, 広藤喜章, 笹田裕美, 森下亜希. デジタルプレストモニタリング装置の品質管理の取り組み. 第 33 回日本乳癌検診学会学術総会; 20231124; 福岡.

小山翔, 石川陽二郎, 加藤貴弘, 鳴海克希, 武政公大, 池田知広, 成田優輝, 村上昌雄. 前立腺癌陽子線治療におけるハイドログルススペーサ有無による神経血管束の線量分布比較. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

小森慎也, 廣瀬勝己, 山崎雄平, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 本柳智章, 成田優輝, 加藤貴弘, 佐藤まり子, 高井良尋. 座位治療システムを用いた頭頸部 BNCT における照射位置および投与線量の精度評価. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

佐藤まり子, 廣瀬勝己, 本柳智章, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 成田優輝, 加藤貴弘, 高井良尋. 下咽頭癌/喉頭癌に対する BNCT の治療成績. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

富永裕樹, 加藤貴弘, 徳弘雄大, 笈田将皇, 西尾禎治. 陽子線スキニング治療におけるログファイルを用いた推定臨床線量分布の後ろ向き評価. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

成田優輝, 加藤亮平, 加藤貴弘, 鳴海克希, 池田知広, 武政公大, 小山翔, 瀬戸一郎, 村上昌雄. 同時ブースト法を用いた膵臓癌陽子線治療における胃・十二指腸の PRV マージンの検討. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

〔シンポジウム〕

Hirofuji Y. Perspectives on the unnecessary of gonadal protection from the history of radiation health effects. ICRP 2023, 7th International Symposium on the System of Radiological Protection; 20231112; Tokyo.

五月女康作. 放射線の基礎. 令和 4 年度ぐるぐるプロジェクト ラジエーションカレッジ公開講座 in 福島; 20230110; 福島.

大葉隆. 放射線被ばくにおける現在の人材育成の取り組みと今後の展望及び他組織との連携. 第 28 回日本災害医

学会総会・学術集会; 20230309-11; 盛岡.

五月女康作. 放射線の正しい理解を広めるために～今福島から伝えたいこと～. 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会・第 56 回放射線防護部会シンポジウム; 20230414; 横浜.

田代雅実. 物質の同定とエネルギーによる作用. 第 23 回県北 MDCT カンファレンス; 20230930; 福島.

広藤喜章. 第 81 回撮影部会 A 「放射線防護の観点から見た再撮影」. 第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会; 20231028; 名古屋.

田代雅実. いつかの災害への備え. 第 8 回 山形 ER イメージング; 20231123; 山形/Web.

広藤喜章. 被ばくとそのリスクを伝えるための基礎知識の復習ー確率的影響と組織反応についてー. 第 15 回中部放射線医療技術学術大会; 20231126; 福井.

〔特別講演〕

広藤喜章. 放射線に関わるリスクコミュニケーションについて. 令和 4 年度国立病院機構東海北陸グループ診療放射線技師研修会; 20230113; 名古屋/Web.

五月女康作. 放射線の偏見を減らすために今私たちができることは何だろうか. 環境省ぐるぐるプロジェクトセミナー; 20230318; Web.

五月女康作. 実行委員企画ランチョンセミナー 放射線技術学とラジエーションハウスに宿るこれからの私の一歩. 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20230416; 横浜.

五月女康作. 新しいアイデアを具現化するために～ラジエーションハウスから学ぶこと～. 2023 年度放射線科技師長育成塾; 20230518; Web.

広藤喜章. 医療被ばくの実態とリスクコミュニケーション. 日本放射線技術学会第 2 回 “伝わる” 医療被ばく相談実践セミナー; 20230709; Web.

広藤喜章. 放射線による生殖腺への影響. 日本放射線技術学会 2023 年市民公開講座; 20230717; Web.

広藤喜章. 医療での被ばく相談のポイントー受け手に必要な知識とはー. 福島県放射線技師会 2023 年度福島県放射線管理士セミナー; 20230826; 郡山.

五月女康作. 人気漫画「ラジエーションハウス」は如何にしてできたのか!! 第 59 回日本眼光学学会総会; 20230902; 山形.

五月女康作. あなたは国家資格を右手に持ちますか? 左手に持ちますか? 第 7 回日本放射線技術学会東京支部トレーニングキャンプ; 20230908-10; 三浦.

広藤喜章. 医療の視点で立ち上げた読影会社～ここに放射線技師は必要～. 37th Medical Information and

Communication Technology Seminar (MICS); 20230916; 郡山.

五月女康作. 放射線の理解を広めよう～ラジエーションハウスが伝えたかったこと～. 令和5年度放射線健康管理・健康不安対策事業における研修会; 20231107; 川崎.

五月女康作. 未来を紡ぐキミたちへ～想いを社会へ届けるメソッド～. 静岡市立高校スーパーサイエンススクール特別講義; 20231130; 静岡.

五月女康作. ラジエーションハウスが魅せたかった画論の世界. 画論 31th The Best Image; 20231217; 東京.

〔招待講演〕

五月女康作. 病気を見つける放射線. 北陸原子力懇談会「暮らしに役立つ放射線セミナー」市民公開講座; 20230321; 金沢.

五月女康作. ラジエーションハウスはこうして生まれた. 株式会社千代田テクノ社内セミナー; 20230428; 東京.

五月女康作. ラジエーションハウスが僕らに教えてくれたこと. 鳥取県診療放射線技師会通常総会; 20230515; 鳥取.

五月女康作. 大会長&五月女氏スペシャルトーク ラジエーションハウスとのコラボレーション. 第52回日本IVR学会総会; 20230519; 高知.

五月女康作. ラジエーションハウスは私たちに何を教えてくれたのか? 令和5年度沖縄県放射線技師会講演会; 20230521; 那覇.

広藤喜章. 妊婦は大丈夫? 乳房撮影時の被ばく線量ー乳腺以外はどうか考えるべきかー. 日本放射線技術学会中部支部第58回乳房画像研究会; 20230624; 金沢.

広藤喜章. 生殖腺プロテクターの使用は有効と言えるのかープロテクター使用によるリスク・ベネフィットー. 和歌山県放射線技師会令和5年度第2回研修会; 20231007; 和歌山.

五月女康作. 未来を紡ぐキミたちへ～想いを社会に届けるメソッド～. 2023年度森ノ宮医療大学学術大会; 20231022; 大阪.

五月女康作. 東日本大震災から12年後の今、放射線について考えてみませんか? 令和5年度秋田県診療放射線技師会医療放射線画像展 2023; 20231111; 秋田.

〔その他〕

田代雅実. 診療放射線技師のタスク・シフト/シェア内容とその教育. 保健科学教育研修部門主催第一回研修会; 20230126; Web.

原田崇臣. ゼロから始めるX線線量校正実務講習～X線校正の概要～. 第47回福島県放射線治療懇話会スキルア

ップ基礎講習; 20230805; 福島.

大葉隆. 放射線サーベイ実習 甲状腺モニタリング講義. 第 39 回日本診療放射線技師学会大会; 20231001; 熊本 /Web.

大葉隆. 入門編 9 防護部会「放射線防護体系ー基本的な考え方と国内外の主な組織ー」. 第 51 回日本放射線技術学会秋季学会大会; 20231029; 名古屋. 放射線防護部会誌. 23(2):29-32.

田代雅実. 様々なケガや病気に挑む画像診断検査. 福島県立会津学鳳高等学校学年分野別出前講座; 20231102; 会津若松.

大葉隆. やってダメならそれでいい。それでダメでも、ほかがある。 日本放射線技術学会東京支部国際化推進委員会 国際交流 WEB カンファレンス; 20231126; Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

五月女康作. 医療監修：漫画「ラジエーションハウス（第 1～15 巻）」（集英社 ヤングジャンプ・コミックス GJ）. 20151021-.

田代雅実. 新型コロナウイルス感染症対策本部医療対策班での活動（福島県）. 20200407-20230507.

福田篤志. 半導体検出器 X2 用アダプタの開発（許諾書締結）. 20230331.

田代雅実. 福島県災害医療コーディネーター. 20230401-.

福田篤志, 保田明宏. Detachable Lead-containing Arm Support (DLAS) の開発. 20231002.

臨床検査学科

論 文

〔原 著〕

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Prognostic role of circulating LTBP-2 in patients with dilated cardiomyopathy: a novel biomarker reflecting extracellular matrix LTBP-2 accumulation. Canadian Journal of Cardiology. 202310; 39(10):1436-1445.

Sato Y, Yoshihisa A, Ide T, Tohyama T, Enzan N, Matsushima S, Tsutsui H, Takeishi Y. Regional variation in the clinical practice and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan - A report from the Japanese Registry of Acute Decompensated Heart Failure (JROADHF). *Circulation Journal*. 202309; 87(10):1380-1391.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis. *Clinical Research in Cardiology*. 202307; 112(7):942-953.

Shiina K, Tomiyama H, Tanaka A, Imai T, Hisauchi I, Taguchi I, Sezai A, Toyoda S, Dohi K, Kamiya H, Kida K, Anzai T, Chikamori T, Node K; CANDLE trial investigators(Oikawa M, Takeishi Y, Yoshihisa A). Canagliflozin independently reduced plasma volume from conventional diuretics in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a subanalysis of the CANDLE trial. *Hypertension Research*. 202302; 46(2):495-506.

Isomatsu D, Sato A, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Shimizu T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. *International Heart Journal*. 202307; 64(4):584-589.

Hamada M, Enomoto N, Yamashita T, Shimojima M, Tanno D, Ohana N, Toyokawa M, Takahashi H, Yaguchi T. *Nocardia sputorum* sp. nov., an actinobacterium isolated from clinical specimens in Japan. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*. 202306; 73(6):doi: 10.1099/ijsem.0.005935.

Ohara H, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. *Journal of the American Heart Association*. 202306; 12(12):e029857.

Tachida Y, Iijima J, Takahashi K, Suzuki H, Kizuka Y, Yamaguchi Y, Tanaka K, Nakano M, Takakura D, Kawasaki N, Saito Y, Many H, Endo T, Kitazume S. O-GalNAc glycosylation determines intracellular trafficking of APP and A β production. *Journal of Biological Chemistry*. 202307; 299(7):104905.

Nagai K, Muto Y, Miura S, Takahashi K, Naruse Y, Hiruta R, Hashimoto Y, Uzuki M, Haga Y, Fujii R, Ueda K, Kawaguchi Y, Fujii M, Kitazume S. Brain-specific glycosylation enzyme GnT-IX maintains levels of protein tyrosine phosphatase receptor PTPRZ, thereby mediating glioma growth. *Journal of Biological Chemistry*. 202309; 299(9):105128.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. *Journal of Cardiology*. 202312; 82(6):460-466.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Horikoshi Y, Yamadera Y, Takeishi Y. Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 202309; 34(9):1969-1978.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. *Journal of Clinical Medicine*. 202302; 12(4):1257.

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Takeishi Y. Effects of continuous positive airway pressure on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing by pulse transit time-based blood pressure measurements. *Journal of Hypertension*. 202305; 41(5):733-740.

Hara Y, Nakamura K, Tanno D, Toyokawa M, Suzuki H, Ohashi K, Harada R, Hidaka T, Nagano T, Torii K, Kanemitsu K. Detection of *Clostridioides difficile* toxin B gene in clinical stool specimens using rapid diagnostic quenching probe-polymerase chain reaction assay. *Journal of Microbiological Methods*. 202302; 205:106666.

Takahashi K, Kanekiyo K, Sakuda K, Muto Y, Iguchi M, Matsuda N, Hashimoto Y, Kanai K, Ogawa H, Hirase H, Kakita A, Bizen N, Takebayashi H, Kawaguchi Y, Uzuki M, Kitazume S. Brain-specific glycosylation of protein tyrosine phosphatase receptor type Z (PTPRZ) marks a demyelination-associated astrocyte subtype. *Journal of Neurochemistry*. 202308; 166(3):547-559.

Matsuda M, Hoshiyama Y, Ogawa K, Emmi M, Terai S, Moriyama M. Performance characteristics of 5 numerical indexes in mixing test interpretation under coexistence of lupus anticoagulant and coagulation factor deficiency. *Research and Practice in Thrombosis and Haemostasis*. 202302; 7(2):100065.

松田将門. 【ここまできた 血栓止血検査の標準化】標準化の現状 検体取扱い. *Medical Technology*. 202303; 51(3):236-242.

瀬戸口知里, 梅澤敬, 館川夏那, 山本容子, 林榮一, 山村信一, 熊谷二郎. 子宮頸部擦過細胞診に対する的手法 liquid-based cytology 導入と適用可能性についての検討. *医学検査*. 202307; 72(3):365-373.

小宮山豊, 松田将門. 【匠から学ぶ 血栓止血検査ガイド】(2章) 検査前プロセス 採血が血栓止血検査に及ぼす影響. *検査と技術*. 202309; 51(9):906-913.

松田将門, 小宮山豊. 【匠から学ぶ 血栓止血検査ガイド】(2章) 検査前プロセス 採血後の検体の保存や搬送条件が血栓止血検査に及ぼす影響. *検査と技術*. 202309; 51(9):914-920.

由木洋一, 松田将門. FOCUS 凝固検査用検体取り扱い標準化. *検査と技術*. 202301; 51(1):56-59.

菅野光俊. 臨床検査のピットフォール 臨床化学検査の分析前エラー 異常値発見に役立つ検査値を読み解く力. *検査と技術*. 202302; 51(2):154-158.

梅澤敬. Liquid-based cytology を用いた細胞診の品質・精度向上ーこれまでの論文報告と臨床データを中心にー.

埼玉県臨床細胞学会誌. 202306; 41:12-23.

大澤まみ, 松田将門, 星山良樹, 寺井崇二. 乳酸脱水素酵素活性測定における 5 社の IFCC 試薬と JSCC 試薬の比較. 生物試料分析. 202309; 46(4):191-202.

松田将門. 各種抗凝固薬の希釈ラッセル蛇毒時間 (dRVVT) に対する影響. 日本検査血液学会雑誌. 202302; 24(1):91-100.

榎谷亮太, 松田将門, 小宮山豊, 久保田芽里, 大坂直文. 関西圏を中心とした施設における凝固検査検体取扱いの現状の調査. 日本検査血液学会雑誌. 202307; 24(2):253-261.

宇佐美陽子, 市原清志, 菅野桂子, 柴彩夏, 山本朱莉, 石嶺南生, 菅野光俊, 上原剛. 「シグナスオート ALP IF」の基礎的性能評価と日本人の基準範囲の算出. 日本臨床検査医学会誌. 202306; 71(6):367-373.

菅野光俊. ピットフォール事例から臨床貢献へ. 日本臨床化学会『ピットフォール研究専門委員会』の活動紹介. 日本臨床検査医学会誌. 202309; 71(9):605-608.

土屋幸子, 梅澤敬, 廣岡信一, 三宅美佐代, 鷹橋浩幸, 佐藤峻, 津田明奈, 山田恭輔, 上田和, 岡本愛光. オーセレックスブラシと BD シュアパス法を用いた腔断端細胞診 6,260 例の評価—当施設での運用—. 日本臨床細胞学会誌. 202303; 62(2):91-97.

〔総説等〕

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害と心不全. Medical View Points. 202310; 44(10):4-5.

義久精臣, 竹石恭知. COPD と合併疾患 : COPD と循環器疾患—心不全を中心に—. Vita. 202304; 40(2):33-38.

松田将門. 凝固線溶検査における検査前プロセス. 検体取り扱い手順が検査値に及ぼす影響. 医療と検査機器・試薬. 202310; 46(5):260-270.

黒瀬理恵, 佐藤孝, 黒瀬顕, 石橋恭之, 宇月美和, 佐々木知行, 若井裕司, 石田欣二, 小笠原勝利, 澤井高志. CD14+樹状形細胞による関節リウマチ病態形成の関わり. 別冊 Bio Clinica: 慢性炎症と疾患. 202310; 12(2):93-97.

〔症例報告〕

梅澤敬, 館川夏那, 山本容子, 林榮一, 山村信一, 熊谷二郎. 液状化検体細胞診を用い解析した神経内分泌への分化を伴う HPV 関連子宮頸部低分化型腺癌, I A1 期の 1 例. 日本臨床細胞学会誌. 202301; 62(1):38-43.

梅澤敬, 館川夏那, 山本容子, 林榮一, 山村信一, 瀬戸口知里, 熊谷二郎. EUS-FNA における ROSE で推定したアミロイド沈着を伴う膵神経内分泌腫瘍 (インスリノーマ) の 1 例. 日本臨床細胞学会誌. 202301; 62(1):44-49.

〔その他〕

班長：葛西隆敏，班員：安藤眞一，長田尚彦，加藤雅彦，苅尾七臣，河野隆志，椎名一紀，塩田智美，清水渉，城宝秀司，鈴木圭輔，高田佳史，田村彰，千葉伸太郎，寺田二郎，外木守雄，福本義弘，山内基雄，義久精臣，協力員：安達太郎，岩崎雄樹，合田あゆみ，佐田誠，須田翔子，得能智武，富田康弘，内藤亮，成瀬代士久，三阪智史，外部評価委員：井手友美，陳和夫，萩原誠久，南野徹，百村伸一. 2023 年改訂版 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン. 2023 年改訂版 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン. 2023; 1-103.

義久精臣. 福島医大保健科学のトピラ 心不全の治療 チーム医療必須. 福島民友. 20230501:6.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Iijima J, Tachida Y, Takahashi K, Suzuki H, Kizuka Y, Yamaguchi Y, Tanaka K, Nakano M, Takakura D, Kawasaki N, Saito Y, Many H, Endo T, Kitazume S. Non-classical glycosylation determines intracellular trafficking of APP and A β production. U.S.-Japan Joint Workshop on the Neurovascular Unit 2023; 20230107; Tokyo.

Suzuki T, Matsumoto T, Shimomura D, Matsuda M, Tabuchi Y, Kurono H, Nishi K, Arai N, Hoshiyama Y, Kamioka M, Moriyama M. Construction of a deep learning model to estimate the cause of APTT prolongation using multi-wavelength clot waves. XXXVIth International Symposium on Technical Innovations in Laboratory Hematology (ISLH 2023); 20230511-13; New Orleans, USA.

Matsuda M, Shimomura D, Matsumoto T, Tabuchi Y, Kohno A, Suzuki T, Nishi K, Arai N, Kurono H, Hoshiyama Y, Kamioka M, Shuji T, Moriyama M. AI classification model to discriminate causes of prolonged clotting time through the application of machine learning to clot waveform analysis parameters. The XXXI Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH2023); 20230627; Montreal, Canada.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. ESC Congress 2023; 20230825-28; Amsterdam, Netherlands/Web. European Heart Journal. 44(Supplement 2):1113.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in heart tissue drive cardiac dysfunction and adverse outcomes in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12043.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma LTBP-2 is associated with myocardial LTBP-2 and poor prognosis in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13;

Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A12653.

Tomita Y, Misaka T, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Reduced fetuin-A levels are associated with exercise intolerance in patients with heart failure and predict the risk of adverse outcomes. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A13795.

Ogawara R, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Tani T, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Very short-term blood pressure variability by pulse transit time-based measurements during sleep predicts future cardiovascular events in patients with ischemic heart disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A13817.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yamakuni R, Ishii S, Yoshihisa A, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Usefulness of MR-derived left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A13033.

Sato Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Malnutrition stratified by marasmus and kwashiorkor in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A11577.

Misaka T, Sato Y, Sugawara Y, Ogawara R, Ichimura S, Tomita Y, Anzai F, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Elevated levels of bicarbonate predict adverse outcomes in patients with chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia. *Circulation*, USA. 148(Suppl 1):A12042.

Shimizu T, Sakuma Y, Muto Y, Sato Y, Kimishima Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of cardio-ankle vascular index on new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A12984.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yamakuni R, Ishii S, Yoshihisa A, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Usefulness of MR-derived left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A13033.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takahashi K, Yamakuni R, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. The association between insufficient valve expansion and aortic valve calcification for transcatheter valve implantation with self-expandable valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. *Circulation*. 148(Suppl 1):A13177.

Ogawara R, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Tani T, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato

T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Very short-term blood pressure variability by pulse transit time-based measurements during sleep predicts future cardiovascular events in patients with ischemic heart disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13817.

Ueda K, Miura S, Misaka T, Minakawa K, Sato Y, Takeishi Y, Ikeda K. Interaction between JAK2-mutated Neutrophil and Platelets Initiates Thrombosis via Neutrophil Extracellular Traps. 65th ASH Annual Meeting & Exposition; 20231211; San Diego, USA.

松田将門. 出血性疾患と血栓性疾患に対する検査技師としての“みる”目. 令和4年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部臨床血液部門研修会; 20230121; Web.

三浦里織. 臨床検査技師のタスク・シフト/シェア内容とその教育. 福島県立医科大学医療人育成・支援センター保健科学部教育研修部門主催第一回研修会; 20230126; Web.

堀越裕子, 勝田新一郎, 挟間章博, 志村浩己, 清水強, 白井厚治. ニカルジピンに対する弾性動脈と筋性動脈の相反的応答—ウサギにおける実験的検討—. 第6回日中ウサギバイオサイエンス研究会学術集会/第4回日中合同ウサギバイオテクノロジー会議; 20230211; 福島.

梅澤敬. LBCによる病理細胞診検査の標準化と技術革新—遺伝子解析・がんゲノム医療時代への展望—. 令和4年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部染色体・遺伝子検査部門研修会; 20230219; 福島/Web.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue contribute to poor cardiac performance and adverse outcomes in patients with dilated cardiomyopathy. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yoshihisa A, Fukushima K, Takeishi Y. Usefulness of right ventricular longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with heart failure. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects right-sided heart failure and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in coronary artery disease patients with antiplatelet therapy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with coronary artery disease. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. The prevalence of immune checkpoint inhibitor-induced subclinical myocardial damage. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

黒沢雄太, 清水竹史, 佐久間裕也, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 佐藤悠, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with reduced ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 30%. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with preserved ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 60%. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 井手友美, 筒井裕之, 竹石恭知. Regional variation of patients' characteristics and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 磯松大介, 渡邊孝一郎, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

磯松大介, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 阿部諭史, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 関野啓史, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 経カテーテル大動脈弁留置後の弁周囲逆流に対する、術前 CT で測定

した大動脈弁石灰化量の予測値について. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

宇月美和, 猪山賢一, 佐藤孝, 藤島史喜, 河野洋行, 佐々木克典, 浅葉海, 澤井高志. 人工知能(AI)による病理診断精度の検討. 第 112 回日本病理学会総会; 20230413; 下関.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ(NETs)は不良な転帰と関連する: 心筋生検検体を用いたアプローチ. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP2 は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

後藤若奈, 松田将門, 星山良樹. 生化学・免疫、血液検査室における不適切検体の提出状況の傾向分析. 第 72 回日本医学検査学会; 20230520; 高崎.

久住亮介, 松田将門, 森田祐貴, 星山良樹. 外来採血室における患者誤認防止策の運用変更が採血所要時間に及ぼす影響. 第 72 回日本医学検査学会; 20230521; 高崎.

佐藤悠, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 腎臓間静脈波形パターンを用いた右房圧上昇の検出が偽陰性となる心不全患者の特徴. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 50(Suppl):S687.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP-2 濃度は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP-2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

松田将門, 山田隆, 古山悠里, 柴崎康彦, 関義信, 星山良樹, 寺井崇二, 瀧澤淳, 曾根博仁, 増子正義. ヘパラスチンテストを取り入れた出血原因鑑別の検査戦略: 後天性第 V 因子欠乏症における経験. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230615; 北九州.

松本智子, 下村大樹, 松田将門, 田淵有香, 河野紋, 星山良樹, 鈴木健史, 西圭祐, 新井信夫, 黒野浩司, 森山雅人, 上岡樹生. AI を凝固波形解析に適用した新規 APTT 延長原因鑑別モデルの構築. 第 45 回日本血栓止血学会学術集会; 20230617; 北九州.

下村大樹, 松本智子, 松田将門, 田淵有香, 鈴木健史, 西圭祐, 新井信夫, 黒野浩司, 森山雅人, 上岡樹生. APTT 延長原因を鑑別する凝固波形パラメータを用いた機械学習予測とクロスミキシングテストの比較. 第 24 回日本検査血液学会学術集会; 20230729; 名古屋.

松田将門, 小宮山豊, 家子正裕, 星山良樹, 森山雅人, 寺井崇二, 橋口照人. DOAC 含有 LA 陽性検体の PT

およびAPTT測定におけるDOAC吸着剤の効果. 第24回日本検査血液学会学術集会; 20230729; 名古屋.

松田将門, 伊藤浩介, 菅井貴裕, 星山良樹, 菊地利明, 小川一英, 寺井崇二. 実験心理学的手法を用いたイムノクロマト検査トレーニング法の開発. 第17回日本臨床検査学教育学会学術大会; 20230824; 天理.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. HFpEF症例における心臓MRIを用いた左室、左房ストレイン複合評価による心イベント予測能の検討. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908; 東京. 抄録集. O-1-1.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 心房細動を有する慢性心不全患者の左室拡張能評価. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908; 東京. 抄録集. O-5-2.

三阪智史, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 菅原由紀子, 佐藤悠, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全における脾臓の超音波エラストグラフィの意義: 心臓-脾臓連関の役割. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908; 東京. 抄録集. O-5-5.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心臓組織の好中球細胞外トラップは拡張型心筋症における心機能障害と不良な転帰に関連する. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908; 東京. 抄録集. O-11-1.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230909; 東京. 抄録集. O-13-5.

佐藤悠, 義久精臣, 野崎祐司, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index は心不全患者の消化管出血を予測する. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230909; 東京. 抄録集. P-9-3.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930; 神戸.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue associate with adverse outcomes in patients with heart failure through mitochondrial dysfunction of cardiomyocytes. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006; 横浜.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. Usefulness of left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006; 横浜.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 富田湧介, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. LTP-2 is associated with fibrosis and predicts poor prognosis in dilated cardiomyopathy. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006; 横浜.

佐藤悠，義久精臣，一條靖洋，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. The accuracy of non-monophasic intrarenal venous flow pattern for elevation of right atrial pressure in patients with heart failure. 第 27 回日本心不全学会 学術集会; 20231007; 横浜.

田中雄也，松田将門，星山良樹，廣瀬靖華，菊地利明. マクロプロラクチン血症の疑いで精査を依頼された患者の傾向分析と精査結果. 日本医療検査科学会 第 55 回大会; 20231008; 横浜. 医療検査と自動化. 48(4):429.

市村祥平，三阪智史，小河原峻，富田湧介，安齋文弥，佐藤悠，三浦俊輔，横川哲朗，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，義久精臣，竹石恭知. 心不全における心筋組織の好中球細胞外トラップの意義. 第 11 回 Heart Science Club; 20231014; 東京.

三浦里織，植田航希，三阪智史，佐藤友香，皆川敬治，竹石恭知，池田和彦. Jak2-V617F 変異陽性 MPN において血小板と好中球の相互作用が NETs 関連血栓症を惹起する. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231014; 東京.

勝田新一郎，堀越裕子，伊藤寿郎，挟間章博，清水強，白井厚治. 循環改善投与に対する血管機能の変化—動物実験の結果—. 第 60 回日本臨床生理学会総会; 20231021; 高崎.

楠本泰士，高橋恵里，倉澤茂樹，田中善信，星真行，柴喜崇，岡崎可奈子，義久精臣. 児童における健康関連 QOL と食に関する QOL・睡眠状況の学年別の違いと項目間の関係—福島子どもコホート調査—. 第 10 回日本小児理学療法学会学術大会; 20231021; 小樽. 小児理学療法学. 2(Supplement_1):89.

丹野大樹，斎藤恭一，富井康明，中塚由香利，上地幸平，大橋一孝，羽田敦子，豊川真弘. 妊産婦 GBS スクリーニング検査の適正化に向けて—全国多施設共同研究報告—. 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20231027; 東京.

丹野大樹，原靖果，油井優，仲村究，豊川真弘，金光敬二. 環境清拭における除菌効果に影響を与える要因の検討. 第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20231027; 東京.

井本明美，黒崎祥史，佐藤直和，成田実央，鈴木英明，竹中恒夫，石井直仁. HK-2 細胞においてエクソソームを介した mtDNA 排出はグルコースとアルブミン負荷により抑制される. 第 63 回日本臨床化学会年次学術集会; 20231027; 東京. 臨床化学. 52(Supp.1):158.

黒崎祥史，成田実央，Nielsen R，Weyer K，井本明美，佐藤直和，Mollet G，鈴木英明，横場正典，竹中恒夫，市川尊文，石井直仁. 近位尿管において脂肪酸結合アルブミン負荷は細胞老化を促進する. 第 63 回日本臨床化学会年次学術集会; 20231027; 東京. 臨床化学. 52(Supp.1):158.

石井直仁，黒崎祥史，井本明美，佐藤直和，成田実央，土筆智晶，鈴木英明，菅生太郎，横場正典，市川尊文，竹中恒夫，片桐真人. 腎症発症前糖尿病ラットのミトコンドリア品質管理メカニズムと脂肪酸・カルニチンの動態について. 第 63 回日本臨床化学会年次学術集会; 20231028; 東京. 臨床化学. 52(Supp.1):164.

鈴木英明，小菅優子，小林浩二，菅野光俊，黒崎祥史，井本明美，石井直仁，小川一英，北爪しのぶ，志村

浩己. 播種性血管内凝固症候群において APP770 は血栓形成に関与する. 第 63 回日本臨床化学会年次学術集会; 20231028; 東京. 臨床化学. 52(Supp.1):195.

伊藤寿郎, 勝田新一郎, 堀越裕子, 船生徹, 挾間章博, 清水強, 白井厚治. 急速脱血に対する弾性動脈と筋性動脈の血管応答－ウサギにおける実験的検討－. 第 5 回臨床血管健康研究会; 20231028; 東京.

丹野大樹, 富井康明, 中塚由香利, 上地幸平, 大橋一孝, 山寺幸雄, 豊川真弘. 妊婦 GBS スクリーニング検査における選択的増菌培地の有用性について－全国多施設共同研究報告－. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104; 福島.

山口千里, 梅澤敬, 橋本優子. LBC による ICC で確診した肺定型的カルチノイド腫瘍の 1 例. 第 64 回日本臨床細胞学会総会・春季大会. 20230610; 名古屋.

黒崎祥史, 成田実央, Weyer K, 井本明美, 佐藤直和, 鈴木英明, 市川尊文, Nielsen R, 石井直仁. 近位尿管上皮細胞における過剰なタンパク質再吸収は HIF-1 α 活性化を介して細胞老化を促進する. 第 70 回日本臨床検査医学会学術集会; 20231117; 長崎. 日本臨床検査医学会誌. 71(Supp.1):176.

佐藤直和, 黒崎祥史, 井本明美, 成田実央, 土筆智晶, 鈴木英明, 横場正典, 市川尊文, 片桐真人, 石井直仁. 腎症発症前糖尿病ラットにおける脂肪酸代謝が関わるミトコンドリア品質管理メカニズム. 第 70 回日本臨床検査医学会学術集会; 20231117; 長崎. 日本臨床検査医学会誌. 71(Supp.1):178.

鈴木英明, 小菅優子, 小林浩二, 菅野光俊, 黒崎祥史, 井本明美, 石井直仁, 山寺幸雄, 小川一英, 北爪しのぶ, 志村浩己. 播種性血管内凝固症候群患者の血漿 APP770 値は上昇する. 第 70 回日本臨床検査医学会学術集会; 20231118; 長崎. 日本臨床検査医学会誌. 71(Supp.1):275.

〔シンポジウム〕

丹野大樹. 経時的なグラム染色は治療方針に貢献するのか「グラム染色七変化～治療がグラム染色像に与える影響～」. 第 34 回日本臨床微生物学会; 20230204; 横浜.

豊川真弘. 抗菌薬関連下痢症検査、さて、どうする？ 第 34 回日本臨床微生物学会学術集会; 20230204; 横浜.

豊川真弘. 近年の Nocardia 症の疫学. 第 34 回日本臨床微生物学会学術集会; 20230205; 横浜.

松田将門. DOAC の凝固検査への影響. 第 17 回日本血栓止血学会 学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム; 20230218; Web.

松田将門. 凝固・止血検査のピットフォールを見直そう. 第 72 回日本医学検査学会; 20230521; 高崎.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン 2022 年改訂版」を知る 心不全と睡眠呼吸障害. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915; 横浜/Web.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. ASV のエビデンスを整理して今後の可能性を考える HFrEF-CSA における

ASV (SERVE-HF 試験) . 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915; 横浜/Web.

菅野光俊. 臨床化学領域の精度管理と標準化の実践. 第 63 回日本臨床化学会年次学術集会; 20231028; 東京. 臨床化学. 52(suppl):105.

〔特別講演〕

義久精臣. 危険ないびきを見逃さないー循環器領域における SAS 診療の勧めー. 第 15 回千葉県循環器睡眠呼吸障害研究会; 20230207; 千葉/Web.

菅野光俊. ホントに正しい検体検査?ーピットフォールを理解するー (生化学・免疫検査編) . 第 53 回みやぎ医学検査学会; 20230211; Web.

松田将門. ホントに正しい検体検査?ーピットフォールを理解するー (血算・凝固検査編) . 第 53 回みやぎ医学検査学会; 20230211; Web.

〔招待講演〕

義久精臣. 危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. 相馬郡医師会生涯教育講座; 20230622; 南相馬.

義久精臣. 睡眠時無呼吸症候群のマネジメントー高血圧との関連ー. 会津医学会学術講演会ー高血圧症を再考するー; 20230628; 会津若松.

義久精臣. 危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. 星総合病院勉強会; 20230629; 郡山.

義久精臣. 危険ないびきを見逃さないーSAS 診療の勧めー. いわき市医師会勉強会; 20230710; いわき.

義久精臣. SAS 診療の温故創新ーPTT 血圧測定の意義ー. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回) ; 20231104; 福島.

〔その他〕

義久精臣. 循環器疾患と睡眠呼吸障害. 日本循環器学会 e-learning; 20230417; Web. 日本循環器学会 HP.

梅澤敬. 標本実習. 第 86 回細胞検査士ワークショップ; 20230924; 秋田.

別科 助産学専攻

論文

〔原 著〕

石井佳世子, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 齋藤麻友佳, 太田操, 柴田俊一, 後藤あや. 妊娠中からの育児支援プログラム参加者を拡大する試み. 日本母子看護学会誌. 202302; 16(2):34-46.

附属病院長

論文

〔原 著〕

Ichimura S, Oikawa M, Ikeda A, Endo K, Muto Y, Akama J, Yamaki T, Nakazato K, Sato M, Ishida T, Suzuki O, Takeishi Y. A case of COVID-19-associated fulminant myocarditis due to SARS-CoV-2 omicron BA.2 sub-lineage in an unvaccinated female. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(1):1-3.

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Sakuma Y, Nakazato K, Shimizu T, Ikeda A, Ohara H, Kobayashi A, Yamaki T, Ishida T, Takeishi Y. A rare case of fibromuscular dysplasia with multifocal coronary artery involvement evaluated by intravascular ultrasound. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 27(1):12-15.

Endo K, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acute coronary syndrome with severe coronary calcification in a patient with pseudo-pseudohypoparathyroidism. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(4):172-175.

Shiina K, Tomiyama H, Tanaka A, Imai T, Hisauchi I, Taguchi I, Sezai A, Toyoda S, Dohi K, Kamiya H, Kida K, Anzai T, Chikamori T, Node K; CANDLE Trial Investigators (Investigators : Oikawa M, Takeishi Y, Yoshihisa A). Canagliflozin independently reduced plasma volume from conventional diuretics in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a subanalysis of the CANDLE trial. *Hypertension Research*. 2023;

Misaka T, Yoshihisa A, Yokokawa T, Takeishi Y. Effects of continuous positive airway pressure on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing by pulse transit time-based blood pressure measurements. *Journal of Hypertension*. 2023; 41(5):733-740.

Ohara H, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. *Journal of the American Heart Association*. 2023; 12(12):e029857.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(6):460-466.

Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T. Impaired repopulating ability of Uhrf2^{-/-} hematopoietic progenitor cells in mice. *Genes*. 2023; 14(8):1531.

Ohte N, Tanaka A, Kitada S, Yamada T, Eguchi K, Teragawa H, Takeishi Y, Kodama K, Seo Y, Node K, CANDLE Trial Investigators. Influence of left ventricular ejection fraction on the reduction in N-terminal pro-brain natriuretic peptide by canagliflozin in patients with heart failure and type 2 diabetes: a sub analysis of the CANDLE trial. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(6):508-512.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Left atrial epicardial adipose tissue exacerbates electrical conduction disturbance in normal-weight patients undergoing pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2023; 34(3):565-574.

Shimizu T, Abe S, Asano T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takanashi S, Isobe M, Takeishi Y. Perioperative immunosuppressive therapy and coronary ostial angioplasty for unstable angina with Takayasu arteritis. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(6):257-260.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(4):1257.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Prognostic role of circulating LTBP-2 in patients with dilated cardiomyopathy: a novel biomarker reflecting extracellular matrix LTBP-2 accumulation. *Canadian Journal of Cardiology*. 2023; 39(10):1436-1445.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis. *Clinical Research in Cardiology*. 2023; 112(7):942-953.

Sato Y, Yoshihisa A, Ide T, Tohyama T, Enzan N, Matsushima S, Tsutsui H, Takeishi Y. Regional variation in the clinical practice and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan - A report from the Japanese Registry of Acute Decompensated Heart Failure (JROADHF). *Circulation Journal*. 2023; 87(10):1380-1391.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of left ventricular mechanical dyssynchrony using integrated ¹³N-ammonia PETMR system: direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking. *Journal of Nuclear Cardiology*. 2023; 30(5):1947-1958.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Ishida T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation through NMT2 prevents cardiac hypertrophy and heart failure. *JACC: Basic to Translational Science*. 2023; 8(10):1263-1282.

Isomatsu D, Sato A, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Shimizu T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. *International Heart Journal*. 2023; 64(4):584-589.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Horikoshi Y, Yamadera Y, Takeishi Y. Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 2023; 34(9):1969-1978.

〔総説等〕

Nakazato K, Sugimoto K, Oikawa M, Takeishi Y. Balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: its history and development, and regional medical cooperation in Fukushima. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2023; 69(3):167-176.

Oikawa M, Ishida T, Takeishi Y. Cancer therapeutics-related cardiovascular dysfunction: Basic mechanisms and clinical manifestation. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(3):253-259.

Misaka T, Kimishima Y, Yokokawa T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and cardiovascular diseases: role of JAK2V617F. *Journal of Cardiology*. 2023; 81(1):3-9.

Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Comprehensive assessment of molecular function, tissue characterization, and hemodynamic performance by non-invasive hybrid imaging: Potential role of cardiac PETMR. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(4):286-292.

桐山皓行, 竹石恭知. AHA と連携した Go Red For Women. *循環器内科*. 2023; 94(3):275-278.

義久精臣, 竹石恭知. COPD と合併疾患 : COPD と循環器疾患—心不全を中心に—. *Vita*. 2023; 40(2):33-38.

三阪智史, 竹石恭知. クローン性造血と肺高血圧症. 血液内科. 2023; 86(1):72-77.

喜古崇豊, 片平正隆, 遠藤圭一郎, 山國遼, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 核医学装置の技術革新がもたらす循環器画像診断の Cutting edge PET/MRI による循環器画像診断の現状と将来展望. INNERVISION. 2023; 38(3):54-57.

竹石恭知. 加齢と心血管疾患をつなぐクローン性造血の新知見. BIO Clinica. 2023; 38(5):4-5.

三阪智史, 竹石恭知. 基礎医学 Up-To-Date クローン性造血と肺高血圧症. Pulmonary Hypertension Update. 2023; 9(1):40-44.

三阪智史, 義久精臣, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害と心不全. Medical View Points. 2023; 44(10):4-5.

〔研究報告書〕

田代聡, 岡田守人, 工藤崇, 竹石恭知, 石田隆史. 医療放射線被ばくの人体影響評価. 2022 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2023; 344-357.

東幸仁, 竹石恭知, 石田隆史, 李桃生. 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 2022 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2023; 295-305.

〔その他〕

Takeishi Y. A message from the retiring Editor-in-Chief. Journal of Cardiology. 2023; 81(1):1.

Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and cardiovascular disease. 45th Sysmex Scientific Seminar テキスト. 2023; 17-29.

竹石恭知. 126 人医療人へ一歩 福島医大で白衣式. 福島民友. 20231021; 4.

竹石恭知, 杉本浩一. 肺高血圧症の分子機序の解明と新規治療戦略. 業績記録集 (平成 27 年度～平成 31 年度). 2023; 112-113.

竹石恭知. 臨床実習へ心構え新た 福医大の白衣式. 福島民報. 20231021; 3.

書籍等出版物

竹石恭知. 6. 循環器疾患 癌に伴う循環器疾患. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2023 年版. 東京: 医学書院. 2023. p.359-360.

及川雅啓, 石田隆史, 竹石恭知. 8. 生活習慣病・その他 がんと心血管疾患. In: 安斉俊久 編集. 最新ガイドラインに基づく循環器疾患診療指針 2024'25. 東京: 総合医学社. 2023. p.375-380.

及川雅啓, 竹石恭知. VI 心筋疾患 8. Fabry 病. In: 伊藤浩, 山下武志 編集. 循環器疾患最新の治療 2024-2025. 東京: 南江堂. 2023. p.271-273.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Discrepancy of stress-induced left ventricular dilation between positron emission tomography and cardiac magnetic resonance in patients with coronary artery disease -simultaneous assessment using integrated PETMR system-. SNMMI 2023 Annual Meeting; 20230624-27; Chicago, USA/Web. Journal of Nuclear Medicine. 64(supplement 1):236.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Yamakuni R, Kawakubo M, Kiko T, Kikori K, Ukon N, Nagao M, Ishii S, Ito H, Takeishi Y. Novel analysis for endocardial wall strain with N-13 ammonia PET feature tracking - Comparison with CMR-feature tracking using integrated PETMR system-. SNMMI 2023 Annual Meeting; 20230624-27; Chicago, USA/Web. Journal of Nuclear Medicine. 64(supplement 1):61.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. ESC Congress 2023; 20230825-28; Amsterdam, Netherlands/Web. European Heart Journal. 44(Supplement 2):1113.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Kawakubo M, Yamakuni R, Ukon N, Kiko T, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nagao M, Ito H, Takeishi Y. Clinical usefulness of myocardial wall strain analysis by PET feature tracking: direct comparison with conventional tagging-cine image using PETMR system. ASNC2023 Scientific Session; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Fukushima K, Katahira M, Endo K, Ukon N, Yamakuni R, Kiko T, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary sinus flow and myocardial flow reserve under pharmacological stress using hybrid ¹³N-ammonia PETMR system in patients with ischemic heart disease. ASNC2023 Scientific Session; 20230929-1001; Toronto, Canada.

Misaka T, Sato Y, Sugawara Y, Ogawara R, Ichimura S, Tomita Y, Anzai F, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Elevated levels of bicarbonate predict adverse outcomes in patients with chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12042.

Shimizu T, Sakuma Y, Muto Y, Sato Y, Kimishima Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of cardio-ankle vascular index on new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12984.

Sato Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Malnutrition stratified by marasmus and kwashiorkor in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A11577.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Myocardial infarction promotes breast cancer growth through the nerve growth factor/tropomyosin receptor α pathway. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12858.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in heart tissue drive cardiac dysfunction and adverse outcomes in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12043.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Pexidartinib ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12393.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma LTBP-2 is associated with myocardial LTBP-2 and poor prognosis in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12653.

Tomita Y, Misaka T, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Reduced fetuin-A levels are associated with exercise intolerance in patients with heart failure and predict the risk of adverse outcomes. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13795.

Endo K, Katahira M, Kiko T, Yamakuni R, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous analysis of myocardial flow reserve and intra-ventricular 4D flow using hybrid ^{13}N -ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14190.

Tani T, Oikawa M, Ohara H, Yaegashi D, Sato Y, Yokokawa T, Miura S, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Subclinical cardiac dysfunction in the patients treated with anthracycline-containing chemotherapy in the chronic phase. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14091.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takahashi K, Yamakuni R, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. The association between insufficient valve expansion and aortic valve calcification for transcatheter valve implantation with self-expandable valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl

1):A13177.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yamakuni R, Ishii S, Yoshihisa A, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Usefulness of MR-derived left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13033.

Ogawara R, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Tani T, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Sato A, Shimizu T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Very short-term blood pressure variability by pulse transit time-based measurements during sleep predicts future cardiovascular events in patients with ischemic heart disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13817.

Ueda K, Miura S, Misaka T, Minakawa K, Sato Y, Takeishi Y, Ikeda K. Interaction between JAK2-mutated neutrophils and platelets initiates thrombosis via neutrophil extracellular traps. 65th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition; 20231209-12; San Diego, USA/Web. Blood. 142(Supplement1):740.

Nehashi T, Kaneshiro T, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Anatomical predictor of epicardial connections which needs additional ablation in carina region during right pulmonary vein isolation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

山田慎哉, 金城貴士, 野寺穰, 根橋健, 竹石恭知. Atrial epicardial adipose tissue especially exacerbates electrical conduction delay in normal-weight patients with atrial fibrillation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Distance from right coronary artery to cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic venous stasis index reflects right-sided heart failure and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in coronary artery disease patients with antiplatelet therapy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with coronary artery disease. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

黒沢雄太, 清水竹史, 佐久間裕也, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 佐藤悠, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes in

patients undergoing percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a signaling pathway plays a vital role in breast cancer progression after myocardial infarction. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Ichimura S, Misaka T, Ogawara R, Nishiura K, Tani T, Tomita Y, Sato Y, Miura S, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Takeishi Y. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue contribute to poor cardiac performance and adverse outcomes in patients with dilated cardiomyopathy. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with preserved ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 60%. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤崇匡, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. Prognostic indicators of heart failure with reduced ejection fraction in patients with an ejection fraction above or below 30%. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Endo K, Kiko T, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by ^{13}N -ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 井手友美, 筒井裕之, 竹石恭知. Regional variation of patients' characteristics and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 磯松大介, 渡邊孝一郎, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Kiko T, Endo K, Katahira M, Fukushima K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular strain during vasodilator stress by ^{13}N -ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. 第87回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation prevents cardiac hypertrophy and heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. The prevalence of immune checkpoint inhibitor-induced subclinical myocardial damage. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Katahira M, Kiko T, Endo K, Yoshihisa A, Fukushima K, Takeishi Y. Usefulness of right ventricular longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 腎臓間静脈波形パターンを用いた右房圧上昇の検出が偽陰性となる心不全患者の特徴. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 50(Suppl):S687.

西浦司人, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. エポプロステノールにより巨大甲状腺腫と気道狭窄を来した一例. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MR による心筋血流予備能と 4D-Flow 左室内血流解析同時評価の検討. 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):23.

片平正隆, 喜古崇豊, 福島賢慈, 遠藤圭一郎, 川窪正照, 山國遼, 右近直之, 長尾充展, 伊藤浩, 竹石恭知. Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討. 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):72.

根橋健, 金城貴士, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Anatomical characteristics of right pulmonary vein with epicardial connections which needs additional carina ablation for isolation. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

金城貴士, 根橋健, 野寺穰, 山田慎哉, 竹石恭知. Association between bipolar/unipolar voltages and activations of right pulmonary vein carina region in patients with epicardial connection. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The distance from the cavotricuspid isthmus to the right coronary artery is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. 第 69 回

日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. The duration time of ablation per point is a predictor of petit pops occurrence in the left pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230706-09; 札幌.

唐澤直義, 安齋文弥, 駒田敬則, 三浦裕, 黒須洋, 竹石恭知, 黒尾誠, 高橋将文. CPP が誘発する NLRP3 インフラマソーム依存的・非依存的炎症惹起機構の解析. 第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20230708-09; 宇都宮.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 石田圭一, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. 右冠動脈閉塞を来した TAVI の一例. 第 13 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会; 20230728-29; 東京.

阿部諭史, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈 3 枝病変の一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 佐藤彰彦, 野崎祐司, 横川哲朗, 及川雅啓, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝近位部慢性完全閉塞を合併した左前下行枝近位部が責任病変の NSTEMI に対し 2 期的に完全血行再建を行なった一例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 同時期に発症した 2 度の NSTEMI に対する PCI 後、重症大動脈弁狭窄症に対して緊急 TAVI を施行した超高齢患者の 1 例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 野崎祐司, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index は心不全患者の消化管出血を予測する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. HFpEF 症例における心臓 MRI を用いた左室、左房ストレイン複合評価による心イベント予測能の検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. NMT を介した N-ミリスチル化維持が心肥大と心不全を予防する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

大和田光司, 佐藤崇匡, 上田捷太, 根橋健, 八重樫大輝, 佐藤彰彦, 竹石恭知. 左室駆出率の低下した心不全を発症したクッシング病の 2 例. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心臓組織の好中球細胞外トラップは拡張型心筋症における心機能障害と不良な転帰に関連する. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

三阪智史, 義久精臣, 石橋伸治, 松田美津子, 山寺幸雄, 菅原由紀子, 佐藤悠, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全における脾臓の超音波エラストグラフィの意義: 心臓-脾臓連関の役割. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 心房細動を有する慢性心不全患者の左室拡張能評価. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

磯松大介, 及川雅啓, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 無症候性 irAE 心筋炎に対してステロイド治療が有効だった 1 例. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

谷哲矢, 及川雅啓, 大原妃美佳, 八重樫大輝, 佐藤悠, 横川哲朗, 三浦俊輔, 三阪智史, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン治療開始 24 か月後の心機能障害の検討. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

黒田純子, 及川雅啓, 徳田恵美, 立花和之進, 大竹徹, 竹石恭知, 佐治重衡. 乳がん患者を対象としたアンサラサイクリン系抗がん薬による心機能障害発現の後方視的調査. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20230930-1001; 神戸.

磯松大介, 佐藤崇匡, 西野笙汰, 野寺稜, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. A case of dilated cardiomyopathy dramatically improved by resuming sacubitril/valsartan. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

大河内諭, 佐藤崇匡, 磯松大介, 大原妃美佳, 佐藤悠, 竹石恭知. A case of severe heart failure complicated by Takayasu arteritis with aortic coarctation and pulmonary arterial hypertension. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 富田湧介, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. LTBP-2 is associated with fibrosis and predicts poor prognosis in dilated cardiomyopathy. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. Neutrophil extracellular traps in myocardial tissue associate with adverse outcomes in patients with heart failure through mitochondrial dysfunction of cardiomyocytes. 第 27 回日本心不全学会学術集会;

20231006-08; 横浜.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 石田隆史, 竹石恭知. Targeting N-myristoylation through NMT prevents cardiac hypertrophy and heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

佐藤悠, 義久精臣, 一條靖洋, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. The accuracy of non-monophasic intrarenal venous flow pattern for elevation of right atrial pressure in patients with heart failure. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

片平正隆, 喜古崇豊, 遠藤圭一郎, 義久精臣, 福島賢慈, 竹石恭知. Usefulness of left ventricular global longitudinal strain and left atrial strain to predict cardiovascular events in patients with HFpEF. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三浦里織, 植田航希, 三阪智史, 佐藤友香, 皆川敬治, 竹石恭知, 池田和彦. JAK2-V617F 変異陽性 MPN において血小板と好中球の相互作用が NETs 関連血栓症を惹起する. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013-15; 東京.

木村哲, 浅野奈緒美, 佐藤佑紀, 深津真彦, 高野幹, 原田佳代, 福地恒一郎, 森博隆, 林清人, 小山大輔, 高橋裕志, 三浦俊輔, 及川雅啓, 川名聡, 鈴木理, 竹石恭知, 橋本優子, 池添隆之. 心筋に AL 型と ATTR 型のアミロイドの二重沈着が認められた全身性アミロイドーシス. 第 85 回日本血液学会学術集会; 20231013-15; 東京.

大河内諭, 佐藤崇匡, 竹石恭知. 植込み型補助人工心臓装着前の右室線維性置換は術後右心不全を予測する. 第 45 回心筋生検研究会学術集会; 20231117-18; 新潟.

西野笙汰, 山田慎哉, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーによる起源同定がアブレーションに有用であった右室後乳頭筋起源心室性期外収縮の 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2023; 20231117-19; 福岡.

Yokokawa T, Nishiura K, Miura S, Misaka T, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of endothelial cell signaling on perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary arterial hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Role of perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

片平正隆, 武藤雄紀, 遠藤圭一郎, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. LAD を責任病変とする非 ST 上昇型心筋梗塞に対して緊急 CAG を行い、LMT に医原性解離を引き起こした一例. 第 52 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈 3 枝病変の一例. 第

52 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 石田圭一, 藤宮剛, 高瀬信弥, 横山齊, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄が増悪し重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第 52 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

清水竹史, 市村祥平, 黒沢雄太, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝に対する方向性冠動脈粥腫切除術により single-stent にし得た主幹部分岐部病変の一例. 第 52 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

松原麻衣, 渡部文彦, 川畑絹代, 皆川敬治, 小野智, 金城貴士, 竹石恭知, 池田和彦. 抗 E 様の特異性を示した mimicking 自己抗体の一例. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 福島県臨床検査技師会誌. 61:36.

片平正隆, 清水竹史, 小河原峻, 佐久間裕也, 遠藤圭一郎, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 胸腔鏡下胸管結紮術・心膜開窓術を施行した原発性乳糜心膜症の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP-2 濃度は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP-2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

渡部瞬, 佐藤崇匡, 上田捷太, 根橋健, 八重樫大輝, 佐藤彰彦, 竹石恭知. 左室駆出率の低下した心不全を合併したクッシング病の 1 例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 左室内仮性腱索の付着端を起源と同定し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石橋伸幸, 佐藤彰彦, 石田圭一, 新城宏治, 山本晃裕, 高瀬信弥, 清水竹史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 上腸間膜動脈 (SMA) 閉塞による腸管虚血を合併した急性 A 型大動脈解離に対して SMA ステント留置を施行した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石井三千花, 及川雅啓, 磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症と左室流出路狭窄を合併し病態判断に苦慮した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

池田彩乃, 國井浩行, 関根虎之介, 赤間浄, 大木理次, 齋藤修一, 若木優, 渡邊佳織, 渡邊健史, 伊関憲, 鈴木剛, 藤森敬也, 安田俊, 福田冬馬, 竹石恭知, 清水竹史. 分娩室で羊水塞栓症を発症し、経皮的心肺補助装置で循環を安定させ、救命し得た若年女性の一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

佐藤智基, 佐藤彰彦, 関根虎之介, 安齋文弥, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. TAVI 後に溶血性貧血を来した一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

佐藤洋太, 三浦俊輔, 片平正隆, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 及川雅啓, 木村哲, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. トランスサイレチンとⅡ型軽鎖が同組織に検出された心アミロイドーシスの症例. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

橋本知樹, 池田彩乃, 黒沢雄太, 赤間浄, 大木理次, 國井浩行, 齋藤修一, 稲田裕香, 及川雅啓, 竹石恭知, 横山齊. 右室流出路狭窄合併が肺うっ血や左心不全症状の進行を抑制したと推察される右バルサルバ洞動脈瘤破裂の1例. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

石井三千花, 佐藤崇匡, 磯松大介, 西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 急性心不全に対しサクビト ril・バルサルタンが著効した拡張型心筋症の一例. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

西野笙汰, 山田慎哉, 磯松大介, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. 高カリウム血症を契機に心室頻拍が頻発した末期腎不全患者の一例. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

関根虎之介, 清水竹史, 津田尚彦, 飯田あかね, 西浦司人, 片平正隆, 佐藤悠, 横川哲朗, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変に対し薬剤塗布バルーンにて経皮的冠動脈形成術を行った若年女性の1例. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

大河内諭, 野寺穰, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 通常型心房粗動に対するクライオアブレーションにおける、冷凍焼灼効果への右冠動脈血流の影響について. 第177回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

富田湧介, 安齋文弥, 三阪智史, 小河原峻, 市村祥平, 和田健斗, 君島勇輔, 横川哲朗, 竹石恭知. N-ミリス Toilル化を標的とした介入が心肥大と心不全を予防する. 第9回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ(NETs)は不良な転帰と関連する: 心筋生検検体を用いたアプローチ. 第9回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中LTBP2は、拡張型心筋症において心筋内LTBP2発現を反映し、予後不良を予測する. 第9回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

及川雅啓, 谷哲矢, 八重樫大輝, 大原妃美佳, 三浦俊輔, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 八巻尚洋, 石田隆史, 竹石恭知. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う不顕性心筋障害発症の検討. 第9回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中.

市村祥平, 三阪智史, 小河原峻, 富田湧介, 安齋文弥, 佐藤悠, 三浦俊輔, 横川哲朗, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. 心不全における心筋組織の好中球細胞外トラップの意義. 第11回 Heart Science Club; 20231014; 東京.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ¹³N-アンモニア PET/MR を用いた拡張期心室内血流 Energy 効率と心筋血流予備能の同時評価の有用性の検討. 第26回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

石井三千花, 福島賢慈, 片平正隆, 西浦司人, 山國遼, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 伊藤浩, 竹石恭知. 冠動脈 CT とアンモニア PETMR で評価し得た重症冠動脈病変を有する若年線維筋性異形成の一例. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

磯松大介, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 阿部諭史, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 関野啓史, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 経カテーテル大動脈弁留置後の弁周囲逆流に対する、術前 CT で測定した大動脈弁石灰化量の予測値について. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

清水竹史, 西浦司人, 遠藤圭一郎, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 若年女性に生じた線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変の血管内画像. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

片平正隆, 遠藤圭一郎, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 福島賢慈, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 心筋シンチグラフィで判断できず、 ^{13}N -ammonia PET で重症虚血を判断できた多枝病変の 2 症例. 第 26 回東北心血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

飯田あかね, 野寺穰, 根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 薬剤抵抗性の虚血性 VT storm に対してカテーテルアブレーションが奏功した一例. 第 3 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20230930; 仙台.

津田尚彦, 及川雅啓, 笠原慎也, 磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 八巻尚洋, 竹石恭知. Pembrolizumab による急性心筋炎に対してステロイドパルスが著効した 1 例. 第 43 回福島心疾患治療談話会; 20230617; Web.

西野笙汰, 野寺穰, 山田慎哉, 佐藤崇匡, 金城貴士, 竹石恭知. 心腔内エコーガイド下マッピングにより左室内仮性腱索の付着端を起源と同日し根治し得た拡張型心筋症心室頻拍の一例. 第 20 回 福島不整脈懇話会; 20230719; 福島.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に CAG、PCI を施行した 2 症例. 第 59 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20231028; 郡山.

〔シンポジウム〕

Misaka T, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and pulmonary hypertension -A novel target for precision medicine- (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

三阪智史, 竹石恭知. ISHR U45 ジョイントシンポジウム Rising star session Hematopoietic system and pulmonary hypertension: role of JAK2V617F-clonal hematopoiesis (シンポジウム). 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

清水竹史, 阿部諭史, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高梨秀一郎, 磯部光章, 木島幹博, 竹石恭知. シンポジウム 22 高安動脈炎の虚血性心疾患にどう立ち向かうか 冠血行再建を行なった高安動脈炎による冠動脈疾患の 2 例. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 福島賢慈, 竹石恭知. シンポジウム 67 冠血行再建による心機能改善を議論する 慢性完全閉塞病変の心筋生存能評価に関する PET/MRI 装置の有用性. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 12 「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン 2022 年改訂版」を知る 心不全と睡眠呼吸障害. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. シンポジウム 18 ASV のエビデンスを整理して今後の可能性を考える HFrEF-CSA における ASV (SERVE-HF 試験). 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会 合同大会; 20230915-17; 横浜, Web.

佐藤崇匡, 清水竹史, 竹石恭知. シンポジウム 10 心不全非薬物補助療法 Update (ECMO, IMPELLA, CRT-D) The importance of hemodynamic management and prevention of complications in patients with mechanical circulatory support. 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

三阪智史, 竹石恭知. 会長特別企画 9 臓器連関シリーズ 心骨髄連関におけるクローン性造血の意義 (シンポジウム). 第 27 回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

佐藤崇匡, 山本晃裕, 横山斉, 竹石恭知. シンポジウム 1 新規 DT 実施施設の取り組みの紹介 当院における植込み型補助人工心臓治療の現況と DT への取り組み. 第 14 回 Destination Therapy (DT) 研究会; 20231007; 横浜.

〔特別講演〕

竹石恭知. 特別講演: Clonal hematopoiesis: A novel link between aging and cardiovascular diseases. 令和 5 年度北海道大学循環器内科同門会総会・研修会; 20230610; 札幌.

竹石恭知. 特別講演: 高齢者心不全の治療戦略: 加齢と心血管疾患を繋ぐ clonal hematopoiesis を含めて. Hamamatsu Meet The Expert Vol.3; 20230630; 浜松.

竹石恭知. 特別講演: Onco-Cardiology への取り組みーCAT の抗凝固療法も含めてー. 第 38 回大分心電図研究会; 20230720; 大分.

竹石恭知. 特別講演: 高齢者心不全の治療戦略: 加齢と心血管疾患をリンクするクローン性造血. Akita Heart Forum 2023; 20230803; 秋田.

竹石恭知. 特別講演: 超高齢化社会の循環器診療: 高齢者心不全の治療戦略. 第 155 回福島県医師会医学大会; 20231119; 郡山.

〔招待講演〕

竹石恭知. 講演: クローン性造血と心血管疾患. 45th Sysmex Scientific Seminar; 20230527; 神戸, 東京/Web.

竹石恭知. イブニングセミナー 2: なぜ腫瘍循環器学が必要か: Onco-cardiology への取り組み. 日本心臓核医学会総会・学術大会; 20230623-24; 長崎. 心臓核医学. 25(2):27.

〔その他〕

横川哲朗, 西浦司人, 三阪智史, 竹石恭知. 炎症細胞であるマクロファージの制御機構に着目した肺高血圧症の新規病態解明. 第7回先進医薬研究報告会; 20231208; 東京.

医療安全管理部

論 文

〔原 著〕

Miura T, Kikuchi N, Yamada H, Hakozaki M, Tajino T, Ohtsuka M, Yamamoto T. Proximal-type vulvar epithelioid sarcoma masquerading as cellulitis in a young female. *Australasian Journal of Dermatology*. 202305; 64(2):295-297.

入江絹子, 高田満喜, 遠藤麻衣, 伊藤崇, 石川真郷, 本多皓, 大塚幹夫, 山本俊幸. 免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた皮膚症状と抗腫瘍効果との関連性 当科において経験した110名の臨床的検討. *日本皮膚科学会雑誌*. 202311; 133(12):2825-2836.

石川真郷, 猪狩翔平, 大塚幹夫, 山本俊幸. 【環状肉芽腫とその類症】小児皮下型環状肉芽腫の2例. *皮膚病診療*. 202306; 45(6):498-502.

医療情報部

論 文

〔原 著〕

Higuchi M, Nagata T, Iwabuchi K, Sano A, Maekawa H, Idaka T, Yamasaki M, Seko C, Sato A, Suzuki J, Anzai Y, Yabuki T, Saito T, Suzuki H. Development of a novel artificial intelligence algorithm to detect pulmonary nodules on chest radiography. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):177-183.

Idaka T, Iwasa H, Yasumura S. Associations of acute medical care with the transfer and acceptance functions of hospitals in a region in Japan with limited medical resources. *PLOS ONE*. 202301; 18(1):e0280802.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

井高貴之, 岩佐一, 安村誠司. 日本の医療資源が限られた地域における急性期医療と病院の転院・受入機能の関連. 第72回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島.

患者サポートセンター

論文

〔原 著〕

Matsumoto T, Ohki S, Kaneta A, Matsuishi A, Maruyama Y, Yamada L, Tada T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Sakamoto W, Momma T, Saze Z, Kono K. Systemic inflammation score as a preoperative prognostic factor for patients with pT2-T4 resectable gastric cancer: a retrospective study. BMC Surgery. 202301; 23(1):8.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Nakajima T, Kikuchi T, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202307; 72(7):2233-2244.

Nakajima S, Kaneta A, Okayama H, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Matsumoto T, Fukai S, Sakuma M, Sato T, Mimura K, Saito M, Saze Z, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Kono K. The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8⁺ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer. Cancers. 202305; 15(10):2826.

Sakuma M, Mimura K, Nakajima S, Kaneta A, Kikuchi T, Nirei A, Tada T, Hanayama H, Okayama H, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Saze Z, Kono K. A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA⁺CD27⁺CD127⁺ Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Cancers. 202307; 15(14):3641.

Katagata M, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Sato T, Sakuma M, Fukai S, Endo E, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGF β -Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer. Cancers. 202310; 15(20):4943.

Sato T, Saito M, Nakajima S, Saito K, Katagata M, Fukai S, Okayama H, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2-negative gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202305; 26(3):379-392.

Fukai S, Nakajima S, Saito M, Saito K, Kase K, Nakano H, Sato T, Sakuma M, Kaneta A, Okayama H, Mimura K, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Kono K. Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8⁺ T-cell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202311; 26(6):878-890.

Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, Saito K, Katagata M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Tada T, Sakamoto W, Momma T, Ohira H, Kono K. Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment Through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics*. 202303; 115(4):957-971.

〔総説等〕

中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化. 癌と化学療法. 202310; 50(10):1099-1101.

〔症例報告〕

圓谷秀哲, 金田晃尚, 藤田正太郎, 林下宗平, 望月翔太郎, 鈴木博也, 滝口千晶, 松石彬, 丸山裕也, 叶多諒, 佐久間芽衣, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 化学療法に抵抗性を示した再発病変に対して Pembrolizumab が奏効し長期生存を得た MSI-High S 状結腸癌の 1 例. 癌と化学療法. 202312; 50(13):1742-1744.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

圓谷秀哲, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 骨盤部の巨大腫瘍に対して後方アプローチ併用下に骨盤内臓全摘術を施行した 1 例. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231020; 横浜.

芦澤舞, 深井智司, 伊藤美郷, 遠藤英成, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

片方雅紀, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 遠藤英成, 齋藤勝治, 佐藤孝洋, 佐久間芽衣, 深井智司, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. TGF β 活性を有する腫瘍微小環境の TIM-3 と M2 マクロファージへの影響について. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

小針大輝, 坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸癌術後5年で“DSTの耳”の部分が閉塞をきたし、粘膜下腫瘍との鑑別を要した1例. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

坂本渉, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 直腸悪性腫瘍に対する側方リンパ節郭清におけるロボット支援手術の有用性. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

三村耕作, 花山寛之, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における複数の免疫チェックポイント経路を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌術後ストーマ周囲壊疽性膿皮症の検討. 第61回日本癌治療学会学術集会; 20231021; 横浜.

芦澤舞, 小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 氏家大輔, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する術前治療症例の検討. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

小野澤寿志, 深井智司, 伊藤美郷, 芦澤舞, 千田峻, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 肛門管扁平上皮癌に対する治療戦略. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231110; 熊本.

門馬智之. マネジャー外科医になりかけ外科医の葛藤と変容～局所から全身、患者から組織、現在から未来～. 第85回日本臨床外科学会総会; 20231116; 岡山.

佐瀬善一郎, 林下宗平, 丸山裕也, 金田晃尚, 菊池智宏, 花山寛之, 門馬智之, 河野浩二. Gambee縫合を用いた鏡視下噴門側胃切除術上川法再建とその運針手技. 第36回日本内視鏡外科学会総会; 20231208; 横浜.

中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. HER2不均一発現を呈する胃癌症例から検討するHER2シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御. 第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231213; 東京.

圓谷秀哲, 三村耕作, 松石彬, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境におけるVEGF経路を標的としたregulatory T細胞の制御方法の開発について. 第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20231214; 東京.

ふたば救急総合医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Hamaguchi S, Watanabe A, Nakamoto Y, Aita T, Naganuma T, Takahashi S, Nakagawa H. Antiviral medications for mild-to-moderate COVID-19 in Japan: a gap of timing between clinical trials and real-world scenarios in a fast-changing pandemic. *Annals of Clinical Epidemiology*. 202304; 5(3):65-73.

Hamaguchi S, Takahashi S, Endo Y, Nakamoto Y, Aita T, Naganuma T, Nakagawa H, Takada T. Predictive Performance of MRI for Antibiotic Treatment Failure of Pyogenic Vertebral Osteomyelitis: A Validation Study. *Cureus*. 202310; 15(10):e47933.

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Konno SI. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: locomotive syndrome and health outcomes in the Aizu cohort study. *European Spine Journal*. 202302; 32(2):488-494.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi K, Watanabe K, Kobayashi H, Konno SI. A muscle-preserving, spinous process-splitting approach for ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine in professional athletes: a report of three cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):143-150.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Naganuma T, Takahashi S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Differences in attitude toward COVID-19 based on internet and social media usage among community-dwelling older adults during the first state of emergency. *Geriatrics & Gerontology International*. 202304; 23(4):289-296.

Takahashi S, Naganuma T, Kurita N, Omae K, Ohnishi T, Yoshioka T, Ito F, Takeshima T, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Social Isolation/Loneliness and Tooth Loss in Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Innovation in Aging*. 202306; 7(6):igad065.

Sato H, Maeda M, Takebayashi Y, Setou N, Shimada J, Kanari Y. Impact of Unexpected In-House Major COVID-19 Outbreaks on Depressive Symptoms among Healthcare Workers: A Retrospective Multi-Institutional Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202303; 20(6):4718.

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Otani K, Ono R, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S,

Konno SI, Matsumoto Y. Assessment of Lumbar Spinal Stenosis as a Risk Factor for Development of Sleep Disorder: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *International Journal of General Medicine*. 202311; 16:5417-5424.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S, Sukagawa Study Group. Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Journal of Applied Gerontology*. 202305; 42(5):1056-1067.

Nikaido T, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI; DISTO-Project Working Group. Generalization of a clinical diagnosis support tool for lumbar spinal stenosis: Can the ankle brachial pressure index be replaced by palpation of the posterior tibial artery in the lumbar spinal stenosis diagnostic support tool? (DISTO project). *Journal of Orthopaedic Science*. 202305; 28(3):543-546.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Ono Y, Shinohara K, Shimada J, Inoue S, Kotani J. Emergency airway management with the gum elastic bougie outside of the operating room: a narrative review. *Signa Vitae*. 202309; 19(5):29-37.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Takahashi S, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Hirai T, Yoshii T, Takahashi K, Okawa A. Factors affecting the quality of life in the chronic phase of thoracolumbar osteoporotic vertebral fracture managed conservatively with a brace. *Spine Journal*. 202303; 23(3):425-432.

小林洋, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林良浩, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患における院内転倒 睡眠薬と夜間転倒に着目した当院のインシデント分析. *Journal of Spine Research*. 202306; 14(6):953-958.

渡邊和之. 【腰痛診療の深化-"標準"と"こだわり"を知り診療に生かす】腰部脊柱管狭窄(症)と腰痛. 整形・災害外科. 202307; 66(8):877-882.

渡邊和之, 紺野慎一. 【周術期対応ハンドブックー術前準備から術後管理・社会的対応まで】(第2章) 術前準備と周術期管理 慢性腰痛患者に対する術前説明と術後対応. 脊椎脊髄ジャーナル. 202303; 35(12):941-944.

〔総説等〕

Nakazato K, Sugimoto K, Oikawa M, Takeishi Y. Balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: its history and development, and regional medical cooperation in Fukushima. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2023; 69(3):167-176.

〔その他〕

Kataoka Y, Anan K, Taito S, Tsujimoto Y, Kurata Y, Wada Y, Maruta M, Kanaoka K, Oide S, Takahashi S, Nango E. Corrigendum to "Quality of clinical practice guidelines in Japan remains low: a cross-sectional meta-epidemiological study" [Journal of Clinical Epidemiology 138 (2021) 10550]. Journal of Clinical Epidemiology. 2023;162:191-192.

竹石恭知, 杉本浩一. 肺高血圧症の分子機序の解明と新規治療戦略. 業績記録集 (平成 27 年度～平成 31 年度). 2023; 112-113.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Pexidartinib ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12393.

西浦司人, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. エポプロステノールにより巨大甲状腺腫と気道狭窄を来した一例. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

Yokokawa T, Nishiura K, Miura S, Misaka T, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of endothelial cell signaling on perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary arterial hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Role of perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第 7 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

〔招待講演〕

杉本浩一. 講演: 肺高血圧症の早期発見と治療の実際について. 肺高血圧症スクリーニング WEB セミナー in 会津; 20230120; 会津若松/Web.

杉本浩一. 講演: 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の早期発見と治療の実際について. 浜通り息切れを考える会～CTEPH の早期発見～; 20231207; Web.

総合内科

論文

〔原 著〕

Nakagawa H, Hamaguchi S. Ruptured Baker's cyst. *American Journal of the Medical Sciences*. 202306; 365(6):e104.

Hamaguchi S, Watanabe A, Nakamoto Y, Aita T, Naganuma T, Takahashi S, Nakagawa H. Antiviral medications for mild-to-moderate COVID-19 in Japan: a gap of timing between clinical trials and real-world scenarios in a fast-changing pandemic. *Annals of Clinical Epidemiology*. 202304; 5(3):65-73.

Nakamoto Y, Aita T, Imaoka K, Hamaguchi S. Rat Bite Fever in an Elderly Patient With Dementia. *Annals of Internal Medicine Clinical Cases*. 202311; 2(11):e230344.

Wakabayashi T, Hamaguchi S, Morimoto K; Adult Pneumonia Study Group - Japan. Clinically defined aspiration pneumonia is an independent risk factor associated with long-term hospital stay: a prospective cohort study. *Bmc Pulmonary Medicine*. 202309; 23(1):351.

Nagano H, Kudo M, Aita T, Yoshioka T. Issues of Noninferiority: The Significance Fallacy. *Clinical Infectious Diseases*. 202303; 76(5):962-963.

Nakagawa H, Takeshima T, Ozaka A, Sasaki S, Kurita N, Hamaguchi S, Fukuhara S. Poor Sleep Quality as a Risk Factor for Constipation Among Community-Dwelling Older Adults in Japan. *Cureus*. 202309; 15(9):e46175.

Hamaguchi S, Sasaki S, Shimizu S, Yamazaki H, Yamamoto R, Ozaka A, Nakagawa H, Takeshima T, Green J, Fukuhara S. Poor Social Functioning: A Potentially Modifiable Risk Factor for Pneumonia in the Elderly. *Cureus*. 202310; 15(10):e47520.

Hamaguchi S, Takahashi S, Endo Y, Nakamoto Y, Aita T, Naganuma T, Nakagawa H, Takada T. Predictive Performance of MRI for Antibiotic Treatment Failure of Pyogenic Vertebral Osteomyelitis: A Validation Study. *Cureus*. 202310; 15(10):e47933.

Hamaguchi S, Varma MG, Nakagawa H, Ozaka A, Shimizu S, Maeshibu T, Wakita T, Green J, Fukuhara S. Translation and Validation Testing of the Constipation-Related Quality of Life Scale for Use in Japan. *Cureus*. 202311; 15(11):e48661.

Harada Y, Watari T, Nagano H, Suzuki T, Kunitomo K, Miyagami T, Aita T, Ishizuka K, Maebashi M, Harada T, Sakamoto T, Tomiyama S, Shimizu T. Diagnostic errors in uncommon conditions: a systematic review of

case reports of diagnostic errors. *Diagnosis*. 202308; 10(4):329-336.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Nonnegligible Seroprevalence and Predictors of Murine Typhus, Japan. *Emerging Infectious Diseases*. 202307; 29(7):1438-1442.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Naganuma T, Takahashi S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Differences in attitude toward COVID-19 based on internet and social media usage among community-dwelling older adults during the first state of emergency. *Geriatrics & Gerontology International*. 202304; 23(4):289-296.

Takahashi S, Naganuma T, Kurita N, Omae K, Ohnishi T, Yoshioka T, Ito F, Takeshima T, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Social Isolation/Loneliness and Tooth Loss in Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Innovation in Aging*. 202306; 7(6):igad065.

Kato H, Nakagawa H, Hamaguchi S. A Smartphone Photograph-assisted Diagnosis of Recurrent Mordax's Disease. *Internal Medicine*. 202308; 62(15):2297.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Serological cross-reactivity between spotted fever and typhus groups of rickettsia infection in Japan. *International Journal of Infectious Diseases*. 202305; 130:178-181.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S. Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Journal of Applied Gerontology*. 202305; 42(5):1056-1067.

Yamamoto R, Yamazaki H, Kobara S, Iizuka H, Hijikata Y, Miyashita J, Kataoka Y, Yajima N, Miyata T, Hamaguchi S, Wakita T, Yamamoto Y, Fukuhara S. Development and Initial Psychometric Validation of the COVID-19 Pandemic Burden Index for Healthcare Workers. *Journal of General Internal Medicine*. 202304; 38(5):1239-1247.

Mori H, Aita T, Shibahashi K, Nakajima M, Funakoshi H. Are non-shockable initial rhythms always worse? Need for a detailed classification and stratified exploration of prognostic factors. *Resuscitation*. 202301; 182:109647.

Miyashita J, Takeshima T, Maehara K, Hamaguchi S, Fukuhara S. Association between resilience and advance care planning during the COVID-19 pandemic in Japan: a nationwide cross-sectional study. *Scientific Reports*. 202301; 13(1):1371.

渡辺綾, 會田哲朗. 【慢性疾患診療のお悩みポイントまとめましたー高血圧からヘルスマネジメントまで】高血圧 高齢患者では高血圧の目標値をどう決めたらいいですか? *Medicina*. 202302; 60(2):250-253.

〔その他〕

濱口杉大. Primary Care Research Connect の目玉企画紹介. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 202305; 14 回:107.

會田哲朗, 山藤栄一郎, 加藤隼悟, 濱口杉大. 日本における紅斑熱群リケッチアと発疹チフス群リケッチア間の血清学的交差反応性について. 日本感染症学会東日本地方会学術集会・日本化学療法学会東日本支部総会合同学会プログラム・抄録集. 202309; 72nd-70th:221.

小児外科

論 文

〔原 著〕

Minami Y, Takiguchi K, Shimizu H, Tanaka H. Factors associated with cholestasis after surgery for congenital duodenal atresia. Journal of Neonatal Surgery. 202301; 12:11.

町野翔, 佐野信行, 神山隆道. 早産低出生体重児鼠径ヘルニアに対する早期修復術の妥当性. 日本小児外科学会雑誌. 202308; 59(5):862-867.

〔総説等〕

田中秀明. 【急性虫垂炎：診断，治療，研究】新生児の虫垂炎. 小児外科. 202307; 55(7):699-702.

〔症例報告〕

Machino K, Kondo K, Sato K, Imamura T, Ohsawa Y. Strangulated bowel obstruction by idiopathic congenital band in very low birthweight infant. Pediatric International. 202301; 65(1):e15408.

宗像未来, 小田慎一, 齋藤淳也, 星野正人, 清水裕史, 南洋輔, 滝口和暁, 田中秀明, 細矢光亮. 11 ヶ月時に診断された先天性十二指腸狭窄症のダウン症候群児例. 小児科臨床. 202302; 76(1):105-109.

〔その他〕

Tanaka H. Advances in pediatric liver transplantation from the pediatric surgeon's perspective. Pediatric Surgery International. 202308; 39(1):253.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

町野翔, 緑川雄亮, 佐野信行, 神山隆道. 当科における臍ヘルニアの手術の実際—臍形成に対する工夫—. 第34回福島県小児外科研究会; 20230211; 福島.

清水裕史, 滝口和暁, 石亀輝英, 丸橋繁, 田中秀明. ロボット支援下脾温存尾側臍切除術を行った solid-pseudopapillary neoplasm の1例. 第44回東北小児がん研究会; 20230318; 仙台.

町野翔, 佐野信行, 神山隆道. 複数磁石誤飲によるイレウスに対し腹腔鏡した手術を行った年長小児2例. 第33回東北小児消化器病研究会; 20230318; Web.

清水裕史, 滝口和暁, 角田圭一, 町野翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 南洋輔, 山下方俊, 田中秀明. 経胃瘻的空腸カテーテルにより空腸横行結腸瘻を来した1例. 第60回日本小児外科学会学術集会; 20230601-03; 大阪.

滝口和暁, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. Hirschsprung 病に対する経肛門減圧チューブ留置により生じた肛門周囲膿瘍の1例. 第60回日本小児外科学会学術集会; 20230601-03; 大阪.

町野翔, 佐野信行, 神山隆道. 早産低出生体重児における鼠径ヘルニア修復術の手術時期の検討. 第60回日本小児外科学会学術集会; 20230601-03; 大阪.

町野翔, 佐野信行, 滝口和暁, 本田義信, 神山隆道. 中腸軸捻転による広範な腸管血流障害に対して second look operation を施行した1例. 第98回日本小児外科学会東北地方会; 20230610; 仙台.

町野翔, 清水裕史, 佐々木唯, 佐野秀樹, 田中秀明. 術後陽子線照射を要する後腹膜腫瘍に対する吸収性スペーサーの使用経験. 第19回福島小児血液・腫瘍研究会; 20230624; 福島.

清水裕史, 郷勇人, 佐藤真紀, 滝口和暁, 田中秀明. 胎便関連性腸閉塞に対する圧監視下低圧注腸療法. 第59回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20230709-11; 名古屋.

滝口和暁, 佐野信行, 神山隆道, 本田義信, 佐藤賢一. 中腸軸捻転術後短腸症候群の4ヶ月乳児に対するデデュグルチドの使用経験. 第46回東北小児外科研究会; 20230925; 上山.

町野翔, 二見徹, 尾形誠弥, 清水裕史, 田中秀明. 臍胸に対する胸腔鏡補助下掻爬術の適応. 第46回東北小児外科研究会; 20230925; 上山.

清水裕史, 三森浩太郎, 二見徹, 滝口和暁, 町野翔, 尾形誠弥, 南洋輔, 田中秀明. 当科におけるストーマ脱出管理蒸し布法. 第33回小児外科 QOL 研究会; 20231007; 徳島.

三森浩太郎, 阿久津英憲, 川崎友之, 内田孟, 福田晃也, 阪本靖介, 笠原群生. 腸管オルガノイド・ミニ腸の凍結保存研究開発. 第49回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20231020; 旭川.

尾形誠弥, 清水裕史, 二見徹, 町野翔, 石亀輝英, 丸橋繁, 田中秀明. ロボット支援下脾温存尾側臍切除術を行った solid-pseudopapillary neoplasm の1例. 第42回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 (PSJM2023); 20231026-27; 福岡.

二見徹, 町野翔, 尾形誠弥, 清水裕史, 郷勇人, 田中秀明. 当院における先天性乳び胸の治療について. 第33回日本小児呼吸器外科研究会 (PSJM2023); 20231026-27; 福岡.

南洋輔, 二見徹, 町野翔, 尾形誠弥, 清水裕史, 田中秀明. 当科における胸腔鏡下縦隔腫瘍摘出術の手術手技. 第33回日本小児呼吸器外科研究会 (PSJM2023); 20231026-27; 福岡.

町野翔, 二見徹, 尾形誠弥, 清水裕史, 田中秀明. 当科における膿胸の治療経験. 第39回日本小児外科学会秋季シンポジウム; 20231028; 福岡.

滝口和暁, 町野翔, 尾形誠弥, 佐野信行, 神山隆道. 仙尾部皮膚陥凹に対する腰仙部脊髄エコーによるスクリーニングの試み—61例の検討—. 第12回福島県新生児懇話会; 20231209; 福島.

二見徹, 町野翔, 尾形誠弥, 清水裕史, 郷勇人, 田中秀明. 当院における先天性乳び胸の治療について. 第12回福島県新生児懇話会; 20231209; 福島.

〔特別講演〕

清水裕史. 医療的ケア児の栄養・胃ろう管理. 第16回小児在宅医療実技講習会; 20230625; 須賀川.

清水裕史. 医療的ケア児の適切な栄養管理. 福島県小児保健フォーラム; 20231111; 福島.

小児腫瘍内科

論 文

〔原 著〕

Mochizuki K. Harnessing allogeneic CD4⁺ T cells to reinvigorate host endogenous antitumor immunity. Fukushima Journal of Medical Science. 202311; 69(3):157-165.

Nishimura A, Yokoyama K, Naruto T, Yamagishi C, Imamura T, Nakazono H, Kimura S, Ito M, Sagisaka M, Tanaka Y, Piao J, Namikawa Y, Yanagimachi M, Isoda T, Kanai A, Matsui H, Isobe T, Sato-Otsubo A, Higuchi N, Takada A, Okuno H, Saito S, Karakawa S, Kobayashi S, Hasegawa D, Fujisaki H, Hasegawa D, Koike K, Koike T, Rai S, Umeda K, Sano H, Sekinaka Y, Ogawa A, Kinoshita A, Shiba N, Miki M, Kimura F, Nakayama H, Nakazawa Y, Taga T, Taki T, Adachi S, Manabe A, Koh K, Ishida Y, Takita J, Ishikawa F, Goto H, Morio T, Mizutani S, Tojo A, Takagi M. Myeloid/natural killer (NK) cell precursor acute leukemia as a distinct leukemia type. Science Advances. 202312; 9(50):eadj4407.

〔症例報告〕

Takahashi N, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kudo S, Saito Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A, Sano H. T-Cell-Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for a Patient With Tcf3-Hlf-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Extramedullary Relapse After Unrelated Bone Marrow Transplantation. *Journal of Pediatric Hematology/Oncology*. 202304; 45(3):e419-e422.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐野秀樹. 骨軟部肉腫に対する KIR ligand 不適合ハプロ移植. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会; 20230211; 名古屋.

高橋信久, 望月一弘, 小林正悟, 藁谷朋子, 大原喜裕, 工藤新吾, 佐々木唯, 菊田敦, 佐野秀樹, 池田和彦. CAR-T 細胞療法後再発急性リンパ性白血病に対する T 細胞非除去ハプロ移植. 日本小児科学会福島地方会; 20231112; 福島. 日本小児科学会雑誌. 128(7):991.

〔シンポジウム〕

佐野秀樹. 分野別シンポジウム 10 「小児がん治療の最前線」 難治性小児白血病に対する HLA 半合致造血細胞移植. 第 126 回日本小児科学会学術集会; 20230415; 東京. 日本小児科学会誌. 127(2):173.

〔特別講演〕

佐野秀樹. 日常の小児科診療に役立つ小児がんの知識. 福島県小児科医会令和 5 年度総会記念講演会; 20230702; 郡山.

歯科口腔外科

論 文

〔原 著〕

Kanno C, Kojima M, Tezuka Y, Yaginuma S, Kanaya Y, Kaneko T. Antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw risk in cancer patients before bone-modifying agent therapy: A retrospective study of 511 patients. *Bone*. 202312; 177:116892.

池田雅一，菅野千敬，早川貴司，林仁美，室野重之．耳鼻咽喉科疾患における経腸栄養プロトコル導入の経験．
頭頸部外科. 202310; 33(2):169-175.

〔症例報告〕

渡部雄貴，後藤彩希，石田奈津子，手塚悠，本田良輔，小島百代，柳沼貞之進，本間英明，菅野千敬，佐久間知子，遠藤学，金子哲治．福島県立医科大学附属病院歯科口腔外科および大原綜合病院歯科口腔外科を緊急受診した歯性感染症患者の臨床的検討．*みちのく歯学会雑誌*. 202312; 54(1-2):31-34.

本田良輔，後藤彩希，石田奈津子，小島百代，渡部雄貴，藤石ひかり，金谷佳明，柳沼貞之進，菅野千敬，佐久間知子，金子哲治，遠藤学．Le Fort I 型骨切り術後の鼻出血に対する Polyurethane 製材の使用経験．*みちのく歯学会雑誌*. 202312; 54(1-2):35-36.

後藤彩希，石田奈津子，手塚悠，本田良輔，小島百代，渡部雄貴，藤石ひかり，金谷佳明，柳沼貞之進，菅野千敬，佐久間知子，遠藤学，金子哲治．福島県立医科大学附属病院歯科口腔外科における口腔顎顔面外傷 267 症例の臨床的検討．*みちのく歯学会雑誌*. 202312; 54(1-2):37-40.

手塚悠，後藤彩希，石田奈津子，本田良輔，小島百代，渡部雄貴，藤石ひかり，金谷佳明，柳沼貞之進，菅野千敬，佐久間知子，金子哲治．診断に苦慮した AYA 世代に発生した顎骨中心性扁平上皮癌の 1 例．*みちのく歯学会雑誌*. 202312; 54(1-2):41-43.

石田奈津子，菅野千敬，柳沼貞之進，渡部雄貴，本間英明，小島百代，手塚悠，金子哲治．骨吸収抑制投与中の抜歯後 MRONJ 発症の検討．*みちのく歯学会雑誌*. 202312; 54(1-2):44-46.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

金子哲治，菅野千敬，山崎森里生，北畠健裕．当科における口腔白板症の癌化についての臨床的検討．第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20230126-0228; Web.

菅野千敬，金子哲治，山崎森里生．超高齢者社会の口腔癌治療～80 歳以上でも根治をあきらめない治療開発～．第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20230126-0228; Web.

本田良輔，柳沼貞之進，北畠健裕，山崎森里生，金子哲治．口腔内出血を契機に COVID-19 感染後の汎血球減少症が発見された 1 例．第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会; 20230511-13; 岡山.

柳沼貞之進，手塚悠，本田良輔，小島百代，藤石ひかり，金谷佳明，北畠健裕，山崎森里生，菅野千敬，金子哲治．経管栄養投与前の追加水投与の有効性の検討．第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会; 20230511-13; 岡山.

検査部

論文

〔原 著〕

Hayashi M, Matsuda M, Yamadera Y, Nakamura J, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Takagi T, Hikichi T, Ohira H. Isolated Small Bowel Varices Diagnosed by Contrast-Enhanced Ultrasound. *American Journal of Gastroenterology*. 202306; 118(6):931.

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey(超音波検査に基づく青少年の甲状腺断面積の基準値 福島県「県民健康調査」). *Clinical Pediatric Endocrinology*. 202301; 32(1):52-57.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Anzai F, Sato Y, Abe S, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis. *Clinical Research in Cardiology : Official Journal of the German Cardiac Society*. 202307; 112(7):942-953.

Ohara H, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Sato Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatic Venous Stasis Index Reflects Hepatic Congestion and Predicts Adverse Outcomes in Patients with Heart Failure. *Journal of the American Heart Association*. 202306; 12(12):e029857.

Yamada S, Kaneshiro T, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Horikoshi Y, Yamadera Y, Takeishi Y. Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology*. 202309; 34(9):1969-1978.

Kiyosuke M, Morishita S, Nakaie K, Kondo S, Sonobe K, Goto M, Ohashi K, Kashiya S, Japan Infection Prevention and Control Conference for National and Public University Hospitals. Verification of quality assurance for blood culture surveillance using 6 years of data from the Japan Infection Prevention and Control Conference for National and Public University Hospitals. *Journal of Infection and Chemotherapy*. 202306; 29(6):565-570.

Hara Y, Nakamura K, Tanno D, Toyokawa M, Suzuki H, Ohashi K, Harada R, Hidaka T, Nagano T, Torii K, Kanemitsu K. Detection of *Clostridioides difficile* toxin B gene in clinical stool specimens using rapid diagnostic quenching probe-polymerase chain reaction assay. *Journal of Microbiological Methods*. 202302; 205:106666.

山寺幸雄. 臨床検査アップデート 法令改正による臨床検査技師タスク・シフト／シェア. 日本臨床検査同学院通信. 202303; 48(春季):64-69.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小松真司, 金内あかね, 高田佳奈, 丹治麻衣子, 相原理恵子, 小室和子, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 僧帽弁輪の石灰化部位に感染性心内膜炎を合併した2症例. 第72回日本医学検査学会; 20230521; 高崎.

松田美津子, 山寺幸雄, 幕田倫子, 大沼秀知, 志村浩己. TIPIC 症候群 (Carotidynia). 日本超音波医学会第96回学術集会; 20230528; 大宮. 超音波医学. 50(Suppl.):S456.

庄司龍弥, 高野由喜子, 原田莉衣, 坂本有子, 本田睦子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. ISO15189 QMS 活動における血液培養検査の業務内容の見直し. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61(94):40.

今井美菜子, 高野由喜子, 原田莉衣, 坂本有子, 本田睦子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. 培養に苦慮した *Burkholderia cepacia* complex の1症例. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61(94):42.

遠藤武尊, 渡辺洋子, 嶋田有里, 佐々木義和, 山寺幸雄, 木村哲, 池添隆之, 志村浩己. von Willebrand 病の病型鑑別に血小板凝集能検査が有用であった2症例. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松.

齋藤柚香, 大沼秀知, 引地美由紀, 堀越由紀子, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 非典型的な心電図を認めた右胸心の一例. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松.

瀬和葉里, 渡部さゆり, 石橋美里, 田尻三千代, 慶徳克美, 西浦健太, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 患者背景から経過観察が選択された IPMN の1症例. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松.

只野光彦, 渡辺洋子, 嶋田有里, 菅野喜久子, 佐々木義和, 山寺幸雄, 原田佳代, 志村浩己. 当院で経験した急性巨核芽球性白血病(AML-M7)を疑った一症例. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松.

矢吹恭子, 黒崎幸子, 保田智香, 菊地歩, 渡邊千晶, 櫻井尚子, 兼田享子, 山寺幸雄. CPAP 遠隔モニタリングシステムを活用した患者指導の効果について システム導入前後での使用時間の比較. 第54回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松.

嶋田有里, 渡辺洋子, 遠藤武尊, 伊藤真弘, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 小山大輔, 池添隆之, 志村浩己. 濾胞性リンパ腫と EBV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の併存が疑われた1症例. 第12回日本検査血液学会東北支部学術集会; 20230610; 福島.

松田美津子, 山寺幸雄, 石橋伸治, 幕田倫子, 林学, 大平弘正, 志村浩己. 小腸静脈瘤の診断から経過観察に超音波検査が有用であった1例. 第48回日本超音波検査学会学術集会; 20230611; 大阪.

渡部さゆり, 黒崎幸子, 慶徳克美, 石橋美里, 田尻三千代, 山寺幸雄. 皮下に刺入した木片に対する超音波検査の検出精度に関する検討. 第 48 回日本超音波検査学会学術集会; 20230611; 大阪.

大沼秀知. 房室ブロックと脚ブロックの心電図の特徴と読み方のコツ. 第 69 回日本不整脈心電学会学術大会; 20230707; 札幌.

宮原涼馬, 河合裕美, 伊藤真弘, 佐々木義和, 山寺幸雄, 志村浩己. 血中エリスロポエチン濃度とヘモグロビン濃度、腎機能の関連性. 第 2 回 Clinical Assay Academia; 20230902; 東京.

石橋美里, 渡部さゆり, 慶徳克美, 田尻三千代, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 超音波検査が早期診断の契機となったメルケル細胞癌の 1 例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

今井美菜子, 高野由喜子, 原田莉衣, 庄司龍弥, 坂本有子, 大橋一孝, 山寺幸雄, 志村浩己. 抗菌薬長期投与にともなう株変異により培養に苦慮した 2 症例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

大沼秀知, 小川斗夢, 半沢ゆみ, 高橋智世, 金子亜矢, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 中高年期に達した未治療単心室症の 1 例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

菊地歩, 黒崎幸子, 矢吹恭子, 保田智香, 渡邊千晶, 櫻井尚子, 兼田享子, 山寺幸雄. 当院における CPAP 治療によるエプワース眠気尺度の response shift の検討. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

小坂橋好江, 櫻井尚子, 保田智香, 菊地歩, 相原理恵子, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 脳波検査が SARS-CoV-2 による痙攣重積型急性脳症の診断に有用であった小児患者の 1 例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

鈴木崇斗, 金子亜矢, 大橋直人, 佐藤ゆかり, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. MEP 導出不良例に対して複数神経への同時テタヌス刺激が波形導出に有用であった一例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

本多敦美, 大沼秀知, 引地美由紀, 佐藤ゆかり, 堀越由紀子, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己. 当院における TAVI に合併する伝導障害について. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

堀越由紀子, 松田美津子, 佐藤ゆかり, 山寺幸雄, 志村浩己. 脳波検査にて Extreme delta brush を認めた自己免疫性脳炎の 2 症例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

幕田倫子, 松田美津子, 石橋伸治, 山寺幸雄, 志村浩己. 超音波検査が有用であったメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104-05; 福島.

宮原涼馬, 河合裕美, 伊藤真弘, 佐々木義和, 山寺幸雄, 志村浩己. 血中エリスロポエチン濃度とヘモグロビン濃度、腎機能の関連性. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 11 回); 20231104; 福島.

〔特別講演〕

大沼秀知. 心アミロイドーシスを診断する心エコーの tips 心筋症、心アミロイドーシスを見逃さないために、心不全セミナー 治療可能な心不全・心筋症を見逃さない；20230608；福島。

〔その他〕

鈴木崇斗，金子亜矢，佐藤ゆかり，松田美津子，山寺幸雄，渡邊和之，二階堂琢也，高橋直人. 脊髄モニタリングに対する私たちの工夫について. 第 16 回東北 MIST 研究会；20230122；Web.

松田美津子. SOS/VOD 診断における検査技師の役割. NS WEB セミナー；20230927；Web.

松田美津子，山寺幸雄. NASH/NAFLD 評価のポイント. 令和 5 年度日臨技北日本支部医学検査学会（第 11 回）；20231104-05；福島.

放射線部

論 文

〔原 著〕

Yamakuni R, Seino S, Ishii S, Ishikawa H, Kikori K, Ando T, Kakamu T, Fukushima K, Otani K, Ito H. Lumbar intradural space reduction during the Valsalva maneuver observed using cine MRI and MR myelography: a single-case experimental study. Acta Neurochirurgica. 202308; 165(8):2111-2120.

Yamakuni R, Ishii S, Kakamu T, Ishikawa H, Sekino H, Seino S, Fukushima K, Otani K, Ito H. Relationship between lumbar spinal stenosis and cauda equina movement during the Valsalva maneuver. Skeletal Radiology. 202307; 52(7):1349-1358.

〔症例報告〕

Yamakuni R, Sekino H, Masaki S, Kakamu T, Takahashi K, Ishii S, Fukushima K, Ito H. Prediction of anemia from cerebral venous sinus attenuation on deep-learning reconstructed brain CT images. Journal of Computer Assisted Tomography. 202309; 47(5):796-805.

書籍等出版物

岡善隆, 他(翻訳協力). 第1-8章. In: 岡本裕之. AAPM Task Group 275 レポート「放射線治療における効果的な治療計画およびカルテレビューのための方策」(日本語訳). 東京: 公益社団法人日本放射線腫瘍学会; 202312.

岡善隆(協力委員), 他. 第9章 位置照合. In: IMRT 物理技術ガイドライン改訂小委員会. 強度変調放射線治療における物理技術ガイドライン 2023. 東京: 公益社団法人日本放射線腫瘍学会; 202302. p.45-46.

宮岡裕一, 他. 1-6 IGRT の被ばく線量評価と管理及び最適化の実践, 1-6-1 kV-2D 撮影. In: 辰巳大作 編. 放射線医療技術学叢書 (40) 実践 IGRT. 京都: 公益社団法人日本放射線技術学会; 202312. p.35-38.

岡善隆, 他. 第3章 IGRT 画像照合の部位別実践ポイント. In: 辰巳大作 編. 放射線医療技術学叢書 (40) 実践 IGRT. 京都: 公益社団法人日本放射線技術学会; 202312. p.88-153.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

宮岡裕一. 板ファントムを用いた CBCT の条件最適化 様々な部位に対する検討. 第36回日本放射線腫瘍学会高精度放射線外部照射部会学術大会; 20230304; 柏.

長澤陽介. 3D-CRT と VMAT を併用した子宮頸癌に対する中央遮蔽照射の有用性. 第46回福島県放射線治療技術研究会; 20230311; 福島/Web.

宮岡裕一. 板ファントムを用いた CBCT の条件最適化 様々な部位に対する検討. 第46回福島県放射線治療技術研究会; 20230311; 福島/Web.

岡善隆. 肺がんの基礎と治療計画. 放射線治療あすなろ会第3回放射線治療計画セミナー; 20230408; Web.

岡善隆. 寡分割照射の利点?? 生物学的視点から. 第46回福島県放射線治療懇話会 Advance; 20230610; 猪苗代町.

石川寛延, 五月女康作, 高橋悠馬, 清野真也, 樵勝幸, 丹治一. 拡散時間、細胞間隙の推定を目的とした制限拡散ファントムの開発. 第50回日本磁気共鳴医学会大会; 20230909; 名古屋.

岡善隆. 深層学習を用いることで治療計画立案時間の短縮は可能か? 第13回東北放射線医療技術学術大会; 20231103; 山形.

宮岡裕一. 電子ポータル画像装置からの散乱線が皮膚表面線量に与える影響. 第13回東北放射線医療技術学術大会; 20231104; 山形.

矢部重徳. 核医学治療で発生した液体廃棄物の貯留槽内における排泄の調査. 第43回日本核医学技術学会総会学術大会; 20231117; 大阪.

長澤陽介, 岡善隆, 宮岡裕一, 佐藤謙吾. 3D-CRT と VMAT を併用した子宮頸癌に対する中央遮蔽照射の有用

性. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

宮岡裕一. CTDIvol を指標とした CBCT 撮影条件最適化の臨床報告. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231201; 横浜.

岡善隆. MLC 開口部ベースの複雑性評価法を用いた VMAT 事前検証法の有用性の検討. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231202; 横浜.

〔シンポジウム〕

齋藤将輝. 空間分解能の実測と理解. 第 47 回岩手県 CT 研究会; 20231111; 盛岡.

齋藤将輝. “でゅあるえなじーCT” を “Dual Energy CT” に. 第 23 回県北 MDCT カンファレンス; 20230930; 福島.

〔特別講演〕

岡善隆. 肺癌の基礎と治療計画. 放射線治療あすなろ会第 3 回治療計画セミナー; 20230319; 仙台.

岡善隆. 検証プランの作成方法など. 第 45 回福島県放射線治療懇話会 IMRT をはじめよう基礎講習; 20230520; 福島.

岡善隆. 検証プランの作成方法など. 第 48 回福島県放射線治療懇話会 IMRT をはじめよう基礎講習; 20230930; 福島.

〔招待講演〕

岡善隆. 放射線治療あすなろ会でのガラス線量計を用いた外部出力線量について. 令和 4 年度実践的放射線治療人材育成セミナー; 20230319; 広島.

〔その他〕

長澤陽介. 伝わる発表スライドの作り方. 第 16 回研究デザイン研究会; 20230202; Web.

長澤陽介. 評価点線量検証について. IMRT をはじめよう基礎講習; 20230520-21; 福島.

長澤陽介. 前立腺に対する寡分割照射のマージンについて考えてみた. 第 46 回福島県放射線治療懇話会 (Advance) ; 20230610-11; 猪苗代町.

長澤陽介. X 線校正の基礎①. ゼロから始める X 線線量校正実務講習; 20230805; 福島.

長澤陽介. 評価点線量検証について. IMRT をはじめよう基礎講習; 20230930-1001; 福島.

岡善隆. 放射線生物. 一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構主催 2023 年度統一講習会; 20231204-

手術部

論文

〔原 著〕

Yoshida K, Obara S, Inoue S. Analgesia nociception index and high frequency variability index: promising indicators of relative parasympathetic tone. *Journal of Anesthesia*. 202302; 37(1):130-137.

小原伸樹. 今日もほろ酔い悪魔の赤ワイン. *Anet*. 2023; 27(3):19.

高木麻美, 大石理江子, 多胡行揮, 堀本龍生, 小原伸樹, 村川雅洋, 井上聡己. 受動喫煙と術後合併症. 麻酔. 202310; 72(10):988-992.

小原伸樹. TIVA 実践の基礎知識. *臨床麻酔*. 202301; 47(1):35-42.

小原伸樹. レミマゾラムとプロポフォール併用の. *臨床麻酔*. 202308; 47(8):963-967.

〔総説等〕

Obara S, Yoshida K, Inoue S. How obesity affects the disposition of intravenous anesthetics. *Current Opinion in Anaesthesiology*. 202308; 36(4):414-421.

〔症例報告〕

Honda J, Hakozaiki T, Hasegawa T, Obara S, Inoue S. Use of intraoperative transesophageal echocardiography and epiaortic ultrasound to diagnose false lumen enlargement of chronic aortic dissection. *Annals of Cardiac Anaesthesia*. 202307; 26(3):333-335.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Kurosawa S, Inoue S. Marked improvement in severe postherpetic itching following an epidural block: a case report. *JA Clinical Reports*. 202305; 9(1):24.

Watanabe Y, Obara S, Inoue S. Total intravenous anesthesia management with simultaneous use of remimazolam and propofol: A case series of three patients. *SAGE Open Medical Case Reports*. 202310; 11:2050313X231204574.

本田潤, 箱崎貴大, 小原伸樹. 症例ライブラリー 術中の頻脈 気腹後の2症例. *LiSA*. 202305; 30(5):564-566.

小原伸樹. まとめ：事項心配離脱困難における病態のとらえ方. LiSA. 202310; 30(10):1048-1049.

Honda J, Hakozaki T, Obara S, Inoue S. Remimazolam anesthesia for off pump coronary artery bypass grafting and transfemoral transcatheter aortic valve implantation combined surgery in patients with angina pectoris with low flow, low gradient aortic stenosis. 日本臨床麻酔学会誌. 202309; 43(5):400-405.

〔その他〕

Honda J, Obara S, Inoue S. Obstacles to ultrasound-guided internal jugular vein central venous catheter insertion. Saudi Journal of Anaesthesia. 202307; 17(3):455-456.

書籍等出版物

Kim TK, Obara S, Johnson KB. 4. Basic Pharmacologic Principles. In: Manuel C. Pardo. Miller's basics of anesthesia, 8th ed. Philadelphia: Elsevier; 2023. p.31-50.

小原伸樹. 28. 全静脈麻酔（TIVA）、鎮静（MAC）. In: 山蔭道明, 廣田和美. 麻酔科学レビュー：最新主要文献とガイドラインでみる 2023. 東京：総合医学社; 202305. p.164-168.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大石理江子, 小原伸樹, 中野裕子, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 臀部のトリガーポイント注射後に下肢の腫脹を認めた一例. 日本ペインクリニック学会第3回東北支部学術集会; 20230211; Web(福島). プログラム・抄録集. 19.

細野敦之, 赤間優衣, 板倉佑弥, 遠藤秀時, 吉田圭佑, 井石雄三, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. 脳脊髄液漏出症に合併した慢性硬膜下血腫と脳ヘルニアにより集中治療を要した1例. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 20230302; 京都/Web. プログラム・抄録集. 637.

大石理江子, 小原伸樹, 吉田圭佑, 黒澤伸, 井上聡己. 斜角筋間には高確率で動脈が存在する. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 107.

小原伸樹, 大石理江子, 黒澤伸, 井上聡己. 帯状疱疹に伴う強い痒みが硬膜外ブロックで著明に改善した一例. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 20230414; 大阪. プログラム・抄録集. 117.

小野直人, 小原伸樹, 井上聡己. 気道管理時の個人用防護衣装着および10分間の手術室密閉が、抜管直後の治療介入頻度や手術室在室時間に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第70回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

野地善恵, 村川雅洋, 吉田圭佑, 細野敦之, 小原伸樹, 井上聡己. ラットにおける局所麻酔薬同時投与の痙攣

誘発閾値に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

長谷川貴之, 赤間優衣, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔科医の身長体重予測の検証: 経験豊富な麻酔科医は一目ただけ身長体重を的中できるのか. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

花山千恵, 大石理江子, 石堂瑛美, 小原伸樹, 井上聡己. 人工知能による超音波ガイド下末梢神経ブロックナビゲーションシステムの開発. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

小原伸樹, 大石理江子, 中野裕子, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 超音波ガイド下坐骨神経ブロックが診断に有用であった坐骨神経近傍の嚢胞性病変の一例. 日本ペインクリニック学会第 57 回学術集会; 20230715; 佐賀. 日本ペインクリニック学会誌. 30(プログラム):328.

本田潤, 田中詩織, 長谷川貴之, 吉田圭佑, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔導入後に異常な cerebral oximetry の低下があったが, 神経学的異常が認められなかった症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916; 奈良 /Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):235.

本田潤, 薬師寺たつみ, 小川美穂, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. アンデキサネットアルファによるヘパリン耐性に対し, ATIII製剤を使用することで ACT の延長が得られた症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230917; 奈良/Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):268.

小原伸樹, 大石理江子, 黒澤伸, 井上聡己. Excel Visual Basic Editor で作成したプログラムによる手術室運用状況の可視化. 第 41 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会; 20231125; 奈良/Web. プログラム・抄録集. 30.

西田美優子, 小原伸樹, 高月沙織, 中野裕子, 井上聡己. 皮膚デブリードマン施行後の体動時痛に対し, IV-PCA 装置による鎮痛薬の先行投与が離床に寄与した 1 例. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会; 20231208; 宮崎. 日本臨床麻酔学会誌. 43(6):S263.

佐藤薫, 花山千恵, 高木麻美, 石堂瑛美, 小原伸樹, 井上聡己. アメリカで活躍する野球選手に会うことが強オピオイドの中止のきっかけになった 70 歳代乳がん患者の一例. 日本臨床麻酔学会第 43 回大会; 20231208; 宮崎. 日本臨床麻酔学会誌. 43(6):S265.

中野裕子, 大石理江子, 小原伸樹, 佐藤薫, 黒澤伸, 井上聡己. 失神発作を伴う舌咽神経痛に対し内服薬とキシロカインビスカス® 自己塗布で症状をコントロールし得た 1 症例. 日本ペインクリニック学会第 4 回東北支部学術集会; 20231216; 盛岡. プログラム・抄録集. 20.

〔シンポジウム〕

小原伸樹. シンポジウム 深鎮静の全身管理を安全に行う 深鎮静に用いる薬物の薬物動態・薬力学. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

〔特別講演〕

小原伸樹. 特別講演 麻酔薬の薬物動態・薬力学について 最近の話題. 第 94 回新潟麻酔懇話会／第 73 回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会; 20230617; 新潟.

〔招待講演〕

Obara S. Basic concepts of pharmacokinetics of intravenous anesthetics. 台湾麻醉医学会第 67 回国際學術検討会; 20231104; 台湾. プログラム集. 16.

〔その他〕

小原伸樹. 共催セミナー SedLine®を用いた最新の麻酔管理～レミマゾラム編～ SedLine と薬物動態シミュレーションを活かしたレミマゾラム麻酔. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

小原伸樹. 2023 年度北海道・東北支部周術期管理チームセミナー 1. 危機的状況で知っておきたい輸血の基礎知識. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台.

集中治療部

論 文

〔原 著〕

Suzuki K, Yoshida K, Hakozaki T, Tanaka S, Inoue S. Successful management by employing situational extracorporeal membrane oxygenation strategies in a patient with acute type A aortic dissection: a case report. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 202308; 15:64.

Honda J, Tanaka S, Yoshida K, Inoue S. Abnormally low regional cerebral oxygen saturation after induction of anesthesia without neurological abnormality: A case report. Annals of Cardiac Anaesthesia. 202310; 26(4):442-445.

Honda J, Tanaka S, Hakozaki T, Inoue S. Airway distortion in mucopolysaccharidosis. Canadian Journal of Anaesthesia. 202312; 70(12):2004-2005.

Yoshida K, Hareyama I, Noji Y, Tanaka S, Watanabe K, Inoue S. The relationship between the orientation of the lateral decubitus position for spinal anesthesia and positioning pain in patients with a femoral neck fracture: randomized non-inferiority trial. JA Clinical Reports. 202301; 9(1):3.

Yoshida K, Sasaki R, Tanaka S, Inoue S. A case of markedly enlarged blood vessels in the intercostal and paravertebral spaces in a patient with severe liver failure. JA Clinical Reports. 202308; 9(1):51.

Hasegawa T, Iseki Y, Hosono A, Inoue S. The effect of unilateral chest drainage for transpulmonary pressure

during mechanical ventilation. JA Clinical Reports. 202310; 9(1):72.

Hasegawa T, Yoshida K, Hakozaiki T, Inoue S. Severe pressure ulcer caused by an electrode belt for monitoring electrical impedance tomography in two patients in the prone position. JA Clinical Reports. 202311; 9(1):82.

Itakura Y, Hakozaiki T, Inoue S. Cardiac tamponade developing during Trousseau's syndrome with pulmonary embolism. JA Clinical Reports. 202312; 9(1):84.

Yoshida K, Nakano Y, Inoue S. Pitfalls of continuous drug administration methods in pediatric anesthesia to reduce medication errors. JA Clinical Reports. 202312; 9(1):90.

Yoshida K, Obara S, Inoue S. Analgesia nociception index and high frequency variability index: promising indicators of relative parasympathetic tone. Journal of Anesthesia. 202302; 37(1):130-137.

Yoshida K, Tokimura S. To prevent accidental administration of disinfectants used for skin disinfection in epidural anesthesia. Regional Anesthesia and Pain Medicine. 202310; 48(10):533.

〔総説等〕

Obara S, Yoshida K, Inoue S. How obesity affects the disposition of intravenous anesthetics. Current Opinion in Anaesthesiology. 202308; 36(4):414-421.

〔症例報告〕

Honda J, Hakozaiki T, Hasegawa T, Obara S, Inoue S. Use of intraoperative transesophageal echocardiography and epiaortic ultrasound to diagnose false lumen enlargement of chronic aortic dissection. Annals of Cardiac Anaesthesia. 202307; 26(3):333-335.

Honda J, Itakura Y, Tanaka S, Inoue S. Successful use of an antithrombin for heparin resistance with andexanet alfa. JA Clinical Reports. 202305; 9(1):26.

Honda J, Murakawa M, Inoue S. Effect of averaging time and respiratory pause time on the measurement of acoustic respiration rate monitoring. JA Clinical Reports. 202309; 9(1):61.

本田潤, 箱崎貴大, 小原伸樹. 症例ライブラリー 術中の頻脈 気腹後の2症例. LiSA. 202305; 30(5):564-566.

Honda J, Hakozaiki T, Obara S, Inoue S. Remimazolam anesthesia for off pump coronary artery bypass grafting and transfemoral transcatheter aortic valve implantation combined surgery in patients with angina pectoris with low flow, low gradient aortic stenosis. 日本臨床麻酔学会誌. 202309; 43(5):400-405.

小野直人, 本田潤, 井上聡己. 心拍動下冠動脈バイパス手術中にブローアからの二酸化炭素が原因の冠動脈塞栓が疑われた1症例. 臨床麻酔. 202304; 47(4):598-599.

〔研究報告書〕

Hakozaki T, Hasegawa T, Inoue S. Integrated Assessment of Discrepancy Between Tracheal Tube and Tube Exchanger as Advancement: A Manikin Simulation Study. Asian Journal of Anesthesiology. 2023; 61(4):169-175.

〔その他〕

Yoshida K, Tanaka S, Watanabe K. Hanging-Drop Technique Is More Suitable for Epidural Space Confirmation in Patients With Subcutaneous Emphysema After Traumatic Multiple Rib Fractures. Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia. 2023; 37(12):2689-2690.

Honda J, Obara S, Inoue S. Obstacles to ultrasound-guided internal jugular vein central venous catheter insertion. Saudi Journal of Anaesthesia. 2023; 17(3):455-456.

書籍等出版物

井上聡己, 吉田圭佑. 第2章 高齢者消化器外科手術: 各論 スタンダード 2.9 周術期の疼痛コントロール. In: 丸橋繁. 高齢者に対する消化器外科手術診療指針 2023. 東京: へるす出版; 2023. p.60-62.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

長谷川貴之, 吉田圭佑, 本田潤, 井石雄三, 箱崎貴大, 井上聡己. 輪状甲状間膜穿刺キットのスリップジョイントが気道抵抗に与える影響. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 2023; 京都/Web. プログラム・抄録集. 259.

本田潤, 長谷川貴之, 吉田圭佑, 井石雄三, 細野敦之, 箱崎貴大, 五十洲剛, 井上聡己. アルコール多飲による低カリウム・低マグネシウム血症から Torsade de pointes をきたした症例. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 2023; 京都/Web. プログラム・抄録集. 590.

細野敦之, 赤間優衣, 板倉佑弥, 遠藤秀時, 吉田圭佑, 井石雄三, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. 脳脊髄液漏出症に合併した慢性硬膜下血腫と脳ヘルニアにより集中治療を要した1例. 第50回日本集中治療医学会学術集会; 2023; 京都/Web. プログラム・抄録集. 637.

大石理江子, 小原伸樹, 吉田圭佑, 黒澤伸, 井上聡己. 斜角筋間には高確率で動脈が存在する. 日本区域麻酔学会第10回学術集会; 2023; 大阪. プログラム・抄録集. 107.

野地善恵, 村川雅洋, 吉田圭佑, 細野敦之, 小原伸樹, 井上聡己. ラットにおける局所麻酔薬同時投与の痙攣誘発閾値に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第70回学術集会; 2023; 神戸/Web.

長谷川貴之, 赤間優衣, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔科医の身長体重予測の検証: 経験豊富な麻酔科医は一目ただけ身長体重を的中できるのか. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

晴山到, 吉田圭佑, 野地善恵, 田中詩織, 渡部和弘. 大腿骨頸部骨折患者における脊髄くも膜下麻酔時の側臥位の向きと痛みの関係ーランダム化非劣性試験ー. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230602; 神戸/Web.

長谷川貴之, 吉田圭佑, 細野敦之, 箱崎貴大, 井上聡己. 肝移植後に脳出血を生じた症例. 日本集中治療医学会第 7 回東北支部学術集会; 20230708; 弘前. プログラム・抄録集. 32.

郡司瑞樹, 吉田圭佑, 佐々木遼介, 田中詩織, 井上聡己. 重症肝不全患者において傍脊椎管に著明な血管の拡大を認めた 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 42.

小野愛, 田中詩織, 吉田圭佑, 花山千恵, 井上聡己. 腰椎術後に Intramuscular quadratus lumborum block を施行し、疼痛コントロール良好であった一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 47.

安永天音, 小野内汐美, 大山清実広, 吉田圭佑, 岩渕雅洋, 伊関憲. 手術室の聴診器は本当にきれいな? 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 48.

廣澤茜, 高月沙織, 薬師寺たつみ, 吉田圭佑, 黒澤伸, 井上聡己. 上腸間膜動脈、腹腔動脈の malperfusion を伴う A 型大動脈解離に対して、上腸間膜動脈の血行再建を優先し、その後 Central repair を施行した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台. プログラム集. 49.

本田潤, 田中詩織, 長谷川貴之, 吉田圭佑, 小原伸樹, 井上聡己. 麻酔導入後に異常な cerebral oximetry の低下があったが、神経学的異常が認められなかった症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916; 奈良 /Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):235.

本田潤, 薬師寺たつみ, 小川美穂, 箱崎貴大, 小原伸樹, 井上聡己. アンデキサネットアルファによるヘパリン耐性に対し、ATIII 製剤を使用することで ACT の延長が得られた症例. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230917; 奈良/Web. Cardiovascular Anesthesia. 27(Suppl):268.

〔シンポジウム〕

吉田圭佑. 学術委員会シンポジウム 第 18 回 JA シンポジウム 呼吸モニタリング. 日本麻酔科学会第 70 回学術集会; 20230601; 神戸/Web.

〔その他〕

箱崎貴大, 島田二郎. パネルディスカッション 8 東日本大震災 被災地からの発信～福島県～. 第 28 回日本災害医学会総会・学術集会; 20230310; 盛岡.

吉田圭佑. 2023 年度北海道・東北支部周術期管理チームセミナー 5. 手術部位感染 (SSI) を防ぐ. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 13 回学術集会; 20230909; 仙台.

総合周産期母子医療センター

論文

〔原 著〕

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal magnesium intake and childhood wheezing in offspring at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. *British Journal of Nutrition*. 202312; 130(11):1973-1981.

Isogami H, Sugeno M, Imaizumi K, Fukuda T, Kamo N, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Maternal septic shock due to *Acinetobacter lwoffii* infection: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):191-196.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between labor duration in singleton spontaneous vaginal deliveries and offspring neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyojuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M, Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Epidemiology*. 202310; 33(10):489-497.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Sugeno M, Fukuda T, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Prophylactic resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta use during cesarean hysterectomy for placenta accreta spectrum: a retrospective cohort study. *Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 202312; 36(2):223-2073.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K, Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*.

202302; 49(2):577-586.

Inoue Y, Ohno Y, Sobue T, Fujimaki T, Zha L, Nomura Y, Kyojuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Kurasawa K, Fujimori K. Impact of the Great East Japan Earthquake on spontaneous abortion and induced abortion: A population-based cross-sectional and longitudinal study in the Fukushima Prefecture based on the census survey of the Fukushima maternity care facility and vital statistics. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202303; 49(3):812-827.

Watanabe T, Soeda S, Okoshi C, Fukuda T, Yasuda S, Fujimori K. Landscape of somatic mutated genes and inherited susceptibility genes in gynecological cancer. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202311; 49(11):2629-2643.

Sugimoto S, Kawase M, Suwa R, Kakizaki M, Kume Y, Chishiki M, Ono T, Okabe H, Norito S, Hosoya M, Hashimoto K, Shirato K. Development of a duplex real-time RT-PCR assay for the detection and identification of two subgroups of human metapneumovirus in a single tube. *Journal of Virological Methods*. 202312; 322:114812.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K, and the Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of Maternal Asthma and Total Serum Immunoglobulin E levels with Obstetric Complications: The Japan Environment and Children's Study. *Maternal and Child Health Journal*. 202307; 27(7):1229-1237.

Ono T, Hashimoto K, Kume Y, Chishiki M, Okabe H, Sato M, Norito S, Aso J, Sada M, Mochizuki I, Mashiyama F, Ishibashi N, Suzuki S, Sakuma H, Suwa R, Kawase M, Takeda M, Shirato K, Kimura H, Hosoya M. Molecular Diversity of Human Respiratory Syncytial Virus before and during the COVID-19 Pandemic in Two Neighboring Japanese Cities. *Microbiology Spectrum*. 202308; 11(4):e0260622.

Ono T, Watanabe M, Hashimoto K, Kume Y, Chishiki M, Okabe H, Sato M, Norito S, Chang B, Hosoya M. Serotypes and Antibiotic Resistance of *Streptococcus pneumoniae* before and after the Introduction of the 13-Valent Pneumococcal Conjugate Vaccine for Adults and Children in a Rural Area in Japan. *Pathogens*. 202303; 12(3):493.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid and offspring allergies: The Japan Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202305; 34(5):e13956.

Chishiki M, Nishiyama K, Suzutani T, Hiruta S, Ichikawa H, Haneda K, Maeda H, Shimizu H, Kanai Y, Ogasawara K, Go H, Sato M, Momoi N, Nollet KE, Ohto H, Hosoya M. Sterilization efficacy of a new water-free breast milk pasteurizer. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15574.

Okabe H, Hashimoto K, Yamada M, Ono T, Yaginuma K, Kume Y, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Shinoki K, Yasumura S, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M; Japan Environment

and Children's Study (JECS). Associations between fetal or infancy pet exposure and food allergies: The Japan Environment and Children's Study. PLOS ONE. 202303; 18(3):e0282725.

Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Kyojuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association between gestational age at threatened preterm birth diagnosis and incidence of preterm birth: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202308; 13(1):12839.

福田冬馬, 安田俊, 藤森敬也. 【図表・チャートでパッと理解!ここまでわかった産婦人科の病態生理】(第1章) 周産期 A.妊娠中の産科異常 胎児機能不全. 産科と婦人科. 202303; 90(Suppl.):86-90.

Fukuda T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fujimori K. Three-dimensional computed tomography complements ultrasonography in prenatal diagnosis of Pfeiffer type 2 syndrome: a case report. 超音波医学. 202307; 50(4):291-294.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

佐久間一理, 鈴木雄一, 渡邊涼介, 城田淳, 山田美香, 久米庸平, 浅野裕一郎, 野寺真樹, 前田亮, 小野敦史, 渡部真裕, 佐藤晶論, 細矢光亮. 亜急性期の血清 LDH,CRP 高値持続は急性脳症の重度神経学的後遺症を予測するかもしれない. 第 65 回日本小児神経学会学術集会; 20230524; 岡山.

病理部

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

古山初奈, 濱屋美樹子, 一條あゆみ, 佐藤聡美, 遠藤美涼, 川名聡, 橋本優子. 心筋生検の凍結切片における迅速ギムザ染色の検討 好酸球浸潤の正確な判断のために. 第 54 回福島医学検査学会; 20230528; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:55.

菅野寿也. リンパ節生検 LBC 検体における FISH 法の有用性. 第 59 回東北臨床細胞学会学術集会; 20230701; 福島.

山口千里. 細胞転写による免疫細胞化学で迅速に診断しえた肺定型カルチノイド腫瘍の 1 例. 第 62 回日本臨床細

胞学会秋期大会; 20231105; 福岡.

一條あゆみ. 当院における非小細胞癌のマルチプレックス検査への取り組み～検査技師、病理医、臨床科の連携による改善～. 第 11 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20231105; 福島.

濱屋美樹子, 赤城美代子, 一條あゆみ, 佐藤聡美, 古山初奈, 遠藤美涼, 橋本優子. 急性心筋炎の迅速病理組織検査について－当院での取り組み－. 第 11 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20231105; 福島.

〔その他〕

一條あゆみ. 福島医大病理部における新部門システム稼働の実際～ISO15189 取得維持と病院機能評価を踏まえて～. 令和 4 年度福島県臨床検査技師会県北支部病理・細胞診部門研修会; 20230218; 福島.

内視鏡診療部

論 文

〔原 著〕

Uraoka T, Uedo N, Oyama T, Saito Y, Yahagi N, Fujimoto A, Kawahara Y, Mabe K, Hikichi T, Yamamoto Y, Tajiri H. Efficacy and Safety of a Novel Hemostatic Peptide Solution During Endoscopic Submucosal Dissection: A Multicenter Randomized Controlled Trial. *American Journal of Gastroenterology*. 202302; 118(2):276-283.

Hayashi M, Matsuda M, Yamadera Y, Nakamura J, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Takagi T, Hikichi T, Ohira H. Isolated Small Bowel Varices Diagnosed by Contrast-Enhanced Ultrasound. *American Journal of Gastroenterology*. 202306; 118(6):931.

Irie H, Suzuki R, Okubo Y, Asama H, Konno N, Noguchi Y, Watanabe K, Shibukawa G, Imamura H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Kato T, Hashimoto M, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Clinical benefit of subsequent chemotherapy after drug-induced interstitial lung disease in pancreatic cancer patients: a multicenter retrospective study from Japan. *BMC Cancer*. 202304; 23(1):316.

Takagi T, Sugimoto M, Imamura H, Takahata Y, Nakajima Y, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Shibukawa G, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A multicenter comparative study of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using a Franseen needle versus conventional endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration to evaluate microsatellite instability in patients with unresectable pancreatic cancer. *Clinical Endoscopy*. 202301; 56(1):107-113.

Suzuki H, Ono H, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Toya Y, Nakagawa M, Toyonaga T, Takemura K, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Tsuji Y, Hashimoto S, Yuki M, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Yamamoto K, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Koizumi S, Hori S, Tajika M, Hikichi T, Yao K, Yokoi C, Ohnita K, Hisanaga Y, Sumiyoshi T, Kitamura S, Tanaka H, Shimoda R, Shimazu T, Takizawa K, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; J-WEB/EGC group. Long-term Survival After Endoscopic Resection For Gastric Cancer: Real-world Evidence From a Multicenter Prospective Cohort. *Clinical Gastroenterology and Hepatology*. 202302; 21(2):307-318.e2.

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Gunji N, Watahiki Y, Sakuma C, Mochimaru T, Murakami M, Szuki O, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Characteristics of positive horizontal margins in patients who underwent colorectal endoscopic submucosal dissection. *DEN Open*. 202310; 4(1):e300.

Takahashi S, Hatta W, Watanabe K, Koike T, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Nakamura T, Nakaya N, Matsumoto T, Fukuda S, Masamune A, Iijima K. Prognostic Benefit of Additional Treatment After Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Digestive Diseases and Sciences*. 202305; 68(5):2050-2060.

Ichijima R, Ikehara H, Sumida Y, Inada T, Nemoto D, Nakajima Y, Minagawa T, Sumiyoshi T, Inoki K, Yoshida N, Inoue K, Fukuzawa M, Minoda Y, Tsutsumi K, Esaki M, Gotoda T. Randomized controlled trial comparing conventional and traction endoscopic submucosal dissection for early colon tumor (CONNECT-C trial). *Digestive Endoscopy*. 202301; 35(1):86-93.

Abe H, Tanaka S, Sato H, Shimamura Y, Okada H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Inoue H. Risk scoring system for the preprocedural prediction of the clinical failure of peroral endoscopic myotomy: a multicenter case-control study. *Endoscopy*. 202305; 55(3):217-224.

Nakajima Y, Nemoto D, Suzuki K, Sato A, Shibukawa G, Lefor AK, Togashi K. Miniprobe ultrasonography guidance during endoscopic submucosal dissection of an ampullary duodenal lesion. *Endoscopy*. 202312; 55(S 01):E92-E93.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Waragai Y, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Comparison of time to recurrent biliary obstruction between plastic stents and metallic stents for endoscopic ultrasound-guided biliary drainage. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 202305; 25(5):214.

Hata Y, Sato H, Shimamura Y, Abe H, Shiwaku A, Shiota J, Sato C, Ominami M, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Ihara E, Inoue H. Impact of peroral endoscopic myotomy on high-resolution manometry findings and their association with the procedure's outcomes. *Gastrointestinal endoscopy*. 202304; 97(4):673-683.e2.

Miura Y, Tsuji Y, Yoshio T, Hatta W, Yabuuchi Y, Hoteya S, Kikuchi D, Tsuji S, Nagami Y, Hikichi T,

Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Masamune A, Fujishiro M. Association between perioperative management of antiplatelet agents and risk of post-endoscopic submucosal dissection bleeding in early gastric cancer: analysis of a nationwide multicenter study. *Gastrointestinal Endoscopy*. 202305; 97(5):889-897.

Nemoto D, Guo Z, Katsuki S, Takezawa T, Maemoto R, Kawasaki K, Inoue K, Akutagawa T, Tanaka H, Sato K, Omori T, Takanashi K, Hayashi Y, Nakajima Y, Miyakura Y, Matsumoto T, Yoshida N, Esaki M, Uraoka T, Kato H, Inoue Y, Peng B, Zhang R, Hisabe T, Matsuda T, Yamamoto H, Tanaka N, Lefor AK, Zhu X, Togashi K. Computer-aided diagnosis of early-stage colorectal cancer using nonmagnified endoscopic white-light images (with videos). *Gastrointestinal Endoscopy*. 202307; 98(1):90-99.e4.

Isohata N, Endo S, Nemoto T, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. Risk Factors and Predictive Biomarkers for Anastomotic Leakage after Colorectal Cancer Surgery with the Double Stapling Technique. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 202307; 7(3):196-205.

Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Hatta W, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Takahashi F, Masamune A, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T; Tohoku GI Endoscopy Group. Prediction model of 3-year survival after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients aged ≥ 85 years: EGC-2 model. *Journal of Cancer Research and Clinical Oncology*. 202304; 149(4):1521-1530.

Hatta W, Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushi D, Koike T, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuji T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ogata Y, Ohira T, Horikawa Y, Ishihata R, Hikichi T, Satoh K, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T, Masamune A; Tohoku GI Endoscopy Group. Treatment strategy after noncurative endoscopic resection for early gastric cancers in patients aged ≥ 85 years: a multicenter retrospective study in a highly aged area of Japan. *Journal of Gastroenterology*. 202304; 58(4):346-357.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Novel Photodynamic Therapy for Esophageal Squamous Cell Carcinoma following Radiotherapy. *Life*. 202305; 13(6):1276.

高住美香, 引地拓人. 胃上皮下病変に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検. 大原記念財団年報. 202309; 59:33-38.

山口佳子, 宮島豪, 齊木巖, 芝入雄一, 根本大樹, 笠原健大, 竹林康幸. 劇症型 B 群溶血性連鎖球菌敗血症の影に隠れたもう 1 つの感染症. 東京医科大学雑誌. 202310; 81(4):443-452.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又崇弘, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 閉塞性大腸癌に対する術前の口側腸管の評価. 日本大腸検査学会雑誌. 202305; 39(2):81-87.

過年業績

Nakajima Y, Nemoto D, Nemoto T, Takahata Y, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Short-term outcomes of patients undergoing endoscopic submucosal dissection for colorectal lesions. DEN Open. 202206; 3(1):e136.

Yamaguchi H, Kawai T, Fukuzawa M, Nemoto D, Kagawa Y, Kono S, Naito S, Sato H, Nagata N, Sugimoto M, Tsukahara K, Itoi T. Prediction of depth of invasion and lymph node metastasis in superficial pharyngeal cancer by magnifying endoscopy using the Japan Esophageal Society classification. DEN Open. 202207; 3(1):e151.

〔総説等〕

引地拓人, 加藤恒孝, 中村純, 渡辺晃, 高木忠之. 【上部消化管内視鏡のトラブルシューティング】静脈瘤に対する内視鏡治療 胃静脈瘤の内視鏡治療時のトラブルシューティング. 消化器内視鏡. 202302; 35(2):193-195.

引地拓人, 加藤恒孝, 中村純, 橋本陽, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 【進化し続ける IEE】IEE を使いこなす 上部消化管内視鏡 食道・胃静脈瘤の内視鏡診断 治療における RDI の有用性. 消化器内視鏡. 202303; 35(3):322-326.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 佐藤雄紀, 入江大樹, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 【消化管出血のすべて】その他 異所性静脈瘤による出血 異所性静脈瘤の診断と治療. 消化器内視鏡. 202304; 35(4):531-537.

柳田拓実, 引地拓人, 川名聡. 食道乳頭腫. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):56-57.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝. 食道静脈瘤. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):58-59.

小橋亮一郎, 引地拓人, 柳田拓実. 類基底細胞扁平上皮癌. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):110-111.

引地拓人, 菊地眸, 中村純. 食道平滑筋肉腫. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):124-125.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. Barrett 食道 (LSBE) . 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):148-149.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純. 食道亜全摘後の GERD. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):158-159.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純. 内視鏡的硬化療法後食道潰瘍. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):190-191.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝. ESD 後食道潰瘍. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):192-193.

引地拓人, 中村純, 橋本陽. ESD 後食道狭窄. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):244-245.

小橋亮一郎, 引地拓人, 柳田拓実. 食道術後の吻合部狭窄. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):248-249.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 食道気管支瘻. 消化器内視鏡. 202310; 35(増刊):286-287.

引地拓人. 消化器内視鏡診療における多職種連携の重要性と課題. 日本消化器内視鏡技師会会報. 202303; 70:125-127.

引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 高木忠之. 食道・胃静脈瘤出血に対する治療ストラテジー. 臨床消化器内科. 202309; 38(11):1369-1380.

〔症例報告〕

Suto K, Hikichi T, Shioya Y, Ishizaki N, Saito S, Nakamura J, Kobayakawa M, Ohira H. A healthy young patient with hepatic portal vein gas due to acute gastric dilatation: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202308; 16(4):593-598.

Abe N, Hikichi T, Waragai Y, Takahashi Y, Kobashi R, Yanagita T, Kumakawa H, Watanabe K, Kobayakawa M, Ohira H. Retroperitoneal liposarcoma with pancreatic metastasis and gastric cancer: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202304; 16(2):164-170.

Yanagita T, Hikichi T, Waragai Y, Shimizu H, Takahashi Y, Abe N, Hashimoto C, Kumakawa H, Kobayakawa M, Ohira H. Mixed high-grade serous and large cell neuroendocrine carcinoma arising from rectal endometriosis 11 years after hysterectomy. Clinical Journal of Gastroenterology. 202306; 16(3):366-371.

〔その他〕

引地拓人. 最新文献紹介 消化管上皮下病変の診断における超音波内視鏡ガイド下針生検の有効性, 実行可能性, および安全性: システムティックレビューとメタアナリシス. Gastroenterological Endoscopy. 202301; 65(1):93-93.

引地拓人. 最新文献紹介 ESD における新規止血ペプチド溶液の有効性と安全性: 多施設ランダム化比較試験. Gastroenterological Endoscopy. 202312; 65(12):2453.

引地拓人. 胃がん内視鏡治療. 週刊朝日 MOOK 手術数でわかるいゝ病院 2023. 202303; :220-227.

近森文夫, 引地拓人. 司会総括 一般演題2 静脈瘤①. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 202303; 29(1):52-53.

書籍等出版物

引地拓人. 食道に何が起こった? いったい何が出てきた? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社. 202302. p.140-141.

引地拓人. 胃の潰瘍を呈する粘膜下腫瘍, これ何? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社. 202302. p.144-145.

引地拓人. この食道潰瘍の診断? In: 西野徳之. 画像診断道場: アップデート版 腹部編. 東京: 日本医事新報社; 202302. p.148-149.

引地拓人, 中村純. インフォームド・コンセントと問診. In: 井上和彦. 実践上、ここがポイント! 人間ドックの上部消化管内視鏡検査. 京都: 金芳堂; 202302. p.25-32.

根本大樹, 中島勇貴, 富樫一智. 大腸内視鏡挿入のための解剖学. In: 浦岡俊夫. レジデントのための消化器内視鏡ことはじめ. 東京: メジカルビュー社; 202306. p.132-137.

引地拓人. 食道静脈瘤治療 (EVL, EIS) ~血行動態と内視鏡診断と治療の基本. In: 浦岡俊夫. レジデントのための消化器内視鏡ことはじめ. 東京: メジカルビュー社; 202306. p.250-256.

引地拓人. 色素内視鏡検査. In: 日本消化器内視鏡学会, 消化器内視鏡技師制度委員会 監修. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック 改訂第8版. 東京: 医学図書出版; 202310. p.52-60.

引地拓人. TXI と RDI の原理と利点. In: 日本消化器内視鏡学会, 消化器内視鏡技師制度委員会 監修. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック 改訂第8版. 東京: 医学図書出版; 202310. p.65-74.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Yanagita T, Hikichi T, Hatta W, Toya Y, Shimada T, Hamada K, Watanabe K, Nakamura J, Fukushima D, Koike T, Shinkai H, Ito H, Matsuhashi T, Fujimori S, Iwai W, Hanabata N, Shiroki T, Sasaki Y, Fujishima Y, Tsuyotoshi T, Yorozu H, Yoshimura T, Horikawa Y, Takahashi Y, Takahashi H, Kondo Y, Fujiwara T, Mizugai H, Gonai T, Tatsuta T, Onochi K, Kudara N, Abe K, Ogata Y, Ohira T, Horikawa Y, Hashimoto M, Kato T, Ishihata R, Satoh K, Iijima K, Fukuda S, Matsumoto T, Masamune A, Ohira H. Prognostic factors and suitability for gastrectomy after non-curative endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients aged 85 years or older: a multicenter retrospective study. DDW 2023; 20230506; Chicago, USA.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 橋本優子, 大平弘正. バレット食道腺癌に対する ESD の治療成績と予後. 第 19 回日本消化管学会総会学術総会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):159.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 大平弘正. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する Underwater EMR. 第 19 回日本消化管学会総会学術総会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):192.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対する LECS の治療手技困難因子. 第 19 回日本消化管学会総会学術総会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):178.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一, 橋本陽, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 治療歴を有する食道アカラシアに対する POEM の有用性と安全性. 第 19 回日本消化管学会

総会学術総会; 20230203-04; 東京. 日本消化管学会雑誌. 7(Suppl):187.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 自己免疫性胃炎の臨床的特徴. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 77.

亀岡英介, 入江大樹, 川名聡, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 大平弘正. 自己免疫性膵炎の治療経過中に画像所見が明瞭化した主膵管型 IPMN の 1 例. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 92.

渡邊早百合, 引地拓人, 小橋亮一郎, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS と APC により同時に治療しえた表在型食道癌の 1 例. 第 169 回日本消化器病学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 97.

入江大樹, 高木忠之, 木暮敦子, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 重症急性胆管炎を来した巨大総胆管結石に対して ESWL, および EHL 併用により完全切石しえた一例. 第 169 回日本消化器病学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 128.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. ESD を施行した胎児消化管類似胃癌の検討. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230223-25; 札幌. 総会記事. 245.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道・胃静脈瘤出血例に対する内視鏡治療の現状. 第 59 回日本腹部救急学会総会; 20230309-10; 宜野湾. 日本腹部救急学会雑誌. 43(2):157.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 小早川雅男, 大平弘正. 後期高齢者の胃管癌に対する ESD. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎. 日本消化器病学会雑誌. 120(臨増総会):A306.

Nakamura J, Hikichi T, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for patients with Barrett's esophageal adenocarcinoma. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. 日本消化器内視鏡学会雑誌. 65(Suppl.1):851.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 85 歳以上の超高齢者に対する胃 ESD 後の早期死亡予測. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. 日本消化器内視鏡学会雑誌. 65(Suppl.1):947.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療の現状と課題. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会; 20230525-27; 東京. 日本消化器内視鏡学会雑誌. 65(Suppl.1):949.

鈴木康平, 中島勇貴, 根本大樹, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 澁川悟朗, 富樫一智. 虫垂内腔へ進展する腫瘍に対する ESD の検討. 第 99 回大腸癌研究会学術集会; 20230707; 尼崎.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍における gel-immersion EMR. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 102.

綿引優, 川島一公, 引地拓人. 挿入困難な深部大腸の ESD における一步進んだ工夫. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 103.

西丸響, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 佐々木良, 引地拓人, 大平弘正. 消化管狭窄を伴った悪性胆管狭窄に retrofl ex position での直視鏡による ERCP が奏功した 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 131.

佐々木良, 引地拓人, 柳田拓実, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 化学療法 of 早期導入のために胃 ESD 後の粘膜を細径把持鉗子の補助下に OTSC で縫縮し得た 5 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 154.

亀岡英介, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 坂本渉, 高木忠之, 橋本優子, 大平弘正. 局所再発との鑑別診断に苦慮した直腸癌術後吻合部の implantation cyst の 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 169.

和田淳, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. ERCP 後感染性胆汁瘻に対して超音波内視鏡ガイド下経消化管ドレナージ術を施行した 1 例. 第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 187.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡用視野確保ゲルを用いた EIS. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):91.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):106.

渡邊早百合, 引地拓人, 柳田拓実, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS と APC により同時に治療した表在型食道扁平上皮癌の 1 例. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):114.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 鈴木宏幸, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法の長期経過と最近の工夫点. 第 6 回東北・北関東門脈圧亢進症研究会; 20231014; Web.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 高木忠之, 大平弘正. ESD 後に追加治療が推奨された高齢食道扁平上皮癌患者の予後. 日本老年医学会第 34 回東北地方会; 20231028; 弘前. 抄録集. 8.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大平弘正. ポリグリコール酸シートと自己フィブリン糊による胃 ESD 後出血予防策. 第 106 回日本消化内視鏡学会総

会; 20231102-05; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 65(Suppl.2):1984.

中村純, 引地拓人, 橋本陽. 胃上皮化病変に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の10年間の検討. 第65回日本消化器病学会大会; 20231102-05; 神戸. 日本消化器病学会雑誌. 120(臨増大会):A462.

鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 根本大樹, 澁川悟朗, 鈴木理, 富樫一智. Cold snare polypectomy した早期大腸癌3例の転帰. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 竹澤敬人, 林芳和, 郭哲, 張ルイヤオ, 趙又申, 朱欣, 富樫一智. p-T1b 大腸癌の内視鏡診断における AI の特徴: IoU による定量的検討. 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 鈴木康平, 愛澤正人, 上田健太, 和田淳, 澁川悟朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 当施設における内視鏡切除後出血の現状: 非焼灼切除は出血を減らしたか? 第78回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

〔シンポジウム〕

中村純, 引地拓人, 大平弘正. 小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療の現状と課題. 第169回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 63.

加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. TXI 観察下ヨード染色による表在型食道扁平上皮癌の視認性～色差での検討～. 第169回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230210; 仙台. 抄録集. 64.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 大平弘正. 放射線治療後の局所遺残・再発食道扁平上皮癌に対する光線力学療法. 日本消化器病学会東北支部第214回例会; 20230211; 仙台. プログラム・抄録集. 60.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 小早川雅男. レーザー内視鏡下の l-menthol 散布による早期胃癌の明瞭効果～linked color imaging を中心とした検討～. 第215回日本消化器病学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 72.

柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 75歳以上の高齢者における食道 ESD 非治癒切除後の予後因子. 第170回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 93.

川島一公, 綿引優, 引地拓人. 75歳以上の大腸 ESD 非治癒切除例の追加治療ならびに予後の検討. 第170回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230707-08; 盛岡. プログラム・抄録集. 96.

柳田拓実, 引地拓人, 鳥谷洋右, 八田和久, 嶋田奉広, 濱田晃市, 渡辺晃, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 大平弘正. ESD 非治癒切除であった85歳以上の早期胃癌患者の予後. 第25回日本高齢消化器病学会総会; 20230728-29; 東京. 日本高齢消化器病学会誌. 126(1):70.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法の長期経過と最近の工夫点. 第30回日本門脈圧亢進症学会総会; 20230922-23; 東京. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 29(3):59.

〔その他〕

引地拓人. 上部消化管腫瘍診療における内視鏡 AI の現状と期待すること. 第 169 回日本消化器内視鏡学会東北支部; 20230210; 仙台.

中村純. 食道運動障害の診断と内視鏡治療. 第 35 回日本消化器内視鏡学会東北セミナー; 20231119-1203; Web.

臨床腫瘍センター

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Natori Y, Sasaki E, Suga J, Kimura-Tsuchiya R, Tokuda E, Saji S. The exploratory case-control study on prediction of immune checkpoint inhibitor-induced thyroiditis by human leukocyte antigen types. 2023 ASCO Annual Meeting; 20230603; Chicago, USA.

木村礼子, 齋藤元伸, 後藤杏奈, 鈴木玲, 徳田恵美, 渡邊尚文, 佐野秀樹, 佐治重衡. 当院におけるがん遺伝子パネル検査前カルテ診の有用性について. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230316; 福岡/Web.

徳田恵美, 立花和之進, 岡野舞子, 木村礼子, 野田勝, 村上祐子, 星信大, 名取穰, 阿部貞彦, 伊與田友和, 佐々木栄作, 黒田純子, 大竹徹, 佐治重衡. 当院における乳癌症例に対する免疫チェックポイント阻害薬投与に関連した内分泌障害についての検討. 第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230318; 福岡/Web.

徳田恵美, 木村礼子, 岡野舞子, 赤間孝典, 門馬智之, 渡邊尚文. 当院におけるがん遺伝子パネル検査にて PVPG を認めた症例への対応の現状とその課題. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20230616-17; 高知.

〔シンポジウム〕

池添祐貴, 添田周, 及川雅啓, 名取穰, 加藤麻美, 岡部慈子, 三浦秀樹, 佐藤哲, 加茂矩士, 木村礼子, 古川茂宜, 渡邊尚文, 鈴木博志, 佐治重衡, 藤森敬也. Pembrolizumab 投与後に心筋炎を発症した、血管周囲性類上皮細胞腫瘍の 1 例. 第 153 回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会; 20230617; 秋田.

臨床工学センター

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

今野秀胤, 安田裕貴, 佐々木紀尚, 荒宏樹, 福原之博, 出羽仁. ヘパリン投与後に ACT 延長を認めなかった一症例. 第 9 回北海道・東北臨床工学会; 20231118; 函館.

中村香那, 佐々木紀尚, 荒宏樹, 佐藤梓, 三浦晋, 出羽仁. 私が考える集中治療室業務に必要な勉強とは何か. 第 9 回北海道・東北臨床工学会; 20231118; 函館.

〔シンポジウム〕

佐々木紀尚. 心筋炎に対する ECPELLA の経験～COVID-19 を総括する～. 第 48 回日本体外循環技術医学会大会; 20231020; 仙台.

福原之博, 今野秀胤, 佐々木紀尚, 荒宏樹, 出羽仁. 福島医大の PBM 戦略～患者さんのために出来ることを目指して～. 第 48 回日本体外循環技術医学会大会; 20231020; 仙台.

〔その他〕

福原之博. 当施設の災害対応. 安全管理委員会第 1 回医療安全オンラインセミナー; 20230221; Web.

三浦晋. 当院での VA エコー活用法. 第 2 回血液透析セミナー 超音波エコーを用いた VA 管理; 20230629; Web.

佐藤貴美絵. 当院におけるカテ室でのコメディカルの役割分担. 第 33 回日本臨床工学会; 20230722; 広島.

人工関節センター

論 文

〔原 著〕

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K,

Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

佐藤俊介, 畑下智, 伊藤雅之, 紺野慎一. 遠位骨幹部骨片が過度に後方に転位する大腿骨転子部骨折の形態学的特徴. *骨折*. 202308; 45(4):1133-1139.

〔症例報告〕

佐藤俊介, 伊藤雅之, 畑下智. Hoffa 骨折の関節鏡視下関節内骨折治療の1例 放射線被曝の低減を意識して行う. *骨折*. 202305; 45(3):1046-1050.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Sasaki N, Kameda T, Fushimi Y, Sato S, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Osteoid osteoma of the hand and digit: a report of two cases. 13th Congress of the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531; Singapore.

Fushimi Y, Sasaki N, Kameda T, Utsumi A, Konno S. Upper limb duplication: a case report. 13th Congress of the Asia Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand (APFSSH); 20230531-0603; Singapore.

Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Ogawa I, Suzuki T, Matsumoto Y. Sporadic Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor of the Adrenal Gland: A Case Report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Ogawa I, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Yamada H. Atypical lipomatous tumor of the thigh in a four-year-old girl: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Sato H, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Yamada S, Matsumoto Y. Abscopal effect following proton beam radiotherapy for recurrent dedifferentiated chondrosarcoma a case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Suzuki T, Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Ogawa I, Yamada H, Matsumoto Y. Pleomorphic rhabdomyosarcoma in an elderly patient with neurofibromatosis type 1: A case report. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231004; Taipei, Taiwan.

Hakozaiki M, Kaneuchi Y, Suzuki T, Ogawa I, Yamada H, Tajino T, Konno S, Matsumoto Y. Severe oropharyngeal mucosal injury caused by high-dose methotrexate therapy for osteosarcoma. 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20231006; Taipei, Taiwan.

Sasaki N, Kawakami R, Ejiri S, Hatashita S, Kameda T, Sato S, Fushimi Y, Konno S. The Efficacy of the

Continuous Intra-Arterial Infusion of Heparin for the Lower Leg Free Flap in the Reconstruction of Gustilo 3B and 3C Open Fractures. 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

猪股洋平, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 複数回の手術を要した頸椎砂時計腫の治療経験 3 例報告. 第 33 回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台.

鈴木駿介, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 段階的に手術を施行した筋性斜頸遺残 1 例報告. 第 33 回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 心臓血管外科に紹介され経過観察を指示された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 25 回救急整形外傷シンポジウム; 20230317; 沖縄.

伏見友希, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 内海滉人, 紺野慎一. 上肢重複肢の一例. 第 66 回日本手外科学会学術集会; 20230420-21; 東京.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 畑下智, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 伊藤雅之, 紺野慎一. 受傷 11 時間経過して紹介された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 12 回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

亀田拓哉, 佐々木信幸, 伏見友希, 小林一貴, 利木成広, 紺野慎一, 松本嘉寛. 母指 CM 関節症に対する Yao 変法による関節形成術の治療成績の検討. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

鈴木駿介, 佐藤俊介, 佐々木信幸, 新田夢鷹, 草野敬悟, 紺野慎一, 松本嘉寛. 長期留置された大腿骨インプラントの抜釘困難による医源性骨折. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

菅原崇寛, 新田夢鷹, 佐藤俊介, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 線維性骨異形成症による大腿骨転子下病的骨折に対して上腕骨近位用ロッキングプレートを用いて骨接合術を行った 1 例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609; 福島.

伏見友希, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 佐藤俊介, 紺野慎一, 松本嘉寛. 全身性強皮症に合併し治療に難渋した手指の皮膚潰瘍と化膿性近位指節関節炎の一例. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の 1 例. 第 49 回日本骨折治療学会; 20230629-30; 静岡. 骨折. 45(Supplement):S476.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の 1 例. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1366.

山田仁, 高橋信久, 大原喜裕, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 菊田敦, 佐野秀樹, 紺野慎一. 小児がん後の二次性骨肉腫の治療経験. 第 56 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1387.

小川到, 箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 4歳女児に発症した異型脂肪腫様腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230713; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1503.

鈴木丈夫, 山田仁, 小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 紺野慎一. 神経線維腫1型に合併した脱分化型脂肪肉腫の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1495.

金内洋一, 箱崎道之, 山田匠希, 山田仁, 小川到, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 副腎原発孤発性悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20230714; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 97(6):S1498.

新田夢鷹, 青田恵郎, 草野敬悟, 菅原崇寛, 松本嘉寛. Direct Superior Approach の術後早期の歩行回復についての検討. 第72回東日本整形災害外科学会; 20230922; 旭川.

小川到, 金内洋一, 箱崎道之, 佐藤俊介, 紺野慎一. 術前デノスマブ療法で膝関節内病変を可視化した骨巨細胞腫による大腿骨遠位端病的骨折の1例. 第49回日本骨折治療学会学術集会; 20230929; 静岡.

亀田拓哉, 伏見友希, 佐藤俊介, 佐々木信幸. 特発性後骨間神経麻痺と特発性前骨間神経麻痺を同時に発症した1例. 第36回福島手外科研究会; 20231014; 郡山.

佐藤宏樹, 箱崎道之, 金内洋一, 小川到, 鈴木丈夫, 長谷川靖, 山田匠希, 山田仁, 松本嘉寛. 局所再発に対する陽子線治療後に縮小した肉腫肺転移の1例. 第30回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20231111; 湯沢町.

臨床研究教育推進部

論文

〔原著〕

Niihata K, Nishiwaki H, Kinoshita M, Kurosawa K, Sakuramachi Y, Matsunaga S, Okamura S, Tsujii S, Hayashino Y, Kurita N. Association between urinary C-megalin levels and progressive kidney dysfunction: a cohort study based on the Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 24). Acta Diabetologica. 202312; 60(12):1643-1650.

Shibata Y, Omae K, Minemura H, Suzuki Y, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kambe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Inage M, Hirama N, Furuyama K, Fukushima S, Saito H, Machiya JI, Machida H, Abe K, Iwabuchi K, Katagiri Y, Aida Y, Abe Y, Ota T, Ishizawa Y, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Kurita N, Iseki K.

Development and external validation of the DOAT and DOATS scores: simple decision support tools to identify disease progression among nonelderly patients with mild/moderate COVID-19. *BMC Pulmonary Medicine*. 202308; 23(1):312.

Tsutsumi Y, Tsujimoto Y, Tajika A, Omae K, Fujii T, Onishi A, Kataoka Y, Katsura M, Noma H, Sahker E, Ostinelli EG, Furukawa TA. Proportion attributable to contextual effects in general medicine: a meta-epidemiological study based on Cochrane reviews. *BMJ Evidence-based Medicine*. 202302; 28(1):40-47.

Shimizu S, Niihata K, Nishiwaki H, Shibagaki Y, Yamamoto R, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Okada H, Narita I, Isaka Y, Kurita N. Initiation of Renin-Angiotensin System Inhibitors and the Incidence of First Complete Remission in Patients with Primary Nephrotic Syndrome: A Nationwide Cohort Study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202305; 27(5):480-489.

Wada T, Shimizu S, Koizumi M, Sofue T, Nishiwaki H, Sasaki S, Nakaya I, Oe Y, Ishimoto T, Furuichi K, Okada H, Kurita N. Japanese clinical practice patterns of primary nephrotic syndrome 2021: a web-based questionnaire survey of certified nephrologists. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202309; 27(9):767-775.

Nakagawa H, Takeshima T, Ozaka A, Sasaki S, Kurita N, Hamaguchi S, Fukuhara S. Poor Sleep Quality as a Risk Factor for Constipation Among Community-Dwelling Older Adults in Japan. *Cureus*. 202309; 15(9):e46175.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Nonnegligible Seroprevalence and Predictors of Murine Typhus, Japan. *Emerging Infectious Diseases*. 202307; 29(7):1438-1442.

Anan G, Kikuchi D, Omae K, Hirose T, Okada K, Mori T. Sodium-glucose cotransporter-2 inhibitors increase urinary tract infections?-a cross sectional analysis of a nationwide Japanese claims database. *Endocrine Journal*. 202311; 70(11):1103-1107.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Naganuma T, Takahashi S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Differences in attitude toward COVID-19 based on internet and social media usage among community-dwelling older adults during the first state of emergency. *Geriatrics & Gerontology International*. 202304; 23(4):289-296.

Sato M, Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Otani K, Konno SI, Oi N. Relationship between dysphagia and motor function in community-dwelling older people. *Geriatrics & Gerontology International*. 202308; 23(8):603-608.

Takahashi S, Naganuma T, Kurita N, Omae K, Ohnishi T, Yoshioka T, Ito F, Takeshima T, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S. Social Isolation/Loneliness and Tooth Loss in Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Innovation in Aging*. 202306; 7(6):igad065.

Ishikura K, Omae K, Sasaki S, Shibagaki Y, Ichioka S, Okuda Y, Koitabashi K, Suyama K, Mizukami T, Kondoh C, Hirata S, Matsubara T, Hoshino J, Yanagita M. Chapter 4: CKD treatment in cancer survivors, from Clinical Practice Guidelines for the Management of Kidney Injury During Anticancer Drug Therapy 2022.

International Journal of Clinical Oncology. 202310; 28(10):1333-1342.

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Serological Cross-Reactivity Between Spotted Fever and Typhus Groups of Rickettsia Infection in Japan. International Journal of Infectious Diseases. 202303; 130:178-181.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. Journal of Applied Gerontology. 202305; 42(5):1056-1067.

Miyawaki Y, Sada KE, Shidahara K, Nawachi S, Asano Y, Katayama Y, Hayashi K, Katsuyama E, Katsuyama T, Takano-Narazaki M, Matsumoto Y, Oguro N, Yajima N, Ishikawa Y, Sakurai N, Hidekawa C, Yoshimi R, Ichikawa T, Kishida D, Shimojima Y, Wada J, Kurita N. The association of grit with burnout components (professional efficacy, exhaustion, and cynicism) among academic rheumatologists: The TRUMP2-SLE study. Journal of Clinical Rheumatology. 202309; 29(6):268-274.

Horie H, Ogiso S, Yoh T, Fukumitsu K, Ishii T, Omae K, Hatano E. Albumin-Bilirubin Score at Post-Hepatectomy Hepatocellular Carcinoma Recurrence: Impact on Survival and Association with Post-Hepatectomy Liver Failure. Journal of Gastrointestinal Surgery. 202311; 27(11):2414-2423.

Okamura S, Niihata K, Nishiwaki H, Tsujii S, Ishii H, Hayashino Y, Kurita N; Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group. Association between physical activity and kidney function decline in patients with type 2 diabetes: a prospective cohort study (Diabetes Distress and Care Registry at Tenri [DDCRT 11]). Journal of Nephrology. 202312; 36(9):2657-2660.

Omae K, Kondo T, Fukuma S, Ikenoue T, Toki D, Tachibana H, Horiuchi T, Ishiyama R, Yoshino M, Ishiyama Y, Fukuhara S, Tanabe K, Takagi T. Effects of remote ischemic preconditioning on renal protection in patients undergoing robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy. Journal of Robotic Surgery. 202310; 17(5):2081-2087.

Oguro N, Yajima N, Ishikawa Y, Sakurai N, Hidekawa C, Ichikawa T, Kishida D, Hayashi K, Shidahara K, Miyawaki Y, Yoshimi R, Sada KE, Shimojima Y, Kurita N. Impact of Attending Rheumatologist's Big Five Personality Traits on Systemic Lupus Erythematosus Patients' Trust: The TRUMP2-SLE Project. Journal of Rheumatology. 202402; 51(2):168-175.

Ichikawa T, Kishida D, Shimojima Y, Yajima N, Oguro N, Yoshimi R, Sakurai N, Hidekawa C, Sada KE, Miyawaki Y, Hayashi K, Shidahara K, Ishikawa Y, Sekijima Y, Kurita N. Impact of online health information-seeking behavior on shared decision-making in patients with systemic lupus erythematosus: the TRUMP2-SLE project. Lupus. 202310; 32(11):1258-1266.

Yasunaka M, Tsugihashi Y, Hayashi S, Iida H, Hirose M, Shirahige Y, Kurita N; ZEVIIOUS group. Relationship of life expectancy with quality of life and health-related hope among Japanese patients receiving home medical care: The Zaitaku Evaluative Initiatives and Outcome Study. PLOS ONE. 202312;

18(12):e0295672.

吉見竜介, 栗田宜明, 矢嶋宣幸. 【レジストリ, コホートをを用いた疫学的研究】全身性エリテマトーデス診療における shared decision making. リウマチ科. 202306; 69(6):653-659.

大前憲史. 【Neuro-Urology】Cutting Edge: Longitudinal Associations between Concurrent Changes in Phenotypic Frailty and Lower Urinary Tract Symptoms among Older Men. 排尿障害プラクティス. 202312; 31(2):167-176.

栗田宜明. 生成系 AI が診療と研究指導に与えるインパクトへの所感. 福島県医師会報. 202308; 85(8):69.

栗田宜明. 【透析患者の希望(ホープ)を照らす】希望の内訳 CKD・透析患者の希望を測定する健康関連ホープ尺度の開発と応用. 臨床透析. 202309; 39(10):1165-1170.

〔その他〕

小黒奈緒, 矢嶋宣幸, 蒔田淳平, 河森一毅, 林智樹, 柳井亮, 磯島咲子, 三輪裕介, 宮脇義亜, 吉見竜介, 下島恭弘, 佐田憲映, 櫻井菜月, 秀川智春, 岸田大, 市川貴規, 林啓悟, 志田原健太, 石川雄一, 栗田宜明. SLE のコホート研究 医師の性別・Big Five 性格特性が全身性エリテマトーデス患者の主治医への信頼に与える影響 TRUMP2-SLE 研究. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集. 202303; 67 回:517.

矢嶋宣幸, 小黒奈緒, 多田堯央, 三浦瑤子, 羽多野美香, 柳井亮, 磯島咲子, 三輪裕介, 秀川智春, 櫻井菜月, 吉見竜介, 市川貴規, 岸田大, 下島恭弘, 志田原健太, 林啓悟, 宮脇義亜, 佐田憲映, 石川雄一, 栗田宜明. SLE のコホート研究 主治医と SLE 患者の性格特性(Grit)は診療の共同意思決定に影響するか? TRUMP2-SLE 研究. 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集. 202303; 67 回:518.

栗田宜明. 【透析患者の希望(ホープ)を照らす】編集後記. 臨床透析. 202309; 39(10):1248.

大前憲史. 効果的な論文査読を行うために知っておきたい重要な視点. 老年看護学. 202301; 27(2):26-31.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

大前憲史. 非がん治療薬に対する米国 FDA の迅速承認プログラム—26 年のレビューに基づく包括的評価—. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松.

大前憲史. Effect of remote ischemic preconditioning on renal protection in patients undergoing robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230421; 神戸.

Hidekawa C, Yoshimi R, Yajima N, Kurita N, Sakurai N, Oguro N, Shidahara K, Hayashi K, Ichikawa T, Kishida D, Miyawaki Y, Sada K, Shimojima Y, Ishikawa Y, Yoshioka Y, Kunishita Y, Kishimoto D, Minegishi K, Kirino Y, Ohno S, Nakajima H. Does shared decision-making affect the quality of life in SLE patients? : the

TRUMP2-SLE study. 第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20230424; 福岡.

大前憲史. 非がん治療薬に対する米国食品医薬品局の迅速承認プログラム—26 年のレビューに基づく包括的評価—, 2023 年度第 2 回医療科学フォーラム; 20231127; 東京.

〔シンポジウム〕

大前憲史. 臨床疫学的アプローチで拓く尿路結石治療：リアルワールド・データ活用の課題と展望. 第 110 回日本泌尿器科学会総会; 20230420; 神戸.

大前憲史. 高齢者下部尿路症状はフレイルや認知機能低下と関連するか？ 第 36 回日本老年泌尿器科学会; 20230527; 大津.

石井亮丞, 田栗正隆, 富永亮司, 清水さやか, 奥田忠久, 新畑寛也, 會田哲朗, 池之上辰義, 栗田宜明. Preference-Based な操作変数の選択の違いが効果推定のバイアスに及ぼす影響とその解決策の提案. 2023 年度日本分類学会シンポジウム; 20231202; 長崎.

〔特別講演〕

大前憲史. 福島で働く臨床疫学系ウロロジスト. 名大ネットワークキャリアセミナー Vol.4; 20231222; Web.

〔招待講演〕

大前憲史. 過活動膀胱は転倒リスク因子？—私はこうして論文化した—, 第 9 回會津藩校日新館臨床研究デザイン塾; 20230205; 福島.

大前憲史. 腎・泌尿器がん領域における予測モデル研究のすすめ. 腎泌尿器がんセミナー; 20230607; 東京.

大前憲史. OAB とフレイル 福島県から発信する疫学的エビデンス. 第 106 回うつくしま泌尿器科研究会; 20231106; 福島.

大前憲史. リサーチクエスションにおいて何が最も重要なのか?: Feasible, Interesting, Novel, Ethical, Relevant. 日本臨床疫学会第 6 回年次学術大会; 20231112; 東京.

性差医療センター

論文

〔原 著〕

Kamo N, Takahashi T, Soeda S, Jimbo M, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Hydrosalpinx in a premenarcheal 14-year-old girl with the proliferation of smooth muscle cells in the isthmus of the fallopian tube: A case report. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):769-774.

薬剤部

論文

〔原 著〕

Miura I, Horikoshi S, Ichinose M, Suzuki Y, Watanabe K. Lurasidone for the Treatment of Schizophrenia: Design, Development, and Place in Therapy. *Drug Design, Development and Therapy*. 202309; 17:3023-3031.

Iihara H, Shimokawa M, Bando H, Niwa Y, Mizuno Y, Kawaguchi Y, Kitahara M, Murakami A, Kawai M, Ishida K, Takeuchi M, Ishihara K, Iyoda T, Nakada T, Ogiso A, Kojima Y, Kumagai F, Sawa A, Mori R, Higuchi K, Furuta T, Kamei Y, Tsuchiya M, Terasaki A, Yamamoto S, Kitazawa M, Okazaki M, Suzuki A, Futamura M. Doublet or Triplet Antiemetic Prophylaxis for Nausea and Vomiting Induced by Trastuzumab Deruxtecan: an Open-Label, Randomized, and Multicenter Exploratory Phase 2 Study. *Journal of Cancer*. 202308; 14(14):2644-2654.

Horikoshi S, Miura I, Suzuki Y, Kobayashi Y, Hirata Y, Goto M, Ichinose M, Yamamoto S, Kanno-Nozaki K, Watanabe K, Yabe H. Switching to lemborexant for the management of insomnia in mental disorders: the SLIM study. *Journal of Clinical Sleep Medicine*. 202310; 19(10):1753-1758.

伊與田友和. 【化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN)～しびれに悩む患者に, なにができるか～】 CIPN とは CIPN に対する治療 薬物療法. *がん看護*. 202307; 28(6):537-540.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 齋藤悠, 大江敬太郎, 伊與田友和, 島袋充生, 黒田純子, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害薬投与における内分泌障害の検討. *癌と化学療法*. 202302; 50(2):177-182.

書籍等出版物

伊與田友和. 第7章 泌尿器がん I. 腎臓がん 74 アキシチニブ（インライタ）. In: 濱敏弘 監修, 青山剛, 他編集. がん化学療法レジメン管理マニュアル 第4版. 東京: 医学書院; 202302. p.616-623.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

鈴木詩子, 村上美紀, 高橋智子, 野地成子, 松村勇輝, 斎藤純平. 当院における特定臨床研究の現状－施行規則改正を受けた前年度までのアンケート調査との比較－. 日本臨床試験学会第14回学術集会総会; 20230210; 金沢.

伊與田友和, 菅野雅仁, 黒田純子. 連携充実加算にかかる情報共有の問題点. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023; 20230305; 名古屋.

徳田恵美, 立花和之進, 岡野舞子, 木村礼子, 野田勝, 村上祐子, 星信大, 名取穰, 阿部貞彦, 伊與田友和, 佐々木栄作, 黒田純子, 大竹徹, 佐治重衡. 当院における乳癌症例に対する免疫チェックポイント阻害薬投与に関連した内分泌障害についての検討. 第20回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20230316-18; 福岡/Web.

移川基子. 当院での薬剤師 HIV 外来活動報告. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会; 20230610; 郡山.

菅野雅仁, 後藤真明, 伊與田友和, 鈴木優佳, 黒田純子. がん薬物療法レジメン確認の記録方法変更による多職種への行動変化. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会; 20230610; 郡山.

陣野大輔, 菅野奈緒美, 須藤孝浩, 黒田純子. 医薬品集計業務を効率化するためのQC活動についての報告. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会; 20230610; 郡山.

鈴木美貴恵, 菅野奈緒美, 須藤孝浩, 黒田純子. 当院の疑義照会簡素化プロトコル運用開始後の現状. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会; 20230610; 郡山.

橋本直樹, 陣野大輔, 菅野奈緒美, 黒田純子. 院内フォーミュラリー導入から2年における検証. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会; 20230610; 郡山.

黒田純子, 及川雅啓, 徳田恵美, 立花和之進, 大竹徹, 竹石恭知, 佐治重衡. 乳がん患者を対象としたアン斯拉サイクリン系 抗がん薬による心機能障害発現の後方視的調査. 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20231001; 神戸.

石井重亮, 橋本直樹, 阿部裕也, 須藤孝浩, 黒田純子. 糖尿病領域のタスクシフトについて. 第22回福島糖尿病療養指導研修会; 20231028; 郡山.

小林尚太, 石井重亮, 吉田裕美, 須藤孝浩, 黒田純子. 当院のプレアボイド報告の現状について. 第27回福島県薬剤師学会大会; 20231029; 福島.

永島久義, 大江敬太郎, 菅野晴香, 石井重亮, 吉田裕美, 星正弘, 須藤孝浩, 黒田純子. 医師の業務負担軽減に向けた取り組み 薬剤師による定期処方入力支援. 第33回日本医療薬学会年会; 20231104; 仙台.

山崎亮, 渡辺研弥, 須藤孝浩, 黒田純子. 入院前面談における疑義照会内容とその解析. 第33回日本医療薬学会年会; 20231105; 仙台.

〔シンポジウム〕

黒田純子, 渡邊美保, 大江敬太郎, 伊與田友和. 組織力アップ irAE 対策チーム ACiST の取り組み. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学会大会; 20230611; 郡山.

石井重亮, 黒田純子. 糖尿病薬物療法と薬薬連携について. 第27回福島県薬剤師学会大会; 20231029; 福島.

〔特別講演〕

伊與田友和. 実践! がん薬物療法の皮膚障害対策—保湿剤、ステロイド外用剤を中心に—. 日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学会大会; 20230610; 郡山.

〔その他〕

移川基子. 当院での HIV 外来活動報告. HIV/AIDS ブロック・中核拠点病院薬剤師連絡会議; 20231202; 京都.

大学健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Ohnishi T, Toda W, Itagaki S, Sato A, Matsumoto J, Ito H, Ishii S, Miura I, Yabe H. Disrupted structural connectivity and less efficient network system in patients with the treatment-naïve adult attention-deficit/hyperactivity disorder. *Frontiers in Psychiatry*. 2023; 14:1093522.

Sato A, Itagaki S, Matsumoto T, Ise Y, Yokokura S, Wada T, Hayashi K, Kakamu T, Fukushima T, Nikaido T, Konno S, Yabe H. Prediction of the prognosis of somatoform disorders using the Minnesota Multiphasic Personality Inventory. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2023; 69(2):105-113.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. Schizophrenia Research. 202302; 254:40-41.

板垣俊太郎, 矢部博興. 【発達障害と事象関連電位】大人の発達障害の事象関連電位. 臨床神経生理学. 202304; 51(2):83-86.

星野大, 荒川英香, 錫谷研, 板垣俊太郎, 矢部博興. 【MMN】ミスマッチ陰性電位における周波数変化の検出について. 臨床神経生理学. 202306; 51(3):135-137.

過年業績

板垣俊太郎, 佐々木太士, 佐藤亜希子, 一瀬瑞絵, 佐藤彩, 島村美帆, 丹治良, 千代田高明, 三浦至, 矢部博興. トウレット症候群の改善に伴う抗精神病薬治療終結後に統合失調症を発症した一例. 東北児童青年精神医学会機関誌. 2022; 23(1):33-35.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

板垣俊太郎, 矢部博興, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 神谷研二. 福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちへの支援—県民健康調査「ここから調査」より—. 第119回日本精神神経学会学術総会; 20230624; 横浜.

板垣俊太郎. 福島の子どもたち—県民健康調査からの知見—. 第64回日本児童青年精神医学会総会; 20231114; 弘前.

板垣俊太郎. 神経発達障害における聴覚事象関連電位の最近の知見について. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会; 20231202; 福岡.

〔特別講演〕

Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Yasumura S, Kamiya K, The Team for Mental Health and Lifestyle Survey. Mental Health Care for Children after the Great East Japan Earthquake and Nuclear Power Plant Accident: Fukushima Health Management Survey. ASCAPAP2023; 20230526-28; Kyoto.

板垣俊太郎. ADHD 薬物療法4剤時代の使い分け. 福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部 2023年(令和5年)6月合同研修会; 20230629; 福島.

〔招待講演〕

板垣俊太郎. ADHD 治療薬の UPDATE. Tohoku ADHD Meeting; 20230111; Web.

板垣俊太郎. 2 次障害を呈する成人期 ADHD への対応とインチュニブへの期待. インチュニブ WEB セミナー; 20230315; Web.

板垣俊太郎. 当院における成人期発達障害の治療に関して. 第 43 回 CNS 倶楽部; 20231205; Web.

甲状腺検査室

論 文

〔原 著〕

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Clinical Pediatric Endocrinology. 2023; 32(1):52-57.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shio K, Yamaya Y, Suzuki S, Matsumoto Y, Suzuki S, Furuya F. Phosphorylated TERT contributes to the progression of papillary thyroid carcinomas. American Thyroid Association Annual Meeting 2023; 20230927; Washington, USA.

浅野眞比呂, 高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 太田寿, 鈴木聡, 古屋文彦, 鈴木悟, 鈴木眞一, 大平哲也, 安村誠二, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」本格検査における甲状腺のう胞の発見率及び最大径の分析. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学学会; 20230513; 東京.

小穴奈緒美, 桜井正児, 河本敦夫, 鶴岡雅彦, 松原馨, 小柳紀子, 宮本淑子, 高橋智里, 遠藤登喜子, 中島一毅. JABTS 監修日常点検用体表超音波精度管理ファントム US-4B の使用方法と評価法. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会; 20230513-14; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):139.

高橋智里, 中畑那奈, 江尻遥香, 浅野眞比呂, 長嶺夏希, 佐藤綾子, 太田寿, 志村浩己. 超音波診断装置評価用ファントムを用いた超音波診断装置の経時変化の評価. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:24.

金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一, 志村浩己. Digital PCR 法を用いた甲状腺腫瘍術前遺伝子検査法の開発. 第 55 回日本臨床検査医学会東北支部総会・第 34 回日本臨床化学会東北支部総会; 20230902; 弘前.

〔シンポジウム〕

太田寿, 長嶺夏希, 高橋智里, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 鈴木聡, 鈴木眞一, 鈴木悟, 古屋文彦, 志村浩己. 福島県「県民健康調査」における甲状腺超音波検査の迅速化および標準化のための方策. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 古屋文彦, 志村浩己, 鈴木眞一. 細胞診検体を用いた遺伝子検索. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527; さいたま.

総合科学教育研究センター 人文・社会科学領域

論 文

〔原 著〕

Takaki S, Kubota K. Relationship Between Perception and Performance on an L1 Summary Writing Task of an L2 Text: A Case Study of Japanese EFL University Students. TELES Journal. 2023; 43:34-42.

Kubota K. Developing and Revising a Rating Scale for Reading-to-Write Tasks in Classroom Assessments. TELES Journal. 2023; 43:43-54.

立柳聡. 共有地の所有形態にみる社会構造の象徴性—多摩源流域—山村の事例から—. 東洋大学大学院紀要社会学研究科. 202303; 59:1-12.

福田俊章. 行為をめぐる 2 つの問い・統論—カント倫理学における形式主義と「何をなすべきか」. 比較文化研究. 202307; 152:53-62.

過年業績

福田俊章. 行為をめぐる 2 つの問い—カント倫理学における「どの行為をなすべきか」と「いかに行為をなすべきか」. 比較文化研究. 202207; 148:97-107.

〔その他〕

本多創史. 市野川容孝さんの書評へのリプライ. 障害学研究. 202302; 18:393-399.

末永恵子. 蒔昭三先生との出会いに感謝. 戦争と医学. 202312; 24:43.

末永恵子. 書評: 王選主編『大戦年—1943 年衛河流域戦争災難口述史』. 戦争と医学. 202312; 24:49-50.

末永恵子. 書評: 川村一之著『七三一部隊 1931-1940』. 図書新聞. 202304; (3589):3.

末永恵子. 富士川游学術奨励賞を受賞して. 日本医史学雑誌. 202312; 69(4):474-475.

書籍等出版物

Yasuta T. Manga: A Motivating Multimodal Medium for Learning English. In: Jason D. DeHart. Exploring Comics and Graphic Novels in the Classroom. Hershey, USA: IGI Global; 2023. p.167-189.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 第7巻 (外地「いのち」の資料集5). 金沢: 金沢文圃閣; 202304.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 第8巻 (外地「いのち」の資料集5). 金沢: 金沢文圃閣; 202304.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 第9巻 (外地「いのち」の資料集5). 金沢: 金沢文圃閣; 202304.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第7巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202308.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第8巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202308.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第9巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202308.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第10巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202302.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第11巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202302.

末永恵子 監修・解題. 中国占領地同仁会 2 第12巻 (外地「いのち」の資料集6). 金沢: 金沢文圃閣; 202302.

末永恵子 解題. 巡回診療報告書 (外地「いのち」の資料集7 満洲医科大学 2 第1巻). 金沢: 金沢文圃閣; 202307.

末永恵子 解題. 巡回診療報告書 (外地「いのち」の資料集7 満洲医科大学 2 第2巻). 金沢: 金沢文圃閣; 202307.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Yasuta T. A Practical EFL Project: Using Manga to Promote Local Businesses. 22nd Annual Hawaii International Conference on Education; 20230103-06; Honolulu, USA.

Yasuta T. Transferable speaking skills in EFL: Through virtual conversation in Manga. 8th IAFOR International Conference on Education in Hawaii; 20230105-08; Honolulu, USA.

Yasuta T. Improving pronunciation skills via virtual conversation in Manga. JALTCALL 2023; 20230602-04; Kumamoto.

Yasuta T. New Prospects in Manga as an EFL Material for Higher Education. 10th International Conference on Language, Literature & Linguistics 2023; 20230720-21; Bangkok, Thailand.

Yasuta T. Manga-based approach: Fostering EFL writing growth among health sciences majors. 19th Symposium on Second Language Writing; 20231027; Tempe, USA.

Yasuta T. Manga-based approach for advanced EFL writing. 2023 JALT Hokkaido Winter Language Teaching Conference; 20230204-05; Sapporo.

Yasuta T. A Manga-based Approach to College-level Writing Skills. JALT Kyoto My share@Campus Plaza; 20230325; Kyoto.

末永恵子. 満洲医科大学の終焉と感染症対策. 戦争と医学医療研究会第 50 回定例研究会; 20230326; 大阪/Web.

〔招待講演〕

Yasuta T. New Prospects in Manga for College-level EFL Classroom. JALT October Grand Forum hosted by Gifu, Nagoya and Toyohashi Chapters 2023; 20231008; Gifu.

立柳聡. 地域の側から見た子どもの育ちをめぐる関心事ー2022 年の動向を中心にー. 第 72 次東京教研集会; 20230219; 東京.

立柳聡. 子ども支援専門職養成・設立をめぐる動向. 子ども・若者支援専門職養成研究所研究会; 20230311; 奈良.

末永恵子. 植民地・地占領地の環境適応と生活科学ー京都帝国大学戸田衛生学教室を中心に. 日本医史学会 11 月例会; 20231125; 東京/Web. 日本医史学雑誌. 70(1):107-108.

〔その他〕

矢原隆行, 三澤文紀. リフレクティング・プロセス: トム・アンデルセンの会話哲学と実践. 日本家族心理学会第 40 回大会; 20230916-18; 仙台.

末永恵子. 「マルタ」と「ロームンシャ」の叫びを聴く. 慶應義塾経済学会『ワクチン開発と戦争犯罪ーインドネシア破傷風事件の真相』書評会; 20231215; 東京/Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

- 立柳聡. 東京都新宿区成子天神社民俗（富士塚）調査. 20230105.
- 立柳聡. 神奈川県藤沢市白旗神社民俗（看護師お守り）調査. 20230107.
- 立柳聡. 東京都北区道観山稲荷神社民俗（稲付餅つき歌）調査. 20230205.
- 立柳聡. 千葉県旭市松沢熊野神社民俗（祈念祭）調査. 20230217.
- 立柳聡. 山梨県大月市鳥沢民俗（技術伝承・植菌）調査. 20230225.
- 立柳聡. 長野県長野市小田切地区民俗（数珠繰り）調査. 20230321.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区、並びに、八丈小島民俗調査予備調査. 20230329-0401.
- 立柳聡. 長野県伊那市伊那福音教会行事（祈年祭）調査. 20230420.
- 立柳聡. 八丈小島社会調査予備調査. 20230429-0501.
- 立柳聡. 千葉県旭市松沢熊野神社民俗（神幸祭）調査. 20230514.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区民俗調査予備調査. 20230610-12.
- 立柳聡. 長野県長野市小田切地区世帯調査予備調査. 20230709.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査予備調査. 20230716-18.
- 立柳聡. 長野県長野市小田切地区世帯調査予備調査. 20230724.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査. 20230731-0802.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査. 20230807-11.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査. 20230818-20.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査. 20230907-10.
- 立柳聡. 八丈島末吉地区宮裏民俗調査、並びに、八丈小島移民調査. 20230916-20.
- 立柳聡. 千葉県旭市松沢熊野神社民俗（式年大祭）調査. 20231001.
- 立柳聡. 千葉県旭市松沢熊野神社民俗（神幸祭）調査. 20231007-08.

立柳聡. 山梨県大月市鳥沢民俗（収穫祭）調査. 20231026.

立柳聡. 長野県長野市小田切地区麻庭世帯調査予備調査. 20231210.

立柳聡. 八丈島末吉地区三島神社民俗（例大祭）調査. 20231225-28.

総合科学教育研究センター 数物・情報・統計科学領域

論文

〔原 著〕

Konno H, Nakamura N. Constraints on families of smooth 4-manifolds from $\text{Pin}(2)$ -monopole. *Algebraic and Geometric Topology*. 202303; 23(1):419-438.

Goto A, Lloyd Williams A, Okabe S, Murakami M, Machida M, Koriyama C, Nollet KE. Beyond radiation anxiety and country borders: applying health literacy in the field after the Fukushima nuclear disaster. *Annals of the ICRP*. 2023; 52(S1):149-152.

Imaizumi M, Suyama K, Goto A, Hosoya M, Murono S. Flowchart for selecting an appropriate surgical airway in neurologically impaired pediatric intubated patients: a case series. *Brazilian Journal of Otorhinolaryngology*. 202309; 89(5):101290.

Kaneko I, Goto A, Nollet KE. Can a mood tracker improve young people's mental health? *Diponegoro International Medical Journal*. 202312; 4(2):57-60.

Kinoshita L, Goto A, Okabe S, Satoh K, Honda K, Ueda K, Murakami M and Nollet KE. Daily meals in context: a quantitative analysis of elementary school students' drawings. *Frontiers in Communication*. 2023; 8:1008108.

Lam PV, Goto A, Vuong TNT, Nguyen ATQ, Nguyen TQ, Quynh Hoa Vu QH, Yokokawa H. Evaluation of Vietnamese written materials for diabetes prevention and management in Ho Chi Minh City. *Health Literacy and Communication Open*. 2023; 1(1):2274593.

Kuroda Y, Goto A, Koriyama C, Suzuki K. Association of health literacy with anxiety about COVID-19 under an infectious disease pandemic in Japan. *Health Promotion International*. 202304; 38(2):daac200.

Hoshi K, Kanno M, Goto A, Ugawa Y, Furukawa K, Arai H, Miyajima M, Takahashi K, Hattori K, Kan K,

Saito T, Yamaguchi Y, Mitsufuji T, Araki N, Hashimoto Y. Brain-derived major glycoproteins are possible biomarkers for altered metabolism of cerebrospinal fluid in neurological diseases. *International Journal of Molecular Sciences*. 202303; 24(7):6084.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Arai T, Goto A. Parents' needs and satisfaction levels for parenting support schemes provided by local government: secondary analysis of cross-sectional survey data. *Journal of Primary Care and Community Health*. 202301; 14:21501319231199978.

Ozawa R. Radiation Measurements at Fukushima Medical University over a Period of 12 Years Following the Nuclear Power Plant Accident. *Journal of Radiation Protection and Research*. 202309; 48(3):153-161.

Goto A, Satoh K, Reich MR. Two pills and Women's Health in Japan. *Lancet regional health. Western Pacific*. 202310; 40:100946.

Liutsko L, Oughton D, Tomkiv Y, Fattibene P, Monaca SD, Nuccetelli C, Goto A, Ohba T, Lyamzina Y, Tanigawa K, Novikava N, Chumak V, Pirard P, Charron S, Laurier D, Croûail P, Schneider T, Barquinero JF, Sarukhan A, Cardis E. Resilience after a nuclear accident: readiness in using mobile phone applications to measure radiation and health indicators in various groups (SHAMISEN SINGS project). *Journal of Radiological Protection*. 202312; 43(4):041511.

Kinjo K, Fujibayashi H, Kitagawa S, Ishida K, Tokunaga Y, Sakai H, Kambe S, Nakamura A, Shimizu Y, Homma Y, Li DX, Honda F, Aoki D, Hiraki K, Kimata M, Sasaki T. Change of superconducting character in UTe₂ induced by magnetic field. *Physical Review B*. 202302; 107:L060502.

Kato T, Konno H, Nakamura N. A note on exotic families of 4-manifolds. *Proceedings of the American Mathematical Society*. 202306; 151(6):2695-2705.

Ito S, Okabe S, Goto A. Attitudes toward future motherhood among female college students in Fukushima Prefecture at seven years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Radioprotection*. 202310; 58(4):271-279.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Mori M, Sakurai K, Ishikuro M, Hamada H, Saito M, Sugawara J, Arima T, Metoki H, Kuriyama S, Goto A, Yaegashi N, Nishigori H. Factors associated with new onset of father-to-infant bonding failure from 1 to 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan environment and children's study. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*. 202311; 58(11):1603-1624.

岡部聡子, 後藤あや, 紺野信弘. ヘルスリテラシーの視点を活用した精神疾患患者用の栄養指導用リーフレットの評価と精神科栄養指導における電子媒体使用の可能性について. *郡山女子大学紀要*. 202303; 59:169-181.

山脇功次, 後藤あや, 齋藤麻友佳, 津富宏. ノーバディーズ・パーフェクト育児支援に参加した母親の悩みと気持ちの変化の対応. 東海公衆衛生雑誌. 202307; 11(1):79-86.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Popkov D, Yokokawa H, Kumagai A, Goto A. Epidemiology, education, and care for patients with diabetes in Belarus. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 202311; 12:1-9.

〔症例報告〕

Lloyd Williams A, Goto A, Mwemezi Safina E, Simba Akintije C. ACTing for Creative Health in Rwandan schools: exploring children's ideas about food through participatory theatre. Africa Health. 202310; 45(4):26-28.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shibata K, Adachi T. Haplotype associations with quantitative traits in the presence of confounding and population stratification. 10th International Council for Industrial and Applied Mathematics; 20230820-25; Tokyo.

関根孝彦, 須波圭史, 宮川和也, 開康一, 加藤礼三, 鹿野田一司. α -(BETS)2I3 における伝導面平行磁場下 ^{13}C NMR 研究 II. 日本物理学会第 78 回年次大会; 20230918; 仙台.

〔シンポジウム〕

Goto A. Health literacy as a driving force of community resilience in crisis. Social Council of Japan: International Conference on Science and Technology for Sustainability 2022; 20230125-26; Web.

Goto A. Health literacy as a driving force of community resilience in crisis. International Symposium on the Fukushima Health Management Survey; 20230304; Fukushima.

Goto A. Mothers worry and children act, for change in the community. 2023 Osaka University - University of Melbourne Joint Research Workshop; 20230305-07; Osaka.

Nakamura N. Upper bounds for virtual dimensions of Seiberg-Witten moduli spaces. Gauge Theory in Kyoto; 20230324; Kyoto.

Benski C, Goto A. Technological innovation in international training and advancing health services: Two cases during the COVID-19 pandemic. 40th Anniversary Takemi Symposium in International Health; 20231020-21; Boston, USA.

Goto A. Digital health: global trend. 40th Anniversary Takemi Symposium in International Health; 20231111; Tokyo.

開康一. 2 バンド 1 次元系 HMTSF-TCNQ の NMR 研究. 強磁場 NMR 研究会 : 20T 超定常強磁場を用いた NMR による物性研究; 20231212; 仙台.

〔招待講演〕

Goto A. Health literacy promotion as a key in long-term responses after the Fukushima nuclear disaster in 2011. Department of Global Health and Population Brown Bag Seminar, Harvard Chan School of Public Health; 20230420; Web.

総合科学教育研究センター 生物・化学領域

論文

〔原 著〕

Ariyoshi K, Fujishima Y, Goh VST, Nakata A, Kasai K, Yoshida MA, Miura T. Exosome-like vesicles released from ob/ob mouse adipose tissue enhance cell survival of cells with radiation-induced genomic instability. Journal of Radiation Research. 202303; 64(2):352-357.

Ting Goh VS, Fujishima Y, Nakayama R, Takebayashi K, Yoshida MA, Kasai K, Ariyoshi K, Miura T. Manual Scoring with Shortened 48 h Cytokinesis-Block Micronucleus Assay Feasible for Triage in the Event of a Mass-Casualty Radiation Accident. Radiation Research. 202304; 199(4):385-395.

〔総説等〕

Imaoka T, Kuzume A, Tanabe M, Tsukamoto T, Kambe T, Yamamoto K. Atom hybridization of metallic elements: Emergence of subnano metallurgy for the post-nanotechnology. Coordination Chemistry Reviews. 202301; 474:214826.

〔研究報告書〕

Anderson D, Abe Y, Goh VST, Nakayama R, Takebayashi K, Thanh MT, Fujishima Y, Nakata A, Ariyoshi K, Kasai K, Yoshida MA, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 5. The Dicentric Chromosome and its Role in Biodosimetry. Radiation Environment and Medicine. 202308; 12(2):121-139.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Dairaku T, Ono T, Yoshida K, Kondo J, Ono A, Kashiwagi Y, Tanabe M. Synthesis of silver nanoparticles using DNA duplex containing cytosine-Ag(I)-cytosine base pairs. International Symposium for the 80th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan; 20230908; Sendai.

Iijima R, Tanabe M, Yamamoto K. Precise preparation of subnano alloy particles encapsulated by a dendrimer and their catalytic applications. International Symposium for the 80th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan; 20230908; Sendai.

Ida Y, Sonobe K, Tanabe M, Yamamoto K. Magnetic properties of iron oxide ultrasmall particles with a stable phase prepared without annealing process. International Symposium for the 80th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan; 20230910; Sendai.

Sasaki M, Takeda K. Abnormal Michael Reaction: Conditions-Dependent Product Distributions in the Michael Reaction of Monoalkylmalonates. 15th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-15); 20231121; Kyoto.

田辺真. ポリエチレンイミンを鋳型としたサブナノ粒子合成と触媒への展開. JST 戦略的創造研究推進事業新技術説明会; 20230120; Web.

有吉健太郎. 野生動物細胞におけるバイスタンダー効果の解析. 放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点 (ERAN) 年次報告会; 20230213; 福島.

飯島隆輔, Huda M, 田辺真, 山元公寿. 貴金属・卑金属・典型金属で構成される三元素サブナノ粒子の酸化触媒反応. 日本化学会第 103 春季年会; 20230322; 野田.

西山学即, 五十嵐城太郎, 松岡有樹. Paramecium caudatum 短縮型ヘモグロビンの遺伝子構造と発現系の構築. 2023 年度日本動物学会東北支部大会; 20230729; 盛岡.

西山学即, 五十嵐城太郎, 松岡有樹. Paramecium caudatum 短縮型ヘモグロビンの遺伝子構造と発現系の構築. 日本動物学会大会 94 回山形大会 2023; 20230907; 山形.

飯島隆輔, 田辺真, 山元公寿. 三元素サブナノ粒子の電子構造と触媒活性. 第 132 回触媒討論会; 20230914; 札幌.

森合達也, 塚本孝政, 田辺真, 神戸徹也, 山元公寿. 貨幣金属合金サブナノ触媒によるシクロヘキセン酸化反応. 第 132 回触媒討論会; 20230915; 札幌.

飯島隆輔, 田辺真, 山元公寿. 樹状高分子を鋳型とする三元素サブナノ粒子の高効率変換触媒の開発. 第 13 回 CSJ 化学フェスタ 2023; 20231017; 東京.

有吉健太郎, 千葉悠季, 堀川ひなた. Radiation-induced Bystander Effect in Starfish (*P. pectinifera*) Oocyte. 日本放射線影響学会第 66 回大会; 20231106-08; 東京.

〔シンポジウム〕

有吉健太郎. Field applications, Fukushima: Possible Low-dose radiation effects on wild animals. International Union of Radioecology (IUR) Symposium; 20230907; Dublin, Ireland.

〔その他〕

有吉健太郎. 放射線影響に関する最近の話題－医療被ばくから福島野生動物への影響調査－. 第4回放射線影響と防護量の考え方を学ぶWebセミナー; 20230604; Web.

大楽武範. 化学の力でDNAの隠れた特性を解き明かす. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター第58回総合科学研究会; 20230628; 福島.

医療人育成・支援センター

論 文

〔原 著〕

Yamakuni R, Seino S, Ishii S, Ishikawa H, Kikori K, Ando T, Kakamu T, Fukushima K, Otani K, Ito H. Lumbar intradural space reduction during the Valsalva maneuver observed using cine MRI and MR myelography: a single-case experimental study. *Acta Neurochirurgica*. 202308; 165(8):2111-2120.

Kozato A, Shikino K, Matsuyama Y, Hayashi M, Kondo S, Uchida S, Stanyon M, Ito S. A qualitative study examining the critical differences in the experience of and response to formative feedback by undergraduate medical students in Japan and the UK. *BMC Medical Education*. 202306; 23(1):408.

Kobayashi T, Morimoto T, Shimanoe C, Ono R, Otani K, Mawatari M. Clinical characteristics of locomotive syndrome categorised by the 25-question Geriatric Locomotive Function Scale: A systematic review. *BMJ Open*. 202305; 13(5):e068645.

Tang Z, Jiang L, Zhu X, Huang M. An Internet of Things-Based Home Telehealth System for Smart Healthcare by Monitoring Sleep and Water Usage: A Preliminary Study. *Electronics*. 202309; 12(17):3652.

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Konno SI. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: locomotive syndrome and health outcomes in the Aizu cohort study. *European Spine Journal*. 202302; 32(2):488-494.

Tang Z, Shikama Y, Otani K. Comparison of student self-assessment and teacher assessment of medical interview performance during bedside learning. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(1):21-28.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi K, Watanabe K, Kobayashi H, Konno SI. A muscle-preserving, spinous process-splitting approach for ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine in professional athletes: a report of three cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202308; 69(2):143-150.

Sato M, Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Otani K, Konno SI, Oi N. Relationship between dysphagia and motor function in community-dwelling older people. *Geriatrics and Gerontology International*. 202308; 23(8):603-608.

Kobayashi H, Sekiguchi M, Otani K, Ono R, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno SI, Matsumoto Y. Assessment of Lumbar Spinal Stenosis as a Risk Factor for Development of Sleep Disorder: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *International Journal of General Medicine*. 202311; 16:5417-5424.

Otoshi K, Kikuchi S, Otani K, Sonobe T, Sekiguchi M, Konno S. Potential influencing factor on health-related quality of life in Japanese with knee osteoarthritis: the Locomotive syndrome and Health outcome in Aizu cohort Study (LOHAS). *Journal of Experimental Orthopaedics*. 202308; 10(1):88.

Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C, Ono R, Otani K, Mawatari M. The association of comorbidities with the 25-question geriatric locomotive function scale and the diagnosis of locomotive syndrome. *Journal of Orthopaedic Science*. 202303; 28(2):453-459.

Nikaido T, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Generalization of a clinical diagnosis support tool for lumbar spinal stenosis: Can the ankle brachial pressure index be replaced by palpation of the posterior tibial artery in the lumbar spinal stenosis diagnostic support tool? (DISTO project). *Journal of Orthopaedic Science*. 202305; 28(3):543-546.

Kobayashi T, Morimoto T, Ono R, Otani K, Mawatari M. Is grip strength useful in screening to predict the severity of locomotive syndrome? *Journal of Orthopaedic Science*. 202307; 28(4):880-885.

Uchida K, Ueda Y, Nakamura J, Murata S, Endo T, Otani K, Ono R. Effect of car use on social frailty among community-dwelling older adults in rural areas. *Journal of Transport and Health*. 202305; 30:101609.

Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C, Ono R, Otani K, Mawatari M. A Simplified Screening Tool for the One-Leg Standing Test to Determine the Severity of Locomotive Syndrome. *Life*. 202305; 13(5):1190.

Stanyon M. The wisdom of entrustability: A critically conscious approach to practical wisdom. *Medical Education*. 202312; 57(12):1173-1175.

Takahashi Y, Fujii S, Osakabe Y, Hoshino H, Konno R, Kakamu T, Fukushima T, Matsumoto T, Yoshida K, Aoki S, Kanno K, Oi N, Ueda Y, Suzutani K, Sato A, Mori Y, Wada T, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H.

Impaired mismatch negativity reflects the inability to perceive beat interval in patients with schizophrenia. Schizophrenia Research. 202304; 254:40-41.

Yamakuni R, Ishii S, Kakamu T, Ishikawa H, Sekino H, Seino S, Fukushima K, Otani K, Ito H. Relationship between lumbar spinal stenosis and cauda equina movement during the Valsalva maneuver. Skeletal Radiology. 202307; 52(7):1349-1358.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Takahashi S, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Hirai T, Yoshii T, Takahashi K, Okawa A. Factors affecting the quality of life in the chronic phase of thoracolumbar osteoporotic vertebral fracture managed conservatively with a brace. Spine Journal. 202303; 23(3):425-432.

Tezuka F, Sakai T, Imagama S, Takahashi H, Takaso M, Aizawa T, Otani K, Okuda S, Kato S, Kanemura T, Kawaguchi Y, Konishi H, Suda K, Terai H, Nakanishi K, Nishida K, Machino M, Miyakoshi N, Murakami H, Yamato Y, Yukawa Y. Management of Antithrombotic Drugs before Elective Spine Surgery: A Nationwide Web-Based Questionnaire Survey in Japan. Spine Surgery and Related Research. 202304; 7(5):428-435.

Rouyard T, Endo M, Nakamura R, Moriyama M, Stanyon M, Kanke S, Nakamura K, Chen C, Hara Y, Li M, Kassai R. Fukushima study for Engaging people with type 2 Diabetes in Behaviour Associated Change (FEEDBACK): study protocol for a cluster randomised controlled trial. Trials. 202305; 24(1):317.

川口善治, 今釜史郎, 高橋寛, 高相晶士, 相澤俊峰, 大谷晃司, 奥田眞也, 加藤仁志, 金村徳相, 小西宏昭, 酒井紀典, 須田浩太, 手束文威, 中西一夫, 西田康太郎, 町野正明, 宮腰尚久, 村上英樹, 大和雄, 湯川泰紹, JSSR 安全医療推進委員会. 脊椎手術における高位確認に関するアンケート調査(脊椎手術のヒヤリハット). Journal of Spine Research. 202305; 14(5):748-752.

小林洋, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林良浩, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎疾患における院内転倒 睡眠薬と夜間転倒に着目した当院のインシデント分析. Journal of Spine Research. 202306; 14(6):953-958.

中村正隆, 大谷晃司. 【脊椎脊髄領域の画像診断-最新の知識と進歩】成人の脊椎脊髄疾患の画像診断 腰痛の画像診断全般. 整形・災害外科. 202304; 66(5):519-524.

堀内聡, 青木俊太郎, 岩野卓, 岡村尚昌, 瀧井美緒, 米田健一郎, 青山瞳. 大学生が経験するストレスの肯定的な効果に関する研究. 比治山大学紀要. 202303; 29:83-91.

書籍等出版物

Stanyon M, Nicodemus L, Ramsay R. Social Accountability. In: Val Wass, Victor Ng. Family Medicine in the Undergraduate Curriculum. Boca Raton: CRC press; 2023. p.17-26.

坂野雄二, 青木俊太郎 (監訳). 認知行動療法と治療関係: 臨床家のためのガイドブック. 東京: 金剛出版. 202306.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Mild Cognitive Impairment in Elderly Patients with Lumbar Spine Stenosis. ISSLS2023 第49回国際腰椎研究会議; 20230502; Melbourne, Australia.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Does daily exercise prevent future care needs related to spinal sagittal imbalance? Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). ISSLS2023 第49回国際腰椎研究会議; 20230502; Melbourne, Australia.

Yokota T, Otani K, Endo Y, Watanabe T, Kobayashi K, Kameda T, Sekiguchi M, Konno S. Efficacy of VBQ Scores in Predicting the Incidence of New Vertebral Fractures in Japanese Female 50 Years of Age and Older. ISSLS2023 第49回国際腰椎研究会議; 20230501-04; Melbourne, Australia.

Shikama Y, Oikawa S, Stanyon M, Yasuda M, Otani K. Cultural characteristics of clinical leadership competencies required for effective teamworking in Japanese healthcare. AMEE2023; 20230826-30; Glasgow, Scotland. Abstract-Book. 3545.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Spino-pelvic parameters and need for future care in elderly adults: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). 43rd SICOT Orthopaedic World Congress; 20231121; Cairo, Egypt.

鈴木駿介, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 段階的に手術を施行した筋性斜頸遺残－1例報告. 第33回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 66(1):222-223.

猪股洋平, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 複数回の手術を要した頸椎砂時計腫の治療経験－3例報告. 第33回東北脊椎外科研究会; 20230121; 仙台. 東北整形災害外科学会雑誌. 66(1):225-226.

横田武尊, 大谷晃司, 遠藤裕司, 亀田拓哉, 小林賢司, 渡邊剛宏, 関口美穂, 紺野慎一. 福島県南会津地区の地域住民における腰椎骨折の既往と Vertebral Bone Quality Score との関係についての検討（横断研究）. 第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 14(3):652.

小林孝巨, 森本忠嗣, 山口雄一, 平田寛人, 戸田雄, 吉原智仁, 塚本正紹, 大谷晃司, 馬渡正明. 腰部脊柱管狭窄症に対する手術がロコモティブシンドロームのリスクテストに与える影響－メタ解析－. 第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 14(3):693.

大谷晃司, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 紺野慎一. 両側 ATR 消失に影響を与える因子の検討: 第 2 報—南会津スタディより—. 第 52 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 11 年間の腰椎椎間関節変性の進行が健康関連 QOL 変化に与える影響—南会津スタディ—. 第 52 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

小林洋, 関口美穂, 小野玲, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄は睡眠障害発症の危険因子である—地域住民を対象とした前向きコホート研究: LOHAS study—. 第 52 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

森本忠嗣, 大谷晃司, 比嘉勝一郎, 塚本正紹, 吉原智仁, 平田寛人, 戸田雄, 小林孝巨. 胸椎後縦靱帯骨化症の腸内細菌叢の解析. 第 52 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 高齢者腰椎疾患における軽度認知機能障害. 第 52 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20230413-15; 札幌.

横田武尊, 大谷晃司, 亀田拓哉, 遠藤裕司, 小林賢司, 渡邊剛広, 関口美穂, 紺野慎一. 椎体骨折発生予測に対する vertebral bone quality score の有効性に関する縦断研究. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S868.

大谷晃司, 関口美穂, 小野玲, 紺野慎一. Rib-pelvis distance は, 将来の要介護発生を予測できるバイオマーカーとなりうるか. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S947.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 加藤欽志, 紺野慎一. 腰椎椎間関節の変性進行は腰痛と関連しない—南会津スタディ 11 年フォローアップ—. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1010.

渡邊和之, 大谷晃司, 関口美穂, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 富永亮司, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 運動習慣は脊柱矢状面バランス不良に関連する要介護状態を予防できるか—LOHAS—. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1172.

遠藤裕司, 小林洋, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 小野玲, 紺野慎一. 変形性膝関節症は認知症発症のリスク因子である—運動器検診と介護保険 システムのデータを用いた前向きコホート研究—. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜. 日本整形外科学会雑誌. 97(3):S1207.

小林良浩, 大谷晃司, 小林洋, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 紺野慎一. 手指 10 秒テストと握力による頸髄症スクリーニングツールは手術症例の選別に適当か. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

園部樹, 大谷晃司, 関口美穂, 大歳憲一, 紺野慎一. 変形性膝関節症と身体機能の関連性—運動器検診のデータを用いた横断研究: LOHAS study—. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

唐尊一, 亀岡弥生, 青木俊太郎, Stanyon M, 及川沙耶佳, 安井清孝, 諸井陽子, 安田恵, 中村光輝, 赤間孝洋, 大谷晃司. Comparison of Student Self-Assessment and Teacher Assessment of Medical Interview

Performance During Clinical Clerkship. 第 504 回福島医学会学術研究集会; 20230525; 福島. 福島医学雑誌. 73(3):79.

諸井陽子, 及川沙耶佳, 安田恵, 中村光輝, 赤間孝洋, 色摩弥生, 大谷晃司. 医学生自身が作成した認知症シナリオのロールプレイとその動画視聴による学び. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230728-29; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):184.

色摩弥生, 及川沙耶佳, スタンヨン・マハム, 安田恵, 大谷晃司. 日本文化に根差した、医療チームにおける医師のリーダーシップコンピテンシーの構築. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230728-29; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):188.

大谷晃司, 諸井陽子, 安田恵, 及川沙耶佳, 青木俊太郎, 唐尊一, Stanyon M, 中村光輝, 赤間孝洋, 安井清孝, 色摩弥生. 臨床研修指導医養成講習会ワークショップの成果物から見た福島県における臨床研修の問題点の変遷について. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230728; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):199.

安田恵, 今福輪太郎, 川上ちひろ, 西城卓也. 地域医療を担う指導医が考える地域医療教育の在り方と、教育活動への影響因子に関する探索的研究. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230729; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):217.

及川沙耶佳, 色摩弥生, 安田恵, 大谷晃司. 実技試験の課題作成に関する難しさについて. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230728-29; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):280.

唐尊一, 色摩弥生, 青木俊太郎, Stanyon M, 及川沙耶佳, 安井清孝, 諸井陽子, 安田恵, 中村光輝, 赤間孝洋, 大谷晃司. 臨床実習中の医療面接のパフォーマンスに対する学生の自己評価と教師評価の比較. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230729; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):303.

猪股洋平, 渡邊和之, 小林良弘, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸椎砂時計腫の手術成績 再手術例の検討. 第 72 回東日本整形災害外科学会; 20230922-23; 旭川.

横田武尊, 大谷晃司, 富永亮司, 遠藤裕司, 渡邊剛宏, 小林賢司, 関口美穂, 紺野慎一. 椎体骨折発生予測における VBQ スコアの有効性と VBQ スコアを用いた予測モデルの開発について 11 年フォローアップ MRI データを用いた研究 (Minami-Aizu study). 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929-1001; 名古屋. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 9(Suppl.1):465.

園部樹, 大谷晃司, 大歳憲一, 関口美穂, 紺野慎一. 変形性膝関節症と健康関連 QOL の関連性 運動器検診のデータを用いた横断研究 LOHAS study. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019-20; つくば. 日本整形外科学会雑誌. 97(8):S1952.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 松本嘉寛. 腰椎 Modic 変化と腰痛の関連の検討 南会津スタディ. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103-04; 富山. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 15(4):S81.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術における腰痛改善の予測 BS-POP の有用性. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103-04; 富山. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 15(4):S81.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一, 松本嘉寛. 高齢者腰椎疾患における軽度認知機能障害 術後短期成績との関連. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

遠藤裕司, 関口美穂, 大谷晃司, 小林洋, 渡邊和之, 小野玲, 紺野慎一, 松本嘉寛. 多部位慢性疼痛と転倒による入院イベントとの関連. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島. Pain Research. 38(Suppl):S35.

小川賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 松本嘉寛. 腰椎 Modic 変化の新規発生と腰痛との関連 南会津スタディ 11 年フォローアップ. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島. Pain Research. 38(Suppl):S36.

中野裕子, 笠原諭, 大石理江子, 小幡英章, 大谷晃司, 井上聡己. 整形外科慢性痛患者における ADHD スクリーニング陽性率と, 不安やうつ, 破局的思考への関与. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島. Pain Research. 38(Suppl):S44.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 関口美穂, 矢吹省司, 松本嘉寛. 脊椎手術後疼痛症候群に対する薬物療法と手術満足度との関係 横断研究. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島. Pain Research. 38(Suppl):S44.

〔シンポジウム〕

青木俊太郎, 服部稔, 松崎朝樹, 堀内聡. 行動科学・臨床心理学教育に活かす医学教育. 行動科学学会第 38 回ウィンターカンファレンス; 20230318; Web.

根本清貴, 松崎朝樹, 益田裕介, 大武陽一, 青木俊太郎, 岩野卓. 精神科医療に SNS をどう活用するのかその可能性と課題一. 第 119 回日本精神神経学会学術総会; 20230622-24; 横浜. 精神神経学雑誌. 2023(特別):S360.

蓮沼直子, 服部稔, 青木俊太郎, 堀田亮, 唐牛祐輔. 心理学者は医学教育にどのような貢献ができるのか. 第 55 回日本医学教育学会大会; 20230728-29; 長崎. 医学教育. 54(Suppl):59.

堀内聡, 坪井宏仁, 上野将玄, 青木俊太郎, 岡村尚昌. 精神神経内分泌免疫学のカレントトピックス. 日本心理学会第 87 回大会; 20230915-17; 神戸. 論文集. 87:SS-022.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 疼痛関連ガイドライン 運動器慢性疼痛の診療にガイドラインをどう活かすか EBM と NBM を意識したアプローチの重要性. 第 16 回日本運動器疼痛学会; 20231103-04; 富山. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 15(4):S24.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 関口美穂, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 小林良浩, 松本嘉寛. 痛みに対する侵襲的治療ー適応とエビデンス, そして限界ー手術. 第 45 回日本疼痛学会; 20231208-09; 福島. Pain Research. 38(Suppl):S17.

〔特別講演〕

大谷晃司. 整形外科の仲間を増やすには?ーOA、骨粗鬆症の疼痛管理を通じて、学部教育・研修医教育を俯瞰するー. 第 120 回東北整形災害外科学会; 20230610; 福島.

大谷晃司. 最近経験した脊椎脊髄疾患とその治療について. 郡山の腰痛を考える会; 20230713; Web.

看護師特定行為研修センター

論文

〔原 著〕

Nishimagi A, Kobayashi M, Sugimoto K, Kofunato Y, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Marubashi S, Chiba H. Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510 is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence. Clinical and Experimental Medicine. 202312; 23(8):4985-4995.

Suzushino S, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Waguri S, Marubashi S. Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemented with Adipose-Derived Stem Cells. Tissue Engineering. Part A. 202307; 29(13-14):384-396.

〔総説等〕

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【胆管再建を見直す】成人総胆管拡張症に対する胆管空腸吻合. 手術. 202303; 77(3):329-333.

芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 【IPMN 診療の新知見】膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の手術適応と術式. 消化器外科. 202312; 46(12):1315-1320.

〔症例報告〕

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏効 (pCR) を得た後, 腹膜播種再発を生じた膵癌の 1 例. 癌と化学療法. 202312; 50(12):1311-1313.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

鈴志野聖子, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. GEM+nab-PTX 療法により長期生存が得られている膵癌術後再発の 1 症例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
術前補助化学放射線療法 (NAC-RT) 後の根治手術により病理学的完全奏功 (pCR) を得た後、術後 20 ヶ月の時点で腹膜播種再発を生じた膵癌の 1 例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 当施設における膵腎同時移植の治療経験. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

佐藤直哉, 鈴志野聖子, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と膵島細胞の複合細胞シートにおける細胞間微細構造の観察. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
胆嚢腫瘍の術前診断における MRI 拡散強調画像の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-29-4.

西間木淳, 杉本幸太郎, 小林信, 小船戸康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 千葉英樹, 丸橋繁. 肝癌における核内受容体 LXR1 異常リン酸化の解明. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. SF-56-2.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
膵頭十二指腸切除における術中胆汁細菌培養の有用性の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-5.

見城明, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 岡田良, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 胆道癌に対する肝切除術の術後肝不全予測因子に関する検討—術中 ICG クリアランス測定の有用性に関する検討—. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-159-7.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
術前治療・外科手術における膵癌の生物学的悪性度の意義. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-160-2.

武藤亮, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
膵癌手術後の残膵体積と糖尿病・栄養・体組成の関係. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-163-5.

月田茂之, 石亀輝英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.
膵癌手術症例における GLIM 基準による術前栄養評価の有用性. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web. 抄録集. DP-167-8.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵良性／境界悪性疾患に対する自動縫合器による尾側膵切除時の切離時間短縮化への試み. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

菅原良太, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当院における高齢者膵癌に対する膵頭十二指腸切除術の忍容性に関する検討. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

緑川雄亮, 武藤亮, 東孝泰, 月田茂之, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 急速な増大でOncology Emergencyを呈した血球増多を伴う胆嚢癌の1例. 第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

東孝泰, 佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 術後に判明したクロスマッチ陽性およびDSA陽性(高MFI値)症例に対する脳死肝移植の経験. 第41回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

佐藤直哉, 見城明, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 丸橋繁. 巨大脾腎シャントを伴う末期肝硬変症例に対する門脈再建の工夫. 第41回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

武藤亮, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脳死肝移植における肝静脈再建法とその短期成績. 第41回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化シートの血管誘導効果. 第59回日本肝臓学会総会; 20230615-16; 奈良.

菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 見城明. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会; 20230623-24; 横浜.

Haga J, Ishigame T, Kofunato Y, Sato N, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Experience with six cases of hepatic cysts in our department and changes in surgical technique. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Risk factors for nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD) after pancreaticoduodenectomy. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. The effect of surgical margin status on survival for perihilar cholangiocarcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A retrospective study of recurrence site of Gallbladder Cancer after Surgery. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

Nishimagi A, Ishigame T, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of long-term survival treated with surgical resection for VP4 hepatocellular carcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集

会; 20230630-0701; 東京.

Tsukida S, Sato N, Nishimagi A, Muto M, Kofunato Y, Haga J, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of intractable lymphatic leakage after pancreaticoduodenectomy for pancreatic adenocarcinoma, successfully treated with lymphangiography using Lipiodol. 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の導入に向けた準備と初期成績. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. O30-3.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 見城明, 丸橋繁. 術中 MRI を用いた肝切除術の適応と有用性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P025-4.

木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 見城明, 丸橋繁. 手術訓練、外科医学教育のための外科医自身が編集可能な 3D デジタルコンテンツの開発. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P090-7.

西間木淳, 小船戸康英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 転移性胆膵腫瘍に対する外科的切除の有用性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P147-1.

佐藤直哉, 月田茂之, 西間木淳, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 切除可能膵癌に対する術前治療の個別化への挑戦. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P251-5.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻に対する再建法の比較検討～柿田変法 vs Blumgart 法～. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. P267-6.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 肝移植レシピエントに発症した消化器 de novo malignancy に対する治療上の課題. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. RS1-4.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術を施行した高齢者膵癌においてサルコペニアが予後に与える影響. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web. 抄録集. RS17-2.

上野未来, 石亀輝英, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆膵領域癌における終末期出血性イベントに対する IVR の有用性. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.

集学的治療が奏功しているオリゴ転移陽性肝内胆管癌の1切除例. 第59回日本胆道学会学術集会; 20230914-15; 札幌. 胆道. 37(3):718.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植に関する福島県民の意識調査. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):251.

東孝泰, 佐藤直哉, 見城明, 西間木淳, 武藤亮, 月田茂之, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 当科における肝移植後 de novo 発癌症例の検討と対策. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):324.

荒井奈津希, 國分希美, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学附属病院におけるレシピエント移植コーディネーターの活動～体制整備から今日の取り組みまで～. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

佐藤直哉, 石亀輝英, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 木村隆, 見城明, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 臓器移植の普及啓発における市民公開講座の効果. 第59回日本移植学会総会; 20230921-23; 京都.

見城明, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子. 特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究～研修修了者のインタビュー調査より～. 日本医療マネジメント学会第11回福島支部学術集会; 20231028; 須賀川.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. IPMNにおける浸潤癌と術前因子の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):369.

菅原良太, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 75歳以上の高齢者膵癌に対する膵頭十二指腸切除術の検討. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):376.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 菅原良太, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における Intracystic Papillary Neoplasm 4例の経験. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):541.

月田茂之, 小船戸康英, 西間木淳, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 血清 Albumin 値を用いた栄養指標による膵癌の予後予測. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):544.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵癌切除後の CA19-9 異常高値の予後に与えるインパクト. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸. 日本消化器外科学会雑誌. 56(Suppl.2):548.

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 千葉裕仁, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における腹腔鏡下再肝切除の短期成績. 第17回肝臓内視鏡外科研究会; 20231115; 岡山.

武藤亮, 東孝泰, 月田茂之, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術の短期成績と低侵襲性の評価. 第 15 回膵臓内視鏡外科研究会; 20231115; 岡山.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下肝切除の短期成績. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 芳賀淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 東孝泰, 見城明, 木村隆, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除における手技の工夫. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

月田茂之, 小船戸康英, 東孝泰, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における低侵襲脾切除術の取り組み. 第 36 回日本内視鏡外科学会総会; 20231207-09; 横浜.

〔シンポジウム〕

芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 佐藤直哉, 武藤亮, 月田茂之, 木村隆, 見城明, 丸橋繁, 鈴木玲, 高木忠之, 大平弘正. 当院における局所進行切除不能肺癌に対する Conversion Surgery の経験. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

小船戸康英, 見城明, 丸橋繁. 肺癌、肝癌における高齢者の手術適応と高齢者リスクカリキュレーターの検証. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230406-08; 長崎.

石亀輝英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 福島県立医科大学における肝胆脾領域ロボット支援下手術に対する取り組みと短期成績. 第 34 回内視鏡外科フォーラム in 盛岡; 20230520; 盛岡.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 成人生体肝移植における術後胆管狭窄のリスク因子解析と胆道再建法変更による効果. 第 41 回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ICG 蛍光法を用いた術中ナビゲーション. 第 48 回日本外科系連合学会学術集会; 20230607-09; 横浜. 日本外科系連合学会誌. 48(3):295.

Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Kenjo A, Marubashi S. Development of 3D Simulation Technology in Pancreatic Surgery. Combining knowledge based on hepatobiliary and pancreatic surgeon's experience with state-of-the-art 3D modeling technology. 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701; 東京.

小船戸康英, 東孝泰, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 非心臓手術における合併心疾患の評価～外科医の立場から～. 日本心臓血管麻酔学会第 28 回学術大会; 20230916-17; 奈良.

見城明, 佐藤直哉, 東孝泰, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 脾臓移植における腸管ドレナージ: 回腸十二指腸側々吻合について. 第 59 回

日本移植学会総会; 20230921-23; 京都. 移植. 58(総会臨時):199.

鈴木弘行, 見城明, 丸橋繁. 当院における働き方改革へ向けた取り組み～タスクシェアと外科研修～. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231019-21; 仙台.

見城明, 木村隆, 丸橋繁. 肝門部領域胆管癌に対する血管合併切除再建例の検討と成績向上のための課題. JDDW 2023 KOBE; 20231102-05; 神戸.

医療研究推進センター

論文

〔原 著〕

Abe N, Hikichi T, Waragai Y, Takahashi Y, Kobashi R, Yanagita T, Kumakawa H, Watanabe K, Kobayakawa M, Ohira H. Retroperitoneal liposarcoma with pancreatic metastasis and gastric cancer: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202304; 16(2):164-170.

Yanagita T, Hikichi T, Waragai Y, Shimizu H, Takahashi Y, Abe N, Hashimoto C, Kumakawa H, Kobayakawa M, Ohira H. Mixed high-grade serous and large cell neuroendocrine carcinoma arising from rectal endometriosis 11 years after hysterectomy. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202308; 16(3):366-371.

Suto K, Hikichi T, Shioya Y, Ishizaki N, Saito S, Nakamura J, Kobayakawa M, Ohira H. A healthy young patient with hepatic portal vein gas due to acute gastric dilatation: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202306; 16(4):593-598.

Mochimaru T, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma in patients with cirrhosis and esophageal varices. *DEN Open*. 202303; 3(1):e117.

Homma S, Shimada T, Wada I, Kumaki K, Sato N, Yaginuma H. A three-component model of the spinal nerve ramification: Bringing together the human gross anatomy and modern Embryology. *Frontiers in Neuroscience*. 202301; 16:1009542.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Novel Photodynamic Therapy for Esophageal Squamous Cell Carcinoma following Radiotherapy. *Life*. 202305; 13(6):1276.

山根大寛, 朝山直樹, 小早川雅男. To the Editor 経口腸管洗浄液の服用方法について. 日本消化器病学会雑誌. 202304; 120(3):276.

大戸斉, 内川誠, 伊藤正一, 和田郁夫, 川畑絹代, 徳永勝士. Kanno 血液型(ISBT037) 抗原と抗体の特性と残された課題. 日本輸血細胞治療学会誌. 202310; 69(5):570-579.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 柳田拓実, 小早川雅男, 大平弘正. 低体重の食道アカラシアに対する POEM の有用性と安全性. 第 109 回日本消化器病学会総会; 20230407; 長崎.

小早川雅男, 志賀哲, 小島祥敬, 星誠二. At-211 MABG の褐色細胞腫／パラガングリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第 I 相試験. 日本泌尿器腫瘍学会第 9 回学術集会; 20231022; 横浜.

志賀哲, 高橋和弘, 小早川雅男, 菅原茂耕, 西嶋剣一, 織内昇, 伊藤浩, 野村香織, 右近直之, 趙松吉. 福島県立医科大学および F-REI における At-211 を用いた Targeted Alpha therapy (TAT) の開発. 第 63 回日本核医学学会学術総会; 20231116-18; 大阪.

小早川雅男, 志賀哲, 高橋和弘, 伊藤浩, 花田和彦, 石塚直樹. At-211 MABG の褐色細胞腫／パラガングリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第 I 相試験. 第 44 回日本臨床薬理学会学術総会; 20231215; 神戸.

〔その他〕

小早川雅男. プロトコール作成セミナー. 2023 年度臨床研究講習会 演習編; 20230617; 仙台/Web.

小早川雅男. 医療保険制度について. 日本臨床薬理学会保険委員会主催セミナー; 20231221; Web.

地域医療支援センター

論文

〔原 著〕

Ichimura S, Oikawa M, Ikeda A, Endo K, Muto Y, Akama J, Yamaki T, Nakazato K, Sato M, Ishida T, Suzuki O, Takeishi Y. A case of COVID-19-associated fulminant myocarditis due to SARS-CoV-2 omicron BA.2

sub-lineage in an unvaccinated female. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(1):1-3.

Nishiura K, Nakazato K, Yokokawa T, Suzuki Y, Kurosawa Y, Wada K, Shimizu T, Oikawa M, Kobayashi A, Sugimoto K, Shakespear N, Hashimoto Y, Takeishi Y. A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(19):6359.

Sakuma Y, Nakazato K, Shimizu T, Ikeda A, Ohara H, Kobayashi A, Yamaki T, Ishida T, Takeishi Y. A rare case of fibromuscular dysplasia with multifocal coronary artery involvement evaluated by intravascular ultrasound. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 27(1):12-15.

Endo K, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Acute coronary syndrome with severe coronary calcification in a patient with pseudo-pseudohypoparathyroidism. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(4):172-175.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. *Journal of Cardiology*. 2023; 82(6):460-466.

Shimizu T, Abe S, Asano T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takanashi S, Isobe M, Takeishi Y. Perioperative immunosuppressive therapy and coronary ostial angioplasty for unstable angina with Takayasu arteritis. *Journal of Cardiology Cases*. 2023; 28(6):257-260.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. *Journal of Clinical Medicine*. 2023; 12(4):1257.

Isomatsu D, Sato A, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Shimizu T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. *International Heart Journal*. 2023; 64(4):584-589.

〔総説等〕

Nakazato K, Sugimoto K, Oikawa M, Takeishi Y. Balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: its history and development, and regional medical cooperation in Fukushima. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2023; 69(3):167-176.

〔その他〕

中里和彦. 巻頭言 地域医療支援センターの運営状況について. 福島県立医科大学大学医師会会報. 2023; 169:1.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shimizu T, Sakuma Y, Muto Y, Sato Y, Kimishima Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of cardio-ankle vascular index on new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12984.

Sato Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Malnutrition stratified by marasmus and kwashiorkor in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A11577.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Pexidartinib ameliorates monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12393.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Ichimura S, Tomita Y, Miura S, Shimizu T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Plasma LTBP-2 is associated with myocardial LTBP-2 and poor prognosis in dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A12653.

Endo K, Katahira M, Kiko T, Yamakuni R, Ukon N, Shimizu T, Ishii S, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous analysis of myocardial flow reserve and intra-ventricular 4D flow using hybrid ¹³N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in patients with coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A14190.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takahashi K, Yamakuni R, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. The association between insufficient valve expansion and aortic valve calcification for transcatheter valve implantation with self-expandable valve. American Heart Association Scientific Sessions 2023; 20231111-13; Philadelphia, USA. Circulation. 148(Suppl 1):A13177.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in coronary artery disease patients with antiplatelet therapy. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer

mortality in patients with coronary artery disease. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

黒沢雄太, 清水竹史, 佐久間裕也, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 佐藤悠, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients repeatedly hospitalized for heart failure. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Endo K, Kiko T, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by ^{13}N -ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 磯松大介, 渡邊孝一郎, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

Isomatsu D, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. 第 87 回日本循環器学会学術集会; 20230310-12; 福岡.

西浦司人, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 杉本浩一, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. エボプロステノールにより巨大甲状腺腫と気道狭窄を来した一例. 第 8 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20230603-04; 神戸.

阿部諭史, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI と OPCAB の同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈 3 枝病変の一例. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

武藤雄紀, 草野亮太, 小河原峻, 三浦俊輔, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 佐藤彰彦, 野崎祐司, 横川哲朗, 及川雅啓, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝近位部慢性完全閉塞を合併した左前下行枝近位部が責任病変の NSTEMI に対し 2 期的に完全血行再建を行なった一例. 第 31 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 同時期に発症した2度のNSTEMIに対するPCI後、重症大動脈弁狭窄症に対して緊急TAVIを施行した超高齢患者の1例. 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

佐藤悠, 義久精臣, 野崎祐司, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 阿部諭史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index は心不全患者の消化管出血を予測する. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

磯松大介, 及川雅啓, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 無症候性irAE心筋炎に対してステロイド治療が有効だった1例. 第71回日本心臓病学会学術集会; 20230908-10; 東京.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 富田湧介, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. LTBP-2 is associated with fibrosis and predicts poor prognosis in dilated cardiomyopathy. 第27回日本心不全学会学術集会; 20231006-08; 横浜.

Yokokawa T, Nishiura K, Miura S, Misaka T, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of endothelial cell signaling on perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary arterial hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第7回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

Nishiura K, Yokokawa T, Misaka T, Miura S, Tomita Y, Sato A, Oikawa M, Sugimoto K, Nakazato K, Takeishi Y. Role of perivascular macrophage infiltration in the development of pulmonary hypertension. CVMW2023 心血管代謝週間: 第7回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20231209-10; 神戸.

片平正隆, 武藤雄紀, 遠藤圭一郎, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. LADを責任病変とする非ST上昇型心筋梗塞に対して緊急CAGを行い、LMTに医原性解離を引き起こした一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

佐藤彰彦, 武藤雄紀, 清水竹史, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高瀬信弥, 横山斉, 竹石恭知. TAVIとOPCABの同時手術で治療を行なった低心機能重症大動脈弁症合併冠動脈3枝病変の一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

清水竹史, 市村祥平, 黒沢雄太, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 左回旋枝に対する方向性冠動脈粥腫切除術によりsingle-stentに所得した主幹部分岐部病変の一例. 第52回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230204; 福島.

片平正隆, 清水竹史, 小河原峻, 佐久間裕也, 遠藤圭一郎, 阿部諭史, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 胸腔鏡下胸管結紮術・心膜開窓術を施行した原発性乳癌心膜症の一例. 第176回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中LTBP-2濃度は、拡張型心筋症において心筋内LTBP-2発現を反映し、予後不良を予測する. 第176回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石橋伸幸, 佐藤彰彦, 石田圭一, 新城宏治, 山本晃裕, 高瀬信弥, 清水竹史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 上腸間膜動脈 (SMA) 閉塞による腸管虚血を合併した急性 A 型大動脈解離に対して SMA スtent留置を施行した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

石井三千花, 及川雅啓, 磯松大介, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症と左室流出路狭窄を合併し病態判断に苦慮した一例. 第 176 回日本循環器学会東北地方会; 20230603; 盛岡.

大和田卓史, 中里和彦, 廣坂諒, 渡邊俊介, 泉田次郎, 齋藤富善, 前原和平. Corsair Rendezvous が有効であった RCA long CTO の一例. 第 53 回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会; 20230722; 秋田.

佐藤智基, 佐藤彰彦, 関根虎之介, 安齋文弥, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. TAVI 後に溶血性貧血を来した一例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

佐藤洋太, 三浦俊輔, 片平正隆, 大原妃美佳, 武藤雄紀, 及川雅啓, 木村哲, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. トランスサイレチンと λ 型軽鎖が同組織に検出された心アミロイドーシスの症例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

関根虎之介, 清水竹史, 津田尚彦, 飯田あかね, 西浦司人, 片平正隆, 佐藤悠, 横川哲朗, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変に対し薬剤塗布バルーンにて経皮的冠動脈形成術を行った若年女性の 1 例. 第 177 回日本循環器学会東北地方会; 20231202; 福島.

西浦司人, 横川哲朗, 三阪智史, 市村祥平, 三浦俊輔, 清水竹史, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 血中 LTBP2 は、拡張型心筋症において心筋内 LTBP2 発現を反映し、予後不良を予測する. 第 9 回日本心筋症研究会; 20230513; 豊中

石井三千花, 福島賢慈, 片平正隆, 西浦司人, 山國遼, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 伊藤浩, 竹石恭知. 冠動脈 CT とアンモニア PETMR で評価し得た重症冠動脈病変を有する若年線維筋性異形成の一例. 第 26 回心世代核医学研究会; 20231014; 東京.

磯松大介, 佐藤彰彦, 武藤雄紀, 阿部諭史, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 関野啓史, 福島賢慈, 伊藤浩, 竹石恭知. 経カテーテル大動脈弁留置後の弁周囲逆流に対する、術前 CT で測定した大動脈弁石灰化量の予測値について. 第 26 回東北心臓血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

清水竹史, 西浦司人, 遠藤圭一郎, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 若年女性に生じた線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変の血管内画像. 第 26 回東北心臓血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

片平正隆, 遠藤圭一郎, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 佐藤彰彦, 清水竹史, 福島賢慈, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 心筋シンチグラフィーで判断できず、 ^{13}N -ammonia PET で重症虚血を判断できた多枝病変の 2 症例. 第 26 回東北心臓血管イメージング研究会; 20230325; 仙台.

武藤雄紀, 佐藤彰彦, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. TAVI 後に CAG、PCI

を施行した2症例. 第59回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20231028; 郡山.

〔シンポジウム〕

中里和彦. シンポジウム 121 ACS の社会経済 (SDGs を目指す) CVIT 広報委員会「ACS 全国実態調査」の結果について. 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

清水竹史, 阿部諭史, 小林淳, 八巻尚洋, 中里和彦, 高梨秀一郎, 磯部光章, 木島幹博, 竹石恭知. シンポジウム 22 高安動脈炎の虚血性心疾患にどう立ち向かうか 冠血行再建を行なった高安動脈炎による冠動脈疾患の2例. 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

喜古崇豊, 八巻尚洋, 中里和彦, 福島賢慈, 竹石恭知. シンポジウム 67 冠血行再建による心機能改善を議論する 慢性完全閉塞病変の心筋生存能評価に関する PET/MRI 装置の有用性. 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

〔特別講演〕

中里和彦. 特別講演: 肺高血圧診療の進歩と診療連携. PH skill-UP seminar 上毛 2023; 20230302; Web.

中里和彦. 特別講演: 肺高血圧症診療の進歩と課題～福島県の現場から～. PH Summit 2023; 20230630; 東京.

〔招待講演〕

中里和彦. レクチャー: 福島県における心臓血管病の診療の現状と予防のポイント～検診結果をどう活かすか～. 福島県市町村保健活動推進協議会会津部会 第2回研修会; 20230202; 会津若松.

中里和彦. 講演: 【委員会企画】働き方改革セッション 地方医療の現状、働き方改革をどのように実現するか? 第31回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2023); 20230804-06; 福岡.

ふくしま子ども・女性医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal magnesium intake and childhood wheezing in offspring at 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 2023;126:1973-1981.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kume Y, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Ikeda-Araki A, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Cord blood triglyceride and total cholesterol in preterm and term neonates: reference values and associated factors from the Japan Environment and Children's Study. *European Journal of Pediatrics*. 202310; 182(10):4547-4556.

Tanaka K, Nishigori H, Watanabe Z, Tanoue K, Iwama N, Satoh M, Murakami T, Hoshiai T, Saito M, Mizuno S, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Tatsuta N, Fujiwara I, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H; Japan Environment and Children's Study Group. Secondhand smoke exposure is associated with the risk of hypertensive disorders of pregnancy: the Japan Environment and Children's Study. *Hypertension Research*. 202304; 46(4):834-844.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between labor duration in singleton spontaneous vaginal deliveries and offspring neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Nagata A, Masumoto T, Nishigori H, Nakagawa T, Otani S, Kurozawa Y; Japan Environment and Children's Study Group. Neurodevelopmental Outcomes Among Offspring Exposed to Corticosteroid and B2-Adrenergic Agonists In Utero. *JAMA Network Open*. 202310; 6(10):.

Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Nishigori T, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Congenital Anomalies in Infants in Fukushima from 2011 to 2014: The Japan Environment and Children's Study. *JMA Journal*. 202301; 16(1):36-47.

Go H, Hashimoto K, Maeda H, Ogasawara K, Kyojuka H, Murata T, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M. Maternal triglyceride levels and neonatal outcomes: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Clinical Lipidology*. 202305; 17(3):356-366.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyojuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Epidemiology*. 2023; 33(10):489-497.

Yashima K, Noda A, Ishikawa T, Matsuzaki F, Miyakoda K, Nishigori H, Mano N, Obara T. Safety evaluation of the use of calcineurin inhibitor to prenatal and postpartum women in Japan from a health administrative database. *Journal of Neonatal-perinatal Medicine*. 2023; 16(3):461-473.

Itakura A, Satoh S, Aoki S, Fukushima K, Hasegawa J, Hyodo H, Yoshimasa K, Kondoh E, Makino S, Matsuoka R, Morikawa M, Nagamatsu T, Nakata M, Katsuhiko N, Nishigori H, Nishiguchi T, Obata-Yasuoka M, Ohno Y, Oura K, Shimoya K, Shiozaki A, Suzuki S, Tanaka K, Yoshida S, Kudo Y, Maeda T, Shozu M. Guidelines for obstetrical practice in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists 2020 edition. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 2023; 49(1):5-53.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 2023; 49(2):577-586.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of Maternal Asthma and Total Serum Immunoglobulin E levels with Obstetric Complications: The Japan Environment and Children's Study. *Maternal and Child Health Journal*. 2023; 27(7):1229-1237.

Ogawa S, Ota K, Takahashi T, Yoshida H. Impact of Homocysteine as a Preconceptional Screening Factor for In Vitro Fertilization and Prevention of Miscarriage with Folic Acid Supplementation following Frozen-Thawed Embryo Transfer: A Hospital-Based Retrospective Cohort Study. *Nutrients*. 2023; 15(17):3730.

Ota K, Mitsui J, Katsumata S, Takayanagi Y, Nako Y, Tajima M, Komiya A, Takahashi T, Kawai K. Seasonal Serum 25(OH) Vitamin D Level and Reproductive or Immune Markers in Reproductive-Aged Women with Infertility: A Cross-Sectional Observational Study in East Japan. *Nutrients*. 2023; 15(24):5059.

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid and offspring allergies: The Japan Environment and Children's Study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 2023; 34(5):e13956.

Okabe H, Hashimoto K, Yamada M, Ono T, Yaginuma K, Kume Y, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Shinoki K, Yasumura S, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS). Associations between fetal or infancy pet exposure and food allergies: The

Japan Environment and Children's Study. PLOS ONE. 202303; 18(3):e0282725.

Ishikawa T, Nishigori H, Akazawa M, Miyakoda K, Noda A, Ishikuro M, Metoki H, Iwama N, Saito M, Sugawara J, Kawame H, Yaegashi N, Kuriyama S, Mano N, Obara T. Risk of major congenital malformations associated with first-trimester antihypertensives, including amlodipine and methyldopa: A large claims database study 2010-2019. *Pregnancy Hypertension*. 202303; 31:73-83.

Nishigori H, Nishigori T, Obara T, Suzuki T, Mori M, Imaizumi K, Murata T, Kyozeuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hosoya M, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prenatal folic acid supplement/dietary folate and cognitive development in 4-year-old offspring from the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202306; 13(1):9541.

Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Kyozeuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association between gestational age at threatened preterm birth diagnosis and incidence of preterm birth: the Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202308; 13(1):12839.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Mori M, Sakurai K, Ishikuro M, Hamada H, Saito M, Sugawara J, Arima T, Metoki H, Kuriyama S, Goto A, Yaegashi N, Nishigori H. Factors associated with new onset of father-to-infant bonding failure from 1 to 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan environment and children's study. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*. 202311; 58(11):1603-1624.

〔総説等〕

高橋俊文. 【胚培養士の教育と育成】管理胚培養士のススメ. *Journal of Mammalian Ova Research*. 202304; 40(1):3-7.

高橋俊文. 生殖医療における研究発表の基本. *日本 IVF 学会誌*. 202310; 26(2):85-90.

高橋俊文. 【生殖医療への貢献】不妊症・不育症の原因と分類 現代社会における生殖医療の現状. *臨床検査*. 202301; 67(1):44-48.

〔症例報告〕

Okoshi C, Takahashi T, Fukatsu M, Suganuma R, Ikezoe T, Fujimori K. A case of delayed postoperative bleeding after excision of endometrial polyp using resectoscope in an infertile woman with von Willebrand disease: a case report and literature review. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202311; 69(3):197-204.

Ota K, Takahashi T, Ajiro Y, Nohara S, Shuno Y, Kamiyama H, Kobayashi T. Unilateral Ovarian Hypoplasia with Ipsilateral Fallopian Tube Hypoplasia. *Journal of Minimally Invasive Gynecology*. 202309; 30(9):685-686.

Kamo N, Takahashi T, Soeda S, Jimbo M, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Hydrosalpinx in a premenarcheal 14-year-old girl with the proliferation of smooth muscle cells in the isthmus of the fallopian tube: A case report.

Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202302; 49(2):769-774.

矢澤里穂, 高橋俊文, 古川結香, 高梨子篤, 飯澤禎之, 武市和之. 初回治療から6年後に肺転移にて再発した子宮頸部中腎管腺癌の一例. 福島医学雑誌. 202308; 73(2):37-44.

書籍等出版物

西郡秀和. 妊娠中のストレスと児への影響. In: 伊藤真也, 村島温子, 鈴木利人. 向精神薬と妊娠・授乳 改訂3版. 東京: 南山堂; 202304. p.159-163.

西郡秀和. 国際DOHaD学会と世界の状況. In: 日本DOHaD学会. DOHaD先制医療への展開. 東京: 金原出版; 202305. p.296-303.

西郡秀和(作成委員). In: 日本産科婦人科学会, 日本産婦人科医会. 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023. 東京: 日本産科婦人科学会; 202308.

研究発表等(講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

山口明子, 藤森敬也, 小宮ひろみ, 高橋俊文. 福島県における病的無月経症例の実態調査. 令和5年度福島県産婦人科学会春季学術集会; 20230429; 福島.

高橋俊文. 福島県における小児・AYA世代の妊孕性温存—福島県がん生殖医療ネットワークに構築にむけて—. AYA世代のがん患者を考える会; 20230525; 郡山.

佐藤雄翔, 古川成宜, 加藤麻美, 岡部慈子, 佐藤哲, 三浦秀樹, 加茂矩人, 添田周, 渡辺尚文, 高橋俊文, 小宮ひろみ, 藤森敬也. 卵巣腫瘍との鑑別を要した右付属器領域に発生した後腹膜リンパ管腫の一例. 第153回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会; 20230617-18; 秋田.

高橋俊文. ART施設での急な診療中断時のリスクマネージメントについて. 第7回ART JAPAN 生殖医療研究会; 20230820; 東京.

太田邦明, 浅井哲, 高木駿, 宮崎康太郎, 田島博人, 浅田弘法, 高橋俊文. 子宮全摘出術の既往のある女性に生じた原因不明の骨盤内石灰化病変に対して、診断的・治療的腹腔鏡手術が有効であった1例. 第63回日本産婦人科内視鏡学会; 20230914-16; 大津.

神季, 菅沼亮太, 村松七生, 高橋俊文, 木村康之, 菅原延夫, 藤森敬也. 福島県における乳がん症例に対する妊孕性温存療法の現状と課題. 令和5年度福島県産婦人科学会秋季学術集会; 20230918; 福島.

村松七生, 菅沼亮太, 神季, 高橋俊文, 藤森敬也. 当院における内膜症治療薬であるディナゲストを用いた不妊治療の使用経験. 令和5年度福島県産婦人科学会秋季学術集会; 20230918; 福島.

高橋俊文. 生殖補助医療施設での急な診断中断時におけるリスクマネージメントアンケート調査—特に凍結胚の取り扱いについての結果報告. 第60回東北生殖医学会総会・学術講演会; 20231029; 盛岡.

白澤弘光, 岡田英孝, 沖津摂, 木村正, 木村直子, 久慈直昭, 高橋和政, 高橋俊文, 寺田幸弘, 長谷川久隆, 福永憲隆. 関連4学会による胚培養士業務全国調査から得られた胚培養士業務実施率に関する検討. 第68回日本生殖医学会学術講演会・総会; 20231109-10; 金沢.

高橋俊文. 生殖医療の基礎知識. 不妊治療と仕事の両立セミナー; 20231114; Web.

太田邦明, 高橋俊文. 異なる病因を有した視床下部性排卵障害: 3症例と文献的考察. 第28回日本生殖内分泌学会学術集会; 20231118-19; 大津.

菅沼亮太, 木村康之, 神季, 佐藤雄翔, 村松七生, 込山真貴子, 野口香里, 菊地瑛子, 本田明奈, 高橋俊文, 菅原延夫, 藤森敬也. 福島県における乳がん症例に対する妊孕性温存療法の現状と課題. 第26回福島リプロダクション研究会; 20231126; 福島.

高橋俊文, 大越千弘, 菅沼亮太. 妊娠初期の黄体補充と外性器発生について—性分化疾患から考える—. 第26回福島リプロダクション研究会; 20231126; 福島.

高橋俊文, 佐藤雄翔, 神季, 村松七生, 菅沼亮太. 調節卵巣刺激別の胚移植実施可能性に関する検討—ART登録を用いたビッグデータ解析—. 第26回福島リプロダクション研究会; 20231126; 福島.

村松七生, 菅沼亮太, 神季, 高橋俊文, 藤森敬也. von Willebrand 病 (vWD) 合併原発性不妊症例に対する体外受精 胚移植による治療経験. 第26回福島リプロダクション研究会; 20231126; 福島.

高橋俊文. 婦人科 common disease におけるホルモン療法の理屈. 福島県産婦人科医会会津支部講演会; 20231215; 会津若松.

〔シンポジウム〕

高橋俊文. いまさら聞けない研究発表の基本—生殖医療の現場から正しい情報発信を目指して. 第41回日本受精着床学会総会・学術講演会; 20230727-28; 仙台.

佐藤美紀子, 高橋俊文, 川名敬, 鈴木直. がんサバイバーの栄養と治療者の役割. 第47回日本女性栄養・代謝学会学術集会; 20230824-25; 岡山.

太田邦明, 高橋俊文. 婦人科がんサバイバーの診療. 第33回臨床内分泌代謝 Update; 20231103-04; 横浜.

〔その他〕

高橋俊文. カップル自身で行う・行える不妊治療. 青森県令和4年度不妊相談員研修会; 20230211; Web.

高橋俊文. 薬剤師に覚えておいて欲しい不妊症治療薬の使用の実例—生殖補助医療を中心に—. 福島薬剤師会・福

島県病院薬剤師会福島支部 2023 年(令和 5 年)2 月合同研修会; 20230215; 福島.

高橋俊文. 働く女性の健康支援について. 産業保健研修会; 20230228; Web.

高橋俊文. 国内 ART 疫学と余剰胚凍結数に関する課題. 第 68 回日本生殖医学会学術講演会・総会; 20231109; 金沢.

放射線医学県民健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Goto A, Lloyd Williams A, Okabe S, Murakami M, Machida M, Koriyama C, Nollet KE. Beyond radiation anxiety and country borders: applying health literacy in the field after the Fukushima nuclear disaster. *Annals of the ICRP*. 2023; 52(S1):149-152.

Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, Saito K, Neupane P, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Yoshimoto Y, Sato H, Kono K, Suzuki Y. Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*. 202310; 43(10):4691-4700.

Amir I, Eguchi Y, Saotome K, Ogawa S, Kojima Y, Tamaki T, Tsubokura M. The "GU-GU-RU" project to eliminate discrimination related to the health effects of the Fukushima nuclear accident. *BMC Public Health*. 202310; 23(1):2050.

Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K. Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis. *Cancer Reports*. 202307; 6(7):e1832.

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(1):52-57.

Tanaka T, Yokoya S, Yoshii K. Analysis of the distribution of adult height standard deviation scores in relation to prepubertal height standard deviation scores using longitudinal growth data: Investigation of the catch-up rates of children with short stature to attain normal adult height. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2023; 32(4):206-212.

Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Takahashi F, Oshima T, Suzuki Y, Kono K. Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*. 202308; 3(1):111.

Yoneshiro A, Takebayashi Y, Murakami M. The Association Between Music Preferences and Well-Being After the Fukushima Disaster: A Cross-Sectional Study. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202303; 17:e372.

Takahashi A, Ohira T, Hayashi F, Yasumura S, Shimabukuro M, Sakai A, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Kazama JJ, Hashimoto K, Nakano H, Nagao M, Sato S, Okazaki K, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Ohira H. Impact of Lifestyle and Psychosocial Factors on the Incidence of Hepatobiliary Enzyme Abnormalities After the Great East Japan Earthquake: Seven-Year Follow-up of the Fukushima Health Management Survey. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202307; 17:e441.

Tsuchihashi T, Kanno T, Nemoto H, Takahashi A, Moriyama N, Yasumura S. Association Between Radiation Education and Knowledge on Thyroid Examination Among Medical Students in Fukushima, Japan. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202308; 17:e456.

Kinoshita L, Goto A, Okabe S, Satoh K, Honda K, Ueda K, Murakami M, Nollet KE. Daily meals in context: A quantitative analysis of elementary school students' drawings. *Frontiers in Communication*. 2023; 8:1008108.

Wakashima K, Kamoshida S, Nihonmatsu N. Revision of the Three Steps Model. *International Journal of Brief Therapy and Family Science*. 202304; 13(1):1-5.

Seki F, Takagi G, Koiwa K, Nihonmatsu N, Wakashima K. Typology of Conditional Self-acceptance in Association with Positivity and Stress Response. *International Journal of Brief Therapy and Family Science*. 202304; 13(1):6-14.

Kawashima M, Murakami M, Kobayashi T, Takebayashi Y, Tsubokura M, Yasutaka T, Tamaki T. Post-traumatic growth caused by the Great East Japan Earthquake and response to coronavirus disease 2019. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202309; 95:103917.

Ikeda S, Ikeda A, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Maeda M, Yabe H, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Tanigawa T. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with The Changes in Living Environment Caused by the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(1):857.

Nakayama C, Iwasa H, Moriyama N, Yasumura S. Relationship between the Effects of Perceived Damage Caused by Harmful Rumors about Fukushima after the Nuclear Accident and Information Sources and Media. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202301; 20(3):2077.

Hayashi F, Shirai Y, Ohira T, Shirai K, Kondo N, Kondo K. Subjective Happiness, Frequency of Laughter, and

Hypertension: A Cross-Sectional Study Based on the Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES). *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202305; 20(9):5713.

Murata T, Yasuda S, Kyojuka H, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Association between Labor Duration in Singleton Spontaneous Vaginal Deliveries and Offspring Neurodevelopment: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Gynecology & Obstetrics*. 202306; 161(3):1097-1101.

Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Nishigori T, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study Group. Congenital Anomalies in Infants in Fukushima from 2011 to 2014: The Japan Environment and Children's Study. *JMA Journal*. 202301; 6(1):36-47.

Yokomitsu K, Takashina HN, Takebayashi Y, Muranaka S. Cultural Adaptation of the Actionable Health App Evaluation in Japan: Protocol for a Web-Based Modified Delphi Expert Consensus Study. *JMIR Research Protocols*. 202311; 12(1):e44469.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202302; 14(1):70-76.

Mori M, Nishigori T, Ogata Y, Suzuki T, Sato A, Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Metoki H, Shinohara Y, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal prenatal psychological distress and motor/cognitive development in two-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease*. 202306; 14(3):389-401.

Sato H, Eguchi E, Funakubo N, Nakano H, Imano H, Ohira T. Association Between Changes in Alcohol Consumption Before and After the Great East Japan Earthquake and Risk of Hypertension: A Study Using the Ministry of Health, Labour and Welfare National Database. *Journal of Epidemiology*. 202312; 33(12):607-617.

Omoto T, Kyojuka H, Murata T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Fukuda T, Isogami H, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of preconception carbohydrate intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202302; 49(2):577-586.

Takahashi N, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kudo S, Saito Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A, Sano H. T-Cell-Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for a Patient With Tcf3-Hlf-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Extramedullary Relapse After Unrelated Bone Marrow Transplantation. *Journal of Pediatric Hematology/oncology*. 202304; 45(3):e419-e422.

Fukasawa M, Nishi D, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Effects of disaster-related traumatic events on worry about radiation and COVID-19: A decade after the Fukushima nuclear power plant accident. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:135-141.

Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Akahane K, Yasumura S, Kamiya K, Suzuki G. Comparison between external and internal doses to the thyroid after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Journal of Radiation Research*. 202303; 64(2):387-398.

Shimura H, Yokoya S, Suzuki S, Iwadata M, Suzuki S, Matsuzuka T, Suzuki S, Hayashi F, Nagao M, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Confounding factors and biases involved in regional differences in the detection rate of thyroid cancer in the second-round Thyroid Ultrasound Examination: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202309; 64(5):761-768.

Liutsko L, Oughton D, Tomkiv Y, Fattibene P, Monaca SD, Nuccetelli C, Goto A, Ohba T, Lyamzina Y, Tanigawa K, Novikava N, Chumak V, Pirard P, Charron S, Laurier D, Croûail P, Schneider T, Barquinero JF, Sarukhan A, Cardis E. Resilience after a nuclear accident: readiness in using mobile phone applications to measure radiation and health indicators in various groups (SHAMISEN SINGS project). *Journal of Radiological Protection*. 202312; 43(4):041511.

Harigane M, Nakajima S, Takebayashi Y, Maeda M, Nakano H, Yasumura S, Yabe H, Ohira T, Kamiya K; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Posttraumatic stress response following the loss of significant close others in the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Traumatic Stress*. 202302; 36(1):129-143.

Ikeda K, Nollet KE. FIT for surgery: fractures, iron, and tranexamic acid. *Lancet Haematology*. 202309; 10(9):e699-e700.

Kyozuka H, Ohhira T, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Yasumura S, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Eight-Year Trends in the Effect of the Great East Japan Earthquake on Obstetrics Outcomes: A Study from the Fukushima Health Management Survey. *Life*. 202308; 13(8):1702.

Yamagishi K, Maruyama K, Ikeda A, Nagao M, Noda H, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Okada C, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Ohira T, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Tanigawa T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Dietary fiber intake and risk of incident disabling dementia: the Circulatory Risk in Communities Study. *Nutritional Neuroscience*. 202302; 26(2):148-155.

Kawasaki Y, Nakano H, Hayashi F, Hosoya M, Yasumura S, Ohira T, Satoh H, Suzuki H, Takahashi A, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Obesity and glucose metabolism abnormalities by post-disaster evacuation. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15400.

Tanaka Y, Inage E, Matsumoto M, Murano Y, Endo A, Nakabayashi Y, Yokoya S, Iwama I, Suzuki Y, Oyama S, Baba Y, Kudo T, Ohtsuka Y, Shimizu T. Low billing rates for pediatric sedation fee on magnetic

resonance imaging. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15532.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15656.

Hosoya M, Nakano H, Hashimoto K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Influence of post-disaster evacuation on childhood obesity and liver dysfunction: The Fukushima Health Management Survey. *Pediatrics International*. 202301; 65(1):e15663.

Idaka T, Iwasa H, Yasumura S. Associations of acute medical care with the transfer and acceptance functions of hospitals in a region in Japan with limited medical resources. *PLOS ONE*. 202301; 18(1):e0280802.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Ito M, Horikoshi M, Kato N, Oe Y, Fujisato H, Yamaguchi K, Nakajima S, Miyamae M, Toyota A, Okumura Y, Takebayashi Y. Efficacy of the unified protocol for transdiagnostic cognitive-behavioral treatment for depressive and anxiety disorders: a randomized controlled trial. *Psychological Medicine*. 202305; 53(7):3009-3020.

Ma E, Ohira T, Fukasawa M, Yasumura S, Miyazaki M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Hosoya M. Prevalence trends of metabolic syndrome in residents of postdisaster Fukushima: a longitudinal analysis of Fukushima Health Database 2012-2019. *Public Health*. 202304; 217:115-124.

Ito S, Okabe S, Goto A. Attitudes toward future motherhood among female college students in Fukushima Prefecture at seven years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Radioprotection*. 202310; 58(4):271-279.

二本松直人, 熊倉志乃, 狐塚貴博. 【子どもに対するブリーフセラピー1 学校内システムにおける支援】ゲーム障害. *Interactional Mind*. 202301; 15:30-36.

中野裕紀, 松田彩子, 星佳芳. がん医療情報 WEB サイトの信頼性の検討—信頼性を示す認証コード (HONcode) を用いた分析—. *Mumps*. 202304; 30:67-75.

今村扶美, 竹林由武, 伊藤正哉, 出村綾子, 松本俊彦, 平林直次, 鬼頭伸輔, 堀越勝. 医療機関における公認心理師の雇用と業務の実態—心理支援の拡充と制度の見直しに向けて—. *精神神経学雑誌*. 202302; 125(2):116-128.

廣田誠子, 中山千尋, 吉永信治, 森山信彰, 安村誠司. 放射線による次世代影響不安と知識に関する解析: 福島県全域に対する「健康と情報についての調査」回答結果を用いて. *日本公衆衛生雑誌*. 202307; 70(7):415-424.

神野真帆, 渡辺和広, 中野裕紀, 高階光梨, 伊藤弘人, 大平哲也, 野村恭子, 堤明純. ICT を活用したメンタルヘルスケアサービスのエビデンス構築と社会実装方策. 日本公衆衛生雑誌. 202308; 70(8):465-473.

賀藤均, 位田忍, 犬塚亮, 落合亮太, 掛江直子, 坂上博, 櫻井育穂, 福島慎吾, 本田雅敬, 増子孝徳, 横谷進, 松原知代, 窪田満. 小児期発症慢性疾患を有する患者の成人移行支援を推進するための提言. 日本小児科学会雑誌. 202301; 127(1):61-78.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Popkov D, Yokokawa H, Kumagai A, Goto A. Epidemiology, education, and care for patients with diabetes in Belarus. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 202311; 12:1-9.

〔総説等〕

Kaneko I, Goto A, Nollet KE. Can a Mood Tracker Improve Young People's Mental Health? Diponegoro International Medical Journal. 202312; 4(2):57-60.

志村浩己. 福島県原子力発電所事故後における小児・若年者甲状腺癌. 医学と薬学. 202302; 80(3):275-280.

志村浩己. FOCUS 福島県「県民健康調査」甲状腺検査における甲状腺超音波検査の役割. 検査と技術. 202305; 51(5):570-572.

志村浩己. 福島原発事故・県民健康調査② 福島県原子力発電所事故後における小児・若年者甲状腺がん. 公衆衛生. 202311; 87(11):1103-1112.

中野裕紀. 福島原発事故・県民健康調査 避難生活と身体影響. 公衆衛生. 202311; 87(11):1113-1119.

〔その他〕

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202303; 2023 3・4月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202305; 2023 5・6月号:24-27.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202307; 2023 7・8月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202309; 2023 9・10月号:22-25.

安村誠司. 座ってできる 太極拳ゆったり体操. レクリエ. 202311; 2023 11・12月号:24-27.

安村誠司. 日本の災害と公衆衛生 過去・現在・未来 東日本大震災（福島県）10年間の教訓. 公衆衛生. 202301; 87(1):66-71.

安村誠司. With コロナ時代に求められる公衆衛生人材 Editorial—今月号の特集について. 公衆衛生. 202309; 87(9):857.

安村誠司. With コロナ時代に求められる公衆衛生人材 健康危機管理を通じて考える公衆衛生人材. 公衆衛生. 202309; 87(9):910-917.

安村誠司. 人は家のどの場所で命を落とすのか? 「死の間取り」ここに気をつけろ! 週刊現代. 202311; 2023 年 12 月 2・9 日号:134-136.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 前田正治, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10 年の歩みと今後の方向性. 福島医学雑誌. 202302; 85(2):19-25.

水木理恵. 最新研究レポート シーズン 3 第 43 回人種に関するマイクロアグレッション 経験, 影響, そして抵抗. 臨床心理学. 202311; 23(6):713-717.

書籍等出版物

大戸斉. 8.1 母児間血液型不適合による胎児・新生児溶血性疾患. In: 日本臨床衛生検査技師会. 輸血・移植検査技術教本 第 2 版 (JAMT 技術教本シリーズ). 東京: 丸善出版; 202301. p.142-145.

安田広康, 大戸斉. 9.1 母体のための検査. In: 日本臨床衛生検査技師会. 輸血・移植検査技術教本 第 2 版 (JAMT 技術教本シリーズ). 東京: 丸善出版; 202301. p.148-149.

安田広康, 大戸斉. 9.2 患児のための検査. In: 日本臨床衛生検査技師会. 輸血・移植検査技術教本 第 2 版 (JAMT 技術教本シリーズ). 東京: 丸善出版; 202301. p.150-152.

安村誠司. QOL と障害. In: 三浦克之, 玉腰暁子, 尾島俊之 編集. 疫学の事典. 東京: 朝倉書店; 202301. p.168-169.

安村誠司. ADL・IADL の評価尺度と要介護認定. In: 三浦克之, 玉腰暁子, 尾島俊之 編集. 疫学の事典. 東京: 朝倉書店; 202301. p.170-171.

志村浩己. Chapter2 甲状腺 CQ37 放射線被ばくと甲状腺疾患の関連についての説明方法は? In: 成瀬光栄, 田辺晶代, 方波見卓行, 高橋裕, 田上哲也, 竹内博. 内分泌代謝疾患 Clinical question 100 改定第 2 版. 東京: 診断と治療社. 202306. p.82-83.

安村誠司, 他. 報告 感染症パンデミックに対するわが国の平時・緊急時の臨床・疫学・基礎研究の現状と課題. 東京: 日本学術会議; 202306.

安村誠司, 他. 報告 初等中等教育におけるリスク教育の推進. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司, 他. 報告 加熱式タバコの毒性を知り 科学的根拠に基づく施策の実現を. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司, 他. 見解 ウィズコロナを見据えたレジリエントな、かつ安心感ある地域づくりと医療ケア体制の再構築. 東京: 日本学術会議; 202309.

安村誠司. 高齢者保健. In: 国試対策問題編集委員会. 共用試験 CBT・医師国家試験のためのレビューブック 公衆衛生 2024. 東京: メディックメディア; 202310. p.247-272.

山崎幸子, 安村誠司. IV章 01. 図表の描き方 (グラフ, ヒストグラム, チャート) . In: 中村好一. 医療系のためのもっとやさしい統計学入門. 東京: 診断と治療社; 202311. p.128-141.

安村誠司 (監修), 浅川康吉 (編集). Crosslink basic リハビリテーションテキスト 公衆衛生学. 東京: メジカルビュー社; 202312.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Nollet KE. Transfusion-Associated Hyperkalemia: Cases, Causes, and Countermeasures. Transfusion Medicine Updates Education Program (preceding BEST LXV); 20230327; 東京/Web.

Sato S, Ooka T, Zamami Y, Hamano H, Hayashi F, Eguchi E, Funakubo N, Ohira T. Development of a predictive model for mortality in severe drug eruptions using sparse modeling. 29th Congress of the Federation of Asian Pharmaceutical Associations (FAPA); 20231025-26; Taipei, Taiwan.

大平哲也, 長尾匡則, 林史和, 志村浩己, 安村誠司, 高橋秀人, 鈴木悟, 鈴木聡, 鈴木眞一, 石川徹夫, 坂井晃, 祖父江友孝, 鈴木元, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二. 福島第一原発事故後の放射線被ばくと甲状腺がんとの関連についての症例対照研究: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 89.

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患 との関連に及ぼす出産経験の影響: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 141.

安村誠司, 大平哲也, 石川徹夫, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 藤森敬也, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」の実績と現状. 第33回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 153.

吉田純子, 江口依里, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二, 大平哲也. 東日本大震災後の食品摂取頻度と精神的健康との関連～横断研究～: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 172.

長尾匡則, 細見晃司, 朴鐘旭, 白井こころ, 舟久保徳美, 高田碧, 山岸良匡, 清水悠路, 村木功, 今野弘規, 岡田武夫, 木山昌彦, 村上晴香, 南里妃名子, 水口賢司, 宮地元彦, 國澤純, 磯博康, 大平哲也. 飲酒習慣と腸内細菌叢との関連: CIRCS 研究. 第33回日本疫学会学術総会; 20230202; 浜松.

林史和, 吉田知克, 江口依里, 舟久保徳美, 岡崎可奈子, 藤田恭啓, 高橋敦史, 中野裕紀, 長尾匡則, 大平哲也. 福島県避難区域等男性住民の脂肪肝の有病率と心理社会的要因の関連について. 第33回日本疫学会学術

総会; 20230202-03; 浜松/Web.

安川純代, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 前田正治, 坂井晃, 島袋充生, 安村誠司, 矢部博興, 針金まゆみ, 神谷研二. 東日本大震災後の精神的苦痛と避難経験の循環器疾患との関連に及ぼす出産経験の影響: 福島県県民健康調査. 第 33 回日本疫学会学術総会; 20230202-03; 浜松/Web.

Nollet KE, Ngoma A, Ikeda K, Ohto H. 輸血関連高カリウム血症 (TAH): Cases, Causes, and Countermeasures. 第 122 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20230225; 郡山.

大戸斉. 『高頻度抗原 KANNO に対する同種交代の血清学的性状と臨床的意義』～37 番目の新たな血液型発見～. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):151.

當瀬ちひろ, 大戸斉, 桂木真司, 重草望美, 竹ノ内博之, 山田直史, 荻山佳子, 伊藤正一. 胎児水腫をきたした抗 Jra 陽性妊婦の一例. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):348.

Nollet KE, Ngoma A, 池田和彦, 大戸斉. 輸血関連高カリウム血症 (TAH): Cases, Caution, and Countermeasures. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):355.

荻山佳子, 伊藤正一, 阿藤秀樹, 柴崎至, 加藤美加, 當瀬ちひろ, 桂木真司, 大戸斉. JR 血液型不適合妊婦で胎児輸血した児の Jra 抗原解析に FCM 解析が有用だった 2 症例. 第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20230512; 千葉. 日本輸血細胞治療学会誌. 69(2):357.

浅野眞比呂, 高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 太田寿, 鈴木聡, 古屋文彦, 鈴木悟, 鈴木眞一, 大平哲也, 安村誠司, 横谷進, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の本格検査における甲状腺のう胞の発見率および最大径の分析. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-15; 東京/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):132.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 濱谷由香, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 前田正治, 大平哲也, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査における受診者・家族の不安へのアプローチ: 心理的サポートの有効性に関する検討. 第 50 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20230513-14; 東京/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(2):132.

高橋智里, 中畑那奈, 江尻遥香, 浅野眞比呂, 長嶺夏希, 佐藤綾子, 太田寿, 志村浩己. 超音波診断装置評価用ファントムを用いた超音波診断装置の経時変化の評価. 第 54 回福島医学検査学会; 20230527-28; 会津若松. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 61:24.

林史和, 大平哲也, 高橋敦史, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取頻度及び食品摂取多様性と Fatty liver index との関連: 福島県県民健康調査. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島. 日本循環器病予防学会誌. 58(2):99.

中野裕紀, 林史和, 吉田知克, 梅澤光政, 佐久間潤, 小橋元, 安村誠司, 大平哲也. 福島県における東日本大震災後の脳卒中発症の推移、地域差の検討: 福島県脳卒中発症登録. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会;

20230603; 鹿児島. 日本循環器病予防学会誌. 58(2):106.

舟久保徳美, 藤森友基, 江口依里, 長尾匡則, 木山昌彦, 山岸良匡, 村木功, 今野弘規, 磯博康, 大平哲也. 舌清掃習慣と血圧コントロール不良との関連. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会; 20230603; 鹿児島.

佐久間棕子, 岩佐一, 安村誠司. 地域における家族計画支援の実態と課題に関するインタビュー調査研究. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:24.

井高貴之, 岩佐一, 安村誠司. 日本の医療資源が限られた地域における急性期医療と病院の転院・受入機能の関連. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:31.

石井なつみ, 江口依里, 前田正治, 安村誠司, 矢部博興, 高橋敦史, 高瀬佳苗, 神谷研二, 林史和, 大平哲也. 東日本大震災後の福島県における食品摂取頻度と糖尿病発症リスクとの関連: 県民健康調査. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:36.

佐藤志帆, 中野裕紀, 江口依里, 林史和, 舟久保徳美, 長尾匡則, 大平哲也. 機械学習を用いた重症薬疹の生命予後予測のための特徴量抽出—国内有害事象自発報告データベースを用いた解析—. 医療薬学フォーラム 2023; 20230722; 山形.

佐藤愛咲子, 江口依里, 林史和, 岡田武夫, 木山昌彦, 大平哲也. ライフイベントとうつ発症との関連についての前向き研究. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

濱口雄飛, 林史和, 江口依里, 白井こころ, 近藤克則, 大平哲也. 感謝の頻度と生活習慣病との関連. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031; つくば.

林史和, 安部恭子, 佐藤美佳, 大平哲也, 高橋敦史, 坂井晃, 島袋允生, 前田正治, 矢部博興, 佐藤志帆, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の避難期間と肝機能障害との関連: 福島県県民健康調査. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 290.

安村誠司, 大平哲也, 志村浩己, 坂井晃, 前田正治, 三浦至, 大戸斉, 神谷研二. 福島県「県民健康調査」10 年の実績、現状と今後の課題. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 305.

木下ゆり, 中山千尋, 伊東尚美, 森山信彰, 岩佐一, 安村誠司. 東日本大震災後の福島県沿岸部の高齢者の食品摂取多様性とその関連要因. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 315.

岡崎可奈子, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 島袋允生, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後のやせの新規発生についての年齢層別解析: 福島県「県民健康調査」. 第 82 回日本公衆衛生学会総会; 20231031-1102; つくば. 抄録集. 393.

石川智, 水木理恵. バウンダリー（境界線）に関する文献検討からみる社会的養護における性・生教育への示唆. 日本子ども虐待防止学会第 29 回学術集会滋賀大会; 20231125; 大津.

鈴木聡, 岩館学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体・甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

中畑那奈, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 高橋智里, 岩館学, 鈴木聡, 鈴木悟, 鈴木眞一, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 小児および青少年における甲状腺びまん性甲状腺腫の有病率と BMI、嚢胞および結節の存在との関連: 福島県健康管理調査. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207-09; 金沢. 日本内分泌学会雑誌. 99(5):1302.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査二次検査における受診者家族の不安の差異に関する検討—親子の性別に着目して—. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231209; 金沢.

高橋智里, 江尻遥香, 中畑那奈, 浅野眞比呂, 田崎里奈, 阿部紀和, 長嶺夏希, 佐藤綾子, 太田寿, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 鈴木悟, 古屋文彦, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺超音波ガイド下穿刺技術習得用のファントム施策と使用感の評価. 第 51 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20231217; 東京. 乳腺甲状腺超音波医学. 12(4):144.

〔シンポジウム〕

志村浩己. 甲状腺検査において明らかになっている甲状腺がん発症に関連している因子. 2023 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20230304; 福島.

安村誠司. 被災者にとっての「ありがたい」支援とは. 上智大学多文化共生社会研究所主催 第 4 回公開シンポジウム; 20230311; 東京/Web.

太田寿, 長嶺夏希, 高橋智里, 山谷幸恵, 佐藤綾子, 鈴木聡, 鈴木眞一, 鈴木悟, 古屋文彦, 志村浩己. 福島県「県民健康調査」における甲状腺超音波検査の迅速化および標準化のための方策. 日本超音波医学会第 96 回学術集会; 20230527-29; さいたま.

安村誠司 (座長). ウイズ・ポストコロナ時代における老年学の役割と発揮: 新たなステージに向けて. 日本学術会議公開シンポジウム; 20230729; Web.

安村誠司 (座長). 高齢者の健康・生活の視点から 新型コロナ感染症対策に求められる 老年学の役割と発揮. 日本学術会議公開シンポジウム; 20230729; Web.

高木源, 二本松直人, 野口修司, 柴田理瑛, 伊藤正哉. 震災の経験から考える VUCA 時代のこころの支援. 日本カウンセリング学会第 55 回大会; 20230804; Web.

志村浩己. 福島県「県民健康調査」甲状腺検査のこれまでの結果と小児・若年者における甲状腺に関する知見. 第 11 回日本 DOHaD 学会学術集会; 20230804-05; 福島.

二本松直人, 奥山滋樹, 小林大介, 櫻庭真弓, 若島孔文. 家族研究の現在と課題 (2) 一家族と社会の観点から一. 日本心理臨床学会第 42 回大会; 20231008; Web.

水木理恵. HOME 評価に参加した経験のインタビュー分析. 日本子ども虐待防止学会第 29 回学術集会滋賀大会; 20231125; 大津.

志村浩己. 福島県「県民健康調査」甲状腺検査の現状と将来展望. 第 66 回日本甲状腺学会学術集会; 20231207-09; 金沢. 日本内分泌学会雑誌. 99(5):1217.

〔特別講演〕

仙道富士郎, 安村誠司. 釈迦に説法—COVID-19 から学ぶことなど—. 第 72 回東北公衆衛生学会 プレセミナー; 20230720; 福島.

〔招待講演〕

志村浩己. 甲状腺超音波検査のポイントとピットフォールおよび福島県「県民健康調査」甲状腺検査の現況. 第 70 回日本臨床検査医学会学術集会; 20231116-19; 長崎.

〔その他〕

Nollet KE. Healthcare, come hell or high water: Lessons from Japan's 2011 earthquake, tsunami, and nuclear crisis. Mayo Clinic DLMP Division of Transfusion Medicine; 20230810; Rochester, USA.

Nollet KE. Healthcare, come hell or high water: Lessons from Japan's 2011 earthquake, tsunami, and nuclear crisis. University of Minnesota DLMP Division of Transfusion Medicine; 20230824; Minneapolis, USA.

安村誠司. 脱フレイル宣言～介護いらずの体をつくる. 福島民友; 20230624.

安村誠司（学会長）. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島.

坂田清美, 辻一郎, 安村誠司. 特別鼎談：東日本大震災からの学び. 第 72 回東北公衆衛生学会; 20230721; 福島. 東北公衆衛生学会誌. 72:10-12.

安村誠司, 坂田清美, 辻一郎. 情報発信の重要性共有 震災の教訓、3 県専門家鼎談. 福島民報; 20230722.

安村誠司. 「亀岡よしたみのカメカメトーク」27 周年記念特別 SP. FM-POCO; 20230827.

安村誠司. 予防で知見生かす／政府の新型インフル等対策推進会議委員. 福島民報; 20230902.

安村誠司. 感染症対策、予防が鍵／政府・新型インフル等対策推進会議メンバー. 福島民友; 20230902.

安村誠司（大会長）. ヘルスコミュニケーションウィーク 2023～福島～; 20230930-1001; 福島.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

安村誠司. 福島県感染症対策アドバイザー. 20200901-.

安村誠司. 広島大学医学部連携教授. 20171001-.

安村誠司. 郡山市健康づくり推進懇談会委員. 20220215-.

Nollet KE. 放射線医学県民健康管理センター「県民健康調査」検討委員会 県民健康調査実施状況・結果 英訳公開. 20130401-継続中. Available from: <https://fhms.jp/en/fhms/>

健康増進センター

論文

〔原 著〕

Juber NF, Shongwe MC, Ma E, Lin WS, Ngo TH. The Association Between Pediatric Asthma and Missed School Days: A Sex-Stratified Secondary Analysis From the Indonesian Family Life Survey. *Asia-Pacific Journal of Public Health*. 202301; 35(1):85-87.

Fukasawa M, Nishi D, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Effects of disaster-related traumatic events on worry about radiation and COVID-19: A decade after the Fukushima nuclear power plant accident. *Journal of Psychiatric Research*. 202307; 163:135-141.

Ma E, Ohira T, Fukasawa M, Yasumura S, Miyazaki M, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Hosoya M. Prevalence trends of metabolic syndrome in residents of postdisaster Fukushima: a longitudinal analysis of Fukushima Health Database 2012–2019. *Public Health*. 202304; 217:115-124.

Ma E, Fukasawa M, Ohira T, Yasumura S, Suzuki T, Furuyama A, Kataoka M, Matsuzaki K, Sato M, Hosoya M. Lifestyle behaviour patterns in the prevention of type 2 diabetes mellitus: the Fukushima Health Database 2015-2020. *Public Health*. 202311; 224:98-105.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

深澤舞子, 三宅美智, 吉川隆博, 末安民生. 精神科病棟において強制的な手段を使うことに対するスタッフの態度の測定. 第 41 回日本社会精神医学会; 20230316; 神戸.

〔シンポジウム〕

深澤舞子. Worry about radiation and mental health after Fukushima nuclear power plant accident. 20th International Congress of the Pacific Rim College of Psychiatrists; 20231014; Kuala Lumpur, Malaysia.

甲状腺・内分泌センター

論文

〔原 著〕

Ejiri H, Asano M, Nakahata N, Suzuki S, Sato A, Nagamine N, Takahashi C, Yamaya Y, Iwadata M, Matsuzuka T, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Furuya F, Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Ultrasonography-based reference values for the cross-sectional area of the thyroid gland in children and adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Clinical Pediatric Endocrinology. 2023; 32(1):52-57.

Shimura H, Yokoya S, Suzuki S, Iwadata M, Suzuki S, Matsuzuka T, Suzuki S, Hayashi F, Nagao M, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Confounding factors and biases involved in regional differences in the detection rate of thyroid cancer in the second-round Thyroid Ultrasound Examination: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Radiation Research. 202309; 64(5):761-768.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大平哲也, 長尾匡則, 林史和, 志村浩己, 安村誠司, 高橋秀人, 鈴木悟, 鈴木聡, 鈴木眞一, 石川徹夫, 坂井晃, 祖父江友孝, 鈴木元, 横谷進, 大戸齊, 神谷研二. 福島第一原発事故後の放射線被ばくと甲状腺がんとの関連についての症例対照研究: 福島県県民健康調査. 第33回日本疫学会学術総会; 20230201-03; 浜松/Web. 講演集. 89.

鈴木聡, 岩館学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体・甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231207; 金沢.

二本松直人, 瀬藤乃理子, 行形裕子, 鈴木悟, 古屋文彦, 横谷進, 志村浩己. 福島原発事故後の甲状腺検査二次検査における受診者家族の不安の差異に関する検討—親子の性別に着目して—. 第66回日本甲状腺学会学術集会; 20231209; 金沢.

先端臨床研究センター

論文

〔原 著〕

Hotsumi H, Ishii S, Suenaga H, Sugawara S, Fukushima K, Ito H. Investigation of tumor assessment between two PET systems using various indices: comparison between PET/CT and PET/MRI systems. *American Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging*. 202308; 13(4):156-163.

Gantumur D, Aikawa M, Khishigjargal T, Norov E, Ukon N, Haba H. Activation cross sections of proton-induced reactions on natural platinum up to 30 MeV. *Applied Radiation and Isotopes*. 202302; 192:110621.

Kitajima K, Kuyama J, Kawahara T, Suga T, Otani T, Sugawara S, Kono Y, Tamaki Y, Seko-Nitta A, Ishiwata Y, Ito K, Toriihara A, Watanabe S, Hosono M, Miyake H, Yamamoto S, Sasaki R, Narita M, Yamakado K. Assessing Therapeutic Response to Radium-223 with an Automated Bone Scan Index among Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer Patients: Data from Patients in the J-RAP-BSI Trial. *Cancers*. 202305; 15(10):2784.

Eiro T, Miyazaki T, Hatano M, Nakajima W, Arisawa T, Takada Y, Kimura K, Sano A, Nakano K, Mihara T, Takayama Y, Ikegaya N, Iwasaki M, Hishimoto A, Noda Y, Miyazaki T, Uchida H, Tani H, Nagai N, Koizumi T, Nakajima S, Miura M, Matsuda N, Kanai K, Takahashi K, Ito H, Hirano Y, Kimura Y, Mastumoto R, Ikeda A, Takahashi T. Dynamics of AMPA receptors regulate epileptogenesis in patients with epilepsy. *Cell Reports Medicine*. 202305; 4(5):101020.

Tonda K, Iwabuchi Y, Shiga T, Owaki Y, Fujita A, Nakahara T, Sakurai R, Shimizu A, Yamada Y, Okada M, Jinzaki M. Impact of patient characteristic factors on the dynamics of liver glucose metabolism: Evaluation of multiparametric imaging with dynamic whole-body ¹⁸F-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography. *Diabetes, Obesity & Metabolism*. 202312; 25(12):3521-3528.

Ogata H, Kitamura S, Fujiwara M, Shimizu M, Tan C, Zhao S, Maejima Y, Shimomura K. Dose dependent effect of Sulfamethoxazole on inhibiting K_{ATP} channel of mouse pancreatic β cell. *Dose Response*. 202309; 21(3):15593258231203611.

Yamakuni R, Ishii S, Yamada S, Hara J, Suenaga H, Sugawara S, Sekino H, Yamaki T, Ishida K, Hashimoto Y, Ito H. Different prognostic outcomes in two cases of FDG-PET/CT-Positive and -negative cardiac angiosarcoma. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202304; 69(1):45-49.

Oto M, Yamada C. Nurse Administrators' Roles for Nurse Retention when Radioactive Disaster occurs: Findings from Nurses' Evacuation Consideration and Evacuation after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *International Journal of Nursing Education*. 202307;15(3):44-52.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of left ventricular mechanical dyssynchrony using integrated ^{13}N -ammonia PETMR system: direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking. *Journal of Nuclear Cardiology*. 202310; 30(5):1947-1958.

Ito H, Ibaraki M, Yamakuni R, Hakozaki M, Ukon N, Ishii S, Fukushima K, Kubo H, Takahashi K. Oxygen extraction fraction is not uniform in human brain: a positron emission tomography study. *Journal of Physiological Sciences*. 202310; 73(1):25.

Zhao J, Nan G, Zhao S. Endovascular thrombectomy prior to decompressive craniectomy in acute ischemic stroke with low ASPECTS. *Kuwait Medical Journal*. 202312; 55(4):343-348.

Ukon N, Aikawa M, Saito M, Hagiwara M, Yashima H, Komori Y, Haba H, Takács S, Ditrói F, Szűcs Z. Activation cross sections of alpha-particle-induced reactions on natural tungsten for osmium and rhenium radionuclides. *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*. 202306; 539:95-101.

Aikawa M, Toyoda Y, Gantumur D, Ukon N, Ebata S, Haba H, Takács S, Ditrói F, Szűcs Z. Activation cross sections of deuteron-induced reactions on natural rhenium up to 23 MeV. *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*. 202310; 543:165093.

Ogawa K, Nishizawa K, Washiyama K, Munekane M, Fuchigami T, Echigo H, Mishiro K, Hirata S, Wakabayashi H, Takahashi K, Kinuya S. Astatine-211-labeled aza-vesamicol derivatives as sigma receptor ligands for targeted alpha therapy. *Nuclear Medicine and Biology*. 202307; 122-123:108369.

Sasaki I, Tada M, Liu Z, Tatsuta M, Okura T, Aoki M, Takahashi K, Ishioka S N, Watanabe S, Tanaka H. 1-(N,N'-Dialkylcarbamoyl)-1,1-difluoromethanesulfonyl ester as a stable and effective precursor for neopentyl labeling group with astatine-211. *Organic & Biomolecular Chemistry*. 202309; 21(36):7467-7472.

Nakahara T, Iwabuchi Y, Miyazawa R, Tonda K, Shiga T, Strauss HW, Antoniadou C, Narula J, Jinzaki M. Assessment of Myocardial ^{18}F -FDG Uptake at PET/CT in Asymptomatic SARS-CoV-2-vaccinated and Nonvaccinated Patients. *Radiology*. 202309; 308(3):e230743.

右近直之. 【2024 年の核医学 TOPICS!】核医学治療における線量評価について. *Rad Fan*. 202312; 22(1):29-32.

菅原茂耕. 【2024 年の核医学 TOPICS!】アルファ線治療と ^{211}At -MABG. *Rad Fan*. 202312; 22(1):38-42.

織内昇. 核医学治療の現状と将来展望. *核医学技術*. 202301; 43(1):82-84.

宮司典明, 山下康輔, 米山寛人, 花岡宏平, 右近直之, 前田貴雅, 飯森隆志. 核医学治療における適正使用の実態調査. *日本放射線技術学会雑誌*. 202303; 79(3):262-270.

巽俊文, 山次健三, 杉山暁, 趙松吉, 粟生木美穂, 西嶋剣一, 右近直之, 下山彩希, 譚成博, 城寶大輝, 織内昇, 高橋和弘, 清水洋平, 高橋和希, 安藝翔, 児玉龍彦, 鷺山幸信, 金井求. 低免疫原性ストレプトアビジ

ン変異体と改変ビオチンを用いるプレターゲットティングシステムの開発. 放射化学. 202303; 47:28-29.

〔その他〕

右近直之, Zhao S, 鷺山幸信, 西嶋剣一, 織内昇, 下山彩希, 城竇大輝, 志賀哲, 高橋和弘, 伊藤浩. 悪性褐色細胞腫 PC12 移植マウスにおける ^{211}At -MABG と ^{123}I -MIBG イメージングの体内動態及び線量評価の比較. パイオメディカル分析科学シンポジウム講演要旨集. 2023; 35 回:61.

伊藤浩, 茨木正信, 山國遼, 右近直之, 石井士朗, 福島賢慈, 久保均, 高橋和弘. O-15 標識ガス定常吸入法を用いた脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発. 実測データによる検討. 核医学. 2023; 60(Suppl.):S217.

遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知. ^{13}N -アンモニア PET/MR による心筋血流予備能と 4D-Flow 左室内血流解析同時評価の検討. 日本心臓核医学会ニュースレター. 202305; 25(2):23.

片平正隆, 喜古崇豊, 福島賢慈, 遠藤圭一郎, 河窪正照, 山國遼, 右近直之, 長尾充展, 伊藤浩, 竹石恭知. Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討. 日本心臓核医学会ニュースレター. 202305; 25(2):72.

金澤崇史, 樵勝幸, 西嶋剣一, 山尾天翔, 志賀哲, 伊藤浩, 右近直之. Ga-68 PET のドーズキャリブレーターと PET 装置の校正による定量性検討. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集. 202303; 79 回:229.

伊藤浩, 茨木正信, 山國遼, 右近直之, 石井士朗, 福島賢慈, 久保均, 高橋和弘. O-15 標識ガス PET 検査における脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発. 脳循環代謝. 202311; 35(1):81.

書籍等出版物

Sakashita T, Ukon N, Higashi T. Dosimetry in therapy using radiopharmaceuticals. In: Shirai T, Nishio T, Sato K. Advances in Accelerators and Medical Physics. Amsterdam: Academic Press; 2023. p.315-325.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Echigo H, Mishiro K, Washiyama K, Fuchigami T, Munekane M, Takahashi K, Kunishima M, Kinuya S, Ogawa K. Development of a radiotheranostics agent with albumin binder aiming to increase the therapeutic effects for At-211 labeled RGD peptide. 25th International Symposium on Radiopharmaceutical Sciences; 20230522-26; Honolulu, USA.

Yamashita T, Hirayama M, Yasuda T, Kaizuka Y, Takahashi K, Kannaka K, Suzuki H, Uehara T. Development of radio-halogen-labeled PSMA-targeting ligand with high in vivo stability. 25th International Symposium on Radiopharmaceutical Sciences; 20230522-26; Honolulu, USA.

Zhao S, Ukon N, Shimoyama S, Zhao J, Joho T, Nishijima K, Washiyama K, Takahashi K, Kobayakawa M, Shiga T, Oriuchi N, Ito H. Possibility of ¹²³I-meta-iodobenzylguanidine (MIBG) as companion diagnostic drug for therapeutic alpha-emitting meta-²¹¹At-astato-benzylguanidine (²¹¹At-MABG) in normal and pheochromocytoma xenograft mice. SNMMI 2023 Annual Meeting; 20230626; Chicago, USA. Journal of Nuclear Medicine. 64(Supplement 1):74.

Ikezoe T, Tachibana T, Oriuchi N, Nishijima K, Ukon N, Shimoyama S, Joho T, Washiyama K, Takahashi K, Zhao S. Delivery of alpha-particles by a human-rat chimeric CD82 monoclonal antibody potentially inhibits the proliferation of CD82-expressing acute myeloid leukemia cells in a murine xenograft model. 65th American Society of Hematology Annual Meeting & Exposition (ASH 2023); 20231211; San Diego, USA.

菅野範子, 田中紀子, 小早川雅男. 福島県立医科大学附属病院での生物統計相談の現状. 日本臨床試験学会第14回学術集会総会; 20230209-10; 金沢. プログラム・抄録集. 157.

岡本祥三, 志賀哲, 菅原茂耕, 鈴木悟, 末永博紀, 石井士朗, 伊藤浩, 織内昇. 福島県立医科大学附属病院における悪性褐色細胞腫、パラガングリオーマに対する ¹³¹I MIBG 内用療法の初期検討. 第94回日本核医学会北日本地方会; 20231021; 仙台.

甘中健登, 鈴木博元, 高橋和弘, 上原知也. 簡便かつ高効率な α 線放出核種標識薬剤の分析法の開発. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

鷲山幸信, 佐々木茂範, 永津弘太郎, 御薬佳孝, 高橋和弘. アルファビームを用いた教育用低レベル放射性⁶⁸Gaの製造方法の検討. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

鷲山幸信, 永津弘太郎. サイクロトロン製造放射性医薬品に関するIAEAのRCA (RAS6097)の活動報告. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

城宝大輝, 田中浩士, 粟生木美穂, 高橋和弘. アスタチン-211の簡便な濃縮方法について. 第63回日本核医学会学術総会; 20231117; 大阪.

西嶋剣一, 伊藤浩, 高橋和弘, 城寶大輝, 鷲山幸信, 佐々木茂範, 望月一優, 滝藤恵午. PET薬剤の製造における作業者の水晶体被ばくの調査. 第63回日本核医学会学術総会; 20231116-18; 大阪. プログラム. 67.

山尾天翔, 三輪建太, 長谷川功紀, 宮司典明, 右近直之, 西嶋剣一, 城寶大輝, 高橋和弘, 志賀哲, 伊藤浩. 簡便な⁶⁸Ga校正用ファントム作成法の検討. 第43回日本核医学技術学会総会学術大会; 20231116-18; 大阪. 核医学技術. 43(予稿集):291.

〔シンポジウム〕

Zhao S. Current Status and Future Prospects of Preclinical Development of Targeted Alpha Particle Therapy using ²¹¹At at Fukushima Medical University. International Symposium on Development of Radiotheranostics in Fukushima; 20230129; 南相馬.

志賀哲. Developmnet of At-211 MABG therapy. International Symposium on Development of Radiotheranostics in Fukushima; 20230129; 南相馬.

高橋和弘. 薬剤合成から見た Theranostics の魅力. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019; 横浜.

西嶋剣一, 鷺山幸信, 右近直之, 趙松吉, 下山彩希, 志賀哲, 織内昇, 東達也. Theranostics への期待—日本国内での普及を目指して—薬剤合成から見た Theranostics の魅力. 第 61 回日本癌治療学会学術集会; 20231019-21; 横浜. 抄録集. SWS3-1.

志賀哲, 高橋和弘, 小早川雅男, 菅原茂耕, 西嶋剣一, 織内昇, 伊藤浩, 野村香織, 右近直之, 趙松吉. 創造的復興の中核拠点を目指す福島 of 取組み(核医学卓越拠点の創出) 福島県立医科大学および F-REI における At-211 を用いた Targeted Alpha therapy(TAT)の開発. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116-18; 大阪. 核医学技術. 43(予稿集):267.

志賀哲. 福島県立医科大学と F-REI における At-211 を用いた放射性治療薬の開発. 日本放射線腫瘍学会第 36 回学術大会; 20231130; 横浜.

〔招待講演〕

右近直之. 核医学治療における線量評価. 医学物理学会ウィンターセミナー2022; 20230128; Web.

趙松吉. 日本のアスタチン-211 を用いた標的 α 線治療開発の現状と福島県立医科大学の取組. 笹川医学奨学金進修生同学会日本支部 2022 年度総会・学術セミナー; 20230319; 東京.

右近直之. 合同シンポジウム 3 医学物理における核医学技術の革新. JRC2023; 20230415; 東京.

右近直之. 核医学治療. JSMP 医学物理サマーセミナー2023; 20230902; 福島.

志賀哲. 福島県立医科大学および F-REI における放射性治療薬開発. 第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20230929; 札幌.

右近直之. Dosimetry に孕む危険性—Dosimetry challenge 2021—. 第 26 回核医学技術研修会; 20231007; 東京.

右近直之. 核医学シンポジウム 01 SNMMI 177 Lu Dosimetry Challenge 2021 の概要と経験. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

右近直之. JSMP-JSNMT-JSNM 合同シンポジウム 核医学治療の品質管理および品質保証に関する Dosimetry と公衆を含めた被ばく線量管理について. 第 63 回日本核医学会学術総会; 20231116; 大阪.

〔その他〕

岡本祥三. ポスト FDG の新潮流—PSMA-PET について—. PET サマーセミナー2022 in 成田; 20230826; 成田.

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

論 文

〔原 著〕

Natori Y, Suga J, Tokuda E, Tachibana K, Imai JI, Honma R, Azami Y, Noda M, Sasaki E, Watanabe S, Ohtake T, Saji S. E3 Ubiquitin Ligase NEDD4 Affects Estrogen Receptor α Expression and the Prognosis of Patients with Hormone Receptor-Positive Breast Cancer. *Cancers*. 202301; 15(2):539.

Kasahara Y, Tamamura S, Hiyama G, Takagi M, Nakamichi K, Doi Y, Semba K, Watanabe S, Ishikawa K. Tyrosine Kinase Inhibitor Profiling Using Multiple Forskolin-Responsive Reporter Cells. *International Journal of Molecular Sciences*. 202309; 24(18):13863.

臨床研究イノベーションセンター

論 文

〔原 著〕

Yasuda M, Saito A, Goto T, Yamamoto R, Liu K, Kuriyama A, Kondo Y, Kasugai D; RED - PAM study investigators. Challenges hindering emergency physicians: involvement in multicenter collaborative studies in Japan: A nationwide survey analysis. *Acute Medicine & Surgery*. 202311; 10(1):e906.

Nakagawa H, Hamaguchi S. Morning facial rash: A clue to night epileptic seizure. *American Journal of the Medical Sciences*. 202301; 365(1):e9.

Nakagawa H, Hamaguchi S. Ruptured Baker's cyst. *American Journal of the Medical Sciences*. 202306; 365(6):e104.

Hamaguchi S, Sasaki S, Shimizu S, Yamazaki H, Yamamoto R, Ozaka A, Nakagawa H, Takeshima T, Green J, Fukuhara S. Poor Social Functioning: A Potentially Modifiable Risk Factor for Pneumonia in the Elderly. *Cureus*. 202310; 15(10):e47520.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Naganuma T, Takahashi S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Differences in attitude toward COVID-19 based on

internet and social media usage among community-dwelling older adults during the first state of emergency. *Geriatrics & Gerontology International*. 202304; 23(4):289-296.

Takayama A, Takeshima T, Omae K, Yoshioka T, Nakagawa H, Ozaka A, Takahashi S, Naganuma T, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Association Between Paid Work and Health-Related Quality of Life Among Community-Dwelling Older Adults: The Sukagawa Study. *Journal of Applied Gerontology*. 202305; 42(5):1056-1067.

Nogi K, Yamamoto R, Ueda T, Nogi M, Ishihara S, Nakada Y, Hashimoto Y, Nakagawa H, Nishida T, Seno A, Onoue K, Watanabe M, Takaya N, Masuda I, Saito Y. Derivation and validation of a clinical predictive model of NT-proBNP ≥ 125 pg/mL to detect pre-heart failure. *Journal of Cardiology*. 202312; 82(6):481-489.

Yamamoto R, Yamazaki H, Kobara S, Iizuka H, Hijikata Y, Miyashita J, Kataoka Y, Yajima N, Miyata T, Hamaguchi S, Wakita T, Yamamoto Y, Fukuhara S. Development and Initial Psychometric Validation of the COVID-19 Pandemic Burden Index for Healthcare Workers. *Journal of General Internal Medicine*. 202304; 38(5):1239-1247.

Shirakawa C, Tachikawa R, Yamamoto R, Miyakoshi C, Iwata K, Endo K, Shimada Y, Shima Y, Matsunashi A, Osaki M, Hirabayashi R, Sato Y, Nagata K, Nakagawa A, Tomii K. Longitudinal changes in mental health outcomes after COVID-19 hospitalization: A prospective study. *Respiratory Investigation*. 202305; 61(3):321-331.

山本良平. 【予防】腸管管理 便秘や下痢は予防すべきか? *Intensivist*. 202301; 15(1):144-150.

山本良平. リハビリテーション医療における Evidence-Based Practice Evidence-Based Practice における批判的吟味. *Journal of Clinical Rehabilitation*. 202308; 32(9):914-920.

山本良平. 集中治療領域における臨床研究 これまでとこれから. *呼吸器内科*. 202305; 43(5):560-565.

松木史, 山本良平, 鈴木すみれ, 廣瀬隆, 鈴木達彦, 吉田孝仁, 大西良浩. 小児アトピー性皮膚炎患者における finger-tip unit(FTU)を基準としたステロイド外用剤処方量の不足 記述的横断研究. *日本小児臨床薬理学会雑誌*. 202308; 36(1):107-113.

会津医療センター 総合内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kamata K, Honda H, Tokuda Y, Takamatsu A, Taniguchi K, Shibuya K, Tabuchi T. Post-COVID health-related quality of life and somatic symptoms: A national survey in Japan. *American Journal of the Medical Sciences*. 202308; 366(2):114-123.

Higuchi S, Kamata K, Yamanaka K. Biceps tendon rupture: Popeye sign with subcutaneous bleeding. *Journal of Hospital General Medicine*. 202311; 5(6):247-248.

Tachikawa J, Aizawa Y, Kobayashi T, Ikuse T, Kamata K, Win SMK, Di Ja L, Thein KN, Win NC, Thida A, Tun A, Suzuki Y, Ito A, Osada H, Chon I, Phyu WW, Ota T, Kyaw Y, Tin HH, Watanabe K, Shobugawa Y, Watanabe H, Saito R, Saitoh A. Detection of parechovirus-A in hospitalized children with acute lower respiratory infection in Myanmar, 2017-2018. *Journal of Medical Virology*. 202307; 95(7):e28964.

Munakata K, Kamata K, Yamanaka K. Gaiter of pellagra. *QJM : monthly Journal of the Association of Physicians*. 202302; 116(2):134-135.

〔総説等〕

山中克郎, 谷口清州, 具芳明, 鎌田一宏. ゲストライブ Improvisation (第21回) 次なるパンデミックはきつと来る COVID-19 が教えてくれた今すべきこと. *総合診療*. 202301; 33(1):1-12.

大國皓平, 樋口真司, 山中克郎, 宗像慧太, 柴田恵多, 佐藤萌子, 西村勝治, 神野定男, 湊しおり, 高橋平安彦, 原田芳巳, 伊藤涼, 友田義崇, 粟屋幸一, 堀井聡, 藤原英晃, 本多寛之, 大西秀樹, 藤原靖士, 北川正史, 田直子, 山田万里央, 北野夕佳, 西山充, 百武美沙, 鈴木康平, 田邊克幸, 原田亮, 矢野裕之, 金城光代, 本村悠馬, 福岡秀規, 土肥栄祐, 石岡みさき, 田中厚, 植田育也, 安達彩織, 融衆太, 内原俊記, 木野村賢, 長谷川功, 山野井友昭, 那須淳一郎. 救急対応ドリル 外来から在宅までの60問! *総合診療*. 202304; 33(4):406-428,430-463.

山中克郎, 北澤京子, 梶有貴. 【〇×クイズ110問! 日常診療アップグレード Choosing Wisely と High Value Care を学ぼう】総論 Choosing Wisely や High Value Care が誕生した背景とその意義. *総合診療*. 202310; 33(10):1160-1167.

鎌田一宏. 海外渡航時の備えと注意すべき事故 海の外へ渡る旅行者を診る. *総合診療*. 202312; 33(12):1479-1482.

〔その他〕

山中克郎, 鎌田一宏. Editorial パンデミック対策は1日にしてならず (COVID-19 パンデミック 振り返りと将来への備え). 総合診療. 202301; 33(1):21.

山中克郎, 鎌田一宏. 扉 (特集 COVID-19 パンデミック 振り返りと将来への備え). 総合診療. 202301; 33(1):22-23.

書籍等出版物

高橋平安彦, 鎌田一宏. 急性虫垂炎. In: 徳田安春 編. 外来での訴訟高リスク疾患 20 (jmedmook 86). 東京: 日本医事新報社; 202306. p.73-80.

鎌田一宏. 身体診察総論 バイタルサインの測定. In: 医療情報科学研究所 編. 診察ができる vol.1 身体診察. 東京: メディックメディア; 202307. p.22-55.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Kurimura J, Kamata K, Yamanaka k. Shoulder pain for high-risk patient of cardiovascular diseases: Spinal epidural abscess and vertebral osteomyelitis on the cervical spine should also be considered. EUSEM 2023: European Emergency Medicine Congress; 20230917-20; Barcelona, Spain.

上野孝治. 低ナトリウム血症に対する漢方治療の2例. 第73回日本東洋医学会学術総会; 20230616-18; 福岡/ Web.

〔シンポジウム〕

押部郁朗. 在宅医療の現場から構想する DX. 令和4年度「会津 DX 日新館」成果報告会; 20230207; 会津若松.

Sanjay Saint, 齋藤昭彦, 山中克郎, 鎌田一宏. 総合診療スキルアップセミナー. 総合診療スキルアップセミナー; 20230408; 新潟.

〔招待講演〕

鎌田一宏. セレンディピティの連鎖. 第32回田坂メモリアルレクチャー; 20230321; Web.

〔その他〕

山中克郎. 研修医へのレクチャー. 水戸済生会総合病院研修医教育; 20230119; Web.

山中克郎. 教育カンファレンス、教育回診、教育講演. 山中克郎先生に学ぶ in 済生会松島病院 2023; 20230121;

松山.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20230127; 郡山.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20230224; 郡山.

山中克郎. 地域医療で役に立つ病歴聴衆のかんどころ わたしたちのクリニカルパール. 第三回若手医師セミナー; 20230228; 東京.

鎌田一宏. 地域医療におけるジェネラリスト（総合診療医）の役割～奥会津から. 福島医大・福島民友新聞社 SDGs 企画; 20231125; 福島/Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

鎌田一宏. 慢性咳嗽. 今日の臨床サポート（エルゼビア・ジャパン）. 2023. Web サービス.

会津医療センター 漢方医学講座

論文

〔原 著〕

Morita R, Tsukamoto S, Obata S, Yamada T, Uneda K, Uehara T, Rehman ME, Azushima K, Wakui H, Tamura K. Effects of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors, mineralocorticoid receptor antagonists, and their combination on albuminuria in diabetic patients. *Diabetes, Obesity & Metabolism*. 202305; 25(5):1271-1279.

Takahashi S, Hatta W, Watanabe K, Koike T, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Nakamura T, Nakaya N, Matsumoto T, Fukuda S, Masamune A, Iijima K. Prognostic Benefit of Additional Treatment After Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Digestive Diseases and Sciences*. 202305; 68(5):2050-2060.

Takayama S, Yoshino T, Koizumi S, Irie Y, Suzuki T, Fujii S, Katori R, Kainuma M, Kobayashi S, Nogami T, Yokota K, Yamazaki M, Minakawa S, Chiba S, Suda N, Nakada Y, Ishige T, Maehara H, Tanaka Y, Nagase M, Kashio A, Komatsu K, Nojiri M, Shimooki O, Nakamoto K, Arita R, Ono R, Saito N, Kikuchi A, Ohsawa M, Nakae H, Mitsuma T, Mimura M, Ishii T, Nochioka K, Chiu S, Yamaguchi T, Namiki T, Hisanaga A,

Mitani K, Ito T. Conventional and Kampo Medicine Treatment for Mild-to-moderate COVID-19: A Multicenter, Retrospective, Observational Study by the Integrative Management in Japan for Epidemic Disease(IMJEDI Study-observation). Internal Medicine. 202301; 62(2):187-199.

畠田一司. 【臨床医が知っておくべき漢方治療 現場で役立つ漢方処方と運用法】腎疾患における漢方処方の活用
法と実際. カレントセラピー. 202308; 41(8):712-718.

鈴木雅雄. 【臨床医が知っておくべき漢方治療 現場で役立つ漢方処方と運用法】知っておくべき鍼灸診療の要点
鍼灸治療の効能・適応・活用のコツ. カレントセラピー. 202308; 41(8):747-755.

鈴木雅雄. 【コモンディジーズの中医治療 咳】成人における遷延性・慢性咳嗽の治療に鍼灸が果たせる役割. 中
医臨床. 202303; 44(1):34-39.

鈴木雅雄. 【困ったときの2の手, 3の手 今こそ知りたい漢方・鍼灸】使える! 漢方・鍼灸 呼吸器疾患編 呼
吸器疾患に使える鍼灸 COPD の呼吸困難を中心に. 治療. 202301; 105(1):44-49.

根本雄飛, 長谷川浩司, 遠藤明里, 本田和也, 畠田一司, 橋本重厚. 反応性低血糖を契機に異常インスリン血
症が示唆された1例. 糖尿病. 202303; 66(3):221-221.

畠田一司, 有田龍太郎. 東洋医学・統合医学 肥満に対する防風通聖散のエビデンスと効果・副作用について【肥
満合併患者の BMI 減少効果が示されているが, 生活習慣の是正も不可欠】. 日本医事新報. 202311; 5194:48-49.

大上尚仁, 山地孝弘, 畠田一司, 小豆島健護, 涌井広道, 田村功一. AT1 受容体情報伝達制御機能を有する
ATRAP の近位尿管特異的高発現マウスの作製. 日本腎臓学会誌. 202305; 65(3):304-304.

飯塚徳男, 瀬川誠, 浜本義彦, 荻原宏是, 間宮敬子, 網谷真理恵, 高山真, 三瀧忠道. 漢方共通テストのシス
テム構築, 実践, 問題解説. 日本東洋医学雑誌. 202301; 74(1):1-11.

佐藤浩子, 岸美紀子, 常川勝彦, 渡辺由佳子, 小和瀬桂子, 間宮敬子, 高山真, 三瀧忠道. 第71回日本東洋
医学会学術総会 特別企画「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」 漢方アクティブラーニング チーム基盤型学
習で学ぶ漢方. 日本東洋医学雑誌. 202301; 74(1):85-93.

畠田一司, 金子彰, 加用拓己, 秋葉秀一郎, 鈴木雅雄, 三瀧忠道. JADER を活用した医療用漢方製剤による急
性腎障害の検討. 日本東洋医学雑誌. 202304; 74(別冊):207.

井上博喜, 矢口綾子, 原田直之, 中尾桂子, 吉永亮, 矢野博美, 加島雅之, 田原英一. Persistent genital
arousal disorder に当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった2例. 日本東洋医学雑誌. 202310; 74(4):338-341.

鈴木雅雄. 【高齢者呼吸器疾患 診断・治療の最新動向】COPD への鍼灸治療の意義. 日本臨床. 202305; 81(5):686-
692.

〔症例報告〕

坪敏仁, 工藤隆司, 皆川智子, 鈴木雅雄, 丹野雅彦, 三瀧忠道. 漢方外来における下肢浮腫に対する鍼灸治療と

鍼および漢方薬併用治療前後の変化. 日本東洋医学雑誌. 202307; 74(3):264-273.

〔その他〕

津田昌樹, 藤田洋輔, 森田智, 加用拓己. プロフェッションへの道 (Vol.2) 臨床レクチャー (No.7) 卒前卒後
研修案内 次世代を担う Acupuncturists へ. Tehamo. 202306; 3(2):78-90.

鈴木雅雄. 臨床医が知っておくべき漢方治療-現場で役立つ漢方処方と運用法. 知っておくべき鍼灸診療の要点
鍼灸治療の効能・適応・活用のコツ. カレントセラピー. 202308; 41(8):747-755.

鈴木雅雄. 成人における遷延性・慢性咳嗽の治療に鍼灸が果たせる役割. 中医臨床. 202303; 44(1):34-39.

鈴木雅雄. 使える！漢方・鍼灸 呼吸器疾患編 呼吸器疾患に使える鍼灸 COPD の呼吸困難を中心に. 治療.
202301; 105(1):44-49.

書籍等出版物

三猪忠道, 池上文雄. 御薬園の薬用植物：国指定名勝会津松平氏庭園. 会津若松：一般財団法人会津若松観光ビュー
ロー. 202303.

秋葉秀一郎, 池上文雄 編. 植物解説. In: 御薬園の薬用植物：国指定名勝会津松平氏庭園. 会津若松：一般財団
法人会津若松観光ビューロー. 202303.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

鈴木雅雄. みんなで学ぼう 鍼灸 イロハのイ. 第4回ふくしまプライマリー・ケアトーク; 20230304; Web.

田原英一. こころの危機の時代と四物湯. 令和5年度日本東洋医学会北海道支部第2回教育講演会; 20231014; 札
幌.

田原英一. 高齢者疾患. 薬剤師研修センター 漢方薬生薬研修会; 20231015; 東京.

田原英一. イノベーション漢方 漢方のあまり知られていない活用法. 令和5年度日本東洋医学会東北支部宮城県
部会; 20231210; Web.

過年業績

鈴木雅雄. COPD の鍼治療の効果. 福島医学会学術研究集会シンポジウム 我が国における鍼灸医学の近現代史と
COPD に対する活用; 20221015; 福島. 福島医学雑誌. 73(1):25.

〔シンポジウム〕

鈴木雅雄. COPD に対する鍼灸治療の効果と安全性 産学連携！気胸撲滅に向けての取り組み. 第 72 回全日本鍼灸学会学術大会; 20230609-11; 神戸. 抄録集. 112.

鈴木雅雄. 医療現場のツボを探せ 大学病院と鍼灸. 第 73 回日本東洋医学会; 20230616-18; 福岡/Web. 日本東洋医学雑誌. 74(別冊):115.

鈴木雅雄. 鍼灸編 鍼灸の歴史(1)・(2) 鍼灸の臨床(1)・(2) 鍼灸のメカニズムとエビデンス(1)・(2). 第 73 回日本東洋医学会; 20230616-18; 福岡/Web. 日本東洋医学雑誌. 74(別冊):156.

鈴木雅雄. 大学病院における鍼灸の現状. 第 41 回日本東洋医学会; 20231126; 東京. 抄録集. 7.

田原英一. 飯塚病院での漢方医学的経験から思うこと. 富山和漢薬シンポジウム; 20231202; 富山.

会津医療センター 血液内科学講座

論文

〔原 著〕

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Fujimori M, Nakamura T, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S. Association of a Single Nucleotide Variant in TERT with Airway Disease in Japanese Rheumatoid Arthritis Patients. Genes. 2023;14(11):2084.

Onishi Y, Furukawa E, Kamata M, Fukatsu M, Kameoka Y, Hatta S, Hamada H, Oyake T, Kai T, Sukegawa M, Nakajima S, Yanagiya R, Yamaguchi K, Takahashi T, Harazaki Y, Izumi T, Murai K, Ito S, Ikezoe T, Ishizawa K, Takahashi N, Harigae H. Outcomes of adult patients with early T-cell precursor (ETP) acute lymphoblastic leukemia/lymphoma (ALL) and non-ETP T-ALL. International Journal of Hematology. 2023;117(5):738-747.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S. Association of a FAM13A variant with interstitial lung disease in Japanese rheumatoid arthritis. RMD Open. 2023;9(1):e002828.

池田翔平, 角田三郎, 大田雅嗣. 【老化と血液細胞】高齢者造血器腫瘍患者の治療リスクアセスメント. 血液内科. 2023;87(3):316-321.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小林舞子, 池田翔平, 角田三郎, 大田雅嗣. 好酸球増多を伴った小腸原発末梢T細胞リンパ腫・非特異型 (PTCL-NOS)の一例. 第135回日本血液学会東北地方会; 20230219; 仙台/Web.

〔その他〕

池田翔平. 悪性リンパ腫 治療の実際. 日本化薬 社内研修; 20230206; Web.

会津医療センター 消化器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Takagi T, Sugimoto M, Imamura H, Takahata Y, Nakajima Y, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Shibukawa G, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Multicenter comparative study of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using a Franseen needle versus conventional endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration to evaluate microsatellite instability in patients with unresectable pancreatic cancer. *Clinical Endoscopy*. 202301; 56(1):107-113.

Ichijima R, Ikehara H, Sumida Y, Inada T, Nemoto D, Nakajima Y, Minagawa T, Sumiyoshi T, Inoki K, Yoshida N, Inoue K, Fukuzawa M, Minoda Y, Tsutsumi K, Esaki M, Gotoda T. Randomized controlled trial comparing conventional and traction endoscopic submucosal dissection for early colon tumor (CONNECT-C trial). *Digestive Endoscopy*. 202301; 35(1):86-93.

Nakajima Y, Nemoto D, Suzuki K, Sato A, Shibukawa G, Lefor AK, Togashi K. Miniprobe ultrasonography guidance during endoscopic submucosal dissection of an ampullary duodenal lesion. *Endoscopy*. 202312; 55(S 01):E92-E93.

Nemoto D, Guo Z, Katsuki S, Takezawa T, Maemoto R, Kawasaki K, Inoue K, Akutagawa T, Tanaka H, Sato K, Omori T, Takanashi K, Hayashi Y, Nakajima Y, Miyakura Y, Matsumoto T, Yoshida N, Esaki M, Uraoka T, Kato H, Inoue Y, Peng B, Zhang R, Hisabe T, Matsuda T, Yamamoto H, Tanaka N, Lefor AK, Zhu X, Togashi K. Computer-aided diagnosis of early-stage colorectal cancer using nonmagnified endoscopic white-light images (with videos). *Gastrointestinal Endoscopy*. 202307; 98(1):90-99.

Sato K, Shibukawa G, Ueda K, Nakajima Y, Togashi K, Ohira H. Percutaneous endoscopic necrosectomy for walled-off necrosis in the retroperitoneal space of the elderly: A case report. World Journal of Clinical Cases. 202308; 11(24):5736-5741.

書籍等出版物

根本大樹, 中島勇貴, 富樫一智. 大腸内視鏡挿入のための解剖学. In: 浦岡俊夫 編. レジデントのための消化器内視鏡ことはじめ. 東京: メジカルビュー社. 202306. p.132-137.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

鈴木康平, 中島勇貴, 根本大樹, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 澁川悟朗, 富樫一智. 虫垂内腔へ進展する腫瘍に対する ESD の検討. 第 99 回大腸癌研究会学術集会; 20230707; 尼崎.

和田淳. ERCP 後感染性膵液瘻に対して超音波内視鏡ガイド下経消化管ドレナージ術を施行した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 215 回例会／第 170 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20230708; 盛岡.

愛澤正人, 玉澤歌菜, 鈴木康平, 上田健太, 和田淳, 中島勇貴, 澁川悟朗, 歌野健一, 富樫一智. Tofacitinib から Ustekinumab への switch により直腸の low grade dysplasia が消失したと考えられた難治性潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. ストーマ造設患者の早期退院を目指すチーム医療. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 根本大樹, 澁川悟朗, 鈴木理, 富樫一智. Cold snare polypectomy した早期大腸癌 3 例の転帰. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 竹澤敬人, 林芳和, 郭哲, 張ルイヤオ, 趙又申, 朱欣, 富樫一智. p-T1b 大腸癌の内視鏡診断における AI の特徴: IoU による定量的検討. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 鈴木康平, 愛澤正人, 上田健太, 和田淳, 澁川悟朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 当施設における内視鏡切除後出血の現状: 非焼灼切除は出血を減らしたか? 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

愛澤正人, 鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 澁川悟朗, 富樫一智. COVID-19 ワクチン接種を契機に血小板減少性紫斑病と壊疽性膿皮症を併発した潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 14 回日本炎症性腸疾患学会学術集会; 20231202; 神戸.

〔シンポジウム〕

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又諒, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 狭窄を伴う大腸癌症例の口側結腸の評価のための大腸CT検査の有効性. 第41回日本大腸検査学会総会; 20231117; 東京.

会津医療センター 糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座

論 文

〔原 著〕

Sakaguchi S, Okamoto R, Inoue C, Akao M, Kamemura K, Kurihara I, Takeda Y, Ohno Y, Inagaki N, Rakugi H, Katabami T, Tsuike M, Tanabe A, Tamura K, Fujita S, Yano Y, Dohi K, Abe M, Chiba Y, Fujii Y, Fujita M, Fukui M, Fukuoka T, Goto H, Hasegawa T, Hashimoto S, Haze T, Ichijo T, Itoh H, Iwamoto T, Izawa S, Kai T, Kawaguchi T, Kawamura T, Kawashima J, Kimura N, Kobayashi H, Matsuda F, Matsuda Y, Miyauchi S, Nakamura Y, Nishimoto K, Ogawa O, Ogawa Y, Ogo A, Okamura S, Okumura A, Otsuki M, Sakamoto R, Shimbo T, Sone M, Sugiyama T, Suzuki A, Suzuki T, Takahashi K, Takura T, Tanaka T, Wada N, Watanabe M, Watanabe T, Yamada M, Yamamoto K, Yamasaki T, Yanase T, Yoneda T, Yoshikawa Y, Yoshimoto T, Naruse M. Associated factors and effects of comorbid atrial fibrillation in hypertensive patients due to primary aldosteronism. *Journal of Human Hypertension*. 202309; 37(9):757-766.

Hashimoto K, Nakano H, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Ohira T, Hashimoto S, Tsubokura M, Watanabe K, Hayashi F, Nagao M, Okazaki K, Sato S, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Hosoya M. Blood data trends of children in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: Fukushima health management survey(東日本大震災後の福島県における小児の血液データの傾向 福島県民健康調査). *Pediatrics International*. 2023; 65(1):e15656.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kobari E, Kazama S, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Relationship between evacuation after the Great East Japan Earthquake and new-onset hyperuricemia: A 7-year prospective longitudinal study of the Fukushima Health Management Survey. *PLOS ONE*. 202310; 18(10):e0293459.

Karashima S, Kawakami M, Nambo H, Kometani M, Kurihara I, Ichijo T, Katabami T, Tsuike M, Wada N, Oki K, Ogawa Y, Okamoto R, Tamura K, Inagaki N, Yoshimoto T, Kobayashi H, Kakutani M, Fujita M, Izawa S, Suwa T, Kamemura K, Yamada M, Tanabe A, Naruse M, Yoneda T, Karashima S, Kometani M, Ogawa Y, Fujita M, Yoneda T, Ito H, Takeda Y, Rakugi H, Yamamoto K, Soma M, Yanase T, Fukuda H, Hashimoto S, Ohno Y, Takahashi K, Shibata H, Fujii Y, Suzuki T, Ogo A, Sakamoto R, Kai T, Fukuoka T, Miyauchi S. A hyperaldosteronism subtypes predictive model using ensemble learning. *Scientific Reports*.

202312; 13(1):10.1038/s41598-023-29653-2.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

橋本重厚. 慢性腎臓病における腎性貧血／鉄利用障害に対する HIF-PH 阻害薬の役割. 腎性貧血治療を考える会; 20230126; Web.

橋本重厚. 良質な血糖コントロールを目指して進化する糖尿病治療 より安全で よりシンプルに. New Concept Insulin Web 講演会; 20230221; Web.

橋本重厚. 腰痛が端緒となり Cushing 症候群が判明した糖尿病診断イナーシアの 1 例. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20230513; 鹿児島.

〔特別講演〕

橋本重厚. 日本人の糖尿病における動脈硬化性疾患予防における脂質管理の重要性 何故中性脂肪管理も重要なのか. 全会津動脈硬化研究会; 20230111; Web.

〔その他〕

橋本重厚. 開会の辞. 会津医学会学術講演会; 20230213; 会津若松.

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

論文

〔総説等〕

Kume H, Yamada R, Sato Y, Togawa R. Airway Smooth Muscle Regulated by Oxidative Stress in COPD. Antioxidants. 202301; 12(1):142-142.

書籍等出版物

Kume H, Watanabe N, Suzuki Y. Airway Disorders as Predictive Factors of Exacerbations in Asthma and COPD. In: Aslanidis T, Bersot CD, editors. Airway Management in Emergency Medicine. London, United

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

豊福智美, 渡邊菜摘, 鈴木康仁, 久米裕昭. 日本酒醸造の作業者に生じた麹菌による喘息の1例の経過 味噌・醤油醸造関連喘息との比較. 第117回日本呼吸器学会東北地方会; 20230902; 盛岡.

会津医療センター 精神医学講座

論文

〔原 著〕

Kainuma M, Kawakatsu S, Kim JD, Ouma S, Iritani O, Yamashita KI, Ohara T, Hirano S, Suda S, Hamano T, Hieda S, Yasui M, Yoshiiwa A, Shiota S, Hironishi M, Wada-Isoe K, Sasabayashi D, Yamasaki S, Murata M, Funakoshi K, Hayashi K, Shirafuji N, Sasaki H, Kajimoto Y, Mori Y, Suzuki M, Ito H, Ono K, Tsuboi Y. Metabolic changes in the plasma of mild Alzheimer's disease patients treated with Hachimijiogan. *Frontiers in Pharmacology*. 202306; 14:1203349.

Kobayashi R, Oba H, Kawakatsu S, Suzuki K, Suzuki A, Ihara K. Improvement in apathy and depression by non-pharmacological interventions in early-onset Alzheimer's disease: A longitudinal single-photon emission computed tomography study. *Geriatrics & Gerontology International*. 202306; 23(6):451-453.

Kawakatsu S, Kobayashi R. Towards Improved Clinical Diagnosis of Argypophilic Grain Disease Using Brain Imaging. *Journal of Alzheimer's Disease: JAD*. 2023; 93(1):389-392.

Kobayashi R, Nakamura T, Naganuma F, Harada R, Morioka D, Kanoto M, Furumoto S, Kudo Y, Kabasawa T, Otani K, Futakuchi M, Kawakatsu S, Okamura N. In vivo [18F]THK-5351 imaging detected reactive astrogliosis in argyrophilic grain disease with comorbid pathology: A clinicopathological study. *Journal of Neuropathology and Experimental Neurology*. 202308; 82(5):427-437.

Kawakatsu S, Uchihara T, Takao M, Shibata N. Neuropathology Case Cluster: Neuropathology of focal cortical, behavioral, and psychiatric syndromes in neurodegenerative diseases (neuropathology cluster case 14-32). *Neuropathology*. 202302; 43(1):3-4.

Kawakatsu S, Kobayashi R, Morioka D, Hayashi H, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Futakuchi M,

Otani K. Clinicopathological diversity of semantic dementia: Comparisons of patients with early-onset versus late-onset, left-sided versus right-sided temporal atrophy, and TDP-type A versus type C pathology. *Neuropathology*. 202302; 43(1):5-26.

Shibuya Y, Kobayashi R, Numazawa T, Toyoshima T, Hayashi H, Sone T, Morioka D, Suzuki A, Kawakatsu S. Simple and Objective Evaluation Items for the Prognosis and Mortality of Delirium in Real-World Clinical Practice: A Preliminary Retrospective Study. *Psychiatric Research and Clinical Practice*. 202306; 5(4):126-130.

Morioka D, Kobayashi R, Kawakatsu S, Sakamoto K, Suzuki A. Style changes before and after disease onset in the works of an ikebana (Japanese traditional flower arrangement) artist with semantic variant primary progressive aphasia. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 202308; 77(8):460-461.

Eda Hiro A, Okamura T, Arai T, Ikeuchi T, Ikeda M, Utsumi K, Ota H, Kakuma T, Kawakatsu S, Konagaya Y, Suzuki K, Tanimukai S, Miyanaga K, Awata S. Initial symptoms of early-onset dementia in Japan: nationwide survey. *Psychogeriatrics*. 202305; 23(3):422-433.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Morioka D, Hayashi H, Suzuki A. Fluctuation of dopamine transporter availability in psychiatric-onset dementia with Lewy bodies: the dilemma of treatment with antidepressants. *Psychogeriatrics*. 202305; 23(3):553-555.

Hayashi H, Kobayashi R, Morioka D, Suzuki A, Kawakatsu S. Improved frontal activity on functional near-infrared spectroscopy after improvement of apathy symptoms in a patient with Alzheimer's disease. *Psychogeriatrics*. 202307; 23(4):725-727.

川勝忍, 小林良太. アルツハイマー病 研究と治療の最前線, 臨床・治療薬 若年性アルツハイマー病と非定型/海馬保存型アルツハイマー病. *医学のあゆみ*. 202312; 287(13):1075-1080.

川勝忍. 【認知症を取り巻く環境を俯瞰する 知の蓄積と新しい技術で次世代を切り拓く】診断 認知症診断総論. *クリニシアン*. 202303; 70(2):144-150.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 核医学検査で覗く変性疾患の楽屋裏. 高次脳機能研究. 202303; 43(1):12-17.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 神経変性疾患における高次脳機能障害と画像・病理 左後部側頭葉型アルツハイマー病とアルツハイマー病理を伴う TDP タイプ C の意味性認知症の比較. 高次脳機能研究. 202309; 43(3):223-228.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 坂本和貴, 林博史, 鈴木昭仁. 高齢発症認知症者の側頭葉病変における症候と背景病理 第18回日本神経心理学会優秀論文賞を受賞して. *神経心理学*. 202303; 39(1):3-7.

渋谷譲, 小林良太, 鈴木昭仁, 川勝忍. 脳画像所見を日常臨床に活かすには, 前頭側頭型認知症と脳画像解析. *精神科*. 202309; 43(3):281-287.

小林良太, 森岡大智, 川勝忍. 画像診断医に求められる認知症診断の minimum requirements 疾患修飾薬の到

来を見越して, Alzheimer 病の画像診断 典型例から非定型例まで. 臨床画像. 202308; 39(8):895-906.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

川勝忍. 病理から見直す診断エラーの傾向と対策 認知症の診断の落とし穴：あれもこれも、なんでもありに要注意. 第 64 回日本神経学会学術大会; 20230531; 千葉.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 坂本和貴, 鈴木昭仁. 20 年の経過で前頭側頭型認知症が前景で運動ニューロン症状が目立たなかった FTD-MND の 1 例. 第 64 回日本神経病理学会学術研究会／第 66 回日本神経化学学会大会合同大会; 20230706-07; 神戸.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 平岡宏太良, 富田尚希, 四月朔日聖一. 前頭側頭葉変性症における [18F]SMBT-1 PET 所見. 第 42 回日本認知症学会学術集会; 20231124-26; 奈良.

森岡大智, 小林良太, 川勝忍, 坂本和貴, 鈴木昭仁. 高齢発症の左側頭葉限局性萎縮例における症候・画像縦断研究. 第 28 回日本神経精神医学会学術集会; 20231209; つくば.

〔シンポジウム〕

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 坂本和貴, 鈴木昭仁. 意味性認知症の臨床・病理. 第 47 回日本神経心理学会学術集会; 20230907; 高知.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 鈴木昭仁. 認知症疾患の生前病理予想の trial and error. 第 42 回日本認知症学会学術集会; 20231124; 奈良.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 鈴木昭仁. 画像診断を駆使して認知症の正確な診断に迫る 前頭側頭葉変性症. 第 42 回日本認知症学会学術集会; 20231125; 奈良.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 鈴木昭仁. 高齢者の幻覚・妄想の臨床 妄想症被害型の臨床. 第 42 回日本認知症学会学術集会; 20231125; 奈良.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 坂本和貴, 鈴木昭仁. 原発性進行性失語の臨床病理. 第 28 回日本神経精神医学会学術集会; 20231210; つくば.

〔特別講演〕

川勝忍. アルツハイマー型認知症の重症化因子を考えた治療戦略について. 南会津郡医師会講演会; 20230626; 南会津町.

川勝忍. アルツハイマー型認知症の臨床画像病理の多様性と鑑別診断. 認知症治療 up to date in 大分; 20230829; Web.

川勝忍. 認知症の病態の進行に影響する重症化因子と進行予防. 二本松薬剤師会 第5回認知症を学ぶ会; 20230921; 二本松.

川勝忍. これからの認知症治療 精神科と脳神経内科の境界領域. 2023年度八戸地区認知症疾患WEBセミナー; 20231128; 八戸.

〔その他〕

川勝忍. 認知症診療の基本について. 認知症に関する社員向け講演会; 20230314; 会津若松.

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakajima Y, Nemoto D, Nemoto T, Takahata Y, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Short-term outcomes of patients undergoing endoscopic submucosal dissection for colorectal lesions. *Den Open*. 202304; 3(1):e136.

Nakajima Y, Nemoto D, Suzuki K, Sato A, Shibukawa G, Lefor AK, Togashi K. Miniprobe ultrasonography guidance during endoscopic submucosal dissection of an ampullary duodenal lesion. *Endoscopy*. 202312; 55(01):E92-E93.

Kajiwarra Y, Oka S, Tanaka S, Nakamura T, Saito S, Fukunaga Y, Takamatsu M, Kawachi H, Hotta K, Ikematsu H, Kojima M, Saito Y, Yamada M, Kanemitsu Y, Sekine S, Nagata S, Yamada K, Kobayashi N, Ishihara S, Saitoh Y, Matsuda K, Togashi K, Komori K, Ishiguro M, Kuwai T, Okuyama T, Ohuchi A, Ohnuma S, Sakamoto K, Sugai T, Katsumata K, Matsushita HO, Yamano HO, Eda H, Uraoka T, Akimoto N, Kobayashi H, Ajioka Y, Sugihara K, Ueno H. Nomogram as a novel predictive tool for lymph node metastasis in T1 colorectal cancer treated with endoscopic resection: a nationwide, multicenter study. *Gastrointestinal Endoscopy*. 202306; 97(6):1119-1128.

Nemoto D, Guo Z, Katsuki S, Takezawa T, Maemoto R, Kawasaki K, Inoue K, Akutagawa T, Tanaka H, Sato K, Omori T, Takanashi K, Hayashi Y, Nakajima Y, Miyakura Y, Matsumoto T, Yoshida N, Esaki M, Uraoka T, Kato H, Inoue Y, Peng B, Zhang R, Hisabe T, Matsuda T, Yamamoto H, Tanaka N, Lefor AK, Zhu X, Togashi K. Computer-aided diagnosis of early-stage colorectal cancer using nonmagnified endoscopic white-light images (with videos). *Gastrointestinal Endoscopy*. 202307; 98(1):90-99.

Isohata N, Endo S, Nemoto T, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. Risk Factors and Predictive Biomarkers for Anastomotic Leakage after Colorectal Cancer Surgery with the Double Stapling Technique. Journal of the Anus, Rectum and Colon. 202307; 7(3):196-205.

Suzuki T, Saitou M, Utano Y, Utano K, Niitsuma K. Bronchoalveolar lavage (BAL) amylase and pepsin levels as potential biomarkers of aspiration pneumonia. Pulmonology. 202309; 29(5):392-398.

Sato K, Shibukawa G, Ueda K, Nakajima Y, Togashi K, Ohira H. Percutaneous endoscopic necrosectomy for walled-off necrosis in the retroperitoneal space of the elderly: A case report. World Journal of Clinical Cases. 202308; 11(24):5736-5741.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又崇弘, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 閉塞性大腸癌に対する術前の口側腸管の評価. 日本大腸検査学会雑誌. 202305; 39(2):13-19.

〔総説等〕

永田浩一, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 大平弘正. 最新臨床大腸癌学 2023 最新の診断・治療と病態 II. 診断 CT colonography (大腸 CT 検査). 日本臨床. 202305; 81(増刊 5):101-106.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

鈴木康平. 小腸カプセル内視鏡検査の位置情報: AI は内視鏡画像のみにより感知できるか? 第 16 回日本カプセル内視鏡学会学術集会; 20230205; 東京.

遠藤俊吾, 五十畑則之, 川又崇弘, 鈴木有美. 当院での腹会陰式直腸切断術症例の術後合併症の検討. 第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会; 20230225; 東京. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 39(1):251.

愛澤正人. 治療指針をふまえた潰瘍性大腸炎治療におけるステロイド離脱の必要性 当院における潰瘍性大腸炎診療の実態含む. 会津 IBD カンファレンス; 20230216; Web.

愛澤正人. 炎症性腸疾患診療における病診連携 会津モデルについて考える. 会津医学会学術講演会; 20230301; 会津若松.

愛澤正人. 潰瘍性大腸炎におけるウパダシチニブの作用機序と使用経験. 第 3 回 IBD カンファレンス in 会津; 20230308; 会津若松.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 芦澤舞, 川又崇弘, 根本鉄太郎, 富樫一智, 鈴木野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

芦澤舞, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 富樫一智, 川又崇弘, 鈴木野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当院における腹会

陰式直腸切斷術症例の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

鈴木康平, 中島勇貴, 根本大樹, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 澁川悟朗, 富樫一智. 虫垂内腔へ進展する腫瘍に対する ESD の検討. 第 99 回大腸癌研究会学術集会; 20230707; 尼崎.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又崇弘, 土佐太朗, 鈴木野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における ASA3 の高齢者大腸癌症例の検討. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230712; 函館.

川又崇弘, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 鈴木野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 結腸癌手術の術後在院日数短縮の戦略. 第 78 回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

愛澤正人. 重症潰瘍性大腸炎症例に対するタクロリムスでの寛解導入後の生物学的製剤での維持療法. 第 31 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023 KOBE) ; 20231102; 神戸.

遠藤俊吾, 五十畑則之, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. Palliative therapy としての大腸ステント留置術の成績と工夫. 第 11 回大腸ステント安全手技研究会; 20231103; 神戸.

愛澤正人, 玉澤歌菜, 鈴木康平, 上田健太, 和田淳, 中島勇貴, 澁川悟朗, 歌野健一, 富樫一智. Tofacitinib から Ustekinumab への switch により直腸の low grade dysplasia が消失したと考えられた難治性潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. ストーマ造設患者の早期退院を目指すチーム医療. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 根本大樹, 澁川悟朗, 鈴木理, 富樫一智. Cold snare polypectomy した早期大腸癌 3 例の転帰. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 竹澤敬人, 林芳和, 郭哲, 張ルイヤオ, 趙又申, 朱欣, 富樫一智. p-T1b 大腸癌の内視鏡診断における AI の特徴 : IoU による定量的検討. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

中島勇貴, 根本大樹, 鈴木康平, 愛澤正人, 上田健太, 和田淳, 澁川悟朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 当施設における内視鏡切除後出血の現状 : 非焼灼切除は出血を減らしたか? 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

愛澤正人, 鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 澁川悟朗, 富樫一智. COVID-19 ワクチン接種を契機に血小板減少性紫斑病と壊疽性膿皮症を併発した潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 14 回日本炎症性腸疾患学会学術集会; 20231202; 神戸.

【シンポジウム】

遠藤俊吾, 鈴木有美, 五十畑則之, 川又崇弘. 最近のストーマケア問題 在宅・地域連携・高齢者. 第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会; 20230225; 東京. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 39(1):95.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又諒, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 狭窄を伴う大腸癌症例の口側結腸の評価のための大腸 CT 検査の有効性. 第 41 回日本大腸検査学会総会; 20231117; 東京.

〔その他〕

愛澤正人. IBD に対する顆粒球除去療法の実際 末梢静脈経路の利点を中心に. 第 8 回会津 IBD 講演会; 20230428; 会津若松.

愛澤正人. 薬剤師のための炎症性腸疾患 豆知識. Meet the Expert Pharmacist; 20230921; Web.

愛澤正人. UC における 5ASA 不耐の現状とその対応について. IBD 診療スキルアップセッション in Fukushima; 20230929; 郡山.

愛澤正人. 潰瘍性大腸炎の新たな治療戦略 使用経験から JAK 阻害剤の位置づけを考察する. UC clinical conference in Fukushima; 20231011; 福島.

愛澤正人. CS 再燃時に難渋した症例とその治療. 福島県炎症性腸疾患研究会; 20231014; 郡山.

愛澤正人. Tofacitinib から Ustekinumab への switch により直腸の low grade dysplasia が消失したと考えられた難治性潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 35 回早期大腸癌研究会; 20231021; 仙台.

会津医療センター 外科学講座

論 文

〔原 著〕

Soeta N, Kawamata T, Tosa T, Suzushino S, Higuchi M, Saito T. Laparoscopic repair of an incarcerated inguinal hernia containing the sigmoid colon with a colonoscope. Asian Journal of Endoscopic Surgery. 202307; 16(3):627-630.

Muto S, Enta A, Maruya Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Hamada K, Suzuki H. Wnt/ β -Catenin Signaling and Resistance to Immune Checkpoint Inhibitors: from Non-Small-Cell Lung Cancer to Other Cancers. Biomedicines. 202301; 11(1):190.

Higuchi M, Nagata T, Iwabuchi K, Sano A, Maekawa H, Idaka T, Yamasaki M, Seko C, Sato A, Suzuki J, Anzai Y, Yabuki T, Saito T, Suzuki H. Development of a novel artificial intelligence algorithm to detect

pulmonary nodules on chest radiography. Fukushima Journal of Medical Science. 202311; 69(3):177-183.

Matsumura Y, Hayasaka K, Ohira T, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y. Long-term follow-up of a consecutive cohort validating an epidermal growth factor receptor mutation as an independent risk factor for postoperative recurrence in lung adenocarcinoma. Interdisciplinary Cardiovascular and Thoracic Surgery. 202311; 37(5):ivad174.

Higuchi M, Inomata S, Yamaguchi H, Saito T, Suzuki H. Salvage surgery for advanced non-small cell lung cancer following previous immunotherapy: a retrospective study. Journal of Cardiothoracic Surgery. 202307; 18(1):235.

Onodera K, Yokota I, Matsumura Y, Hayasaka K, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y. Efficacy of platinum-based adjuvant chemotherapy for epidermal growth factor receptor-mutant lung adenocarcinoma. Journal of Thoracic Disease. 202312; 15(12):6534-6543.

Suzushino S, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Waguri S, Marubashi S. Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemented with Adipose-Derived Stem Cells. Tissue Engineering Part A. 202307; 29(13-14):384-396.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 齋藤悠, 大江敬太郎, 伊與田友和, 島袋充生, 黒田純子, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への免疫チェックポイント阻害薬投与における内分泌障害の検討. 癌と化学療法. 202302; 50(2):177-182.

山口大輝, 武藤哲史, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 【胸部の最新画像情報 2023】肺癌術後の FDG-PET/CT において頸部リンパ節転移と考えられたが神経鞘腫であった 1 例. 臨床放射線. 202301; 68(1):81-85.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Higuchi M, Nagata T, Suzuki J, Yabuki T, Inomata S, Saito T, Suzuki H. Development and assessment of artificial intelligence detection of lung nodules on chest roentgenograms. European Lung Cancer Congress 2023. 20230329-0401; Copenhagen, Denmark.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. GEM+nab-PTX 療法により長期生存が得られている膵癌術後再発の 1 症例. 第 55 回制癌剤適応研究会; 20230217; 鎌倉.

添田暢俊, 川又崇弘, 土佐太郎, 鈴志野聖子, 齋藤拓朗. Petersens defect を閉鎖したにもかかわらず、発症した Petersen ヘルニアに対して腹腔鏡下に整復した一例. 第 95 回日本胃癌学会総会; 20230225; 札幌/Web.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田

良, 木村隆, 丸橋繁. 当施設における膵腎同時移植の治療経験. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

佐藤直哉, 鈴志野聖子, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と膵島細胞の複合細胞シートにおける細胞間微細構造の観察. 第 50 回日本膵・膵島移植学会学術集会; 20230303; 長崎.

樋口光徳. Cure を目指した周術期薬物療法への期待. North Japan Web Seminar on Lung Cancer; 20230426; 会津若松/Web.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 芦澤舞, 川又崇弘, 根本鉄太郎, 富樫一智, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

樋口光徳, 猪俣頌, 山口光, 鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対する化学療法後のサルベージ手術施行例の臨床像と成績. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427; 東京.

見城明, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 岡田良, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 胆道癌に対する肝切除術の術後肝不全予測因子に関する検討 術中 ICG クリアランス測定の有用性に関する検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230427-29; 東京/Web.

芦澤舞, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 富樫一智, 川又崇弘, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当院における腹会陰式直腸切断術症例の検討. 第 123 回日本外科学会定期学術集会; 20230429; 東京.

小林明子, 馬場佳子, 近藤タカ子, 添田暢俊, 久田和子, 齋藤拓朗. 当院における栄養サポート活動啓発の工夫 情報発信の強化と診療科毎の特性に応じた働きかけを中心に. 第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会; 20230510-11; 神戸. 学会誌 JSPEN. 5(Suppl.1):702.

樋口光徳. テセントリクによる非小細胞肺癌治療と小細胞がん治療について. Meet the expert in Aizu; 20230526; 会津若松/Web.

鈴志野聖子, 土佐太郎, 添田暢俊, 川又崇弘, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 齋藤拓朗. 当施設における急性胆嚢炎症例の検討. 第 9 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

土佐太郎, 添田暢俊, 川又崇弘, 鈴志野聖子, 齋藤拓朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 消化器外科手術における術後膀胱瘻に伴う腹腔内出血症例の検討. 第 9 回福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

土佐太郎, 添田暢俊, 川又崇弘, 鈴志野聖子, 齋藤拓朗, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 当施設における急性胆嚢炎症例の検討. 第 9 回福島県支部学術集会; 20230527; いわき.

鈴志野聖子, 土佐太郎, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 門脈左枝および右前区域枝に腫瘍浸潤を認める大腸癌肝転移に対して肝左三区域切除術を行った 1 例. 福島肝胆膵外科セミナー; 20230609; Web.

鈴志野聖子, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化シートの血管誘導効果. 第 59 回日本肝臓学会総会; 20230615-16; 奈良.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. The effect of surgical margin status on survival for perihilar cholangiocarcinoma. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20230630-0701. 東京/Web.

土佐太郎, 川又崇弘, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 術後膵液瘻に伴う腹腔内出血症例の検討. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館. 抄録集. O14-1.

鈴志野聖子, 添田暢俊, 土佐太郎, 齋藤拓朗. Tokyo Guidelines 2018 導入による急性胆嚢炎に対する治療方針の変化. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館. 抄録集. P161-8.

添田暢俊, 川又崇弘, 土佐太郎, 鈴志野聖子, 竹重俊幸, 齋藤拓朗. TAPP法におけるメッシュ背外側の安全な固定手技—メッシュの腹膜への固定—. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14; 函館. 抄録集. RSV1-2.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又崇弘, 土佐太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科におけるASA3の高齢者大腸癌症例の検討. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230712-14. 函館/Web.

川又崇弘, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 結腸癌手術の術後在院日数短縮の戦略. 第78回日本消化器外科学会総会; 20230713; 函館.

猪俣頌, 山口光, 樋口光徳, 鈴木弘行. 右中間幹内腔を閉塞する炎症性偽腫瘍に対して肺を温存して腫瘍を摘出した1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713-14; 新潟.

樋口光徳, 山口光, 猪俣頌, 鈴木弘行. 胸腔鏡補助下左横隔膜部分切除によって呼吸機能の改善を認めた左横隔膜弛緩症の1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713-14; 新潟.

樋口光徳, 山口光, 猪俣頌, 鈴木弘行. 交感神経幹が肋間静脈の外側を走行する症例での処理について. 第27回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会; 20230916; 新潟.

猪俣頌, 山口光, 樋口光徳, 鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対する免疫療法後のサルベージ手術の検討. 第64回日本肺癌学会学術集会; 20231102-04; 千葉.

齋藤拓朗, 星ひかり, 橋本重厚, 大田雅嗣. 鎮静下内視鏡検査におけるリスクマネジメントの再検討とその効果. 第18回医療の質・安全学会学術集会; 20231125-26; 神戸. 医療の質・安全学会誌. 18(Suppl.1):375.

〔シンポジウム〕

樋口光徳. AIがもたらす肺がん診療の変化. AstraZeneca SCLC Web Symposium; 20231218; Web.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 芳賀淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 成人身体肝移植における術後胆管狭窄のリスク因子解析と胆道再建法変更による効果. 第41回日本肝移植学会学術集会; 20230601-02; 松山.

見城明, 佐藤直哉, 東孝泰, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 芳賀淳

一郎, 石亀輝英, 木村隆, 丸橋繁. 脾臓移植における腸管ドレナージ: 回腸十二指腸側々吻合について. 第 59 回日本移植学会総会; 20230921-23. 京都.

添田暢俊, 土佐太朗, 鈴木野聖子, 齋藤拓朗. 前回と異なる手術アプローチを選択する再発鼠径部ヘルニア治療の検討. 第 85 回日本臨床外科学会総会; 20231116-18. 岡山.

〔その他〕

樋口光徳. 感染性肺疾患・膿胸 4 座長. 第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20230713-14; 新潟.

樋口光徳. IV期非小細胞肺癌における治療戦略 POSEIDON レジメンの位置づけを考える (筑波大学医学医療系呼吸器内科 講師 塩澤利博先生) 座長. Lung Cancer Meeting; 20230726; 会津若松.

樋口光徳. 一般口演 呼吸器 6 (気管、気管支、嚢胞性肺疾患) 座長. 第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20231019; 仙台.

樋口光徳. 人工知能がひらく肺癌診療の未来. Lung Cancer Surgery Seminar; 20231218; Web.

樋口光徳. Opening Remarks 会津肺癌治療セミナー. 会津肺癌治療セミナー; 20231222; 会津若松/Web.

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

論 文

〔原 著〕

Sato K, Iwabuchi M, Endo T, Miura T, Ito T, Shirado O. Cumulated ambulation score in hospitalized patients with osteoporotic vertebral fractures is an important predictor of returning home: a retrospective cohort study. Archives of Osteoporosis. 202304; 18(1):52.

Iwabuchi M, Tominaga R, Komatsu J, Shirado O. Minimally Invasive Spinal Fusion Using Percutaneous Pedicle Screw Instrumentation Can Provide a Better Health-Related QOL in Early Stage Than Conventional Methods in the Treatment of Single-Level Degenerative Lumbar Spinal Diseases. Clinical Interventions in Aging. 202301; 18:131-139.

Sato K, Ito T, Endo T, Miura T, Iwabuchi M, Shirado O. Novel assessment of physiotherapy outcomes in adults with structural spinal disorders. European Spine Journal. 202306; 32(6):1887-1894.

Miura T, Ito T, Sato K, Endo T, Iwabuchi M, Shirado O. Is dynamic spino-pelvic alignment during gait

associated with lumbar function in patients with degenerative lumbar spinal stenosis? Gait & Posture. 202305; 103:210-214.

Sakuma Y, Shirado O, Tominaga R, Iwabuchi M. Delayed Pyogenic Spondylitis at the Same Level as Rod Fracture After Surgery for Adult Spinal Deformity: A Case Report. JBJS Case Connector. 202304; 13(2):doi: 10.2106/JBJS.CC.22.00561.

Sato K, Ito T, Endo T, Miura T, Iwabuchi M, Shirado O. Influence of changes in pelvic anteversion during gait on walking ability and physical function in patients with adult spinal deformity: A cross-sectional study. Journal of Orthopaedic Science. 20231226; Online ahead of print:doi:S0949-2658(23)00335-4.

Li C, Inoue S, Hatakeyama J, Jiang H, Takamura D, Shirado O, Moriyama H. Effects of uphill and downhill walking on post-traumatic osteoarthritis development in mice. Journal of Physiology. 202304; 601(10):1781-1795.

Sato K, Tominaga R, Endo T, Miura T, Iwabuchi M, Ito T, Shirado O. The association of dynamic spinal alignment on gait endurance of patients with adult spinal deformity: a cross-sectional study. Spine Deformity. 202303; 11(2):463-469.

利木成広, 江尻荘一, 川前恵史, 川上亮一, 佐々木信幸, 紺野慎一. 豆状三角骨関節症による屈筋腱皮下断裂の治療経験. 日本手外科学会雑誌. 202301; 39(4):560-563.

〔総説等〕

白土修, 遠藤達矢. 腰・股関節から考える姿勢と健康. POSTURE しせいと生活. 202306; 50:35-41.

白土修, 遠藤達矢, 白土修, 岩渕真澄, 佐久間洋太, 伊藤俊一. 【実地医家は腰背部痛をどう診るか】腰痛に対するリハビリテーション. Monthly Book Orthopaedics. 202309; 36(9):90-101.

〔その他〕

白土修. 早期手術で寝たきり防止. 病院の実力～福島編 179. 読売新聞. 20230425 福島版第 12 版. 28 面.

白土修, 遠藤達矢, 佐藤圭汰. 運動療法をめぐる話題. 慢性疼痛トピックス Vol.3 (医学薬学図書出版パンフレット). 202309.

書籍等出版物

白土修. 脊椎・脊髄領域で先進的な低侵襲治療を提供. In: 読売新聞医療部 編. 病院の実力 2023 (総合編) ムック YOMIURI SPECIAL 149. 読売新聞社. 202302. p.AD-11.

白土修. 頸椎・胸椎から腰椎に至る全ての脊椎・脊髄疾患の外科的治療. In: 白土修, 名医のいる病院 2023 整形外科編. 東京: 医療新聞社. 202303. p.60

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

庄司亮平, 岩渕真澄, 白土修. 腰椎椎間板ヘルニア患者における坐骨神経硬度の術前後変化と下肢痛との関連
剪断波エラストグラフィを用いた定量的検討. 第7回会津リハビリテーションフォーラム; 20230310; 会津若松.

遠藤達矢, 白土修, 岩渕真澄, 佐久間洋太, 渡邊剛広, 波入雄大, 佐藤 俊樹, 佐藤圭汰, 伊藤俊一. 成人脊
柱変形術後の rod fracture は multiple-rod と同種骨移植によって予防可能か? 第13回日本成人脊柱変形学会;
20230318; 大阪.

佐藤圭汰, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 伊藤俊一, 白土修. 成人脊柱変形患者の腰痛性間欠跛行に対する体幹伸展筋力
の影響. 第13回日本成人脊柱変形学会; 20230318; 大阪.

佐藤圭汰 白土修, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 伊藤俊一. 腰椎変性疾患患者の術後急性期の疼痛変化と慢性術後疼痛
の関連 Pain Trajectory calculator を用いた検討. 第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20230412; 札幌.

三浦拓也, 白土修, 遠藤達矢, 岩渕真澄, 伊藤俊一. 腰部脊柱管狭窄症患者の術前体感筋力は術後6か月の
JOABPEQ の改善を予測可能である MCID を用いた過去起点前向きコホート研究. 第52回日本脊椎脊髄病学会
学術集会; 20230412-15; 札幌.

遠藤達矢, 白土修, 佐藤圭汰, 三浦拓也, 岩渕真澄, 伊藤俊一. 成人脊柱変形患者に対する運動療法の効果
MCID(Minimal clinically important difference)を用いた治療効果不良に関する因子の検討. 第52回日本脊椎脊髄
病学会学術集会; 20230412-15; 札幌.

波入雄大. 神経根症を呈した Bertoltti 症候群の手術経験. 第12回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

遠藤達矢, 白土修, 佐藤圭汰, 岩渕真澄, 佐久間洋太, 波入雄大, 佐藤俊樹, 伊藤俊一. 成人脊柱変形に対す
る術前からの運動療法介入が術後成績に及ぼす影響 AMECexercise for ASD による Prehabilitation の効果. 第
120回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

佐久間洋太, 岩渕真澄, 遠藤達矢, 佐藤圭汰, 三浦真理子, 関本マリ子, 花見博美, 玄葉久美, 白土修. 福
島県立医科大学会津医療センターにおける骨粗鬆症リエゾン活動と二次性骨折予防への取組. 第120回東北整形災
害外科学会; 20230609-10; 福島.

佐藤圭汰, 遠藤達矢, 伊藤俊一, 岩渕真澄, 白土修. Failed back surgery syndrome 発生と術後急性期疼痛変化
との関連; 固定術を施行した腰椎変性疾患患者における後方視的研究. 第120回東北整形災害外科学会;
20230609-10; 福島.

佐藤俊樹, 岩渕真澄, 波入雄大, 佐久間洋太, 渡邊剛広, 白土修. 非定型大腿骨骨折の治療として、ロモソブ
マブを使用した3例. 第120回東北整形災害外科学会; 20230609-10; 福島.

佐藤圭汰, 岩渕真澄, 遠藤達矢, 三浦拓也, 伊藤俊一, 白土修. 骨粗鬆症性椎体骨折入院患者の自宅退院に対する累積移動能力スコアの予測性能. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929; 名古屋.

遠藤達矢, 金村尚彦, 白土修, 伊藤俊一. 腰椎変性疾患に対する後方固定術後の遺残痛が健康関連 QOL に及ぼす影響 SF-36 を用いた術後 2 年の観察研究. 第 11 回日本運動器理学療法学会; 20231013-15; 福岡.

遠藤達矢, 白土修, 阿部真典, 平田海. 思春期特発性側彎症に対する新しい装具の短期治療成績; 従来型装具との比較(Short-term outcomes of a novel brace on adolescent idiopathic scoliosis). 第 57 回日本側彎症学会学術集会; 20231110; 大阪.

半谷智辰, 岩渕真澄, 白土修. 頸椎症性脊髄症患者の手指機能が ADL に及ぼす影響. 第 57 回日本作業療法学会; 20231110; 宜野湾.

波多野麻里子, 伊藤俊一, 三浦拓也, 遠藤達矢, 庄司亮平, 佐藤圭汰, 川本光都, 半谷智辰, 佐藤志保, 白土修. 当院におけるレジデント研修制度について 座学研修の取り組み. 日本理学療法管理学会・日本精神・心理領域理学療法研究会合同学術大会 2023; 20231111-12; 川越.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 武田尊徳, 白土修. レセプトデータベースを用いた産業保険分野における腰痛関連疾患の通院回数と罹病機関の実態調査. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

三浦拓也, 伊藤俊一, 岩渕真澄, 白土修. 慢性腰痛症例へのストレッチ介入は腰背筋群の筋弾性率を低下させる Shear Wave Elastography を用いた無作為化比較試験. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

〔シンポジウム〕

白土修. 脊椎外科関連の診療ガイドラインの現状と課題. 第 96 回日本整形外科学会学術総会; 20230511-14; 横浜.

白土修. 慢性腰痛に対する運動療法. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20230629-0702; 福岡.

〔特別講演〕

白土修. 座長 特別講演 医師と療法士によるプロリハの推進 運動療法から疼痛管理まで. 第 7 回会津リハビリテーションフォーラム; 20230310; 会津若松.

岩渕真澄. 重症骨粗鬆症に対する Anabokic agent の使い方. 第 12 回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

白土修. 整形外科分野におけるリハビリテーション 特に脊椎・脊髄疾患を中心に. 日本カイロプラティック科学学会第 14 回学術大会; 20230618; Web.

岩渕真澄. 会津地域における骨粗鬆症診療 12 年の取り組み. 田村薬剤師会勉強会; 20230621; 田村.

岩渕真澄. 骨粗鬆症と痛み. 整形疾患 Web セミナー 地域の健康寿命を考える会; 20231220; 会津若松.

〔招待講演〕

白土修. 慢性腰痛患者に対する保存および手術治療：腰痛診療ガイドライン 2019 からの推奨. 整形外科ジェリアトリックセミナー; 20230127; 東京.

岩淵真澄. 会津地域医における骨粗鬆症診療 12 年の取り組み. 整形外科ジェリアトリックセミナー; 20230329; 東京.

岩淵真澄. 骨粗鬆症と痛み. 学術講演会 医科歯科連携を考える会; 20230531; Web.

白土修. 脊柱変形に対する包括的治療；保存から手術治療まで. 第 57 回日本側彎症学会学術集会; 20231110; 大阪.

〔その他〕

岩淵真澄. 座長 骨形成促進剤の選択とタイミング 実臨床で考える骨折連鎖予防. 骨粗鬆症 Web セミナー; 20230111; Web.

白土修. 座長. 第 25 回脊椎と神経を語る会; 20230225; Web.

岩淵真澄. 座長. 第 7 回リハビリテーションフォーラム; 20230310; 会津若松.

白土修. Opening Remarks. 会津医学会学術講演会; 20230313; 会津若松.

岩淵真澄. 座長. 会津医学会学術講演会; 20230313; 会津若松.

白土修. 開会の挨拶. 第 12 回光が丘会津会; 20230428; 会津若松.

岩淵真澄. 座長 多職種連携・地域連携で行う骨粗鬆症治療. 第 6 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20230630; 会津若松.

白土修. 座長 ロコモ、社会. 第 34 回日本運動器学会; 20230708; 東京.

遠藤達矢. 座長 当院における OLS チームの立ち上げから現在までの取り組み. 第 2 回福島県 OLS/FLS の未来を語る会; 20230719; 会津若松.

白土修. 脊椎疾患と体幹装具. 令和 5 年度義肢装具等判定医師研修会（第 83 回）; 20230827; Web.

岩淵真澄. 座長 一般演題 1. 第 25 回日本骨粗鬆症学会; 20230929; 名古屋.

白土修. 座長 一般演題口演. 第 38 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20231019; つくば.

白土修. 座長 一般演題(ポスター). 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

岩淵真澄. 座長 一般演題(口演)7 心理療法・疼痛管理. 第 31 回日本腰痛学会; 20231201; 徳島.

白土修. AIS の疾患概要と疾患を取り巻く実態、最新治療について. 日本シグマックス(株)メディアセミナー; 20231208; 東京.

岩淵真澄. 座長 骨粗鬆症に対する専門チームの取り組み. 骨粗鬆症 院内勉強会; 20231208; 会津若松.

会津医療センター 耳鼻咽喉科学講座

論 文

〔原 著〕

鈴木俊彦, 小川洋, 小針健大. Aspergillus の感染により鼻中隔壊死が生じた例. 日本鼻科学会会誌. 202307; 62(2):350-356.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小川洋. 難治性中耳炎に対する診断治療. 第 124 回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会; 20230209; Web.

鈴木俊彦. 当科におけるデュピルマブ投与について. CRSwNP 治療を考える; 20230222; Web.

斎藤杏, 鈴木俊彦, 小川洋. 感染源の同定が困難であった副咽頭間隙腫瘍の一例. 第 71 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20230715; 仙台.

鈴木俊彦, 小川洋, 斎藤杏. 反復する鼻出血の原因として前篩骨動脈の動脈瘤が疑われた症例. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会; 20230930; 津.

小川洋. 耳鼻科診療における CBCT のインパクト. 第 33 回日本耳科学会ポストコンgressセミナー; 20231104; 渋川.

会津医療センター 臨床医学部門

論文

〔原 著〕

Nakajima Y, Nemoto D, Nemoto T, Takahata Y, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Short-term outcomes of patients undergoing endoscopic submucosal dissection for colorectal lesions. Den Open. 202304; 3(1):e136.

Isohata N, Endo S, Nemoto T, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. Risk Factors and Predictive Biomarkers for Anastomotic Leakage after Colorectal Cancer Surgery with the Double Stapling Technique. Journal of the Anus, Rectum and Colon. 202307; 7(3):196-205.

Suzuki T, Saitou M, Utano Y, Utano K, Niitsuma K. Bronchoalveolar lavage (BAL) amylase and pepsin levels as potential biomarkers of aspiration pneumonia. Pulmonology. 202309; 29(5):392-398.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

遠藤俊吾, 五十畑則之, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. Palliative therapy としての大腸ステント留置術の成績と工夫. 第 11 回大腸ステント安全手技研究会; 20231103; 神戸.

愛澤正人, 玉澤歌菜, 鈴木康平, 上田健太, 和田淳, 中島勇貴, 澁川悟朗, 歌野健一, 富樫一智. Tofacitinib から Ustekinumab への switch により直腸の low grade dysplasia が消失したと考えられた難治性潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. ストーマ造設患者の早期退院を目指すチーム医療. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

鈴木康平, 中島勇貴, 玉澤歌菜, 上田健太, 和田淳, 愛澤正人, 根本大樹, 澁川悟朗, 鈴木理, 富樫一智. Cold snare polypectomy した早期大腸癌 3 例の転帰. 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20231111; 熊本.

〔シンポジウム〕

五十畑則之, 遠藤俊吾, 川又諒, 鈴木康平, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 狭窄を伴う大腸癌症例の口側結腸の評価のための大腸 CT 検査の有効性. 第 41 回日本大腸検査学会総会; 20231117; 東京.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

歌野健一．伏見健康アカデミー 大腸 CT 検査編. 20220519-. Web サービス.

Ⅱ 受賞一覧

免疫学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本補体学会	第59回日本補体学会学術集会 日本補体学会若手奨励賞	MASP-1欠損MRL/lprマウスではループス様腎炎による腎機能障害の発症が遅延し、生存期間が延長する	物江洋人，町田豪，石田由美，藤田慎三，関根英治

基礎病理学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本電気泳動学会	第74回日本電気泳動学会学術大会 一般演題優秀賞	二次元電気泳動/ウエスタンブロット法によるがん患者由来自己抗体の新規網羅的同定法	小林 信
2023	日本病理学会	第19回日本病理学会カンファレンス 最優秀ポスター賞	サーフェソーム解析から得られたSpondin-1は卵巣癌の新規バイオマーカーである	小林 信

衛生学・予防医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	公益信託産業保健研究奨励基金	2022年度大久保利児産業保健研究奨励賞	項目自己生成式職場改善ニーズ調査法 (SWING)：日本の介護施設における開発と検証	日高友郎，佐藤勢，遠藤翔太，春日秀朗，増石有佑，各務竹康，福島哲仁
2023	公益社団法人日本産業衛生学会	第96回日本産業衛生学会「奨励賞」	労働現場における熱中症対策	各務竹康

公衆衛生学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本予防理学療法学会	第10回日本予防理学療法学会学術大会 大会長賞	福島第一原子力発電所事故後の高齢者における被災自治体への帰還と心身機能の関連	森山信彰，伊東尚美，古山綾子，佐藤美佳，坪倉正治

2023	日本理学療法教育学会	第12回日本理学療法教育学会学術大会 最優秀賞	理学療法士養成機関における災害時対応に関する教育の実施状況：避難行動要支援者の個別避難計画作成に着目して	森山信彰, 舟見敬成, 小野田修一, 山田秀彦, 安村誠司
------	------------	-------------------------	--	-------------------------------

疫学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	日本公衆衛生学会	第82回日本公衆衛生学会総会 口演賞	感謝の頻度と生活習慣病との関連	濱口雄飛, 林史和, 江口依里, 白井ころろ, 近藤寛則, 大平哲也
2023	東北骨代謝・骨粗鬆症研究会	第44回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会 優秀演題賞	東日本大震災後の高齢者の心的外傷後ストレス障害症状と骨折の頻度との関連性：福島県「県民健康調査」による前向きコホート研究	林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 針金まゆみ, 安村誠司, 前田正治, 高橋敦史, 矢部博興, 鈴木友理子, 神谷研二

循環器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	日本循環器学会	Circulation Journal Awards for Volume 86 2022 Second Place (Clinical Investigation)	Prognostic effects of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure	菅原由紀子
2023	福島医学会	令和4年度福島医学会学術奨励賞	心不全における臓器連関と病態評価	佐藤悠
2023	日本循環器学会	第176回日本循環器学会東北地方会Young Investigator's Award (YIA) 症例発表部門優秀賞	胸腔鏡下胸管結紮術・心臓開窓術を施行した原発性乳癌心臓症の一例	片平正隆
2023	日本循環器学会	第176回日本循環器学会東北地方会Young Investigator's Award (YIA) 研究発表部門最優秀賞	血中LTBP-2濃度は、拡張型心筋症において心筋内LTBP-2発現を反映し、予後不良を予測する	西浦司人
2023	日本循環器学会	第177回日本循環器学会東北地方会Young Investigator's Award (YIA) 症例発表部門最優秀賞	線維筋性異形成による冠動脈狭窄病変に対し薬剤塗布バルーンにて経皮的冠動脈形成術を行った若年女性の1例	関根虎之介

2023	日本循環器学会	第177回日本循環器学会東北地方会Young Investigator's Award (YIA) 研究発表部門 優秀賞	通常型心房粗動に対するクライオアブレーションにおける、冷凍焼灼効果への右冠動脈血流の影響について	大河内論
2023	日本肺高血圧・肺循環学会	第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 Young Investigators Award (YIA) 基礎研究部門 優秀賞	肺高血圧症右室オミックス解析によるバイオマーカーの同定	横川哲朗
2023	日本心筋症研究会	第9回日本心筋症研究会 Young Investigator's Award (YIA) 臨床研究 最優秀賞	拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ (NETs) は不良な転帰と関連する：心筋生検検体を用いたアプローチ	市村祥平
2023	Heart Science Club	第11回Heart Science Club 奨励賞	心不全における心筋組織の好中球細胞外トラップの意義	市村祥平
2023	心世代核医学研究会	第26回心世代核医学研究会 Best originality 賞	冠動脈CTとアンモニアPETMRで評価し得た重症冠動脈病変を有する若年線維筋性異形成の一例	石井三千花

リウマチ膠原病内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	日本リウマチ学会 北海道・東北支部	第33回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会 若手リウマチ医奨励賞受賞者セッション 優秀演題賞	関節リウマチ患者におけるJAKおよびIL-6阻害薬の安全性の比較	吉田周平

呼吸器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	Asian Pacific Society of Respiriology	27th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, APSR JRS Young Investigator Award	Role of Serum Decoy Receptor 3 as a Predictor of Prognosis in Patients with Acute Exacerbation of Interstitial Pneumonia	Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Kawamata T, Watanabe N, Wang X, Saito K, Kazama K, Harigane R, Yamada R, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y

2023	日本サルコイドーシス/ 肉芽腫性疾患学会	第43回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学 会総会 Young Investigator Award (Case Report) 優秀演題賞	低用量ステロイドで肺病変が改善した肺サルコイ ドーシスの一例	渡邊菜摘, 谷野功典, 二階 堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆 一, 河俣貴也, 福岡奈緒 子, 王新濤, 柴田陽光
------	-------------------------	---	-----------------------------------	---

消化管外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	癌免疫外科研究会	第44回癌免疫外科研究会 奨励賞	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介 した食道扁平上皮癌微小環境の変化	中嶋正太郎, 三村耕作, 金 田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋 和, 齋藤元伸, 佐瀬善一 郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二

肝胆脾・移植外科学講座講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	日本医療マネジメント学 会福島支部	日本医療マネジメント学会第11回福島支部学術 集会 優秀賞	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のため の基礎的研究～研修修了者のインタビュー調査よ り～	見城明, 菅野久美, 加藤郁 子, 三浦浅子
2023	日本臨床外科学会福島県 支部	第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会 優秀演題賞	当院における高齢者肺癌に対する腔頭十二指腸切 除術の忍容性に関する検討	菅原良太, 西間木淳, 月田 茂之, 武藤亮, 佐藤直哉, 芳賀淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城 明, 丸橋繁

呼吸器外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第183回東北外科集談会・第109回日本胸部外科学会東北地方会 学生奨励賞	原発性乳糜心膜症に対して胸腔鏡下に胸管結紮術を行った一例	内門美紀, 渡部晶之, 丸谷慶将, 山口光, 峯勇人, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行
2023	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第183回東北外科集談会・第109回日本胸部外科学会東北地方会 学生奨励賞	咯血を繰り返す肺アスペルギルス症に対して機械的な肺葉切除術で咯血を制御できた1例	島田晃太郎, 川西瑞樹, 山口光, 丸谷慶将, 峯勇人, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 濱田和幸, 鈴木弘行
2023	日本肺癌学会	2023年優秀論文賞	Two Cases of Retroperitoneal Fibrosis During Anti-programmed Cell Death 1 Antibody Treatment	藤生浩一
2023	宮城県警察本部	刑事警察功労者		鈴木弘行

乳腺外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	福島県立医科大学附属病院	令和5年度治験実施者表彰		阿部貞彦

外科研修支援担当

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	癌免疫外科研究会	第44回癌免疫外科研究会 奨励賞	照射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化	中嶋正太郎、三村耕作、金田晃尚、片方雅紀、岡山洋和、齋藤元伸、佐瀬善一郎、渡辺洋平、花山寛之、多田武志、坂本渉、門馬智之、河野浩二
2023	日本癌治療学会	第61回日本癌治療学会学術集会 優秀演題賞	大腸癌TMEにおけるH0-1発現を介するM2腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加について	伊藤美郷、三村耕作、中嶋正太郎、小野澤寿志、岡山洋和、藤田正太郎、坂本渉、齋藤元伸、門馬智之、河野浩二
2023	日本癌治療学会	第61回日本癌治療学会学術集会 Young Oncologist Award	大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントトリガンドの発現	佐久間芽衣、三村耕作、中嶋正太郎、岡山洋和、伊藤美郷、小野澤寿志、坂本渉、齋藤元伸、佐瀬善一郎、門馬智之、河野浩二
2023	日本バイオセラピー学会	第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会 奨励賞	HER2不均一発現を呈する胃癌症例から検討するHER2シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御	中嶋正太郎、深井智司、金田晃尚、圓谷秀哲、松石彬、岡山洋和、齋藤元伸、三村耕作、坂本渉、佐瀬善一郎、門馬智之、河野浩二
2023	福島県医師会	福島県医師会 医学奨励賞	大腸癌腫瘍微小環境におけるM2腫瘍関連マクロファージのH0-1を介した酸化ストレスへの抵抗性について	伊藤美郷、三村耕作、中嶋正太郎、岡山洋和、齋藤勝治、中島隆宏、菊池智宏、小野澤寿志、藤田正太郎、坂本渉、齋藤元伸、門馬智之、佐瀬善一郎、河野浩二

整形外科科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	公益財団法人運動器の健康・日本協会	奨励賞	バスケットボール障害予防メディカルチェック	園部樹，金内洋一，渡邊和之
2023	東北整形災害外科学会	若手英語Award	The Development of a Prediction model for the Occurrence of Vertebral Fractures using the Vertebral Bone Quality score	Yokota T
2023	福島県立医科大学整形外科学科同門会	令和5年度福島県立医科大学整形外科学科同門会賞		金内洋一

過年業績

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	東北災害外科学会	優秀演題賞	手術加療を行った胸椎黄色靱帯骨化症の野球選手2例	中野優

泌尿器科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本泌尿器科学会	第110回日本泌尿器科学会総会 総会賞	Development of a novel gene expression scoring system for recurrence in non-muscle-invasive bladder cancer after transurethral resection of bladder tumor	加山恵美奈，植村元秀，遠藤祐，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，目黒了，吉田祐樹，小名木彰史，丹治亮，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小川総一郎，小島祥敬

2023	日本泌尿器科学会	第110回日本泌尿器科学会総会 総会賞	The significance of humoral immunity on the bladder outlet obstruction related with prostate indicated by comprehensive gene expression analysis	赤井畑秀則, 桑川知之, 針金佑樹, 遠藤侑, 今井仁美, 松岡優太, 小名木彰史, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬
2023	日本小児泌尿器科学会	第32回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 会長賞	下部尿路機能障害を伴う脊髄手術後の脊髄係留症候群に対する係留解除術の有効性	桐花悠介, 佐藤雄一, 吉田祐樹, 長谷川颯久, 今井仁美, 滝浪瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 小島祥敬
2023	日本泌尿器科学会東北地方会	第266回日本泌尿器科学会東北地方会 優秀演題賞	ハイリスク転移性前立腺癌の膀胱内再発に対し経尿道的腫瘍切除術により病変を制御しえた1例	遠藤侑, 星誠二, 八木沼恵, 針金佑樹, 吉田祐樹, 松岡優太, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬
2023	福島県医師会	令和5年度福島県医師会 医学奨励賞	蓄尿機能に対する新しい指標「利尿適応性」の有 用性と頻尿治療における意義	松岡香菜子

放射線医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	American Society of Nuclear Cardiology	H William Strauss Award for Best Technical Research Paper 2023	^{13}N -ammonia positron emission tomography-derived endocardial strain for the assessment of ischemia using feature-tracking in high-resolution cine imaging	Kawakubo M, Nagao M, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Fukushima K, Watanabe E, Sakai A, Sasaki S, Sakai S

2023	日本心臓核医学会	第23回若手研究者奨励賞審査講演 最優秀賞	^{13}N -ammonia PET/MRIによる心筋血流予備能と4D-Flow左室内血流解析同時評価の検討	遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知
2023	断層映像研究会	第51回断層映像研究会 優秀演題賞	GI-BONEを用いたSPECT単体機における正常骨・転移骨集積の定量評価	末永博紀, 石井士朗, 渡邊宏剛, 山國遼, 菅原茂耕, 黒岩大地, 関野啓史, 福島賢慈, 志賀哲, 織内昇, 伊藤浩
2023	心世代核医学研究会	第26回心世代核医学研究会 最優秀賞	^{13}N -アンモニアPET/MRを用いた拡張期心室内血流Energy効率と心筋血流予備能の同時評価の有用性の検討	遠藤圭一郎, 福島賢慈, 片平正隆, 喜古崇豊, 山國遼, 右近直之, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 伊藤浩, 竹石恭知
2023	心世代核医学研究会	第26回心世代核医学研究会 Best Originality 賞	冠動脈CTとアンモニアPETMRで評価し得た重症冠動脈病変を有する若年緑維筋性異形成の一例	石井三千花, 福島賢慈, 片平正隆, 西浦司人, 山國遼, 横川哲朗, 佐藤彰彦, 清水竹史, 石井士朗, 八巻尚洋, 中里和彦, 伊藤浩, 竹石恭知

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者 (グループ)
2023	癌免疫外科研究会	第44回癌免疫外科研究会 奨励賞	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化	中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本高次機能障害学会	令和5年度奨励賞	覚醒下手術症例を対象とした、頭頂葉性の高次運動機能を評価する課題の開発	鳴原和昭，藤井正純，芥川奈央，二村美也子，大井直往

細胞科学研究部門

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	公益財団法人杉山記念財団	第4回SMF論文表彰 大賞	Evolutionarily conserved sperm factors, DCST1 and DCST2, are required for gamete fusion.	井上直和

国際被ばく保健看護学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本災害情報学会	第27回学会大会 優秀発表賞	リスクコミュニケーションが持つ各種メディア発信の放射線情報に対する信頼度の違い：防災士対象調査を通して	齋藤玲，邑本俊亮，保田真理，大葉陸，佐藤美佳（放射線防災／地域啓発活動モデル構築グループ）

疼痛医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	福島県立医科大学医学部同窓会	地域学術復興賞	Characteristics of patients who dropped out after multidisciplinary pain management in Japan: a prospective cohort study	高橋直人

低侵襲腫瘍制御学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本臨床疫学会	日本臨床疫学会第6回年次学術大会 専門家部門最優秀賞	地域悉皆性を重視したStageⅣ消化器癌コホートによる予後予測研究の方法論と意義	本多通孝
2023	日本臨床疫学会	日本臨床疫学会第6回年次学術大会 一般部門優秀賞	StageⅣ胃癌の診療実態と予後：記述疫学	俊山聖史

癌集学的治療地域支援講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	癌免疫外科研究会	第44回癌免疫外科研究会 奨励賞	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化	中嶋正太郎, 三村耕作, 金田晃尚, 片方雅紀, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 花山寛之, 多田武志, 門馬智之, 河野浩二
2023	日本バイオセラピー学会	第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会 奨励賞	HER2不均一発現を呈する胃癌症例から検討するHER2シグナルを介した腫瘍免疫微小環境の制御	中嶋正太郎, 深井智司, 金田晃尚, 圓谷秀哲, 松石彬, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二

看護学部

成人・老年看護学部門

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本医療マネージメント学会福島支部	優秀賞	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究－修了者のインタビュー調査より－	見城明, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子

保健科学部
理学療法学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	国際リハビリテーション医学会 (ISPRM)	Most cited article of 2022	The benefit of exercise in patients who undergo allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Fu JB, Fuji S
2023	福島県理学療法士会	福島県理学療法学会誌優秀論文賞（令和5年度）	当院リハビリテーション科におけるキャリアパスによる人材育成の取り組みの紹介－職員の意識を高める運用の工夫－	本田知久, 高野稔, 佐藤聡見, 大竹政充, 室井宏育
2023	日本栄養・嚥下理学療法研究会	第8回日本栄養・嚥下理学療法研究会 セレクション演題	地域在住高齢者における無症候性心不全の罹患と骨格筋機能の関係－超音波画像を用いた調査－	佐藤聡見, 木村鷹介, 寛智裕, 近藤郁江, 板垣篤典

作業療法学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	東北作業療法学会	第33回東北作業療法学会 学会長賞	脳卒中患者における意欲と予後の関連：何に対する意欲がどのADLに影響するのか	藤田貴昭, 栗田恵, 笠原龍一, 山本優一, 五百川和明

診療放射線科学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本放射線技術学会	論文支援功労賞		広藤喜章

臨床検査学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本循環器学会	Circulation Journal Award 2022 Clinical Investigation部門 優秀賞	心不全患者における右室面積変化率の予後への影響	菅原由紀子（筆頭著者），竹義久精臣（責任著者），竹石遼平，大原妃美佳，安齋文弥，實桐優，渡邊孝一郎，佐藤悠，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知
2023	日本医療検査科学会	第30回日本医療検査科学会 論文賞	定量限界に着目した7種の市販クレアチニン測定試薬の評価	廣瀬靖華，松田将門，成田一衛
2023	日本臨床検査医学会	国際学会奨励賞	Effective strategy for lupus anticoagulant diagnosis using mixing test and one-stage assay	松田将門

患者サポートセンター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	癌免疫外科研究会	第44回癌免疫外科研究会 奨励賞	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境の変化	中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，花山寛之，多田武志，門馬智之，河野浩二

検査部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	第2回Clinical Assay Academia	最優秀演題賞	血中エリスロポエチン濃度とヘモグロビン濃度、腎機能の関連性	宮原涼馬

臨床研究教育推進部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	JCR国際委員会，日本リウマチ学会	第67回学術集会国際ワークショップ優秀演題賞	Does shared decision-making affect the quality of life in SLE patients? : the TRUMP2-SLE study	Hidekawa C, Yoshimi R, Yajima N, Kurita N, Sakurai N, Oguro N, Shidahara K, Hayashi K, Ichikawa T, Kishida D, Miyawaki Y, Sada K, Shimojima Y, Ishikawa Y, Yoshioka Y, Kunitashita Y, Kishimoto D, Minegishi K, Kirino Y, Ohno S, Nakajima H

総合科学教育研究センター 人文・社会科学領域

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本医史学会	第29回富士川游学術奨励賞	第一次世界大戦下における日本人衛生学者の軍事研究－戸田正三の欧州留学に注目して－	末永恵子

看護師特定行為研修センター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本医療マネジメント学会福島支部	日本医療マネジメント学会第11回福島支部学術集会 優秀賞	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のための基礎的研究～研修修了者のインタビュー調査より～	見城明，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子
2023	日本臨床外科学会福島県支部	第9回日本臨床外科学会福島県支部学術集会 優秀演題賞	当院における高齢者膝窩に対する膝頭十二指腸切除術の忍容性に関する検討	菅原良太，西間木淳，月田茂之，武藤亮，佐藤直哉，芳賀淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁

放射線医学県民健康管理センター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本赤十字社	昭和天皇記念血液事業基金学術賞	輸血治療の安全性向上・献血血液の有効利用と適正輸血の推進・新型血液型KANNOの発見・HCV陽性率の低下等に貢献・TA-GVHDの根絶に寄与	大戸 斉
2023	東北骨代謝・骨粗鬆症研究会	第44回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会 優秀演題賞	東日本大震災後の高齢者の心的外傷後ストレス障害症状と骨折の頻度との関連性：福島県「県民健康調査」による前向きコホート研究	林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎可奈子，針金まゆみ，安村誠司，前田正治，高橋敦史，矢部博興，鈴木友理子，神谷研二

先端臨床研究センター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本心臓核医学会	第23回若手研究者奨励賞審査講演 最優秀賞	^{13}N -ammonia PET/MRIによる心筋血流予備能と4D-Flow左室内血流解析同時評価の検討	遠藤圭一郎，福島賢慈，片平正隆，喜古崇豊，山國遼，右近直之，清水竹史，石井士朗，八巻尚洋，伊藤浩，竹石恭知

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2023	日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会 肉芽腫性疾患学会	第43回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会 Young Investigator Award (Case Report) 若手奨励優秀賞	低用量ステロイドで肺病変が改善した肺サルコイドーシスの一例	渡邊菜摘，谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，福原奈緒子，王新濤，柴田陽光

2023	Asian Pacific Society of Respiriology	27th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, APSR JRS Young Investigator Award	間質性肺炎急性増悪における血清Decoy Receptor 3の予後予測因子としての役割	東川隆一，谷野功典，二階 堂雄文，佐藤佑樹，河俣貴 也，渡邊菜摘，王新濤，福 原奈緒子，柴田陽光
------	--	---	---	---

Ⅲ 共同研究・競争的資金等の研究課題一覧

令和5年度共同研究・競争的資金等の研究課題一覧

医学部

神経解剖・発生学講座.....	637	産科婦人科学講座.....	670
解剖・組織学講座.....	637	小児科学講座.....	671
細胞統合生理学講座.....	638	眼科学講座.....	671
システム神経科学講座.....	638	皮膚科学講座.....	672
生化学講座.....	639	泌尿器科学講座.....	672
免疫学講座.....	640	耳鼻咽喉科学講座.....	674
病態制御薬理医学講座.....	640	神経精神医学講座.....	675
微生物学講座.....	640	放射線医学講座.....	675
基礎病理学講座.....	641	麻酔科学講座.....	676
衛生学・予防医学講座.....	642	救急医療学講座.....	677
公衆衛生学講座.....	644	病理病態診断学講座.....	677
法医学講座.....	645	臨床検査医学講座.....	677
放射線生命科学講座.....	646	感染制御学講座.....	678
疫学講座.....	646	輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....	678
健康リスクコミュニケーション学講座.....	649	地域・家庭医療学講座.....	679
循環器内科学講座.....	650	放射線健康管理学講座.....	679
血液内科学講座.....	654	甲状腺内分泌学講座.....	680
消化器内科学講座.....	655	災害こころの医学講座.....	680
リウマチ膠原病内科学講座.....	656	放射線腫瘍学講座.....	681
腎臓高血圧内科学講座.....	656	腫瘍内科学講座.....	682
糖尿病内分泌代謝内科学講座.....	656	放射線災害医療学講座.....	682
脳神経内科学講座.....	657	附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門...682	
呼吸器内科学講座.....	657	附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門...683	
消化管外科学講座.....	661	附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門...683	
肝胆膵・移植外科学講座.....	662	放射性同位元素研究施設.....	685
呼吸器外科学講座.....	664	実験動物研究施設.....	685
心臓血管外科学講座.....	667	地域産婦人科支援講座.....	686
外科研修支援担当.....	667	白河総合診療アカデミー.....	686
脳神経外科学講座.....	667	東白川整形外科アカデミー.....	686
整形外科科学講座.....	668	疼痛医学講座.....	686
形成外科学講座.....	670	生体機能イメージング講座.....	687
		多発性硬化症治療学講座.....	687

低侵襲腫瘍制御学講座.....	687
心臓調律制御医学講座.....	688
ヒト神経生理学講座.....	688
総合内科・臨床感染症学講座.....	688
癌集学的治療地域支援講座.....	689
エピゲノム分子医学研究講座.....	689
アスタチン核種治療研究講座.....	690
甲状腺治療学講座.....	690
救急・生体侵襲制御学講座.....	690
地域婦人科腫瘍学講座.....	690
地域先端循環器病治療学講座.....	691
こころと脳の医学講座.....	691
間葉系幹細胞応用研究講座.....	692

看護学部

生命科学部門.....	692
基礎看護学部門.....	693
成人・老年看護学部門.....	693
小児・精神看護学部門.....	695
地域・公衆衛生看護学部門.....	696
母性看護学・助産学部門.....	697

保健科学部

理学療法学科.....	698
作業療法学科.....	700
診療放射線科学科.....	702
臨床検査学科.....	705

別科

助産学専攻.....	707
------------	-----

附属病院, 他

附属病院長.....	708
患者サポートセンター.....	708
ふたば救急総合医療支援センター.....	708
総合内科.....	709
小児外科.....	709
小児腫瘍内科.....	709
歯科口腔外科.....	710
検査部.....	710
手術部.....	710
集中治療部.....	710
総合周産期母子医療センター.....	711
臨床研究教育推進部.....	712
性差医療センター.....	712
総合科学教育研究センター 人文・社会科学領域.....	713
総合科学教育研究センター 数物・情報・統計科学領域.....	713
総合科学教育研究センター 生物・化学領域.....	715
医療人育成・支援センター.....	716
看護師特定行為研修センター.....	717
医療研究推進センター.....	718
地域医療支援センター.....	718
ふくしま子ども・女性医療支援センター.....	719
放射線医学県民健康管理センター.....	719
健康増進センター.....	721
先端臨床研究センター.....	722

会津医療センター

漢方医学講座.....	723
感染症・呼吸器内科学講座.....	723
精神医学講座.....	724
小腸・大腸・肛門科学講座.....	724
外科学講座.....	725
整形外科・脊椎外科学講座.....	725

神経解剖・発生学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	発生早期頸髄に起こる運動神経細胞死は鳥類とほ乳類に共通の頸部形成に伴う現象か	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	八木沼洋行, 本間俊作, 向笠勝貴
令和5	補助・助成	無意識の視覚の解剖発生学的な成立機序	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡邊裕二
令和5	補助・助成	総主静脈を基点とした体腔の仕切り形成におけるGATA4の役割	令和5年度研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	向笠勝貴

解剖・組織学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	選択的オートファジーによる細胞制御	科学研究費助成事業／新学術領域研究 (研究領域提案型)	日本学術振興会	小松雅明, 和栗聡, 杉浦悠毅, 李賢哲
令和5	補助・助成	粘性からみた細胞内液滴の分子・形態解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	和栗聡, 田村直輝, 鈴木倫毅
令和5	補助・助成	ピースミールマイトファジーにおける膜構造変換プロセスの3次元モデル解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	荒井律子
令和5	補助・助成	エンドソーム上でEGFRの分解・リサイクルを決定する新規分子基盤	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	植村武文
令和5	補助・助成	非膜性オルガネラの多面的な形態学解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田村直輝
令和5	補助・助成	STING小胞クラスタのミクロオートファジー分解機構	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	朽津芳彦

細胞統合生理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	セシウムのケロイド治療薬としての可能性を探る。一線維芽細胞増殖抑制効果の機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小山明彦, 小林大輔, 永峰恵介
令和5	補助・助成	膜電位測定技術を用いた凍結卵・加齢卵評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三宅将生
令和5	補助・助成	気道上皮膜輸送体とiPS細胞から明らかにする喘息気道における杯細胞化生の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	吉江進
令和5	国内共同研究	御種人参を主とした医薬農連携による生薬地産地消プログラム		農研機構 東北農業研究センター 福島研究拠点	三瀧忠道, 鈴木雅雄, 鈴木明子, 佐橋佳郎, 狭間章博, 信濃卓郎, 松波寿弥, 久保堅司
令和5	学内共同研究	ヒトiPS細胞とたばこ煙を利用した杯細胞過形成機構の解明に関する研究	若手研究助成	公益財団法人喫煙科学研究財団	吉江進

システム神経科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	社会的推論に関する知識構造の定量的理解と脳内表現の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	岡本正博
令和5	補助・助成	青年期における社会的適応能力に関する神経基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	藤原寿理, 久保均
令和5	補助・助成	新規化学遺伝学技術による標的神経細胞の活性化と脳機能回復への応用	特定研究助成	武田科学振興財団	永福智志

生化学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	リン酸化で再定義するオステオポニンによる癌悪性化機構と創薬への応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	荻谷慶喜
令和5	補助・助成	マクロファージ分極におけるWnt5a/Ror2シグナルの機能とその敗血症における意義の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	全田史栄, 西田満
令和5	補助・助成	一次纖毛先端部におけるアンテナ機能制御と纖毛病発症の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	永井友朗
令和5	補助・助成	癌細胞クラスターにおける浸潤突起の形成機構とその集団浸潤における役割	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西田満
令和5	補助・助成	ゴルジ体微細小管の構築制御に基づく癌細胞の集団的浸潤機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西田満
令和5	補助・助成	Wntシグナルに基づく新たな直腸癌化学放射線免疫複合療法の試み	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	古出隆大, 西田満, 松下公大, 掛地吉弘
令和5	補助・助成	KIF1Cによる浸潤突起動態変化の制御機構	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐事武
令和5	補助・助成	癌細胞遊走におけるRif低分子量Gタンパク質の活性制御機構と機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	星京香
令和5	補助・助成	KIF1Cモータータンパク質を介した浸潤突起伸長の分子機構解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	佐事武
令和5	補助・助成	災害多発・脆弱地域における次世代のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(海外連携研究)	日本学術振興会	後藤あや, 岡部聡子, 郡山千早, 小橋友理江

免疫学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小島祥敬, 佐藤雄一, 秦淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 胡口智之, 赤井畑秀則, 星誠二, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 小林和人, 片岡政雄
令和5	補助・助成	Serpiniによる補体第二経路D因子の新規な制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	関根英治, 町田豪
令和5	補助・助成	補体因子MASP-3を活性化する血中プロテアーゼの同定	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	町田豪, 関根英治

病態制御薬理医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	脳KATPチャネル活性性による認知症病態機序の解明と治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	下村健寿
令和5	補助・助成	オキシトシンによるアルコール依存障害の減弱メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	日出間志寿

微生物学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小島祥敬, 佐藤雄一, 秦淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 胡口智之, 赤井畑秀則, 星誠二, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 小林和人, 片岡政雄
令和5	補助・助成	胎内環境下におけるサイトメガロウイルスの新たな垂直感染機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	生田和史, 石岡賢

令和5	補助・助成	生着不全の分子機序の解明；Gas6-TAMシグナルの役割	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	深見伸一
令和5	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和5	補助・助成	食餌成分による加齢関連疾患の予防効果とその抗加齢メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	宮崎希

基礎病理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	核内受容体のリン酸化によるがん悪性形質の新規促進機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	千葉英樹，杉本幸太郎，小林信
令和5	補助・助成	新規抗CLDN10モノクローナル抗体を活用した腎癌悪性形質制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小名木彰史，杉本幸太郎，星誠一，胡口智之，片岡政雄，小島祥敬
令和5	補助・助成	口腔扁平上皮癌における肝X受容体異常リン酸化の診断治療標的としての可能性	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金子哲治，杉本幸太郎
令和5	補助・助成	サーフェソーム解析による腎がんの新規診断・治療標的分子の同定	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林信
令和5	補助・助成	悪性黒色腫におけるIgSF11の機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林靖幸，杉本幸太郎
令和5	補助・助成	順遺伝学的手法を用いた，がん細胞におけるビタミンDシグナル調節因子の網羅的解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	杉本幸太郎，小林信
令和5	補助・助成	肝癌と脾癌における核内受容体LXR1異常リン酸化の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西間木淳，杉本幸太郎，小船戸康英，石亀輝英，丸橋繁

令和5	補助・助成	プロテアーゼによる密着結合の恒常性維持機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	東智仁
令和5	補助・助成	リン酸化プロテオミクスを活用した体内循環がん細胞塊の遠隔転移確立機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤友美
令和5	補助・助成	卵巣漿液性癌の革新的バイオマーカー Spondin-1が制御するがん悪性形質促進機構の解明	研究助成金	高松宮妃癌研究基金	杉本幸太郎
令和5	補助・助成	腎細胞癌オルガノイド表面タンパク質の網羅的解析による新規治療標的分子の同定	2023年度日本新薬公募研究助成	日本新薬株式会社	小林信

衛生学・予防医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	辻内琢也, 扇原淳, 桂川泰典, 小島隆矢, 金智慧, 平田修三, 多賀努, 増田和高, 岩垣穂大, 日高友郎, 明戸隆浩, 根ヶ山光一
令和5	補助・助成	乳がん関連リンパ浮腫セルフケアオンライン教材の効果：二重盲検無作為化比較試験	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	有永洋子, 各務竹康, 佐藤富美子
令和5	補助・助成	専門職連携教育を活用した地域志向性のある人材育成プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	遠藤芽依, 遠藤翔太
令和5	補助・助成	労働現場における中軽症熱中症の要因と経路のパターン解明による特異的予防策の立案	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	各務竹康, 伊藤央奈, 日高友郎, 遠藤翔太
令和5	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	末永カヅ子, 堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里

令和5	補助・助成	健康の社会的決定要因に対する医療系学生の理解・活用能力：尺度構成と関連要因の探求	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅原亜紀子，春日秀朗，小林元，石川和信
令和5	補助・助成	日米共通の基準を用いた、病院の経営危機予測モデルの開発と国際比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坪井聡
令和5	補助・助成	信頼性と妥当性を示す、幼児の身体活動量を評価する国際的な質問票の日本語版の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	峰友紗，坪井聡，大澤絵里，松田こずえ，Sam Murchie
令和5	補助・助成	福島県の吃音支援システムの構築を目指したアクションリサーチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森弥生，日高友郎
令和5	補助・助成	人とのふれあいの視点からみた健康度の解明と持続可能な超高齢社会の先進モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	伊藤央奈
令和5	補助・助成	中小規模事業場の個別性に応じた職場環境改善手法の開発：項目自己生成式尺度の活用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤翔太
令和5	補助・助成	親が子どもへの期待を適応的にあきらめるプロセス：混合研究法による国際比較研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	春日秀朗
令和5	補助・助成	20歳未満の喫煙、飲酒等の実態把握及び環境要因の解明のための研究	厚生労働省科学研究補助金/循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	厚生労働省	金城文，尾崎米厚，兼板佳孝，神田秀幸，樋口進，井谷修，地家真紀，大塚雄一郎，吉本尚，真菜里仁，美濃部るり子，桑原祐樹，春日秀朗，伊藤央奈
令和5	補助・助成	食と健康に関する地域連携	鏡石町補助金	福島県鏡石町	岡部聡子，伊藤央奈，黒澤廣子，亀田明美，星千歳，善方美千子，柳沼和子，根本絢香，本間杏菜，吉田朱里

公衆衛生学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	震災後の避難地域の介護予防対策推進のための介護実態プロファイルの開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	伊東尚美, 坪倉正治, 佐藤美佳, 森山信彰
令和5	補助・助成	父親の育児参加を促進する家庭・職場要因の解明：縦断調査による因果関係の検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	岩佐一, 吉田祐子, 石井佳世子
令和5	補助・助成	東日本大震災被災地における肥満者増加の要因－中食利用行動を中心とした検証－	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小野道子, 石川みどり, 安村誠司
令和5	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	末永カヅ子, 堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
令和5	補助・助成	高齢者における抑うつと炎症の関連に及ぼす運動、身体機能の影響	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	吉田祐子, 岩佐一
令和5	補助・助成	インフオデミック後の福島の放射線による健康影響不安と誤解についての関連要因を探索	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中山千尋
令和5	補助・助成	避難行動要支援者の個別避難計画作成に関する理学療法士の職能向上に向けた調査研究	2022年度 理学療法にかかわる研究助成	日本理学療法学会連合	森山信彰
令和5	国内共同研究	福島原発事故による高齢者への健康影響評価－長崎原発被爆の高齢者との比較－	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点トリアーニンググループロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司
令和5	国内共同研究	放射線災害に関するメディア情報による福島県民の健康影響不安の実態と放射線情報リテラシーの向上	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点トリアーニンググループロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司
令和5	国内共同研究	放射線被爆と背景因子が腎疾患発症に与える影響についての検討	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	今田恒夫, 安村誠司

令和5	国内共同研究	福島原発作業員に対するリスクコミュニケーションを含めた教育講習会の効果	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	岡崎龍史，安村誠司
令和5	国内共同研究	放射線災害後の健康被害測定指標の提言に関する研究	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	越智小枝，安村誠司
令和5	国内共同研究	避難における糖尿病発症リスクに精神的苦痛が与える影響の解明及び個別化されたリスクプロファイリング：10年追跡研究	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	川崎良，安村誠司
令和5	国内共同研究	高齢者の東日本大震災後の避難の有無による死亡場所の違い	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	祖父江友孝，安村誠司
令和5	国内共同研究	福島第一原子力発電所事故後の避難区域およびその周辺地域における公衆衛生学的活動についての事例研究	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	西川佳孝，安村誠司
令和5	出資金による受託研究	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	子どもの健康と環境に関する全国調査 福島ユニットセンター	環境省	橋本浩一，安村誠司
令和5	その他	福島市民の健康と生活習慣に関する状況、および東日本大震災・新型コロナウイルス感染症の流行による市民の健康への影響に関する調査	福島市民の健康と生活習慣調査	福島市	安村誠司，岩佐一，森山信彰，中山千尋，山田秀彦

法医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ヒト硬膜の病理組織学的解析による乳幼児急性硬膜下血腫（中村I型）の発症機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	原田一樹

放射線生命科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	標的ゲノム編集／系統的ノックダウンによる染色体転座頻度を増加させる因子の探索	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	津山尚宏, 阿部悠, 工藤健一, 坂井晃
令和5	補助・助成	デザインされた誘発Dicによる微小核／クロモトリプシス形成過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	津山尚宏, 阿部悠, 柳亜希, 坂井晃
令和5	国内共同研究	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の発生機序の解明	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	坂井晃, 神谷研二
令和5	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	坂井晃, 松浦伸也, 石川徹夫, 大平哲也, 細谷光亮
令和5	国内共同研究	染色体異常誘発過程への低線量放射線影響の解析	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	津山尚宏, 林田直美
令和5	国内共同研究	人工多能性幹細胞と光計測技術を用いた放射線被ばく影響の個人差評価プラットフォームの確立	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	津山尚宏, 渡邊朋信

疫学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	動脈硬化症の極早期診断を目指した血管壁の粘弾性特性の計測法に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	荒川元孝, 金井浩, 森翔平, 高野真澄
令和5	補助・助成	我が国の心臓突然死の長期推移と身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	大平哲也, 木山昌彦, 山岸良匡, 今野弘規, 絹田皆子
令和5	補助・助成	ポジェティブ心理健康資源と認知症発症の関連とメカニズム解明に関する観察・介入研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	白井こころ, 権藤恭之, 磯博康, 大平哲也, 武田朱公

令和5	補助・助成	東日本大震災前後の認知症とリスク要因の長期的動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里，大平哲也，白井こころ
令和5	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里，中野裕紀，大平哲也
令和5	補助・助成	東日本大震災被災地における肥満者増加の要因－中食利用行動を中心とした検証－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野道子，石川みどり，安村誠司
令和5	補助・助成	コロナ禍の心身の健康維持に影響する腸内細菌叢及び関連要因についての疫学研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	大平哲也，木山昌彦，今野弘規
令和5	補助・助成	高齢者の笑顔を取り戻す：機械学習と自然実験を駆使した歯科からの挑戦	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	竹内研時，近藤克則，大平哲也
令和5	補助・助成	薬物依存症に対する専門医療機関に繋がるまでのプロセス変化と新規介入モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	上田由桂
令和5	補助・助成	震災後避難住民における栄養状況の経年的な推移と糖尿病発症に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	章ぶん
令和5	補助・助成	笑いがオラールフレイル対策・予防に及ぼす効果についての前向きコホート・介入研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	舟久保徳美
令和5	補助・助成	笑いプログラムがフレイル対策・予防に及ぼす効果についての前向きコホート・介入研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	舟久保徳美
令和5	補助・助成	災害が心身の健康に及ぼす長期的な影響と発症予防に寄与する要因についての疫学研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	吉田知克

令和5	補助・助成	Social Determinants of Dementia, Healthy Aging and Well-being: Examining positive Health Assets and Resilience of the Society	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	白井こころ, 磯博康, 大平哲也, 斎藤民, 辻大士, 劉克洋, 坂庭嶺人
令和5	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	松浦伸也, 坂井晃, 石川徹夫, 大平哲也, 細矢光亮, 鈴木真一, 佐藤真紀, 鈴木聡
令和5	国内共同研究	東日本大震災後4年間の腹部肥満の推移と生活習慣との関連	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	上村真由, 大平哲也
令和5	国内共同研究	放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	江口依里, 大平哲也
令和5	国内共同研究	放射線災害が福島県小児の肥満に及ぼす影響についての要因分析	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	菖蒲川由郷, 大平哲也
令和5	国内共同研究	東日本大震災後の避難及び帰還住民の疾患発症・死亡とその分布状況に関する研究	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	孫智超, 大平哲也
令和5	国内共同研究	小学児童における睡眠状態とメンタルヘルスとの関連	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	谷川武, 大平哲也
令和5	国内共同研究	健康行動に影響する身体・心理・社会的健康リスク要因変化の評価研究	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	田淵貴大, 大平哲也
令和5	国内共同研究	福島県内の避難区域住民におけるトラウマ反応及び精神的不調と循環器疾患との関連	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	手塚一秀, 大平哲也
令和5	国内共同研究	主観的健康感の長期的な推移：県民健康調査	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	永井雅人, 大平哲也
令和5	国内共同研究	震災前後における生活・経済状況の変化と循環器疾患との関連：福島県民健康調査	放射線災害・医学科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医学科学研究拠点	野田愛, 大平哲也

令和5	国内共同研究	震災後の喫煙状況の変化とそれに影響を与える要因の検討	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	放射線災害・医科学研究拠点	村上理紗，大平哲也
令和5	国内共同研究	出産経験と震災後のストレス耐性との関連	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	放射線災害・医科学研究拠点	安川純代，大平哲也
令和5	国内共同研究	震災後の生活習慣が健診所見とその後の変化に及ぼす影響：小児～青年期における検討	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	放射線災害・医科学研究拠点	山岸良匡，大平哲也
令和5	国内共同研究	放射線災害後の食事パターンと将来の精神的苦痛との関連：福島県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	放射線災害・医科学研究拠点	吉田純子，大平哲也

健康リスクコミュニケーション学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	総括班：デジタル・人間融合による精神の超高精細ケア	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	伊藤正哉，竹林由武，榎原潤，西村拓一，中島俊
令和5	補助・助成	自然言語に対する人工知能技術適用による心理療法支援システムの開発	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	竹林由武，中島俊，重藤優太郎，青木俊太郎，横谷謙次，二瓶正登
令和5	補助・助成	感情障害への診断を越えた認知行動療法の社会実装加速と治療機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	伊藤正哉，宮前光宏，横谷謙次，藤里紘子，西村拓一，加藤典子，島津太一，竹林由武
令和5	補助・助成	公的統計マイクロデータを活用したEBPM支援研究プラットフォームの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	椿広計，南和宏，山下智志，美添泰人，星野崇宏，白川清美，永瀬伸子，千野雅人，若野綾子，竹林由武，岡本基，山内慶太，山本渉，渡辺美智子，高部勲，岡檀，新井崇弘，稲垣佑典
令和5	補助・助成	遷延性悲嘆症の心理療法の有効性の検証および病態解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中島聡美，竹林由武，伊藤正哉，小西聖子，吉池卓也，利重裕子

令和5	補助・助成	不眠症に対する遠隔心理療法の有効性と社会実装、AIを用いた作用機序及び病態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	中島俊，竹林由武，大井瞳，伊藤正哉，宋龍平，重松潤，坂田昌嗣，元村祐貴，中村菜々子，實吉綾子，村中誠司
令和5	補助・助成	膀胱における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和5	補助・助成	心的外傷後ストレス障害の客観的評価指標に関する尺度特性の検証と臨床応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中山千秋，竹林由武，伊藤正哉，金子響介
令和5	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	野田真永，加藤真吾，熊崎祐，中野隆史，鈴木義行，平井隆太，猪狩光紳，田巻倫明
令和5	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究 (萌芽)	日本学術振興会	中島俊，藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和5	補助・助成	小規模な臨床試験に適用可能な患者報告式アウトカムの反応シフトの検出手法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	竹林由武
令和5	補助・助成	ヘルスケアで用いるうつ、不安と月経前症候群のPRO指標のエビデンスの整理と開発	予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	沼田法子，清水栄司，村松公美子，甲賀かをり，吉村健佑，井上猛，樋口毅，小澤義人，仕子優樹，佐々木司，江川美保，竹林由武，佐藤秀樹

循環器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	心不全におけるクロロニン性造血の包括的理解とエクソソームを介した治療応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	竹石恭知
令和5	補助・助成	心血管疾患におけるクロロニン性造血加速因子としてのDNA損傷の役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	石田隆史

令和5	補助・助成	好中球細胞外トラップを介した心臓ロバストネス制御と心不全の新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	市村祥平
令和5	補助・助成	がん-心不全増悪連関をもたらし液性因子の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	及川雅啓
令和5	補助・助成	肺高血圧の進展メカニズムの多様性に関する検討-クローン性造血 (CHIP) の関与-	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中里和彦
令和5	補助・助成	心不全と多臓器連関(心-腎-肝-腸-脳-骨格筋連関)における腸内細菌叢の関与	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	義久精臣
令和5	補助・助成	心房細動における"epicardial connection"の病態的意義の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金城貴士
令和5	補助・助成	肺動脈性肺高血圧症の内皮間葉分化転換におけるDNA損傷応答とTGF- β の役割	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	杉本浩一
令和5	補助・助成	心不全によるがん進行・転移促進の機序の解明:交感神経による免疫寛容制御の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	谷哲矢
令和5	補助・助成	N-ミリスチル化を介したオートファジー制御機構の解明と新しい心不全治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	富田湧介
令和5	補助・助成	ヒストンセロトニン化による新規エピジェネテリック制御を介した心不全の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三阪智史
令和5	補助・助成	リンパ系に着目した肺高血圧症の新たな分子機構の解明と治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	横川哲朗
令和5	補助・助成	心不全におけるFKBP5のエピジェネテックスを基軸とした炎症制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	和田健斗
令和5	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	君島勇輔

令和5	補助・助成	Shear StressとEFNA1に着目した動脈硬化進展における新たなメカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	赤間 浄
令和5	補助・助成	マクロファージの分化増殖機構に着目した肺高血圧症治療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤 彰彦
令和5	補助・助成	大動脈弁狭窄症とclonal hematopoiesis of indeterminate potentialの関連性の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤 雄紀
令和5	補助・助成	骨代謝による心制御システムの可能性 低カルボキシル化オステオカルシンと心不全予後	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部 諭史
令和5	補助・助成	大動脈弁狭窄症の進行におけるCalcioprotein particleの役割	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	安齋 文弥
令和5	補助・助成	心不全血行動態における腹部エコーと動脈硬化指標の重要性の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤 悠
令和5	補助・助成	Pentraxin 3を介した大動脈瘤形成メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	清水 竹史
令和5	補助・助成	T細胞Hexokinaseのミトコンドリアからの脱結合は圧負荷心不全を抑制するか	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三浦 俊輔
令和5	補助・助成	DNA損傷からみた小児がん治療関連機能障害発症のメカニズム探索と予知の試み	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	八重樫 大輝
令和5	補助・助成	PET/MRIを用いた心筋血流予備能と左室内血流解析による新規予後予測要因の開発	公立大学法人福島県立医科大学 令和5年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	遠藤 圭一郎
令和5	補助・助成	CKDを有するHFrEF患者におけるカロリー制限による抗加齢効果	公立大学法人福島県立医科大学 令和5年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	大原 妃美佳
令和5	補助・助成	クロールン性造血から着想する心臓骨髄連関を介したHFrEFの分子病態機構	公立大学法人福島県立医科大学 令和5年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	小河 原峻

令和5	補助・助成	肺動脈性肺高血圧症に対するアンチセンス核酸医薬の開発	公立大学法人福島県立医科大学 学 令和5年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学 島県立医科大学	西浦司人
令和5	補助・助成	心房細動アブレーション術後における左房硬化症候群の機序解明とその予防法の創出	公立大学法人福島県立医科大学 学 令和5年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	野寺穰
令和5	補助・助成	クロール性造血における静脈血栓症形成の分子基盤と治療応用	令和5年度戦略的学内研究推進事業（一般分野）	公立大学法人福島県立医科大学	三阪智史
令和5	補助・助成	特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業	厚生労働省	竹石恭知
令和5	補助・助成	緊急被災者に対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療科学研究拠点 プロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療科学研究拠点	石田隆史, 竹石恭知
令和5	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療科学研究拠点 プロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療科学研究拠点	竹石恭知, 石田隆史
令和5	補助・助成	肺動脈周囲マクロファージの集積機構に着目した肺高血圧症の新規治療薬の開発	2023年度日本循環器学会基礎研究助成	一般社団法人日本循環器学会	横川哲朗
令和5	補助・助成	心臓と臓器連関をつなぐ細胞外小胞の分子基盤と治療応用	2023年度 研究助成	公益財団法人 武田科学振興財団	三阪智史
令和5	補助・助成	肺動脈周囲マクロファージの集積機構に着目した肺高血圧症の新規治療薬の開発	2023年度研究助成金	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団	横川哲朗
令和5	補助・助成	細胞外マトリックス蛋白による肺高血圧症発症メカニズムの解明	第49回日本心臓財団研究奨励	公益財団法人 日本心臓財団	横川哲朗
令和5	補助・助成	エクソソームを介した臓器連関の包括的理解に基づく心不全の治療戦略	2022年度研究助成金	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団	三阪智史

令和5	補助・助成	マクロファージの炎症制御機構に着目した肺高血圧症の新規メカニズムの解明	循環医学分野 一般研究助成	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	横川哲朗
-----	-------	-------------------------------------	---------------	----------------------	------

血液内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	薬物送達システムと α 線放出核種を組み合わせた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	趙松吉，池添隆之，杉山暁，鷺山幸信，西嶋剣一，高橋和弘，右近直之，織内昇，山下篤，崔正国
令和5	補助・助成	造血細胞移植後VOD/SOSに対する新たな治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大河原浩，深津真彦，池添隆之
令和5	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とパイオオマーカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英，大河原浩，深津真彦，池添隆之
令和5	補助・助成	ヒト胚細胞分化に必須な遺伝子の網羅的同定 ES/iPS細胞より胚嚢の分化誘導法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川村文彦
令和5	補助・助成	白血病における細胞内代謝制御機構の構造的基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小山大輔
令和5	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之
令和5	補助・助成	Gas6/Merシグナルを標的とした新型コロナウイルスによる血栓症対策	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古川未希，池添隆之
令和4	補助・助成	原発性眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤による医師主導による第II相二重盲検比較試験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	田岡和城，池添隆之
令和4	補助・助成	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2 医師主導治験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	中田潤，池添隆之

消化器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	間葉系幹細胞由来エクソソームとシシグレルセル解析による自己免疫性肝炎の新規治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正
令和5	補助・助成	口腔・腸内細菌と濾胞性ヘルペスT細胞を標的とした自己免疫性肝炎の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	阿部和道, 高橋敦史, 林学, 大平弘正
令和5	補助・助成	自己免疫性肝炎における新規自己抗体の網羅的解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	大平弘正
令和5	補助・助成	腸管と脾臓のクロストーク～全身性疾患としての炎症性腸疾患～	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	川島一公, 松岡克善, 大平弘正, 鬼澤道夫
令和5	補助・助成	補体受容体C3ARが膝癌の腫瘍免疫に及ぼす影響の検証と治療応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木玲
令和5	補助・助成	非アルコール性脂肪性肝疾患における「うつ」と運動療法の新展開	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高橋敦史
令和5	補助・助成	Macrophage inhibitory cytokine-1から展開する胆道癌診療のブレークスルー	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本充
令和5	補助・助成	胃癌と補体 ～抗補体薬は胃癌治療の次の一手になり得るか～	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高住美香
令和5	補助・助成	非アルコール性脂肪性肝疾患の腸肝軸へ対する補体活性化因子MASP-3の機能解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林学

リウマチ膠原病内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	包括的疾患インタラクチームとモデルマウスによる自己炎症疾患の多様性と周期性の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	増本純也, 吉浦孝一郎, 小迫英尊, 竹田浩之, 山中聡士, 右田清志, 浦野健, 川上純, 古賀智裕, 岸田大
令和5	補助・助成	自己炎症のメカニズムに立脚した成人スチル病の分子病態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	浅野智之, 右田清志, 古賀智裕
令和5	補助・助成	FLI-1によるCCL20-CCR6 axisを介したSLEの病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	松岡直紀, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 右田清志
令和5	補助・助成	バイリンインフラマソーム活性化メカニズムの解明とその制御法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	右田清志, 浦野健, 古賀智裕

腎臓高血圧内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ポドサイト障害におけるアンギリンの役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	東淳子
令和5	補助・助成	CKD患者のサルコペニアの病態機序解明およびHIF-PH阻害薬の効果に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡邊公雄, 佐藤恵美子, 中山昌明

糖尿病内分泌代謝内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	新規糖尿病サブグループの病態解明：遺伝基盤を背景にした食行動・身体活動性変容の機序	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	島袋充生

令和5	補助・助成	糖尿病クラスター分類における腎周囲脂肪の意義：糖尿病性腎臓病の新たなリスク要因	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田辺隼人
-----	-------	---	----------------	---------	------

脳神経内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	スモンに関する調査研究	厚生労働行政推進調査事業費 難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	久留聡, 松田希

呼吸器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	咳の自動監視・計測・サービシステム構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	MARKOV K, 松井知子, 齋藤純平
令和5	補助・助成	COPD治療薬の応用を目指したSCGB3A2ペプチド薬の創製と有効性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	黒谷玲子, 阿部宏之, 今野博行, 柴田陽光
令和5	補助・助成	呼吸硫化水素を用いた気管支喘息の難治化および増悪予測の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	齋藤純平
令和5	補助・助成	喘息におけるneurturinの臨床的役割	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤俊, 鈴木康仁
令和5	補助・助成	全果的データベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	柴田陽光, 大前憲史, 伊関憲, 栗田宜明
令和5	補助・助成	薬剤性及び放射線肺障害の新規バイオマーカー探索による肺がん個別化治療の確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	谷野功典, 海老名雅仁, 二階堂雄文, 柴田陽光
令和5	補助・助成	Type2/Non-type2の両指標による喘息, COPD, AC0の増悪予測検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木康仁
令和5	補助・助成	胸部X線動態撮影による特発性間質性肺炎患者の肺局所換気血流の評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	二階堂雄文

令和5	補助・助成	動態X線による呼吸器疾患合併肺癌患者の病態評価と術後ADL/QOL予測の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	峯村浩之
令和5	補助・助成	統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺疾患の個別化医療基盤の構築	ゲノム・データ基盤プロジェクト／難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	桑名正隆，谷野功典
令和5	国際共同研究	肺サルコイドーシス患者を対象としたefzofitmod静脈内投与の有効性及び安全性を評価する第III相無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験	第III相	杏林製薬	柴田陽光
令和5	国際共同研究	進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象にBI1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験 (1305-0023)	第III相	ベーリンガーインゲルハイム	谷野功典
令和5	国際共同研究	特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象にBI1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験 (1305-0014)	第III相	ベーリンガーインゲルハイム	谷野功典
令和5	国際共同研究	206713試験又は213744試験から移行した好酸球性重症喘息を有する成人及び青年期患者を対象としたGSK3511294 (Depemokimab) の長期安全性を評価する多施設共同、単群、非盲検継続投与試験	第III相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平，鈴木康仁，力丸真美
令和5	国際共同研究	コントロール不良な成人および青年重症好酸球性喘息患者を対象としたGSK3511294の有効性及び安全性を評価する52週多施設共同無作為化二重盲検並行群間プラセボ対照第III相試験	第III相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平，鈴木康仁，力丸真美

令和5	国際共同研究	成人および青年重症好酸球優位型喘息患者を対象としたMepolizumabまたはBenralizumab投与比較によるGSK3511294の有効性及び安全性を評価する52週多施設共同無作為化二重盲検並行群間非劣勢評価試験	第Ⅲ相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平, 鈴木康仁, 力丸真美
令和5	国内共同研究	ARCT-154 (自己増幅型RNA COVID-19ワクチン) を成人被験者に追加免疫した時の安全性及び免疫原性を評価する第Ⅲ相無作為化多施設共同二重盲検実薬対照比較試験	ARCT-154試験	MEIJI	小早川雅男, 柴田陽光, 斎藤純平, 金沢寛也, 谷野功典, 佐藤佑樹, 鈴木康仁, 峯村浩之, 二階堂雄文, 松村勇輝, 鈴木弘行, 岡部直行, 武藤哲史, 渡部晶之
令和5	国内共同研究	統合的環境介入によるアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の重症化予防効果の検証	医師主導多施設共同研究	東海大学呼吸器内科, 他	斎藤純平, 鈴木康仁, 力丸真美
令和5	国内共同研究	喘息患者における中用量吸入ステロイド/長時間作用性 β 2刺激薬(ICS/LABA)治療抵抗性の咳嗽に対する、中用量Indacaterol (LABA)/glyco-pyrronium (長時間作用性抗コリン薬)/Mometasone (ICS)と高用量ICS/LABAの有効性の多施設共同無作為化非盲検並行群間比較試験	医師主導多施設共同研究	名古屋市立大学呼吸器免疫アレルギー内科, 他	斎藤純平, 鈴木康仁, 力丸真美
令和5	国内共同研究	血中抗GM-CSF抗体陰性の続発性肺胞蛋白症に関連する遺伝子の解析		杏林大学, 他	石井晴之, 渡邊菜摘, 河俣貴也, 東川隆一, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光
令和5	国内共同研究	関節リウマチに伴う気管支拡張症の全国調査研究	全国調査研究	近畿大学	谷野功典
令和5	国内共同研究	サルコイドーシスを背景とした新型コロナウイルス感染症の臨床像の調査	多施設共同研究	自治医科大学	谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 渡邊菜摘
令和5	国内共同研究	iPPFE(特発性胸膜肺実質線維増殖性症)のelastin代謝に関連した病態解明とその制御		東京医科歯科大学, 他	宮崎泰成, 渡邊菜摘, 河俣貴也, 東川隆一, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 谷野功典

令和5	国内共同研究	過敏性肺炎の全国疫学調査	全国疫学調査	東京医科歯科大学	谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，渡邊菜摘
令和5	国内共同研究	加湿器肺に関する全国実態調査		東邦大学，他	河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和5	国内共同研究	多分野合議による問質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究		名古屋大学	橋本直純，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光
令和5	国内共同研究	全肺洗浄術における体位の違いによる安全性の検討		新潟大学，他	中田光，河俣貴也，谷野功典
令和5	国内共同研究	自己免疫性肺胞蛋白症に対するSargramostim吸入法の特定臨床研究(PAGE II試験)		新潟大学，他	中田光，渡邊菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和5	国内共同研究	シロリムスロ内炎の発症機序と経過に関する観察研究	多施設共同研究	新潟大学	谷野功典
令和5	国内共同研究	間質性肺疾患および肺がん患者の苦痛緩和の実態およびQuality of Dying and Death (QODD) に関する研究：多施設横断研究		浜松医科大学，他	須田隆文，渡邊菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和5	国内共同研究	肺癌患者における抗悪性腫瘍薬による薬剤性肺障害の発症予測因子の同定を目的としたレジストリ研究	多施設共同研究	広島大学	谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，渡邊菜摘
令和5	国内共同研究	家族性間質性肺炎の臨床画像病理学的検討（多施設共同研究）	多施設共同研究	坪井病院	谷野功典
令和5	国内共同研究	多剤耐性結核症の登録に伴う研究	多施設共同研究	結核予防会結核研究所	柴田陽光，谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一
令和5	学内共同研究	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の臨床的特徴の検討	多施設共同研究		柴田陽光，谷野功典，峯村浩之

令和5	企業からの受託研究	NOVELTY 研究に登録された日本人患者を対象とした、閉塞性肺疾患（喘息及び／又はCOPD）の患者特性とCT 所見の関連を評価する観察研究	医師主導多施設共同研究	アストラゼネカ	斎藤純平，鈴木康仁，力丸真美
-----	-----------	--	-------------	---------	----------------

消化管外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	河野浩二，松本拓朗，中嶋正太郎，三村耕作
令和5	補助・助成	STING経路を標的としたHER2陽性胃癌の新規治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金田晃尚，中嶋正太郎
令和5	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和5	補助・助成	EBV関連胃癌におけるエピゲノム異常によるARID1A遺伝子の発現制御機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	齋藤元伸
令和5	補助・助成	cMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	坂本渉，岡山洋和
令和5	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中嶋正太郎，河野浩二，三村耕作
令和5	補助・助成	大腸癌におけるVEGF receptor 2を標的とした制御性T細胞の制御	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	花山寛之，河野浩二，三村耕作
令和5	補助・助成	消化管癌におけるNrf2に伴うM2腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	松本拓朗，河野浩二，伊藤美郷，三村耕作
令和5	補助・助成	進行・再発胃癌における放射線治療と抗PD-1療法を用いた複合がん免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三村耕作，河野浩二，中嶋正太郎

令和5	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	門馬智之，河野浩二，中嶋正太郎
令和5	補助・助成	シグナル解析を応用した大腸癌の糖鎖研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	山田玲央，岡山洋和
令和5	補助・助成	T-DXdがHER2陽性胃癌における抗腫瘍免疫応答に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	芦澤舞
令和5	補助・助成	バイオマーカーによるStage II大腸癌診療の個別化	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	氏家大輔
令和5	補助・助成	結腸・直腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの制御方法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	菊池智宏
令和5	補助・助成	大腸癌の腫瘍免疫抑制細胞群プロファイルによる免疫療法の応用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤英成
令和5	補助・助成	微量手術検体の迅速検査による早期非小細胞肺癌がん再発リスク診断法の開発	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	土屋直人，後藤明輝，齋藤元伸
令和5	その他	日本-シンガポール国際共同セミナー：胃癌の複合がん免疫療法の発展に向けて	二国間交流事業	日本学術振興会	河野浩二，Jimmy So，三村耕作，他23名

肝胆膵・移植外科科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	PICS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅野久美，加藤郁子，見城明，箱崎貴大，片桐和子，横塚美恵子
令和5	補助・助成	拡張現実 (AR) 技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和5	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁

令和5	補助・助成	医療の質に及ぼすがん診療ガイドラインの実施状況と診療環境の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	後藤満一，丸橋繁，宮田裕章
令和5	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤直哉，見城明
令和5	補助・助成	肺癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和5	補助・助成	肺癌と膀胱における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西間木淳，杉本幸太郎，小船戸康英，石亀輝英，丸橋繁
令和5	補助・助成	肝組織由来スフエロイドを用いた肝オルガノイドの開発とその微小環境分子機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丸橋繁，石亀輝英，清水裕史，小船戸康英，佐藤直哉
令和5	補助・助成	肝組織由来スフエロイド (LTOSs) を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丸橋繁，武藤亮，鈴木野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉
令和5	補助・助成	癌と好中球～肝胆膵領域胆癌患者好中球の腫瘍進展機序の解明～	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	渡邊淳一郎
令和5	補助・助成	行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究	厚生労働科学研究費補助金 移植医療基盤整備研究事業	厚生労働省	瓜生原葉子，渥美生弘，江川裕人，島田光生，丸橋繁
令和5	補助・助成	看護職及び特定行為研修者による医行為の実施状況の把握・評価ため調査研究	厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業	厚生労働省	永井良三，村上礼子，川上勝，前原正明，見城明，飯室聡，金范敏，木澤晃代
令和5	補助・助成	組織工学技術を応用した間葉系幹細胞-肝細胞の複合再生肝組織の開発	令和5年度大学発イノベーション・ベンチャー創出事業 試作開発等支援(研究委託型)	アカデミア・コンソーシアムふくしま	佐藤直哉
令和5	学内共同研究	高感度メチル化解析によるNASH由来肝癌の超早期スクリーニング法の開発	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	石亀輝英

令和5	学内共同研究	肺癌におけるNesfatin-1/Nucleobindin 2の機能解析と創薬に向けた基礎研究	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大 学	小船戸康英
令和5	学内共同研究	胆管癌におけるmicroRNAの機能解析と新規治療法の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大 学	月田茂之

呼吸器外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	PD-1発現細胞運命系諸腫瘍モデル解析に基づく新規免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	今井一博，海老原敬，南谷佳弘，鈴木弘行
令和5	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	長谷川剛生，井上卓哉，鈴木弘行，塩豊，武藤哲史
令和5	補助・助成	MTAP遺伝子欠失をもつ大腸癌の癌微小環境における免疫細胞の活性化機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	濱田和幸，角田卓也，吉村清，和田聡
令和5	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	樋口光徳，鈴木弘行
令和5	補助・助成	コンピュータースキストを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	星野実加，鈴木弘行，塩豊
令和5	補助・助成	肺癌治療におけるferroptosisの意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	尾崎有紀
令和5	補助・助成	非小細胞肺癌のHER3を標的とした211Atによる免疫放射線療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高木玄教
令和5	補助・助成	三次リンパ様構造を治療標的とした新規がん免疫療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	福原光朗

令和5	補助・助成	患者由来腫瘍組織移植モデルと腫瘍浸潤リンパ球を用いたテラーメイトがん免疫療法	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	松村勇輝
令和5	補助・助成	がん免疫療法の効果を高める老化細胞除去療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤哲史
令和5	補助・助成	肺癌における免疫モニタリング法の確立と3次リンパ様構造を標的とした免疫療法の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	鈴木弘行
令和5	補助・助成	肺癌における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	峯勇人
令和5	国内共同研究	肺癌病態におけるIRAK-Mの役割の解明		ファイメクス株式会社	鈴木弘行
令和5	国内共同研究	ケアミックス型地域医療分野における呼吸器系総合医療化モデルの研究		済生会福島総合病院	鈴木弘行，尾崎有紀
令和5	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺癌患者に対するアフアチニブの治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+ CD62L ^{low} エフェクターメモリーT細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行，武藤哲史，他
令和5	企業からの受託研究	切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究（J-CURE）		イーピーエス株式会社	鈴木弘行
令和5	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌（NSCLC）または進展型小細胞肺癌（ED-SCLC）患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究（J-TAIL-2）		イーピーエス株式会社	松村勇輝

令和5	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(NSCLC)または進展型小細胞肺癌(ED-SCLC)患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究(J-TAIL-2)におけるバイオマーカー探索研究		イーピーエス株式会社	松村勇輝
令和5	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究(J-TAIL)におけるバイオマーカー探索研究		メビックス株式会社	岡部直行
令和5	企業からの受託研究	未治療進行または再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ＋イピリムマブ±化学療法併用療法の日本における治療実態および有効性と安全性に関する観察研究		メビックス株式会社	渡部晶之
令和5	企業からの受託研究	高齢者完全切除Ⅱ/Ⅲ期非小細胞肺癌に対するAtezolizumab術後補助療法の臨床第Ⅱ相試験 (LOGIC2301)		九州臨床研究支援センター	武藤哲史
令和5	企業からの受託研究	未治療進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するABCP (Atezolizumab+Bevacizumab+Carboplatin+Paclitaxel)療法の日本人における有効性、忍容性の検討及び Microbiotaによるバイオマーカーの探索		昭和大学	鈴木弘行
令和5	その他	非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法における、TCRレパトアの予後予測マーカーとしての有用性を検討する多施設共同研究		中外製薬株式会社	鈴木弘行, 武藤哲史, 大杉純, 山浦匠

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	様々な大規模データを用いた高齢者心臓手術の現状とリスクの可視化	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	齋木佳克, 本村昇, 高本真一, 宮田裕章, 横山斉, 山本博之

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	TGFβが誘導する大腸癌微小環境を標的とした併用療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡山洋和
令和5	補助・助成	拡張現実 (AR) 技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆, 佐瀬善一郎, 斎藤拓朗, 丸橋繁, 見城明
令和5	補助・助成	dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブタイプシヨンの同定と個別免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本渉, 岡山洋和
令和5	補助・助成	シングルセル解析を応用した大腸癌の糖鎖研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山田玲央, 岡山洋和

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ、小島隆生
令和5	補助・助成	手指動作における時空間ダイナミクスの特徴抽出と臨床応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林俊輔、津田一郎、藤井正純、寺尾安生、行木孝夫、慎重弼
令和5	補助・助成	同時収集体PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩、小島隆生、久保均、高橋和弘、石井士朗

令和5	補助・助成	フォトグラメトリーを用いた4D手術記録システムの開発と教育・実臨床への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩味健一郎，藤井正純，渡邊督
令和5	補助・助成	糖蛋白を標的とした神経線維腫症2型に対する新規治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤井正純，北爪しのぶ
令和5	補助・助成	脳腫瘍の神経伝導と硬さ因子の解明：機能温存と安全性の高い手術法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	岩桶兼尚
令和5	補助・助成	脳脊髄液減少症の疫学研究及び客観的診断法に資する研究	厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業	厚生労働省	荒木信夫，橋本康弘，他
令和5	補助・助成	血清を用いた髄液漏出の診断法の開発	交通事故医療研究助成	JA共済	橋本康弘
令和5	補助・助成	交通事故後の髄液漏出による遷延性頭痛の迅速診断法の開発	交通事故医療 一般研究助成	日本損害保険協会	橋本康弘
令和5	その他	糖鎖マーカーによる脳脊髄液漏出症の診断法の開発	共同研究費	プレシジョン・システム・サイエンス株式会社	橋本康弘

整形外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	「冷え」改善に向けた「こころ」と「からだ」の繋がりの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊真弓，二階堂琢也，武田時昌，富山智香子，萬代望，王財源
令和5	補助・助成	高齢運動器疾患患者における身体活動量とPGC1- α の関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤欽志，関口美穂，紺野慎一

令和5	補助・助成	DEXA法による筋量検査を用いた、腰部脊柱管狭窄における術前評価の確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林洋，大谷晃司，紺野慎一
令和5	補助・助成	中脳辺縁ドーパミン神経系の鎮痛機序とその可塑性に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小幡英章，加藤孝一，須藤貴史，紺野慎一
令和5	補助・助成	膝関節音・バランス能力から運動器症候群を予知／予防するAI診療システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	長尾光雄，紺野慎一，荊雷
令和5	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和5	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡邊和之，大谷晃司，紺野慎一
令和5	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明 (LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一
令和5	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	紺野慎一，関口美穂
令和5	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野慎一
令和5	補助・助成	膵細胞・膵組織におけるTRPチャネルを介した慢性炎症の機序	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	亀田拓哉
令和5	補助・助成	マウス巨大骨欠損モデルを用いたMasquelet法の誘導膜での生物学的特性の解析と骨再生促進因子の検討	2022年度交通事故医療一般研究助成	日本損害保険協会	園部樹，峰原宏昌，兼子陽太，関口美穂，亀田拓哉，松下隆，紺野慎一

令和5	企業からの受託研究	再生医療等製品「ステミラック注」製造販売後承認条件評価に係る使用成績比較調査における機能検査の実施	共同研究事業費	ニプロ株式会社	紺野慎一，二階堂琢也
令和5	企業からの受託研究	ヴァイトラックビ（ラロトレクチニブ）特定使用成績調査	製造販売後調査	バイエル薬品株式会社	箱崎道之，松本嘉廣，金内洋一，小川到

形成外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	セシウムのケロイド治療薬としての可能性を探る。ー線維芽細胞増殖抑制効果の機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小山明彦，小林大輔，永峰恵介

産科婦人科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	経塚標，山口明子，安田俊，藤森敬也
令和5	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	福田冬馬，村田強志，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和5	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデル子宮内感染下における低酸素刺激の影響ー脳障害の予防に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	藤森敬也，安田俊，福田冬馬，経塚標，村田強志，平岩幹
令和5	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	村田強志，福田冬馬，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和5	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデルを用いた炎症胎仔のメタボローム、酸化度解析による病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	安田俊，村田強志，福田冬馬，平岩幹，藤森敬也
令和5	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宣

小児科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	親子関係が子どもの情動調整発達に与える影響の縦断的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	尾形優香, 橋本浩一
令和5	補助・助成	酸化ストレスに着目した溶血性尿毒症候群モデルマウスの腎障害進展機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	久米庸平, 郷勇人, 前田亮, 陶山和秀
令和5	補助・助成	メカニカルストレス装置を用いた新生児慢性肺疾患モデルにおけるmiR-21制御の意義	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	郷勇人, 橋本浩一, 前田創
令和5	補助・助成	子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフュージョン・アセンブトに至るのか	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤晶子, 橋本浩一, 本田純久
令和5	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	橋本浩一, 細矢光亮, 郷勇人, 佐藤晶論
令和5	補助・助成	3次元ウイルス関連急性脳症モデルを用いた増悪・寛解因子同定と治療法開発の基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	細矢光亮, 橋本浩一, 佐藤晶論
令和5	補助・助成	同種免疫反応を起点とした抑制性がん微小環境の克服および抗腫瘍免疫誘導機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	望月一弘, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 大原喜裕

眼科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	脈絡膜血管3次元構造解析によるパピロイド疾患の脈絡膜新生血管発生機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	石龍鉄樹, 菅野幸紀, 板垣可奈子
令和5	補助・助成	視神経炎における新規治療の探索	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	向井亮

令和5	補助・助成	ARMS2遺伝子変異による眼内補体活性化の機構解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	加藤寛
-----	-------	---------------------------	----------------	---------	-----

皮膚科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	好中球性皮膚症の分子生物学的病態解析と臨床症状との関連性に関する包括的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	山本俊幸, 石川真郷, 伊藤崇

泌尿器科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	211At-PSMA リガンドの唾液腺集積機序の解明と治療応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	織内昇, 趙松吉, 関亦明子, 右近直之, 小島祥敬
令和5	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小島祥敬, 佐藤雄一, 秦淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 胡口智之, 赤井畑秀則, 星誠二, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 小林和人, 片岡政雄
令和5	補助・助成	NOS uncouplingを標的とした新規過活動膀胱治療薬開発にむけた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	赤井畑秀則, 秦淳也, 小島祥敬, 石橋啓
令和5	補助・助成	ストレス制御シグナルに着目した精索静脈瘤患者の精子形成障害の機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小川総一郎, 小島祥敬, 赤井畑秀則, 佐藤雄一, 胡口智之, 秦淳也
令和5	補助・助成	新規抗CLDN10モノクローナル抗体を活用した腎癌悪性形質制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小名木彰史, 杉本幸太郎, 星誠二, 胡口智之, 片岡政雄, 小島祥敬
令和5	補助・助成	IL-4産生を介したM2マクロファージによる前立腺肥大症線維化機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丹治亮, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 小島祥敬
令和5	補助・助成	時空間内包型数理的解析手法によるがん細胞のクロナリティの新たな理解	科学研究費助成事業／挑戦的研究 (萌芽)	日本学術振興会	植村元秀, 井元清哉, 片山琴絵, 山口類

令和5	補助・助成	α線放出核種211Atを用いた新規PSMA放射線リガンド治療薬の開発	第17回先駆的研究(1)	公益財団法人小林がん学術振興会	星誠二
令和5	補助・助成	アスタチン標識Neopentyl-PSMAを用いた新たな前立腺癌アルファ線放出核種内用療法の開発への助成	2023年度武田科学振興財団研究助成 医学系研究助成 がん領域 (基礎)	公益財団法人武田科学振興財団	秦淳也
令和5	補助・助成	未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象としたカボザンニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究	JACUMET試験	一般社団法人九州臨床研究支援センター	小島祥敬
令和5	補助・助成	自己免疫反応関連前立腺肥大症増殖機構の解明と補体制御による新規創薬	2023年度日本新薬公募研究助成 Category D2	日本新薬株式会社	秦淳也
令和5	補助・助成	骨盤神経損傷に伴う過活動膀胱へのSVH2チロシンキナーゼを介した軸索再生機序の解明	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	今井仁美
令和5	補助・助成	膀胱内細菌叢と短鎖脂肪酸解析による膀胱癌の進展メカニズムの解明と治療	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	片岡政雄
令和5	補助・助成	新規バイオバレンク構築とゲノムワイド関連解析による膀胱尿管逆流発症関連遺伝子の探索	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	佐藤雄一
令和5	補助・助成	口腔内フローラによる補体活性化を介した前立腺肥大症免疫学的増殖機構の解明	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	滝浪 (本田) 瑠璃子
令和5	補助・助成	自己免疫反応に起因する前立腺肥大症機序解明と包括的補体制御による新規創薬	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	秦淳也
令和5	補助・助成	前立腺癌におけるグルココルチコイド受容体ダイナミクスに着目した治療標的の探索	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	星誠二
令和5	補助・助成	利尿適応性を制御する中枢神経機構に着目した過活動膀胱の個体特異的な病態解明	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	松岡香菜子

令和5	国内共同研究	ワイヤレス給電を活用した低侵襲植込み型クローズドルーパ仙骨神経刺激装置の開発	橋渡し研究プログラム	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)	小島祥敬, 杉本宗優, 相澤直樹
令和5	企業からの受託研究	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験	受託研究	ヤンセンファーマ株式会社	小島祥敬, 星誠二
令和5	企業からの受託研究	転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究	受託研究	MSD株式会社	小島祥敬
令和5	その他	福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査	放射性健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	小島祥敬

耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	東日本大震災の慢性期における高齢者の潜在的嚥下障害に対する実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	今泉光雅
令和5	補助・助成	予後不良HPV関連中咽頭癌の浸潤・転移機構を解明し新たな治療標的とする	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	室野重之
令和5	補助・助成	頭頸部癌の上皮間葉移行におけるのイオン輸送・水輸送の役割の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	垣野内景
令和5	補助・助成	神経皮膚症候群におけるアンメソトニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	令和5年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	錦織千佳子, 今泉光雅
令和5	補助・助成	神経皮膚症候群および色素性乾皮症・ポルフィリン症の学際的診療体制に基づく医療最適化と患者QOL向上のための研究	令和5年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	朝比奈昭彦, 今泉光雅

神経精神医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	心理社会的療法の臨床効果を自動評価するためのICT技術基盤環境の開発研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小杉尚子, 浦上克哉, 丹羽真一, 児玉直樹, 押山千秋, 清水幸子, 石井健太郎
令和5	補助・助成	誘導体化イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すデアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	平修, 三浦至, 前島裕子
令和5	補助・助成	バウム画のゲシュタルトの質の自動判定により「こころの見える化」を促す	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丹羽真一, 稲富宏之, 澤田欣吾, 岩田基, 永井邦芳
令和5	補助・助成	治療抵抗性統合失調症における神経炎症-グルタミン酸-ドーパミン系機能異常の同時解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三浦至
令和5	補助・助成	慢性疼痛患者のリハビリ効果を向上させる認知行動療法に基づくプログラムの効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	本谷亮, 丹羽真一, 笠原諭
令和5	補助・助成	統合失調症に対する持続長MMNの高感受性メカニズムの多施設共同研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	矢部博興, 三浦至, 志賀哲也, 星野大
令和5	補助・助成	統合失調症死後脳におけるプロリン代謝経路のメタボローム解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長岡敦子

放射線医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	伊藤浩, 小島隆生, 久保均, 高橋和弘, 石井士朗
令和5	補助・助成	エストロゲン受容体PETによる進行転移乳癌のCDK4/6阻害剤併用療法評価	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	久慈一英, 山根登茂彦, 福島賢慈, 佐伯俊昭, 大崎昭彦, 松浦一生, 上田重人

令和5	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和5	補助・助成	PETMRIを用いた心筋炎の活動性と心機能低下の予測に関する新規診断法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福島賢慈，伊藤浩，竹石恭知，石井士朗
令和5	補助・助成	アスリートを対象とした脳・骨格筋活動に関するMRS/PET代謝イメージング研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤本敏彦，久保均，田代学，伊藤浩
令和5	補助・助成	single-energy CTを用いた遅延造影定量による心アミロイドーシスの新規診断法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	関野啓史

麻酔科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	術後生活機能障害の5年間追跡調査とブレハビリテーションプログラムの有効性評価	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	川口昌彦，恵川淳二，内藤祐介，西和田忠，澤端章好，川西秀明，桐田忠昭，城戸顕，吉川雅則，位田みつる，中瀬裕之，井上聡己，田中優
令和5	補助・助成	うつが局所脳虚血後脳障害に与える影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井上聡己
令和5	補助・助成	血糖値が免疫細胞アポトーシス及びミトコンドリア膜電位に与える影響とその機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒澤伸
令和5	補助・助成	遷延性術後痛の発症リスクを術前に予測する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中野裕子
令和5	補助・助成	プロポフォールの鎮静作用に対する耐性形成へのカンナビノイド受容体の影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	細野敦之

救急医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	中毒および外傷に起因する生体侵襲の基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	伊関憲，後藤薫
令和5	補助・助成	全体的データーベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	柴田陽光，大前憲史，伊関憲，栗田宜明
令和5	補助・助成	肺炎球菌感染初期時の急性増悪を回避する自然抗体IgMへのIL13の役割/解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木剛，山本夏男，伊関憲
令和5	補助・助成	マクロファージ分極におけるWnt5a/Ror2シグナルの機能とその敗血症における意義の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	全田吏栄，西田満

病理病態診断学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	悪性黒色腫におけるIgSF11の機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林靖幸，杉本幸太郎
令和5	補助・助成	骨髓異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之

臨床検査医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	志村浩己，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一
令和5	補助・助成	カルバペネマーゼ産生菌のスクリーニングに関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	斎藤恭一

感染制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	原発避難区域を含む福島県内全域のダ ニ媒介性感染症の調査と新たな診断手 法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	金光敬二， 門馬直太， 仲村究， 壁谷昌彦

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研 究 (B)	日本学術振興会	河野浩二， 松本拓朗， 中嶋正太 郎， 三村耕作
令和5	補助・助成	心不全におけるクローン性造血の包括 的理理解とエクソソームを介した治療応 用	科学研究費助成事業／基盤研 究 (B)	日本学術振興会	竹石恭知， 三阪智史， 植田航 希， 池田和彦
令和5	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍が急性白血病に転化する 機序と予防的治療法の解明	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	植田航希， 池田和彦， 三村耕作
令和5	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症 を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	君島勇輔， 三阪智史， 池田和彦
令和5	補助・助成	DNAメチル化を基軸とした炎症ストレス とクローン性造血の相互的役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	佐藤友香， 植田航希， 池田和彦
令和5	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻 害剤併用療法患者における腫瘍免疫学 的解析	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	鈴木義行， 吉本由哉， 三村耕作
令和5	補助・助成	肺癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と 予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	田巻倫明， 鈴木義行， 三村耕 作， 丸橋繁
令和5	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS- STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	中嶋正太郎， 河野浩二， 三村耕 作
令和5	補助・助成	大腸癌におけるVEGF receptor 2を標的 とした制御性T細胞の制御	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	花山寛之， 河野浩二， 三村耕作

令和5	補助・助成	消化管癌におけるNrf2に伴うM2腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松本拓朗，河野浩二，伊藤美郷，三村耕作
令和5	補助・助成	進行・再発胃癌における放射線治療と抗PD-1療法を用いた複合がん免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作，河野浩二，中嶋正太郎
令和5	補助・助成	細胞間相互作用に着目した前白血病から急性白血病への進展予防法の開発	2021年度研究助成 がん領域若手研究者	公益財団法人MSD生命科学財団	植田航希，今泉友香，池田和彦，三村耕作
令和5	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍（MPN）の病態解明：合併症とAML進展への対策	日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池田和彦
令和5	補助・助成	細胞間相互作用に着目した、骨髄増殖性腫瘍やクローン性造血から急性白血病への進展予防法の開発	化血研若手研究奨励助成（2021年度）	一般財団法人化学及血液療法研究所	植田航希，池田和彦，三村耕作
令和5	その他	日本-シンガポール国際共同セミナー：胃癌の複合がん免疫療法の発展に向けて	二国間交流事業	日本学術振興会	河野浩二，Jimmy So，三村耕作，他23名

地域・家庭医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	専門職連携教育を活用した地域志向性のある人材育成プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	遠藤芽依，遠藤翔太

放射線健康管理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	多重文脈社会ネットワークでウィズウイルス生活行動を創るデータ共創リビングラボ	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	大澤幸生，下川原英理，坪倉正治，村田忠彦，倉橋節也，近藤早映
令和5	補助・助成	震災後の避難地域の介護予防対策推進のための介護実態プロファイルの開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊東尚美，坪倉正治，佐藤美佳，森山信彰

令和5	補助・助成	東日本大震災後甲状腺がん検診で指摘された若年甲状腺がんに関する臨床・心理的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	尾崎章彦, 松本佳子, 坪倉正治, 鈴木聡, 鈴木眞一, 古屋文彦
令和5	補助・助成	明治初期の翻訳科学書における科学リテラシー定着を目的とした翻訳手法の分析と検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	アミール偉

甲状腺内分泌学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	遺伝子発現解析を用いた術前甲状腺濾胞癌診断の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	岩館学, 松本佳子, 鈴木眞一
令和5	補助・助成	東日本大震災後甲状腺がん検診で指摘された若年甲状腺がんに関する臨床・心理的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	尾崎章彦, 松本佳子, 坪倉正治, 鈴木聡, 鈴木眞一, 古屋文彦
令和5	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	志村浩己, 松本佳子, 鈴木聡, 鈴木眞一
令和5	補助・助成	血中ctDNAを用いた小児甲状腺癌再発マーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木眞一, 岩館学
令和5	補助・助成	コロナウイルス感染症パンデミックが医療生産性変化に与える影響に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中田善規, 渡邊雄一, 尾崎章彦

災害こころの医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	Webを活用した依存症の偏見解消プログラムの開発と社会実装の普及効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	岩野卓, 後藤成人, 福田実奈, 青木俊太郎, 小林智之
令和5	補助・助成	認知症家族・離婚家族のもつあいまいな喪失における家族支援プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	黒川雅代子, 青木聡, 瀬藤乃理子

令和5	補助・助成	原発事故影響下で支援者として働く人たちの複合的なあいまいな喪失体験とレジリエンス	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	瀬藤乃理子，松井豊，前田正治，佐藤秀樹，小林智之
令和5	補助・助成	原発避難者と地域の融和に向けた介入方法：コミュニティ形成モデルの開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林智之
令和5	補助・助成	日常生活の反すうが抑うつを予測する認知行動プロセスの検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤秀樹
令和5	補助・助成	コロナ関連ストレスと全般的性不安の双方向因果モデル：縦断調査による検討	研究活動助成	メンタルヘルス岡本記念財団	佐藤秀樹
令和5	国内共同研究	原発事故被災地への移住・定住者に対するウェルビーイング形成の支援フレームワークに関する研究	放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	前田正治，田巻倫明，桃井真帆，堀越直子，村上道夫，吉成勇一朗，吉本雅世，高橋了子，小林智之，瀬藤乃理子，竹林唯，佐藤秀樹，小林明美

放射線腫瘍学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法患者における腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行，吉本由哉，三村耕作
令和5	補助・助成	ラジカル感受性ペプチドシグナルの探求	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹本靖
令和5	補助・助成	肺癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和5	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田真永，加藤真吾，能崎祐，中野隆史，鈴木義行，平井隆太，猪狩光紳，田巻倫明

腫瘍内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	乳癌におけるER分解制御因子NEDD4-1の生物学的機能と治療効果との相関性	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐治重衡
令和5	補助・助成	細胞内シグナル伝達阻害薬が内分泌療法耐性乳癌の治療感受性を回復させる機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	徳田恵美
令和5	補助・助成	癌免疫療法により生じる免疫関連有害事象の発症予測マーカーの確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	名取 穰
令和5	国内共同研究	低酸素下乳がんにおけるERBB制御と放射線応答	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	谷本圭司, 佐治重衡

放射線災害医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	岡崎龍史, 松田尚樹, 加藤尊秋, 越智小枝, 真船浩介, 江口尚, 長谷川有史, 立石清一郎, 林卓哉
令和5	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	長谷川有史, 大葉隆, 佐藤久志, 佐藤健一, 保田浩志, 井山慶大
令和5	補助・助成	東日本大震災原子力災害を踏まえた原子力災害時における病院職員確保に関する調査研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	永田高志, 長谷川有史, 安部 猛, 菊川誠

生体物質研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	反応性アストロサイト制御分子PAK2キナーゼの機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小椋正人

令和5	補助・助成	Casein kinase 2 (CK2)細胞内局在に着目した癌の予後予測マーカー	橋渡し研究プログラム／先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	本間美和子
令和5	補助・助成	細胞核内局在化分子による癌予後予測新規指標の開発	令和4年度戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	本間美和子, 橋本優子, 鈴木弘之, 武藤哲史

細胞科学研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	有性生殖における生命の始まりを制御する分子メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	井上直和
令和5	補助・助成	プロテインホスファターゼPP2C ϵ が制御する小胞体ダイナミクスの機構解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	荒井育祐

生体機能研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	先端モデル動物支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／学術変革領域研究 (学術研究支援基盤形成)	日本学術振興会	武川睦寛, 井上純一郎, 中村卓郎, 高田昌彦, 清宮啓之, 八尾良司, 山崎聡, 荒木喜美, 阿部学, 山田泰広, 伊川正人, 高橋智, 真下知土, 小林和人, 小林憲太, 井上謙一, 豊國伸哉, 二口充, 神田浩明, 上野正樹, 宮崎龍彦, 高松学, 宮川剛, 高雄啓三, 池田和隆, 井手聡一郎, 新田淳美, 尾藤晴彦, 虫明元, 小山内実, 旦慎吾, 馬島哲夫, 田代悦, 堂前直, 松本健, 川田学, 田原栄俊, 掛谷秀昭, 澤崎達也, 松浦正明
令和5	補助・助成	環境に応答した行動変容を司る遺伝子・細胞機能ダイナミクス	科学研究費助成事業／学術変革領域研究 (A)	日本学術振興会	小林和人, 松下夏樹, 瀬戸川将

令和5	補助・助成	神経回路センサスに基づく適応機能の構築と遷移バイオメカニズム	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(A)	日本学術振興会	磯村宜和，堀江健生，下郡智美，藤山文乃，佐々木拓哉，小林和人，郷康広，島崎秀昭
令和5	補助・助成	ケミカルジェネティクスによる神経障害性疼痛モデルの島皮質異常興奮の制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林真之，藤田智史，山本清文，中谷有香，加藤成樹
令和5	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄
令和5	補助・助成	パーキンソン病の認知機能障害を回復させる脳領域	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	深堀良二
令和5	補助・助成	島皮質から三叉神経脊髄路核尾側亜核への下行性投射の慢性痛に対する役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中谷有香，小林真之，加藤成樹
令和5	補助・助成	両手間転移からニューロロリハビリテーションへの新たなアプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	深堀良二
令和5	補助・助成	視床下部室傍核の摂食抑制CRFニューロンの同定とその機能の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀尾修平，加藤成樹，山形聡
令和5	補助・助成	視床線条体ネットワークの構造・機能マッピングと認知行動機能における役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤成樹
令和5	補助・助成	島皮質における口腔顔面痛を記憶するニューロン群の探索	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	小林真之，尾崎弘展，中谷有香，加藤成樹
令和5	補助・助成	新規リガンド依存性受容体を利用したイオン透過型化学遺伝学ツールの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	小林和人
令和5	補助・助成	線条体亜領域から投射する直接路を介した学習獲得制御機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	木村新伍

令和5	補助・助成	線条体直接路・間接路による弁別学習の制御機序の解析	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	西澤佳代
-----	-------	---------------------------	----------------------	---------	------

放射性同位元素研究施設

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸，関亦明子，伊関憲
令和5	補助・助成	アミラーゼ分泌能を可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸
令和5	補助・助成	免疫記憶成立の分子機構の解明とワクチン開発への応用	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	関亦正幸

実験動物研究施設

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野慎一
令和5	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一
令和5	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一，関口美穂
令和5	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和5	補助・助成	高齢運動器疾患患者における身体活動量とPGC1- α の関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤欽志，関口美穂，紺野慎一

令和5	国内共同研究	腰部脊柱管狭窄の症状尺度とQOL尺度の妥当性の検証プロジェクト	日本脊椎病学会診断評価等基準委員会プロジェクト	日本脊椎病学会	川上守，紺野愼一，福井充，金森昌彦，橋爪洋，和田英路，紺野昇，竹内大作，寒竹司，金山雅弘，関口美穂
-----	--------	---------------------------------	-------------------------	---------	---

地域産婦人科支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宜

白河総合診療アカデミー

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	日本の急性期病院救急外来における肺血栓塞栓症の診断予測モデルの検証および改良	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高田俊彦
令和5	補助・助成	日本の高齢者の「人生の最終段階を見据えた話し合い」促進プログラム開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	宮下淳，福原俊一，山本洋介，清水さやか

東白川整形外科アカデミー

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野愼一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一

疼痛医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫

令和5	補助・助成	運動がマクロファージを介して疼痛を誘発または減少するメカニズムの解明	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	林和寛
-----	-------	------------------------------------	--------------------	---------	-----

生体機能イメージング講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	脳構造ネットワーク解析によるアルツハイマー病の超早期診断に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田博史

多発性硬化症治療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	自己免疫機序による認知症、精神疾患での抗体診断法確立と治療アルゴリズムの作成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中恵子
令和5	補助・助成	自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの実態解明と治療法確立を目的としたエビデンス創出研究	難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	木村曉夫，下畑享良，前川洋一，田中恵子，山野嘉久，齋藤邦明，竹村正男
令和5	補助・助成	超希少難治性疾患である免疫介在性小脳性運動失調症の疾患レジストリ構築および治療法確立を目的としたエビデンス創出研究	難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	矢口裕章，矢部一郎，工藤彰彦，阿部恵，江口克紀，野村太一，林宏至，渡部昌，畠山鎮次，坂田紫帆，村上正晃，田中くみ子，村上薫，佐藤一紀，赤羽慧一郎，木村曉夫，竹腰颯，米田誠，松岡裕美，田中恵子，高橋秀尚，鈴木秀文，秋山智彦

低侵襲腫瘍制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	進行再発消化器癌治療におけるドラッグホリデーの意義・地域コホートを利用した分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多通孝

令和5	補助・助成	右側閉塞性大腸癌における大腸ステントの長期予後	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	宮川哲平
令和5	補助・助成	直腸癌術後の予防的骨盤内ドレーンとPelvic sepsisの関連調査	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	河村英恭

心臓調律制御医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	心房細動における“epicardial connection”の病態的意義の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金城貴士

ヒト神経生理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	クローズドルプ刺激による非侵襲的Deep Brainリハビリテーションの創生	科学研究費助成事業／基盤研究 (A)	日本学術振興会	美馬達哉, 小野弓絵, 野嶋一平, 桐本光, 植木美乃, 小金丸聡子, 宇川義一, 福田敦夫, 平野牧人, 大須理英子, 北城圭一, 竹内雄一, 芝田純也
令和5	補助・助成	神経可塑性を用いた神経変性疾患の臨床的指標の確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	花島律子, 宇川義一, 清水崇宏
令和5	国内共同研究	人工神経接続を用いた非侵襲的脊髄磁気刺激による脊髄損傷者の歩行再建		東京都医学総合研究所	西村幸男, 宇川義一

総合内科・臨床感染症学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	人工知能を活用したリケッチア感染症の血清学的診断法に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	安田一行

令和5	補助・助成	ダニ媒介性感染症の総合的な対策に向けた研究	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	安藤秀二, 山藤栄一郎
-----	-------	-----------------------	-----------------------------	-------------------	-------------

癌集学的治療地域支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	河野浩二, 松本拓朗, 中嶋正太郎, 三村耕作
令和5	補助・助成	STING経路を標的としたHER2陽性胃癌の新規治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金田晃尚, 中嶋正太郎
令和5	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中嶋正太郎, 河野浩二, 三村耕作
令和5	補助・助成	進行・再発胃癌における放射線治療と抗PD-1療法を用いた複合がん免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三村耕作, 河野浩二, 中嶋正太郎
令和5	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	門馬智之, 河野浩二, 中嶋正太郎
令和5	国内共同研究	低線量被曝が腫瘍随伴マクロファージの分化・機能に及ぼす影響	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	中嶋正太郎, 神沼修

エピゲノム分子医学研究講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	血液がんの発症、進展、治療抵抗性に関わるエンハンサーRNAの探索	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	森甚一
令和5	補助・助成	消化器癌手術における周術期骨格筋減少予測マーカーの探索	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	黒川友博

アスタチン核種治療研究講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法患者における腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木義行, 吉本由哉, 三村耕作
令和5	補助・助成	放射線治療における免疫応答性に関わる体細胞変異のトランスレショナリサーチ	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	村田和俊, 尾池貴洋, 吉本由哉

甲状腺治療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	遺伝子発現解析を用いた術前甲状腺濾胞癌診断の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	岩館学, 松本佳子, 鈴木眞一
令和5	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	志村浩己, 松本佳子, 鈴木聡, 鈴木眞一
令和5	補助・助成	血中ctDNAを用いた小児甲状腺癌再発マーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木眞一, 岩館学

救急・生体侵襲制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	救急救命士による病院前ブドウ糖投与の現状記述と時系列／横断的分析による制度評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	橋本克彦

地域婦人科腫瘍学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	SPON1を標的とする卵巣がん診断・治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小島学

令和5	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宜
令和5	補助・助成	卵巣がんにおける自己抗体の早期診断バイオマーカーとしての有用性の検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤雄大

地域先端循環器病治療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ヒストンセロトニン化による新規エピソードネテロシク制御を介した心不全の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三阪智史
令和5	補助・助成	骨代謝による心制御システムの可能性低カルボキシル化オステオカルシンと心不全予後	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部諭史
令和5	補助・助成	クロールン性造血における静脈血栓症形成の分子基盤と治療応用	令和5年度戦略的学内研究推進事業（一般分野）	公立大学法人福島県立医科大学	三阪智史
令和5	補助・助成	心臓と臓器連関をつなぐ細胞外小胞の分子基盤と治療応用	2023年度 研究助成	公益財団法人武田科学振興財団	三阪智史
令和5	補助・助成	エクソソームを介した臓器連関の包括的理解に基づく心不全の治療戦略	2022年度研究助成金	公益財団法人持田記念医学薬学振興財団	三阪智史

こころと脳の医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	東日本大震災から10年後の発達障害のある子ども達の保護者の実態とその支援	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	川島慶子，鈴木勝昭，内山登紀夫，矢部博興，安部郁子
令和5	補助・助成	統合失調症死後脳浸漬球におけるストレス応答分子に着目した多階層的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	日野瑞城，矢部博興，國井泰人

令和5	補助・助成	統合失調症に対する持続長MMNの高感受性メカニズムの多施設共同研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	矢部博興，三浦至，志賀哲也，星野大
-----	-------	-----------------------------------	--------------------	---------	-------------------

間葉系幹細胞応用研究講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	誘導体化イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すデアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	平修，三浦至，前島裕子
令和5	補助・助成	オキシトシン受容体を介した抗老化および寿命延伸作用の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	前島裕子

看護学部 生命科学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	関亦正幸，関亦明子，伊関憲
令和5	補助・助成	日本版小児緩和ケア看護師教育プログラムの実装評価と持続可能な教育提供システム構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	松岡真里，平田美佳，有田直子，石浦光世，古橋知子，名古屋祐子，入江亘，大北真弓，竹之内沙弥香，南部美智子
令和5	補助・助成	211At-PSMAリガンドの唾液腺集積機序の解明と治療応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	織内昇，趙松吉，関亦明子，右近直之，小島祥敬
令和5	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフローアープベースの構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和5	補助・助成	アミラーゼ分泌能を可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸

令和5	補助・助成	日本独特の文化に応じた死が近い子どもと家族とのコミュニケーションモデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	平田美佳, 松岡真里, 名古屋祐子, 古橋知子, 有田直子
令和5	補助・助成	Ab initio法を駆使した造血系腫瘍における免疫チェックポイントの網羅的同一化	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	森努, 合山進
令和5	補助・助成	PtCS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅野久美, 加藤郁子, 見城明, 箱崎貴大, 片桐和子, 横塚美恵子

基礎看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高瀬佳苗, 稲毛映子, 中野裕紀, 丸谷美紀, 川島理恵, 蓬田美保
令和5	補助・助成	保護者用乳幼児スキームの開発と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤博子, 後藤あや
令和5	補助・助成	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／若手研究 (B)	日本学術振興会	林紋美

成人・老年看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	乳がん体験者の生活の再構築を促進する包括的な長期リハビリケアプログラムの効果	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	佐藤富美子, 石田孝宣, 吉田詩織
令和5	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	末永カヅ子, 堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里

令和5	補助・助成	乳がん患者と家族ががんと共に生き家族として成長していく軌跡を支える看護ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	山手美和
令和5	補助・助成	高齢心不全患者と家族のAging in Placeを支える心不全緩和ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	坂本祐子, 山手美和, 大崎瑞恵
令和5	補助・助成	肺癌細胞に発現したCRH系ペプチドは癌の進行と情動に介在するか	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤菜保子, 鈴木貴, 海野倫明, 元井冬彦
令和5	補助・助成	がん薬物療法における災害看護実践シミュレーション教育プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅野久美, 今津陽子
令和5	補助・助成	肺切除患者のセルフエフィカシー基盤型看護リハビリテーションプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	片桐和子, 菅野久美
令和5	補助・助成	看護師のアセスメントプロセスの可視化に基づくAIを活用した学習支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤みほ, 宮川祥子, 井庭崇, 佐藤菜保子, 藤村朗子
令和5	補助・助成	婦人科がん外科的閉経後の健康リスクの予防を目的とした継続教育のフォローアップ効果	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	井上水絵
令和5	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	見城明, 遠藤俊吾, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 丸橋繁
令和5	補助・助成	乳がん関連リンパ浮腫セルフケアオンライン教材の効果：二重盲検無作為化比較試験	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	有永洋子, 各務竹康, 佐藤富美子
令和5	補助・助成	PTCS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅野久美, 加藤郁子, 見城明, 箱崎貴大, 片桐和子, 横塚美恵子

令和5	補助・助成	がん免疫療法看護の質評価指標開発に向けた探索的研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	佐藤富美子, 井上彰
令和5	補助・助成	薬局で看護活動をするファーマシー・ナースの役割と有用性の検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本幸子
令和5	補助・助成	施設入所高齢者の入浴時刻の違いによる体温の経時的変化と睡眠覚醒状態の比較	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐々木千佳

小児・精神看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	精神障がいピサポーターと専門職者が共同創造する地域移行支援モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田村達弥
令和5	補助・助成	重度・慢性精神障害者の適応行動を維持・拡大するための看護介入モデルの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤利憲
令和5	補助・助成	摂食障害思考に基づく行動に対するセルフケア能力向上を目指した看護アプローチの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吾妻陽子, 大川貴子
令和5	補助・助成	医療専門職のチームダイナミクスを促す職種横断的リーダーシップコンピテンシーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生, 矢吹省司, 大谷晃司, 和田久美子, 及川沙耶佳, 安田恵, Maham Stanyon

地域・公衆衛生看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	末永カツ子, 堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
令和5	補助・助成	幼児の「健康をつくる力」の看護師と保育士の連携・協同育成モデルの提示	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	世良喜子, 後藤佳子, 安ヶ平伸枝, 若澤弥生, 高瀬佳苗, 西山里利, 畦上恭彦, 飯島典生, 下泉秀夫, 野呂千鶴子
令和5	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高瀬佳苗, 稲毛映子, 中野裕紀, 丸谷美紀, 川島理恵, 蓬田美保
令和5	補助・助成	幼児の「健康をつくる力」育成にむけたアクションを支援するWEBシステムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	世良喜子, 安ヶ平伸枝, 高瀬佳苗, 鶴見仁美, 後藤佳子
令和5	補助・助成	映像メディアによる行動異常を予防する、母子手帳交付時から始める看護支援	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	横山浩之, 富澤弥生, 阿久津和子, 高橋香子, 高橋俊文
令和5	国内共同研究	文化に即した外国人介護職の健康支援に関する研究	ファイザーヘルスリサーチ振興財団	国立保健医療科学院	丸谷美紀, 高瀬佳苗, 大島隆代, 石川志麻, 小尾栄子, 二見茜, 上里彰仁
令和5	その他	一般病棟の看護師が人生の最終段階にあるがん患者の死を静観できない様相に関する研究	講座研究費	坪井病院	高瀬佳苗, 田中啓子

母性看護学・助産学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	妊産婦の食生活支援に有用な評価ツールの開発：日本版FBCの信頼性と妥当性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田愛，山口咲奈枝
令和5	補助・助成	成人学習理論に基づく父親の育児行動促進のための周産期の看護介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山口咲奈枝，佐藤幸子，藤田愛，遠藤由美子
令和5	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代，後藤あや，石井佳世子
令和5	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子，後藤あや，吉田和樹，津富宏，佐々木美恵，渡邊一代
令和5	補助・助成	本邦の出生コホート研究成果の地域周産期医療・母子保健への導入に向けた基盤構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西郡秀和，篠原好江，森由紀，渡邊まどか
令和5	補助・助成	父親の育児参加を促進する家庭・職場要因の解明：縦断調査による因果関係の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩佐一，吉田祐子，石井佳世子
令和5	学内共同研究	新型コロナウイルス感染症病棟における母乳育児支援と退院後の母乳育児継続状況に関する実態調査	令和5年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学看護学部	石井佳世子，山口咲奈枝，大内美奈，板垣ひろみ，阿部こず恵，服部桜，泉淑子
令和5	学内共同研究	母乳育児継続へつながる母親の持つ力に関する研究－助産師の視点から－	令和5年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学看護学部	森美由紀，紺野愛，太田操，高橋幸恵，草野祐香利

保健科学部
理学療法学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ノイズ電気刺激を用いた感覚入力変調による歩行能力の改善	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	青木修，大谷啓尊，森下慎一郎
令和5	補助・助成	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	椿淳裕，渡邊博昭，堀田一樹，森下慎一郎，大西秀明，池上諒
令和5	補助・助成	経頭蓋直流電気刺激により改善する遷延性意識障害例の神経基盤の解明と刺激法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	阿部浩明，根本清貴，山口智史
令和5	補助・助成	PICS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅野久美，加藤郁子，見城明，箱崎貴大，片桐和子，横塚美恵子
令和5	補助・助成	乳幼児期の発達障害児における目標志向型療育プログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	楠本泰士，友利幸之介，高橋恵里
令和5	補助・助成	医療専門職のチームダイナミクスを促す職種横断的リーダーシップコンピテンシーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，矢吹省司，大谷晃司，和田久美子，及川沙耶佳，安田恵，Maham Stanyon
令和5	補助・助成	デイサービス利用者の重度化防止を目指した介護スキームの開発と実証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴喜崇，安齋紗保理，植田拓也，有阪直哉，新井武志
令和5	補助・助成	同種造血細胞移植の再発率低下を目指したリハビリテーション法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴崎康彦，森下慎一郎，増子正義
令和5	補助・助成	慢性呼吸器疾患患者における在宅酸素療法の導入が身体活動性に与える影響に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋仁美
令和5	補助・助成	低出生体重で生まれた子どもの運動が不器用な要因の分析と運動指導の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田雅弘，北原エリ子，儀間裕貴，楠本泰士，新田收

令和5	補助・助成	血液がん患者の免疫活性性に特化した運動療法プログラムの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森下慎一郎，椿淳裕
令和5	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和5	補助・助成	地域在住高齢者の転倒要因となる足部形態による運動機能の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横塚美恵子
令和5	補助・助成	基本的運動能力、機能的動作能力の解析から学童期野球選手の障害因子を解明する	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤康裕
令和5	補助・助成	障害予防のため発達障害児の関節過可動性を適正化する運動プログラムの開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高橋恵里
令和5	補助・助成	リアルタイム・荷重フィードバックが下肢人工関節置換後の歩行能力に及ぼす効果の検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野渡達哉
令和5	補助・助成	急性冠症候群患者の腎機能保護に特化した遠隔型身体活動管理プログラムの開発	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	佐藤聡見
令和5	補助・助成	福島県内介護支援専門員の業務状況と健康状態の調査研究－東日本大震災後およびCOVID-19がもたらした影響－	令和5年度産業医学・産業保健調査研究助成制度	福島県労働保健センター	遠藤康裕，柴喜崇
令和5	補助・助成	血液がん患者に対し運動療法と栄養療法を加えた包括的リハビリテーションが健康効用値に及ぼす影響	2023年度研究助成金	公益財団法人日本政策医療財団	森下慎一郎
令和5	補助・助成	遠隔支援を行う子どももコホート調査の立ち上げと子どもと保護者に対する健康支援プログラムの効果検証	2023年度研究助成金	中富健康科学振興財団	楠本泰士
令和5	補助・助成	介護予防事業により得られた身体・生活機能を持続するための生活機能要因の解明	令和5年度研究支援事業「育成研究」	福島県立医科大学	星真行

令和5	国内共同研究	経頭蓋直流電気刺激により反応性が改善する遷延性意識障害例の脳内特性解明	交通事故医療研究助成	一般社団法人日本損害保険協会	阿部浩明，根本清貴，山口智史，村石健治，関慎太郎，大鹿 謙徹
-----	--------	-------------------------------------	------------	----------------	--------------------------------

作業療法学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	反復末梢性磁気刺激による脊髄変調の解明と痙縮に対するリハビリテーションへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	浅尾章彦，藤田貴昭，五百川和明
令和5	補助・助成	脳卒中者のIADL支援を推進する革新的予後予測モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	五百川和明，藤田貴昭，曾根稔雅
令和5	補助・助成	災害被災者の精神的健康に働きかける地域での対人交流プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	石川陽子，林博史，曾根稔雅，齋脇健司
令和5	補助・助成	rt-PA治療効果の医療介護連携に関するプロセス、アウトカム評価指標の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	柿沼倫弘，藤田貴昭，大笈賀政昭，岩本哲哉
令和5	補助・助成	認知症者への介護負担軽減に向けたコミュニケーションツールの実践マニュアルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	木村夏実，川又寛徳，小林法一
令和5	補助・助成	高等学校の通級指導における協働：作業療法士によるコンサルテーション・モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	倉澤茂樹，立山清美，塩津裕康，田中善信
令和5	補助・助成	レビー小体病のアミロイド蓄積時期の同定ー抗Aβ療法提案に向けた統断的調査研究ー	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林良太，川勝忍，林博史，森岡大智
令和5	補助・助成	小学校におけるCO-OPを基盤とした教諭と作業療法士の協働モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	塩津裕康，倉澤茂樹

令和5	補助・助成	認知機能に障害のある高齢者における 歩行時の視線特性を活かした転倒予防 策の考案	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	澄川幸志，小池祐士，村上正和
令和5	補助・助成	フレイル高齢者および家族介護者に対 する自助・互助に基づいた支援体制の 構築	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	曾根稔雅，菅原由美
令和5	補助・助成	発達障害の特性と支援に関する知識尺 度の開発と研修モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	田中善信，倉澤茂樹
令和5	補助・助成	自閉スペクトラム症児の食に関する行 動障がいへの支援法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	中岡和代，丹葉寛之，倉澤茂 樹，立山清美
令和5	補助・助成	大規模配偶者ペアを用いた健診受診 行動の解明と介入方法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	中谷直樹，中谷久美，曾根稔雅
令和5	補助・助成	相乗効果とカットオフ値に焦点化した 早期自立を促進する戦略的リハビリ テーション指針	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	藤田貴昭，五百川和明，曾根稔 雅
令和5	補助・助成	内発的動機づけが主観的価値に基づく 目的指向行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	川崎伊織
令和5	補助・助成	地域高齢者の作業に関するヘルスリテ ラシー尺度の開発	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	川又寛徳
令和5	補助・助成	BPSDおよび介護負担低減に向けたコ ミュニケーションツール実践マニユア ルの開発	科学研究費助成事業／研究活 動スタート支援	日本学術振興会	木村夏実
令和5	補助・助成	認知症の病態の進行に影響する重症化 因子の特定と進行予防への効果的な介 入方法の確立のための研究	認知症政策研究事業	厚生労働省	川勝忍，小林良太，鈴木匡子， 林博史，伊関千書，井原一成， 松田圭梧

令和5	補助・助成	地域リハビリテーションの効果的な提供に資する指標開発のための研究	長寿科学政策研究事業	厚生労働省	菊地尚久，田中康之，鈴木英樹，五百川和明
令和5	補助・助成	成人前期版興味チェックリストの開発	日本作業行動学会研究助成制度	日本作業行動学会	木村夏実，小林法一，川又寛徳
令和5	補助・助成	利用者とセラピスト間の意思決定プロセスにおける力の共有関係支援ガイドの開発	日本作業行動学会研究助成制度	日本作業行動学会	丁子雄希，斎藤佑樹，川又寛徳，小林隆司
令和5	学内共同研究	高齢者の注意機能がバランス機能及び生活機能に与える影響の解明	保健科学部学部共同研究事業	福島県立医科大学	小笠原牧
令和5	学内共同研究	地域在住高齢者における余暇活動の実態と自己効力感に関連する要因の検討	保健科学部学部共同研究事業	福島県立医科大学	木村夏実

診療放射線科学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	小細胞肺癌の細胞系譜転写因子ASCL1関連シグナル分子について	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	伊藤隆明，佐藤陽之輔，永原則之，藤野孝介，長谷川功紀，山口知也
令和5	補助・助成	PET/MRI装置専用精度管理ファントムの開発と安全性試験ガイドラインの策定	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	高橋康幸，細川翔太，三輪建太，右近直之
令和5	補助・助成	アルファ線の被ばく量を細胞レベルで解析するマイクロドジメトリ法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	長谷川功紀，山本誠一，高橋和弘，佐藤達彦，鷺山幸信，右近直之，城實大輝
令和5	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和5	補助・助成	MRI標準化を目指した非混合型のT1・T2値模擬ファントムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	五月女康作，佐藤英介，只野喜一

令和5	補助・助成	深層学習による腫瘍構造を反映したホウ素濃度推定法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤英介, 山本哲哉, 磯辺智範, 三輪建太, 堀拳輔
令和5	補助・助成	呼吸循環フィットネスを評価する新しい指標の多角的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	里中綾子, 鈴木伸治, 寺田恭子, 山品博子
令和5	補助・助成	系統差から見出す痒みの個体差の遺伝的基盤	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高浪景子, 小出剛, 長谷川功紀
令和5	補助・助成	CT検査における多発脳動脈瘤を有するくも膜下出血の破裂瘤特定支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高橋規之
令和5	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	箱崎道之, 紺野慎一, 関口美穂, 長谷川靖, 久保均, 金内洋一
令和5	補助・助成	顎骨定量SPECTの施設間標準化(ハーマイゼーション)を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	秦浩信, 北川善政, 平田健司, 三輪建太, 今待賢治, 佐藤淳, 松坂方士, 浅香卓哉
令和5	補助・助成	アスリートを対象とした脳・骨格筋活動に関する MRS/PET代謝イメージング研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	藤本敏彦, 久保均, 田代学, 伊藤 藤浩
令和5	補助・助成	青年期における社会的適応能力に関する神経基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	藤原寿理, 久保均
令和5	補助・助成	最新のデジタル半導体PET装置に対応した心臓動態ファントムの開発と撮像技術の確立	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	孫田恵一, 山品博子, 納谷昌直, 平田健司
令和5	補助・助成	視線解析に基づくマンモグラフィ撮影時のポジショニング技術の可視化と技術伝承	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	山品博子
令和5	補助・助成	近赤外線による非侵襲的な脳内薬物濃度測定法(ケミカルNIRS)の開発と臨床評価	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	田代学, 久保均, 石川大太郎, 藤井智幸, 渡部浩司, 松原佳亮

令和5	補助・助成	偏見に関わる諸特性概念のパーソナリティ・モデルにおける位置づけの検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三枝高大
令和5	補助・助成	脳画像を用いた神経病理学的な知見を統合したアルツハイマー病診断法の開発・評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三輪建太
令和5	補助・助成	福島県外のライフイベントを迎える世代に向けた放射線リスクコミュニケーションモデルの構築と実践	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業 本体研究	環境省	五月女康作，久保均，三輪建太，佐藤久志，大葉隆，広藤喜章，山品博子，坪倉正治，佐藤英介，江口有一郎，前川直哉，アミール偉，田代雅実，山尾天翔，三枝高大
令和5	補助・助成	放射線リテラシーに関するクラスター判定式の開発と介入効果検証	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業 本体研究	環境省	五月女康作，三枝高大
令和5	補助・助成	MRI画像診断に用いる疑似検体の事業可能性調査	ふくしま産業応援ファンド事業（助成金）調査事業	福島県	渡邊陽一郎，五月女康作，古川英光
令和5	補助・助成	原発事故後における健康とWell-beingのモニタリングへの市民参加の効果に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	大葉隆，保田浩志，折田真紀子
令和5	補助・助成	我が国の小児CT検査で患児が受ける線量の実態調査	学術研究班	日本放射線技術学会	竹井泰孝，庄司友和，永澤直樹，広藤喜章，福永正明，舩田隆則，松原孝祐，宮寄治
令和5	補助・助成	幼児・小児の撮影線量と画質のバランスに関する検討	学術研究班	日本放射線技術学会	広藤喜章，松原孝祐，稲葉洋平，本元強，皆川梓，成瀬正理，山本めぐみ
令和5	補助・助成	半導体線量計を用いた散乱X線エネルギー測定法の開発	2023年度テーマ別研究助成	神戸常盤大学	市川尚，福田篤志，林拓磨
令和5	補助・助成	X線CT装置の線質測定を目的とした新しい器具の開発	企業研究	東洋メディック	福田篤志

令和5	補助・助成	X線透視・撮影時の被ばく防護を目的とした新しい防護プロテクタの開発および改良	企業研究	保科製作所	福田篤志
令和5	補助・助成	小型線量計の使用法拡張に関する研究	共同研究	長瀬ランダウア	福田篤志
令和5	補助・助成	福島県内のホールボディカウンタ装置の経年変化（劣化）における6年間の多施設連携調査とその精度管理法の提案	令和5年度拠点プロジェクト研究費	ふくしま国際医療科学センター	大葉隆，菅野修一，角田和也，坪倉正治
令和5	補助・助成	被災地高齢者のフレイルリスクにおける筋肉量評価法の検討（生体インピーダンス法とホールボディカウンタ装置による体内カリウム測定との比較）	令和5年度拠点プロジェクト研究費	ふくしま国際医療科学センター	岡崎可奈子，大葉隆，大平哲也
令和5	国際共同研究	Task Group No. 190. B: Accuracy and calibration of integrated radiation output indicators in diagnostic radiology (TG190. B)	AAPM task group	American Association of Physicists in Medicine	Lin PJP, Goode A, Fukuda A, Kim DS, Schueler BA
令和5	国内共同研究	生殖腺防護に関する検討	放射線防護委員会	日本放射線技術学会	根岸徹，五十嵐隆元，竹井泰孝，広藤喜章，廣瀬悦子，松原孝祐

臨床検査学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	北爪しのぶ，小島隆生
令和5	補助・助成	脂質代謝・輸送システムによるHIV-1複製の制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	合田仁
令和5	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とパイオマーカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小川一英，大河原浩，深津真彦，池添隆之

令和5	補助・助成	糖蛋白を標的とした神経線維腫症2型に対する新規治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤井正純, 北爪しのぶ
令和5	補助・助成	直接経口抗凝固薬(DOAC)の包括的モニタリングの確立と臨床応用のための検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森山雅人, 西條康夫, 猪又孝元, 松田将門, 日比野浩, 緒方元気
令和5	補助・助成	直接経口抗凝固薬(DOAC)に対する血中モニタリング法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森山雅人, 松田将門, 齋木琢郎, 緒方元気, 日比野浩, 西條康夫
令和5	補助・助成	心不全と多臓器連関(心-腎-肝-腸-脳-骨格筋連関)における腸内細菌叢の関与	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣
令和5	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司, 三浦里織, 錫谷達夫
令和5	補助・助成	HSV-2の新規CTL回避機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小柳直人
令和5	補助・助成	血栓形成を調節するヒートショックプロテイン72の生理的メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木英明
令和5	補助・助成	0型糖鎖修飾による乳癌関連分子の機能制御機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高橋一人
令和5	補助・助成	血流感染症における新規迅速診断法の開発と重症度判定の臨床的有用性の評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	丹野大樹
令和5	補助・助成	アルツハイマー病モデルマウスを用いた0型糖鎖によるタウ病変の制御機構の解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	飯島順子

令和5	補助・助成	妊娠婦より得られたS. agalactiaeの荚膜血清型および薬剤感受性の多施設疫学調査	2023年度研究助成金	公益財団法人杜の都医学振興財団	丹野大樹
令和5	補助・助成	直接経口抗凝固薬 (DOAC) 療法中における血栓性素因の評価法：DOACによる測定干渉を受けない検査法の確立	2023年度若手研究支援	公益財団法人臨床薬理研究振興財団	松田将門
令和6	補助・助成	抗凝固能と向凝固活性のバランスに着目した抗凝固療法の包括的モニタリング法の開発	第31回研究助成金	公益財団法人黒住医学研究振興財団	松田将門
令和5	補助・助成	Liquid-based cytologyを用いた子宮頸部腫瘍性病変に対するp16とki-67の免疫細胞化学二重染色における解析	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	梅澤敬, 橋本優子, 添田周
令和5	補助・助成	福島県における大学生の睡眠実態調査睡眠セクターとの比較検討	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	平田理絵, 義久精臣, 堀越裕子
令和5	国内共同研究	夜間高度の低酸素状態を呈する閉塞型睡眠時無呼吸症候群 (OSAS) 患者での十分なCPAP治療が心房細動につながる不整脈を抑制できるかの検討	国内共同研究	AADHERE studyグループ	義久精臣, 三阪智史, 安藤真一

別科 助産学専攻

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	国内共同研究	母乳育児継続へつながる母親の持つ力に関する研究－助産師の視点から－	福島県立医科大学看護学部共同研究	福島県立医科大学看護学部	森美由紀, 紺野愛, 太田操, 高橋幸恵, 草野祐香利
令和5	学内共同研究	本学別科助産学教育による助産技術到達度の評価	別科助産学専攻共同研究事業	福島県立医科大学	菅沼靖子, 太田操, 清水川由美子, 窪田敦子, 高橋幸恵, 瀧澤由佳子, 二瓶利香

附属病院長

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	心不全におけるクロロニン性造血の包括的理解とエクソソームを介した治療応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	竹石恭知
令和5	補助・助成	特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業	厚生労働省	竹石恭知
令和5	補助・助成	緊急被ばくに対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療研究拠点 トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療研究拠点	石田隆史, 竹石恭知
令和5	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療研究拠点 トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医療研究拠点	竹石恭知, 石田隆史

患者サポートセンター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之, 河野浩二, 中嶋正太郎

ふたば救急総合医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	肺動脈性肺高血圧症の内皮間葉分化転換におけるDNA損傷応答とTGF- β の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一, 石田隆史, 三阪智史
令和5	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮, 長沼透, 山田実, 竹島太郎, 栗田宜明

令和5	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	渡邊和之，大谷晃司，紺野慎一
-----	-------	--------------------------------	--------------------	---------	----------------

総合内科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	新たな高齢者向け包括的症状測定ツールSymTrak－健康指標としての意義	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	竹島太郎，濱口杉大

小児外科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	壊死性腸炎に対する臍帯由来間葉系幹細胞による治療効果の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田中秀明，新開統子，清水裕史，南洋輔
令和5	補助・助成	肝組織由来スフェロイドを用いた肝オルガノイドの開発とその微小環境分子機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丸橋繁，石亀輝英，清水裕史，小船戸康英，佐藤直哉
令和5	補助・助成	肝組織由来スフェロイド (LTOSs) を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	丸橋繁，武藤亮，鈴木野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉
令和5	補助・助成	ミニ腸の先天性小腸吸収不全病態モデルによる治療薬アッセイ系の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三森浩太郎，阿久津英憲
令和5	補助・助成	細胞シート工学を用いたiPS細胞シートによる革新的肝再生治療の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	清水裕史

小児腫瘍内科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	同種免疫反応を起点とした抑制性がん微小環境の克服および抗腫瘍免疫誘導機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	望月一弘，佐野秀樹，小林正悟，高橋信久，大原喜裕

歯科口腔外科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	口腔扁平上皮癌における肝X受容体異常リン酸化の診断治療標的としての可能性	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	金子哲治, 杉本幸太郎

検査部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	黒住医学研究振興財団 第31回研究助成事業	第31回研究助成事業	黒住医学研究振興財団	鈴木崇斗

手術部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	高度肥満患者および若い痩患者におけるフェンタニルの血中・効果部位濃度予測	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小原伸樹

集中治療部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	PICS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅野久美, 加藤郁子, 見城明, 箱崎貴大, 片桐和子, 横塚美恵子
令和5	補助・助成	吸入麻酔薬投与デバイスを用いた重症呼吸不全患者の換気量制御	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	箱崎貴大
令和5	補助・助成	重症呼吸器疾患の評価における間接熱量計から求めた肺の酸素消費量の有用性の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	吉田圭佑
令和5	補助・助成	中脳辺縁系ドパミン神経系の減弱は慢性痛および注意欠陥多動性障害と関連があるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	本田潤

総合周産期母子医療センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ヒト胎盤オルガノイドチップによる妊娠高血圧症の病態分子メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	吉野大輔, 郷勇人, 船本健一
令和5	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	経塚標, 山口明子, 安田俊, 藤森敬也
令和5	補助・助成	酸化ストレスに着目した溶血性尿毒症候群モデルマウスの腎障害進展機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	久米庸平, 郷勇人, 前田亮, 陶山和秀
令和5	補助・助成	メカニカルストレス装置を用いた新生児慢性肺疾患モデルにおけるmiR-21制御の意義	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	郷勇人, 橋本浩一, 前田創
令和5	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	橋本浩一, 細矢光亮, 郷勇人, 佐藤晶論
令和5	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	福田冬馬, 村田強志, 経塚標, 安田俊, 藤森敬也
令和5	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	村田強志, 福田冬馬, 経塚標, 安田俊, 藤森敬也
令和5	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデルを用いた炎症胎仔のメタボローム、酸化度解析による病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	安田俊, 村田強志, 福田冬馬, 平岩幹, 藤森敬也
令和5	補助・助成	細胞老化とマイクロRNAに着目した新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	前田創

臨床研究教育推進部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	trajectoryとEMAによるステロイド有害事象の機序解明と予防アプリ開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	栗田宜明, 菊地裕絵, 宋龍平, 石川雄一, 下島恭弘, 脇田貴文, 柴垣有吾, 矢嶋宣幸, 佐田憲映
令和5	補助・助成	IT社会の医療情報が医療トラストに与えるメカニズムの解明:若年膠原病を対象として	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	栗田宜明, 脇田貴文, 矢嶋宣幸, 宋龍平, 佐田憲映, 下島恭弘, 吉見竜介
令和5	補助・助成	疫学を中心とした学際的アプローチに基づく医学論文査読の実証分析と教育への応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	大前憲史, 片岡裕貴, マスワナ紗矢子, 荒牧英治, 金丸敏幸, 水本篤, 栗田宜明
令和5	補助・助成	透析症状の測定と管理をガイドするアプリ開発:日々の症状・活動量・社会参加への着眼	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	河原崎宏雄, 栗田宜明, 西脇宏樹, 脇田貴文, 柴垣有吾
令和5	補助・助成	腎代替療法選択におけるSDMの質評価法の確立とその決定因子の臨床疫学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	柴垣有吾, 脇田貴文, 祖父江理, 栗田宜明, 河原崎宏雄, 戸井田達典
令和5	補助・助成	全県的データベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	柴田陽光, 大前憲史, 伊関憲, 栗田宜明
令和5	補助・助成	変形の程度に関わらず実施可能な運動療法の成人脊柱変形に対する効果の検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	白土修, 岩渕真澄, 富永亮司, 伊藤俊一
令和5	補助・助成	「医療機関およびチーム医療へのトラスト」の測定と応用:持続可能な医療体制をめざす	科学研究費助成事業／挑戦的研究 (萌芽)	日本学術振興会	栗田宜明, 脇田貴文, 次橋幸男, 川口崇, 矢嶋宣幸, 柴垣有吾

性差医療センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	哺乳動物卵管の存在意義:その微小環境が受精卵に及ぼす影響のメタボローム的分析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	荒木慶彦, 吉武洋, 小宮ひろみ

総合科学教育研究センター 人文・社会科学領域

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	子ども・若者支援従事者の専門性構築の課題と展望－「支援の重層性」の視点から－	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二，井上大樹，宮崎隆志，上野景三，石井山竜平，帆足哲哉，立柳聡，深作拓郎，水野篤夫，中田周作，津富宏，川野麻衣子，大串隆吉，南出吉祥，大村恵，藤田美佳
令和5	補助・助成	技能統合型ライティングにおける形成的評価ルーブリックの具体的提案と妥当性検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久保田恵佑
令和5	補助・助成	戦時・戦後におけるワクチンの開発・生産体制－戦後への連続・非連続性に着目して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永恵子
令和5	補助・助成	高齢化コミュニティにおける介護キンドレッドの地域性－八丈島と北信地方の比較研究－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	立柳聡
令和5	補助・助成	英語の関係詞節と関係詞の指示特性に関する意味的・語用論的原理の記述的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中山仁
令和5	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史
令和5	補助・助成	役割語分析で英語のアカデミックライティングスキル向上を目指す地域貢献型PBL	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田尚子，BLAKE John，Pyshkin Evgeny

総合科学教育研究センター 数物・情報・統計科学領域

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	災害多発・脆弱地域における次世代のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(海外連携研究)	日本学術振興会	後藤あや，岡部聡子，郡山千早，小橋友理江

令和5	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや、岡部聡子、郡山千早、村上道夫、弓屋結
令和5	補助・助成	金属有機構造体のナノ細孔に閉じ込められたイオン液体の構造とダイナミクス	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	糸井充徳、開康一、上床美也、木下健太郎
令和5	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目のない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子、後藤あや、吉田和樹、津富宏、佐々木美恵、渡邊一代
令和5	補助・助成	精神科患者の生活習慣病予防・改善を目的としたタイプ別食生活指導プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡部聡子、後藤あや、本間杏菜、根本絢香、伊藤慎也、高橋徹
令和5	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや、熊谷敦史、村上道夫、植田紀美子
令和5	補助・助成	保護者用乳幼児スキミング尺度と保護者を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子、後藤あや
令和5	補助・助成	Pin(2)モノポール方程式と4次元トポロジ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中村信裕
令和5	補助・助成	ペトナム人糖尿病患者の血糖コントロールとヘルスリテラシーの関連に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川博英、後藤あや、郡山千早、湯浅賢之
令和5	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代、後藤あや、石井佳世子
令和5	補助・助成	家庭医と看護師対象の患者の孤独の認知と対処についての調査	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	吉田一隆

令和5	補助・助成	強磁場NMR研究会：20T超定常強磁場を用いたNMRによる物性研究	ワークショップ開催	東北大学金属材料研究所・国際共同利用・共同研究拠点 (GIMRT)	開康一
令和5	国際共同研究	Ethically Researching Health and Disasters: 3.11 and Beyond	Butterfield Awards for UK-Japan collaboration in medical research and public health practice	The Great Britain Sasakawa Foundation	Abeyasinghe S, 後藤あや, 尾崎章彦, Lloyd Williams A, Leppold C

総合科学教育研究センター 生物・化学領域

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	核酸-金属複合体の合成・構造・機能：DNA超分子錯体と蛍光性Agナノクラスタ	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小野晶, 近藤次郎, 山田亮, 藤原章司, 鳥越秀峰, 大樂武範, 田中好幸
令和5	補助・助成	放射線誘発バイスタンダー効果の進化的保存性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	有吉健太郎, 三浦富智, 葛西宏介
令和5	補助・助成	アニオン安定化置換基の隣接位におけるキラルカルバニオンの発生と捕捉	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐々木道子
令和5	補助・助成	三元素ハイブリッド機能触媒を基盤とした高効率酸化変換の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田辺真
令和5	補助・助成	放射線被ばくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	三浦富智, 葛西宏介, 有吉健太郎, 山城秀昭
令和5	補助・助成	野生動物細胞におけるバイスタンダー効果の解析	放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点	筑波大学・弘前大学・福島大学	有吉健太郎
令和5	補助・助成	サブナノ合金粒子の多機能性：生体物質における構造変換への応用	2023年度COREラボ共同研究	物質・デバイス領域共同研究拠点	田辺真

医療人育成・支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	自然言語に対する人工知能技術適用による心理療法支援システムの開発	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	竹林由武，中島俊，重藤優太郎，青木俊太郎，横谷謙次，二瓶正登
令和5	補助・助成	A Q-methodology international multiphase study exploring cultural differences in the understanding of professionalism and leadership in medical education comparing Japanese and UK contexts	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	Stanyon M, 色摩弥生，大谷晃司
令和5	補助・助成	Webを活用した依存症の偏見解消プログラムの開発と社会実装の普及効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩野卓，後藤成人，福田実奈，青木俊太郎，小林智之
令和5	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野慎一
令和5	補助・助成	DEXA法による筋量検査を用いた、腰部脊柱管狭窄における術前評価の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林洋，大谷晃司，紺野慎一
令和5	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之
令和5	補助・助成	医療専門職のチームダイナミクスを促す職種横断的リーダーシップコンピテンシーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，矢吹省司，大谷晃司，和田久美子，及川沙耶佳，安田恵，Stanyon M
令和5	補助・助成	健康の社会的決定要因に対する医療系学生の理解・活用能力：尺度構成と関連要因の探求	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅原亜紀子，春日秀朗，小林元，石川和信
令和5	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一
令和5	補助・助成	集団的アプローチにもとづく漫画動画を利用したストレスマネジメント介入の評価研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀内聡，岡村尚昌，岩野卓，瀧井美緒，青木俊太郎

令和5	補助・助成	医学生のアンプログラフフェッショナル行動予防プログラム開発～演じる事による気付きから～	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	諸井陽子
令和5	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊和之，大谷晃司，紺野慎一
令和5	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	中島俊，藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和5	補助・助成	医師に求められるプロフェッショナルリズムを醸成する地域体験実習の構築	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	安田恵，色摩弥生，大谷晃司，坂本信雄
令和5	補助・助成	AI技術を応用した医療コミュニケーションの作用メカニズムの測定と教育プログラムの作用機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	青木俊太郎
令和5	補助・助成	疼痛性障害に対する行動活性化療法の脳画像評価と治療効果予測因子の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	青木俊太郎
令和5	補助・助成	ロコモディブシンドロームとメタボリックシンドローム、認知症、ペリオスチンの相互関係についての探索的検討	日本整形外科学会学会学術プロジェクト	日本整形外科学会	森本忠嗣，馬渡正明，大谷晃司，出原賢治，紺野慎一，島ノ江千里，吉原智仁，戸田雄，小林孝巨
令和5	補助・助成	南会津地域におけるロコモとサルコペニアとの関係の探索的研究	令和5年度福島県立病院医学研究補助金	福島県	増子遼介，大谷晃司

看護師特定行為研修センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	PICS予防のための包括的コンフォートケアプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅野久美，加藤郁子，見城明，箱崎貴大，片桐和子，横塚美恵子
令和5	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明

令和5	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和5	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤直哉，見城明
令和5	補助・助成	看護職及び特定行為研修者による医療行為の実施状況の把握・評価ため調査研究	厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業	厚生労働省	永井良三，村上礼子，川上勝，前原正明，見城明，飯室聡，金范敏，木澤晃代

医療研究推進センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	At-211 MABGの褐色細胞腫/パラガングリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第I相試験	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	小早川雅男，志賀哲，高橋和弘，伊藤浩
令和5	補助・助成	セラノステイクス対応放射性医薬品の試験要件についての評価研究	医薬品等規制調和・評価研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	斎藤嘉朗，峰須賀暁子，川崎ナナ，佐藤泰，間賀田泰寛，東達也，小早川雅男

地域医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	肺高血圧の進展メカニズムの多様性に関する検討ークロロン性造血 (CHIP) の関与ー	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	中里和彦

ふくしま子ども・女性医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	栄養環境改善（プレコンセンションケア）による妊孕性向上の分子機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	太田邦明，高橋俊文
令和5	補助・助成	災害時の産科医療教育プログラムと妊産婦行動支援のための情報ツールの開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	神保正利，高橋俊文，太田邦明
令和5	補助・助成	壊死性腸炎に対する臍帯由来間葉系幹細胞による治療効果の検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田中秀明，新開統子，清水裕史，南洋輔
令和5	補助・助成	本邦の出生コホート研究成果の地域周産期医療・母子保健への導入に向けた基盤構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西郡秀和，篠原好江，森由紀，渡邊まどか
令和5	補助・助成	映像メディアによる行動異常を予防する、母子手帳交付時から始める看護支援	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	横山浩之，富澤弥生，阿久津和子，高橋香子，高橋俊文

放射線医学県民健康管理センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	放射線防護リスクコミュニケーション現任教育モデルの検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	松永妃都美，新地浩一，柴山薫，折田真紀子，山田裕美子
令和5	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	江口依里，中野裕紀，大平哲也
令和5	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	高瀬佳苗，稲毛映子，中野裕紀，丸谷美紀，川島理恵，蓬田美保
令和5	補助・助成	福島県避難区域等住民の非アルコール性脂肪性肝疾患に対する心理行動学的介入法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	林史和

令和5	補助・助成	日本における個人の境界線に焦点を当てた多様性教育の研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	水木理恵, 出口真紀子, 平山亮, 小川公代, 熊本理抄
令和5	補助・助成	福島原発事故の処理水放出による風評影響への住民の懸念に関連する因子と対話の効果	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	折田真紀子
令和5	補助・助成	中国医学の観点を取り入れた食事調査法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長尾匡則
令和5	補助・助成	脳卒中発症例をレセプトから抽出する機械学習予測モデルの開発と検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀
令和5	補助・助成	東日本大震災後の生活習慣病予防を目的とした潜在性脂肪肝スクリーニング指標の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林史和
令和5	補助・助成	受援力向上と減災：災害時に誰かに助けてもらうためのツール「DARECA」の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	針金まゆみ
令和5	補助・助成	福島第一原発事故の処理水放出に関する周辺住民の不安に関連する要因の解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	折田真紀子
令和5	国内共同研究	福島原発事故による高齢者への健康影響評価ー長崎原発被爆の高齢者との比較ー	令和5年度放射線災害・医学研究拠点トリアーニングプログラムプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	安村誠司
令和5	国内共同研究	放射線災害に関するメディア情報による福島県民の健康影響不安の実態と放射線情報リテラシーの向上	令和5年度放射線災害・医学研究拠点トリアーニングプログラムプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	安村誠司
令和5	国内共同研究	放射線被爆と背景因子が腎疾患発症に与える影響についての検討	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	今田恒夫, 安村誠司
令和5	国内共同研究	福島原発作業員に対するリスクコミュニケーションを含めた教育講習会の効果	令和5年度放射線災害・医学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医学研究拠点	岡崎龍史, 安村誠司

令和5	国内共同研究	放射線災害後の健康被害測定指標の提言に関する研究	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	越智小枝，安村誠司
令和5	国内共同研究	避難における糖尿病発症リスクに精神的苦痛が与える影響の解明及び個別化されたリスクプロファイリング：10年追跡研究	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	川崎良，安村誠司
令和5	国内共同研究	高齢者の東日本大震災後の避難の有無による死亡場所の違い	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	祖父江友孝，安村誠司
令和5	国内共同研究	福島第一原子力発電所事故後の避難区域およびその周辺地域における公衆衛生学的活動についての事例研究	令和5年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	西川佳孝，安村誠司
令和5	出資金による受託研究	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	子どもの健康と環境に関する全国調査 福島ユニットセンター	環境省	橋本浩一，安村誠司
令和5	その他	福島市民の健康と生活習慣に関する状況、および東日本大震災・新型コロナウイルス感染症の流行による市民の健康への影響に関する調査	福島市民の健康と生活習慣調査	福島市	安村誠司，岩佐一，森山信彰，中山千尋，山田秀彦

健康増進センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	行動制限最小化の活動に参加する精神障害当事者のための育成プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅美智，藤井千代，深澤舞子
令和5	補助・助成	精神障害者当事者が参加する隔離・拘束を減らすためのプログラムの効果の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅美智，吉川隆博，深澤舞子，末安民生
令和5	補助・助成	統合失調症へのステイグマと医学教育や心理社会的因子との関連に関する疫学研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	片岡茉莉子

先端臨床研究センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	ラジオハロゲン元素を用いた前立腺がんに対するラジオセラノスチクス薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	上原知也，高橋和弘，田中浩士，甘中健登
令和5	補助・助成	211At-PSMA リガンドの唾液腺集積機序の解明と治療応用に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	織内昇，関亦明子，小島祥敬，右近直之，趙松吉
令和5	補助・助成	原発性アルドステロン症における新治療戦略－安全かつ高奏功な根本治療の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	絹谷清剛，小川数馬，川井恵一，小林正和，鷺山幸信，岡沢秀彦，清野泰，米田隆，米谷充弘
令和5	補助・助成	ナトリウム共役能動輸送型糖輸送体を標的としたセラノスチクス薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	小林正和，水谷明日香，国嶋崇隆，玉井郁巳，川井恵一，西井龍一，鷺山幸信
令和5	補助・助成	PET/MRI装置専用精度管理ファントムの開発と安全性試験ガイドラインの策定	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	高橋康幸，細川翔太，三輪建太，右近直之
令和5	補助・助成	薬物送達システムと α 線放出核種を組み合わせた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	趙松吉，池添隆之，杉山暁，鷺山幸信，西嶋剣一，高橋和弘，右近直之，織内昇，山下篤，崔正国
令和5	補助・助成	アルファ線の被ばく量を細胞レベルで解析するマイクロドジメトリ法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	長谷川功紀，山本誠一，高橋和弘，佐藤達彦，鷺山幸信，右近直之，城寶大輝
令和5	補助・助成	多価効果と代謝性リンカーの融合による革新的核医学治療薬の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	水野雄貴，上原知也，安井博宣，西嶋剣一
令和5	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和5	補助・助成	血管新生因子PD-ECGFを標的としたAt-211標識治療用放射性薬剤の基礎検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	西嶋剣一，久下裕司，趙松吉，水野雄貴

令和5	補助・助成	アスタチン化学のフロンティア解明と医学とのシナジー	科学研究費助成事業／挑戦的研究(開拓)	日本学術振興会	高貝慶隆, 鷲山幸信, 高橋和弘
令和5	補助・助成	新規α線イメージング手法による核医学治療の組織吸収線量測定法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	右近直之
令和5	補助・助成	RIによるがん治療の効果と安全性に関する研究	助成事業	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団	織内昇, 趙松吉, 阿部悠, 吉田光明

会津医療センター 漢方医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	介護予防における短期集中運動プログラムの及ぼす鍼灸治療の実施可能性の検討	全日本鍼灸学会研究助成	公益社団法人全日本鍼灸学会	加用拓己, 三瀧忠道, 津田恭輔, 宮田紫緒里, 鈴木雅雄, 杉原満, 山内直人, 渡部直美, 目黒純, 斎藤敦子, 山中克郎, 鎌田一宏
令和5	国内共同研究	漢方医学的所見と漢方処方関連を検証する前向き観察研究	共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	小田口浩, 若杉安希乃, 折笠秀樹, 花輪壽彦, 村松慎一, 並木隆雄, 新井信, 貝沼茂三郎, 柴原直利, 三瀧忠道
令和5	国内共同研究	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)罹患後の後遺症症状(Long COVID)に対する漢方薬治療の効果と安全性についての実態調査	学校法人北里大学研究所 COVID-19対策北里プロジェクト	北里大学東洋医学総合研究所	三瀧忠道, 畠田一司, 金子彰

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	人工知能を活用したリケッチア感染症の血清学的診断法に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	安田一行
令和5	補助・助成	Type2/Non-type2の両指標による喘息, COPD, ACOの増悪予測検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木康仁

令和5	補助・助成	唾液による不顕性誤嚥とIPF急性増悪との関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木朋子, 新妻一直, 齋藤美和子
令和5	補助・助成	喘息におけるneurturinの臨床的役割	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	佐藤俊, 鈴木康仁

会津医療センター 精神医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	統合失調症に対する持続長MMNの高感受性メカニズムの多施設共同研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	矢部博興, 三浦至, 志賀哲也, 星野大
令和5	補助・助成	レビー小体病のアミロイド蓄積時期の同定ー抗Aβ療法提案に向けた縦断的調査研究ー	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林良太, 川勝忍, 林博史, 森岡大智
令和5	補助・助成	損傷脳からみた日本語の神経基盤に関する統合的研究ー個体差から個別化医療へー	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	鈴木匡子, 川勝忍, 菅野重範, 大沢伸一郎, 中里信和, 鈴木麻希
令和5	国内共同研究	反応性アストログリアシスを定量化する新規画像バイオマーカーの研究開発	令和3年度「認知症研究開発事業」認知症患者の層別化に資する脳画像解析技術・バイオマーカーの開発	AMED国立研究開発法人日本医療研究開発機構	田代学, 川勝忍, 他
令和5	国内共同研究	認知症の遠隔医療およびケア提供を促進するための研究	認知症政策研究事業	厚生労働省	栗田主一, 井藤佳恵, 川勝忍, 小野賢二郎, 新堂晃大, 石井伸弥, 滝口優子
令和5	国内共同研究	認知症の病態の進行に影響する重症化因子の特定と進行予防への効果的な介入方法の確立のための研究	認知症政策研究事業	厚生労働省	川勝忍, 松田圭悟, 小林良太, 林博史, 鈴木匡子, 伊関千書, 井原一成

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	見城明, 遠藤俊吾, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 丸橋繁

会津医療センター 外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳, 鈴木弘行
令和5	補助・助成	拡張現実 (AR) 技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆, 佐瀬善一郎, 斎藤拓朗, 丸橋繁, 見城明
令和5	補助・助成	患者由来腫瘍組織移植モデルと腫瘍浸潤リンパ球を用いたテララーメイドがん免疫療法	科学研究費助成事業/若手研究	日本学術振興会	松村勇輝

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和5	補助・助成	変形の原因に関わらず実施可能な運動療法の成人脊柱変形に対する効果の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	白土修, 岩淵真澄, 富永亮司, 伊藤俊一
令和5	補助・助成	成人脊柱変形患者へのリハビリテーション(特に、運動療法)に関する統合的研究	研究助成	一般社団法人第一生命財団	白土修, 遠藤達矢, 佐藤圭汰, 岩淵真澄, 伊藤俊一, 鈴木信正
令和5	国内共同研究	着型電子機器を用いた遠隔リハビリテーションの検討と現状の課題御調査	共同研究	株式会社UTヘルステック	白土修

IV 産業財産権の設定の登録一覧

基礎病理学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	小林信，杉本幸太郎，千葉英樹	卵巣がん患者の予後予測用バイオマーカー	特開2023-133869 (P2023-133869A)	2023年9月

産科婦人科学講座／ふくしま子ども・女性医療支援センター／医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクロム	渡辺慎哉，渡邊尚文，藤森敬也，高橋俊文，今井順一，松倉進	子宮内膜症を鑑別する方法、鑑別用抗原タンパク質、抗体検査剤、および、抗体検査キット	特開2023-106701 (P2023-106701A)	2023年8月

泌尿器科学講座／医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社ニッポンジーン	渡辺慎哉，今井順一，星誠二，小島祥敬，富樫玲子	前立腺癌患者におけるホルモン治療感受性を判別する方法およびキット	特開2023-45648 (P2023-45648A)	2023年4月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社ニッポンジーン	渡辺慎哉，今井順一，斑目恵美奈，小川総一郎，小名木彰史，小島祥敬，富樫玲子	筋層非浸潤性膀胱がんの再発または筋層浸潤性膀胱がんへの進展のリスクの判定方法およびそれに用いるマーカー遺伝子	特開2023-142853 (P2023-142853A)	2023年10月

生体物質研究部門

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	本間美和子	抗CK2 α 抗体又はその断片	W0/2023/190820	2023年10月

看護学部 生命科学部門

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	森努，河村隆	相互依存性の特定方法	特開2023-122845 (P2023-122845A)	2023年9月

小児腫瘍内科

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	望月一弘	腫瘍の治療及び／又は予防のための組成物	W0/2021/085624 特許第7390740号	2021年5月 2023年12月

内視鏡診療部／会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人会津大学，公立大学法人福島県立医科大学	朱欣，富樫一智，根本大樹	学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法	特開2023-148802 (P2023-148802A)	2023年10月

医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	特開2023-61248 (P2023-61248A)	2023年5月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	特開2023-61249 (P2023-61249A)	2023年5月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	特開2023-152613 (P2023-152613A)	2023年10月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	WO/2023/002944	2023年1月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	WO/2023/190851	2023年10月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム，福島セルファクトリー株式会社	渡辺慎哉，今井順一，志賀葉月，佐藤慈子，松倉進，星裕孝	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に結合する抗体	WO/2023/190852	2023年10月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，福島セルファクトリー株式会社，	渡辺慎哉，今井順一，佐藤慈子，星裕孝	細胞表面に発現するタンパク質を介した細胞同士の結合、融合、又はそれらの阻害活性を測定する方法	特開2023-68868 (P2023-68868A)	2023年5月
特許	株式会社ゼファー，公立大学法人福島県立医科大学	伊堂隆徳，高木基樹，今井順一，渡辺慎哉，石井洋介	抗体固定複層フィルター及びそれを含むマスク	特開2023-76308 (P2023-76308A)	2023年6月
商標	公立大学法人福島県立医科大学		S-PD0	第6740601号	2023年4月
商標	公立大学法人福島県立医科大学		SD-PD0	第6740602号	2023年4月

福島県立医科大学業績集

令和5年

印刷発行 令和7年3月21日

編集発行 福島県立医科大学附属学術情報センター
福島市光が丘1番地
TEL 024(547)1684

印刷所 株式会社 阿部紙工
福島市庄野字柿場1の11
電話代表 024(593)5111